授 業 名	人間と仏教	開講学年	1回生	単位数	2単位	科 目 コ ー ド	CS1101
英 文 名	Human and Buddhism	開講時期	春・秋学期		必 修選 択	必修	
担当者	伊藤 茂樹・工藤 美和子 対象 学生 総合文化1回生、幼児教育1回生						
授業の概要	本授業は仏教の起源である開祖釈尊の生き方とその教え、また法然の生きる意義を理解することを目指す。「ブッダの生涯」「ブッダの下に、宗教観、仏教という宗教誕生の必然を概説し、私たちの人行きたい。	゚の教え」	「法然の生涯」「法	:然の教え	」というま	テーマ	
学修成果到達目標	1)建学の精神を理解することが出来る。 2)釈尊の教えである「苦」の理念を自らの問題として理解するこ 3)法然の平等思想を理解することが出来る。	とが出来る	5.				
	知識・理解	沪	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	***	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) ICT活用(自主学習支援)						
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記(30		まります。 実習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解:	決能力)
テキスト	『ブッダと法然』(学術図書出版社、2019年)						
参考書	授業内で適宜紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	板書や講義の内容をしっかりノートに取ること。						
オフィスアワー	後日研究室前に掲示します。						
実践的教育							

授業名 人間と仏教

,, ,, ₁	八同こ四数	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	「仏教とは何か」	(学修内容)宗教とは?仏教とはどのような教え?何故仏教を学ぶの?仏教を学ぶ基
		本中の基本を学びます。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		シラバスを読んでおく。
	「仏教から学ぶこと」	(学修内容)建学の精神を概説します。華頂学園の環境をみつめてみましょう。仏教
₩ 0□		を学ぶ意義について学びましょう。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 釈尊について、教科書を一通り読んでおくこと。建学の精神をノートに
	 「インドの文化」	(学修内容)釈尊誕生の前提としてインドの歴史と文化を学びます。
	12102101	(子吟13日)が存に上の前にこのでイントの正文と人間と子のよう。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		インドの文化を調べる。
	「ブッダの生涯 誕生」	(学修内容)仏教の開祖ブッダの生涯を、誕生とその事蹟、出家以前の生活について
		概説します。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		ブッダの誕生について、該当する教科書の範囲を読むこと。授業後は、
	 「ブッダの生涯 四門出遊」	/ートを整理する。 (学修内容)ブッダの出家の経緯(四門出遊等)について概説します。
		(子序的分)グググの国家の経緯(四川国政寺)について城市のより。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
Узоп		四門出遊について、該当する教科書の範囲を読むこと。授業後は、ノー
		トを整理する。
	「ブッダの生涯 苦行」	(学修内容)ブッダが出家の後、苦しい修行を何度も経験し、三十五歳で悟りを開い
		たことについて概説します。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		出家後のブッダについて、該当する教科書の範囲を読むこと。授業後は
	「プルダの生活」には	、ノートを整理する。
	「ブッダの生涯 悟り」	(学修内容)悟りの内容である縁起の思想。四諦八正道について概説します。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 四諦八正道について、該当する教科書を読むこと。
为7日		授業後はノートを整理する。
		1文米区はノードで正元)の。
	「ブッダの生涯 釈尊の伝道」	(学修内容)釈尊は、35歳で悟りを開いて後、教化伝道の生活を送ります。釈尊の教
		化伝道の生活を学びます。確認テストを実施します。
第8回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		釈尊の伝道について、該当する教科書の範囲を読むこと。
		授業後は、ノートを整理する。
	「法然の生涯と思想 誕生」	(学修内容)法然上人の誕生とその背景について概説します。
第9回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
~ 카키티		法然上人の誕生について、該当する教科書の範囲を読むこと。授業後、
		ノートを整理する。
	「法然の生涯と思想 父の死」	(学修内容)法然上人は9歳で父の死に直面します。その後、僧侶としての道を進ん
		でゆきます。比叡山登山と、延暦寺での修学について学びます。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		父の死について、該当する教科書の範囲を読むこと。授業後、ノートを
	Light of the light	整理する。
	「法然の生涯と思想 比叡山修学・南都遊学」	(学修内容)法然上人は、比叡山で一定の年月を修行して過ごした後、南都遊学をし
第11回		ます。浄土教に出会うまでを概説します。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
おり凹		(争削争後字修課題の内谷)(60分) 法然上人の比叡山修学、南都遊学について、教科書の該当する範囲を読
		がこと。授業後、ノートを整理する。
	「法然の生涯と思想 立教開宗」	(学修内容)法然上人の浄土宗開宗と、浄土宗の教えについて学びます。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		浄土宗の開宗について、該当する教科書の範囲を読むこと。授業後、ノ
	E State of the sta	ートを整理する。
	「法然の生涯と思想 大原問答・東大寺講説	(学修内容)大原問答と東大寺講説について、概説します。
第13回	1	 (事前事後学修課題の内容)(60分)
와 I3凹		大原問答と東大寺講説について該当する教科書の範囲を読むこと。授業
		後、ノートを整理する。
	「法然の生涯と思想 法難・臨終」	(学修内容)専修念仏教団の法難と法然上人の臨終について概説します。また知恩院
		の成立も理解します。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		法難、臨終について、該当する教科書の範囲を読むこと授業後、ノート
	*# ÷ (/) \	の整理をする。
	講義総括	(学修内容)講義のまとめ、ブッダ・法然の教えが現代の我々とどのように関わるか
等45回		を考えます。 (190分)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(90分) 全15回分授業のノートを読み返しておくこと。ブッダの悟り、法然上人
		至り回方投棄のプラトを読み返してのくこと。プッグの信り、伝然工人の教えをまとめる。
	<u> </u>	ツガバに との こ い が 。

授	業	名	基礎ゼミナール	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CS1102
英	文	名	Freshman Seminar I	開講時期	春学期		必 修選 択	必修	
担	当	者	松尾 章子・伊藤 茂樹 対象 学生 総合文化1回生						
授業	∮ の村		高校から大学への円滑な移行を図り、大学での学びを高めることをの書き方、情報収集の方法、教職員とのコミュニケーションなど、度について学ぶ。						
学値	冬 村		 1)初年次教育の学びに関する項目を説明することができる。 2)形式に則ってレポートを書くことができる。 3)簡単なレジュメやスライドを作成することができる。 						
到道									
			知識・理解		汎用的技能				
学位	授占	与の	態度・志向性		総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針。	との	関連							
アク: ラー: 対象:	ニン	グ		グループ ICT活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評値	五方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技		試験 筆記試駅 %) 口述	策 レポ 実習		制作物 実技	
評値	五星	基準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテー	ション能力 課題	題発見・解	決能力)
テキ	トス	۲,	必要な資料は授業内で配布します。						
参	考		必要に応じて授業内で紹介します。						
課題I フィー の方え	-ド/	する							
留意	急事		積極的に参加してください。						
オファ		^	研究室前に日時を掲示しますので確認してください。						

	- WC C - 7 / 7	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	自己紹介、アイスブレーク	(学修内容)自己紹介、履修登録・科目・シラバス等について確認する。
	高校と大学の学生生活の違いを知る~授業編~	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		事後:講義内容の振り返りを行う。
		/ 学校中央と考りませて1、0~1、0~2、0~1、0~1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1
	高校と大学の学生生活の違いを知る~教員、情報 収集編~	(学修内容)ポータルサイト・Gmail・Classroomの活用・連絡方法等について知る。
第2回	以	(事前事後学修課題の内容)(30分) 事後:講義内容の振り返りを行う。
第2 四		学校、開我的任の派の区でもよう。
	学生生活をデザインする	(学修内容)ゼミ・クラブ活動・ボランティア・学校行事等について知る。
		学生生活のスケジュールを立てる。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事後:講義内容の振り返りを行う。
	授業を理解する	 (学修内容)出欠・単位・定期試験・ノートの取り方等について知る。
	技業を理解する	(子形内谷) 山火・単位・足期武駅・ノートの取り万寺について知る。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
75.10		事後:授業の振り返りを行う。
	学生生活の目的と方法(1)望む将来像について	(学修内容)自らの将来像についてワークシートを用いながら考える。
	考える	
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後:ワークシートへの書き込みと授業の振り返りを行う。
	 学生生活の目的と方法(2)目的を見据えて計画	(学修内容)1回生の1年間で取り組むことは何かを考え、学修ポートフォリオに記
	子王王/100日的と万法(2)日的を見据えて計画 を立てる	(学修内各) 「四主の「中间で取り組むことは何かを考え、学修が一トフォリオに記し、人する。
第6回	27.0	(事前事後学修課題の内容)(60分)
Узоп		事後:学修ポートフォリオへの書き込みと授業の振り返りを行う。
	レポートの書き方を学ぶ	(学修内容)作文とレポートの違い、レポートの構成・書式・表現・規則等について
		学ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事後:授業の振り返りを行う。
	 レポートを書いてみる	(学修内容)課題にそったレポートを書いてみる。
	レホートを書いてみる	(子形内台)
第8回		(事前事後学修課題の内容)(80分)
		事後:課題にそったレポートを書いて提出する。
	レポートを見直す	(学修内容)レポートをみんなで添削し合う。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
> 5년		事後:添削内容を確認し、レポートを修正して提出する。
		F. C. T. M. III. S. L. C. L. C.
	祇園祭について:フィールドワーク実施のための	(学修内容)フィールドワークの事前・事後学習の方法、レジュメ作成法を学び、グ
	事前学習(状況により内容変更有)	ループ毎に事前学習を行う。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事後:事前学習に取り組み、まとめて提出する。
	 祇園祭に参加する(状況・調整により、実施内容	(学修内容)フィールドワークを実施する。
	・日時の変更有)	(子形内骨) フィールドラークを美胞する。
第11回	1,000	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後:事後学修に向けて取り組み、不明な点や質問等があれば相談する
		0
	個人面談1(面談時間については調整する)	(学修内容)個人面談を実施する。
~~·-		(市公市体学协会服务中央) (22.7.2
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事後:発表に向けて、レジュメやスライドを作成する。
		尹牧・光衣に凹けて、レンコグド人ノ1 FをTFIX 9 る。
	 祇園祭りについて:フィールドワークの事後学修	 (学修内容)レジュメやスライドを作成し発表(プレゼンテーション)する。
	(プレゼンテーション)	(事前事後学修課題の内容)(40分)
第13回		事前:発表に向けて練習する。
		事後:発表後の振り返りを行う。
		(光原中央)(四十五沙土中林十三
	個人面談2(面談時間については調整する)	(学修内容)個人面談を実施する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
시기가입		(争刑争後子修練題の内谷)(20カ) 事後:面談内容を振り返る。
	春学期の振り返りと夏期休暇に向けての取り組み	(学修内容)春学期に作成したワークシートを見直しながら春学期の学生生活の振り
		返りを行う。夏期休暇中の過ごし方について目標と計画を立てる
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後:定期試験に向けてレポートを作成する。

授	業	名	基礎ゼミナール	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CS1102
英	文	名	Freshman Seminar	開 講時 期	春学期		必 修選 択	必修	
担	当	者	鈴木 えり子・小川 隆昭・林 静香・荘厳 茶茶・渋谷 郁子・柘植 誠子・山 部 泰司・坂口 みゆき・浅田 瞳 対象 学 生						
授美	巻の相	1 回生春学期の基礎ゼミナール は「初年次教育」と位置づけ、大学での学びの特徴、目的を見据えて学ぶ意義、学びの方法として講義の受け方、レポートや小論文の書き方、発表資料作成の仕方、ブレゼンテーション方法などを体験的に学ぶ。また、その中に幼児教育学科としての取り組みを盛り込んでいく。授業形態としては、20人までの少人数クラスを専任教員が担当し、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど演習を基本として実施する。また、客観的評価としてのPROGテストや主観的評価としての学修ポートフォリオ等も活用しながら、学生が自分自身と向き合うことができるようゼミナールを運営していく。 1) 幼児教育学科のディプロマポリシーを理解している。							
	修 成		2)将来の目的を明確に説明できる。 3)レポートの書き方の基礎を身につけ実践できるようになる。 4)発表方法(資料、口頭発表)の基礎を身につけ実践できるようになる。 5)担当教員や学生と良好なコミュニケーションを図ることができる。						
			知識・理解	泂	用的技能				
学位			態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針	との	関連							
アク ラー 対象	ニン	グ	・ PBL ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) ICT活用(自主学習支援)						
評(西 方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ レポ 実習		制作物 実技	
評(西基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレセ 観点 授業態度・参加意欲 (ジンテーシ	ファン能力 課題) (発見・解	決能力)
テ =	キ ス	۲	必要に応じて資料等を配布する。						
参	考	書	必要に応じて紹介する。						
課題 フィ・ の方	-ドハ								
留;	意 事	項	基礎ゼミナールは、授業の1つですが、学修や学生生活の基礎を支え 教員や学生同士で積極的にコミュニケーションを図って下さい。個別			の出席は	もちろん、	担 <u>当</u>	
	フィ	^	各教員が授業時に伝える。						
実践	的	改 育							

7X A I	空曜 ピーノ //	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーションとゼミへの導入 (2年間流	(学修内容)基礎ゼミナールの位置づけやプログラムなどを確認する。ポータルサイ
	れ、Gmailの使い方など) 全体での授業を予定	トやGmail の使い方を理解する。クラスルームについて理解をする。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
2,5 1,7		シラバスを確認しておく。Gmeilの使い方の冊子を読んでくる。Gmailを
		使い、ゼミナール担当教員にメールを送信する。
	オリエンテーションとゼミへの導入 (履修登録	(学修内容)キャンバスライフや履修要項を確認し学校行事や学科行事を含めて2年
	等のサポート含む、ゼミ長を選出する) 全体か	間の流れや登録科目を理解する。ゼミ代表を選出する。
第2回	ら各ゼミごとへの授業を予定	(事前事後学修課題の内容)(30分)
УРЕН		キャンパスライフや履修要項を読んでおく。ポータルサイトへアクセス
		し掲示板を確認する。わからないことをメモしてくる。
	お互いに知り合うワークショップ (マインドマ	(学修内容)マインドマップを使った交流を実施する。オリエンテーションでの疑問
	ップを作り交流する)	を解消する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
2,1-1,1		マインドマップの記入内容を具体的に考えてくる。キャンパスライフや
		講義要項に目を通し、自分に関係のある箇所に線を引いて確認する。
	お互いに知り合うワークショップ (プロフィー	(学修内容)プロフィールドカードを使った自己紹介を作成し、ゼミメンバーや他の
	ルカードを作成)	ゼミとの交流を深める。学外フィールドワークを使って交流を行う。
第4回	学外フィールドワーク	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		プロフィールドカードの内容をイメージしておく。必要な材料を用意し
		ておく。
	学修ポートフォリオの実施(将来について考える	(学修内容)学修ポートフォリオの記入をし自分の将来について考える。PROGテスト
		の実施(リテラシー45分、コンピテンシー45分のどちらか)
第5回	PROGテストの実施	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		ゼミ時間内で実施できなかった(リテラシー、コンピテンシー)分を実
		施しておく。
	絵本大賞の説明、SNSの注意点、課外活動など)	(学修内容)幼児教育学科全体に関係する絵本大賞、子どもデパート、SNSの注意点
	全体での授業を実施	などについて説明・共有する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		華頂短期大学のホームページを確認しておく。絵本大賞のテーマを考え
		所定の用紙で提出する。
	学生生活の時間活用を考える(望む将来に向かう	(学修内容)学生生活の時間の使い方をワークシートを活用しながら問題点を見つけ
	計画を立てる)	1年後の目標や1年間で取り組むことなgどを整理する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教員や学生とのコミュニケーションを参考に自分の生活を見直し、将来
		の計画をブラッシュアップする。
	書簡文の作成	(学修内容)お世話になった人へ近況報告を書く。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		誰に近況を伝えるかを思い浮かべておき、何を伝えるかを考えてくる。
	書簡文の作成	(学修内容)チェックリストをもとに報告書を見直して書き直す。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		近況報告の清書をし、仮に投函する設定で必要なものを考えて準備をし
		てくる。
	大学での学び方(課題の探求、授業の受け方、ノ	(学修内容)春学期の前半を振り返り、各自のノートも参照しながら、大学での学び
	-トの取り方、試験について)	、ノートの取り方、筆記試験・レポート試験について整理する。
第10回	学内スタンプラリーの実施	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		学内スタンプラリーを行っておく。自分の書いたノートを持参する。授
		業で分かったことを復習し、翌日の授業から実践する。
	言語表現の学び	(学修内容)教育者・保育者の言葉づかいを実践を通して学ぶ。電話のかけ方、敬語
		の基本的な使い方、話し言葉、書き言葉の相違など。
第11回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		ワークを使って基本的な話し方、書き方を学ぶ。基本的なマナーについ
	l	て振り返っておく。漢字の課題を作成し提出する。
	絵本に親しむ	(学修内容)絵本の選び方と読み聞かせを学ぶ。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前学修)子どもの頃に好きだった絵本を思い出しておく。具体的な
	<u></u>	理由を言葉で発表する準備をする。
	絵本に親しむ	(学修内容)子どもに向けて絵本の読み聞かせを実践を通して学ぶ。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前学修)子どもに向けて読み聞かせをするための準備(下読み)を
	主光相でたいてい	
	春学期の振り返り	(学修内容)学修ポートフォリオ、春学期に作成したワークシートを活用し春学期の
~~ —	PROGの動画説明	振り返りを行う。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		PROGの説明動画を視聴しておく。振り返りに気づいたことをまとめてお
	T W HE - 15 10 15 10	() () () () () () () () () ()
	春学期の振り返り・夏季休暇に向けて	(学修内容)振り返りで気付いたことを共有し、夏季休暇の過ごし方について計画を
	全体での授業を予定	立てる。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		基礎ゼミナールの内容を踏まえ、春学期全体について振り返りレポート
		を作成する。

授	業	名	基礎ゼミナール	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CS1110
英	文	名	Freshman Seminar	開講時期	秋学期		必 修 選 択	必修	
担	当	者	堀出 雅人・工藤 美和子 対象						
授業	€の様	日本文化・現代文化における知識を学び、社会人としての基本的教養を身につけ、社会に貢献できる基礎力と応用力を育成することを目的とする。また、目的を達成するために、プレゼンテーションの機会を設けるとともに、卒業研究として「創作表現演習」に取り組む準備を行う。							
			1)2回生の「創作表現演習」で自分が取り組むテーマを定めることができる。						
学 们	俢 劤	戈 果	2)日本文化・現代文化について必要な知識を学び、豊かな教養を有することができる。 3)将来目標をたて、達成のために主体的に行動することができる。						
到道									
			知識・理解	;	汎用的技能				
学位			態度・志向性		総合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針:	との	関連							
アクラー:対象	ニン	グ	PBL ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) ICT活用(自主学習支援)						
評値	西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技		試験 筆記試駅 %) 口述	策 レポ 実習		制作物 実技	
評値	西基	基準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテー	ション能力 課題) (発見・解	決能力)
テ =	キフ	K	必要な書類は授業内で配布します。						
参	考	書	必要に応じて授業内で紹介します。						
課題 フィー の方	-ド/	する バック							
留意	意事	耳	積極的に参加してください。授業の進捗状況に応じて授業計画が前後する場合もあります。						
	フィワ	, ス -	研究室前に日時を掲示しますので確認してください。						
実践	的	教育							

	- W C - 7 //	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	春学期の振り返り(全体で授業を行う予定)	(学修内容)春学期の基礎ゼミの振り返りと夏期休暇の課題について確認する。
第1回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
(年)日		基礎ゼミナール の内容を整理する。各自ゼミ生が課題レポート作成および発表の準備を行う。
	夏期課題の発表準備	(学修内容)夏期休暇に課した課題について各自発表の準備を行う。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		発表準備をする。レジュメの作成・発表原稿の作成と担当教員に確認。
	 課題の個別発表	(学修内容)各自レジュメを準備し発表を行う。
		() prod y day y = y e r ma societa y o
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 作成したレジュメをもとに発表を行い、レジュメを担当教員に提出する
		1F成したレジュアをもとに光衣を1Jい、レジュアを担当教員に提出する。
	課題の個別発表	(学修内容)各自レジュメを準備し発表を行う。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
33.10		作成したレジュメをもとに発表を行い、レジュメは担当教員に提出する
	「創作表現演習」中間発表1週目への参加(合同 	(学修内容)2回生科目「創作表現演習」中間発表に聴衆として参加し、プレゼンテーションの仕方を学ぶ。
第5回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		前回までの個別発表のふりかえりをまとめる。 「創作表現演習」中間発表で興味のあるテーマをピックアップする。
	 「創作表現演習」中間発表2週目への参加(合同	(学修内容)「創作表現演習」中間発表2週目に参加し、自らが来年度取り上げるテ
)	ーマについて考えを巡らせる。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 中間発表に参加した感想をまとめる。次回からの個別面談で使用するア
		ンケートに回答し期日までに教員に提出する。
	個別面談	(学修内容)アンケートをもとに教員と個別面談を行う。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
A1 E		個別面談で話したことをふりかえり、今後の方向性(創作表現演習や進
		路など)をまとめる。
	個別面談	(学修内容)アンケートをもとに教員と個別面談を行う。
第8回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		個別面談で話したことをふりかえり、今後の方向性(創作表現演習や進路など)をまとめる。
	フィールドワーク (グループワーク)	(学修内容)フィールドワークに向けてグループに分かれて調べ学習を行う。
₩ 0□	フィールドワーク先の下調べ	(事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドワーク先について個人でホームページ等を用いて下調べする
第9回		フィールドケーケ元にフいて個人でホームペーク等を用いて下調べする。
	フィールドワーク (グループワーク) フィールドワークの実施	(学修内容)計画に従ってフィールドワークを実施する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		フィールドワーク先で収集したメモや画像などを整理する。
	フィールドワーク (グループワーク)	(学修内容)次回の各グループ発表に向けて資料を協力して作成する。
~~··	フィールドワークの学修成果の整理	
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 時間内に完成しなかった資料は期日までに作成し提出する。
		発表に向けた練習を各グループで実施する。
	フィールドワーク (プレゼンテーション、合同)	(学修内容)グループごとにフィールドワークの学修成果の報告をプレゼンする。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第12回) フィールドワークの学修成果を発表	(事刑事後字修課題の内谷) (60分) 自分のグループの発表のふりかえりと他グループの発表の評価をまとめ
		ర .
		(学修内容)来年度の「創作表現演習」で取り組むテーマを定めて、その方向性をレ
		ジュメなどに整理する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「創作表現演習」で取り組むテーマや方向性を定める。
		刷けれが原目」(取り組む)一キャグ門性を定める。
	「創作表現演習」に向けた取り組み(発表)	(学修内容)来年度の「創作表現演習」で取り組むテーマと方向性をレジュメなどを
第14回		もとに発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
73 T TEI		レジュメを期日までに提出し、発表の練習を行う。
		(学修内容)基礎ゼミナール 全体を振り返り、創作表現演習にむけて学修計画を策
		(学修内谷)基礎セミナール 主体を振り返り、創作表現演習にむけて学修計画を東定する。春期休暇中の課題の説明。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		「創作表現演習」への準備を行う。春期休暇中の課題について説明を受ける自取り組むこと。
	1	1/ H H 7/ / ML O C C 0

授	業	名	基礎ゼミナール 開講							
英	文	名	Freshman Seminar	開講時期	^数 修 必修					
担	当	者	会木 えり子・小川 隆昭・林 静香・荘厳 茶茶・渋谷 郁子・柘植 誠子・山 対象 部 泰司・坂口 みゆき・浅田 瞳 対象 学生							
授業	€の椎	基礎ゼミナール は、春学期に引き続き教員と学生、学生同士のコミュニケーションや協働を基本とし、学修や学生生活の基盤となる時間と位置づけられる。内容については、幼児教育学科全体として取り組む「絵本の作成」を軸にテーマを設定したフィールドワーク、プレゼンテーション、ディスカッションなど演習を基本として実施する。また、春学期に作成した計画や学修ポートフォリオ等も活用しながら、学生が自分自身と向き合うことができるようゼミナールを運営していく。								
学 f 到 j			標							
			知識・理解		汎用的技能					
学位		-	態度・志向性	1	総合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針	との	関連								
アク ラー 対象	ニン	グ								
評(面 方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常 (50	試験 筆記試駅 %) 口述	策 レポ 実習		制作物 実技		
評(五基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤ 観点 授業態度・参加意欲 (ヹンテー	ション能力 課題	見発見・解	決能力)	
テ =	トス	. ト	必要に応じて資料等を配布する。							
参	考	書	必要に応じて紹介する。							
課題 フィ- の方	- ドノ									
留意	章 章	項	基礎ゼミナールは、授業の1つですが、学修や学生生活の基礎を支える役割も果たします。毎回の出席はもちろん、担当教員や学生同士で積極的にコミュニケーションを図って下さい。適宜個別面談を行います。 項							
	フィワ		各教員が授業時に伝える。							
実践	的	教育	育							

第1回 全体での実施を予定			
第1回 全体での実施を予定	受業計画		
第2回	第1回		(学修内容)春学期単位習得を確認し、春学期の最後に策定した夏季休暇の計画も参考に夏季休暇を振り返る。秋学期の学修、学生生活について確認する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第2回			春学期の単位習得状況を確認しておく。免許・資格の取得意思を確認し 履修登録をすすめる。学修ポートフォリオの当該箇所を入力する。
#4回		手作り絵本作成の準備	(学修内容) 手作り絵本の設定されたテーマについて考えてみる。
第3回 (事前事後学修課題の内容)(60分) ストーリーの概要を考えてくる。個別面談シートを記入して提出 手作り絵本の作成 (ページ割、下絵) (学修内容)コピー用紙のサンブルも活用し、ページ割、下絵など絵本の作成 る。また、並行して個別面談を実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 手作り絵本の作成 (下絵、ストーリー配置) (学修内容)提出用の用紙に下絵、ストーリーを配置して絵本の作成を進める。 並行して個別面談を実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別 実施する。フィールドワークの内容を話し合う。 事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 手作り絵本の作成 (完成に向けた作業) (学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)を記して手作り絵本作成を進める。 「学修内容)を記して手作り絵本作成を進める。 「学修内容)を記して手作り絵本で成を進める。 「学修内容)を記して手作り絵本で成を進める。 「学修内容)を記して手作り絵本で成を進める。また、並行して個別 実施する。 「事前事後学修課題の内容)(30分)	第2回		
#3回 (事前事後学修課題の内容)(60分) ストーリーの概要を考えてくる。個別面談シートを記入して提出 手作り絵本の作成 (ページ割、下絵) (学修内容)コピー用紙のサンブルも活用し、ページ割、下絵など絵本の作成 る。また、並行して個別面談を実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)提出用の用紙に下絵、ストーリーを配置して絵本の作成を進める。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)を問題がある。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別 実施する。フィールドワークの内容を話し合う。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)手作り絵本の作成を進める。また、並行して個別 実施する。 「学修内容)手作り絵本の作成を進める。 「学修内容)手作り絵本の作成を進める。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを (学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを (学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを (学修序語)の内容)(30分)		手作り絵本の作成 (ストーリー、構成)	(学修内容)絵本のストーリーや基本構成を考えるところから、絵本作りをスタート する。また、個別面談の準備をする。
第4回	第3回		
第4回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 7年り絵本の作成 (下絵、ストーリー配置) (学修内容)提出用の用紙に下絵、ストーリーを配置して絵本の作成を進める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (要修内容)(60分) 7年り絵本の作成 (完成に向けた作業) (学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (要修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 要維助間以外も活用して絵本作成を進める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 要施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 要維する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 受修内容)手作り絵本作成を進める。 (事前事後学修課題の内容)(30分) (学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを、のよれを、のよれを、のよれを、のよれを、のよれを、のよれを、のよれを、のよ			(学修内容)コピー用紙のサンプルも活用し、ページ割、下絵など絵本の作成を進める。また、並行して個別面談を実施する。
第5回 個別面談 、並行して個別面談を実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。フィールドワークの内容を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 「授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 「授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを、。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを、。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを、。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを、。	第4回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
第5回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。フィールドワークの内容を話し合う。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを入し流れを確認する) 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを。			(学修内容)提出用の用紙に下絵、ストーリーを配置して絵本の作成を進める。また が行して個別面談を実施する
### 15 ### 15 ### 15 ### 16 #### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16 ### 16	第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第6回 個別面談 実施する。フィールドワークの内容を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 「学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 「事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 「学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを入し流れを確認する) (事前事後学修課題の内容)(30分)		工作1) 岭木亦作成 (宁成广南) 大作器)	
授業時間以外も活用して絵本作成を進める。 手作り絵本の作成 (完成に向けた作業) (学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 手作り絵本の作成 (完成むけて、付箋に文を記入し流れを確認する) (学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを。 (事前事後学修課題の内容)(30分)	₩ 0□		実施する。フィールドワークの内容を話し合う。
第7回 実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。 「事作り絵本の作成 (完成むけて、付箋に文を記入し流れを確認する) 第8回 個別面談 実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前事後学修課題の内容)(30分)	弗0凹		
第7回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間以外も活用して手作り絵本作成を進める。			(学修内容)各自の進度に合わせて絵本の作成を進める。また、並行して個別面談を 実施する。
入し流れを確認する) 第8回 個別面談 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第8回 個別面談 (事前事後学修課題の内容)(30分)		-	(学修内容)手作り絵本を完成させ言葉を付箋に書きいれ、再度全体の流れを見直す
	第8回	個別面談	絵と文の関係について子どもが理解できる絵本となっているか、言葉を
		手作り絵本の提出	(学修内容)手作り絵本を提出する。各自の手作り絵本を発表し交流する。絵本大賞
にノミネートする作品を選出する。 第9回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 絵本を完成させてくる。手作り絵本の制作意図を書いてくる。	第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		フィールドローカ(日学)	(学修内容)保育の視点を意識して公園や動物園等の近隣施設を訪問・見学し、保育
(学修内各)株育の税点を急減して公園で勤物園等の近隣施設を訪問・発学し の視点を学ぶ。実施日が前後することがある。 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第10回	フィールドラージ(光子)	の視点を学ぶ。実施日が前後することがある。
フィールドワークに必要な内容を考えておく。	와 IO티		
フィールドワークの振り返り (学修内容)フィールドワークを通じて学んだことを出し合い、グループで話 ことで保育の視点を整理する。		フィールドワークの振り返り	(学修内容)フィールドワークを通じて学んだことを出し合い、グループで話し合う ことで保育の視点を整理する。
第11回 (事前事後学修課題の内容)(30分) フィールドワークの成果をまとめて提出する。	第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		保育内容の探求	(学修内容) 各自またはゼミ単位で設定したテーマに沿って保育に関連する内容につ
第12回 (事前事後学修課題の内容) (30分)	第12回		いて探求する。
探求成果をノートにまとめておく。	시간		
保育内容の探究 (学修内容)各自またはゼミ単位で設定したテーマに沿って保育に関連する内 いて探求する。		保育内容の探究	(学修内容)各自またはゼミ単位で設定したテーマに沿って保育に関連する内容につ いて探求する。
第13回	第13回		
保育内容の探求 (学修内容)各自またはゼミ単位で設定したテーマに沿って保育に関連する内 いて探求する。		保育内容の探求	(学修内容)各自またはゼミ単位で設定したテーマに沿って保育に関連する内容につ
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 成果について各自発表したり交流できる準備をしておく。	第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			(学修内容)基礎ゼミナールで取り組んできた内容を中心に1年間の学生生活を振り
全体での実施を予定 返る。 第15回 「事前事後学修課題の内容)(60分) 「事前事後学修課題の内容)(60分)		□ 全体での実施を予定	返る。
授業の内容を参考にまとめのレポートを作成する。学修ポートフの当該箇所に入力する。	第15回		

授 業 名	総合ゼミナール	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目 コード	CS2116	
英 文 名	Senior Seminar I	開講時期						
担当者	林 静香・渋谷 郁子・小川 隆昭・柘植 誠子・坂口 みゆき・鈴木 えり子・浅田 瞳・荘厳 茶茶	対 象 学 生	幼児教育2回生	Ē				
授業の概要	これまでの授業や実習での経験をふまえ、自らの能力を客観的に把握する。その上で、長所をいっそう活かすための手立てを考え、それぞれの子ども理解と保育実践の力を確実に伸ばしていく。さらに、卒業後もその良いところを伸ばし続けることができるよう、上記の手立てを実践する。その過程においては、ゼミ生同士が積極的に交流を図り、お互いを高め合い、集団の一人としての自覚を持って活動をする。							
学修成果到達目標								
学位授与の	知識・理解態度・志向性	-	l用的技能 合的な学習経験と	創造的思	 考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業								
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		ま習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ・ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力)	
テキスト	必要に応じて資料等を配布します。							
参考書	必要に応じて紹介します。							
課題に対する フィードバック の方法								
留意事項	総合ゼミナールは短大生活の集大成としてとらえています。毎回出席はもちろんですが、教員や学生同士での積極的なコミュニケーションを図ってください。							
オフィスアワー	第1回目の授業で伝えます。							
実践的教育								

授業 名 総合ゼミナール

位 来 計 正	一場につり	学校内家,细辑
授業計画	学修項目	学修内容・課題 学修内容・課題 (学修内容)総合ゼミナールのねらいや目的を共有する
	全体で実施予定	(子修内合)総合とミナールのほういで自動を共有する
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		全体クラスルームへの登録を確認する。履修科目状況を把握し、時間割
	カテいに知り合うローカン・- ・・・ プ	を作成・持参する。個人写真撮影に向けて身だしなみを整えてくる。 (学修内容)自己紹介シート等を作成、それを使った自己紹介などを通じてゼミメン
	お互いに知り合うワークショップ	(学修内谷)自己紹介シート寺を作成、それを使った自己紹介などを通じてゼミメノー バーと交流する。履修などについての疑問を解決する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		自己紹介シートを作成しておく。履修登録をし、ゼミ時間に教員が確認
	労牧者 トラ・ロナケ ボオス	できるようにしておく。
	学修ポートフォリオを作成する 	(学修内容)2年次の学びの目標を設定し学修ポートフォリオを記入する
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		卒業後の将来について考えてくる
	☆★+賞 ま 終す	(学校中央) 甘醂ゼンナーリの取り組み (公本制作) を振り返え タウの毛作り始ま
	絵本大賞 表彰式 全体で実施予定	(学修内容)基礎ゼミナールの取り組み(絵本制作)を振り返る。各自の手作り絵本 を製本化する。
第4回	ZFF (\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		基礎ゼミナールの担当者から絵本をもらっておく。絵本内の文章を再読
	フィールドワーク	しておく。 (学修内容)新緑の季節に親しみ、子どもの遊びについて考える
	71 -10 - 9	(子修内合)机線の字即に祝しめ、丁ともの遊びにういて考える
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		手作り絵本を仕上がてくる。
	保育教材の研究(1)	 (学修内容)さまざまな保育内容について考え、またその楽しさを知る
		(子序内骨) さるさるな体質内骨について考え、またての未びさを知る
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		手遊びをひとつ全員の前で披露できるようにする
	保育教材の研究(2)	 (学修内容)さまざまな保育内容について考え、またその楽しさを知る
	IN IT TANKS OF WITH (Z)	(FISTING) COCOONNITING OF THE CONTROL END
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教育実習の対象年齢にあった製作をグループで考え紹介する。実際に制作している。
	保育教材の研究(3)	作しておき紹介できる準備をしておく。 (学修内容)さまざまな保育内容について考え、またその楽しさを知る
		(1911) Cacalanna Ingles Victoria
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		手作り絵本の読み聞かせの練習をしておく。
	プレゼンテーションへの個別指導(1)	(学修内容)各自が取り組むテーマを確認・検討すると同時に、総合ゼミナールで
		実施するプレゼンテーションについて指導する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自のテーマを考え、教員から個別指導が受けられるようにアイディア
		合目のデーマを考え、教員から個別指導が受けられるようにアイディアをまとめておく。
	プレゼンテーションへの個別指導(2)	(学修内容)各自が取り組むテーマを確認・検討すると同時に、第12回の授業で実施
		するプレゼンテーションについて指導する。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 各自のテーマを考え、教員から個別指導が受けられるようにアイディア
		音目のケーマを考え、教員から個別指導が受けられるようにディティディをまとめておく
	プレゼンテーションへの個別指導(2)	(学修内容)各自が取り組むテーマを確認・検討すると同時に、総合ゼミナール で
~~		実施するプレゼンテーションについて指導する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自のテーマを考え、教員から個別指導が受けられるようにアイディア
		をまとめておく
	秋学期に向けての企画を考える	(学修内容)秋学期の企画についてゼミメンバーで話し合う
第40 回		(事前事終学修理題の内容) (20分)
第12回		(事前事後学修課題の内容) (30分) どのような企画をやりたいのか、自分の考えをまとめておく
	各自のテーマ プレ発表(1)	(学修内容)自己の設定した課題についてゼミメンバーと情報を共有する
第13回	複数の合同ゼミで実施予定	(事前事後学修課題の内容)(30分)
와 1이티		取り組みたいテーマについての発表を準備する
	各自のテーマープレ発表(2)	(学修内容)学外実習での学びなどを振り返り、自分のキャリアについて考える時間 ****
第14回	複数の合同ゼミで実施予定 	を持つ (事前事後学修課題の内容)(30分)
No LAICH		自分のキャリアについての考えをまとめる
	- WHE	
	春学期のまとめ	(学修内容)半年間の活動の振り返りを行い、学修ポートフォリオを作成する
第15回		将来について考える (事前事後学修課題の内容)(30分)
212.00		半年間の活動について、自分の考えをまとめる

授 業 名	総合ゼミナール	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	CS2122
英 文 名	Senior Seminar	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担当者	林 静香・渋谷 郁子・小川 隆昭・柘植 誠子・坂口 みゆき・鈴木 えり子・浅田 瞳・荘厳 茶茶	対象学生	幼児教育2回生	<u> </u>		'	
授業の概要	これまでの授業や実習での経験をふまえ、自らの能力を客観的に把ってを考え、それぞれの子ども理解と保育実践の力を確実に伸ばしていさらに、卒業後もその良いところを伸ばし続けることができるよう。その過程においては、ゼミ生同士が積極的に交流を図り、お互いをある。また、長所を活かす手立ての実践過程とその成果についてプレゼンを	いく。 、上記の手 高め合い、	≦立てを実践する。 集団の一人として				
学修成果到達目標	1.自分自身の取り組みに必要な情報を自主的に調べ、その達成の プ等を計画・調整・実践することができる。 2.自分自身の取り組みの過程とその成果について、プレゼンテー			・ドワーク	、ワークミ	ショッ	
	知識・理解	沪	L用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・		# -		-	L2 \ \		
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	ノーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		き レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレー	ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト参考書	必要に応じて紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法	ドバック						
留意事項	総合ゼミナールは短大生活の集大成としてとらえています。毎回出 ミュニケーションを図ってください。	席はもちる	らんですが、教員や)学生同士	での積極的	りなコ	
オフィスアワー	第1回目の授業で伝えます。						
実践的教育							

授業 名 総合ゼミナール

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション(全体)	(学修内容)秋学期に向けて、夏休みの学修を振り返り、目標を立てる
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 夏休みの学習(保育実習、教育実習)を振り返る
	各自のテーマ設定(1)	 (学修内容)個別面談にてテーマ設定をおこなう
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テーマについての方法や結論をまとめておく
	各自のテーマ設定(2)	(学修内容)個別面談にてテーマ設定をおこなう
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テーマについての方法や結論をまとめておく
	企画に関する計画と実践(1)	(学修内容)学生企画に関する計画と実践をおこなう。PROGテストの受検説明を聞く
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の役割に沿った準備をおこなう。PROGテストを実施する。
	企画に関する計画と実践(2)	(学修内容)学生企画に関する計画と実践を行う
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の役割に沿った準備をおこなう
	企画に関する計画と実践(3)	(学修内容)学生企画に関する計画と実践をおこなう
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の役割に沿った準備をおこなう
	実践に関する振り返り	(学修内容)全体で集まり、実践に関する反省会をおこなう
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 学生企画と自らの行動に関する振り返りをおこなう
	プレゼンテーションの用意をする(1)	(学修内容)各自のテーマに応じたプレゼンテーションの用意をする
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教員の指導をもとに発表方法・内容をブラッシュアップする
	プレゼンテーションの用意をする(2)	(学修内容)各自のテーマに応じたプレゼンテーションの用意をする
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教員の指導をもとに発表方法・内容をブラッシュアップする
	フィールドワーク	(学修内容)秋の季節感を感じる行事(遠足)の意義について考える。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 秋の季節(遠足)などをテーマにした活動の目的や行程、留意事項を考 えてくる。
	プレゼンテーション(1) 合同ゼミでの実施予定	(学修内容)各自のテーマに応じたプレゼンテーションの用意をする
第11回	日内にことの失順了た	(事前事後学修課題の内容)(30分) 教員の指導をもとに発表方法・内容をブラッシュアップする
	プレゼンテーション (2) 合同ゼミでの実施予定	(学修内容)各自のテーマに応じたプレゼンテーションの用意をする
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 他人の発表をも参考にしてプレゼンテーションの完成度を高める
	プレゼンテーション (3) 合同ゼミでの実施予定	(学修内容)各個人が自らのプレゼンテーションを実施する
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 他人の発表をも参考にしてプレゼンテーションの完成度を高める
	プレゼンテーション (4) 合同ゼミでの実施予定	(学修内容)各個人が自らのプレゼンテーションを実施する
第14回	ロロじっての大地がた	(事前事後学修課題の内容)(30分) 他人の発表をも参考にしてプレゼンテーションの完成度を高める
	まとめ	(学修内容)各個人が自らのプレゼンテーションを実施する 卒業後に向けて、短期大学生活の振り返りを行う
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) これまでの生活について自分の考えをまとめる
		これのこの工川にフいて日ガのったであるのも

授 業 名	創作表現演習	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	CS2119
英 文 名	Senior Seminar I	開 講時 期	春学期		必 修選 択	必修	
担当者	新矢 昌昭・工藤 美和子	対象学生	総合文化2回生	<u> </u>			
授業の概要	卒業研究に向けて、受講生各自の関心を明確にテーマ化し、先行研究での準備を整える。 授業では、受講生各自に研究の進捗状況を、テーマに関する問題点では、受講生全体で報告の批評を行いながら、卒業研究の基盤を固める。	や自身が考					
学修成果到達目標	1)各自の興味関心に基づいたテーマを立て、調査・考察力を養う 2)研究テーマに沿った参考書、先行研究を収集し整理することが 3)テーマに関した考察や問題点を説得力をもって人前で話す力や、。	できる。		き身につけ	ることが ⁻	できる	
	知識・理解	洌	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	│	<u> </u>	1_ <i>h</i>	→ 1.	ゼンテー	2, 7 2,	
ラーニング 対象授業) ーク 月(自主学習支援)		ピンテー	ソヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記		・ ・ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト参考書	適宜授業中に指示します。						
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートには、コメントを付して返却します。 報告発表についてはその都度コメントします。						
留意事項	演習授業ですから、他の受講生の報告・発表に対して積極的な発言	や意見交換	やができるようにし	,てくださ	l I.		
オフィスアワー	研究室前に日時を掲示します。確認してください。						
実践的教育							

授業 名 創作表現演習

	MJ11 2007070 E	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	全体オリエンテーション・春休み課題の報告準備	(学修内容)授業の進め方について説明する。
		春休み課題の報告の順番を決める。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
71		事前:シラバスを確認する。
		事後:授業を振り返り、重要な事柄はスケジュール帳に書き込む。
	春休み課題の報告(1)	(学修内容)受講生による春休みの課題の発表と質疑応答。
	T PILOT BINGE OF TIX II ()	() ISIN) XIM TION OF INITION OF
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
2021		事前:発表用のレジュメを作成する。
		事後:発表後、指摘された問題点について再検討する。
	春休み課題の報告(2)	学校: 光秋校、沿洞された同感点について存続的する。 (学修内容)受講生による春休みの課題の発表と質疑応答。
	日からかは色の状亡(2)	(子形13日) 文明工にある日内のの財産の元代に負別が日。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
유이미		事前:発表用のレジュメを作成する。
		事後:発表後、指摘された問題点について検討する。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施(見学先未定・日程調整有り)
	71 - 101-7-7	(子杉内台)フィールドソークを実施(兄子元本定・口柱嗣堂有り)
第4回		(東前東後学校理師の中容)(60八)
寿 4凹		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:見学先について調べておく。
	**************************************	事後:見学後の課題を提出する。
	卒業研究テーマの検討	(学修内容)前回までの発表をふまえて、受講生で卒業研究テーマについて討論する
		0
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:春休み課題報告を各自復習する。
		事後:グループワークで指摘された課題を整理する。
	卒業研究テーマの決定と発表(1)仮題目提出・	(学修内容)卒業研究テーマを考え、仮題目を担当教員に提出し、今後の研究計画を
	計画立案	立てる。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:希望する研究テーマを決め、仮題目を考える。
		事後:仮題目と研究計画書を作成し、担当教員に提出する。
	卒業研究テーマの決定と発表(2)発表と質疑応	(学修内容)受講者による卒業研究テーマの発表と質疑応答。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前事後:卒業研究テーマを決定する。
	研究の進め方(1)個別発表	(学修内容)個々の研究の進め方について個別発表と質疑応答を行う。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前事後:研究テーマ・研究計画について各自整理する。
	研究の進め方(2)個別発表	(学修内容)個々の研究の進め方について個別発表と質疑応答を行う。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前事後:研究テーマ・研究計画について各自整理する。
	卒業研究の構成と章立ての検討	(学修内容)卒業研究の構成と章立ての方法について学ぶ。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:章立ての構成を考える。
		事後:章立て案を作成し、次回の授業時に提出する。
	構成と章立て案(1)個別面談	(学修内容)レポートの構成と章立て案について個別面談を行う。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後:構成と目次案に沿って研究のイメージを膨らませる。
	構成と章立て案(2)個別面談	(学修内容)レポートの構成と目次案について個別面談を行う。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後:構成と目次案に沿って研究のイメージを膨らませる。
	個別発表(1)発表と質疑応答	(学修内容)受講生の個別発表と質疑応答を実施する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を作成し発表する。
		事後:発表をうけての再考察と理解の深化。
	個別発表(2)発表と質疑応答	(学修内容)受講生の個別発表と質疑応答を実施する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を作成し発表する。
		事後:発表をうけての再考察と理解の深化。
	授業のふり返り、今後のスケジュール確認	(学修内容)夏休みに取り組む課題を整理する。秋学期のスケジュール確認。
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第15回		事後:秋学期以降のスケジュールを確認し、卒業研究に取り組む。
717 TOE		S. IX. IV. S. W. S. C. S. C. S. C. S. K. S.
		1

授 業 名	創作表現演習	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目 コード	CS2127
英 文 名	Senior Seminar II	開講時期	秋学期		必 修選 択	必修	
担当者	新矢 昌昭・工藤 美和子	対象 学生	総合文化2回生				
	「創作表現演習I」に引き続き、課題発見を通して自らの学修を完成 もって、多面的、論理的に考えた成果を、適切な表現方法を用いて 物作成過程を修正し、完成を目指す。						
授業の概要							
	1)卒業研究中間発表会で、研究テーマのポイントを踏まえてレジ 2)日本語表現や、レポートの体裁についても習得することができ 3)各自の研究テーマを、レポート12000字又は制作物とレポ	る。			3.		
学修成果到達目標							
	知識・理解	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と創	削造的思考			
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	 PBL		7ーク 月(自主学習支援)	プレ1	ゼンテーシ	ンョン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記(30		レポ - 実習		削作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (ソョン能力 課題を	発見・解決	夬能力)
テキスト	特に使用しません。受講者の卒業研究テーマに沿った参考書を随時	紹介します	Г.				
参 考 書	適宜、授業中に指示します。						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	中間発表は、必ず一人一度は行います。						
オフィスアワー	研究室前に日時を掲示します。確認してください。						
実践的教育							

授業名 創作表現演習

	刷IF 农场换目	
授業計画		学修内容・課題
	全体オリエンテーション	(学修内容)卒業研究レポートの書き方について確認する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事後事後:授業のまとめをする。
	中間発表会の準備(1)目的	(学修内容)中間発表会の準備をする。発表内容について担当教員より指導を受ける
第2回		。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前事後:中間発表会の準備をする。
	中間発表会の準備(2) 方法	(学修内容)中間発表会の準備をする。発表内容について担当教員より指導を受ける。。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前事後:中間発表の整理、パワーポイントやレジュメの準備を行う。
	中間発表会の準備(3) 考察	(学修内容)中間発表会の準備をする。発表内容について担当教員より指導を受ける
第4回		。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前事後:発表の練習を行う。
	中間発表会(1)個別発表と質疑応答	(学修内容)中間発表会第1回目を行う。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:担当教員にパワーポイント・レジュメを提出する。 事後:アドバイスを書き留めて、考察する。
	中間発表会(2)個別発表と質疑応答	(学修内容)中間発表会第2回目を行う。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:担当教員にパワーポイント・レジュメを提出する。 事後:アドバイスを書き留めて、考察する。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定、日程調整有り)。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前事後:見学先について調べておく。
	草稿の作成(1) 序論・本論・結論の3部構成 を知る	(学修内容)研究レポート提出に向けて草稿(下書き)を整え、体裁内容を点検する
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前事後:草稿を作成する。担当教員に進捗状況を報告し指導を受ける
	草稿の作成(2) 序論を書く	(学修内容)研究レポート提出に向けて草稿を整え、体裁内容を点検する。
第9回		(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前事後:草稿を作成する。担当教員に進捗状況を報告し指導を受ける
	草稿の作成(3) 本論を書く	。 (学修内容)研究レポート提出に向けて草稿を整え、体裁内容を点検する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前事後:草稿を作成する。担当教員に進捗状況を報告し指導を受ける。
	草稿の作成(4) 結論を書く	(学修内容)研究レポート提出に向けて草稿を整え、体裁内容を点検する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前事後:草稿を作成する。担当教員に進捗状況を報告し指導を受ける
	草稿の提出準備(制作物も含む)	。 (学修内容)研究レポート提出に向けて草稿を整え、体裁内容を点検する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前事後:草稿の提出準備をする。担当教員に進捗状況を報告し指導を
	草稿の提出(制作物も含む)	受ける (学修内容)草稿を整え、体裁内容を点検する。担当教員に提出し指導を受ける(制
第13回		作物も含む)。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
NJ TOE		事前事後:草稿を担当教員に提出するための点検作業を行う。
	卒業研究提出前の点検	(学修内容)「創作表現演習」の定期試験レポート(卒業研究レポート・制作物を
第14回		含む)の提出準備を行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前事後:内容、誤字脱字等の最終確認をする。
第15回	卒業研究提出前の点検(続き)	(学修内容)「創作表現演習」の定期試験レポート(卒業研究レポート・制作物を 含む)の提出準備を行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
와 IOI티		事前事後:内容、誤字脱字等の最終確認をする。

授 業 名	音楽史	開講学年	2回生	単 位 数	2単位	科目 コード	CL2716
英 文 名	History of Music	開講時期	秋学期		必修選択	選択	
担当者	盧 珠妍	対象学生	幼児教育2回生	<u> </u>			
授業の概要	本講義の目的は、古代から現代までの西洋音楽史を概観することである。授業に際しては、できるだけ楽譜、音源(生演奏含む)、映像資料を通して、その音楽的特徴を具体的に考察するように心がける。また、日本をはじめとした非西洋の音楽とも比較しながら、西洋音楽を相対化する視点も盛り込む。一方的な講義になることは極力避け、受講生によるプレゼンテーションやディスカッションの機会も取り入れて実施する。						
学修成果到達目標	1) 西洋音楽の史的展開を把握するとともに各時代・各作曲家の様: 2) 西洋および非西洋音楽の史的展開の特徴を比較・検討することに できる。 3) 西洋音楽と身近な音楽(ポップスなど)との繋がりについて関ル	こより、各	々の様式変遷につ	いて幅広し	1視野から	把握	
	知識・理解	沂	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		訓作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	北村英明『【改訂版】いちばんやさしい音楽史』メトロポリタンプレス、2012年 ト 授業時に紹介する。						
参考書							
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	授業で取り上げた音源・映像資料については各自で何度も視聴して	確認してま	(こと。				
オフィス アワー	研究室に日時を掲示するので、確認すること。						
実践的教育							

授業名 音楽史

	日朱丈	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
₩.4 E	オリエンテーション 音楽史を学ぶ意味	(学修内容)授業の内容・評価等について説明。人間にとって音楽がなぜ必要かについて考察し、音楽の歴史を学ぶ意味について理解する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前には自分なりに予備的考察を行い、授業後は学修内容について小レポートを作成し、提出すること。
第2回	古代の音楽	(学修内容)音楽の起源、古代ギリシア、古代ローマの音楽について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後は学修内容について小レ
7,20		ポートを作成し、提出すること。
第3回	中世の音楽	(学修内容)グレゴリオ聖歌からルネッサンス音楽までの流れを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
	パロック音楽(1)様式	授業前にテキストの該当ページを読み、授業後は学修内容について小レポートを作成し、提出すること。 (学修内容)オペラ、コンチェルト、器楽音楽について理解する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後はバロック音楽の様式に
	パロック音楽(2)音楽家	ついて小レポートを作成し、提出すること。 (学修内容)バロック時代の音楽家について理解する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後はバロックの音楽家たち について小レポートを作成し、提出すること。
第6回	前古典派の音楽	(学修内容)シンフォニーとソナタ形式から前古典派の音楽について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後は前古典派音楽の特徴に
	古典派の音楽(1)ハイドン、モーツアルト	ついて小レポートを作成し、提出すること。 (学修内容)古典派の作曲家ハイドンとモーツアルトの音楽について理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、発表準備をしておくこと。授業 後は学修内容について小レポートを作成し、提出すること。
	古典派の音楽(2)ベートーヴェン	(学修内容)古典派の作曲家ベートーヴェンの音楽について理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、発表準備をしておくこと。授業 後は学修内容について小レポートを作成し、提出すること。
第9回	前期ロマン派の音楽	(学修内容)前期ロマン派の特色と音楽家についてグループ発表・ディスカッションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、発表準備をしておくこと。授業後は前期ロマン派の音楽について小レポートを作成し、提出すること。
第10回	後期ロマン派の音楽	(学修内容)後期ロマン派の特色と音楽家についてグループ発表・ディスカッションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		授業前にテキストの該当ページを読み、発表準備をしておくこと。授業 後は後期ロマン派の音楽について小レポートを作成し、提出すること。
第11回	近代の音楽	(学修内容)19世紀後半から20世紀前半までの印象派音楽等について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後は近代音楽の特徴や傾向 について小レポートを作成し、提出すること。
第12回	現代の音楽	(学修内容)シェーンベルクの12音技法、ジョン・ケージの偶然性の音楽等ついて理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後は多様な現代の音楽につ
第13回	日本音楽史と西洋音楽史の変遷とその比較	いて小レポートを作成し、提出すること。 (学修内容)日本音楽と西洋音楽を比較しながら、それぞれの歴史的変遷を辿る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前にテキストの該当ページを読み、授業後は学修内容について小レポートを作成し、提出すること。
第14回	西洋音楽と非西洋音楽	(学修内容)西洋音楽と非西洋音楽を比較しながら、それぞれを相対的に捉える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前に配布資料を読み、授業後は学修内容について小レポートを作成 し、提出すること。
第15回	まとめと考察	(学修内容)講義全体を踏まえて、人間にとって音楽がなぜ必要かについて自分の考えをまとめ、グループで共有する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 5~10分程度の発表準備をする。

授 業 名	音楽療法概論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CL1701
英 文 名	Introduction to Music Therapy	開講時期	春学期		必修選択	選択	
担当者	坂口 みゆき	対象学生	幼児教育1回生				
授業の概要	音楽療法の歴史を踏まえながら、現在行われている音楽療法の実践いて,特に音楽療法の先進国である欧米の現状から学ぶ。また,音ぎを取り扱うのかを学ぶ。さらに,楽器を用いたワークショップやそだける「音楽」と一般的な「音楽」の相違点と類似点を体験的に学ぶ。	楽療法がた れに伴うす	フライエント (対象	(者) のど	のような:	ニーズ	
学修成果到達目標	1)音楽療法の歴史・実践・理論の概要を説明することができる。 2)音楽療法の実践領域と音楽療法が取り扱うニーズを説明することができる。 3)音楽療法における「音楽」の意義について説明することができる。		5.				
	知識・理解	<u> </u>	l用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力		
万町との財産							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	・グ PBL アイスカッション・ティベート グループワーク プレセンテーション プレセンテーション アイスカッション・エスス (中央・フィールドローク エスス (中央・フィールドローク アイスカッション・アイベート グループワーク						
評 価 方 法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	適宜プリントを配布する。						
参考書	稲田雅美 (2016)『こころをつなぐミュージックセラピー:ことばを超える音との対話』ミネルヴァ書房 藤田哲也監修 串崎真志編著 (2016)『絶対役立つ臨床心理学:カウンセラーを目指さないあなたにも』ミネルヴァ書房						
課題に対する フィードバック の方法	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
留意事項	毎回、配布プリントの次回の講義に関連する部分を読んだ上で授業I・主体的な取り組みを評価します。学生からの積極的な発言も歓迎!		(ださい。ワークシ	゚゚゚ョップで	は,特にホ	責極的	
オフィスアワー	週1回オフィスアワーを設けます。曜日と時間の詳細は研究室前に掲	示します	0				
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:英国公認音楽療法士であり,英国の障害児支持 を持つ。帰国後は,小児科併設施設で障害ので ってきた。授業では,臨床経験に基づいて事何 う。	ある子ども	5~青年の臨床や ,	高齢者施	設での臨り	末を行	

授業名 音楽療法概論

技 耒 石	日米怎么似洲		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
第1回	イントロダクション	اع	学期の授業計画について/音楽療法士(2種)資格について/音楽療法 は何か,その理解のための導入 課題の内容)(60分)
No. El		事	後学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
第2回	音楽療法の歴史と発展	国(事前事後学修	楽療法の誕生から現在までの発展について学ぶ。音楽療法とは何か, 際的な共通認識を学ぶ。 課題の内容)(60分)
	ワークショップ (実技とディスカッション):音	0	前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
第3回	ツークショック (美技とディスカッション):盲 楽療法で使う楽器に触れる・気持ちを音で表して みる	器 (事前事後学修	楽療法で使用する楽器に触れる。いろいろな気持ちや感情を様々な楽を使って即興的に表す体験をする。感じたことを話し合う。 課題の内容) (30分) 後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考
	心理療法としての音楽療法 : 行動学的アプロー	(学修内容)行	たことなどを小レポートにまとめ提出する。 動理論に基づく音楽療法の理論と実践について学ぶと同時に音楽療法 はおめにはた思いな。エレスのもも理解する。
第4回	チ - -	(事前事後学修	基本的に何を取り扱っているのかを理解する。 課題の内容)(60分) 前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
	心理療法としての音楽療法 : 人間性心理学的ア プローチ	学	間性心理学に基づく音楽療法の理論と実践について学ぶ。人間性心理 から他のアプローチにも通底する「セラピストの在り方」を学ぶ。
第5回			課題の内容)(60分) 前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
	ワークショップ (実技とディスカッション):図 形楽譜を使って即興する	プ:	形楽譜を用いて,即興的な音楽づくりを体験的に学ぶ。ワークショッ を通して感じたことなどを話し合う。
第6回		事	課題の内容)(30分) 後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考 たことなどを小レポートにまとめ提出する。
	心理療法としての音楽療法 :精神分析的アプローチ	(学修内容)精	神分析理論に基づく音楽療法の理論と実践について学ぶ。
第7回			課題の内容)(60分) 前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
	音楽療法の対象者と実践形態	ズ	楽療法が対象者のどのようなニーズを取り扱うのかを学ぶ。またニー に応じた実践形態を学ぶ。
第8回			課題の内容)(60分) 前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
第9回	ワークショップ (実技とディスカッション):絵 を演奏する	Ü	を見ながら,即興的な音楽づくりを行う。ワークショップを通して感たことなどを話し合う。 課題の内容)(30分)
		え	後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考たことなどを小レポートにまとめ提出する。
第10回	音楽療法の「音楽」について	楽	楽療法における「音楽」について学ぶ。「即興的な音楽づくり」が音療法の臨床に用いられる意義を理解する。 課題の内容)(60分)
	入现在法儿世华の在若	0	前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
第11回	心理療法と芸術の意義	l L	こまで学んできたことを踏まえて,改めて「心理療法」とは何か考察 ,心理療法における芸術の意義を検討する。 課題の内容)(60分)
	ローカショップ (中世レディフャッションハ・畑	事 [:] 小	後学修として,この授業で学んだ「心理療法における芸術の意義」を レポートのまとめ提出する。 本などの物語を読み,即興的な音楽づくりをする。ワークショップを
第12回	ワークショップ (実技とディスカッション):物 語を演奏する	通(事前事後学修	して感じたことなどを話し合う。 課題の内容)(30分)
	近年の在水底注の動力 。 在水中 3. 在 9 底汁	え	後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考たことなどを小レポートにまとめ提出する。
第13回	近年の音楽療法の動向 : 音楽中心音楽療法	考	音楽中心音楽療法」について学ぶ中で,即興的な音楽づくりの本質を える。 課題の内容)(60分)
	近年の辛滋療法の動力 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
第14回	近年の音楽療法の動向 : 文化中心音楽療法	ン (事前事後学修	文化中心音楽療法」について学ぶ中で,人と文化の関係と,クライエトの抱えるニーズについて理解を深める。 課題の内容)(60分) 前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめて提出する
	ワークショップ (実技とディスカッション):「	0	前字修として、配布資料を読み内容を小レホートによどのて提出する 今」思いつくままに、即興で音を奏で、音楽づくりをする。ワークシ
第15回	今」を演奏する	(事前事後学修	ップを通して感じたことなどを話し合う。 課題の内容)(30分) 後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考
			俊字修として,ワークショップを通して感したことや思ったこと,考 たことなどを小レポートにまとめ提出する。

授業名	音楽療法各論	開講	1回生	単位数	2単位	科目	CL1704
	Advanced Music Therapy	学 年 開 講	· · · · · 春学期		必修	<u>コード</u> 選択	
	.,	時期 対象			選択	75.1/1	
担当者	坂口 みゆき	学生	幼児教育1回生 				
授業の概要	音楽療法概論を踏まえて,心理療法としての音楽療法についてさらさらに詳しく学び,音楽療法がクライエントをどのように援助する、「音楽」について,ワークショップやそれに伴うディスカッション・	のか考察す	る。音楽療法概論	能に引き続	-		
	1)対象者の抱える様々なニーズを説明することができる 2)様々なニーズを抱える対象者に対する音楽療法の概要を説明す 3)芸術的手段を通して創造的かつ自由に自己表現をすることがで			∤の内的反	応を素直に	感じ	
学修成果到達目標	ることができるようになる。						
	知識・理解	洌	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・		└──┴ グループワ	1 — <i>h</i>	 1.	ゼンテーシ	. = >,	
ラーニング 対象授業			,一ラ 引(自主学習支援)		627 - s	/ 3 /	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記		ま習		削作物 尾技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	プョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	適宜プリントを配布する。						
参考書	稲田雅美 (2016) 『こころをつなぐミュージックセラピー:ことば 藤田哲也監修 串崎真志編著 (2016)『絶対役立つ臨床心理学:カウ				ネルヴァ書	書房	
課題に対する フィードバック の方法	授業内で提出したレポートについては,コメント等を入れて返却す ワークショップやディスカッションでは,その場で適宜口頭でコメ		等を行う。				
留意事項	配布プリントの次回の講義に関連する部分を読んだ上で授業に臨ん 的な取り組みを評価します。また,学生からの積極的な発言は歓迎		1。ワークショッフ	では特に	,積極的	・主体	
オフィスアワー	週1回オフィスアワーを設けます。曜日と時間の詳細は研究室前に掲	示します。	,				
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:英国公認音楽療法士であり,英国の障害児支 を持つ。帰国後は,小児科併設施設で障害の ってきた。授業では,臨床経験に基づいて事	ある子ども	。~青年の臨床や ,	高齢者施	設での臨尿	₹を行	

授業 名 音楽療法各論

漢	1X * I	日末次八口間	
第1回	授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回		イントロダクション:音楽療法士に求められるも	
第2回 日東原法上の仕事を報酬する (学校内容) 自義原法上の仕事の実施について、配布資料を読みながら理解する。 (学校内容) 自義原法上の仕事の実施について、配布資料を読みながら理解する。 (学校内容) 自動の事業を発起のの合う (80分) 事業を考えている。 (学校内容) 自動の事業を表起のの合う (80分) 事業を考えている。 (学校内容) コラージュを制作し、作ったコラージュを見ない 前期側の上の方では、 (学校内容) コラージュを制作し、作ったコラージュを見ない 前期側の上の方では、 (学校内容) コラージュを制作し、作ったコラージュを見ない 前期側の上の方では、 (学校内容) コラージュを制作し、作ったコラージュを見ない (国際人工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		lo lo	について確認する/音楽療法士に求められるものについて学ぶ
(学校内容)音楽商法工の仕事を報望する (学校内容)音楽商法工の仕事の実際について、配名資料を訪めながら理解する。 (事前事を学校出版の内容)(の分) 第28回 フークショップ(実践とディスカッション): (学校内容) コージン3を指し、中の口の万事で学んだことを中心ボートにまとめて交出する。 (学校内容) コージュを現在がらいます。 (学校内容) コージュを現在がらいます。 (学校内容) コージュを現在がらいます。 (学校内容) コージュを現在がらいます。 (学校内容) スークショップを通して感じたことなどを認ら合う。 (学校内容) スークショップを通して感じたことを思い合う。 (学校内容) スークショップを通して感じたことなどを認ら合う。 (学校内容) 大きなといまり。 (学校内容) スークショップを通して感じたことを見い合う。 (学校内容) 大きなといまり。 (学校内容) スークショップを通して感じたことを見い合う。 (学校内容) スークショップを通して感じたことを見い合う。 (学校内容) スークショップを通して感じたことをと表しまう。 (学校内容) スークショップを通して感じたことをと表しまう。 (学校内容) スークショップを通して感じたことなどを記し合う。 (学校内容) スークショップを通して感じたことなどを記しる。 (学校内容) おいて、日本でないの発生を担い合う。(学校内容) おいて、日本でないの表します。 (学校内容) おいて、日本でないの表します。 (学校内容) おいて、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では	第1回		
選問			事後学修として、配布資料を読み感想を小レポートにまとめて提出する
選問		文文をはよる八声と短知士で	(学校中央) 立文庁は上の八市の中郷について、私大次則とはつかがら四知さる
##2年後として、今日の投資で学んだことを小レポートにまとの代望出 する。		百栄療法工の任事を概観する 	
# 10回	第2回		
第3回 フークショップ (実技とディスカッション): (学像内容) コラージュを表皮がら即側的な音楽プく) をから、ワークショップを辿して思いたことなどを貼し合う。 (事命 東学修設理の内容) (別か) 事件を終して、ワークショップを辿して思いたことや思ったこと、考えことなどをいか。 (本) アークショップを辿して思いたことや思ったこと、考えことなどをいか。 (本) アークショップを辿して思いたことや思ったこと、考えにことのをいか。 (本) アークショップを辿して思いたことや思ったこと、考えことなどをいか。 (本) アークショップを辿して思いたことが思ったこと、考えことなどをいか。 (本) アークショップを辿して思いたことが思った。 (本) アークショップを辿して思いた。 (本) アー・バン ア	카 스티		
# 20			
# 第3回		ワークショップ (実技とディスカッション):	(学修内容)コラージュを制作し,作ったコラージュを見ながら即興的な音楽づくり
第4回		コラージュを演奏する	をする。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	第3回		\ - \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
###			
###			
第4回			
第10回 東語の護助と音楽療法 : 二一ズのある子どもの 飛譜を護助する音楽療法 : 二一ズのある子どもの 飛譜を護助する音楽療法 : 二人のある子どもの 飛譜を護助する音楽療法 : 二人のある子どもの 飛譜を護助する音楽療法 : 三人のある子どもの 飛譜を護助する音楽療法 : 三人のある子どもの 東部学権として、配布資料を読み、内容を小レボートにまとめ提出する。 「学修内音)音楽を推賞しながら、様々な素材を用いて自由に描画・制作をする。ワークショッブを通して感じたことなどを比らる。 「学修内音)音楽を推賞しながら、様々な素材を用いて自由に描画・制作をする。ワークショッブを通して感じたことなどを比らた。 「学修内音)	第4回	1996 1276	
第2回	71		
# 東京			
第5回			
# 10回		発達を援助する音楽療法	
##60回	第5回		事前学修として,配布資料を読み,内容を小レボートにまとめ提出する
##60回			0
##60回		ワークショップ (実技とディスカッション):	(学修内容)音楽を鑑賞しながら、様々な素材を用いて自由に描画・制作をする。ワ
# 1980 (事前事後学修課題の内容) (30分) 第 1980 (学修内容) 別的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ (学修内容) 知的障害者の心のニーズについて、特にシナソンのセカンダリー・ハンディキャップの概念を通して学ぶ。 (学修内容) 知的障害者の心のニーズにのにた、特にシナソンのセカンダリー・ハンディキャップの概念を通して学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (00分) 第 1980 (学修内容) 第 1980 (学修内容) (60分) 第 1980 (60分) (60分) 第 1980 (60分) (60分) (70分) (-	
第10回	第6回		
### 第7回 知的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ (学修内容) 知的障害者の心のニーズについて、特にシナソンのセカングリー・ハンディキャップの概念を通して学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 #### 第9回 知り扱う音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ (学修内容) 別的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) 別的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 ##### 第10回 精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 前回のワークショップで制作したものを音楽で表す (学修内容) 前神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 指神疾患の概要を学び、精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 精神疾患の概要を学び、精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 精神疾患の概要を学び、精神疾患を急力人びとの心のニーズや社会的ニーズについて考える。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 ###################################			事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考
第1回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 期的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ (学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第1回 (学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第1回 (学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第1回 (学修内容)知の障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第2 (学修内容)知の障害者の心のニーズを取り近くなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第2 (学修内容)知の障害を音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) (30分) 第2 (学修内容) (30分) 第3 (学修内容) (30分) 第4 (学修内容) (30分) 第4 (学修内容) (30分) 第4 (学修内容) (30分) 第5 (学修内容) (30分) 第6 (学修内容) (30分) 第6 (学修内容) (30分) 第7 (学修内容) (30分) 第6 (30分) 第7 (学修内容) (30分) 第7 (学修内容) (30分) 第6 (30分) 第7 (学修内容) (30分) 第6 (30分) 第7 (第7 (30分) 第6			
第8回		知的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ	
第8回 知的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ (学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、の一つショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考えたことなどを小レボートにまとの提出する。 (学修内容)精神疾患の概要を学び、精神頑害を患う人びとの心のニーズや社会のニーズにひじて考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神障害をかしていて考える。 (事前事後学修理の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 財力音楽療法 : 高齢者が患う病の経費を学び、局前者のことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、の一クショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修理の内容)(30分) 事後学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修理の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修理題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者の二一ズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) 高齢者の二一ズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) 所能者の一定の代定となどを感想を話し合う。 (事前事後学修理題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) が学期に学んだことのまとめと、グループトにまとめ提出する。 (学修内容) が学期に学んだことのまとめと、グループトの関を行う。 ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修理題の内容)(30分) 事が学として、の一クショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修理題の内容)(30分) 事が学修として、ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修理題の内容)(30分) 事が学をとして、ワークショップを通して感じたこと、考	<u>شع</u> ت		
第8回 知的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ (学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学をとして、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 ワークショップ (実技とディスカッション): お作したものを音楽で表す (学修内容)前回のワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えことなどを心ルボートにまとめ提出する。 (学修内容) 前神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 精神疾患と音楽療法 : 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 (学修内容)精神疾患の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 精神障害者の二ーズを取り扱う音楽療法とコーズに応じた実践形態についだすぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 新神障害者の二ーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態についから言葉を音楽で表す (学修内容) 所治副と名詞を組み合わせて言葉をつい、その言葉を思則的に音楽で表す。 (学修内容) 所治副と名詞を組み合わせて言葉をつい、その言葉を思則的に音楽で表す。 (学修内容) 所名詞と名詞を組み合わせて言葉をつい、その言葉を即用的に音楽で表す。 (学修内容) 所名詞と公司・アクショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、の一クショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどを小がボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者の悪者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (学修内容) 高齢者の悪力の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (学修内容) 高齢者の悪力の検討を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者の一文を取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) 高齢者の一文を取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) 高齢者の一文を取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) の音楽療法について学ぶ。 (学修内容) の音を進して、配のでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	弗/凹		
第9回 を取り扱う音楽療法 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 ワークショップ (実技とディスカッション): 制作したものを音楽で表す であ。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修理的内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修理の内容)(30分) 事後学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 フークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修理の内容)(30分) 事務学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 高齢者のエーズを取り扱う音楽療法 : 高齢者と音楽表法 : 高齢者を音楽で表す (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 高齢者の上のよります。 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 高齢者が患う病と心のニーズ (学修内容) 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 高齢者が患う病と心のニーズ (学修内容) 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 : 高齢者が患う病と心のニーズ (学修内容) 大き、ロークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者の一ズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)科学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考 第415回 ないことなどを感想を話し合う。 (学修内容)科学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考 事後学修定して、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考 第45回			争削子形として、配印具件を読の内台を小レが一下によどの提出する。
第8回		知的障害と音楽療法 : 知的障害者の心のニーズ	(学修内容)知的障害者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。
第9回		を取り扱う音楽療法	
第9回 お作したものを音楽で表す (学修内容)前回のワークショップで制作したものを見ながら即興的な音楽づくりをする。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどを小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患の概要を学び、精神障害を患う人びとの心のニーズや社会的ニーズについて考える。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 精神疾患と音楽療法 :精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 (学修内容) 所容にして、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 所容にとなどをがして、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 所容にとなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 事的学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 所容制と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 所容制と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 所容制と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 所容制と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 所の概要を学して、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者が思う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (学修内容) 高齢者が思う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (学修内容) 高齢者が思う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (学修内容) 所能者の一工ズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 事物学修として、アークショップを通して感じたことや思ったこと、考 を通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 事物学修定して、アークショップを通して感じたことや思ったこと、考	第8回		
#10回 お作したものを音楽で表す する。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事務学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考えたことなどを小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患の概要を学び、精神障害を患う人びとの心のニーズや社会的ニーズについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患と音楽療法 :精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)を診験を対して、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)を診験を対して、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)を診験を対して、配布資料を読み内容を小レボートにまとの提出する。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを取り扱う音楽療法 :高齢者が患う病と心のニーズを取り扱う音楽療法 :高齢者が患う病と心のニーズを取り扱う音楽療法 :高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを表える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなど感想を話し合う。(事前事後学修課題の内容)(30分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。			事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。
#10回 お作したものを音楽で表す する。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事務学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考えたことなどを小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患の概要を学び、精神障害を患う人びとの心のニーズや社会的ニーズについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患と音楽療法 :精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)を診験を対して、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)を診験を対して、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)を診験を対して、配布資料を読み内容を小レボートにまとの提出する。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを取り扱う音楽療法 :高齢者が患う病と心のニーズを取り扱う音楽療法 :高齢者が患う病と心のニーズを取り扱う音楽療法 :高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを表える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなど感想を話し合う。(事前事後学修課題の内容)(30分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。		ロークショップ (宝はとディフカッション)・	(学修内容)前回のロークショップで制作したまのを目かがら即興的な音楽づくけた
#99回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修上して、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどをかしポートにまとめ提出する。 (学修内容)精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容)精神疾患の概要を学び、精神障害を患う人びとの心のニーズや社会的ニーズについて考える。(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 (学修内容)所容割と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。「学修内容)所容割と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。「一クショップ (実技とディスカッション): (学修内容)所容調と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。(事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどを小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)所容前の概要を学び、高齢者ののニーズを表える。(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者の一てズを取り扱う音楽療法について学ぶ。(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者の二てズを取り扱う音楽療法について学ぶ。(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)新学修課題の内容)(60分) 事前学後として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)新学修課題の内容)(60分) 事前学後として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。			() letter 3 miles 1 mil
第10回 精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 精神疾患を音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容) 精神疾患の内容 (60分) 事前学修として、DT・内にまとめ提出する。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態につい扱う音楽療法 (学修内容) 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 形容詞と名詞を起み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す (学修内容) 形容詞と名詞を起み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 形容詞と名詞を起み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 形容詞と名詞を起み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。 (学修内容) 形容詞と名詞を出み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表ま、ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 事を学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどをが見出する。 (学修内容) 高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者の二一ズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考 を通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 事物学修課題の内容) (30分) 事が学修課題の内容) (20分) 事が学修理に受いたことなどを感想を話し合う。 (学修内容) 秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考 を通りていましていましていましていましていましていましていましていましていましていまし	第9回	STORY CITY	
第10回 精神疾患と音楽療法 : 精神疾患の概要 (学修内容)精神疾患の概要を学び,精神障害を患う人びとの心のニーズや社会的ニーズについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 精神障害者の二一ズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す 現立を通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことなどをありたこと、考えたことなどをハレポートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) 秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修課題の内容)(30分) 事後学修課題の内容)(50分) 事後学修課題の内容)(50分) 事後学修課題の内容)(50分) 事後学修課題の内容)(50分) 事後学修課題の内容)(50分) 事前学修として、のークショップを通して感じたことも思ったこと、考			事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考
#11回 (字修内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (字修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 「学修内容)形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。フークショップを通して感じたことなどを話し合う。(事前事後学修課題の内容) (30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。(事前事後学修課題の内容) (30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことなどを思ったこと、考えたことなどを小レポートにまとめ提出する。 第13回 高齢者と音楽療法 : 高齢者のニーズを取り扱う 音楽療法 (学修内容)高齢者の一ズを取り扱う音楽療法 (学修内容)高齢者の二、ズを取り扱う音楽療法 (学修内容)高齢者の二、ズを取り扱う音楽療法 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容) (第15回 大学期の書とめとワークショップ (実技とディスカッション) : 年度終わりの即興演奏 (学修内容) 秋学期に学んだことのまとめと、グルーブ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。(事前事後学修課題の内容) (30分) 事後学修建題の内容) (30分) 事後学修建題の内容) (30分) 事後学修建題の内容) (30分) 事後学修建型の内容) (30分) 事後学修建して、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考			
#11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 :精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法 (学修内容)精神障害者の二一ズを取り扱う音楽療法 (学修内容) 形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す (学修内容)形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す (学修内容)形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ロークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ロークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどを小ルボートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 新り学修として、配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。 (学修内容) 秋学期に学んだことのまとめと、グループ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課覧の内容)(30分) 事後学修課を関の内容)(30分) 事後学修課を関の内容)(30分) 事後学修課を関の内容)(30分) 事後学修課をじして、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考		精神疾患と音楽療法 :精神疾患の概要	
第11回 精神疾患と音楽療法 : 精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態につり扱う音楽療法 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 フークショップ (実技とディスカッション): 言葉を音楽で表す (学修内容)形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり、その言葉を即興的に音楽で表す。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事事後学修課題の内容)(30分) 事事後学修課題の内容)(30分) 事前学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどを小レポートにまとめ提出する。 第13回 高齢者と音楽療法 : 高齢者が患う病と心のニーズを取り扱う音楽療法 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 第14回 新学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 ※第14回 大学期のまとめとワークショップ(実技とディスカッション): 年度終わりの即興演奏 (学修内容) 新学等修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 ※第15回 大学期のまとめとワークショップ (実技とディスカッション): 年度終わりの即興演奏 (学修内容)科学期に学んだことのまとめと、グループ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考	***		
第11回 精神疾患と音楽療法 :精神障害者のニーズを取 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 フークショップ (実技とディスカッション): (学修内容)形容詞と名詞を組み合わせて言葉をつくり,その言葉を即興的に音楽で表す。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。(事前事後学修課題の内容)(30分)事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考えたことなどを小レポートにまとめ提出する。 第13回 高齢者と音楽療法 :高齢者が患う病と心のニーズ (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び,高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者の二一ズを取り扱う音楽療法について学ぶ。(事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 秋学期のまとめとワークショップ (実技とディスカッション):年度終わりの即興演奏 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと、グループ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。(事前事後学修課題の内容)(30分)事等後学修課題の内容)(30分)事後学修課題の内容)(30分)事後学修課題の内容)(30分)事後学修課題の内容)(30分)事後学修課題の内容)(30分)事を受修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考	第10回		() has also be mine a roll of ()
#11回			争則子修として、配布員科を読め内谷を小レホートによるの提面する。
#11回		 精神疾患と音楽療法 :精神障害者のニーズを取	 (学修内容)精神障害者のニーズを取り扱う音楽療法とニーズに応じた実践形態につ
#12回 第12回			
#112回 第12回	第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
表す。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。			事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。
表す。ワークショップを通して感じたことなどを話し合う。			/ 当成中央 / 形穴均しを付き知ったもサインは、フェー芸を中間のたっさかっ
#12回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考えたことなどを小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び,高齢者の心のニーズを考える。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び,高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 秋学期のまとめとワークショップ (実技とディスカッション):年度終わりの即興演奏 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと,グループ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考		1	
事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考えたことなどを小レポートにまとめ提出する。 高齢者と音楽療法 : 高齢者が患う病と心のニーズ ズ	第12回	口木と日本となり	
えたことなどを小レポートにまとめ提出する。	A 12년		\ - \ \ - \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
第13回 高齢者と音楽療法 : 高齢者が患う病と心のニーズを得える。 (学修内容)高齢者が患う病の概要を学び、高齢者の心のニーズを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 音楽療法 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として、配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 秋学期のまとめとワークショップ (実技とディスカッション):年度終わりの即興演奏 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと、グループ即興を行う。ワークショップを通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として、ワークショップを通して感じたことや思ったこと、考			
#13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。			(学修内容)高齢者が患う病の概要を学び,高齢者の心のニーズを考える。
第14回	77 ·	ズ	(本学本//学校四年の上内)、(227)
第14回 高齢者と音楽療法 : 高齢者のニーズを取り扱う (学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと,グループ即興を行う。ワークショップ スカッション):年度終わりの即興演奏 (学修内容)秋学期に学んだことのまとめと,グループ即興を行う。ワークショップ を通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考	第13回		
## 音楽療法 (事前事後学修課題の内容)(60分)			争刑子形として、配仰具件を読め内台を小レホードによるの提出する。
## 音楽療法 (事前事後学修課題の内容)(60分)		高齢者と音楽療法 : 高齢者のニーズを取り扱う	(学修内容)高齢者のニーズを取り扱う音楽療法について学ぶ。
第前学修として,配布資料を読み内容を小レポートにまとめ提出する。 秋学期のまとめとワークショップ (実技とディスカッション):年度終わりの即興演奏			
秋学期のまとめとワークショップ (実技とディスカッション):年度終わりの即興演奏 年通して感じたことなどを感想を話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考	第14回		
スカッション): 年度終わりの即興演奏 第15回			事前学修として,配布資料を読み内容を小レボートにまとめ提出する。
スカッション): 年度終わりの即興演奏 第15回			
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考			
事後学修として,ワークショップを通して感じたことや思ったこと,考	第15回		

授業名	音楽療法演習	開講	2回生	単位数	2単位	科目	CL2709	
	Seminar on Music Therapy	学 年 開 講	春学期		必修	選択		
	.,	時期 対象		_	選択			
担当者	坂口 みゆき	学 生	幼児教育2回生 					
授業の概要	即興的かつ創造的な音楽活動を学生自ら展開し、体験的な学びをさ (保育実習 又は)に向けて子どもの発達を促す音楽活動を考え 者に見立てて実践する(ワークショップ)。ディスカッションやレン る力や、考え・感じたことを他者と共有する力を身につける。	発表し(ス	プレゼンテーション	/), クラ	スメイトを	を対象		
学修成果到達目標	1) 即興的な音楽活動を考案し,活動を主導・調整することができる 2) 子どもの発達を踏まえた音楽活動を考案することができる 3) 2)の音楽活動を発表し,ワークショップを展開することができる 4) 上記の体験的学びををレポートにまとめ考察することができる							
学位授与の	知識・理解態度・志向性		l用的技能 ※合的な学習経験と	創造的思:				
方針との関連	ISIN INTE	nvc			3/1			
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記		・ レポ 実習		削作物 €技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テキスト	必要に応じて資料を配布する							
参考書	稲田雅美著『こころをつなぐミュージックセラピー: ことばを超え	る音との対	討話』ミネルヴァ書	房				
課題に対する フィードバック の方法	授業内で提出したレポートについては,コメント等を入れて返却する。 5 ワークショップやディスカッションでは,その場で適宜口頭でコメント・助言等を行う。 7							
留意事項	本演習は音楽療法実習の事前指導的な性格を持つため,本科目未履修の場合,また提出物の未提出や無断欠席等により単位を取得できなかった場合,実習ができなくなることがあります。積極的な取り組みと努力を特に必要とします。							
オフィスアワー	週1回オフィスアワーを設けます。曜日と時間の詳細は研究室前に掲	 引示します。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:英国公認音楽療法士であり,英国の障害児支 を持つ。帰国後は,小児科併設施設で障害の ってきた。授業では,臨床経験に基づいて実	ある子ども	ら~青年の臨床や,	高齢者施				

授業名 音楽療法演習

按 耒 石	日米原本供白		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	・イントロダクション	(学修内容)春	学期の授業計画と音楽活動の発表について説明を受け理解する。クラ
	・グループ即興の経験	ス:	メイトと即興的な音楽づくりを通して再会する。
第1回			課題の内容)(30分)
			後学修として,グループ即興を通して感じたことや考えたことを小レ
	│ │・子どもの発達と援助 :音楽療法と保育の共通		- トにまとめ提出する。継続的なグループ即興を経験する。 どもの発達とその援助について学ぶ中で、音楽療法と保育の共通点と
	・」ともの光度と扱助・・自来像など休育の共通 点と相違点		宣伝を理解する。継続的なグループ即興を経験する。
第2回	・グループ即興の経験		課題の内容)(60分)
			<u> </u>
			ートにまとめ提出する。
	・子どもの発達と援助 :子どもの音楽発達		どもの音楽発達について概観し、音楽を介した発達の援助にどのよう
第3回	・グループ即興の経験 		生かすことができるか考える。継続的なグループ即興を経験する。 課題の内容)(60分)
카이드			後学修として,グループ即興を通して感じたことや考えたことを小レ
			一トにまとめ提出する。
	・即興的音楽づくりのワークショップの考案と実		表者が考えた即興的な音楽づくりのワークショップを実施しディスカ
~~ . -	践		ションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第4回	・グループ即興の経験		课題の内容)(60分) 表者はワークショップの準備をする。事後学修として,グループ即興
			R 自はワーケショックの卒禰をする。事後子修として,グループ印典 通して感じたことや考えたことを小レポートにまとめ提出する。
	・即興的音楽づくりのワークショップの考案と実		表者が考えた即興的な音楽づくりのワークショップを実施しディスカ
	践	พร	ションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第5回	・グループ即興の経験		課題の内容)(60分)
			表者はワークショップの準備をする。事後学修として,グループ即興
	 ・即興的音楽づくりのワークショップの考案と実		通して感じたことや考えたことを小レポートにまとめ提出する。 長者が考えた即興的な音楽づくりのワークショップを実施しディスカ
	・印英的自来ライリのケーケショックの考案と美 践		没有が考えた即興的な自業プトリのグープショップを実施しティスカー ションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第6回	・グループ即興の経験		アヨン とする。
		発表	表者はワークショップの準備をする。事後学修として,グループ即興
			通して感じたことや考えたことを小レポートにまとめ提出する。
	・子どもの発達に即した音楽活動 :0歳児クラ		別の発達段階を踏まえた音楽活動について発表担当者が発表・実施
第7回	ス ・グループ即興の経験		, ディスカッションをする。継続的なグループ即興を経験する。 課題の内容)(60分)
寿/凹	・グループ印典の経験		^{味起の内} 谷)(60ヵ) 表者は発表の準備をし,配布するレジュメを作成する。事後学修とし
			,グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出する。
	・子どもの発達に即した音楽活動 :1歳児クラ	(学修内容)1歳	児の発達段階を踏まえた音楽活動について発表担当者が発表・実施
	X		, ディスカッションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第8回	・グループ即興の経験		課題の内容)(60分) まなは35まの進供なり、わなさるしぶ。 <i>しも作</i> ばさる。 ま後 <i>巻</i> ねしし
			表者は発表の準備をし,配布するレジュメを作成する。事後学修とし ,グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出する。
	 個別指導 :子どもの発達に即した音楽活動の発		子どもの発達に即した音楽活動」の発表に向けて、個別指導を受ける
	表に向けて		
第9回		1 -	課題の内容)(60分)
		I	どもの発達に即した音楽活動の発表内容を考え,ノート等にまとめて
	 個別指導 :子どもの発達に即した音楽活動の発		参する。 子どもの発達に即した音楽活動」の発表に向けて,個別指導を受ける
	個別指導 . 」ともの光達に即じた音楽活動の光 表に向けて		前回からの続き)。
第10回			課題の内容)(60分)
		子。	どもの発達に即した音楽活動の発表内容を考え,ノート等にまとめて
	7 11 4 5 7 7 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		参する。 5日の水法の水土がようと立めばましていて水土の火土が水土。 ウケ
	・子どもの発達に即した音楽活動 : 2歳児クラ		児の発達段階を踏まえた音楽活動について発表担当者が発表・実施 ,ディスカッションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第11回	ス ・グループ即興の経験		,テイスカツションをする。継続的なグルーノ即興を経験する。 課題の内容)(60分)
77111			RMBの内音が(300万) 表者は発表の準備をし,配布するレジュメを作成する。事後学修とし
		て	, グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出する。
	・子どもの発達に即した音楽活動 : 3歳児クラ		児の発達段階を踏まえた音楽活動について発表担当者が発表・実施
****	スープロ園の収録		,ディスカッションをする。継続的なグループ即興を経験する。 問題の内容 > 7.50(2) >
第12回	・グループ即興の経験 		课題の内容)(60分) 表者は発表の準備をし,配布するレジュメを作成する。事後学修とし
			では光衣の牛俑をひ、配作するレンユスを1F成する。 事後子修とし 、グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出する。
	・子どもの発達に即した音楽活動 : 4歳児クラ		, フループは兵の経験について近い、「下によこの旋曲する。 児の発達段階を踏まえた音楽活動について発表担当者が発表・実施
	Z	U	,ディスカッションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第13回	・グループ即興の経験		課題の内容)(60分)
			表者は発表の準備をし,配布するレジュメを作成する。事後学修とし
	│ │・子どもの発達に即した音楽活動 :5歳児クラ		,グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出する。 関の発達段階を踏まえた音楽活動について発表担当者が発表・実施
	ここの発達に即じた自来治勤 この成九ノノ ス		,ディスカッションをする。継続的なグループ即興を経験する。
第14回	・グループ即興の経験		課題の内容)(60分)
			表者は発表の準備をし、配布するレジュメを作成する。事後学修とし
	ウ羽にカルマルカロ根マッカツバギレット・マン		, グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出する。 ニキスの恋まも吹きるスクな思想スの文字が表しているできる。
	・実習に向けて保育現場での音楽活動について改 めて考える		こまでの発表を踏まえて保育現場での音楽活動について改めて考える 継続的なグループ即興を経験する。
第15回	めて考える ・グループ即興の経験		歴紀的はグルーノ即興を経験する。 課題の内容)(60分)
No TOE			後学修として,グループ即興の経験について小レポートにまとめ提出
		र्च व	

授 業 名	音楽療法総合演習	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2717
英 文 名	Integrated Seminar of Music Therapy	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	坂口 みゆき	対 象 学 生	幼児教育2回生				
授業の概要	音楽療法の実際について事例を通して学ぶことを中心とする。必要 ワークショップを通して考察を深める。また,即興的音楽づくりの 他者とコミュニケートすることを学ぶ。自分自身を理解することを	ワークショ	ョップを行い,即興	的・創造	的に自己を	表現し	
学修成果到達目標	1)音楽療法の対象者のニーズを理解・考察することができる 2)事例を通して音楽療法の臨床を学び,その在り方や介入につい 3)講義・ディスカッション・ワークショップを通して学んだ内容	をレポート	・にまとめ考察する	ことがで	්		
学位授与の	知識・理解態度・志向性	-	見用的技能 合的な学習経験と	創造的思:	 老力		
方針との関連	AND AND IT	MC			3/1		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 目(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	適宜資料を配布する						
参考書	稲田雅美著『こころをつなぐミュージックセラピー:ことばを超え	る音との対	討話』ミネルヴァ書	房			
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	ディスカッションやワークショップを通して学びを深めます。 積極	的・自主的	アンスに貢献す	る姿勢を	 評価します	手 。	
オフィスアワー	週1回オフィスアワーを設けます。曜日と時間の詳細は研究室前に掲	示します。	,				
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:英国公認音楽療法士であり,英国の障害児支 を持つ。帰国後は,小児科併設施設で障害の ってきた。授業では,臨床経験に基づいて事 う。	ある子ども	ら~青年の臨床や ,	高齢者施	設での臨尿	末を行	

授業 名 音楽療法総合演習

・心の発達を援助する音楽療法の実際 :介入の 実際 - かしか - がルーブの関連を援助する音楽療法の実際 :介入の 実際 - がルーブの内臓を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び - かいの発達を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び - かいの発達を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び - がルーブの内臓を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び (標音) - かいの発達を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び (標音) - ・かいの発達を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び (標音) - ・・かいの発達を援助する音楽療法の実際 :体験的 学び (標音) - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		日木/ふ/公総口/宍日		
# カッションする。 熱熱的なグルーブ和胃を競壊する (事業を教護部の内容 1 (302)	授業計画	学修項目		学修内容・課題
### (・イントロダクション:実習の振り返り		
# 大学で行った自来派話の内容や成形・反抗会系表する事像をしていた。		・グループ即興の経験		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第1回			=
・心の発達を援助する音楽展派の実際 : 自事ス				
)		
# 20回 ・グルーブ即興の経験 (事前事金令後譲渡の内容) (の分) # 後少学としてグルーブ即興の経験についてルレボートにまとめ、 「学教内容) 自問スペクトラム障害を持つ子どもの発達を提助する音楽魔法に 「学教内容) 自問スペクトラム障害を持つ子どもの発達を提助する音楽魔法に 「学教内容) 自聞スペクトラム障害を持つ子どもの発達を提助する音楽魔法に 「学教内容) 自聞スペクトラム障害を持つ子どもの発きを提助する音楽魔法に ※				
### (学校) 1 で	₩ 0 EI			
# 10の発達を援助する音楽療法の実際 : 音楽療	第2四	・グループ印典の経験	1 -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第9回 ・グルーブ即興の経 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッションの アータンティスカッションの (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッションを) (日本の アータンティスカッションを) (日本の アータンティスカッション) (日本の アータンティスカッタン アータンティスカッタン アータンティスカッタン アータンティスカッタン (日本の アータンティスカッタ				及子修としてブルーブ即典の註談にブリてポレホードによとめる。
第9回 ・グルーブ即興の経 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッション)。 (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッションの アータンティスカッションの (事前事後を接越の内容) (60分) (日本の アータンティスカッションを) (日本の アータンティスカッションを) (日本の アータンティスカッション) (日本の アータンティスカッタン アータンティスカッタン アータンティスカッタン アータンティスカッタン (日本の アータンティスカッタ		・心の発達を援助する音楽療法の実際 :音楽療	(学修内容)自	男スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音楽療法につ <i>いて</i>
「事前】配布資料を詰め、グルーブの一分ができるように内容やは、まとのできる、(事務) グルーブ間周の必禁 : 介入の				
# 生とかておく、【単後1 プループ間側のルボート	第3回	・グループ即興の経	(事前事後学修	課題の内容)(60分)
・			_	事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や感想を
# 無名回				
# 第4回				
	** 4 E	* · · · ·		* '
# まとめておく、【季後】グループ即興の小水ート ***・少ループ即興の経験	弗4回	・グルーノ即興の経験 		=
・のの発達を援助する音楽療法の実際 : 体験的				
# 55回		・心の発達を採助する音楽療法の実際 ・休験的		
# 55回 ・グルーブ即興の経験 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後) でがルーブの興の小レボート ・心の発達を援助する音楽療法の実際 : 体験的 字び(競き)・グルーブの興の経験 (学修内容)前回に引き続き、ワークショップを行い体験的に学ぶ。ワークに ディスカッションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前 別からなど (事後) グルーブの同興のルレボート ・心の発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 ・グルーブの即興の経験 (学修内容)自閉スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 ・グルーブの興の経験 ・グルーブの中の上ができるように内容や まとめておく、【事後】グルーブの門側のルレボート ・心の発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 ・グルーブの即興の経験 ・グルーブの中の上ができるように内容や まとめておく (事後) がルーブロークとディスカッション (事前)配が高齢が高速 (がルーブロークを選を援助する音楽療法とで (学修内容)自然を誘力機能が高からのでは (事者) でのなり入を音楽的に (事務) 配が高齢が高からの分) (事前) 配が高齢が表が高からのなり入れて、アークについてディスカッション (事前) 配が高齢が表が高からの分) (事権) について (事務) について (事前事後を開題の内容) (60分) (事前事後を開題の内容) (60分) (事前事後を開題の内容) (60分) (事前) について (50分) に対して (50分) (事前) について (50分) (事前) について (50分) に対して				
「事後】グルーブ即興の小レボート	第5回	• -		
# 50 (2,5-2,4			
# 50 (味き)			_	
#60回 ・グループ即興の経験 (事前事後字榜護題の内容) (60分) (事後) (事後) がループの興度のルルボート (字修内容) 自閉スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音楽療法に、さらに事例を読み進める (グループワークとディスカッション) (事前事後字修護題の内容) (60分) まとめておく、(事後1 グループロ興のルレボート (字修内容) 引き続き自関スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 ・グループ即興の経験? (字修内容) 引き続き自関スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音楽 (字修内容) 引き続き自関スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音 について、事例を読み進める (グループワークができるように内容やまとめておく、(事後1 グループロ興のルレボート (字修内容) 引き続き自動スペクトラム障害を持つ子どもの発達を援助する音 について、事例を読み進める (グループワークとディスカッション を (字修内容) 引き続き自動とある (50分) (事前) 配布資料を読み、グループローグができるように内容やまとめておく、(事後1 グループの手)を受けるというでは味噌に学ぶ、ワークについてディスカッションを (事前事後字修護題の内容) (80分) (事第後字修護題の内容) (80分) (事第後字修護題の内容) (80分) (事第) (事後) (第4分) (第4分) (第4分) (第4分) (第4分) (第5分) (80分) (80分) (第5分) (80分) (第5分) (80分) (第5分) (80分) (80分		・心の発達を援助する音楽療法の実際 :体験的	(学修内容)前	回に引き続き,ワークショップを行い体験的に学ぶ。ワークについて
「事後】グループ印興の小レボート		学び (続き)		
心の発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 *	第6回	・グループ即興の経験		
実際			[]	事後】グルーブ即興の小レボート
実際				
# 第7回 ・グルーブ即興の経験				
【事前】配布資料を読み、グループロ奥の小レボート	答フロ	L 21.2		
#80回 ・ 心の発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 ・ グループ即興の経験?	寿/凹	・グループ印典の経験		=
・心の発達を援助する音楽療法の実際 : 介入の 実際 ・グループ印興の経験?				
#80回 ・グルーブ印興の経験? (事前事後学修課題の内容) (60分)		・心の発達を援助する音楽療法の実際 ・介入の		
#80回 ・グルーブ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前) 配布資料を読み、グルーブワークができるように内容や原まとめておく。【事後】グルーブ即興の小レポート ・ワークショップ:他者を音楽的に伴走(伴奏) する ・グルーブ即興の経験? (学修内容)音楽療法士はどのようにクライエントの在り方を音楽的に支える(一を通して体験的に学ぶ。ワークについてディスカッションをそのでは、アークショップ:音楽的に「共にいる」こと ・グルーブ即興の経験? (学修内容)前回に引き続き音楽療法はどのようにクライエントの在り方を1に支えるのが体験的に学ぶ。ワークについてディスカッションをそのでは、アルーブ即興のが、アークについてディスカッションをそのでは、アルーブの中の経験? (学修内容)前回に引き続き音楽療法はどのようにクライエントの在り方を1に支えるのが体験的に学ぶ。ワークについてディスカッションをそのでは、アルーブの中のでできるように内容や原まとのでは、アルーブが形成されるブロセス ・グルーブが膨の音楽療法 : ボルーブが形成されるブロセス ・グルーブが影の音楽療法 : 相手を受けとめることがら音楽的体験へ ・グルーブ即興の経験? (学修内容)引き続き、ルグルーブでのセラビーについて、文献を通して理解を深める(グルーブロークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前】配布資料を読み、グルーブロークができるように内容や原まとめておく、「乗後」グルーブ即興の小レポート ・グルーブ即興の経験? (学修内容)引き続き、ルグルーブでのセラビーについて、文献を通して理解を深めるの(グルーブロークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前】配布資料を読み、グルーブロークができるように内容や原まとめておく、「集後」グルーブ即興のルレポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グルーブ即興の経験? (学修内容)引き続き、ルグルーブでのセラビーについて、文献を通して理解を定めておく、「事前】配布資料を読み、グルーブロークができるように内容や原まとめておく、【事後】グルーブ即興のルレポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グルーブの中の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び、その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れする準備をで、「事前事後学修課題の内容)(60分) (事後】グルーブ即興の小レポート				
事前 配布資料を読み、グループロークができるように内容や まとめておく。【事後】グループ即興の小レボート ・ ワークショップ:他者を音楽的に伴走(伴奏) する ・ グループ即興のがして、	第8回	・グループ即興の経験?		
・ワークショップ:他者を音楽的に伴走(伴奏) する				事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や感想を
# 3			ま	とめておく。【事後】グループ即興の小レポート
第9回				
【事後】グルーブ即興の小レボート		* -		
#110回	第9回	・クルーフ即興の経験?		
第11回			[]	事後】グルーノ即興の小レホート
第11回		・ロークショップ・辛寒的に「サにいる・こと	(学修内容)前	回に引き結ぎ音楽療法士はどのようにクライエントの左り方を音楽的
(事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グルーブ即興の小レポート ・グルーブ形態の音楽療法 :グルーブが形成されるブロセス・グルーブ即興の経験? ・グルーブ形態の音楽療法 :相手を受けとめることから音楽的体験へ・グルーブのクラピーについて、文献を通して理解を深める(グループのクとディスカッション)。 ・グルーブル悪の音楽療法 :相手を受けとめることから音楽的体験へ・グルーブ即興の経験? 第12回 ・グルーブル悪の音楽療法 : 相手を受けとめることがら音楽的体験へ・グルーブの内容)(60分) 【事前】配布資料を読み、グルーブの中ラピーについて、文献を通して理解である(グルーブワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み、グルーブワークができるように内容や原表とめておく。【事後】グルーブ即興の小レポート・グルーブル悪の音楽療法 :グルーブで「音楽すること」・グルーブ即興の経験? 第13回 ・ブルーブ即興の経験? ・ブルーブ即興の経験? 「学修内容)引き続き、ハグルーブでのセラピーについて、文献を通して理解である。グルーブロークとディスカッション)。 (学修内容)引き続き、ハグルーブロークとディスカッション)。 (学修内容)引き続き、ハグルーブロークとディスカッション)。 (学修内容)引き続き、ハグルーブロークができるように内容や原表とめておく。【事後】グルーブ即興の小レポート (学修内容)音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グルーブ即興の経験? 「学修内容)音楽療法の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れする準備をで発力が、「事後】グルーブ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ 「学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れずる準備をで発力が、「事後】グルーブ即興の小レポート				
「事後】グルーブ即興の小レボート	第10回	ブル ブロスの証明が		
・グルーブ形態の音楽療法 : グルーブが形成されるプロセス	міюП			=, ,,
#11回			_	
#11回 ・グループ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や概まとめておく。【事後】グループ即興のルレポート ・グループ形態の音楽療法 : 相手を受けとめる ことから音楽的体験へ ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,ハグループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や概まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : グループで「音楽すること」 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,ハグループでのセラビーについて,文献を通して理解であること」。 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続きの内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や概まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいます。 (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいます。 (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ		・グループ形態の音楽療法 : グループが形成さ	(学修内容)小	グループでのセラピーについて,文献を通して理解を深める(グルー
【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : 相手を受けとめる ことから音楽的体験へ ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,小グループでのセラピーについて,文献を通して理解である(グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : グループで「音楽すること」 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,小グループでのセラピーについて,文献を通して理解であること。 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,小グループでのセラピーについて,文献を通して理解であると、《事後】グループロークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グループ即興の公レポート ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れする準備をでいます。 (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れ		れるプロセス	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	ワークとディスカッション)。
まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : 相手を受けとめる ことから音楽的体験へ ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き、小グループでのセラピーについて、文献を通して理解で る(グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み、グループ印興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : グループで「音楽 すること」 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き、小グループでのセラピーについて、文献を通して理解で まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート (学修内容)引き続き、小グループでのセラピーについて、文献を通して理解で る(グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み、グループワークができるように内容や概 まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び、その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れする準備をで (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れ	第11回	・グループ即興の経験?		
#12回 ・グループ形態の音楽療法 :相手を受けとめる ことから音楽的体験へ ・グループ印興の経験? (学修内容)引き続き , 小グループでのセラピーについて , 文献を通して理解で る (グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 【事前】配布資料を読み , グループロークができるように内容や原 まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ印興の経験? (学修内容)引き続き , 小グループでのセラピーについて , 文献を通して理解で る (グループワークとディスカッション)。 (事前】配布資料を読み , グループロークができるように内容や原 まとめておく。【事後】グループロークができるように内容や原 まとめておく。【事後】グループロ側の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び、その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り , 音楽療法の仲間とお別れする準備をで (事前事後学修課題の内容) (60分) 【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り , 音楽療法の仲間とお別れ			_	
#12回 ことから音楽的体験へ ・グループ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や概まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 :グループで「音楽 すること」 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,小グループでのセラピーについて,文献を通して理解でる。(グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や概まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備を変す。事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ				
#12回 ・グループ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原意とめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 :グループで「音楽すること」 ・グループ即興の経験? (学修内容)引き続き,小グループでのセラピーについて,文献を通して理解でる(グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原意とめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グルーブ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備を変します。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート				
【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原 まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : グループで「音楽 すること」 ・グループ即興の経験? 第13回 ・グループ即興の経験? (学修内容) 引き続き,小グループでのセラピーについて,文献を通して理解でる(グループワークとディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原 まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ	₩.40□			
まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・グループ形態の音楽療法 : グループで「音楽 すること」 (学修内容)引き続き, 小グループでのセラピーについて, 文献を通して理解であること」 (学修内容)引き続き, 小グループでのセラピーについて, 文献を通して理解であること」 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前】配布資料を読み, グループワークができるように内容や原まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート (学修内容)音楽療法の終結について学び, その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいまる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前事後学修課題の内容)(50分) (事前事後学修課題の内容)(50分) (事前事後学修課題の内容)(50分) (事前事後学修課題の内容)(50分) (事後】グループ即興の小レポート	第12回	・ソルーノ即興の 詮 糠! 		
第13回 ・グループ形態の音楽療法 : グループで「音楽 すること」 (学修内容)引き続き, 小グループでのセラピーについて, 文献を通して理解でること」 ・グループ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み, グループワークができるように内容や原金とめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び, その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備を受ける。 第14回 (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備を受ける。 ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れる。				
#13回 すること」 ・グループ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原意とめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいまる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後】グループ即興の小レポート		・グループ形能の音楽療法 ・グループで「辛率		
第13回 ・グループ即興の経験? (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原意とめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいまる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ				
【事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や原まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び,その重要性を理解・考察する。2年音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をでいまる。第14回 ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ	第13回	·		
まとめておく。【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びの終わりに向けて ・グループ即興の経験? (学修内容)音楽療法の終結について学び、その重要性を理解・考察する。2年 音楽療法の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れする準備をで (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り、音楽療法の仲間とお別れ				事前】配布資料を読み,グループワークができるように内容や感想を
・グループ即興の経験? 音楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をで (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ				
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ				
【事後】グループ即興の小レポート ・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ		・グループ即興の経験?		楽療法の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れする準備をする。
・「音楽療法の終結」と学びのまとめ (学修内容)前回に引き続き2年間の学びを振り返り,音楽療法の仲間とお別れ	第14回		1 -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			[事後】グルーブ即興の小レボート
		「	/ 当版上帝、士	하는데 보셔요요요 이 이 이 이 이 이 이 이 이 아이 아이 아이 아이 아이 아이 아이
・フルーノ即興の経験! 甲(*・・終稿:の甲業性にさんに思いなべんせん				·
第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分)	第15回	・フルーノ叫哭の経験!		
第15回 「毎前事後子修誅趙の内合」(60万) 「事後】グループ即興の小レポート	ઋTSI의		1 -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
▼				ガスメント ノ 学がいいてい 一

授 業 名	音楽療法の器楽	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2708
英文名	Instruments for Music Therapy	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	小川 隆昭	対 象 学 生	幼児教育2回生	Ē			
授業の概要	本授業では、音楽療法の実践の基礎となる音楽技術を身につけるこ 琴、鉄琴などの演奏を行う。具体的には、初心者でも、簡単な演奏 ー、リコーダーの、音階やコードの押さえ方を習得し、また、木琴パートごとに分かれて合奏を行う。	ができる。	ように次のように摂	養業を進め	る。まず、	ギタ	
学修成果到達目標	1)ピアノ以外(ギター・リコダー)の旋律楽器の音階、コードを 2)打楽器(木琴・鉄琴等)の基礎的な演奏ができる。 3)ピアノ以外の旋律楽器で合奏ができる。	弾くことが	ができる。				
	知識・理解	ÿ	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	糸	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記 (30		・ レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ション能力 課題) (孫見・解!	決能力)
テキスト	プリント						
参考書							
課題に対する フィードバック の方法	練習してきたパートは授業の中で個々に指導する。						
留意事項	受講生は、授業以外でも、担当楽器を必ず練習することが必要。						
オフィスアワー	後日研究室前に掲示。						
実践的教育							

授業 名 音楽療法の器楽

	日本添仏》的末	<u></u>
授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業についての説明 ギターのチューニング、指の押さえ方、音階
第1回	ギター	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		ギターのチューニングが一人でできるようにする
	12.6	
	ーギター ーリコーダー	(学修内容)ギターのチューニング、指の押さえ方、音階 リコーダー運指の練習
第2回	93-9-	(事前事後学修課題の内容)(30分)
N-1		ギターの練習
		リコーダーの練習
	ーギター ーリコーダー	(学修内容)ギターのチューニング、指の押さえ方、音階 リコーダー運指の練習
第3回	93-9-	(事前事後学修課題の内容)(60分)
21.01		ギターの練習
	12.1	リコーダーの練習
	ギター リコーダー	(学修内容)ギターの音階、コード リコーダー演奏法
第4回	93-9-	ウューター演奏法 (事前事後学修課題の内容)(60分)
21- 12		ギターの練習
	12.4	リコーダーの練習
	ーギター ーリコーダー	(学修内容)ギターの音階、コード リコーダー演奏法
第5回	93-9-	
Узоп		ギターの練習
		リコーダーの練習
	ギター	(学修内容)ギターの音階、コード
第6回	リコーダー	リコーダー演奏法 (事前事後学修課題の内容)(60分)
NO CE		ギターの練習
		リコーダーの練習
	ギター	(学修内容)ギターの音階、コード
第7回	リコーダー 木琴、鉄琴	リコーダー演奏法、木琴、鉄琴の演奏法 (事前事後学修課題の内容)(60分)
No. 17	N 3 V 2 V 3	ギターの練習
		リコーダー、木琴、鉄琴の練習
	ギター リコーダー	(学修内容)ギターの演奏法 共野 対野の溶素法
第8回	リコーダー 木琴、鉄琴	リコーダー演奏法、木琴、鉄琴の演奏法 (事前事後学修課題の内容) (90分)
УБОП		ギターの練習
	12.4	リコーダー、木琴、鉄琴の練習
	ギター リコーダー	(学修内容)ギターの演奏法 リコーダー演奏法、木琴、鉄琴の演奏法
第9回	木琴、鉄琴	(事前事後学修課題の内容) (120分)
21.4	1 2 2 2 2	ギターの練習
	12.1	リコーダー、木琴、鉄琴の練習
	ギター リコーダー	(学修内容)ギターの演奏法 リコーダー演奏法、木琴、鉄琴の演奏法
第10回	木琴、鉄琴	(事前事後学修課題の内容) (120分)
		ギターの練習
	12 6	リコーダー、木琴、鉄琴の練習
	ギター リコーダー	(学修内容)ギターの演奏法 リコーダー演奏法、木琴、鉄琴の演奏法
第11回	木琴、鉄琴	(事前事後学修課題の内容) (120分)
		ギターの練習
	^ ±	リコーダー、木琴、鉄琴の練習
	合奏	(学修内容)まとめ
第12回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		各自パートの練習
	^±	(光版中位) + 1. 4
	合奏	(学修内容)まとめ
第13回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		各自パートの練習
	<u></u>	(労牧市党) ナトル
	合奏	(学修内容)まとめ
第14回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		各自パートの練習
	<u></u>	(労牧市党) ナトル
	合奏	(学修内容)まとめ
第15回		 (事前事後学修課題の内容) (120分)
		各自パートの練習

授	業	名	レクリエーション実習	開講学年	2回生	単位数	1単位	科 目 コ ー ド	CL2710
英	文	名	Recreation Training	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	名賀 亨	対 象 学 生	象 幼児教育2回生				
	地域で展開されているレクリエーション事業についての情報収集を行い、事業に参加することを通して実際の活動について理解する。都道府県および市区町村のレクリエーション協会が実施する行事やイベントを理解するとともに、スタッフやインストラクターがどのような役割を果たしているのか学ぶ。								
授業	の相	班要							
			1)外部のレクリエーション活動への参加を通してレクリエーション2)レクリエーション活動の基礎的技能を身につけ、円滑な実践展 3)ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることが 4)全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエ・	開ができる できる。	3ようになる。 -			3.	
学组									
学位	– 地	- Φ	知識・理解態度・志向性	-	l用的技能 ※合的な学習経験と	創造的思			
方針。			1818 1017 II	, me	3 H 11 1 G 1 H 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		373		
アク: ラー: 対象:	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評价	五方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		制作物 実技	
評价	基	準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力)
テキ	Fス	٢	使用しない 適宜ブリントを配布						
参	考	書							
課題I フィー の方え	・ドハ								
留意	意事	項	レクリエーション協会が主宰する事業での実習(事業参加・スタッ どの組み合わせに十分留意して実習を計画し適切に参加すること。	フ参加)、	保育実習、教育実	習、学内	での主催	事業な	
オファ	フィ ワ・		水曜日 12:20~13:00						
実践	的都	教育	実践的教育 教員の実務経験など:1988年~18年間、ボランティア・市民活動支 象にしたボランティア学習プログラムを通し ファシリテーターとしてのインストラクター(たレクリコ	ニーションプログラ	ムを実践	するととも		

授業 名 レクリエーション実習

	ロノリエ ノコノ天日	当族 九 家,钟丽
受業計画	学修項目 オリエンテーション	学修内容・課題 (学修内容)授業の枠組みや実習への取り組み方法などについての説明
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) シラバスを確認するとともに、資格取得の意識を再確認しておく。
	レクリエーション実習計画の策定	(学修内容)必要な実習の内容と実習計画を策定する
第2回	実習現場を探す	(事前事後学修課題の内容)(60分) レクリエーション協会実施の事業プログラムの情報を収集しておく
	レクリエーション実習計画の策定 実習現場を探す	(学修内容)必要な実習の内容と実習計画を策定する
第3回	大日が一切で味り	(事前事後学修課題の内容)(60分) レクリエーション協会実施の事業プログラムの情報を収集しておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第4回	大阪に沈物で加到する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第5回	大体に沈勿て旧動する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第6回	大体に沈勿て旧動する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第7回	夫除に現場で泊割りる	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第8回	大阪に沈ゆし四割する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第9回	大阪に沈物で加到する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第10回	実際に現場で活動する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第11回	大阪に沈物で加到する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加実際に現場で活動する	(学修内容)計画に基づいて学外実習に参加する
第12回	* (ATIC MANUELLE STATE OF THE S	(事前事後学修課題の内容)(60分) 参加する事業内容について情報を収集し実践の準備をしておく
	事業参加 現場実習をまとめる	(学修内容)実習の内容を整理しまとめる
第13回	-7-79 A B C G C W W	(事前事後学修課題の内容)(60分) ここまでの実習を整理しておく
	事業参加 現場実習をまとめる	(学修内容)実習の内容を整理しまとめる
第14回	パータス日にのこのも	(事前事後学修課題の内容)(60分) ここまでの実習を整理しておく
	授業のまとめ 現場実習をまとめる	(学修内容)実習の内容を整理しまとめる
第15回	が、物大日でみ こ 切 む	(事前事後学修課題の内容)(60分) ここまでの実習を整理しておく

実 習 名	保育実習 a (CE2422)	対象学生	幼児教育2回生
担当者	武田康晴		
実習の概要	1.目標・目的 「保育実習 (保育所・施設)」の保育所実習で学んだ内容を発展 2.保育実習 (施設)の内容 利用者の成長・発達、またニーズを理解し、個々に応じた保育 健康管理、安全対策、子どもや利用者の心身の状態に応じた環境保育主の業務内容や職業倫理を学び、記録に基づく省察と自己 3.実習生に対する指導方法 原則的に実習中に1回以上、巡回指導を行い、施設の実習指導担 4.実習形態 学校の斡旋した児童福祉施設(児童館を含む)または障害者施期間は、原則2回生の8月のうち10日間以上(休みを除く)5.事前事後指導等の内容等(必要性)について「保育実習指導」で事前指導を受けた者が、実習を行うことが席した場合には、準備ができていないという理由で実習を行えない習指導での着実な準備が実習実施の可否の判断基準となる。また、記述を振り返る。実習日誌や出勤簿の提出を義務付ける。	者の援助にを 計算的に おうじて おうじて 指うじて 指行で おうじて おうじて おうじて おうじて おうじて おうじて おうじて おうじて おうじで おっして おうじで まっしまする。 まっしまる。 まっしる。 まっしる	て学ぶ。。 を立案し研究実習を行う。 を立案し研究実習を行う。 もとに実習生へのスーパービジョンを行う。 。 間以上の実習を行わなければならない。 習指導で提出物・レポート等の未提出並びに無断欠調管理や衛生管理が求められる実習だけに、保育実
備考	1 . 実習受講の条件など ・原則「保育実習」の実習を終了していること。 ・「保育実習」の単位を取得するには、「保育実習指導」の 「保育実習」と「保育実習指導」は形式上個別に単位認 されることは原則としてない。 2 . 実習態度、参加意欲など 以下に関し誓約書の提出を求め、 ・実習中に知り得た情報を第三者等に漏らしてはならない。実習 ・子どもと保護者(利用者や家族)の権利擁護を最優先とし、安	定されるが、そ それに反した場 に関する一切を	れぞれが連動している科目のため片方のみ単位認定 合は実習中止となる。 SNSに挙げることを禁止する。

授	業	名	現代子ども学	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード CS1103		
英	文	名	Study of Modern Children	開講時期	春学期		必 修選 択	必修		
担	当	者	荘厳 茶茶・名賀 亨	対 象 学 生	幼児教育1回生	Ξ.				
授業	€ の†	が児教育を学ぶにあたって「子ども」を理解することはとても重要なことである。とりわけ子どもの成長の理解は保育を行う上で、不可欠な学びの要素と言える。 子どもには、成長発達する権利があり、どのような状況でも守られる権利がある。そのことは社会で理解されているが、近年子どもに関係した問題や課題、特に子どもの生活不安の問題が顕在化している。この授業では、子どもに関係するさまざまな事柄を理解するために、多面的な視点で学びを深める。また、グループに分かれて討議したり、自分の意見を相手に伝えることができように、発表等をすることもある。また、子どもの「学び」と「成長」に焦点をあて、事例なども紹介しながら学びを深めていければと考えている。								
学 (i			1 , 子どもとは、どのような存在かを理解できる。 2 , 生活をする子どもの姿を知り、子どもの成長発達について理解 3 , 子どもの学びのプロセスについて理解できる。 4 , 子どもを取り巻く環境を理解できる。	できる。						
			知識・理解		l用的技能	A13# ## ED				
学位方針			態度・志向性	S/A	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
ソコ亚口	رں	闭廷								
アクラー: 対象:	ニン	グ		レー・ グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評(定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技	平常記 (40		食 レポ 実習		制作物 実技		
評値	西基	準	主たる評価の	ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (題発見・解:	決能力)		
テ=	トス	۲,	なし。適宜、資料を配付する。							
参	考		授業内で、提示する。							
課題 フィー の方:	- ドノ									
留意	意 事		授業期間中のレポートは、各担当複数回を予定しており、その評価-	も全体の部	平価に組み入れる。					
オ:	フィワ		研究室に掲示、演習室にも掲示あり。在室時、時間があれば対応する	<u></u> გ.						
実践	的	教育								

授業 名 現代子ども学

	」 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	学修内容・課題
22 25 41 -	子どもってなに	(学修内容)オリエンテーション
~~		子どもの理解をする。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:子どもについて調べ、ノートに整理する。
	妊娠、出産、誕生	(学修内容)妊娠から出産までのプロセスと、母体生活に関する基礎知識を理解する
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:妊娠中の母体の様子や生活について、可能な範囲で調べる。
第3回	胎児・新生児の様々な力	(学修内容)胎児期から新生児期にかけての発育・発達の基礎知識を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめ る。
	子どもの生活習慣と健康	(学修内容)子どもの生活習慣の実態と、健康との関連性を理解する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめ る。
	子どものこころと食生活	(学修内容)子どもの精神発達と食生活との関連性を理解する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめ る。
	子どもの抱く疑問の発達 	(学修内容)子どもの発達段階と、抱く疑問の発達の関連性を理解する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめ る。
第7回	子どもの認知能力の自発的発達のしくみ	(学修内容)子どもの認知能力が自発的に発達するしくみ、およびそれを促すために大人ができる援助を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。(60分)
第8回	様々な特徴をもつ子どもたちをどう受け止めるか	(学修内容)十人十色の個性的な特徴をもつ子どもたちを理解し、受け止める上で必要となる心構えを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめ
		る。 (学修内容)子どもが育つこと、発達する事とはどういうことかを理解する
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:子どもの発達について調べてまとめておく
第10回	認知能力と非認知能力	(学修内容)子どもの学びの基本となる認知能力・非認知能力について考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:認知能力と非認知能力について調べてまとめておく。
	子どもの学びと育ちの特性	(学修内容)多様な体験から生み出される子どもの学びを理解する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:体験学習について、その意味と具体例を調べてまとめておく。
	子どもの学びを体験する	(学修内容)グループワークを通して子どもの学びを体験する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:グループワークの方法について、まとめておく。
第13回	子どもの学びを支える大人の役割	(学修内容)子どもを取り巻く大人が子どもの学びと育ちに与える影響と役割について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前、ファシリテーション(促進すること)について、その意味と具体
	学びと育ちを生み出す子どもの遊び	例を調べてまとめておく。 (学修内容)子どもの多彩な学びを創り出す遊びにどのようなものがあるのかを理解
第14回		する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:子どもの遊びを調べてタイプ別に整理しまとめておく。
第15回	子どもの遊びを広げる児童文化財	(学修内容)絵本や絵雑誌、童話や昔話など子どもの遊びを支える児童文化財について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)

授 業 名	子どもの理解と援助	開講学年	1回生	単位数	2単位	科 目 コ ー ド	CS1111
英 文 名	Understanding and Supporting Children	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	西川 由紀子	対 象学 生	幼児教育1回生	Ē.			
授業の概要	保育において、ひとりひとりの発達を把握して実践を展開することを具体的にもつことを目的とする。授業においては、発達の状況を説した後、その特徴があらわれている保育実践を紹介し、保育の展	把握する剤	意義を押さえた後、				
学修成果到達目標	1)生後6年間の子どもの発達を理解する。 2)保育のなかでどのように子どもたちを援助しているかを理解す 3)集団保育の中で気になる子どもへの支援をどのようにしている。		する。				
	知識・理解		凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (80%) 口述 実習 実技	平常記(20		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテー	ション能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	西川由紀子『子どもの思いにこころをよせて』(かもがわ出版) 西川由紀子『かかわりあって育つこどもたち』(かもがわ出版)						
参考書							
課題に対する フィードバック の方法	授業への感想や質問について、翌週の授業冒頭で解説する。						
留意事項							
オフィスアワー	授業時に伝える						
実践的教育							

授業 名子どもの理解と援助

	」このが注册で設め	
授業計画		学修内容・課題
	子どもの発達を学ぶ意義	(学修内容)子どもを理解するために発達を学ぶことにどんな意義があるかを解説する。
第1回		(事前事後学修課題の内容) (30分) テキスト 1章を読んで、たいせつなポイントにラインを引いてくる
	0歳児の発達	(学修内容)0歳児の発達を解説する
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 2章、3章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	0歳児の保育の実際	(学修内容)0歳児クラスの保育場面のビデオをみて、保育の解説を行う
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 2章3章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	1歳児の発達	(学修内容)1歳児の発達を解説する
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 4章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	1歳児の保育	(学修内容)1歳児クラスの保育場面のビデオをみて、保育の解説を行う
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 4章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	2歳児の発達	(学修内容)2歳児の発達を解説する
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 5章、テキスト 2章を読んでたいせつなポイントにラインを 引いてくる
	2歳児の保育	(学修内容)2歳児の保育場面のビデオをみて、保育の解説を行う
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 5章、テキスト 2章を読んでたいせつなポイントにラインを 引いてくる
	3歳児の発達	(学修内容)3歳児の発達を解説する
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 3章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	3歳児の保育	(学修内容)3歳児の保育場面のビデオをみて、保育の解説を行う
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 3章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	4歳児の発達	(学修内容) 4 歳児の発達を解説する
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 4章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	4歳児の保育	(学修内容) 4 歳児の保育場面のビデオをみて、保育の解説を行う
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 4章を読んでくる
	5 歳児の発達	(学修内容) 5 歳児の発達を解説する
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 5章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	5歳児の保育	(学修内容) 5 歳児の保育場面のビデオをみて、保育の解説を行う
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 5章を読んでたいせつなポイントにラインを引いてくる
	気になる子への対応 (乳児クラス)	(学修内容)乳児クラスの気になる子どもへの対応を解説する
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 4章、5章、 2章を読んでたいせつなポイントにラインを引 いてくる
	気になる子への対応(幼児クラス)	(学修内容) 幼児クラスの気になる子どもへの対応を解説する
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト 3 , 4 , 5 章を読んでたいせつなポイントにラインを引いて くる

授 業 名	家庭と子育て支援	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CS2117			
英 文 名	Family and Child Care Support	開講時期	春学期		必 修 選 択	選択				
担当者	斧出 節子 対象 対別教育2回生									
授業の概要	現在子育てに関する多くの問題があらわれており、家庭・家族のあり方や、私たちの家庭・家族に対するイメージが問題解決を阻む要因となる場合も少なくない。本講義では、家族は「近代社会」で新しく作られたものであるという認識をもち、子育てをするにあたって現在何が問題なのかということを広く社会環境の中で考え、それとともに何が家庭や家族の支援につながるのかを他の社会との比較も用いながら考えていく。									
学修成果到達目標	1)現代の家庭・家族の「見方」を習得することができる。 2)現代の家庭・家族がかかえる子育で問題を理解することができる。 3)保育施設において保護者の悩みを受け止めることができる。	් රි ං								
	知識・理解	沪	1用的技能							
学位授与の		絲	合的な学習経験と	:創造的思	考力					
方針との関連										
アクティブ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (80 %) 口述 実習 実技	平常記(20		策 レポ 実習		制作物 実技				
評価基準	主たる評価の	レゼンテーシ	/ョン能力 課題) (見発見・解	決能力)			
テキスト	配布プリント使用									
参考書	『男の育児・女の育児』大和礼子ほか編著(昭和堂)、『よくわかる現代家族』神原文子ほか編著(ミネルヴァ書房)、 『新・子育て支援』松井剛太編(教育情報出版)、その他適宜紹介する 書									
課題に対するフィードバックの方法										
留意事項										
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く)オフィスアワーを設けます。具体的 【備考】オフィスアワーに設定している時間帯であっても,会議 かじめ予約が必要な場合がありますので、その場合は、メールま	や出張などで	で在室できない場合	かありま	す。また、	あら				
実践的教育										

授業名 家庭と子育て支援

授業計画		学修内容・課題
第1回	オリエンテーション:家族・家庭のイメージ	(学修内容)現在の私たちの家族・家庭のイメージはどのようなものか理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスをよみ、授業の全体像を把握しておく
第2回	産業化以前の子育て	(学修内容)産業化する以前の子育ての担い手について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 産業化・近代化とは何か調べておく
第3回	産業化以降の子育て	(学修内容)産業化が進展する中で、子育てがどのように変化してきたのかを学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 身近な祖父母や高齢者に、またはネットなどで、昔の子育ての様子についてたずねたり調べたりしてみる
第4回	育児ストレス	(学修内容)育児ストレスや育児不安について理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 育児ストレスにはどのようなものがあるか考えておく
第5回	育児ストレスの要因	(学修内容)育児ストレスが生じる要因について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 前回のまとめをしておく
第6回	母親のワンオペ育児と虐待	(学修内容)母親のワンオペ育児の実態を理解し、それがどのようなことと結びつきやすいのか学ぶ(ディスカッションを含む) (事前事後学修課題の内容)(30分) ワンオペ育児について調べておく
第7回	父親の子育ての実態	(学修内容)現在の父親の就労や子育ての実態について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 前回のまとめをしておく
第8回	父親の子育て意識	(学修内容)父親は子育でについてどのように考えているのか、父親の意識の実態について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 父親の育児について情報を集めてくる
第9回	父親の仕事と育児の両立:事例研究	(学修内容)子育てに多くかかわっている父親についての事例研究を行う (事前事後学修課題の内容)(60分) 資料を読みまとめる
第10回	地域における子育て支援	(学修内容)自分が住んでいる地域で、どのような子育て支援の仕組みがあるか調べる (事前事後学修課題の内容)(60分) ネットなどで行政やNPOなどの子育て支援について調べてまとめる
第11回	保育所における家庭への子育で支援	(学修内容)保育所ではどのような子育て支援が可能であるか考える (事前事後学修課題の内容)(30分) 保育所で行われている子育て支援について調べておく
第12回	保護者とのコミュニケーション	(学修内容)保護者の悩みに対する対処方法について考える(ディスカッションを含む) (事前事後学修課題の内容)(30分) 保護者にはどのような悩みがあるのか調べておく
第13回	北欧における子育て支援の現状	(学修内容)スウェーデンの子育て支援の実際について理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 前回のまとめをしておく
第14回	日本の育児支援の課題	(学修内容)北欧と日本の子育て支援を比較し、日本の課題を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) 前回のまとめをしておく
第15回	まとめ	(学修内容)春学期の振り返りをする (事前事後学修課題の内容)(30分) 春学期に学んだことを整理しておく

授	業	名	現代社会の教育問題	開 講学 年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	CS2123		
英	文	名	Educational Issues of Modern Society	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択			
担	当	者	生野 金三 対 別 対 教 対 児 教育 2 回 生								
授業	変化の激しい社会を生きるために必要な力である「生きる力」やその中で重要視されている知・徳・体の育成の意義について理解を深める。グローバル化する世界の中で文化の多様性の尊重、異文化の内容を理解すると同時に、自国文化についての理解を深める。自国文化理解の重要性を踏まえ、自国文化をめぐっては、如何なる課題が存在するか具体的な作業によって探る。そして、2016(平成28)年の中央教育審議会の答申において、2030年頃の社会の在り方を見据えながら、その先も見通した姿を考えて、重要視されている「主体的・ 対話的で深い学び」の実現について理解を深める。										
学们到证		뷫 果 目 標	1.生きる力の「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」等 2.「確かな学力」の具体的な内容を理解している。 3.国際理解教育についての具体的な内容を理解している。 4.自国文化をめぐっての課題発見の様相を理解している。 5.「主体的・対話的で深い学び」の具体的な内容を理解している。	等の三者の)内容を理解してい	18.					
			知識・理解	泂	用的技能						
学位		-	態度・志向性	総	合的な学習経験と	:創造的思	考力				
方針。	との	関連									
アクラー			PBL ディスカッション・ディベート ク	ブループワ	リーク	プレ	ゼンテーシ	ション			
対象:			実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)]	[CT活用](自主学習支援)						
評値	西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		く レポ 実習		制作物 実技			
評値	西基	基準	観点 授業態度・参加意欲 (ヹンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力)		
		生野金三 『教育の現代的課題』 学教図書出版会 1,000円 教科書の購入方法については初回の授業で指示します。									
課題! フィー の方:	-ド/	する バック									
留意	意事	耳	ポートフォリオを作成しますので、授業での学びは整理しておきましょう。後日、それを基に課題(見出し)ごとに整理 します。資料も整理しておきましょう。学修の振り返りにもなります。 I 項								
オ :	フィワ		オフィスアワーの設定曜日・時間帯は研究室のドアに提示します。 そます。	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -)時間帯でも、研究	- 記室に在室	の場合、対	対応し			
実践	的	教育									

授業 名 現代社会の教育問題

授業計画	グルスの教育の歴	学修内容・課題
汉来们片	オリエンテーション	(学修内容)授業の目的と内容、進め方を確認する。
	(授業の目的、授業の進め方)	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自、履修内容を確認しておく。
	生きる力について	(学修内容)「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」等の三者について 理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキストの該当箇所を読んでおく。
	「確かな学力」について その1	(学修内容)知識・技能、思考力、判断力、表現力等について理解する
~~~ = =		(事类事後光度知晓の中央) (00/1)
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   テキストの該当箇所を読んで、各自ノートにまとめておく。
	「確かな学力」について その 2	(学修内容)課題発見力、問題解決力、学び方、学ぶ意欲等について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第4回		テキストの該当箇所を読んで、各自ノートにまとめておく。
	国際理解教育をめぐって	   (学修内容)自国文化理解、異文化理解等について理解する。
		( THE WASHINGTON AND THE STATE OF THE STATE
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   テキストの該当箇所を読んでおく。
	自国文化理解をめぐって	(学修内容)課題発見の方途を理解する。 
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキストの該当箇所を読んでおく。
	自国文化をめぐっての課題発見	(学修内容)課題発見の実践方途をKJ法によって理解する。
₩		(事类事件类的 1000)
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   テキストの該当箇所を読んでおく。
	自国文化の課題の整理、プレゼンテーションの準   備	(学修内容)自国文化に関する課題を構造化する。 
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキストの該当箇所を読んで、各自ノートにまとめておく。
	自国文化の課題についてのプレゼンテーション	(学修内容)「はじめに、課題の内容、まとめ」の手順を考えてプレゼンテーション
第9回		する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
ઋ기미		グループでプレゼンテーションの準備を行う。
	「主体的・ 対話的で深い学び」の実現	(学修内容)子供たちが「どのように学ぶか」というその内容と過程を理解する。
	工体的・対話的で体化子の1の実現	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第10回		テキストの該当箇所を読んでおく。
	「主体的な学び」について	(学修内容)周囲の環境に興味や関心を持って、見通しを持って取り組み、自らの遊
第11回		びを振り返って、次につなげる「主体的な学び」を理解している。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
3511년		テキストの該当箇所を読んで、各自ノートにまとめておく。
	「対話的学び」について	(学修内容)他者との関わりを深める中で、自分の思いや考えを表現し伝え合ったり
		(学術内を)他者との関わりを味める中で、自力の思いや考えを表現し伝え合うだり 、協力して自らの考えを広げ深める「対話的な学び」を理解している。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキストの該当箇所を読んで、各自ノートにまとめておく。 
	「深い学び」について	(学修内容)直接的・具体的な体験の中で、幼児なりに試行錯誤を繰り返し、生活を
第13回		意味あるものとして捉える「深い学び」の実現を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
33 1 OIEI		テキストの該当箇所を読んで、各自ノートにまとめておく。
	教育における不易と流行について	   (学修内容)「時代を超えて変わらない価値のあるもの」を大切にする、「時代の変
	AYBICOID SALWICHTIE SALC	(学)
第14回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		配布した資料を読んおく。
	学修の振り返り、学習のまとめ(ポートフォリオ	(学修内容)学修を振り返り、ポートフォリオを作成する。
第15回	の作成)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
저기이리		学修内容を整理しておく。

授	業	名	現代の児童文化	開講学年		2回生	単位数	2単位	科目 コード	CS2118
英	文	名	Contemporary Children's Culture	開 講時 期		春学期		必 修選 択	選択	
担:	当	者	柿本 真代	対 象 学 生		幼児教育2回生	Ē			
授業	のホ	既要	児童文化財の役割や保育現場や家庭での活用を学ぶとともに、現代制作および発表を通して具体的な指導場面を想定して保育を構想す				よび発表	や児童文化	七財の	
学修到達			1)現代の子どもたちを取り巻くメディア環境の特徴について説明で 2)様々な児童文化財の特徴とその活用方法について説明できる。 3)児童文化財を制作し、それを活用した指導計画を立案・実践する		でき	<b>ె</b> .				
			知識・理解			用的技能				
学位指			態度・志向性		総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針と	(0)	関連								
アクテ ラーニ 対象授	ニン	グ		グルーフ ICT沿		ーク (自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価	i方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常 ( 50			マップ マップ マップ マップ マップ マップ アンドラ マップ アンドラ アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア		制作物 実技	
評価	基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	-シ	ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキ	: ス	<b>.</b>	授業中に適宜紹介します。							
参	考	書	授業中に適宜紹介します。							
課題に フィー の方法	ドノ									
留意	事	耳	製作を行いますが、手芸用品など各自準備が必要なものもあります。							
オファ			初回の授業の際に説明します。							
実践的	的	教育								

### 授業 名 現代の児童文化

	がいくりつ三人口	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の内容や目的、内容に関するアンケート
第1回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
215 1 [		(事前)シラバスを読んでおく
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	絵本の構造	(学修内容)絵本の構造やことばと絵の関係について学ぶ
	MA -T- 00 1147/E	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
73211		(事前)配布資料を予習してノートにまとめる
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	図書館の活用	(学修内容)様々な図書館の活用方法やデータベースの使い方を学ぶ
第3回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
узод		(事前)自身のアクセスしやすい図書館について調べておく
		(事後)近隣の図書館に訪れ資料を探す
	現代のメディア環境と子ども	(学修内容)グループディスカッションを通して子どもとメディアの関係について考
	71,1007-7-17 AR-71C-1 C-0	えをまとめる
第4回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
בודינג		(事前)データベース等の使い方を確認しておく
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	現代のメディア環境と子ども	(学修内容)子どもとメディアの関係についてグループごとに発表をする
	「「「「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、	(子鳥的台)」ともとメディアの関係についてアループととに先校をする
第5回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
おり凹		(事前)グループに分かれて発表の準備をする
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	児童文化財と情報機器の活用	(学修内容)保育現場での児童文化財と情報機器の活用について学ぶ
	ル里文心的と自我協協の石市	(チ形的分)体育坑場での元重文化的と情報域語の石田について手が
第6回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
多の四		(事前)配布資料の該当箇所を予習しておく
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	- 手づくり絵本	(学修内容)手づくり絵本の制作方法を学ぶ
	子フへり絵本	(子杉内台)ナンヘリ版本の制作力法を子が
第7回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
第7凹		(事前争後子修林越の内谷)(120万) (事前)配布資料の該当箇所を予習しておく
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	紙芝居	(学修内容)紙芝居の実演と制作について学ぶ
		(子杉内谷)紙之店の美典と前下について子が
第8回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
<b>第0</b> 四		(事前争後子修綵題の内谷)(120万) (事前)配布資料の該当箇所を予習しておく
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	シアタースタイルの児童文化財	(学修内容)シアタースタイルの児童文化財の実演と制作について学ぶ
	ファラースティルの元重文化的	(子杉内台)ファラースティルの元重文化別の天演と前下について子が
第9回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
뉴키티		(事前)配布資料の該当箇所を予習しておく
		(事後)配布資料を読み直しノートにまとめる
	文化財の制作	(学修内容)選択した文化財の制作を行う
	又もなりかけた	(子杉内台) 選択した文化別の制作を11 フ
第10回		(東前東後学修理明の中容)(120公)
第10回		(事前事後学修課題の内容)(120分)   (事前)選択した文化財の制作方法を復習する
	文化財の制作	(事後)制作をすすめる (学修内容)選択した文化財の制作を行う
	文化財の制作	(子彫内合)選択した人心別の制作を行う
第11回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
차미미		( 事刑事後子修課題の内谷)(120万)   (事前)選択した文化財の制作方法を復習する
	文化財の制作	(事後)制作をすすめる (学修内容)選択した文化財の制作を行う
	文化財の制作	(子杉2台)度がした人心別の例ででリン
₩40E		(東前東後学修理時の中容)(420八)
第12回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		(事前)選択した文化財の制作方法を復習する
	<b>・</b> かいける 歌 =	(事後)制作をすすめる
	文化財の発表	(学修内容)制作した文化財を用いた指導計画を立案・発表する
₩40E		(東前東後労修神師の山京)(400八)
第13回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		(事前)指導計画を立案する
	立ル財の発車	(事後)コメントシートをもとに今後の課題をまとめる
	文化財の発表	(学修内容)制作した文化財を用いた指導計画を立案・発表する
笠44回		/ 東前東後学校細題の中容 > / 420// >
第14回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		(事前)指導計画を立案する
	<b>まとめ</b>	(事後)コメントシートをもとに今後の課題をまとめる
	まとめ	(学修内容)文化財の制作・模擬保育についての講評を行う
笠45日		/ 東前東後学校細頭の中容 > / 420// >
第15回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		(事前)配布資料の内容を復習しておく
		(事後)これまでの学びをもとにミニレポートにまとめる

授	業	名	保育と情報メディア	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CS2124	
英	文	名	Child Care and Information and Media	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択		
担	当	者	浅田 瞳	対象 学生	幼児教育2回生	<b>=</b>				
授訓	<b>業</b> の	子どもたちを取り巻く環境はこの20年で大きく様変わりしました。 たとえば、運動会や生活発表会を保存するメディアとして、ひと昔前はビデオカメラが主流でしたが、最近はスマートフォンで手軽に動画撮影が可能になり、インターネット上で子どもたちの様子をいつでも見ることが可能になっています。また、子どもたちがメディアに触れる年齢も下がってきており、わずか0歳児でもタッチパネルを扱っている事例を目にする機会も増えているでしょう。 この授業ではそうした情報メディアが子どもたちの生活にどのような変化をもたらしているのか、さまざまな事例をもとに考えていきたいと思います。								
		1 . 子どもたちがどのようなところでメディアの影響を受けているのか、説明することができる 2 . 保護者が気を付けなければならない子どもの個人情報を守るポイントについて説明できる 3 . 情報社会の進展が保育にどのような影響を与えたのか、説明することができる								
			知識・理解		l用的技能					
学位		与の )関連	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
アク ラー 対象	ニン			グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション		
評	価ブ	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		検 レポ 実習		制作物 実技		
評	価 碁	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ノョン能力 課題	題発見・解	決能力		)	
ァ	<b>+</b> 2	<b>スト</b>	これからの保育のためのICTリテラシー&メディア入門講座 みらい 授業内で適宜プリントを配布します	社 2022	年春刊行予定					
参	考	書								
	ード	小レポートについては、次の授業で口頭にてフィードバックを行います 対する バック								
留	意『	授業内ではあるテーマをもとにディスカッションを行います。 積極的な姿勢を求めます。 事項								
	フィ	r ス -	第1回目の授業で告知します							
実践	<b></b>	教育	実践的教育 教員の実務経験など:神戸親和女子大学 情報処理教育センター 動	<b></b> 動務						

#### 授業 名保育と情報メディア

	休月と同報グライブ	
授業計画		学修内容・課題
	イントロダクション 	(学修内容)この授業の方針や小レポートについて説明する 
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) コンピュータとスマートフォンの違いについて発表できるようにする
	Sociaty 5.0 について考える	(学修内容)狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会の違いを学ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 上記の社会の特徴について発表できるようにする
	SNSの光と影	(学修内容)SNSの特徴、長所、短所について考える
第3回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
	ハードウェアとソフトウェア	(学修内容)ハードウェアとソフトウェアの違いを考える
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) なぜスマートフォンやタブレットが普及したのか考え、レポート提出する
	インターネット	(学修内容)WWWの仕組みについて考える
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターネットの歴史をまとめる
	保育で見られる多様なメディア(1)教育動画	(学修内容)幼児向け通信教育の教材を考える
第6回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 幼児向け通信教育の教材を探しておく
	保育で見られる多様なメディア(2)子ども向け TV番組	(学修内容)子ども向けTV番組の歴史を振り返る
第7回	1	(事前事後学修課題の内容)(60分) 子ども向けTV番組はどのような点が変化してきたのか、考え、レポート 提出する
	保育で見られる多様なメディア(3)youtube	(学修内容)子ども向けyoutubeを考える
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) TVやビデオ等との違いについてまとめる
	保育で見られる多様なメディア(4)保護者対応	(学修内容)保護者への情報モラル教育を考える
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 幼稚園や保育所で見られる情報に関する事例を探しておく
	情報セキュリティ	(学修内容) ウイルス、個人情報保護、暗号化について考える
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) なぜウイルスソフトをインストールしなければならないのか、理由をこ たえられるようにする
	インターネットリテラシー	(学修内容)情報の真偽、著作権、肖像権について考える
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) SNSのメリットとデメリットを発表できるようにする
	IoTの実際	(学修内容) IoT活用について学ぶ
第12回		(事前事後学修課題の内容) (120分) IoT活用されているものを調べ、パワーポイントで資料を作成し、発表 できるようにする
	IoTの実際(2)どのような分野でIoTが進められ	(学修内容) IoTについての発表を行い、受講生同志の情報共有を図る
第13回	ているのか	(事前事後学修課題の内容)(60分) 発表を聞いて一番印象に残った発表とその理由をレポートにまとめる
第14回	高度情報社会の進展	(学修内容)ビッグデータの活用、自動運転システム、スマート家電について考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 今後の社会の情報化はどんな方向に進むのかレポートにまとめる
	まとめにかえて これからの情報社会のゆくえ	(学修内容)身の回りの情報機器や保育業界の変化について考える
第15回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 自分のもっている情報機器でもっとも進化したものを紹介する

授 業 夕	子どもの遊びと生活	開講	2回生	単位数	2単位	科目	CS2125			
	Children's Play and Living	学 年 開 講	秋学期	1 12 ×	必修	コ - ド 選択	302120			
	-	時期								
担 当 者	名賀 亨・平尾 隆史	対象学生	幼児教育2回生	Ē						
授業の概要	「生活科」の設置目的や内容を理解する。幼児の遊びや生活経験をかさね身についた学びを小学校以降の生活や学習の芽生えとして伸ばしていくことの重要性を学ぶ。幼児にふさわしい生活展開ができるよう、幼稚園教員としての専門性を高め、資質の向上を図る。									
学修成果到達目標										
	知識・理解	沪	1用的技能							
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力					
方針との関連										
アクティブ・	│	│ グループワ	]_ <i>h</i>	<b>→</b> 1	ガンニー	, = >,				
ラーニング 対象授業			ノーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	, ヨノ 				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記( 50		実習		削作物 €技				
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (		) (	発見・解	決能力		)			
テキスト	文部科学省編『幼稚園教育要領』平成29年3月、『小学校学習指導要内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育			7月						
参考書	文部科学省編『幼稚園教育要領解説』平成30年3月、『幼保連携型設 文部科学省編『小学校学習指導要領解説 生活編』平成29年とその			解説』(刊	^Z 成30年3月	引)、				
課題に対する フィードバック の方法										
留意事項	出席を重視する。									
オフィスアワー	1回目の授業で発表する									
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など: 京都市立六原小学校 教諭、京都市立桃山南 京都市立石田小学校 教頭、京都市立羽束師 京都市教育委員会 指導主事、京都市立石田	小学校 教	頭							

#### 授業 名子どもの遊びと生活

受業計画		学修内容・課題
第1回	オリエンテーション 「生活科」について理解する 〜幼児教育と小学校教育の連続性〜	(学修内容)授業の進め方・流れ・評価の仕方を確認する。 「生活科」の目標・内容・改訂の要点などを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読み、内容をまとめておく。
第2回	幼児の「遊び」と小学校教育以降の「学習」の連 続性について理解する	(学修内容)幼児の「遊び」と小学校教育以降の「学習」の連続性について理解し 教材を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読み、内容をまとめておく。
第3回	幼児理解に基づいた教材づくり 遊び名人になろう (1)飛ぶおもちゃをつくって遊ぼう	(学修内容)素材の特性を生かし、飛ぶおもちゃをつくって遊ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 自分の作品のアイデアや遊び方を考えておく。
第4回	が児理解に基づいた教材づくり 遊び名人になろう (2)飛ぶおもちゃをもっと工夫してつくって遊 ぼう	(学修内容)素材の特性を生かし、飛ぶおもちゃを工夫してつくって遊ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 自分の作品のアイデアや遊び方を考えておく。
第5回	幼児理解に基づいた教材づくり 遊び名人になろう (3)がりがりプロペラをつくって遊ぼう幼	(学修内容)身近な材料を使って、がりがりプロペラをつくって遊ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 自分の作品のアイデアや遊び方を考えておく。
第6回	幼児理解に基づいた教材づくり 季節と遊ぼう (1)秋を見つけよう	(学修内容)グループに分かれて秋の自然を諸感覚で感じながら観察を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 秋の自然を観察し撮った写真や観察した資料をまとめておく。
第7回	幼児理解に基づいた教材づくり 秋と遊ぼう (2)秋のもので森の生き物たちをつくって遊ぼ う	(学修内容)秋のものと身の回りにある材料を組み合わせてつくって遊ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 秋のものと身の回りにある材料を準備し、つくるものを考えておく。
第8回	幼児理解に基づいた教材づくり 秋と遊ぼう (3)見つけた秋を伝え合おう	(学修内容)秋の自然観察をパワーポイントにまとめ、発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表の準備をしておく。
第9回	アプローチカリキュラムとは	(学修内容)幼稚園から小学校へのつなぎを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) アプローチカリキュラムについて調べてまとめておく。
第10回	遊びを中心とした子どもの学びと育ち	(学修内容)遊びを通した子どもの学びと育ちの意味を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 幼稚園や保育園の実習で体験した遊びを整理し子どもの学びを考える
第11回	子どもの遊びを考えてみる	(学修内容)アプローチカリキュラムを意識して具体的な遊びを考え発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 子どもの様々な遊びを考えて整理しておく。
第12回	アプローチカリキュラムの企画(1)	(学修内容)グループごとにアプローチカリキュラムの企画を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 幼稚園児の園外保育について調べておく。
第13回	アプローチカリキュラムの企画(2)	(学修内容)具体的に現場に出て企画したカリキュラムを実践してみる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 実践に必要な準備をしておく。
第14回	アプローチカリキュラムの企画(3)	(学修内容)カリキュラムの実践を振り返りパワーポイントにまとめる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 実践した記録を整理しまとめておく。
第15回	アプローチカリキュラムの企画と評価	(学修内容)パワーポイントにまとめたカリキュラムを発表し全員で評価する (事前事後学修課題の内容)(60分) パワーポイント発表に必要な準備を進めておく

授 業 名	子どもの人権	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CS1112			
英 文 名	Children's Rights	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択				
担当者	湯浅 俊郎 対象 対別教育1回生									
授業の概要	人権は、歴史的にみればわかるように、固定的なものではない。人権の主張があり、それが支持を得て社会的に承認され、法的に認められること等を通して、人権として定着してくる。このように人権は人々の努力によって拡大、伸張するものであることを把握する。授業では、具体的にいくつかの問題を取りあげ、人権と人権問題、その改善と解決の方法を考えていく(授業の進展度合いにより予定の変更もあります)。									
学修成果到達目標	1)「グローバル化」とともに少子高齢社会が進行している日本社 2)「グローバル化」とともに少子高齢社会が進行している日本社 うな問題があるのかについて理解できる。 3)「グローバル化」とともに人口減少が進行し労働力が弱体化し のとなる。女性労働において、どのような問題があるのかについて	t会において ていく日z	て、男女共同参画社 本社会において、女	会の実現	について	どのよ				
	知識・理解	'n	凡用的技能							
学位授与の	態度・志向性	紫	総合的な学習経験と	創造的思	考力					
方針との関連										
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (60%)     口述     実習     実技	平常記 ( 40		i レポ 実習		制作物 実技				
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーミ	ンョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)			
テキスト	授業時に資料を配布する									
参考書	適宜紹介する									
課題に対する フィードバック の方法										
留意事項	積極的・主体的な学習参加を期待する									
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。									
実践的教育										

# 授業 名子どもの人権

7X * L	」このの人権	
授業計画	- 11 1111	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の概要について説明する。人間について考察する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 指定した予習・復習
	  人権問題の多様性	   (学修内容)社会権・平等権・自由権について考察する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 指定した予習・復習
	グローバル化により生じている問題	(学修内容)尊厳・平等・自由が否定される事例について考察する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 指定した予習・復習
	外国人の問題	(学修内容)外国人との共生の問題について理解する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 関連報道記事を準備する。
	外国人の問題	(学修内容)自治体における外国人との共生に関する取り組みを理解する
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 関連報道記事を準備する。
	少子高齢化の問題	(学修内容)少子社会における子ども・家族の問題について考察する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 関連報道記事を準備する。
	性の問題	(学修内容)男女共同参画社会への道のりについて理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 関連報道記事を準備する。
	男女の行動の違いについて性差の刷り込みの	(学修内容)性差の刷り込みの影響について考察します。
第8回	影響	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習。
第9回	男女の行動の違いについて社会環境が性差を生む?	(学修内容)社会環境により性差を生む側面について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習
	男女の行動の違いについて女性は交渉を避け	- (学修内容)女性らしさというジェンダー規範の問題について考査する。
第10回	る傾向あり?	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習。
	性差を超えた取り組み	(学修内容)人との関わりかたの差について考察し、性差を超えた取り組みについて
第11回		考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習。
	女性労働の問題女性の社会進出の現状	(学修内容)国際比較をまじえて女性の社会進出の現状について考察する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習。
	女性労働の問題女性労働の壁について	(学修内容)女性労働の制度的な壁となっている問題について考察する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習。
	女性労働の問題について社会保障のありかた	(学修内容)女性労働における社会保障のありかたについて考察する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前講の復習。
	まとめ	(学修内容)本講義のポイント整理。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 定期レポートにむけた質問事項。

授 業 名	保幼小連携の実際	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CS2126		
英 文 名	Actual Conditions of Nursery school-kindergarten-elementary school Cooperation	開講時期	秋学期		必修選択	選択			
担当者	柘植 誠子	対 象	^東 幼児教育2回生						
授業の概要	第生   がパスをは、								
学修成果到達目標	1.幼小接続期における課題を調べ発表することができる。 2.幼小連携の取り組み内容を考え発表することができる。 3.実習の取り組みと本授業を関連づけ考えることができる。								
	知識・理解	沂	1用的技能						
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│ グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記( 50		東習		削作物 尾技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	随時、プリントを配布する								
参考書	文部科学省中央審議会答申 第1章「こどもを取り巻く環境の変化を 文部科学省中央審議会答申 「幼稚園と小学校教育との連携・接続			方向性」					
課題に対する フィードバック の方法									
留意事項	保育実習や教育実習での5歳児の活動や関わりを中心に考察していく ておく。	、ため、実	習での具体的な事	例を発表で	ごきるよう	にし			
オフィスアワー	第1回目の授業において提示します。								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:公立幼稚園教諭、教育委員会主任主事として	勤務							

#### 授業名 保幼小連携の実際

ガイダンス 保幼小連携を学ぶ意義 保幼小連携の実際 小一プロブレムを考える これからの保幼小の連携 アプローチカリキュラムの理解 アプローチカリキュラムの実際	(学修内容)授業の進め方や評価の方法についてガイダンスを行う。この授業を行う意義について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 各市町村の保幼小の連携の実際を調べ、発表できるようにしておく。  (学修内容)保幼小現場での課題について (事前事後学修課題の内容)(30分) 小一プロブレムについて調べ、発表できるようにしておく。  (学修内容)小一プロブレムの原因について (事前事後学修課題の内容)(30分) 小一プロブレム改善策を発表できるようにしておく。  (学修内容)今後の保幼小の連携の在り方について (事前事後学修課題の内容)(30分) アブローチカリキュラムとスタートカリキュラムについて調べ、発表できるようにしておく。  (学修内容)アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから)  (事前事後学修課題の内容)(30分) アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから)
小一プロプレムを考える これからの保幼小の連携 アプローチカリキュラムの理解	(事前事後学修課題の内容)(30分) 名市町村の保幼小の連携の実際を調べ、発表できるようにしておく。 (学修内容)保幼小現場での課題について (事前事後学修課題の内容)(30分) 小一プロブレムについて調べ、発表できるようにしておく。 (学修内容)小一プロブレムの原因について (事前事後学修課題の内容)(30分) 小一プロブレム改善策を発表できるようにしておく。 (学修内容)今後の保幼小の連携の在り方について (事前事後学修課題の内容)(30分) アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについて調べ、発表できるようにしておく。 (学修内容)アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから) (事前事後学修課題の内容)(30分) アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから)
小一プロプレムを考える これからの保幼小の連携 アプローチカリキュラムの理解	各市町村の保幼小の連携の実際を調べ、発表できるようにしておく。  (学修内容)保幼小現場での課題について  (事前事後学修課題の内容)(30分)
小一プロプレムを考える これからの保幼小の連携 アプローチカリキュラムの理解	<ul> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分)</li></ul>
これからの保幼小の連携 アプローチカリキュラムの理解	ループロブレムについて調べ、発表できるようにしておく。  (学修内容) 小一プロブレムの原因について  (事前事後学修課題の内容) (30分)
これからの保幼小の連携 アプローチカリキュラムの理解	(事前事後学修課題の内容)(30分)
アプローチカリキュラムの理解	<ul> <li>小一プロブレム改善策を発表できるようにしておく。</li> <li>(学修内容)今後の保幼小の連携の在り方について</li> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分)         アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについて調べ、発表できるようにしておく。</li> <li>(学修内容)アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから)</li> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分)         アプローチカリキュラムについて調べ、ディスカッションができるよう</li> </ul>
アプローチカリキュラムの理解	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについて調べ、発表できるようにしておく。  (学修内容)アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから)  (事前事後学修課題の内容)(30分) アプローチカリキュラムについて調べ、ディスカッションができるよう
	(学修内容)アプローチカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから) (事前事後学修課題の内容)(30分) アプローチカリキュラムについて調べ、ディスカッションができるよう
アプローチカリキュラムの実際	アプローチカリキュラムについて調べ、ディスカッションができるよう
アプローチカリキュラムの実際	しておく。
	(学修内容)グループでパワーポイントを作成する。
	(事前事後学修課題の内容)(30分) アブローチカリキュラムについて、グループで発表できるようにしてお く。
アプローチカリキュラム発表	(学修内容)グループでの役割を決め発表する。 他者の評価を見て、学ぶ。
	(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自、反省評価を行い、評価シートに記入しておく。
スタートカリキュラムの理解	(学修内容)スタートカリキュラムの理解(様々なカリキュラムから)。
	(事前事後学修課題の内容)(30分) スタートカリキュラムについて調べ、ディスカッションができるように しておく。
スタートカリキュラムの実際	(学修内容)グループでパワーポイントを作成する。
	(事前事後学修課題の内容)(30分) スタートカリキュラムについて、グループで発表できるようにしておく
スタートカリキュラムの発表	。 (学修内容)グループでの役割を決め発表する。 他者の評価を見て、学ぶ。
	(事前事後学修課題の内容)(60分) 各自、反省評価をおこなっておく。
様々なアプローチカリキュラム 1 アプローチカリキュラムを構築する	 (学修内容)アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラムについてグループで 具体的な内容を考える。
ノノロ ノルノコユノムで情栄する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 様々なカリキュラム実践を見つけてくる。
様々なアプローチカリキュラム 2	(学修内容)アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラムについてグループで
ァノローナルリキュフムを構染する	具体的な内容を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表原稿を完成させる。
様々なスタートカリキュラム 1	 (学修内容)アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラムについてグループで 具体的な内容を考える。
ヘノ「1 ルソTュノムで開来する	兵体的な内容を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表原稿を完成に近づける。
様々なスタートカリキュラム 2 スタートカリキュラムを構築する	 (学修内容)アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラムについてグループで 具体的な内容を考える。
ハノ・1カノ・ユンMと将来する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 発表原稿を完成させる。
具体的なカリキュラム作成 登実	(学修内容)幼稚園、保育所のカリキュラム及び小学校のカリキュラムと連携方法について発表を行う。
704X	フいて完表を行つ。  (事前事後学修課題の内容)(30分)   発表した内容をレポートにまとめる。
	アプローチカリキュラム発表 スタートカリキュラムの理解 スタートカリキュラムの実際 スタートカリキュラムの発表 様々なアプローチカリキュラムを構築する 様々なアプローチカリキュラムを構築する 様々なアートカリキュラムを構築する 様々なスタートカリュラムを構築する 様々なスタートカュラムなスタートカュラムなスタートカリュラムを構築する

授 業 名	日本国憲法	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CE1206
英 文 名	The Constitution of Japan	開講時期	春・秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	大庭 弘継	対 象学 生	幼児教育1回生	,			
授業の概要	憲法や法律を、日常生活で意識することは、あまりないかもしれまえる重要な仕組みです。この講義では、日常生活との関係から憲法まれたときに役立つ知識、さらに主権者として必須の知識を習得し	や法律をま					
学修成果到達目標	1)日本国憲法を、くらしに関連する法律と共に、理解する。 2)人生の各段階で直面する様々な問題を、法的側面から理解する 3)主権者として必要な知識を習得することができる	ことができ	÷る。				
	/nath TRAZ	25	<b>四位社</b> 化				
学位授与の	知識・理解態度・志向性	-	見用的技能 合的な学習経験と	創造的思想	 考力		
方針との関連	1000 101712		, <u> </u>	A372 × 370.	373		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク ](自主学習支援)	プレ	ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記( 50		レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解決	決能力		)
テキスト	プリントを毎回配布します。						
参考書	『おとめ六法』(上谷さくら・岸本学、KADOKAWA、2020年)、『マ、2014年)、『こども六法』(山崎聡一郎、弘文堂、2019年)、『業出版社、2019年)、授業中に適宜紹介する						
課題に対する フィードバック の方法	理解度確認のための小テスト等を行い、授業時に解説・コメントを	行います。					
留意事項	関連するニュースを取り上げ、発言・コメントを求めます。						
オフィスアワー	質問・相談等は、担当授業終了後に受け付けます。						
実践的教育							

#### 授業名 日本国憲法

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション (憲法、法律、日常生活)	(学修内容)講義概要を紹介し、憲法・法律と日常生活の関係についての概要を学ぶ
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
2,5 1,7		本授業計画(シラバス)に目を通すとともに、日本国憲法を一読してお
		(ΣΕ.
	幸福追求権と公共の福祉	(学修内容)日本国憲法で規定する「幸福追求権」と「公共の福祉」の関係、「自己
		情報コントロール権」など新たな自己決定権を学ぶ。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
7,521		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	法の下の平等	(学修内容)平等の概念が、法律にどのように反映されているか、判例や男女雇用機
		会均等法などと共に学ぶ。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
2,500		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	表現の自由	(学修内容)SNSの普及によりネットでの中傷が社会問題化している。憲法に定めの
		ある表現の自由と公共の福祉の関係などについて学ぶ。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	経済的自由と労働権	(学修内容)いわゆるフリマアプリにより若年層にも身近になった経済活動について
		、「職業選択の自由」などの憲法規定、労働法規とともに考える。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
узод		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	婚姻	(学修内容)婚姻は両性の合意のみによって成立する。恋愛関係と婚姻の違い、事実
		婚について学習する。また離婚の問題について扱う。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
узод		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	家族	(学修内容)家族には、相続や介護といった複雑な問題が付随してくる。家族関係で
	3/11/	生じる権利や義務について学ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
<i>ऋ₁</i> ⊏		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	子ども	(学修内容)子ども(未成年)の権利と制約について、また親と社会の義務について
	1,00	、少年法や児童の権利条約について学ぶ。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
NO CO		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	生存権と社会保障	(学修内容)憲法が定める「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」に関連する
		社会福祉、社会保障、公衆衛生について学ぶ。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
No CEI		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		を利用して事前学習をすること。
	教育と学問	(学修内容)教育を受ける権利を中心に、義務教育と大学の教育の相違、学問の自由
	教育と手間	について学ぶ。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
おで四		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		争前に工会な事例で法律を指示するので、インサーベットで法令業など を利用して事前学習をすること。
	犯罪と刑罰	(学修内容)憲法は、犯罪と処罰について多くの条文を割いている。被疑者の権利や
	10 TE - 11 B1	私人逮捕など、犯罪に巻き込まれた場合に必要となる知識を学ぶ。
第11回		本人逐冊など、北非に含さ込まれた場合に必要となる知識を子ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
29 1 1 1 1		事前手後子修林起の内台)(30万)
		争前に主要な争例や法律を指示するので、イブダーネットや法マ集などを利用して事前学習をすること。
	財政と税金	(学修内容)納税の義務、納税の仕組み(確定申告と源泉徴収など)、納税に準じる
	N → A ← 1/1. 並	年金などの制度、国家予算の仕組みについて学ぶ。
第12回		中立などの前及、国家で昇のは組みにづいて子が。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
新 I Z 凹		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
		争削に主要な争例や法律を指示するので、イブダーネットや法令集などを利用して事前学習をすること。
	   行政と地方自治	(学修内容)現代の国家において、行政権は国民生活の広範に及んでいる。行政国家
	1	現象と称される実情、ならびに地方自治体が担う行政について学ぶ。
第13回		現象と称される美術、ならいに地方自治体が担づ行政にづけて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
2013년		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
	  参政権、国会、憲法改正	を利用して事前学習をすること。 (学修内容)選挙権年齢の18歳への引き下げ、多様な政治参加の進展、憲法改正問題
	シ以惟、凶云、思仏以止	(学修内谷)選挙権中歌の18歳への引き下げ、多様な政治参加の進展、憲法改正向選など、現代の参政権とその課題について学ぶ。
第14回		はこ、現代の参以権とその課題にプロビチが。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>新14</b> 凹		
		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集などを利用して事前党羽をオスニト
	<b>キレめ</b>	を利用して事前学習をすること。
	まとめ	(学修内容)これまでの授業で取り上げた、重要な論点を振り返る。
954CE		(東前東後受終課題の内容)(20分)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前に主要な事例や法律を指示するので、インターネットや法令集など
	1	を利用して事前学習をすること。

授 業 名	レクリエーション理論	開 講学 年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	CE2214
英 文 名	Recreation Theory	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	名賀 亨	対象学生	   幼児教育2回生	Ē			
授業の概要	レクリエーションという言葉の趣旨を理解し、手段であるレクリエー 解する。そのためレクリエーションの概論、楽しさと心の元気づく な角度から、グループワークや体験なども通して総合的にレクリエー	  -ション活  りの理論、	レクリエーション				
学修成果到達目標	1)レクリエーションの意味やレクリエーションインストラクター2)達成感や良好なコミュニケーションなど楽しさを感じる心の仕3)対象者のライフステージに即した心の元気づくりの課題を理解4)レクリエーション活動を用いることで良好な集団が形成されるて対象者と関わることを理解し実践に結び付けることができる。	組みとレク し、適切な	≀リエーション支援 は実戦につなぐこと	またついて こができる	理解する。 。		
	知識・理解	洌	用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
万町との財産							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 70 %) 口述 実習 実技	平常記		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理会 公益財団法人 日本レクリエーション協会	論と方法」					
参考書	適宜授業において紹介する						
課題に対する フィードバック の方法	課題レポートや適宜行う発表に関してその内容を評価するとともに、 を促す。	、関連事項	9を加味してその解	<b>詳説を行い</b>	それぞれの	の学び	
留意事項	レクリエーション実習での実践を意識しながら理論の理解に努める。 や実践方法などを整理して、実習で活かせるようにする。	, あわせて	こ、この授業で学ん	だレクリ	エーション	ソ理論	
オフィスアワー	水曜日 12:20~13:00						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:1988年~18年間、ボランティア・市民活動支 象にしたボランティア学習プログラムを通し ファシリテーターとしてのインストラクター	たレクリエ	ニーションプログラ	ムを実践	するととも		

#### 授業 名 レクリエーション理論

授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業の枠組みや授業評価など全体像の説明
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) シラバスを確認するとともに、自分が考えるレクリエーション像を整理 しまとめておく
第2回	レクリエーション支援の目的と方法	(学修内容)レクリエーションという言葉の主旨、目的、インストラクターの役割などについて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP10~を読みレクリエーションの意味を整理してまとめておく
第3回	楽しさをとおした心の元気づくりと対象者のこころの元気の理解 1 レクリエーションインストラクターの二つの役割	(学修内容)レクリエーション活動の楽しさやその楽しさを感じる心の仕組みなどを グループワークを通して学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP20~を読み「楽しさと楽しさを感じる仕組み」を整理してま とめておく
第4回	楽しさをとおした心の元気づくりと対象者のこころの元気の理解 2 レクリエーション活動そのものの楽しさと活動することの楽しさ	(学修内容)活動を心の元気づくりに生かす2つの視点、ライフステージに応じた心の元気づくりなどについて、ディスカッションを通して学ぶ(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP26~を読み「心の元気づくり」について整理してまとめてお
第5回	楽しさをとおした心の元気づくりと対象者のこころの元気の理解 3 子どもを育む地域のきずな、高齢者を支える地域のきずな	(学修内容)こころの元気と地域のきずなづくりとレクリエーションについて、グループワークを通して学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP33~を読み「地域でのきずなづくり」について整理してまとめておく
第6回	レクリエーション支援の理論 1 レクリエーション支援におけるコミュニケーション 信頼関係づくりの方法	(学修内容)コミュニケーションと信頼関係づくりの理論について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP38~を読んで「コミュニケーションや信頼関係」について整理してまとめておく
第7回	レクリエーション支援の理論 2 レクリエーション活動を通した良好な集団づくり	(学修内容)良好な集団づくりの理論について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP44~を読んで「集団づくりやコミュニケーション」について
第8回	レクリエーション支援の理論 3 やる気の変化とやる気が生じる心の仕組み	整理してまとめておく (学修内容)自主的、主体的に楽しむ力を育む理論について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP50~を読んで「主体的にレクリエーション活動を楽しむ力」 について整理しまとめておく
第9回	レクリエーション支援の理論 4 成功体験を支え合う対象者の関わり	(学修内容) やる気の変化とやる気が生じる心の仕組みや対象者の関りについて、ティスカッションを通して学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP54~を読み「変化するやる気」や「自己効力感」について整理しまとめておく
第10回	レクリエーション支援の方法 1 あたたかくもてなす意識と配慮	(学修内容)信頼関係づくりの方法・ホスピタリティについて、グループワークを通 して学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP58~を読み「もてなす意識と配慮」について整理しまとめて
第11回	レクリエーション支援の方法 2 アイスブレイキングのプログラム	おく (学修内容)良好な集団づくりの方法について、グループワークを通して学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP66~を読み「アイスプレイクの支援技術など」について整理 しまとめておく
第12回	レクリエーション支援の方法 3 目標設定の原則	(学修内容)自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開方法について、ディスカッションを通して学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP70~を読み「楽しむ力を高める目標設定の方法や目標設定の原則」について整理しまとめておく
第13回	レクリエーション支援の方法 4 対象者に合わせるレクリエーション活動	(学修内容)レクリエーション活動のアレンジについて、グループワークを通して学ぶ(事前事後学修課題の内容)(60分)テキストP74~を読み「基本のアレンジや段階的なアレンジの応用」について整理しまとめておく
第14回	レクリエーション支援のプログラム 様々な具体的支援プログラムとその方法	(学修内容)レクリエーション活動におけるリスクマネジメントの方法やプログラム 立案方法について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) レクリエーション活動にあるリスクについて整理しまとめておく
第15回	まとめ レクリエーション支援の全体像	(学修内容)これまでの学びを整理するとともにプログラムの実施と評価及び改善に ついて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) ここまでの学びを整理しておく

授	業	名	教育原理	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード CE1208
英	文	名	Principles of Education	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択
担	当	者	堀出 雅人	対 象 学 生	幼児教育1回生	Ξ		
授訓	業の	概要	洋の東西を問わず、教育に求められる役割はますます肥大化し、教育基本的な考え方やしくみを社会や歴史との関係をふまえながら学習でを中心に、幼児教育に求められる基本概念について理解する。また、の発達や現代社会と教育との関係をもとに、幼児教育で大切なことに述べることが授業の目的である。なお、資料の共有やレポート作成	する。とり 今後の幼 は何か、さ	)わけ幼児教育に大 カ児教育のあり方を まざまな資料や記	てきな影響 €予測する ピ事をもと	を与えた! とともに、 に自らの!	思想家 . 人間
		戏 果	1)諸外国における教育の変遷や原理の違いについて説明することだ 2)幼児教育の発展過程について、専門的な知識をもとに説明する。 3)乳幼児に対する教育観・保育観について、説明することができる	ことができる。				
24 (2	L 4777		知識・理解		用的技能	- 剑生的田	<del>*</del> +	
		与の )関連	態度・志向性	ANE	合的な学習経験と	.剧逗的忠	专刀	
アク ラー 対象	ニン			ブループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション
評	価ブ	方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記		策 レポ 実習		制作物 実技
評	価基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤ 観点 授業態度・参加意欲 (	ヹンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	題発見・解	決能力	)
テ	+ 7	スト	竹内聖子・内山絵美子編著『生活事例からはじめる教育原理』第2版	青踏社	2021年			
参	考	書	文部科学省 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 2018年 その他適宜指示します。					
	ード	付する バック	提出を求めるレポートなどは後日授業中にチェックしたものを返却し 講生の見本としてどこが優れていたのか説明を行います。	します。優	憂れたレポート等に	は授業中に	紹介し、1	他の受
留	意『	事項	主として講義により授業を進めます。テキストを読みその内容から終えを書き出すことが授業の中心となります。そのため、必ずテキスましょう。欠席する場合は事前に連絡をしましょう。また、配慮事I	トは購入し	てください。提出	課題は期	日を守り	-
	フィワ	ィス -	授業時間終了後教室で行います。まとまった時間が必要な場合はメ- 程調整します。	ールを下さ	Ell(ku096horide@	kyotokach	o-u.ac.jp	)。日
実践	线的	教育						

# 授業名 教育原理

技 未 口			
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	教育とは何か	T活	
第1回		前:	題の内容)(60分) 「教育」から連想されるイメージや単語を書き出してくる
	世界の子ども観の変遷	(学修内容)世界	テキスト第1章を再読し、キーワードを復習する 『の近代以前・以降の子ども観について説明することができる【ICT
第2回			題の内容)(60分)
		後:	シュタイナー教育の特徴について調べ書き出してくる テキスト第13章を再読し、キーワードを復習する
	世界の教育の歴史 フレーベルによる幼児教育を中心に		の教育の歴史の概要を説明することができる【ICT活用】
第3回		前:	問題の内容)(60分) フレーベルについて調べ書き出してくる テキスト第14章を再読し、キーワードを復習する
	日本の子ども観の変遷		「国の近代以前・以降の子ども観について説明することができる【IC
第4回		(事前事後学修課	
			テキスト第11章を再読し、キーワードを復習する
	日本の教育の歴史	(事前事後学修課	「国の幼児教育・保育の歴史を説明することができる【ICT活用】 ・題の内容)(60分)
第5回			「寺子屋」について調べてくる テキスト第12章を再読し、キーワードを復習する
	教育と福祉		でと福祉、あるいは保育の定義を説明することができる【ICT活用】 思題の内容)(60分)
第6回		前:	幼稚園と保育所との違いを調べてくる テキスト第2章を再読し、キーワードを復習する
	教育の目的、機能	(学修内容)教育	fの今日的課題と法律上の教育の位置づけや役割を説明することがで
第7回		(事前事後学修課	。【ICT活用】 思題の内容)(60分)
	41 W 44 16 47 0 14 1 15	後:	テレビや新聞から現在の教育保育現場の課題を1つ調べてくる テキスト第3章を再読し、キーワードを復習する
第8回	就学前教育の制度	でき	見教育・保育の無償化と諸外国の就学前教育の制度を説明することが :る【ICT活用】 課題の内容)(60分)
띄이유		前:	幼児教育・保育の無償化について調べてくる テキスト第6章を再読し、キーワードを復習する
	乳幼児期の発達と教育の特性	(学修内容)乳幼	カ児期の発達を踏まえ教育実践を転換する意義を説明することができ 1CT活用】
第9回		1 '	思の内容)(60分) 見学等で触れた幼児教育実践の内容とねらいを書き出してくる
	可从日本在地上为什么地方中联系基础		テキスト第5章を再読し、キーワードを復習する
第10回	乳幼児教育期における教育実践の基礎	ICT)	さも理解に基づく保育の計画、実践、省察を説明することができる【 活用】 以題の内容)(60分)
원이용		前:	各幼稚園のホームページからその教育目標を調べてくる テキスト第7章を再読し、キーワードを復習する
	乳幼児期における遊びの意義と教育実践	(学修内容)乳幼 ICT)	n児期のおける「遊び」の意味とその特徴を説明することができる【 活用】
第11回		前:	思の内容)(60分) 乳幼児期の具体的な「遊び」をイメージして書き出す
	就学前教育と小学校教育の違い	(学修内容)就学	テキスト第8章を再読し、キーワードを復習する 前教育と小学校教育との差異と連携の在り方を説明することができ
第12回		(事前事後学修課	(ICT活用】 問題の内容)(60分)
	保育者の専門性	後:	幼稚園、保育園、こども園と小学校との連携について調べてくる テキスト第9章を再読し、キーワードを復習する 「者の専門性と現場での同僚性について説明することができる【ICT
第13回	NE EACH IT	活用	
2,3,00		前:	保育者の専門性について考え書き出してくる テキスト第10章を再読し、キーワードを復習する
	「遊びを通して学ぶ」とは モンテッソーリメソッドを中心に	(学修内容)幼児 ICT)	教育の「遊び」の重要性と保育者の役割を説明することができる【 活用】
第14回		前:	思題の内容)(60分) モンテッソーリについて調べ書き出してくる
	生涯学習		テキスト第15章を再読し、キーワードを復習する E学習の意味と我が国のその現状について説明することができる【IC
第15回		T活	
Nich		前:	「生涯学習」から連想されるイメージや単語を書き出してくる テキスト第4章を再読し、キーワードを復習する
	-		• •

授 業 名	教育心理学	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2212
英 文 名	Educational Psychology	開講時期	春学期		必 修 選 択	選択	
担当者	渋谷 郁子	対象学生	   幼児教育2回生	Ē			
授業の概要	幼児教育における学びとは、生活や遊びを通した学びである。本講 学ぶことで、生活や遊びを通して、子どもたちの個々の発達の姿をを培うことを目的とする。また、保育者間の協働、保護者との連携 深めていく。テーマによってグループ討議等も行うので実践力を養	 義では、心 把握する観 、保幼小連	現察力を培い、適切 重携など、現代の保	]な発達援	助を行う!	実践力	
学修成果到達目標	1.教育心理学の基礎的知識を習得し、教育現場で応用できる力を 2.主に乳幼児期の各時期における精神活動の発達過程と発達特性 3.子どもの発達や保育の中での人間関係などを心理学的に理解し 4.学習を支える教師の役割や意義を理解する。	について理	[解する。	.ることが	できる。		
	知識・理解	泂	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	PBL ディスカッション・ディベート	グループワ	リーク	プレ	ゼンテー	ション	
ラーニング 対象授業			](自主学習支援)				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレー観点授業態度・参加意欲(	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト 参 考 書	教科書は指定しない。適宜資料を配布する。 藤崎亜由子・羽野ゆつ子・渋谷郁子・網谷綾香(編著)「あなたと生しろさを求めて 」 (2019年) ナカニシヤ出版	きる発達心	ッ理学 子どもの世	:界を発見	する保育の	のおも	
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートはコメントをつけて返却する。						
留意事項	積極的にグループ討議を取り入れる。メンバー全員の学びが促進さ	れるよう意	意識して参加してほ	EU11.			
オフィス アワー	初回授業時に伝える。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:教育・福祉機関でカウンセラーとして勤務、:	教員や保育	『者研修の講師				

### 授業 名 教育心理学

,	<b>教育心垤子</b>	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	心理学による子ども理解	(学修内容)保育実践において、心理学的観点から子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) これまでの心理学の学びがどの程度身についているのか、1回生の授業を振り返って復習する。
第2回	子どもに対する共感的理解	(学修内容)子どもの気持ちを受容的に受け止め、肯定的配慮を行って自己実現を促す関わりを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 子どもに相対するときに、具体的にどんな点に気を付ければよいかを考える。
第3回	子どもの生活と学び	(学修内容)子どもの生活を支える重要性を理解する。また、基本的生活習慣が発達 に及ぼす影響を知る。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 子どもと大人の間に生じる葛藤を、場面の切り替えに着目して考える。
第4回	子どもの遊びと学び	(学修内容)子どもたちの遊びの発達について理解する。また、遊びを通した学びの 意義と遊びの環境について考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 子どもの遊びを支える保育者のかかわりについて考える。
第5回	子ども集団と仲間の発達	(学修内容)仲間関係や自己主張と自己抑制の発達について理解する。仲間関係を育 む環境調整や保育的関わりについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 仲間とはどんな存在か、これまでの経験を振り返って考える。
第6回	子どもの主体性を引き出す教育のあり方	(学修内容)子どもの主体的な学びを引き出す関わりについて考える。また、教師が子どもに与える影響を知り、子どもの糧になる関わりを考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) やる気を引き出す方法について具体的に考えて書く。
第7回	ストレスとメンタルヘルス	(学修内容)子どものストレスの生じ方やストレス反応について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 自分自身の日頃のストレスマネジメントを振り返る。
第8回	葛藤やつまずきを乗り越える力	(学修内容)子どものレジリエンスを高める関わりを考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 保育における養護と教育の配分について考察する。
第9回	観察と記録を通した子ども理解(1)	(学修内容)子どもを観察する視点をリストアップし、実際に使ってみる。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 実習で出会ったエピソードを思い出し、記録する。
第10回	観察と記録を通した子ども理解(2)	(学修内容)観察したことをどのように記録するか、省察を深めることのできる記録のつけ方を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 前回記録した内容を見返し、書き直す。
第11回	環境としての保育者	(学修内容)実習を振り返りながら、環境としての保育者の重要性を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 現在の自分を振り返り、今から気をつけていくべきことをまとめる。
第12回	パーソナリティの理解	(学修内容)子どものパーソナリティを理解するため、パーソナリティについての理論やパーソナリティを把握する方法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 自分自身のパーソナリティについて考察を深める。
第13回	発達に課題のある子どもの理解	(学修内容)発達に課題があるとはどういうことか、発達に課題のある子どもをどのように理解するのかを考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 実習での経験を振り返り、発達に課題のある子どもの実際の姿をイメージする。
第14回	子どもの発達課題に応じた教育のあり方	(学修内容)発達の個人差について理解する。また、個別のニーズに応じた支援を考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 実習先で出会った事例などを用い、具体的な支援方法を考える。
第15回	発達支援における協働	(学修内容)保護者や教師間での情報共有の実際を知り、協働の重要性を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 保護者と関係を構築する方法について考える。

		DD 4##			1	<b>1</b> 1			
授 業 名	教育課程総論	開講学年	1回生	単 位 数	2単位	科目    コード	CE1302		
英 文 名	Outline of Curriculum	開講時期	秋学期		必 修 選 択	選択			
担当者	柘植 誠子	対象 対別教育1回生							
授業の概要	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園における教育課程や全体的な計画の意義や目的、役割を理解し、年齢や発達の姿、保育の連続性を踏まえた教育課程や全体的な計画の編成方法を学びます。また、教育課程からつながる指導計画の作成方法を理解し、実際に短期の指導計画を作成することや、発表、グループワーク等を通してさらに学びを深めます。また、教育課程や全体的な計画の編成から、保育の質の向上へと繋がるカリキュラム・マネジメントを行う意義や重要性を理解し、評価の基本を学びます。								
学修成果到達目標									
	知識・理解	汎	用的技能						
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		き レポ 実習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレ (	ゼンテーシ	ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)		
	河邉貴子編著 『幼児教育・保育カリキュラム論』東京書籍 2019 文部科学省編『幼稚園教育要領』フレーベル館 2017年、 厚生労働 閣府、文部科学省、厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・	· 動省編『保i			官 2017年	、内			
参考書	岩崎淳子他2名 『教育課程・保育の計画とその評価』萌文書林 2	018年							
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートは、次の授業内で適宜コメントします。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
留意事項	要領・指針(3冊)は、主要テキストに合わせて使用するため、毎	回必ず持参	きすること。						
オフィスアワー	第1回目の授業で告知します。								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:公立幼稚園教諭、教育委員会主任主事として	勤務							

#### 授業名 教育課程総論

	<b>お人 日 はれて土 前心 間</b>	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業概要の説明、資質能力の考え方と教育課程について
	教育課程とは何か	カリキュラム・マネジメントの考え方について
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		教育課程の定義について、ノートに要点をまとめておく。
		(当成市家)到休日知の改造の独立性を映まって
	保育におけるカリキュラムの考え方 	(学修内容)乳幼児期の発達の独自性を踏まえて 遊びを中心とした「経験カリキュラム」について
第2回		世の後年のとした「経験ガリチュラム」にういて (事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>뉴스</b> 티		「幼児期に育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい
		姿」について、ノートに要点をまとめておく。
	カリキュラムと指導計画	(学修内容)長期の指導計画と短期の指導計画の関係について
		指導計画の種類と実際
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		いくつかの幼稚園の日案の形式を比較検討し、相違点・共通点を発表で
	かか 関 に か は 2 数 女 部 印	きるようにしておく。
	幼稚園における教育課程・指導計画	(学修内容)幼稚園教育要領と教育課程について 教育課程編成の実際
第4回		教育球性編成の実际 (事前事後学修課題の内容)(60分)
77 TH		いくつかの保育所の日案の形式を比較検討し、相違点・共通点を発表で
		きるようにしておく。
	保育所における計画と評価	(学修内容)保育所の生活と計画について
		保育所における評価について
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		いくつかの認定こども園の日案の形式を比較検討し、相違点・共通点を
	사고·녹피하는 기사 메드 사내 기차 주변 및 지난 씨	発表できるようにしておく。
	幼保連携型認定こども園における教育課程の特徴	(学修内容)幼保連携型認定こども園の特徴 全体的な計画について
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>寿</b> 0四		乳児の特徴を調べ、発表できるようにしておく。
		40000010 EXCHANCE CON DICO CON VS
	乳児保育、1歳以上3歳未満児のカリキュラムの実	(学修内容) 各年齢の保育、計画の実際
	際	
第7回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		各年齢の幼児の特徴を調べ、発表できるようにしておく。
	3歳児以上のカリキュラムの実際	(学修内容)3歳児以上の各年齢の指導計画の実際
		(子形内分)3成元以上の日午取の拍導計画の実际
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		資料を参考に、指導計画を書写しておく。
	指導計画作成の基本とその方法	(学修内容)指導計画の形式、作成手順、作成方法について
₩0E		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回		(事刑事後字形誅越の内谷) (60万)   絵本の読み聞かせの指導計画に使用したい絵本を選択し、内容を理解し
		版本の記が周がその指導計画に使用のたい版本を送れる、P3音を理解しておく。
	指導計画の作成 (ねらい、内容、準備物等)	(学修内容)絵本の読み聞かせにおける指導計画のねらい・内容について
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		指導計画で取り上げる製作物の教材研究をしておく。
	とははいません とはいる とはいる という という とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅうしゅう しゅう	(学修内変) 絵本の語 2 関かせにもける 地道計画の理接機は、 るねもれる かにのばむ
	指導計画の作成 (環境構成、予想される幼児の活動、保育者の援助・配慮等)	(学修内容)絵本の読み聞かせにおける指導計画の環境構成、予想される幼児の活動 、保育者の援助・配慮について
第11回	/ロ±ル、   小月日V1及切   10周寸 /	(事前事後学修課題の内容)(60分)
시카나티		会本の読み聞かせにおける指導計画を完成させておく。
	指導計画の作成 (製作活動)	(学修内容)製作活動における指導計画作成について
-		
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		指導計画で取り上げる製作物の教材研究をしておく。
	  指導計画作成 (製作活動の実際)	(学修内容)製作活動においての援助・配慮について
	TO THE REPORT OF THE PARTY OF T	TO THE PROPERTY OF THE PROPERT
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		指導計画を完成させ、発表できるようにしておく。
		( 当成中央 ) 化消払売 制 に 帰る切入 ル 払 ふ 恋 主 か こ ふ ご に つ い オ
	指導計画、製作活動の発表	(学修内容)指導計画、製作物の紹介、他者の発表からの学びについて
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
정기가입		(事刑事後子修綵題の内存) (60カ)   指導計画に、他者の発表からの学びを反映させ、修正しておく。
		SHORING SOLIO CONTROLO (8
	指導計画の評価	(学修内容)評価の実際について
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		発表した指導計画について、反省、考察、課題等の評価を行い、その内容をもよりで提出する。
	1	容をまとめて提出する。

		開講	1			私日	
授 業 名	保育内容・健康	学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	CE2316
英 文 名	Child Care: Health	開講時期	秋学期		必修選択	選択	
担当者	福井 百合子	対 象 学 生	幼児教育1回生	Ξ			
授業の概要	子どもにとって健康は、健全な成長・発達に必要なものである。心もの健康増進と健やかな育ちを支援するための保育と教育のあり様・ 児保育・教育を意識できるよう観点について学習する。また家庭や: 習慣の確立と健康教育について学習する。学びを深めるために、適	を学ぶ。就 地域におけ	t学後(小学校入学 ける子どもの現状、	後)の教育 乳幼児の	へつなが 生活行動:	る乳幼 や生活	
学修成果到達目標	乳幼児の健康の概念と心身の健康に関する領域「健康」のねらい、乳幼児の成長・発達に関する基礎的な知識をふまえ、運動遊びやはい方法を学ぶ。子どもの発達にとって遊びが持つ意義と果たす役割について説明現代の子どもの健康を取り巻く諸問題を知る。	生活習慣の		)健康を保	障するたい	かの具	
	知識・理解	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	 終合的な学習経験と	:創造的思	 考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 % )     口述     実習     実技	平常記(40		東習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレー	ゼンテーシ	vョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	河邉貴子・吉田伊津美・内田裕子・金澤妙子・鈴木康弘「演習保育	内容健康」	建帛社				
参考書	秋田喜代美・三宅茂夫 監、國土将平・上田恵子 編「シリーズ知の式会社みらい 無藤隆・倉持清美「事例で学ぶ保育内容 <領域>健康」 萌文 その他は適宜提示。	のゆりかこ	ご 子どもの姿から	はじめる∜	頁域・健康	₹」株	
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	教科書とノート持参で受講してください。子どもの健康や育ちに関 保育・幼児教育の中で求められる観点を身につける。	心をもち、	健康増進と健やか	いな育ちを	支援する	ための	
オフィスアワー	授業ガイダンスで案内。						
実践的教育							

#### 授業名保育内容・健康

1X * L	<b>水月17日   健康</b>	
授業計画		学修内容・課題
	授業ガイダンス 乳幼児の健康、安全な生活とふさわしい生活と保	(学修内容)授業ガイダンス。乳幼児の健康、安全な生活とふさわしい生活と保育者の役割について学ぶ。
第1回	育者の役割	(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の該当箇所を読み子どもにとっての健康、保育の中での保健活動 の意義を考えておく。第1章
	子どもの身体的発育発達と健康	(学修内容)子どもの身体的発育発達と健康について学ぶ。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容の復習と教科書の該当箇所を読み身体的発 達過程を整理しておく。第2章
	子どもの生理的機能発達と健康	(学修内容)子どもの生理的機能の発達と健康について学ぶ。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容の復習と教科書の該当箇所を読み生理機能 の発達過程を整理しておく。第2章
第4回	乳幼児期の運動 (0~2歳児の運動発達と環境)	(学修内容)乳幼児期の運動 (0~2歳児の運動発達と環境)について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容と教科書の該当箇所を読み3歳未満児の発 達特徴を復習しておく。第3章1
第5回	乳幼児期の運動 (3歳以上児の運動発達と環境 )、現代の子どもの現状	(学修内容)乳幼児期の運動 (3歳以上児の運動発達と環境)、現代の子どもの現状について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容の復習と教科書の該当箇所を読み3歳以上
	乳幼児期の安全管理(ケガや事故の実態、予防と 安全教育)	児の発達特徴を復習しておく。第3章2 (学修内容)乳幼児期の安全管理(ケガや事故の実態、予防と安全教育)について学ぶ。
第6回	X T W F J	(事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容の復習と教科書の該当箇所を読み保育場面 での安全を考えておく。第4章
	乳幼児の生活習慣の形成と環境 (排泄、睡眠)	(学修内容)乳幼児の生活習慣の形成と環境(排泄、睡眠)について学ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容の復習と教科書の該当箇所を読み生活行動 の自立時期を整理する。第4章
	乳幼児の生活習慣の形成と環境 (食事、生活)	(学修内容)乳幼児の生活習慣の形成と環境(食事、生活)について学ぶ。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「子どもの保健」の学修内容の復習と教科書の該当箇所を読み生活行動 の自立時期を整理する。第4章
	乳幼児期の遊びと運動	(学修内容)乳幼児期の遊びと運動について学ぶ。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の該当箇所を読み子どもにとっての運動の意義を理解しておく。 第6章
	乳幼児期の生活と食(食育、アレルギー)	(学修内容) 乳幼児期の生活と食(食育、アレルギー)について学ぶ。食の安全について考える。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の該当箇所を読み乳幼児の食の大切さについて考えておく。第7 章
	領域「健康」の理解	(学修内容)領域「健康」について学び理解を深める。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の該当箇所を読み領域「健康」についてねらいや内容を知ってお く。第8章
	領域「健康」をめぐる現状の課題	(学修内容)領域「健康」をめぐる現状の課題について知る。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書を読み子どもを取り巻く現状と領域「健康」の留意点、保育者の 役割を考える。第9章
	指導計画・指導案の作成と保育の展開	(学修内容)指導計画・指導案の作成と保育の展開について学ぶ。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の該当箇所を読みこれまで自分が書いた指導案・計画書を見直し てみる。第10章
	指導案作成の視点	(学修内容)指導案作成の視点について学ぶ。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の該当箇所を読み立案の流れと考える時の視点や留意点を挙げて みる。第9章
第15回	全体の振り返り 定期試験の案内	(学修内容) 全体の振り返り、保育の現場で活かしたいことについて考える。 定期 試験の案内。 (事前事後学修課題の内容)(60分)

授 業 名	保育内容・言葉	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2310		
英 文 名	Child Care: Language	開講時期	秋学期		必修選択	選択			
担当者	<b>生野 金三</b> 対象 対別教育2回生								
授業の概要	幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、それとの関わりで領域「言葉」の「ねらい」及び「内容」についての理解を深める。それを踏まえて、幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた言葉の指導場面を想定した指導案を作成する。その際、領域「言葉」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用を理解し、模擬保育に活用する。教材研究を模擬保育の実践に役立て、教育・保育記録を基に模擬授業を振り返り、教育・保育を改善する視点を身に付ける。								
学修成果到達目標									
学位授与の	知識・理解態度・志向性		l用的技能 ※合的な学習経験と	創造的思					
方針との関連	IS IN THE	INC			3/1				
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 % ) 口述 実習 実技	平常記(40		実習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレ・観点授業態度・参加意欲(	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	生野金三・香田健治・太田顕子著『保育内容「言葉」と指導法』学 教科書の購入方法については初回の授業で指示します。	教図書出版	<b>ý会 1,900円</b>						
参考書									
課題に対する フィードバック の方法	・プレゼンテーションを行った際には、作成した教材、教材の提示( ・提出されたレポートについては、コメントを加えます。	の仕方、記	舌し方等について解	説します	0				
留意事項	ポートフォリオを作成しますので、授業での学びは整理しておきまします。 資料も整理しておきましょう。学修の振り返りにもなりま		<b>役日、それを基に</b> 譲	題(見出	し) ごと!	こ整理			
オフィスアワー	オフィスアワーの設定曜日・時間帯は研究室のドアに提示します。 ます。	それ以外の	)時間帯でも、研究	室に在室	の場合、対	対応し			
実践的教育									

#### 授業名保育内容・言葉

	i 学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション  (授業の目的、授業の進め方)	(学修内容)授業の目的と内容、進め方を確認する。 
第1回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 各自、履修内容を確認しておく。
	言葉の獲得に関する領域「言葉」の資質・能力	(学修内容)育成を目指す資質・能力の三者について理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
等2回	言葉の獲得に関する領域「言葉」の「ねらい」や 「内容」の確認	(学修内容)領域「言葉」の「ねらい」及び「内容」について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回		テキストの該当箇所を読んでおく。
第4回	言葉の指導(読み聞かせ等の実践にあたっての教 材研究)	(学修内容)読み聞かせを行うに当たっての教材研究のあり様について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第5回	言葉の指導(読書へのアニマシオンの実践に当たっての教材研究)	(学修内容)読書へのアニマシオンを実践する際の教材研究について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第6回	指導案の作成(幼児の姿、内容、ねらい) (情報機器活用の位置付け)	(学修内容)指導案を作成する際の「幼児の姿」、「内容」、「ねらい」等につい 理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第7回	指導案の作成(環境の構成、幼児の活動、保育者 の援助)	(学修内容)指導案を作成する際の「幼児の姿」、「内容」、「ねらい」、「環境構成」、「幼児の活動」、「保育者の援助」等について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第8回	指導案の作成(読み聞かせの活動を位置付けた) 「最近の幼児の実態」「本時のねらい」「活動の 流れ」「主体的・対話的で深い学び」	(学修内容)読み聞かせの活動を位置付けた指導案を作成する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 指導案の形式に従って、指導案を作成してみる。
第9回	作成した指導案の確認(情報機器活用の位置づけ )	(学修内容)作成した指導案を、グループで確認し、修正を加える。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 指導案の作成のポイントをテキストによって確認しておく。
第10回	模擬保育の準備 (活動の流れの確認、教材の確認 等)	(学修内容)模擬保育を実践するにあたって、教材等を作成し、展開の様相を確認 る。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 如何なる教材を作成するか、グループで考えておく。
第11回	模擬保育の実践(観察記録をとる)	(学修内容)模擬保育を実践し、その記録を整理する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 模擬保育の展開について、グループで確認し合う。
第12回	読書へのアニマシオンについての展開について( 戦略 作戦 1「ダウトをさがせ」、戦略 作戦 2「物語パラパラ事件」等)	(学修内容)読書へのアニマシオン展開について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第13回	実践発表の準備(発表する戦略 作戦 について)	(学修内容)読書へアニマシオンを実践するに当たっての準備(教材の作成等)を う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストの該当箇所を読み、グループで教材を作成する。
第14回	実演発表(模擬保育)(情報機器活用の位置づけ )	(学修内容)読書へのアニマシオンを実践する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読み、読書へのアニマシオンの流れを理解して
	実演発表(模擬保育)の振り返り、学習のまとめ (ポートフォリオの作成)	く。 (学修内容)学修を振り返り、ポートフォリオを作成する。

授	業	名	保育内容・人間関係	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード CE1	304
英	文	名	Child Care: Human Relations	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	荘厳 茶茶	対象学生	幼児教育1回生				
授	業の村	概要	保育/教育活動における「人間関係」について、子どもの視点、保育に捉え、子どもの「人間関係」の育みを支えるために必要な視座、方、知識から応用へのプロセスを考える。						
	修成達目	龙 果	1)「人間関係」は子どもの育ちの土台であることを理解できる。 2)子どもの「人間関係」の構成を多角的、多面的に捉えることができ 3)「人間関係」の育みを目指した活動内容の展開を、積極的に考える		計につける。				
			知識・理解		用的技能	A13# 44 E2	<del></del>		
学位		与の 関連	態度・志向性	WE AVE	合的な学習経験と	創造的思	考力		
ノリエ	رن ک	/   <del>           </del>							
アク ラー 対象	ニン	グ	PBL ディスカッション・ディベート グ 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) I		リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
	価方		定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		・ レポ		削作物 実技	
評	価基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレゼ 観点 授業態度・参加意欲 (	ンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ	キス	۱,	適宜、プリントを配布する。						
参	考	書	文部科学省 『幼稚園教育要領』 フレーベル館 2017年 小田 豊・奥野正義 『新 保育ライブラリ 保育内容 人間関係』	北大路	書房 2009年				
	ードル	する バック	レポートおよび授業内での作成提出物に対しては、コメントを付して プレゼンテーションに対しては、授業内にコメントをおこなう。	返却する					
留	意 事	耳	多様な考えをもつ仲間と意見交流や意見交換をおこなうことへの積極 授業に臨むことが望ましい。	的態度と	こ、他者に伝わりや	すい文章	構成を心だ	がけ、	
	フィ'ワ		曜日・時間は研究室ドアに掲示。 メールによる問い合わせは常時受け付け。						
実践	<b>影的</b> :	教育							

#### 授業 名 保育内容・人間関係

1X X II		
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	現代社会と子どもの「人間関係」(1) 「人間関係」の概念	(学修内容)「人間関係」の一般的定義、および社会における「人間関係」の育みの 意義
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスの内容を確認する。
	現代社会と子どもの「人間関係」(2) 「社会」 と「人間関係」の相互性	(学修内容)社会環境と「人間関係」の相互作用的つながり
第2回	C 人间房原 J 00 伯 至 住	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	領域「人間関係」の考え方	(学修内容)保育領域としての「人間関係」の歴史と定義
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	「人間関係」の展開(1) 家庭における「人間関 係」の形成	(学修内容)家庭における子育ての中での「人間関係」の形成と発達
第4回	10.1 S7127W	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	「人間関係」の展開(2) 保育/教育施設における「人間関係」の育み	(学修内容)保育所・幼稚園・認定こども園等における「人間関係」の形成、発達、 援助
第5回	VICINIA I VARIA	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	「人間関係」の発達とその問題(1) 乳児期における「人間関係」の特徴と問題	(学修内容)乳児期に見られる「人間関係」の形成と発達の特徴、および起こりやす い問題
第6回	I V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	「人間関係」の発達とその問題(2) 幼児期における「人間関係」の特徴と問題	(学修内容)幼児期に見られる「人間関係」の形成と発達の特徴、および起こりやすい問題
第7回	いる 人間展開い の特別に同題	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	遊びの中で育つ「人間関係」	(学修内容)乳幼児期の遊びと「人間関係」の発達の相互性
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	保育者と子どもの「人間関係」	(学修内容)子どもの「人間関係」の発達に果たす、保育者の援助的役割
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	模擬実践・「人間関係」の育み(1) 指導案例からの「人間関係」の読み取り	(学修内容)指導案例を用いた、「人間関係」の育みにつながる活動の抽出
第10回	50 人間割断」の歌が扱う	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	模擬実践・「人間関係」の育み(2) 指導案作成	(学修内容)子どもの「人間関係」の育みをねらいとした指導内容の立案、および指 導案の作成
第11回		等条のITiの (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業にておこなったワーク内容を整理、修正し、まとめる。
	「人間関係」で気になる子どもに関する情報の整理の禁事を持ちませる。	(学修内容)「人間関係」において気になる子どもの個人情報に関するリテラシー、
第12回	理、管理、連携、支援法	および具体的連携支援 (事前事後学修課題の内容) (180分) 前回の授業にて作成した指導案の完成
	保育と地域子育て支援に寄与するビジュアル資料	(学修内容)保育や子育で支援活動に役立つビジュアル資料の検索、選定、作成の方
第13回	の選定法、作成法	法 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	模擬実践・「人間関係」の育み(3) 指導案の見	(学修内容)前回・前々回の授業内容を踏まえた、指導案の見直しと改良版作成
第14回	直し・改良	(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	模擬実践・「人間関係」の育み(4) 指導案プレ	(学修内容)指導案のプレゼンテーション
第15回	ゼンテーション	(事前事後学修課題の内容)(180分) 前回の授業にて作成した改良版指導案の完成

授業名	保育内容・環境	開講	2回生	単位数	2単位	科目	CE2311		
	Child Care: Environment	学 年 開 講	  春・秋学期		必修	選択			
		時 期 対象		_	選択				
担当者	浅田 瞳	学 生	幼児教育2回生		1.11000 +	<b>太</b>			
授業の概要	他の校種に先駆け、幼稚園では平成30年度より新幼稚園教育要領が施行され、「幼児期の終わりに育みたい10の力」を育てるための「環境」をどのように構成するのか、保育者一人ひとりの力量が問われている。保育内容・環境は5領域のひとつであり、自然や数量、標識など日常生活にあるさまざまなものと子どもの生活につなげ、子どもたちの生活をよりよいものにするためにはどのような指導・援助が必要なのかを考える領域である。たとえば、指導案を考える時の「環境構成」であったり、子どもたちが十分に遊びに没頭できるために、保育者はどのような配慮が必要なのか、保育者に求められる資質能力は年々高くなっている。この授業では、幼稚園および保育所で活動する上で必要な保育内容環境のねらい及び内容を踏まえ、幼児の活動を支える上で必要な知識および技術を習得し、活動上の留意点などを理解できることを目的としている。								
学修成果到達目標									
	知識・理解	泂	用的技能						
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・	│	└──┴ グループワ		71,	ゼンテーシ	/ <b>1</b>			
ラーニング 対象授業			, ](自主学習支援) ————————————————————————————————————						
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記		く レポ 実習		刊作物 €技			
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (		) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	近藤幹生監修 徳安敦・瀧川光治著・編『生活事例からはじめる保証	育内容環境	<b>፤』(青踏社)</b>						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領』(フレーベル館)、厚生労働省『保型認定こども園教育・保育要領』(フレーベル館)	育所保育指	針』(フレーベル	,館)、内	閣府『幼侶	<b>建携</b>			
課題に対する フィードバック の方法	個別に提出された小レポートについては内容について授業の中で解 グループで作成したレジュメについてはその都度個別に助言・指導		フィードバックを	 する。					
留意事項	『環境』に関する理論面は、講義を通し理解を深め、指導の実際面に関しては、学生自身による課題を発表形式で進める。保育における環境領域の活動事例をとりあげ、教材研究や体験を通し学生達自身で深め、レジュメなどに簡潔にまとめ、発表する。 授業の後半ではグループごとに環境を前提とした指導案を作成し、ほとんどのグループに5分程度の活動を実践発表してもらう。								
オフィスアワー	第1回目の授業にて告知。								
実践的教育									

#### 授業名保育内容・環境

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション・「環境」とは	(学修内容)授業の進め方の説明・人と環境との関わりを理解する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書p.12-14に目を通し、環境についての小レポートをまとめる(事
第2回	幼児教育において育みたい資質・能力として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「環境」	後) (学修内容)幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育 要領における改訂の趣旨と領域「環境」について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書p.34-39を参考に教育要領と保育指針の改訂の特徴をまとめる
	子どもの環境と保育者	(学修内容)環境への積極的なかかわりのあそびと子どもについて考え、意見交換を する
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 環境領域の発表の準備及び話し合いをする
第4回	子どもの活動や生活と「環境」	(学修内容)乳幼児の発達と環境のかかわりについて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 幼稚園教育要領および保育所保育指針の「環境」の該当部分を読み、特徴をまとめておく
第5回	乳幼児の主体的な生活と「環境」	(学修内容)乳幼児の主体的な生活と領域「環境」とのかかわりについて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書p.21-26を読み、環境を通して行う保育の重要性についてまとめ る
	園外活動によって育つもの	(学修内容)散歩、遠足、社会見学などのねらい、保育者の留意点
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書p.118-129を参考に園外保育の重要性についてまとめる
第7回	季節による保育活動	(学修内容)身近な植物と保育活動でのかかわり (事前事後学修課題の内容)(60分)
유기의		教科書p.129-134を参考に季節を取り入れた保育について考える
第8回	身近な動物と保育活動	(学修内容)身近な動物の飼育など子どもとのかかわり、保育活動について調べて発表する (事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書p.111-116をもとに動物とのかかわりについて考える
第9回	環境を前提とした指導案の作成 指導案の作成	(学修内容)グループで環境を前提とした指導案を作成する (事前事後学修課題の内容)(60分) 季節や動植物など、子どもたちの発達や園の環境を前提とした指導案に ついてICT機器を用いてグループで考える
第10回	環境を前提とした指導案の作成 指導案のチェック	
第11回	環境を前提とした指導案の作成 教材を考える	(学修内容)指導案で考えた教材を実際に作成し、保育現場で利用可能か検証する (事前事後学修課題の内容)(60分) 指導案で想定される制作物を作成する
第12回	環境を前提とした指導案の作成 教材チェック	(学修内容)作成した教材を提出し、子どもたちの発達状況や季節に沿ったものから うか検証する (事前事後学修課題の内容)(60分) 指導を受けた教材の工夫を増やし、指導案をICT機器を用いて提出する
第13回	環境を前提とした模擬保育の実践	(学修内容)これまでの指導案および教材をもとに1グループ5分程度の模擬保育を 行う (事前事後学修課題の内容)(60分) 模擬保育での課題をまとめる
第14回	環境を前提とした模擬保育の実践	(学修内容)これまでの指導案および教材をもとに1グループ5分程度の模擬保育を 行う (事前事後学修課題の内容)(60分) 模擬保育での課題をまとめる
第15回	環境を通して子どもたちの保育を考える	(学修内容)領域「環境」と保育の関係性について振り返る (事前事後学修課題の内容)(60分) 15回の授業を振り返る小レポートを作成する

授 業 名	子どもの食と栄養	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2308
英 文 名	Children's Food and Nutrition	開講時期	春・秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	塩田 二三子・ロシニョーリ 正代	対象 学生	划児教育2回生 対児教育2回生	Ē			
授業の概要	成長・発達過程にある子どもにとっての食は、身体の成長や生活り、礎を築くうえで大切である。この授業では、食生活に関する基本的はな配慮などについて学ぶ。また、現代の子どもたちが抱える食に関べきかを理解する等の目標を達成するために、グループワークや実	な知識を する問題。	学ぶとともに、特に 点について学び、子	子どもの	食について	て必要	
学修成果到達目標	1 ) 子どもにおける食の重要性と特徴を理解する。 2 ) 正しい食を営むための基本的な知識を習得する。 3 ) 子どもを取り巻く食の問題点を把握しその改善のためにどうする。			- 習得する	5		
	知識・理解	j j	1用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力 ————		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループワ ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 % )     口述     実習     実技	平常i ( 40		・ レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	小川雄二編著『子どもの食と栄養演習』第6版 建帛社 2022年						
参考書	資料を配布する。						
課題に対する フィードバック の方法	フィードバックとして理解度確認テストを回収後、解答の解説を行い	ハます。					
留意事項	実際の保育における食の問題点を見つけ、現状分析ができるように、 授業内で子どもと食に関しての問題点や解決策などについて発表す。			収集して	おく。		
オフィスアワー	授業初回にアナウンスします。						
実践的教育							

# 授業名子どもの食と栄養

按 業 名	<b>子ともの良と米養</b>	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	子どもの健康と食生活の意義	(学修内容)子どもの食生活の現状と課題
**		( = 1/2 // W (a to DE = 1 to ) ( a a // )
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前:教科書の関係箇所を読んでおく
		事後:子どもの食生活における問題点を考えてみよう
	栄養の基本的概念と栄養素(炭水化物・たんぱく	(学修内容)栄養素の種類と機能について(炭水化物・たんぱく質)
	質)の働き	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく 事後:炭水化物やたんぱく質ついてまとめておく
	  栄養素(脂質・ミネラル・ビタミン等)の働き	(学修内容)栄養素の体内での消化と吸収の仕組み、代謝について
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく 事後:脂質やビタミン、ミネラルついてまとめておく
	食品の基礎知識	(学修内容)食品の種類と分類、食品の選び方
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく 事後:自分が1日で摂った食品を6つの基礎食品群別に分類してみよう
	  献立作成・調理の基本	事後:自分が1日で扱うに良品を6Jの基礎良品群別に万類してみよう (学修内容)食事摂取基準や食事バランスガイド等について
	MYTHY MARTON E.T.	(1)2011 ) 及手が小型子( 及手パンン バル・1 切にしいて
第5回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
	  子どもの発育・発達と栄養生理	事後:食事バランスガイドで自分の食生活をチェックしてみよう (学修内容)子どもの発育・発達の特徴と評価および栄養生理
	, coons nachata	CIPIII / I COOME MENTINCHIMOSONRIA
第6回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
	   授乳期の意義と食生活	事後: 摂食、消化、吸収、代謝、排泄までの流れをまとめておく (学修内容)乳汁栄養(母乳、人工乳、混合栄養)の特徴と意義
	以北州の心我とは上川	調製粉乳の種類と調乳
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
	  離乳期の意義と食生活	事後:無菌操作法による調乳の手順をまとめておく (学修内容)離乳の意義と離乳食の進め方
	離れ物の心我と良工/	授乳・離乳の支援ガイド
第8回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
	  幼児期の心身の発達と食生活	事後:離乳の進め方をよくまとめておく (学修内容)幼児期の食生活の特徴と食事の援助について
	With the state of	( ) Partial ) who was the companies of t
第9回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
	  学童期・思春期の心身の発達と食生活	事後:子どもの望ましい間食の例を考えてみよう (学修内容)学童期・思春期の特徴、学校給食について
	1 年前   18日前の18月の18月日	
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
	  妊娠期の心身の発達と食生活	事後:学童期・思春期の食生活上の問題点をまとめておく (学修内容)妊娠期の特徴と食生活の上で注意すべき点
	TANKS OF STATE OF THE	C. D. D. H. ALANDON D. D. C.
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく 事後:妊娠前から気をつけるべきことを考えておく
	  食育の基本と内容	事後:妊娠刑から式をプリるべきことを考えてあく (学修内容)食育についての基本的な考え方と進め方
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく 事後:食育の計画を立ててみよう
	  家庭や児童福祉施設における食事と栄養	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の関係箇所を読んでおく 事後:自分の実習先の食事について振り返ってみよう
	  特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養	(学修内容)保育所での食物アレルギー対応や障害のある子どもへの対応について
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第14回		事前:教科書の関係箇所を読んでおく
		事後:自分の実習先での対応について振り返ってみよう 
	【実習】調乳と離乳食	(学修内容)乳汁と離乳食を試食・試飲し特徴をまとめる
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		教科書の関係箇所をよく読んでおく スプーン、タオル(小)を持参すること
	1	V/

授	業	名	教職実践演習 ( 幼稚園 )	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2425
英	文	名	Teaching Practice (Kindergarten)	開講時期	秋学期		必修選択	選択	
担	当	者	鈴木 えり子・浅田 瞳・荘厳 茶茶・中道 昌宏・柘 植 誠子	対象学生	幼児教育2回生	<u> </u>			
授業	<b>を</b> のす		<b>牧職課程の各授業が実践と結びついていることを確認できる機会をも</b> 幼稚園教育の基本をしっかりと身につけ、「遊びを通しての総合的な質の向上を図る。	ち、学生			め、専門作	生や資	
学们到道			1 ) 幼稚園教員として必要な資質について説明することができる。 2 ) 履修カルテを参照し、自らの課題が認識できる。 3 ) 領域を基盤とした生活発表会(劇あそび)の行事をグループで企画	画、実践	発表することがで:	きる。			
			知識・理解		l用的技能				
学位			態度・志向性	松	合的な学習経験と	創造的思	考力 ————		
方針。	との	関理							
アクラ	ティ	ブ・	DDI =	· II —	1 – <i>h</i>	<b>→</b> 1	<b>ボ</b> ン, ニー:	>,	
ラー: 対象:				ループワ CT活用	) ーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評价	<b></b> 方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記( 50		ま習		制作物 実技	
評价	五基	準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレゼ観点授業態度・参加意欲(	ンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキ			京都教育大学附属幼稚園編 『指導計画・教育課程』 文部科学省編『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 内閣府・厚生労働省・文部科学省編 『幼保連携型認定こども園教育	・保育要	<b>夏領解説』 フレー</b>	-ベル館			
課題I フィー の方?	・ドノ		提出されたレポートについては授業内でコメントをします。 グループ発表についてはその都度コメントを返します。						
留意	意事	項	教職課程を履修し確実に身につけることができたか確認すること。特的に参加、発言すること。	にグルー	- プ発表は現場で <i>の</i>	)「協働」	を意識し ⁻	て積極	
オファ	フィワ	^	研究室前に掲示して知らせます。						
実践	的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:元幼稚園園長 東野洋子 元小学校教諭、元幼稚園園長 中道昌宏 外部講師 現京都市指導主事 中西昌子(予定	)					

## 授業 名 教職実践演習(幼稚園)

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	教育実習の振り返り	(学修内容)教育実習について振り返り、学びの成果と課題について省察する。教職
	教職実践演習の授業について	実践演習の意義と内容について説明する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
), . L		9月実習振り返りシートを記入してくる。履修カルテを書き、各自の課
		題を明確にしておく。
	行事を通して育むもの 1	(学修内容)劇遊び(生活発表会)の取り組みの意義について理解する。
	劇遊び(生活発表会)の意義、取り組み方につい	
第2回	7	(事前事後学修課題の内容)(30分)
×1,5211		幼児期に体験した生活発表会を振り返っておく。
	行事を通して育むもの 2	(学修内容)運動会の目的、幼児の発達に応じた内容、日頃の遊びや生活とのつなが
	- 運動会の行事について-	りを理解する。
第3回	華頂幼稚園 主任 勝谷先生	(事前事後学修課題の内容)(180分)
		実習先の運動会の日程を把握しておく。実習先の運動会行事に参加しレ
		ポートを作成提出する。
	グループ活動 1	(学修内容)グループで話し合い、保育活動(劇遊び)の教材を共有する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		劇発表にとりあげる教材(絵本)を選んでもってくる。劇発表の題材に
		ついて考えてくる。具体的に必要なものを提出できるように用意する。
	グループ活動 2	(学修内容)グループで話し合い、保育活動(劇遊び)の教材を共有し、計画書を作
		成する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		具体的に必要なものについて書きだし、グループ内での役割を決めてお
	LAU PATEL O	
	グループ活動 3	(学修内容)発表に必要な役割分担、あらすじ、全体構成など準備を行う。各グルー
		プで準備を進める。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習としてグループ内で決まった各自の分担役割の内容を完成させてお
	L* 11	
	グループ活動 4	(学修内容)各グループで話し合い準備をすすめる。(衣装・大道具・小道具を作成
~~ ~ C		(事件事件供知照の中央)(20八)
第7回		(事前事後学修課題の内容)(90分)
		発表に向けてグループで準備を行う。
	  グループ活動 5	   (学修内容)各グループで話し合い準備をすすめる(衣装・大道具・小道具を作成)
	フルーフ心動。5	。配役、セリフ、音楽など発表の流れを確認する。
第8回		。配収、ビリノ、自采なこ光表の流れを確認する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
为이미		大学的事後子に終題の内存)(60カナ   各グループで流れを把握しリハ サルを行っておく。
		日グルグでがはも101年のグバーグルを行うとのく。
	グループ発表 直前準備	- (学修内容)劇遊びの発表、最終調整を行う。リハーサルを行う。
	Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z	( ) Partial ) Marco objects and water city of the city of
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		各グループで流れをチェックし修正を行うなどグループ内での役割分担
		を確認しておく。
	劇遊び発表 1	(学修内容)遊びの発表をしたり、他の発表を見て、教師の役割を考える。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		予習として劇遊び発表に向けて練習・準備を完了する 復習としてグル
		ープの発表評価とコメントをまとめて提出する。
	劇遊び発表 2	(学修内容)遊びの発表をしたり、他の発表を見て、教師の役割を考える。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		予習として劇遊び発表に向けて練習・準備を完了する。復習として各グ
		ループの発表評価とコメントをまとめ提出する。
	劇遊び発表 3	(学修内容)劇遊びの発表をしたり、他の発表を見て、教師の役割を考える。
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第12回		予習として劇遊び発表に向けて練習・準備を完了する 復習としてグル
		ープの発表評価とコメントをまとめて提出する。
	The same of the sa	
	劇遊び発表 4	(学修内容)劇遊びの発表をしたり、他の発表を見て、教師の役割を考える。
## . o C		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回		予習として劇遊び発表に向けて練習・準備を完了する 復習としてグル
		ープの発表評価とコメントをまとめて提出する。 
	加小海堆について	
	幼小連携について   - 小学校への滑らかな接続を考える -	(学修内容)幼児教育と小学校教育の接続について学び、子どもが安心して小学校生活をおくるための保育者の役割について考察する。
第14回	・小字校への演らかな接続を考える・  外部講師 京都市指導主事 中西昌子先生	活をおくるための保育者の役割について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
차 14법	7.50 时晚时 不取以沿导工争 中四目于无土 	(争削争後子修課題の内谷) (60分)   幼小連携と幼児期の終わりまでに育って欲しい姿との関連についてレポ
		が1.1 が現代と が が が が が が が が が が が が が が が が が が が
	劇遊び発表の総評	ー トを提出する。   (学修内容)幼児理解を大切にした日常の保育から生活発表会(劇発表)へつなぐ保
	劇姓の光祝の総計  履修カルテをもとに自己課題を明確にする	「(学修内谷)幼元珪解を入切にした日常の味育から主活光表云(劇光表)へりなく味 育の実際について学ぶ。履修カルテを提出する。
第15回	12   20   20   20   20   20   20   20	「事前事後学修課題の内容)(30分)
와 IOI		(事刑事後子修綵題の内谷) (30カ)   履修カルテの作成を通して自己課題についてレポートを作成する。
		1度192777、ショルではして自己体をにしてしてアルードで下減する。
		I

授 業 名	保育者論	開講学年	1回生	単 位 数	2単位	科目コード	CE1209
英 文 名	Theory of Child Care Worker	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	鈴木 えり子	対象学生	幼児教育1回生	<u> </u>			
授業の概要	保育職の意義、保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)の役割・ 高め、子どもとともに生活することを職業として選択する保育職の 役割、制度、専門性、協働、倫理など、保育者の職務内容を概説し び、自分自身の生き方や考え方を問いかける機会とする。	在り方を自	目覚し形成すること	を目的と	する。保育	育者の	
学修成果到達目標	1)保育者の役割と倫理について理解できる。 2)保育者の職務の全体像を理解できる。 3)保育者の専門性について理解できる。						
	知識・理解	沪	1用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技	平常記 ( 40		き レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ソョン能力 課題) (	発見・解	決能力		)
テキスト	大沢裕、高橋弥生編著『幼児教育方法論』(2022)一藝社						
参考書	『改訂新版 保育用語辞典』 一藝社 文部科学省編『幼稚園教育要領』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 内閣府・厚生労働省・文部科学省編『幼保連携型認定こども園教育	・保育要領	頁』フレーベル館				
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートや課題については授業内でコメントをします。						
留意事項	子どもに関する時事問題や保育に関する動きなど新聞や保育雑誌な	どから常に	に理解しておく。 -				
オフィスアワー	担当授業終了後に対応する(変更の場合は、研究室に日時を貼付す	る。)					
実践的教育							

## 授業名 保育者論

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)保育者としての当該科目の内容について理解する
第1回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 保育用語辞典の「保育者」「保育者の資質」の項を書き出してくる。
第2回	保育者になる自分 保育者としてのコミュニケーションスキル	(学修内容)保育という仕事について理解し、多様な他者と関わる保育者としての言語、非言語コミュニケーションについてワークを通して学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第5章を読んでくる
第3回	保育者の仕事1 保育所における保育者の役割	(学修内容)保育所における保育者の役割(職務・要件・職務内容)を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 保育用語辞典で「全国保育士倫理綱領」を書写してくる。
第4回	保育者の仕事 2 幼稚園における保育者の役割	(学修内容)幼稚園における保育者の役割(職務・要件・職務内容)を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第7章を読んでおく。
第5回	保育者の仕事 3 認定こども園における保育者の 役割	(学修内容)認定こども園における保育者の役割(職務・要件・職務内容)を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第2章を読んでおく。
第6回	保育者に求められる専門性	(学修内容)必要とされる専門的な知識や技術について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>第</b> 0凹		教科書第11章を読んでおく。
第7回	子どもの成長・発達の視点	(学修内容)遊びの原理、生活の原理を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
	幼児理解と評価	教科書第3章第4章を読んでおく。 (学修内容)DVDを視聴し子ども理解・評価について理解する。
第8回	PO JUNE 19T CHI IM	(事前事後学修課題の内容)(30分) 第9章を読んでくる(30分)
第9回	指導計画の立案	(学修内容)子どもの実態に即した指導計画を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第8章を読んでおく。
第10回	保育者の協働	(学修内容)保育者連携、情報の共有、協働の実際 組織の理解 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第5章を読んでくる
第11回	保幼小の連携	(学修内容) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を理解する。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 第12章を読んでくる
第12回	家庭・保護者との連携	(学修内容)子育て支援の必要性・地域社会との連携について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 保護者の現況を把握し、まとめてくる(800字程度) PCにて作成
第13回	他機関・同僚との連携	PCIC C FFM (学修内容)医療・保健・福祉・療育・教育機関など専門機関との連携に必要性について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 他機関を調べてくる。
第14回	保育者としての成長と研修	(学修内容)OJT、Off-JT、SDSなどの言葉の意味を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) OJT、Off-JT、SDSなどの言葉の意味を調べてくる。幼稚園教育要領や保育所保育指針の該当箇所を読んでおく。
	まとめ 保育者としての自分について考える	(学修内容)授業の振り返り、自分自身の保育観、キャリア形成について考える。 (事前事後学修課題の内容)(30分) これまでの授業で学んだことを振り返っておく

授	業	名	保育原理	開講学年	1   1   T	単位数	2単位	科目コード	CE1201
英	文	名	Principles of Child Care	開講時期	寿学期		必修選択	選択	
担	当	者	鈴木 えり子	対 象 学 生		Ξ			
			保育の意義や目的について理解し、保育所保育指針、幼稚園教育要会 た保育に関する法令や制度を学ぶ。また、保育の基本、保育思想や ら深めていく。						
授業	の相	要							
			1)保育の意義及び目的が理解できる。 2)保育所、幼稚園、認定こども園における保育の基本が理解できる。 3)保育に関する法令や制度、保育の思想や歴史的変遷について理解	-	<b>)</b> •				
学 修 到 達			40.5th 189.677						
574 \A- +	- 122 ⊢	- 🔿	知識・理解 態度・志向性		汎用的技能 総合的な学習経験と	创造的田:	<b>≠</b> 力		
学位 i 方針と			窓及・芯内性		総合的な子自経験と	. 剧逗的怎?	5/]		
73210	_ 0,	17.17.							
アクテ ラーニ 対象授	ニン	グ		ゲルーフ ICT活	プローク 新用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価	方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 % )     口述     実習     実技		記試験 筆記試駅 0 %) 口述	ま習		制作物 実技	
評価	基	準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	·ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキ	・ス	٢	『哲学する 保育原理』第2版 伊藤潔志編著 教育情報出版 『改訂新版 保育用語辞典』 一藝社						
参 :	考		文部科学省編『幼稚園教育要領』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 内閣府・厚生労働省・文部科学省編『幼保連携型認定こども園教育	・保育要	<b>夏領』フレーベル館</b>				
課題に フィー の方法	ドハ		提出された課題・レポートは授業内でコメントを返します。 小テストは添削をして返却し解答の解説を行います。						
留意	事	項	講義を中心とするが、理解を深めるために視聴覚資料も取り入れる。 するため、小テストを実施する。	教科書	をしっかり読んでむ	さく。途中	で理解度を	を把握	
オファ			研究室に掲示しますので確認してください						
実践Ⅰ	的才	改育							

## 授業名 保育原理

	学修項目	学修由
授業計画	子修項目 ガイダンス	学修内容・課題 (学修内容)講義の目的や授業の進め方を理解する。
	31777	(学修内谷) 講義の目的や授業の進め方を理解する。 到達目標について理解する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		自分の幼少期を振り返る。
	// 大声	
	保育に関する法令や制度	(学修内容)保育所、幼稚園、認定こども園に関する法令や制度を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第2回		テキスト第1章-1を読んでワークシートを見直す。
77211		7 1 X 1 7 1 C Will C 7 7 7 1 C 7 C 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	保育・教育課程の現在	(学修内容)保育所・幼稚園・認定こども園における保育・教育課程の意義を理解す
** 0 E		る (事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回		テキスト第1章-2を読んで配布資料を見直しておく。
	日本の保育の現状	(学修内容)待機児童問題 子どもの貧困 潜在保育士 小1プロブレム 保育士不
**		足問題など日本の保育の現状を把握する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 保育用語辞典で授業で学習した保育用語を調べておく。
		体自用語辞典で授業で子自した体自用語を調べてのく。
	保育を基礎から考える	
		原理を学ぶ。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキスト第4章を見直しておく。
	│   子どもの発達理解と援助	(学修内容)DVDの視聴を通して子どもの内面についてディスカッションをする。
	] C G W // 足足所已放助	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第6回		ディスカッションを通して何を学んだのかをレポートにまとめてみる。
	J. = = 1	(*##±#; ) + = =   ± ##± # = + = =   • ##± # = + = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = + ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ### = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = ## = #
	小テスト  保育者の援助について	(学修内容)小テストを実施する。小テストの解説を行う。前回のDVDを再度視聴し 、保育者の援助・役割について考える。
第7回	休月日の援助に ラいて	(事前事後学修課題の内容)(60分)
71		小テストの準備をする。ディスカッションや発表についての気づきをレ
		ポートにまとめておく。
	諸外国の保育の思想と歴史変遷	(学修内容)諸外国の保育思想と歴史を学ぶ。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>寿</b> 0凹		「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		ておく。
	日本の保育の思想と歴史的変遷	(学修内容)日本の保育思想と歴史を学ぶ
		( = 1/ = 1/1 )
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   テキスト第2章-3,4,5と保育用語辞典を参考にして配布プリントを仕上
		プイスト第2章-3,4,3と休月州語辞典を参考にして配布プリプトを仕上げて提出する。
	幼稚園・保育所・認定こども園での生活と遊び	(学修内容)保育所、幼稚園、認定こども園の生活を理解し、子どもの遊びについて
		理解を深める。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		インターネットのHPで実習園の保育目標、保育方針、目指す子ども像、 年間行事、生活の流れなど実態を把握しておく。
	養護と教育の違い	(学修内容)教育と養護の目的について理解する。教育と養護の違いを学ぶ。
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第11回		保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園保育教育要領の第1章
		総則の部分を読みワークシートを仕上げて提出する
	子ども理解の視点	(学修内容)事例を通して子ども理解を学ぶ。
	3 C OZEMT O INDM	(1)かけはアナルになって、この生所ですが。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		復習として提示した事例について気づきをレポートにまとめて提出する
		(当板市京)毎日に四十の間に、旧方の形態について旧方市場にの間にも四位です。
	保育における集団と個人	(学修内容)集団と個人の関係、保育の形態について保育実践との関係を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第13回		
_		とめてくる。
	教育としつけ	(学修内容)教育現場における事例を通して子どもへの支援を理解する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
자 나타리		教科書第5章を読んでよい教育とはどのようなものかを自分の意見をま
		とめる。
	保育者の役割	(学修内容)指導計画・評価の必要性を理解し保育者の役割を具体的に学ぶ。
~~·		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第15回		返却した小テストや配布プリントを見直し不十分な部分を書き出す。
		1

授 業 名	保育の心理学	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CE1202
英 文 名	Child Care Psychology	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	渋谷 郁子	対象学生	幼児教育1回生	<u> </u>			
授業の概要	幼児期を中心とした子どもの諸領域における発達および学習の様相 教育実践に応用する力を身につけることを目的とする。授業の中で ロセスについて学ぶ。また、その基盤となる乳幼児期の重要性を理 域の発達とその連関について学び、子どもたちの発達を支える保育	を知り、人 は、人間の 解する。身	)生涯にわたる発達 身体、知覚、感情、	のメカニ 思考、社	ズムと変イ	化のプ	
学修成果到達目標	1) 幼児期を中心とした子どもの発達および学習の過程について説2)人との相互的関わりの重要性を理解し、保育・教育の実践に応						
	知識・理解	洌	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	PBL ディスカッション・ディベート	⊥⊥ グループワ		<del>-1</del> 1.	ゼンテー	2, 7 2,	
ラーニング 対象授業			ノーソ 月(自主学習支援)		ピンテー.	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記( 50		実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレ観点授業態度・参加意欲(	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト参考書	テキストは使用しない。授業内で資料を配布する。 適宜、授業内で紹介する。						
課題に対する フィードバック の方法	授業内で実施する筆記試験や提出物を回収後、添削して返却すると	ともに解答	答を解説する。				
留意事項	復習をしっかり行い、基本的な心理用語や理論を覚えること。毎回	、確認テス	くトを実施します。				
オフィスアワー	初回授業時に伝える。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:教育、福祉機関でカウンセラーとして勤務						

## 授業名 保育の心理学

- A I	休月の心廷丁	
授業計画		学修内容・課題
₩4.E	オリエンテーション:人間とはどのような存在か	(学修内容)人間とはどのような存在か改めて考える。子ども理解における発達心理学の重要性や、生涯発達の観点や発達の原理について学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分)   自分自身の幼少期の保育経験や子どもとかかわった経験について思い出す。
	発達は何によって決まるか	(学修内容)遺伝と環境が発達に及ぼす影響を理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 自分の成長・発達過程を振り返り、特徴的なエピソードなどを家族から
	身体的機能と運動機能の発達	聞き取る。 (学修内容)新生児期~幼児期における発達のメカニズム(法則性・順序性)や、身体の成長、粗大・微細運動の発達過程を学ぶ。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 自分の成長・発達過程を振り返り、特徴的なエピソードなどを家族から 聞き取る。
第4回	知覚・認知の発達	(学修内容) 乳幼児期の感覚・知覚機能の発達および感覚・知覚機能と認知過程の関連を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
<b>年</b> 4四		人間の思考の原点となる感覚・知覚機能について考えを整理する。
第5回	思考の発達	(学修内容)ピアジェの発達理論について学び、発達とともに思考が深まる過程を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
200		同化と調節について、具体例を考える。
	言葉の発達	(学修内容)人間の言葉の機能や特徴を理解し、言葉の発達過程を概観する。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
第6回		自分の言葉の発達はどうだったか、家族から聞き取る。
	社会情動的な発達	(学修内容)社会情動的発達を理解し、情動を制御する力について感情の発達と合わせて学ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(20分)   自分の情動を制御する力はいつ頃から育ってきたか、自分の成長を振り   返る。
	仲間関係の発達	(学修内容)仲間関係の変化を、遊びの形態の変化と共に理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 仲間関係を支える保育者の役割について考える。
	他者理解と自己理解	(学修内容)仲間関係の中で他者理解や自己理解が深まっていく過程を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
第9回		自分の友達との付き合い方を振り返る。
	道徳性の発達	(学修内容) 善悪の理解や道徳的判断の発達を学ぶ。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 思いやりのある子どもを育てるにはどうすればよいか、保育者の関わり 方を考える。
	社会性の発達	(学修内容)生涯にわたる人間の心理・社会的発達を概観する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 自分の家族について年表を作成する。
	学習と発達	(学修内容)条件づけや観察学習など、「学び」の基本的な原理を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
第12回		さまざまな学習の具体例を考える。
	動機づけと子どもの学び	(学修内容)学びの原動力になる「やる気」について、動機づけのメカニズムを理解 する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(20分) やる気の出るとき、出ないときについて、自分自身の行動を振り返る。
	子どもの主体性と学び	(学修内容)子どもの主体的な学びを引き出す関わりについて考える。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 保育における足場作りの具体例を考える。
	子ども理解に基づいた保育のあり方	(学修内容)保育における子ども理解のための方法(観察、記録など)について理解 する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 15回の授業を振り返り、自分の学びを評価する。

授 業 名	子育て支援の心理学	開講	2回生	単位数	2単位	科目	CE2213
	Psychology of Child Rearing Support	学年開講	秋学期		必修	<u>コード</u> 選択	•
		時 期 対 象			選択	223/(	
担当者	藤井、裕子	学生	幼児教育2回生				
授業の概要	子育て家庭をとりまく社会的変化や多様な価値観を把握し、子ども 齢期までの生涯発達に関する心理学の基本的な知識を学び各時期の 健やかな親子関係の構築に寄与できるように、子どもと家族への多 の心理的な健康が向上するような援助が実践できるように知識と実	発達課題に 面的な理角	こついて理解する。 解を深める。保育者	家庭での	子育てをす	5援し	
学修成果到達目標	1、生涯発達の視点から乳幼児期から高齢期までの心理的発達と発2、家庭の意義や機能を理解し、子育て家庭の現状や課題について3、特別な配慮を必要とする家庭について理解し、保育者・教員と4、子どもの心の健康について学び、精神保健が向上するように成	理解してい して適切な	\る。 よ支援を行うことか	-	<b>ె</b>		
	知識・理解	:55	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性		://indix能 :合的な学習経験と	:創造的思:	 考力		
方針との関連							
アクティブ・							
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	ワーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		・ 東習		削作物 €技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (基本的知識の習得	ゼンテーシ		発見・解 業態度を			)
テキスト	テキストは使用しないが、PPT,プリント配布、視聴覚教材を用いる						
参考書	「子ども家庭福祉専門職のための子育て支援入門」才村純ほか編著 「子育て支援の心理学 家庭・園・地域で育てる」無藤隆、有斐閣 「子育ての発達心理学」藤永保編著、大修館書店	、ミネルウ	ブァ書房				
課題に対する フィードバック の方法	理解度の確認の後、解説を行う。						
留意事項	事前・事後学習を行い知識を自分のものにすること。 私語や迷惑行為はしないこと。						
オフィスアワー	担当授業の後に実施する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:教育委員会のスクールカウンセラー・スーパ	ーバイザ-	-。学校教職員研修	をの講師。			

## 授業 名 子育て支援の心理学

授業計画		学修内容・課題
第1回	オリエンテーション	(学修内容)本講義を受講する目的、到達目標、方法を知り、学習計画を立てる (事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスの確認、ファイルやノートの準備
第2回	生涯発達に関する心理学の基本的知識、発達課題 (1)乳幼児期・学童期	(学修内容)乳幼児期・学童期における心理的発達と発達的特徴および発達課題に いて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第3回	生涯発達に関する心理学の基本的知識、発達課題 (2)思春期・青年期	(学修内容)思春期・青年期における心理的発達と発達的特徴および発達課題につて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第4回	生涯発達に関する心理学の基本的知識、発達課題 (3)成人期・高齢期	(学修内容)成人期・高齢期における心理的発達と発達的特徴および発達課題につて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第5回	家族・家庭の意義と機能、親子関係、	(学修内容)家族の意義、機能、構造について学び、ライフサイクルの中で子ども育てることの意味および親としての成長について理解する(事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第6回	育児不安や育児ストイレスの軽減	(学修内容)育児不安や育児ストレスの原因や状況を学び、育児不安を軽減するたの支援や方法について学ぶ。育児不安を包括的にとらえる視点を養う(事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第7回	子育て家庭の現状と課題(1)社会の変化と子育 て家庭をめぐる問題	(学修内容)現代社会の変化や多様性の中で子どもに関する問題とその支援、成長促す在り方について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第8回	子育て家庭の現状と課題(2)多様な家庭とその 理解	(学修内容)さまざまな家庭や家族に対する理解を深め、具体的な支援について実 的に学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第9回	子育て家庭の現状と課題(3)特別な配慮を必要 とする家庭	(学修内容)孤立しがちな家庭、個別の配慮を必要とする家庭を把握し、保育者・ 員として適切な支援を実施する方法を学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第10回	子育て家庭の現状と課題(4)子どもの心の健康 に関する問題	(学修内容)子どもの心理や行動上の問題を把握し、早期に支援や指導を実施する 法を学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第11回	子育て家庭への支援(1)おもな法律や制度	(学修内容)子ども・子育て家庭に関する法的整備、制度、事業について基本的な 識を習得し、実施体制や仕組みについて理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第12回	子育て家庭への支援(2)保育者・教員が行う支援の意義、目的、方法	(学修内容)子どもや子育て家庭に適切な支援が行うことができるように面接の計 や方法、展開、評価について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第13回	子育て家庭への支援(3)保育者・教員が行う支援の実際	(学修内容)子どもや子育て家庭への心理学的支援について実際的な事例を通して ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第14回	子育て家庭への支援(4)家族の精神的健康を支える	(学修内容)家族の精神的健康が阻害される要因について学び、レジリエンスを高 心の健康が向上するために大事なことについて理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料の該当部分を読み学習内容をまとめる
第15回	子ども家庭支援の心理学のまとめ、学習の確認	(学修内容)講義全体を通して学んだことを見直し不十分なところを補う。積極的 質問をして家庭支援の心理学の理論と実践が身についたことを確認す (事前事後学修課題の内容)(30分) 資料が整っているか確認する

授 業 名	子どもの保健	開講学年	1	回生	単位数	2単位	科目コード	CE1203	
英 文 名	Infant Health	開請時期	Æ	<b>事学期</b>		必 修選 択	選択		
担当者	福井 百合子		対象 幼児教育1回生						
授業の概要	子どもの健康とそれを増進するための保健活動の意義をふまえ、子どもに多い病気について学ぶ。子どもの健康と健やかな育ちを支援ために、適宜、動画視聴、ワーク、ディスカッションやグループワークである。	するため	かに必	要な基礎的な知					
学修成果	1073.								
	知識・理解		汎用	的技能					
学位授与の方針との関連	態度・志向性		総合	的な学習経験と	創造的思	考力			
刀町 この 判理									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グルー: ICT;		ク 自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技		常試験 -0 %		・ レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (子どものことを思い考				発見・解	決能力		)	
テキスト	大西文子・興水めぐみ・神道邦実・増尾美穂 ほか「 子どもの保健	寅習(己	<b>坟</b> 訂第	2版)」中山書/	店				
参考書	榊原洋一・小林美由紀「子どもの保健 演習ノート」診断と治療社 その他は適宜提示。								
課題に対する フィードバック の方法	課題や小テストは解答後に解答を表示。								
留意事項	教科書とノート持参で受講してください。子どもの健康については、に備え、事前に教科書や授業資料を読んでおくこと。	小児医学	学や保	健知識も含まれ	<b>いるため</b> 、:	授業内容(	の理解		
オフィスアワー	授業ガイダンスで案内。								
実践的教育									

# 授業 名子どもの保健

按 耒 石	丁ともの体性		
授業計画	学修項目		
第1回	授業オリエンテーション 健康の概念と子どもにとっての健康、子どもの保 健の意義	健身 (事前事後学修設 シラ	能についてのガイダンス。健康の概念と健康指標、子どもにとっての ほ、子どもの保健の意義について知る。 問題の内容)(30分) がバスを読んでわからないことがあれば挙げておく。教科書の該当箇
第2回	ヒトの発生と生命の尊厳、 子どもの特徴と成長発達の原則	(学修内容)ヒト 則に (事前事後学修設	:読んでおく。第1章1~3 ◇の発生と生命の尊厳、子どもの特徴、子どもの区分、成長発達の原 こついて学ぶ。 課題の内容)(30分) ≹の該当箇所を読みポイントをまとめておく。第2章1
第3回	形態的発達(身長、体重、骨格)と発育評価	価し (事前事後学修設 教科	的発達(身長、体重、骨格)と発育評価について学び、事例の値を評 いてみる。 界題の内容)(60分) 計書の該当箇所を読み身体的発達と発達評価法や指標の所をまとめて 。第2章2、第2章6
第4回	運動機能の発達(原始反射、粗大運動、微細運動 、脳神経)	(学修内容)運動 。 (事前事後学修設 教科	の機能の発達(原始反射、粗大運動、微細運動、脳神経)について学ぶ 根題の内容)(60分) 計書の該当箇所を読み粗大運動と微細運動の概要をまとめておく。第3、第2章6
第5回	精神、認知機能の発達	(事前事後学修設 教科	、認知機能の発達について学ぶ。 思題の内容)(30分) 4書の該当箇所を読み各発達のポイントとなる年齢を整理しておく。
第6回	生理機能の発達(体温、呼吸、循環、水分代謝、 免疫)、五感(感覚機能)の発達、居住環境	(学修内容)生理 の発 (事前事後学修設 教科	章4、第2章6 2機能の発達(体温、呼吸、循環、水分代謝、免疫)、五感(感覚機能) 3達、居住環境について理解する。 R題の内容)(60分) 中書の該当箇所を読み正常値やポイントとなる年齢をまとめておく。 章5、第3章1
第7回	消化機能と排泄の発達、睡眠のリズム、生活習慣の確立	(学修内容)消化 る。 (事前事後学修設 教科	〒3、第3章   Z機能と排泄の発達、睡眠のリズム、生活習慣の確立について理解す 課題の内容)(60分) 計書の該当箇所を読み日常の養護や確立への援助に必要なポイントを ■しておく。第3章1~4
第8回	健康状態の観察と体調不良	(学修内容)健康 (事前事後学修設	EUCのへ。第3章1~4 夏状態の観察と体調不良時の対処(別資料配布)について学ぶ。 課題の内容)(60分) 賃資料を読み観察ポイントや留意点をまとめる。
第9回	子どもの病気 (子どもに多い感染症、予防接種)	(事前事後学修設 教科	ざもに多い感染症、予防接種)について学ぶ。 果題の内容)(60分) 抖書の該当箇所を読み感染についてと子どもに多い感染症の各々の特 整理する。第5章3~4、6
第10回	子どもの病気 (アレルギー性疾患、小児がん、血液)	(学修内容)子と (事前事後学修設	正生する。30章5 、
第11回	子どもの病気 (腎・泌尿器、脳神経・てんかん 、糖尿病・内分泌)	て学 (事前事後学修設	ざもの腎・泌尿器、脳神経・てんかん、糖尿病・内分泌の疾患につい さぶ。 果題の内容)(60分)    書の該当箇所を読み概要を理解、病名を覚える。第5章5
第12回	子どもの病気 (先天性の病気、心臓、その他)	(事前事後学修設	さもの先天性の病気、心臓、その他について学ぶ。 課題の内容)(60分) 計書の該当箇所み概要を理解、病名を覚える。第5章5
第13回	子どもの病気 (感覚器の病気、障害を伴う病気 、認知や発達障害、特殊なケアが必要な子ども)	が必 (事前事後学修設	さもの感覚器の病気、障害を伴う病気、認知や発達障害、特殊なケアが要な子ども)について学ぶ。 限題の内容)(60分) 4書の該当箇所を読み内容を知っておく。第6章1~4
第14回	子どもの事故とケガ(子どもの特徴を踏まえて危 険予知)	。 (事前事後学修詩 教和 。第	さもの事故とケガ(子どもの特徴を踏まえて危険予知)について学ぶ 課題の内容)(60分) 計書を読み自分の周辺で乳幼児に起こりうる事故の危険箇所を考える 発4章1~2
第15回	母子保健の現状(子どもを取り巻く環境、児童虐待、災害) 定期試験の案内	ぶ。 (事前事後学修設 教科	子保健の現状(子どもを取り巻く環境、児童虐待、災害)について学 定期試験の案内。 課題の内容)(60分) 計書の該当箇所を読み災害時に複数の乳幼児を連れてどのように避難 が考える。第7章1

授業名	子どもの保健	開講	1回生	単位数	2単位	科目	CE1210
	Infant Health	学年開講	秋学期		必修	コード 選択	
担 当 者		時 期 対 象	幼児教育1回生	<u> </u>	選択		
22 日 日	保育の現場では、適切に養育する力量が求められる。専門家として	学生の養育に必			安全管理は	- ON	
授業の概要	て学ぶ。「子どもの保健」で学んだ基礎知識と融合し、乳幼児の 急処置の基本的知識と技術を理解する。また安全の確保、事故予防 画視聴、演習、ワーク、ディスカッションやグループワークを実施	お世話と係 等の基礎矩	<b>R健的対応、疾病</b> 予	防、感染	予防、応急	急・救	
学修成果到達目標	子どもの健康増進、心身の発育・発達を促す保健活動や保育環境体的な方法がわかる。 子どもの成長、発達についての観察、判断について理解し、一部子ども(乳幼児)の健康と子育てに必要な日常的な養護について、子どもの病気やケガの看護や処置、予防対策が理解でき、一部行疾病や障害をもつ乳幼児の保育について理解できる。	行える。 子どもの特					
	知識・理解	沂	l用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
アクティブ・ ラーニング 対象授業 評 価 方 法		グループワ ICT活用 平常記 ( 40	(自主学習支援)  試験 筆記試駅			リョン制作物	
評価基準		ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解			)
テキスト	飯島一誠・稲垣由子・本田順子・八木麻理子「保育者のためのわか	りやすいろ	どもの保健」 日	本小児医事	<b>事出版社</b>		
参考書	大西文子・遠藤幸子・興水めぐみ ほか「子どもの健康と安全」中 高内正子・梶美保「保育の場で活きる子どもの健康と安全」建帛 「子どもの保健」ななみ書房 その他は適宜提示。		² / 佐藤直子編著、	北川好郎	/濱口典-	子著	
課題に対する フィードバック の方法	授業後の小テストは解答後に答えと解説を表示する。						
留意事項	教科書とノートを持参して受講してください。 授業で使用する大学の備品は大切に丁寧に取り扱うこと。 専門家として子どもの健康と発育・発達を支援し、病気やケガの保 必要な知識と技術を身につけることが求めらえる。 まずは子どもや自分自身の健康に関心を持つことが大切である。	健的対応や	P、保育環境の衛生	€管理・安	全管理にこ	סווד	
オフィスアワー	授業ガイダンスで案内。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:看護師、助産師、教員としての実務経験から すいよう工夫しなから授業を進めていく。	、乳幼児 <i>0</i>	)様子や、病気・ク	⊤ガの対応	がイメーミ	ジしや	

# 授業 名子どもの保健

按 耒 石	丁ともの体性		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
第1回	授業ガイダンス 保育の中での子どもの健康と保健の意義、望まし い保育環境	(事前事後学修課 子ど	ガイダンス。 の中での子どもの健康と保健の意義、望ましい環境について学ぶ。 題の内容)(30分) もの保健 で学んだ子どもにとっての健康や保健活動の意味を復習 おく。
第2回	保育の中での子どものお世話 (心地よい環境づくり、環境の3つの視点、安全、衛生、生活習慣の確立)	(学修内容)保育 安全 (事前事後学修課 子ど	の中での子どものお世話(心地よい環境づくり、環境の3つの視点、、衛生、生活習慣の確立)について学ぶ。 題の内容)(30分) もの保健 の教科書p46~80、本授業の教科書第 部第2章を読みポトをまとめる。
第3回	保育の中での子どものお世話 (声掛け、抱っこ、おむつ交換)	(事前事後学修課 授業	児の声掛け、抱っこ、おむつ交換について学び、一部演習を行う。 題の内容)(30分) 資料、教科書の該当箇所を読みイメージトレーニングをしておく。 部第5章1+資料
第4回	保育の中での子どものお世話 (着替え、沐浴)	(事前事後学修課 授業	児の着替え、沐浴について学び、一部演習を行う。 題の内容)(30分) 資料、教科書の該当箇所を読みイメージトレーニングをしておく。 部第5章1+資料
第5回	保育場面での衛生管理と感染症予防(感染の予備 知識、予防接種、吐物や汚物の処理)	(学修内容)保育 や汚 (事前事後学修課 子ど	場面での衛生管理と感染症予防(感染の予備知識、予防接種、吐物物の処理)について学ぶ。 題の内容)(30分) もの保健 教科書p107~110、本授業教科書を読みまとめる。第4章+資料
第6回	保育場面での健康管理(日々の観察と健診、体調不良などへ対応、冷罨法)	(学修内容)保育 法)に (事前事後学修課	場面での健康管理(日々の観察と健診、体調不良などへ対応、冷罨 こついて学ぶ。 題の内容) (30分) 書の該当箇所を読み観察ポイントと留意点をまとめておく。第 部
第7回	保育の中での安全管理 (子どもの事故やケガ: 予防と安全管理)	(学修内容)子ど 子ど (事前事後学修課 教科	 もの事故やケガ、安全管理、防犯・防災・安全教育について学ぶ。 もの特徴や危険予知についてグループディスカッションを行う。 題の内容)(30分) 書を読み子どもの特徴と起こりやすい事故やケガを知っておく。第 第2章、第3章
第8回	保育の中での安全管理 (子どもの事故やケガ: 応急手当、誤飲・誤嚥時の対処、救命処置)	(学修内容)保育 処、 (事前事後学修課 教科	和4年、初2年、初2年、初2年、初2年、初2年、初2年、初2年、初2年、初2年、初2
第9回	アレルギー疾患を持つ子どもへの対応)	(学修内容)アレ アナ (事前事後学修課 教科	ルギー疾患を持つ子どもへの対応(気管支喘息、食物アレルギー、フィラキシー、アトピー性皮膚炎)について学ぶ。 題の内容)(30分) 書の該当箇所を読み生活管理表の活用とアナフィラキシーショックいて知っておく。第 部第5章2
第10回	慢性疾患を持つ子どもへの対応(心臓、腎臓、てんかん発作、糖尿病)	(学修内容)慢性 つい (事前事後学修課 教科	状に出っていて、
第11回	障害のある子どもへの対応 (肢体不自由、感覚器の障害、発達障害、医療的ケアが必要な子ども)	(学修内容)障害 療的 (事前事後学修課	へ。 邦
第12回	園内の職員の連携と計画性、母子保健と地域での 保健活動)	(学修内容)園内 (事前事後学修課 教科	の職員の連携と計画性、母子保健と地域での保健活動について学ぶ 題の内容)(30分) 書の該当箇所を読他職種の存在と母子保健にかかわる法律を知って 。第 部第6~7章
第13回	養護支援と連携・協働、虐待	(事前事後学修課	支援と連携・協働、虐待について知る。 題の内容)(30分) 書の該当箇所を読んでおくこと。第 部第8~9章
第14回	保育における保健活動 子どもの可能性を伸ばす	(事前事後学修課 教科	における保健活動 子どもの可能性を伸ばすについて学ぶ。 題の内容)(30分) 書の該当箇所を読み子育てや保育の中での保健活動について考える 部第1章、第 部第6章
第15回	授業での学びの振り返り 定期試験の案内	定期 (事前事後学修課	での学びの振り返り、保育場面で活かしていきたいことを考える。 試験の案内。 題の内容)(40分) 書を読み返し復習しておく。全体の振り返りまとめておく。

授 業 名	子ども家庭福祉	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	CE1204		
英 文 名	Child Welfare	開講時期	春学期		必 修選 択	選択			
担当者	山川 宏和	対 象学 生	幼児教育1回生	Ē					
授業の概要	・虐待など児童問題について 現代の子どもの生活について 諸外国の児童福祉について 児童福祉の法制度について学ぶことが必須となる。教科書を用いて統計的に理解し、配布プリントで重要点を整理し、映像素材を視聴して、実践の様子を理解する。								
学修成果到達目標	1)社会問題のひとつである児童問題と児童福祉の関係が理解でき 2)保育士に求められる福祉援助職としての働きが理解できる。 3)児童福祉の制度が、日本と諸外国ではどのように相違があるか 4)児童福祉の法制度の対象とサービス内容が理解できる。		<b>ర</b> .						
	知識・理解	ì	凡用的技能						
学位授与の	態度・志向性	2	総合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループ ICT活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 64 %) 口述 実習 実技	平常 ( 36		き レポ 実習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	芝野松次郎 宮野安治 新川泰弘 山川宏和 編著 「子ども家庭	福祉入門	」[ ミネルヴァ書房	3 ]					
参考書	随時指示する。								
課題に対する フィードバック の方法	毎回の提出物は、採点して、必要があればコメントを書いて返却す	<b>ప</b> .							
留意事項	毎回の提出物とテストを重視する。そのため、欠かさず出席したとしても単位取得できるとは限らない。日々の学習を大切にしてください。 <b>1</b> 項								
オフィスアワー	オフィスアワーは設定しますが、研究室に在室していれば対応しま を。	す。どう	してもの場合は、事	前にメー	ル又は直持	妾申出			
実践的教育									

## 授業 名子ども家庭福祉

要素計画 学教師書 学教師書 学教師書 学教師書 学教内書 (学養内容)人口用少社会、列来、少年社別策 (学養内容)人口用少社会、列来、少年社別策 (学務内容)人口用少社会、列来、少年社別策 (学務内容)人口用少社会、列来、少年社の権利課題 (学務内容)人口用シャナック、子どもの権利課題 (学務内容) 10分分 第 1 第 6 参加しておく (学務内容) 10分分 第 4 多を参加しておく (学務内容) 10分分 第 4 多を参加しておく (学務内容) 10分分 第 3 多を参加しておく (学務内容) (30分分 第 3 多を参加しておく (学務内容) 12 重相社大法、行政機関について (学務内容) 12 重相社大法、行政機関について (学務内容) 12 重相社大法、行政機関について (学務内容) 12 重相社大法について (学務内容) 12 重相社大法について (学務内容) 12 重相社大法を定について (学務内容) 12 重相社大法を定について (学務内容) 12 重相社大法を定について (学務内容) 12 重相社大法を定について (学務内容) 2 要素を参加しておく (学務内容) 2 要素を参加しておく (学務内容) 2 要素持の正常と対策 (事務事業を参加しておく (学務内容) 2 要素持の正常と(のか) 第 2 事を参加しておく (学務内容) 1 表を参加しておく (学務内容) 1 表の表別にでおく (学務内容) 1 表の表の表別にでおく (学務内容) 1 表の表の表別 (30分) 第 2 事を参加しておく (学務内容) 1 表の表の表別 (30分) 第 3 事を参加しておく (学務内容) 1 表のの方言 (4 分別 2 を参加しておく (学務内容) 1 のの分) 第 3 1 10番を参加しておく (学務内容) 1 のの分) 第 3 1 10番を参加しておく (学務内容) 1 2 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		」この外庭田江	
第1回	授業計画		
第1五章参照しておく (学修内容)コルチャック、子どもの権利条約について (事前学後予修課題の内容)(30分) 第4日章参照しておく (学修内容)日本・欧米の子ども家直福祉史 (事前等後予修課題の内容)(30分) 第3日章参照しておく 子ども家直福祉の歴史 (学修内容)児童福社大法、行政機関について (事前等後予修課題の内容)(30分) 第1五章参照しておく (学修内容)児童福社法に見ばて (事前等後予修課題の内容)(30分) 第5日章参照しておく (学修内容)児童福社法に見ばな正について (事前等後予修課題の内容)(30分) 第5日章参照しておく (学修内容)児童福社法に見違係的正法について (事前等後予修課題の内容)(30分) 第5日章参照しておく (学修内容)児童福社法と児童條内正法について (学修内容)児童経社法の記事を持続との行る)(30分) 第5日章を参照しておく (学修内容)児童経性法及正について (学修内容)児童経性法及正について (事前等後予修課題の内容)(30分) 第5日章を参照しておく (学修内容)児童経内の定義と対策 (事前等後予修課題の内容)(30分) 第10日章を禁促しておく (学修内容)児童経内定義と対策 (事前等後予修課題の内容)(30分) 第10日章を禁促しておく (学修内容)児童経内定義と対策 (事前等後予修課題の内容)(60分) 第10日章を禁促しておく (学修内容)児童経内の容(60分) 第10日章を禁促しておく (学修内容)児童経内の容(60分) 第10日章を禁促しておく (学修内容)児童経内の内容(60分) 第10日章を禁促しておく (学修内容)児童経内の内容(60分) 第2日章を禁促しておく (学修内容)児童経内の内容(60分) 第2日章を禁促しておく (学修内容)見が原理を禁促しておく (学修内容)見が原理を禁促しておく (学修内容)見が原理を禁促しておく (学修内容)見がいまの状態とありの方(60分) 第3日章を禁促しておく (学修内容)見がいまの状態と表の方容(60分) 第3日章を禁煙しておく (学修内容)見がいまの状態と表の方容(60分) 第3日章を禁煙しておく		超少子高齢化社会における子ども家庭福祉	(学修内容)人口減少社会、丙午、少子化対策
第3回	第1回		
第4章を参照しておく  子ども家政福祉の歴史  (学称内容) 児童福祉大法、行政機関について (事命事後学倫理語の内容) (30分) 第7 案を参照しておく  (学称内容) 児童福祉大法、行政機関について (事命事後学倫理語の内容) (30分) 第7 案を参照しておく  (学称内容) 児童福祉大法、行政機関について (事命事後学倫理語の内容) (30分) 第5 章を参照しておく  児童福祉法について 2004 ~ 2008年の改正  (学称内容) 児童福祉法と児童信待防止法について (学称内容) 児童福祉法と児童信待防止法について (事命事後学倫理語の内容) (30分) 第5 章を参照しておく  児童福祉法について 2012 ~ 2020年の改正  (学称内容) 児童福祉法改正について (学称内容) 近年の児童福祉法改正について (事前事後学修理語の内容) (30分) 第5 章を参照しておく  児童福祉法について 2012 ~ 2020年の改正  (学称内容) 近年の児童福祉法改正について (事前事後学修理語の内容) (30分) 第5 章を参照しておく  (学称内容) 児童唐寺の定義と対策 (事命事後学修理語の内容) (30分) 第10章を参照しておく  (学称内容) 児童福祉に従事する等円額について (学称内容) 児童福祉に従事する等円額について (学務内容) 児童福祉に従事する等円額について (学務内容) 児童福祉に従事する等円額について (学務内容) 別意 福祉に従事する等円額について (学務内容) 別意 福祉に従事する等円額について (学務内容) 別庭帰死に従事する等円額について (学務内容) 別庭帰死に対するく  第71回		子どもの権利擁護	(学修内容)コルチャック、子どもの権利条約について
第3回	第2回		
第3章を参照しておく  子ども家庭福祉の実施機関  (学修内容)児童福祉大法、行政機関について (事前事後学移建型の内容)(30分) 第7章を参照しておく  児童福祉法について 1997、2001年の改正  児童福祉法について 2004 - 2008年の改正  児童福祉法について 2004 - 2008年の改正  児童福祉法について 2012 - 2020年の改正  (学修内容)児童福祉法と児童経内防止法について (事前事後学移建型の内容)(30分) 第5章を参照しておく  児童経位法について 2012 - 2020年の改正  (学修内容)児童福祉法と児童経行防止法について (事前事後学移建型の内容)(60分) 第5章を参照しておく  児童進行について 身体的進行・ネグレクト  (学修内容)児童産行の定義と対策 (事前事後学格建型の内容)(30分) 第10章を参照しておく  児童福祉の専門隊について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (事前事後学格建型の内容)(60分) 第10回  第11回  第11回  母子栄健について (学修内容)月本と諸外国の保育政策・サービスについて (事前事後学経理型の内容)(60分) 第 6 章を参照しておく  (学修内容)月に登録につまる (学修内容)月に登録につまる (学修内容)月に登録につまる (学修内容)月に登録につまる (学修内容)月に登録につまる (学修内容)月に登録につまる (学修内容)月に登録について (学修内容)月児院の実践について (学修内容)月児院の実践について (学修内容)月児院の実践について (学修内容)月児院の実践について (学修内容)月児院の実践について (学修内容)月児院の実践と福祉サービスについて (学修内容)月児院の実践について (学修内容)月児院の実践と福祉サービスについて (学修内容)月別院の実践と福祉サービスについて (学修内容)月別院の実践につまる		子ども家庭福祉の歴史	(学修内容)日本・欧米の子ども家庭福祉史
第4回	第3回		
# 7 章を参照しておく    現金福祉法について 1997、2001年の改正 (学修内容) 児童福祉法改正について (事前事後学修課題の内容) (30分) 第 5 章を参照しておく   児童福祉法について 2004 - 2008年の改正 (学修内容) 児童福祉法と児童虐待防止法について (事前事後学修課題の内容) (30分) 第 5 章を参照しておく   児童福祉法について 2012 - 2020年の改正 (学修内容) 近年の児童福祉法改正について (事前事後学修課題の内容) (60分) 第 5 章を参照しておく   児童福祉法心について 身体的虐待・ネグレクト (学修内容) 近年の児童福祉法改正について (事前事後学修課題の内容) (60分) 第 1 明事後学修課題の内容) (60分) 第 1 日本と諸外国の保育政策・サービスについて (事前事後学修課題の内容) (60分) 第 2 章を参照しておく (学修内容) 日本と諸外国の保育政策・サービスについて (事前事後学修課題の内容) (60分) 第 5 章を参照しておく (学修内容) 発足解死亡率中保健所、未熟児医療について (事前事後学修課題の内容) (30分) 第 9 章を参照しておく (学修内容) 乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容) (30分) 第 9 章を参照しておく (学修内容) 別児院の実際について (事前事後学修課題の内容) (30分) 第 8 1 1 1 0 章を参照しておく (学修内容) 所がい児の現状と福祉サービスについて (事前事後学修課題の内容) (60分) 第 8 1 1 1 0 章を参照しておく		子ども家庭福祉の実施機関	(学修内容)児童福祉六法、行政機関について
第5回	第4回		
第5事を参照しておく  「学修内容)児童福祉法と児童虐待防止法について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第5事を参照しておく  「学修内容)近年の児童福祉法改正について (事前事後学修課題の内容)(60分) 第5事を参照しておく  「学修内容)近年の児童福祉法改正について (事前事後学修課題の内容)(60分) 第5事を参照しておく  「学修内容)児童虐待の定義と対策 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第10章を参照しておく  「学修内容)児童虐待の定義と対策 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第10章を参照しておく  「学修内容)児童虐待の定義と対策 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第10章を参照しておく  「学修内容)児童福祉に従事する専門職について 「学修内容)日本と語外国の保育政策・サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分) 第5章を参照しておく  「学修内容)日本と語外国の保育政策・サービスについて 「事前事後学修課題の内容)(60分) 第6章を参照しておく  「学修内容)日本と語外国の保育政策・サービスについて 「学修内容)日本と語外国の保育政策・サービスについて 「学修内容)別な産経験にでおく 「学修内容)別な産経験に下本や保健所、未熟児医療について 「学修内容)乳児院の実際について 「学修内容)乳児院の実際について 「学修内容)の分) 第6・10章を参照しておく  「学修内容)「の分) 第6・10章を参照しておく		児童福祉法について 1997、2001年の改正	(学修内容)児童福祉法改正について
第6回	第5回		
第5章を参照しておく  児童福祉法について 2012 - 2020年の改正 (学修内容)近年の児童福祉法改正について (事前事後学修課題の内容)(60分)第5章を参照しておく  児童虐待について 身体的虐待・ネグレクト (学修内容)児童虐待の定義と対策 (事前事後学修課題の内容)(30分)第10章を参照しておく  児童虐待について 心理的・性的虐待 (学修内容)児童虐待の定義と対策 (事前事後学修課題の内容)(60分)第10章を参照しておく  児童福祉の専門職について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (事前事後学修課題の内容)(50分)第10章を参照しておく  保育支援と福祉について (学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分)第6章を参照しておく  母子保健について (学修内容)乳圧偏帰死亡率や保健所、未熟児医療について (事前事後学修課題の内容)(30分)第9章を参照しておく  社会的養護について (学修内容)乳児院の実際について (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分)第9章を参照しておく  「学修内容)乳児院の実際について (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分)第8・10章を参照しておく		児童福祉法について 2004~2008年の改正	(学修内容)児童福祉法と児童虐待防止法について
第7回	第6回		
第5章を参照しておく  第6回  児童虐待について 身体的虐待・ネグレクト  (学修内容)児童虐待の定義と対策  (事前事後学修課題の内容)(30分) 第10章を参照しておく  児童虐待について 心理的・性的虐待  (学修内容)児童虐待の定義と対策  (事前事後学修課題の内容)(60分) 第10章を参照しておく  児童福祉の専門職について  (学修内容)児童福祉に従事する専門職について  (学修内容)児童福祉に従事する専門職について  (学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて  (事前事後学修課題の内容)(60分) 第6章を参照しておく  (学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて  (事前事後学修課題の内容)(60分) 第6章を参照しておく  (学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について  (事前事後学修課題の内容)(30分) 第9章を参照しておく  (学修内容)乳児院の実際について  (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3・10章を参照しておく  (学修内容)乳児院の実際について  (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3・10章を参照しておく		児童福祉法について 2012~2020年の改正	(学修内容)近年の児童福祉法改正について
第8回 (事前事後学修課題の内容)(30分)第10章を参照しておく  児童虐待について 心理的・性的虐待 (学修内容)児童虐待の定義と対策 (事前事後学修課題の内容)(60分)第10章を参照しておく  児童福祉の専門職について (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (事前事後学修課題の内容)(60分)第2章を参照しておく  保育支援と福祉について (学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分)第6章を参照しておく  母子保健について (学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について (事前事後学修課題の内容)(30分)第9章を参照しておく  社会的教護について (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分)第8・10章を参照しておく  「学修内容)剛がい児の福祉について (学修内容)剛がい児の現状と福祉サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分)第8・10章を参照しておく	第7回		
第10章を参照しておく  「学修内容)児童虐待について 心理的・性的虐待  「学修内容)児童虐待の定義と対策  「事前事後学修課題の内容)(60分) 第10章を参照しておく  「学修内容)児童福祉に従事する専門職について  「学修内容)児童福祉に従事する専門職について  「学修内容)児童福祉に従事する専門職について  「学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて  「学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて  「事前事後学修課題の内容)(60分) 第6章を参照しておく  「学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について  「学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について  「学修内容)乳児院の実際について  「学修内容)、10章を参照しておく		児童虐待について 身体的虐待・ネグレクト	(学修内容)児童虐待の定義と対策
第9回	第8回		
第10章を参照しておく (学修内容)児童福祉に従事する専門職について (事前事後学修課題の内容)(60分) 第2章を参照しておく (学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分) 第6章を参照しておく (学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第9章を参照しておく (学修内容)乳児院の実際について (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第8・10章を参照しておく (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第8・10章を参照しておく		児童虐待について 心理的・性的虐待	(学修内容)児童虐待の定義と対策
第10回	第9回		(
第2章を参照しておく		児童福祉の専門職について	(学修内容)児童福祉に従事する専門職について
# 第11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第6章を参照しておく (学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第9章を参照しておく (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第8・10章を参照しておく (学修内容) 1000 では、1000	第10回		(
第6章を参照しておく		保育支援と福祉について	(学修内容)日本と諸外国の保育政策・サービスについて
# 第12回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第9章を参照しておく (学修内容)乳児院の実際について (事前事後学修課題の内容)(30分) 第8・10章を参照しておく (学修内容)障がい児の現状と福祉サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分) 第8・10章を参照しておく	第11回		
第9章を参照しておく		母子保健について	(学修内容)妊産婦死亡率や保健所、未熟児医療について
第13回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第8・10章を参照しておく (学修内容)障がい児の現状と福祉サービスについて (事前事後学修課題の内容)(60分) 第8・10章を参照しておく	第12回		(
第8・10章を参照しておく		社会的養護について	(学修内容)乳児院の実際について
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第8・10章を参照しておく	第13回		
第8・10章を参照しておく		障がい児の福祉について	(学修内容)障がい児の現状と福祉サービスについて
ひとり親家庭の支援について (学修内容)ひとり親家庭への福祉サービスについて	第14回		
		ひとり親家庭の支援について	(学修内容)ひとり親家庭への福祉サービスについて
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第8・10章を参照しておく	第15回		

授 業 名		開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CE1205		
英 文 名	Social Welfare	開講時期	春・秋学期		必修選択	選択			
担当者	野田 隆生	対象 学生 幼児教育1回生							
授業の概要	わたしたちが住んでいる地域では、乳幼児・子ども・青年・高齢者・障害者等さまざまな人が生活をしています。すべての人が「幸せだ」と実感できる社会であれば何も言うことはないのですが、ある日突然、当たり前の生活を送ることができない現実に直面することがあります。そうなったら、どうすればいいのでしょうか?本講では、わたしたちの生活をおびやかすような「あっ、どうしよう!?」に対して、どのような支援体制が準備されているのかを理解し、そこから保育士を目指す専門職として必要な知識や価値観を見出していくことを目的としています。								
学修成果到達目標									
	知識・理解	泂	用的技能						
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	<b>等力</b>				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		゚゚゚゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゚゙゙゙゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚゙゚゙	リーク  (自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 80 % ) 口述 実習 実技	平常記		く レポー 実習		削作物 €技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	[*] ョン能力 課題 ) (	題発見・解決 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	夬能力		)		
テキスト	橋本好市・宮田徹 編集『学ぶ・わかる・みえる 保育と社会福祉 <b>【</b>	第3版】	』みらい 2019年	4月1日 第	3 版第 1 層	削発行			
参考書	流石智子著『日本の母子福祉 これからの母子家庭の幸せを考える っ7人の子ども?』女子パウロ会 2008年、曽和信一著『障がい者・ 育 』ミネルヴァ書房 2007年、宮野誠保著『昔話にみる福祉 ひと ・浅野仁編『新版老後保障を学ぶ人のために』世界思想社 2006年	児共生と	は何か 「自立と	共生」の福	祉・教育	・保			
課題に対する フィードバック の方法	視聴覚教材(ビデオ、DVD等)を使用した場合のリアクションペーパ います。	(一の内容	を踏まえ、次の授	業冒頭にて	コメント	を行			
留意事項	1 )テキスト履修となるので、毎回の講義時には必ずテキストを持参するように。 2 )ノートについては取り外しができるようルーズリーフが望ましい。 3 )視聴覚教材(ビデオ、DVD等)を使用する場合には、必ず小レポートを課すことになるので指定された様式にて期限までに提出すること。 4 )定期試験(筆記試験)については、予め出題の内容や持込みできる物について説明する。								
オフィスアワー	講義初回時に連絡をします。 基本的に研究室(1R-404)に在室していれば対応をします。また、 。	急な質問	等については学内	g-mailを利	用して下	さい			
実践的教育									

# 授業名 社会福祉

技 未 石	社 云 抽 社		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	はじめに	(学修内容)1)	講義の進め方と成績評価の方法について
	~なぜ「社会福祉」を学ぶのか?~	2)	「社会福祉」を学ぶ意味
第1回		1 -	題の内容)(15分)
			キストを必ず購入すること。
	/C 축 L 첫 스 뉴 첫		ートはルーズリーフが望ましい。
	保育と社会福祉		少子・高齢社会について 2)生活課題と社会福祉
第2回			社会福祉の概念  題の内容)(60分)
<b>카스티</b>			:スト第1章ならびに第2章(pp.15-39)を読んでおくこと。
			7 % · + 6.2 0 1-2% - + (FF 13) - 1000 - 13 ( - 20
	社会福祉のあゆみ	(学修内容)1)	欧米の社会福祉 2)日本の社会福祉 3)戦後の社会福祉
			題の内容)(60分)
第3回		テキ	·スト第3章(pp.41-54)を読んでおくこと。
	  生活を守る社会保障制度	(学修内容)1)	社会保障とは 2)個人の尊厳と生存権 3)年金と医療と福祉
		1	題の内容)(60分)
第4回		テキ	スト第4章(pp.55-70)ならびに第15章(pp.205-220)を読んで
		おく	こと。
	  社会福祉の法制度と行財政	(学修贞突)1)	福祉三法から福祉六法へ 2)福祉行政の実施機関
	社会福祉の名前及と自治成		福祉計画と財源
第5回		1	題の内容)(60分)
		テキ	スト第5章ならびに第6章(pp.71-95)を読んでおくこと。
	  子どもと児童家庭福祉	(学修由家)1)	子どもの権利保障 2)子ども・子育てに関する制度の変遷
	丁ともと元重家庭禰仙   ~子どもを取り巻く環境と諸問題~		子どもを取り巻く環境と諸問題
第6回	J C O C IN J B ( PAC ) J C HAI - J AB		類の内容)(60分)
		テキ	スト第8章(pp.105-119)を読んでおくこと。
	子どもと児童家庭福祉   ~子ども虐待の現状と課題~	(字修内谷)1)   的養	子ども虐待の現状 2)対応する行政機関 3)社会的養護と家庭 :
第7回	~丁とも虐待の境状と誅題~	1	·暖  題の内容)(60分)
33.0		1 -	の内容を復習し、テキスト第6章ならびに第8章を再度読んでおく
		こと	
	障害と社会福祉	1	日本人の障害観 2)障害者の権利とノーマライゼーション
第8回	│ ~障害者・児福祉の変遷過程~ │	1	障害に関する制度の変遷過程  題の内容)(60分)
카이크			:スト第9章(pp.121-132)を読んでおくこと。
	障害と社会福祉		障害児の現状 2)専門施設での援助
第9回	~ 障害のある子どもへの援助~	1	関連する課題 題の内容)(60分)
A 3년			の内容を復習し、テキスト第8章ならびに第9章を読んでおくこと
		0	
	高齢者と社会福祉		高齢者保健福祉の変遷過程とその課題 2)介護保険制度の誕生
第10回	│ ~高齢社会が抱える課題~ │	1	地域包括ケアシステムの構築 題の内容)(60分)
第10回			:思い内谷)(60カ) :スト第10章(pp.133-144)を読んでおくこと。
		, ,	х т з т о т (pp. 100 тт) ешло со х с с .
	高齢者と社会福祉		高齢者の疾病と障害 2)認知症の特性と理解 3)介護の現場で
\$\$ 4.4 C	~認知症の特性とその介護~	は、東京東条単位	1時の内容と(20八)
第11回		1 -	題の内容)(60分)  の内容を復習し、テキスト第6章ならびに第7章(pp.97-103)、
			の内谷を後音し、デキスト第6章ならびに第7章(pp.97-103)、     0章を読んでおくこと。
	社会福祉の専門職と倫理		社会福祉の専門職 2)社会福祉に関連する専門職
		3)	社会福祉専門職の倫理
第12回			題の内容)(60分)
		アキ	:スト第12章(pp.157-174)を読んでおくこと。
	地域で生きるということ	(学修内容)1)	タテ割り行政からの脱却 2)介護と保育の融合
	~介護と保育の連携~	1	地域共生社会の実現に向けて
第13回			題の内容)(60分)
		テキ	:スト第11章(pp.145-156)を読んでおくこと。
	  地域で生きるということ	(学修内容)1)	地域密着型施設の誕生 2)世代間交流 3)ある施設の挑戦
	~小規模施設と地域社会~		題の内容)(60分)
第14回			の内容を復習し、テキスト第11章を再度読んでおくこと。
	  まとめにかえて	(学修山宓\1\	全体のふりかえり 2)なぜ「社会福祉」を学ぶのか
	よどめにかえて   ~「生きる権利」と「社会福祉」~	1	全体のかりかえり 2)なせ・社会偏位」を字がのか 保育士と介護福祉士のこれから
第15回	де опенти с принада		題の内容)(60分)
		1 -	・トの整理とテキスト第16章 (pp.221-226) を読んでおくこと。

授	業	名	音楽の基礎理論	開記学品		1回生	単位数	2単位	科目 コード	CE1207
英	文	名	Basic Theory of Music	開調時期		春学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	小川 隆昭	対象学生		   幼児教育1回生	Ē			
授美	● ●	 妖要	保育現場で必要な音楽理論の基礎学習と並行しながら、初歩的など 理論(楽典)については、グループに分かれ、問題を考察し合い、 は、音楽 の補助的役割を担っている。	」 アノ技	術を		。また、	ピアノにこ	ひいて	
			1 ) 保容現場ではる辛滋畑絵の甘疎が理報できる							
224	M≠ →		1)保育現場で使う音楽理論の基礎が理解できる。 2)グループワークによる理論の習得及び、発表によって自身の習 3)音楽理論を理解した上で、ピアノを弾くことによって正しく楽 4)一人で新しい曲を弾くことが出来るための基礎的な能力を身に	譜が読	める					
	修 成達 目									
~ /·	+ <u>zz</u> +	- m	知識・理解態度・志向性			用的技能 合的な学習経験と	創造的田:	<u></u> ≠+		
学位 方針			(水) 交 (水) 旧		ine	- 日的な子自社級と	剧足的心。	2/1		
アク ラー 対象	ニン	グ		グルー ICT:		一ク  (自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン	
評(	面方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	1	常試 40	、 り 口述	ション 実習		削作物 €技	
評(	西基	準	観点 授業態度・参加意欲 (			) (	発見・解	決能力		)
テ:	キ ス	۲	『ジュニアクラスの楽典問題集』(ドレミ楽譜出版社)森本琢朗・ 『バイエルピアノ教則本』(音楽之友社)他 経験者は進度に応じた曲	池田恭	子	共著				
参	考	書								
課題 フィ・ の方	ードハ		音楽理論の課題について、毎回解答の解説を行う。							
留;	意 事	項	音楽理論について、理解できるまで担当者に質問すること。							
	フィ		週1回、曜日と時間は研究室前に掲示。							
実践			実践的教育 教員の実務経験など:・私立音楽院助手 ・おてつぎ子供奉仕団指導員歌唱指導							

## 授業 名 音楽の基礎理論

1X * L	日米の基礎注調	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)線と間 ト音記号 音名 へ音記号 バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第2回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)音符と休符 小節と縦線 拍子記号 バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第3回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)譜表 オクターブ バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第4回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)音符と休符 拍子とリズム バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第5回	音楽理論 ピアノ	「学修内容)強起と弱起 奏法を指示する記号 パイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第6回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)強弱を表す記号 シンコペーション バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第7回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)複縦線と反復記号 連符 バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第8回	音楽理論 ピアノ	「学問者ったピアノの復音 (学修内容)速度記号 装飾音符と装飾記号 バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第9回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)奏法を指示する用語と記号 変化記号 パイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く。 今回習ったピアノの復習。
第10回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)幹音と派生音 バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第11回	音楽理論 ピアノ	「学問者でにピアノの侵害 (学修内容)音程(完全音と長音程、短音程) バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第12回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)音程(幹音どうしの音程の数え方、派生音を含んだ音程の数え方) バ イエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(60分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第13回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)音階(長音階)パイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(120分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第14回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)音階(短音階) バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(120分) 次回までにテキストの(問題)を解く 今回習ったピアノの復習
第15回	音楽理論 ピアノ	(学修内容)和音 バイエルを使いピアノの練習 (事前事後学修課題の内容)(120分) 今回習ったピアノの復習

授	業	名	教育の方法と技術	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2305
英	文	名	Educational Methods and Technique	開講時期	春学期		必 修 選 択	選択	
担	当	者	浅田瞳	対 象 学 生	幼児教育2回生				
授美	美の村	既要	保育は先生方の思い付きでされるものではありません。子どもたちた先生との関係を踏まえながら、1年間の計画をもとに日々の保育がさいまたを知ってほしい」「お友達と協力する楽しさを味わってほしい」との授業では、保育に関する教育の方法と技術について、実際の活成し、子どもの環境を想定しながら、どのように保育を進めるのか、	計画されて という保育 動を想定し	こいます。そこには 育者の願いや思いか 」ながら講義を行い	t「子ども ĭ込められ lます。実	たちにこん ているの ^で 際に指導す	んなこ です。	
	修 成		1.年齢や時期を考慮した指導案を作成できる 2.作成した指導案をもとに模擬活動を発表することができる						
学位	+552 +	- <b>Φ</b>	知識・理解態度・志向性		l用的技能 ※合的な学習経験と	創造的田:			
子 位 方針			五	ñ90	。日の多子日だ家と		2/1		
アク ラー 対象	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(	西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		き レポ 実習		制作物 実技	
評(	西基	準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレー	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
<b>구</b> :	キス	. ト	戸江茂博監修 [『] 幼児教育方法論』学文社						
参	考	書	稲垣忠編著『教育の方法と技術』北大路書房						
課題 フィ- の方	ードノ	する	授業ごとの小レポートについては、次の授業に口頭にてフィードバ [・]	ックを行う	Ď				
留;	意 事		授業後半は指導案や教材作成を行いますので、出席していない人は	評価の対象	<b>きとなりません。</b>				
	フィ		第1回目の授業で告知します						
実践	的	教育							

## 授業 名 教育の方法と技術

12 未 口	教育の万広と技術		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	イントロダクション	(学修内容)授業	の方針・出席や事前事後学習について説明を聞く
第1回		保育	題の内容)(30分) 実習でやった設定保育について発表できるようにしておく 施者のみ)
	保育の基本と保育内容・方法	(	ル目のがり の基本である遊びや生活との関連について学ぶ
第2回			題の内容)(60分) が子どもに与える影響についてまとめる
	我が国における保育の歴史(1)戦前	(学修内容)戦前	の保育の状況について考える
第3回			題の内容)(60分) の幼稚園や保育所のエピソードを検索し、まとめる
	我が国における保育の歴史(2)戦後	(学修内容)戦後	の保育の状況について考える
第4回			題の内容)(60分) 年の幼稚園教育要領や保育所保育指針で養成すべき力についてまと
	3 法から教育・保育方法を考える		園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育
第5回		(事前事後学修課	から保育方法を考える 題の内容)(60分) の違いについてまとめる
	幼児理解と発達	(学修内容)年齢	による子どもたちの発達の違いについて考える
第6回			題の内容)(60分) 児の子どもの指導案を考える(60分程度)
	環境を通して行う保育	(学修内容)子ど	もたちにふさわしい環境について考える
第7回			題の内容)(60分) 室を環境構成として、どのようなものがあげられるかまとめる
	保育計画について考える	(学修内容)保育	計画の必要性や種類、考え方を学ぶ
第8回			題の内容)(60分) 計画でもっとも大切なことは何かまとめる
	指導案の作成(1)年齢と時期	(学修内容)発表	に向けて、対象年齢と時期を考える
第9回			題の内容)(30分) 案の遊びについて年齢に沿った内容を考える
	指導案の作成(2)活動内容と方法	(学修内容)発表	に向け、指導案の内容と方法を考える
第10回		( 5 100 5 12 0 12 12 11	題の内容)(30分) 案の計画を考えておく
	教材作成(1)	(学修内容)作成	した指導案をもとに教材を作成する
第11回			題の内容)(30分) を実際に作成し、どのように遊ぶのか展開を考える
	教材作成(2)	(学修内容)作成	した指導案をもとに教材を作成する
第12回		l	題の内容)(30分) した教材を工夫する
	個人発表(1)	(学修内容)作成	した指導案をもとに模擬保育を行う
第13回			題の内容)(30分) したなかでもっともよかった人のいいところをまとめる
	個人発表(2)	(学修内容)作成	した指導案をもとに模擬保育を行う
第14回			題の内容)(30分) したなかでもっともよかった人のいいところをまとめる
	まとめ 保育計画をおこなうために	(学修内容)保育	計画を行うためには何が必要か考える
第15回			題の内容)(60分) の活動を振り返り、自分ががんばったことと課題をまとめる

授 業 名	特別支援教育	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2306			
英 文 名	Special Needs Education	開講時期	春学期		必 修選 択	選択				
担当者	林 静香	対象学生								
授業の概要	・特別支援の必要な子どもの基礎理解・援助・指導方法を学ぶとと よび配慮すべき留意点などを学ぶ。	- もに、教育	・療育現場での事	■例をもと	に、支援	方法お				
学修成果到達目標	1)インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の特性および仕組みを2)発達障害(疑いを含む)や、知的障害をはじめとする様々な障害よび心身の発達を理解することができる3)現状と課題に理解を深め、支援の必要な子どもたちをとりまく環りについて学び、理解することができる。	や発達の過	aれなど、支援を必 なった。 というできる							
	知識・理解	沪	 .用的技能							
学位授与の	態度・志向性	<u> </u>		創造的思	 考力					
方針との関連										
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		・ レポ 実習		制作物 実技				
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	プロン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)			
テキスト	前田泰弘編著『実践に生かす 障害児保育・特別支援教育』萌文書	林 2019年	E							
参考書	玉村久二彦『新版 キーワードブック 特別支援教育 インクルー わ	シブ教育時	5代の基礎知識』 (	2019)ク	リエイツ	かもが				
課題に対する フィードバック の方法	提出した課題を添削して返却する。 なお、全体的に気になった部分や再度確認が必要な部分については	講義内で解	常説する。							
留意事項	授業内で出される課題は、必ず期日までに提出すること(期日後の	提出は減点	、未提出は欠席)	0						
オフィスアワー	木曜日 講義終了後 金曜日 講義終了後 に受け付けます									
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:障害児通園施設にて勤務(保育士)									

## 授業名 特別支援教育

	1寸が又波状月	
授業計画		学修内容・課題
	特別支援教育についての理念、教育的ニーズ	(学修内容)保育現場で求められている特別支援の理念について学ぶ
第1回		障害者差別解消法・合理的配慮について理解を深める (事前事後学修課題の内容)(20分)
<b>第</b> 1凹		(事刑事後子修誅越の内谷)(20ガ)  障害のイメージについて発表してもらうので、自身の考える障害者像を
		まとめておく
	発達の法則(発達段階)	(学修内容)発達の法則(発達段階)について理解する
	障害の早期発見	障害の早期発見のために実施されている乳幼児健診について学ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第 部を読んでおく
	支援の必要な子どもへの保育・教育形態	(学修内容)支援の必要な子どもたちの支援方法(保育・教育形態、個別支援計画)
第3回	(手帳のしくみ・個別支援計画)	があるかを理解する。手帳(身体・療育・精神)の仕組みについて学ぶ (事前事後学修課題の内容)(20分)
歩 3 凹		「(事刑事後子に麻磁の内谷)(20カ) 「テキスト第一部を読んでおく
		y Tyri yo ali Chino Coy
	知的障害児への理解と援助、配慮すべき留意点	(学修内容)知的障害児の特性を理解するとともに、どのような援助がのぞましいか
		を考え、学ぶ
第4回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第 部第3章を読んでおく
	多様な支援を必要とする子どもたちへの理解、援	   (学修内容)気になる子、情緒障害、発達障害の違いを理解するとともに
	助、配慮すべき留意点	どのような特性を持っているのかを学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第 部第5章を読んでおく
	発達障害について	(学修内容)発達障害の分類、特徴、支援体制などを理解する
<b>*</b>		(発達障害者支援法)
第6回		(事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第 部第5章を読んでおく
		アイストカー 即分り早を配がしてのく
	自閉症スペクトラム障害(ASD)への理解と援助、	(学修内容)自閉症スペクトラム障害の特性を理解するとともに、どのような援助が
	配慮すべき留意点	のぞましいか考え、学ぶ
第7回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第 部第6章を読んでおく
	   学習障害(LD)児、注意欠如・多動性障害児への	│ │(学修内容)学習障害、注意・欠如多動性障害の特性を理解するとともに、どのよう
	理解と援助、配慮すべき留意点	な援助がのぞましいか考え、学ぶ
第8回	THE DAY HOLD TO THE MENT	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前)テキスト第 部第6章を読んでおく
		事後)今までの講義内容を復習しておく
	小テスト	(学修内容)講義内容をどれだけ理解できているかの確認
** 0 E	ふりかえり	(東前東後労修理師の中容)(20八)
第9回		(事前事後学修課題の内容) (20分)   事前)今までの講義内容を復習しておく
		事後)テスト終了後、解答の困難だった部分について復習する
	視覚障害児への理解と援助、配慮すべき留意点	(学修内容)視覚障害の特性を理解するとともに、どのような援助がのぞましいか考
		え、学ぶ
第10回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第 部第4章-2.3.4を読んでおく
	聴覚障害児・言語障害児への理解と援助、配慮す	(学修内容)聴覚障害・言語障害の特性を理解するとともに、どのような援助がのぞ
	「職見障害だ・言語障害だべの理解と援助、配慮する   べき留意点	(学)
第11回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第 部第4章-1を読んでおく
	身体に障害のある子ども(肢体不自由児・脳性ま	(学修内容)身体に障害をもつ子どもたちの分類および各々の特性を理解し、どのよ
<b>₩</b>	ひ・医療ケア児)への理解と援助、配慮すべき留	うな援助、配慮、外部機関との連携について学ぶ
第12回	意点	(事前事後学修課題の内容) (20分)
		テキスト第 部第4章-1を読んでおく 
	特別に支援の必要な子どもたちをとりまく環境の	□   (学修内容)特別な支援の必要な子どもたちをとりまく環境について理解を深め、個
	理解(家庭との協力、関係機関との連携)	別の指導計画について学ぶ(外国籍家庭・貧困家庭など)
第13回		(事前事後学修課題の内容) (20分)
		テキスト第 部第8章を読んでおく
		   (学修内容)ユニバーサルデザインや障害者マークなどについて学び、支援の必要な
		(学修内谷)ユニバー・カルチリインや障害者マーケなどについて学び、文援の必要な
第14回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		身近にあるユニバーサルデザインや障害者マークなどについて調べてお
		<
	まとめ	(学修内容)今までの講義内容での要点のまとめと特別支援教育の現状と課題につい
		て理解を深める
第15回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		テキスト第一部を読んでおく

授 業 名	国語教育			開記学品	1 1	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2314		
英 文 名	Japanese Language Edu	cation		開調時期	1.7	秋学期		必 修選 択	選択			
担当者	生野 金三			対象学生								
授業の概要	領域「言葉」の指導法の基 る基本的知識を理解する。そ る教材や実践について考える 的な場面を通して理解を深め	たの上で、言葉i ら。さらに、児i	遊び等によって子供が言	葉の楽	しさも	や美しさを味わい	、言葉の	感覚を豊か	かにす			
学修成果到達目標	1.言葉の獲得に関する領域「 2.人間にとっての言葉の意義 3.言葉に対する感覚を豊かに 4.児童文化財(絵本、物語等	と機能及び言葉 こする実践につい	葉の発達過程の概要を理 ハて理解している。	関解して	-							
	知識・理解				汎用	月的技能						
学位授与の	態度・志向性				総合	合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連												
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL 実習・フィールドワーク		ション・ディベート (双方向型授業)	グルー ICT		ーク ( 自主学習支援 )		ゼンテー	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 (60%) 口述	レポート 実習	制作物 実技	1	常試 第 40 9		き レポ 実習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解		ケーション能力 プレ (	ゼンテ	ーショ	ョン能力 課題) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	生野金三・香田健治・太田顕 教科書の購入方法について			文図書出.	版会	1,900円						
参考書												
課題に対する フィードバック の方法	・プレゼンテーションを行っ ・提出されたレポートについ			その仕方	、話し	し方等について解	説します。	5				
留意事項	ポートフォリオを作成します します。資料も整理しておき				。後E	<b>∃、それを基に</b> 謝	題(見出	し) ごと!	こ整理			
オフィスアワー	オフィスアワーの設定曜日・ます。	時間帯は研究	室のドアに提示します。	それ以	外の即	持間帯でも、研究	室に在室	 の場合、対 	対応し			
実践的教育												

## 授業名 国語教育

	四阳秋月	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション(授業の目的、授業の進め方	(学修内容)授業の目的と内容、進め方を確認する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自、履修内容を確認しておく。
	言葉の獲得に関する領域「言葉」の「ねらい」や	(学修内容)領域「言葉」の「ねらい」及び「内容」について理解する。
第2回	「内容」	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第3回	「言葉」の意義と機能	(学修内容)言葉の道具としての機能、伝達の機能、行動調整の機能等について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第4回	言葉の発達(言葉の準備段階、一語文の時期、二 語文の時期)	(学修内容)喃語の時期より二語発語のころまでの言葉の特色を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第5回	言葉の発達(語彙の拡大と構文化の進展、会話行動の進展)	(学修内容)単文より複文への発達、言葉による行動調整機能等について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達(思考の手段、文字言語の発達)	(学修内容)内言としての言葉、文字言語の発達等について理解する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達(子供の言葉の収集について)	(学修内容)子供の言葉の収集の仕方について理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達(収集した言葉の分析)	(学修内容)収集した言葉を分析し、子供の言葉の育ちについて理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第9回	言葉に対する感覚を豊かにする実践(サイコロを 使って遊ぼう)	(学修内容)サイコロを使った言葉遊びの方途について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
		(学修内容)サイコロを使った言葉遊びを展開する。
第10回	サイコロを使って遊ぼう) - -	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第11回	児童文化財(絵本、物語等)の意義	(学修内容)児童文化財(絵本、物語等)について、基本的な知識を身に付ける。また、それを教育・保育にどのように取り入れるかを考える。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第12回	児童文化財(絵本、物語等)を保育に取り入れた 実践(作品選び)	(学修内容)教育・保育に取り入れる児童文化財を検討する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第13回	児童文化財(絵本、物語等)を保育に取り入れた 実践(ペープサートの作成)	(学修内容)物語の展開に当たってのペープサートを作成する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第14回	児童文化財(絵本、物語等)を保育に取り入れた 実践(ペープサートの実践)	(学修内容)作成したペープサートを基に、実践を行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		ペープサートの実践に当たっての準備を行う。
95 A E C	学習のまとめ(ポートフォリオの作成)	(学修内容)学修を振り返り、ポートフォリオを作成する。 (東前東後学修理題の内容)(20分)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   学修内容を整理しておく。 

授業名		開講	2回生	単位数	2単位	科目	CE2307
	Child Care Planning and Assessment	学 年 開 講	 		必修	コ - ド 選択	
		時 期 対 象			選択	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
担当者	<b>林 静香</b>                            幼児教育2回生						
授業の概要	1)保育所・幼稚園・認定こども園における保育課程・教育課程につ 2)各々の指針、要領に基づいて保育の計画を作成する上での留意点 作成できるよう主体的に取り組む内容とする 3)幼児教育現場で求められる保育の質の向上に必要なスキル (PDCA 基礎を学ぶ	を踏まえ、	子どもの発達過程				
学修成果到達目標	1)保育所・幼稚園・認定こども園における保育の目的と目標、計画 2)カリキュラムマネジメントについて学び、子どもたちの発達、 3)乳児、3歳未満児、3歳以上児の長期的・短期的指導計画につができる	成長に即し	た指導計画の立て	方を理解	する	=	
	知識・理解	泂	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	 PBL ディスカッション・ディベート	│ グループワ		<b>-</b> 71	ゼンテーシ	,=`,	
ラーニング 対象授業			ーラ 月(自主学習支援)			- 17	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記		実習		削作物 €技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	) (	発見・解			)
テキスト	松本峰雄監修 『よくわかる保育士エクササイズ 6 保育の計画と	評価演習フ	<b>゙</b> ック』ミネルヴァ	'書房 20	19年		
参考書	『保育所保育指針』(最新版) 『幼稚園教育要領』(最新版) 『認定こども園 保育教育要領』(最新版)						
	定期的に指導案や指導計画を作成します。 その都度、添削します。 また全体的に共通な助言が必要な場合、講義内で説明します。						
留意事項	課題については期日を厳守すること 毎回、講義終了時に振り返りを実施するので必ず毎回の学びを振り 主体的に受講すること	返ることか	できるよう				
オフィスアワー	木曜日 講義終了後 金曜日 講義終了後 に受け付けます						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:公立保育士として勤務						

## 授業 名保育の計画と評価

12 未 口	体育の計画と評価	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	保育の目標と計画の考え方	(学修内容)「保育所保育指針」・「幼稚園教育要領」・「認定こども園 保育教育要領」の概要を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第1章1コマ目を読んでおく。
第2回	保育におけるカリキュラムについて	(学修内容)保育におけるカリキュラムの考え方を理解し、全体的な計画と指導計画 について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第1章2コマ目を読んでおく。
第3回	保育の計画	(学修内容)保育所の指導計画と幼稚園の教育課程の共通性と違いを学び、全体的な計画と指導計画について理解を深める。さまざまな計画内容を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章4コマ目を読んでおく。
第4回	長期的な指導計画の作成(3歳以上児)	(学修内容)3,4,5歳児の長期的な指導計画について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章6コマ目を読んでおく。
第5回	短期的な指導計画の作成(3歳以上児)	(学修内容)3,4,5歳児の短期的な指導計画について学ぶ。 (週案、日案、部分指導計画などに) (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章8コマ目を読んでおく。
第6回	指導計画作成上の留意事項(3歳以上児)	(学修内容)3,4,5歳児の指導計画の作成の留意点をおさえながら 計画を作成する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章10コマ目を読んでおく。
第7回	指導作成上の留意事項(異年齢)	(学修内容)異年齢保育(縦割り保育)について理解を深め、指導計画の作成の留意 点を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章11コマ目を読んでおく。
第8回	子ども理解に基づくPDCAサイクルについて	(学修内容)保育の計画の際に必要なPDCAサイクルについて理解を深め、個別の支援 計画にどのように活用していくのかを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第1章3コマ目を読んでおく。
第9回	長期的な指導計画の作成(0.1.2歳児)	(学修内容)0,1,2歳児の長期的な指導計画について学ぶ 乳児保育に必要な指導計画(保健・食育など)について理解する (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章5コマ目を読んでおく。
第10回	短期的な指導計画の作成(0.1.2歳児)	(学修内容)0,1,2歳児の短期的な指導計画について学ぶ。 (個別の指導計画・週案・日案・部分指導計画など) (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章7コマ目を読んでおく。
第11回	指導作成上の留意事項(0.1.2歳児)	(学修内容)3歳未満児の指導計画の作成の留意点を学ぶ。 ・個人差の理解 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章9コマ目を読んでおく。
第12回	指導計画に基づく保育の柔軟な展開の必要性	(学修内容)指導計画作成時に保育を柔軟に展開できるために見通しをもつ必要性などを視聴覚教材から学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第2章12コマ目を読んでおく。
第13回	保育の記録と省察	(学修内容)保育におけるさまざまな記録について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第3章13コマ目を読んでおく。
第14回	保育所児童保育要録	(学修内容)小学校との円滑な引継ぎに必要な保育所児童保育要録について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第3章15コマ目を読んでおく。
第15回	保育の評価と改善	(学修内容)保育内容に加えて、保育所など施設全体における評価について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト第3章14コマ目を読んでおく。

授	業	名	教育相談(幼児理解を含む。)	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2315
英	文	名	Educational Counseling (Understanding Infanats)	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	武田 康晴	対象学生	幼児教育2回生	Ξ.			
授業	<u></u>	既要	保育現場における「相談」の必要性は高まっている。この授業では、の前提となる幼児の特性(幼児理解)、保育相談を進める際に必要な礎的知識も含む)を理解した上で、保育相談の具体的な進め方、ポイフいて理解を深める。現場実践においては、理論を知っているだけてワークシートの記入、考えの表明、ディスカッション等によって「自	保育現場 は基礎的知 イント、組 ごなく、実	□識(カウンセリン 且織的な取組みや地 ≧際に相談に応じる	/ グや相談 2域の専門 ことが求	支援に関う 機関との選 められる <i>1</i>	する基 連携に ため、	
学们到道			1)幼児の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や発達課題を通 2)保育現場における保育相談の意義と役割について理解できる。 3)幼児の不適応や葛藤の意味および幼児に見られるさまざまな問題 4)保育相談に関わる基礎的な理論・概念(カウンセリングや相談式 5)保育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや	夏行動の判 ☑援に関す	K候に気づき把握す 「る基礎知識を含む	- る方法を 3)を理解	理解してい している。		
			知識・理解	泂	L用的技能				
学位	授与	≣の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針。	との	関連							
アクラ	ティ	ブ・	PBL ディスカッション・ディベート ク	······ ブループワ		<b>→</b> 1.	ゼンテーシ	>,	
ラー: 対象!					ノーグ 月(自主学習支援)		ピンテー	ノヨノ	
評价	五方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		実習		制作物 実技	
評价	五基	準	主たる評価の	ジンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキ参			必要に応じてプリントまたはデータで配布する。 杉崎雅子『スギ先生と学ぶ 教育相談の基本』萌文書林,2018、その他	也にも必要					
課題I フィー の方?	- ドノ		質問事項や全体に関連する事項は授業中に口頭で説明するほか、レホ 却する。	<b>ペートにこ</b>	りいては必要に応じ	<b>ジ</b> てコメン	トを記入し	して返	
留意	意事	項	事例検討については、自分の考えをワークシートやノートに記入し、 、聴講だけでなく積極的に授業に参加すること。	プレゼン	/テーションとディ	スカッシ	ョンを行う	うので	
オファ	フィワ		研究室前に掲示し、授業時にも口頭で伝える。						
実践	的	教育							

## 授業名 教育相談(幼児理解を含む。)

+™ ** +1 ==		<b>学校</b> 中南 - 細胚
授業計画	- 1- 1111	学修内容・課題
	科目ガイダンス、保育相談の意義と役割、保育相	(学修内容)保育相談の意義や目的を理解する。相談に応じる際の基本的知識を習得
	談の目的	する。
第1回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		授業で扱った専門用語について自分の言葉で説明できるようになる。
	保育相談の基本的知識	(学修内容)保育所保育指針等を活用し、保育所保育の特徴、保育所における子育て
		支援、保育士の専門性について学ぶ。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		保育所保育指針を確認しておく。授業で扱った専門用語について自分の
		言葉で説明できるようになる。
	カウンセリングと相談支援の基本的知識	(学修内容)全国保育士会倫理綱領の内容を確認しながら、保育士の視点について学
	(1)カウンセリングと相談支援の基礎	ぶ。カウンセリングと相談支援の基礎について学ぶ。
第3回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		全国保育士会倫理綱領について事前学習しておく。授業で扱った専門用
		語について自分の言葉で説明できるようになる。
	カウンセリングと相談支援の基本的知識(事例の	(学修内容)保護者のまなざしを念頭に、子どもの成長を保護者と共有する視点、保
	検討と発表を含む)	護者との信頼関係の構築の方法について学ぶ。
第4回	(2)保護者との信頼関係の構築	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	カウンセリングと相談支援の基本的知識(事例の	(学修内容)カウンセリングと相談支援の基礎として、傾聴、共感的理解、受容につ
	検討と発表を含む)	いて理解する。
第5回	(3)傾聴・共感・受容	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	保育相談の目標の立て方、進め方(事例の検討と	(学修内容)基本的生活習慣の意義を学び適切な指導方法や保護者への助言の仕方を
₩.o.□	発表を含む)	学ぶ。
第6回	(1)基本的生活習慣に関すること	(事前事後学修課題の内容)(60分)   事事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語につい
		事争的に配布する争例に日を通じてのく。 授業で扱うに等 1 円 品に ブバー て自分の言葉で説明できるようになる。
	  保育相談の目標の立て方、進め方(事例の検討と	(学修内容)言葉の遅れの原因や発達支援を学び保護者への助言や適切な保育知識の
	休月伯談の日信の立て方、進め方(事例の検討と  発表を含む)	(学修内合)  言葉の遅れの原因や光達又抜を字の休護有べの助言や週切な休育知識の     提供を学ぶ。
第7回	飛れを含む	使民を子が。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
第7四	(2)音楽の遅れが兄られる場合 	(事前事後子に詠起の内谷)(60万)   事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	  保育相談の目標の立て方、進め方(事例の検討と	(学修内容)発達障害や配慮が必要とされる子どもの保護者への支援を学び、必要に
	休月行歌の日標の立て力、進め力(事例の検討と  発表を含む)	によっている。 応じて専門家とのコンサルテーションや連携の方法について習得する。
第8回	(3) 発達の偏りが見られる場合	(事前事後学修課題の内容)(60分)
NOG.		事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	保育相談の目標の立て方、進め方(事例の検討と	(学修内容)子どもの気になる行動の種類や背景を学び、保護者への解決への助言や
	発表を含む)	支援を学ぶ。必要に応じて専門機関との連携について学ぶ。
第9回	(4)問題行動(登園しぶり、過度の乱暴)が見	(事前事後学修課題の内容)(60分)
	られる場合	事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	保育相談の目標の立て方、進め方(事例の検討と	(学修内容)養育上の不安や自信喪失の保護者への対応、心身に不調のある保護者へ
	発表を含む)	の理解と支援を学び子育て支援に理解を深める。
第10回	(5)育児不安や育児ストレスの見られる保護者	(事前事後学修課題の内容) (60分)
	への支援	事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	保育相談の目標の立て方、進め方(事例の検討と	(学修内容)虐待や放任、不適切な養育の見られる保護者の状況を理解し、適切な子
	発表を含む)	どもとの関わりについて支援し、助言する方法を学ぶ。
第11回	(6)虐待や不適切な養育の見られる保護者への	(事前事後学修課題の内容) (60分)
	支援	事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	保育相談の評価、省察、PDCAサイクル(事例の検	(学修内容)保育相談におけるPDCAサイクルを理解し、計画的な保育相談が進められ
	討と発表を含む)	るように方法や技術を習得する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
	<b>保護和沙川以西か如姉姉も町は如うしまする生態</b>	自分の言葉で説明できるようになる。
	保護相談に必要な組織的な取り組みと園内の体制	(学修内容)保育相談を効果的に進めるための園内の体制の整備を図り、役割分担や
第12回	整備(事例の検討と発表を含む)	チームワークの在り方について学ぶ。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		争別に配布する事例に日を通びてのく。投業で扱うだ等门用語にプロでしまった。
	  地域の関係機関、専門機関との連携や協働(事例	(学修内容)地域の関係機関、専門機関の役割や機能を学び、必要に応じて連携・協
	の検討と発表を含む)	動が取れるように実践的に学ぶ。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
73.11		事前に配布する事例に目を通しておく。授業で扱った専門用語について
		自分の言葉で説明できるようになる。
	全体の振り返り	(学修内容)これまでの授業内容を順に振り返り、質疑応答を通じて不明な部分を解
		消する。
第15回		(事前事後学修課題の内容) (90分)
		これまでのプリントやノートを確認し質問事項を考えてくる。全体を総
		括してレポートをまとめる。
	1	-

授	業	名	乳児保育	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CE1303
英	文	名	Infant Care	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	日比野 桂子	対 象 学 生	幼児教育1回生	Ī.		•	
授	業の村	概要	保育所や認定こども園における乳児3歳未満児(0,1,2歳児)の保育実際の保育場面で活用・探究できる実践力を身につける。 1)乳児保育の概念と意義、乳児保育の基本や援助方法を理解する。 2)発達段階の特徴を踏まえ、いのちを守る保育者の立場から、乳児生活や遊び心の育ちの 援助・方法の実際を学ぶ。 3)保護者との連携により乳児を育てる保育者として、地域における	を理解す	る視点を身につけ		習得し		
-	修成達目	<b>龙 果</b> ] 標	1)乳児期(0,1,2歳児)の理論や基礎的な知識・技術を理解し実践2)乳児期の発育・発達について理解し、年齢に応じた援助、健康f3)保護者支援の重要性を理解し、その対応や配慮事項について簡多	管理、事故		€説明でき	<b>ర</b> ి		
			知識・理解		1用的技能				
学位		与の)関連	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	:創造的思	考力		
アクラー対象	ティニン	ブ・グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー:	ション	
評	価 方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 %)     口述     実習     実技	平常記 ( 40		策 レポ 実習		制作物 実技	
評	価基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	題発見・解	決能力		)
テ	キス	۲,	『講義で学ぶ乳児保育』小山朝子編著 亀崎美沙子 善本眞弓 わっ	かば社 2	019年度				
参	考	書	『演習で学ぶ乳児保育』善本眞弓編著 小山朝子 亀崎美沙子 わ70歳~6歳 心の育ちと対話する保育の本 加藤繁美著 (株)学研7「保育所保育指針」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園 教育授業中、適宜紹介する	教育出版	<b>戸領</b> 」フレーベル館				
	ードノ		受講生は、授業により、「振り返りの用紙」を提出する。 担当者が点検し、各自の「学びの履歴」を確認する。 担当者は、適宜、添削・助言等を行う。						
留	意 事	耳	日常生活の中で「乳児」を観察する積極的な意識を持っておくこと。 り、保育者としての資質や実践力を深めてほしい。なお、シラバスの 者の興味・関心・理解等により、柔軟に対応することがある。						
	フィ 'ワ	^	担当授業終了後に実施する。						
実践	<b>影的</b> :	教育	実践的教育 教員の実務経験など:西七条保育園 保育士として勤務 南山城学園 小規模保育園3園 園長として動	勣務					

# 授業名 乳児保育

1X <del>X</del> 1	孔元休月		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	乳児および乳児保育の目的と役割	(学修内容)乳児の	概念について理解することができる。
第1回		(事前事後学修課題 予習と	の内容)(30分) して、シラバスを読んで、内容、評価方法を確認しておく。
第2回	乳児保育の基本、保育制度改革の動向	「保育」 (事前事後学修課題 テキス	の法的制度および乳児保育の歴史、基本について理解する。 所指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 の内容)(30分) トP14~P27に目を通し、養護と教育の一体について要点をまとめ 。 学びの振り返り用紙に記入する
第3回	0,1,2歳児の発達	(学修内容)保育者 なかか (事前事後学修課題 乳児期	として発達段階、発達過程を理解して、受容的・応答的・共感的 わりの重要性を自覚できる。(0歳児~2歳児)(3歳児)
第4回	赤ちゃん運動発達のDVD視聴	(学修内容)乳児の る。DVI (事前事後学修課題	発達についての道すじを理解し見通しを持った保育援助を理解す D視聴しながら乳児の実際について理解する。
第5回	乳児(0歳児)の保育内容	保育所 (事前事後学修課題 0歳児の	0歳児)の発達の特徴や道筋について学ぶ。 保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 の内容)(30分) 33つの視点とねらいについて読み込んでおく。 り用紙に記入する。
第6回	1歳以上3歳未満児の保育内容	(学修内容)1歳以上 保育所 (事前事後学修課題 5領域と	-3歳未満児の発達の特徴や道筋について学ぶ 保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領
第7回	前半の振り返り小テスト 五感を育む遊びやおもちゃ 乳児の年齢に合った絵本の読み聞かせワーク	(学修内容)振り返 を見つ (事前事後学修課題 前半の	リ小テスト 絵本のねらいを明確にし読み聞かせのポイント けることができる。 の内容)(60分) 授業で学んだことを、振り返り用紙をもとにまとめておく。
第8回	乳児の心の発達(自我の誕生と拡大)	(学修内容)「探索 自我の (事前事後学修課題 第2の自	ふさわしい絵本を選びグループ内でプレゼンテーションする。 ・探究要求」「同調・共感要求・」「三項関係の成立」心の育ち 拡大と第2の自我の誕生の筋道を理解できる の内容)(60分)
第9回	乳児の生活の基本	(学修内容)乳児の (事前事後学修課題 乳児期	生活の基本(食事・睡眠と休息・排泄・着脱・清潔について学ぶ
第10回	乳児の遊び (0歳~2歳)	理解で (事前事後学修課題 乳児の	•
第11回	五感をはぐくむ遊びやおもちゃ おもちゃ作りワーク	(学修内容)乳児に ゃを考 (事前事後学修課題	とっての生活や遊びについて理解する。安全・安心・快適おもち 案する。
第12回	乳児保育の環境構成	の大切 (事前事後学修課題	現児の保育に必要な環境構成を学ぶ。乳児が安心して過ごせる場 さを理解する。 の内容)(60分) フラス〜2歳児クラスの環境構成の特徴についてまとめておく。
第13回	乳児保育における全体的な計画 指導計画の書き方を学ぶワーク	(事前事後学修課題	画を作成する際の基本的なポイントをふまえて未完成の指導計画
第14回	乳児の健康管理と安全への配慮	(学修内容)保育室 ついて (事前事後学修課題 事前に	の安全管理、健康管理(SIDSの理解)などリスクマネジメントに 理解する。
第15回	乳児保育における子育て支援 一人一人を健やかに育んでいくために	(学修内容)乳児保 保育者 (事前事後学修課題 テキス	育での子育て支援について学ぶ。(DVD視聴) としての専門性、資質向上に向けて理解する。

授	業	名	乳児保育	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CE2309
英	文	名	Infant Care	開講時期	春学期		必修選択	選択	,
担	当	者	安藤 正彦	対 象 学 生	幼児教育2回生	Ī.,			
授業	<b>€</b> の†	既要	保育所における乳児(0~2歳児)の保育に関する基礎的な理念や名、探究(応用)できる力を身につける。 1)保育所で乳児(0~2歳児)が気持ちよく生活するとはどうしせながらイメージし、保育園、保育士のあり方を学ぶ。 2)保育所での乳児のあそびの重要性を理解し、受講生同士で主任びなど)づくりにつなげていく。(プレゼンテーション)	ハうことか	、理論と実際(写	写真や動画	)を照らし	し合わ	
学们到近			1)乳児期(0~2歳児)の理論、知識、技術を理解し実践できる。 2)各年令(0~2歳児)の保育での生活とあそびについて理解しる。 3)実際の保育場面で活かせる、乳児との関わりに適応したあそびを	ている。	ò				
			知識・理解		用的技能				
学位方針。			態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
刀亚	رں ے	闭廷							
アク: ラー: 対象:	ニン	グ		」 ブループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評値			定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 % ) 口述 実習 実技	平常記 ( 40		・ レポ 実習		制作物 実技	
評値	五基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤ 観点 授業態度・参加意欲 (	ヹンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ [:]			乳児保育研究会編『改訂5版 資料でわかる乳児保育の保育新時代』 授業中に紹介する。	1					
課題   フィー の方	- ドノ		受講生は「ふり返り用紙」を提出する。担当者が点検し、各自の「含る。	学びの履歴	ቜ」を確認する。担	当者は適	宜、助言€	等をす	
留意	急事	項	シラバスの順番については、受講者への十分な説明の上、受講者の別	<b>興味関心</b> 、	理解等により柔軟	マに対応す	ることがる	ある。	
オ : ア	フィ ワ	^	担当授業終了後に実施する。						
実践	的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:西七条保育園 保育士として勤務						

# 授業名 乳児保育

# 10回 (	技 未 口	<b>孔兀休月</b>	
# 1回 (	授業計画		
第2回 第2回 (学権内容) 別児の報应の経過と式切にしたけことを理解する。 (学権内容) 別児の報应の特徴と式切にしたけことを理解する。 (学権内容) 別児の報应の特徴と式切にしたけことを理解する。 (学権内容) 別児の報应の特徴と式切にしたけことを理解する。 (学権内容) 別児の第四の内容と方法(生活) (学権内容) 別児の第四の内容と方法(生活) (学権内容) 別児の第四の内容と方法(生活) (学権内容) 保育圏での生活環境を理解する。 (事制事後学修課数の内容) (30分) 第2章 1,2を献んでくる。 (要制事後学修課数の内容) (30分) 第2章 1,2を献んでくる。 (学権内容) 学化の数の分配 (学権内容) 学生のの分配 (学権内容) 実践のの分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の分の		乳児保育の基本	(学修内容)子どもと保育士の関係とあり方を理解する。子どもの主体性を理解する
第3回	第1回		
第 1 章を結んでさる。(資料4 . 5 . 6 . 7 は必ず目を通し		乳児保育の基本	(学修内容)乳児の発達の特徴と大切にしたいことを理解する。
第3回	第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 第1章を読んでくる。(資料4,5,6,7は必ず目を通しておく)
第4回	第3回	乳児保育の内容と方法(生活)	,
第 2 章 3 を読んでくる。		  乳児保育の内容と方法(生活)	(学修内容)保育園での生活環境を理解する。
第5回	第4回		
第5回   乳児のかかりやすい病気、ケガなどを事前に調べてみる。		  乳児保育における配慮の実際	(学修内容)子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮を理解する。
第前事後学修課題の内容) (30分)   乳児保育の内容と方法(あそび) (学修内容)乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(大人とあそぶ) (事前事後学修課題の内容) (30分) 第3章1の を読んでおく。対大人とあそぶあそびをいくつった。 (3児保育の内容と方法(あそび) (学修内容)乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(物とあそぶ) (事前事後学修課題の内容) (30分) 第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか (30分) 第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか (30分) 第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか (30分) 第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか (30分) 第3章1の を読んでおく。友だち同士でするごっこあそび (30分) 第3章1の を読んでおく。友だち同士でするごっこあそび (30分) 第3章10 を読んでおく。友だち同士でするごっこあそび (30分) 第3章10 を読んでおく。(資料 4 は必ず目を適しておく) (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等 3。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章2 を読んでおく。(資料 5 は必ず目を通しておく) (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等 5。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ぶれあいあそびの実際 (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ぶれあいるそびの実際 (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそいループで考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 (学修内容)音グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) アともにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙(	第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第6回   乳児保育の内容と方法(あそび)		乳児保育における配慮の実際	(学修内容)集団での生活において、環境の変化や移行に対する配慮等を理解する。
第7回	第6回		
第3章1の を読んでおく。対大人とあそぶあそびをいくつく 、		乳児保育の内容と方法(あそび)	(学修内容)乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(大人とあそぶ)
第8回   第8回   (学修内容)乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(物とあそぶ) (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか調/第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか調/第3章1の を読んでおく。友だちとあそぶ) (学修内容)乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(友だちとあそぶ) (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章1の を読んでおく。友だち同士でするごっこあそびる (学修内容)あそびとその環境を理解する。 (学修内容)あそびとその環境を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく) 第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく) (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等る。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 流れあいあそびの実際 (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 (学修内容)を課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 (学修内容)各グループで考える。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙1	第7回		第3章1の を読んでおく。対大人とあそぶあそびをいくつか調べてお
第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか調/  乳児保育の内容と方法(あそび) (学修内容)乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(友だちとあそぶ) (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章1の を読んでおく。友だち同士でするごっこあそびる。 (学修内容)あそびとその環境を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく) 乳児保育の内容と方法(あそび) (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等る。(事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく) 乳児のあそびの実際 (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ふれあいあそびの大切さを調べておく。 (乳児のあそびの実際 (学修内容)等と関節の内容)(30分) ふれあいるそびの大切さを調べておく。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙1		乳児保育の内容と方法(あそび)	
(事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章1の を読んでおく。友だち同士でするごっこあそびるく。 (学修内容)あそびとその環境を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく) 乳児保育の内容と方法(あそび) 第11回 第11回 第12回 第12回 第12回 第12回 第13回 第13回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく) (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ぶれあいあそびの大切さを調べておく。 (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 ブレゼンテーション(グループ) (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) アどもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙目	第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章1の を読んでおく。物を使ったあそびをいくつか調べておく。
第3章1の を読んでおく。友だち同士でするごっこあそびなく。  乳児保育の内容と方法(あそび) (学修内容)あそびとその環境を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく)  乳児保育の内容と方法(あそび) (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等る。(事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく)  乳児のあそびの実際 (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ふれあいあそびの大切さを調べておく。  乳児のあそびの実際 (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。(事前事後学修課題の内容)(60分)前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。  ブレゼンテーション(グループ) (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙「		乳児保育の内容と方法(あそび)	(学修内容) 乳児のあそびのあり方と実践を学ぶ。(友だちとあそぶ)
第10回       (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく)         乳児保育の内容と方法(あそび)       (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等る。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく)         乳児のあそびの実際       (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ふれあいあそびの大切さを調べておく。         乳児のあそびの実際       (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。         ブレゼンテーション(グループ)       (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙	第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章1のを読んでおく。友だち同士でするごっこあそびを調べてお
第3章2を読んでおく。(資料4は必ず目を通しておく)  乳児保育の内容と方法(あそび)  (学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等る。 (事前事後学修課題の内容)(30分)第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく 第12回  (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)ふれあいあそびの大切さを調べておく。 (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。(事前事後学修課題の内容)(60分)前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。  ブレゼンテーション(グループ)  (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分)子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙(		乳児保育の内容と方法(あそび)	(学修内容)あそびとその環境を理解する。
る。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく 乳児のあそびの実際 (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ふれあいあそびの大切さを調べておく。 (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙し、。	第10回		
#11回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく) 第3章3,4を読んでおく。(資料5は必ず目を通しておく) 第12回 (学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) ふれあいあそびの大切さを調べておく。 (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙1。		乳児保育の内容と方法(あそび)	(学修内容)あそびにおける保育士の役割とあそび文化(絵本・紙芝居等)を理解す
# 第12回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第11回		
ぶれあいあそびの大切さを調べておく。  乳児のあそびの実際  (学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそびループで考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。  ブレゼンテーション(グループ)  (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙し。		乳児のあそびの実際	(学修内容)実践的なあそびを学び、乳児の気持ちを理解する。
#13回	第12回		
#13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のあそびを復習し、自分であそびを考えてみる。 グレゼンテーション(グループ) (学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙I		乳児のあそびの実際	(学修内容)年令の発達を踏まえた上で、あそび(ふれあい、歌、手あそび等)をグ
第14回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙I	第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙I		プレゼンテーション ( グループ )	(学修内容)各グループで考えたあそびを発表し、意見を交換し合う。
ッ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもにも(理解)大人にも(説明)伝わるように所定用紙に記入する。
れん休月に切ける計画の大体		乳児保育における計画の実際	。 (学修内容)乳児保育における指導計画、記録と評価について理解する。
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 第4章を読んでくる。(資料1は必ず目を通しておく)	第15回		I for the second of the form of the second o

授 業 名	社会的養護	開講学年	2回生	単 位 数	2単位	科目 コード	CE2310
英 文 名	Social Corporate Parenting	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	箱田 成司	対象学生	幼児教育2回生	<u> </u>			
授業の概要	社会的養護 では、児童の環境についてを中心に勉強を行い、別割が何かしらの障がいがあると言われている時代に突入している会的養護の理解を深めていきたい。また、授業は、毎回レポート	 児童虐待の親 <i>の</i> る。そういった	と、障がいについて				
学修成果到達目標	児童を取り巻く、環境の理解や、障がいのある子どもの理解から解し、社会的養護が必要な児童の理解を深めることを目標とする		∑援助ホームなど社	会的養護	の今の現れ	犬を理	
	知識・理解	沂	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	統	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	PBL ディスカッション・ディベート	グループワ	フーク	プレ	ゼンテーシ	ノョン	
対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	ICT活用	月(自主学習支援)				
	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (80%)       口述       実習       実技	I C T 活用 平常記 ( 20	式験 筆記試験			削作物	
対象授業	定期試験 ( 80 % )     筆記試験 口述 実習 実技     レポート 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (	平常記	式験   筆記試験 %)  口述	マップ マップ マップ マップ マップ マップ アイ・	3		)
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 80 %)     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力	平常記 ( 20	武験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題	マップ マップ マップ マップ マップ マップ アイ・	3		)
評価方法	定期試験 ( 80 % )     筆記試験 口述 実習 実技     レポート 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (	平常記 ( 20	武験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題	マップ マップ マップ マップ マップ マップ アイ・	3		)
対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト	定期試験 (80%)     筆記試験 口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (       社会的養護演習       適宜紹介する。       講義の時にその都度、対応する。	平常記 ( 20	武験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題	マップ マップ マップ マップ マップ マップ アイ・	3		)
対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト 参 書 にによっていっつ	定期試験 (80%)     筆記試験 口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (       社会的養護演習       適宜紹介する。       講義の時にその都度、対応する。	平常記 ( 20	武験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題	マップ マップ マップ マップ マップ マップ アイ・	3		)
対象授業 評価 方 法 評価 基 準 テ キ 考 ま マックのの方法	定期試験 (80%)     筆記試験 口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (       社会的養護演習       適宜紹介する。       講義の時にその都度、対応する。	平常記 ( 20	武験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題	マップ マップ マップ マップ マップ マップ アイ・	3		)

## 授業名 社会的養護

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション 社会的養護の課題	(学修内容)社会的養護の課題と施設実習を振り返る。
第1回	TI ZIIJ R GR V BAKZ	(事前事後学修課題の内容)(30分) 施設実習を振り返っておく
	社会的養護を必要とする子どもの理解	(学修内容)社会的養護が必要な子どもが存在する理由について考える
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 施設実習を振り返ったり、また、児童養護施設や乳児院に行っていない 方は、入った人に聞く。
第3回	児童養護施設の入所理由について 1	(学修内容)虐待が起こる原因を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) 虐待について学んでおく
	社会的養護の入所理由について2	(学修内容)親の精神疾患について理解する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 精神疾患について学んでおく。
	家庭支援のソーシャルワーク	(学修内容)親子関係のプログラムについて学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の第12章を読んでおく。
	障がいがある児童の社会的養護	(学修内容)障がい児福祉サービスについて
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 障がい児の福祉サービスについて学んでおく
	障がいがある児童の特徴と対応について1	(学修内容)知的障がいについて理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 知的障がいについて調べておく
	障がいがある児童の特徴と対応について2	(学修内容)発達障がいについて理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 発達障がいについて調べおく。
	障がいがある児童の特徴と対応について3	(学修内容)身体障がいについて理解する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 身体障がいについて理解する。
	障がい児の個別支援計画について	(学修内容)個別支援計画の作成について理解する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書 5 章を読んでおく。
	児童の生活に支援について	(学修内容)入所児童のライフサイクルについて考える
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の生活について考えておく。
	児童の自立支援について	(学修内容)自立に向けた支援について理解する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 高校生の時のライフサイクルを考える。
	児童養護施設以外の社会的養護について	(学修内容)里親や自立援助ホームについて理解する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 里親制度について理解しておく。
	児童相談所について	(学修内容)児童相談所の業務の理解をする。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 児童相談所について学んでおく
	これからの社会と児童について	(学修内容)子どもに関わる社会問題について理解をする。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 関心を持っているニュースを見る。

哲 举 夕	<b>保</b> 育内容,丰珥(类形)	開講	2回生	単位数	1単位	科目	CE2313
	保育内容・表現(造形)	学 年 開 講		平 位 奴	必修	コード	GEZSTS
英文名	Child Care: Formative Art	時期	春学期		選択	選択	
担 当 者	山部泰司	対象学生	幼児教育2回生 	Ē			
授業の概要	感性と創造力を育てる領域「表現」の理解を深めるために、毎回、 大切さを学ぶ。その表現体験のレポートによって記録し考察する力 を養う。 また、保育現場での環境づくりについて表現の領域からの可能性に 学習項目は、学生の個性や進度、提案などによって変更することが	を養う。ま ついて考 <i>え</i>	た、子どもの前て				
学修成果到達目標	1)子どもの表現を理解し、表現の意欲を育てる指導法について理」、から学ぶことの楽しさを感じ、その豊かさを実感できる。3)お					「表現	
	知識・理解	沂	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	丝	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・							
ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディペート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	「幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形材料」樋口一成編 萌	文書林(1	回生春学期購入 <i>0</i>	)ものを使	います)		
参考書	参考プリントを配布						
課題に対する フィードバック の方法	課題の発表、プレゼンテーションについて改善点など指導し、学生	司士で評値	<b>□</b> し合う機会を持つ	)。			
留意事項	普段からさまざまな表現活動に対する関心を持つこと。造形表現に態度や気持ちを忘れないこと。	ふさわしい	1服装に留意するこ	と。他者	に対する	憂しい	
オフィスアワー	学生の時間割により判断し,研究室前に掲示する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など: 実践的教育教員の実務経験などについて、 指導や表現ワークショップの指導経験をもと				、美術館	等での	

## 授業名 保育内容・表現(造形)

	体育73日 农场(足形)	N/ /5 / AFF 97
授業計画		学修内容・課題
	導入	(学修内容)(学修内容)「表現」領域について概要を知る
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト208から211頁を読んで考えをまとめておく
第2回	教室全体を使って落書きする	(学修内容)身体スケールを超えた空間を感じ表現する活動を行う 自らの活動についてレポートをまとめる (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト212から213頁を読んで考えをまとめておく
第3回	手のフォルムからの見立てによる表現	(学修内容)手に描く活動からイメージを豊かにする 自らの活動についてレポートをまとめる (事前事後学修課題の内容)(30分) 手の動きや形を観察してアイデア、考えをまとめておく
第4回	大きなこいのぼりをつくる	(学修内容)身近な素材(新聞紙等)による集団での造形、季節の行事に関心を持つ クラスで制作するこいのぼりをつかって遊ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト178から179頁を読んで考えをまとめておく
第5回	クモの巣をつくる	(学修内容)身近な素材(ロープ、紐等)による空間造形 生活の空間を表現の場に活用する工夫 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト119から120頁を読んで考えをまとめておく
第6回	ケント紙で高さ比べ	(学修内容)チームでアイデアを出し合い紙を使った背の高いものをつくる (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト144から145頁を読んで考えをまとめておく
第7回	個性的な帽子をつくる	(学修内容)身近な素材で帽子などを制作し変身して遊ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト136から137頁を読んで考えをまとめておく
第8回	リレー童話をつくる	いろいろな帽子の形を調べてメモしておく (学修内容)グループで創作童話を作る遊び (事前事後学修課題の内容)(30分) 創作童話について調べてまとめておく
第9回	リレー童話の音読	(学修内容)チームでつくった創作童話をチームで発表する (事前事後学修課題の内容)(30分) 童話の読み方について考えをまとめておく
第10回	新聞紙で造形する	(学修内容)クラスを二つのチームに分けて新聞紙で大きなものを作る (事前事後学修課題の内容)(30分) 新聞紙を使った造形について調べ考えをまとめておく
第11回	折りたたみシアターをつくる	(学修内容)一枚の紙でつくるかんたんシアターの制作 (事前事後学修課題の内容)(30分) 素話について調べ、アイデアをまとめておく
第12回	折りたたみシアターの発表	(学修内容)折りたたみシアターを発表する 保育者が子どもたちに読み聞かせる工夫について (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもに伝える方法について考えをまとめておく
第13回	遊ぶ子どもの絵1	(学修内容)子どもの活動や遊びを描く (事前事後学修課題の内容)(30分) 保育実習、教育実習での子どものあそびについてふりかえってまとめて おく
第14回	遊ぶ子どもの絵2	(学修内容)子どもが遊ぶ環境や季節感を考えて絵を完成させる。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 園の環境や季節について調べてまとめておく
第15回	まとめ	(学修内容)表現活動の意味について振り返りまとめる (事前事後学修課題の内容)(30分) いままでの活動をふりかえり、教科書の該当ページを読んでおく

垃 娄 夕	保育内容・表現(リズム・ダンス)	開講	2回生	単位数	1 畄 位	科目	CE2317			
		学 年 開 講		平 位 奴	必修	コード	GEZSTI			
英文名 —————	Child Care: Rhythm and Dance	時期	秋学期		選択	選択				
担 当 者	<b>眞崎 雅子・山本 満佐子</b> 対象 対別									
授業の概要	本授業は、子どもの心と体の発育発達を支えるために、保育者に必、次の2つの表現領域をオムニパス形式で学習する。 保育現場で、奏法を習得する。 子どもの年齢に応じたリズム表現あそびや運動。以上の2つの表現領域について、創造的に表現することの楽しさ。	行われる器 あそびを中	器楽合奏において幼 □心とした身体的活	り児に使用 活動の指導	される打選 法を身に1	楽器の Oける				
	1)子どもの発育・発達に応じた身体表現あそび・音楽表現活動の	指導・援助	かおよび活動の展開	ができる	•					
	2)保育の現場(家庭や地域を含む)で子どもの心身の成長を促す。	ために、自	分にできることを	明確にす	ることがで	できる				
	3)基本的な知識を習得することにより、保育現場で起こり得る様	々な問題に	こ対し柔軟な対応力	を身に付	ける。					
学修成果到達目標										
27 22 13 13										
学位博士の	知識・理解態度・志向性		l用的技能 ニーニー 総合的な学習経験と	· 創造的里	 孝力					
学位授与の方針との関連	恋技・心円は	#Wit	5日的な子白紅秋と	. 剧足的芯	5/1					
アクティブ・ ラーニング		グループワ	-		ゼンテーシ	/ョン				
対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	」CT活用	](自主学習支援)							
評価方法	定期試験筆記試験レポート制作物( 50 % )口述実習実技	平常記(50		き レポ 実習		削作物 €技				
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力		)			
	『乳幼児の音楽表現』小西行郎・志村洋子・今川恭子・坂井康子(	編) 中央	き法規出版							
テキスト										
参考書	『幼児の音楽教育』森田百合子 他 教育芸術社 『子ども・からだ・表現:豊かな保育内容のための理論と演習』西 『豊かな感性を育む身体表現遊び』青木理子・井上勝子 ぎょうせ		†出版							
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポート・課題に対し、その都度コメント・次へのアド 実技に対し、その都合コメント・次へのアドバイスをする。	バイスをす	⁻る。							
留意事項	1)保育者を目指す学生として何事にも楽しく積極的に取り組む態 2)課題に対し配布ブリントの項目に沿って課題達成に向けて内容 特に合奏や小編成のアンサンブルなどの練習を要する時は、担 3)適宜、運動服やシューズを着用し、衛生面・安全性に考慮する	を確認して 当のパート	まくこと。	۲٤.						
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する									
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:【山本満佐子】音楽教育、音楽療法、マーチ 沂高等学校、宇治市立宇治小学校、宇治市立 小学校、幼児教室こどもの城、京都やましな: ス指導に携わる。コミュニティーセンター、:	槇島小学校 学園で活動	交、宇治市立南部小 加。【眞﨑雅子】幼	\学校、宇 b児から大	治市立莵道 人を対象に	道第二 こダン				

## 授業 名 保育内容・表現(リズム・ダンス)

		- 1
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス: 授業内容説明・幼児教育の基本と領域「表現」の ねらい及び内容について	(学修内容)授業の進め方・評価の方法などの説明 幼児教育の基本と領域「表現」のねらい及び内容 (事前事後学修課題の内容)(20分) テキスト・保育の5領域の1つ「表現」の内容を読み理解しておく
		/ 学校中央》但在理想不住是整了法理会是不打象职力主法和第二
第2回	保育現場における器楽合奏についての教材研究	(学修内容)保育現場で使われる幼児向けの打楽器の奏法を知ろう (事前事後学修課題の内容)(30分) 打楽器の正しい持ち方・演奏の仕方・名称を覚える
	器楽合奏(1)保育現場で使われる楽器について	(学修内容)手の小さな幼児が演奏する場合の打楽器の奏法の確認
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 打楽器の名称を正確に覚え、正しい奏法を習得する
第4回	小編成アンサンブル(1)奏法、リズムなど体得 のための手順	(学修内容)曲とグループを決めて自分の担当する楽器を決める 決めた曲で使用する打楽器の奏法の確認 (事前事後学修課題の内容)(30分) 担当する楽器の奏法を習得する
	小編成アンサンブル(2)曲の構成・アーティキ ュレーション	(学修内容)楽譜を正確に読もう
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 音やリズムの間違いがないか確認する
	小編成アンサンブル(3)グループでの取り組み	(学修内容)他の楽器の音を聞いてリズムに合わせよう
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分のパートを練習する
第7回	小編成アンサンブル(4)グループでの取り組み	(学修内容)音楽の構成を考えてp・f・dim.・cresc.などの表現を考えて、曲のはじめや終わり方を発表に向けて練習しよう(事前事後学修課題の内容)(30分) 正確に演奏できるように練習する
	小編成アンサンブル(5)各グループの発表会	(学修内容)保育現場での発表会形式で発表し評価
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 発表のための練習と発表後の評価
	リズムダンスと身体表現	(学修内容) リズムに合わせて動く楽しさを体感しよう
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 多様なリズムパタンを刻めるように練習しておく
	歌と動きのリズム表現	(学修内容)手遊びやわらべ唄に合わせてリズミカルな動きを習得した上で、アレン ジしてみよう
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 手遊びを覚えて発表できるようにしておく
	言葉と動きのリズム表現	(学修内容)オノマトベから動きへと多様な表現を通して、友達に共感し、表現の広 がりを共有しよう
第11回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 多種多様なオノマトペを挙げ、オノマトペによって引き出される動きに ついて確認し、運動・表現として発展させる方法について考えておく
	ペア・グループの即興表現	(学修内容)ペアやグループの即興表現で体験する同調や共振を確認し、身体を通し て交流を深めよう
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 保育現場では、身体の動きを通した同調や共振がどのような場面で見受けられるか書き出しておく
	リズムダンス創作(1)グループでの取り組み	(学修内容)作品のテーマを決めて創作活動を開始しよう
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 踊りたいテーマや使用曲について考えておく
	リズムダンス創作(2)グループでの取り組み	(学修内容)作品の振付と構成を決めて大きく動けるように練習しよう
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テーマに沿った振付やフォーメーションを考える
	リズムダンス創作(3)各グループの発表会	(学修内容)ダンスを踊り、鑑賞し、自他ともに評価をしてみよう
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自己の課題を見つけ自主練習をしておく
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•

授業名	ピアノ実技	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	CE2423				
英 文 名	Piano	開講明期	春学期		必修選択	選択					
担当者	坂口 みゆき・阿久津 啓	対 象	幼児教育2回生		ZE 3/1						
	幼稚園・保育所の就職試験及び卒業後の現場で役立つピアノの演奏だ	刀を身に -	/I) ခ _ဲ								
授業の概要											
	1 ) 『ブルグミュラー25の練習曲』・『ソナチネアルバム1』等の中 なる	の指定す	る曲を1曲でも多く	弾くこと	ができる。	<b>ように</b>					
	なる。 2)楽譜を正確に読むことができる。 3)楽譜通りに強弱をつけて弾くことができる。										
学修成果											
到達目標											
	知識・理解	1 15	.用的技能								
学位授与の	態度・志向性	-	総合的な学習経験と創造的思考力								
方針との関連											
アクティブ・ ラーニング	PBL ディスカッション・ディベート ′	└──┴ グループワ	<b>リー</b> ク	プレ	ゼンテーシ	ション					
対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	I C T活用	月(自主学習支援) ————————————————————————————————————								
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 50 %)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		東習		削作物 €技					
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (演奏技術	ゼンテーシ		発見・解 現力	決能力		)				
	『ブルグミュラー25の練習曲』・『ソナチネアルバム1』等,受講生	個々の進	度に合わせて随時	指定する。							
テキスト											
	使用しない										
参 考 書											
課題に対する	毎回,練習してきた曲ついて,個別指導を行う。										
課題に対する フィードバック の方法											
	1)履修条件: 学外でレッスンを受けていない 幼稚園・保育 了している	所に就職者	発望している 音	孫 (ピ	アノと歌)	) を修					
留意事項	2 )音楽療法士(2種)資格の取得を希望する学生は資格必修のため 3)本科目では「子どものうた」の弾き歌いのレッスンは基本的に		の条件に関わ	らず必ず履	<b>夏修する。</b>						
オフィスアワー	坂口(週1回 曜日と時間は研究室前に掲示)阿久津(担当授業終了*阿久津のレッスンを受ける学生は,坂口のオフィスアワーも利用		-								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:英国における児童及び家庭支援を行う公的施設 担当	設等で音楽	<b>経療法士、ピアノ</b> 諸	請師等の経	歴を持つ教	<b>牧員が</b>					

## 授業名ピアノ実技

72 × 1	<b>レ</b> アノ大3X	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)レッスンの進め方と注意事項等の説明・レッスン曲の決定
₩4.E		(東並東後党権課題の中央)(20八)
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   基本的な音楽理論について復習をしておく(口頭で理解度を確認する)
		金本的な自未注論に ラいて接首をしてのく (自頭で注解及を唯能する)
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	等)	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	けるようにしておく (学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	(等)	(子形的台)台目指定されたレッスノ曲の側が指導
第3回		  (事前事後学修課題の内容)(140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
第4回	等)	  (事前事後学修課題の内容)(140分)
<b>寿</b> 4四		(事前事後子修跡題の内谷)(140カ)   各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	等)	
第5回		(事前事後学修課題の内容) (140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	けるようにしておく (学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	(等)	(子序73台) 自自36定で16にレッスノ曲の間別36等
第6回		(事前事後学修課題の内容)(140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
第7回	等)	  (事前事後学修課題の内容)(140分)
あ7日		大学的事後子   「本語の内容 / (1407)     各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	等)	
第8回		(事前事後学修課題の内容) (140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	等)	
第9回		(事前事後学修課題の内容)(140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
	  ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	けるようにしておく (学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	(等)	(子杉内谷)台口指定されたレッスノ曲の旧別指導
第10回	97	  (事前事後学修課題の内容)(140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
第11回	等)	(東前東後学修理頭の内容)(440公)
第11回		(事前事後学修課題の内容)(140分)   各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	等)	
第12回		(事前事後学修課題の内容) (140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
	等)	C. T. C.
第13回		(事前事後学修課題の内容) (140分)
		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾
	プラフ (四十十 ) コンノブリガン - ニー・ソナイカ	けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ  等)	(学修内容)各自指定されたレッスン曲の個別指導
第14回	ਤ <i>/</i>	  (事前事後学修課題の内容)(140分)
,,,		各自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
		けるようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)各自指定された試験曲の個別指導
	等)	/ 東台東係 光修神順の中央 > / 449 / >
第15回		(事前事後学修課題の内容)(140分)   各自教員より指定された試験曲を練習し(1日20分~30分以上), 完成さ
		台自教員より指定された試験曲を練音し(1日20万~30万以上),元成させておく

授業名	ピアノ実技	開講	2回生	単位数	1単位	科目	CE2424			
英文名		学年開講	秋学期		必修	選択				
	一									
担当者	坂口 みゆき・高科 絵美代	学 生	幼児教育2回生		to 18 Date					
	幼稚園・保育所の就職試験に対応できるピアノ技術を身につける。 する園に応じた曲も練習する。	ピアノ曲だ	ごけでなく,初見や	弾き歌い	など,随に	<b>诗</b> 受験				
授業の概要										
	│ │『ブルグミュラー25の練習曲』・『ソナチネアルバム1』・『ソナタ	アルバム	1』など,個々の進	度に応じ	た曲を1曲	でも				
	多く弾くことができるようになる。 2)音符だけでなく記号等も含め、楽譜を正確に読むことができる	<b>5</b>								
	3)感情を込めた演奏をすることができる。 									
学修成果到達目標										
	知識・理解	1 1	.用的技能							
学位授与の	態度・志向性		(7)(10) 及能 (3)合的な学習経験と	創造的思	考力					
方針との関連										
アクティブ・	│	└──┴ グループワ	リーク	プレ	ゼンテー	ション				
ラーニング 対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	ICT活用	月(自主学習支援)							
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50	武験 筆記試験 %) 口述	実習		制作物 実技				
		` ゼンテーミ	/ョン能力 課題	発見・解						
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (演奏技術		) (表	現力			)			
	『ブルグミュラー25の練習曲』・『ソナチネアルバム1』・『ソナタ 指定する。	アルバム	1』等,受講生個々	の進度に	合わせて	,随時				
テキスト										
	使用しない									
参考書										
	毎回 体羽してもも世について畑町北道を仁こ									
課題に対する フィードバック	毎回,練習してきた曲について個別指導を行う。 									
の方法										
	音楽療法士(2種)資格の取得を目指す学生は必ず履修すること									
留意事項										
オフィス	坂口(週1回 曜日と時間は研究室前に掲示)高科(担当授業終了後	と 実施	坂口のオフィスア	ワーも利用	引してよい	١)				
アワー										
	実践的教育 教員の実務経験など:英国における児童及び家庭支援を行う公的施	設等で音楽	<b>炎療法士、オルガニ</b>	スト等の	経歴を持つ	つ教員				
実践的教育	が担当									

## 授業名ピアノ実技

12 * *	<b>しアノ夫奴</b>		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	オリエンテーション		ッスンの進め方と注意事項等の説明・レッスン進度の確認・レッスン の決定
第1回			課題の内容)(140分) 自最後にレッスンを受けた曲を弾けるように練習しておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	人	員より指定された曲 , または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第2回		各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	るようにしてのく 員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第3回	, , , d	(事前事後学修 各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	るようにしておく 員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第4回	· // / ਰੋਚ /	(事前事後学修 各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	(学修内容)教	るようにしておく 員より指定された曲 , または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個
第5回	・ソナタ等)	(事前事後学修	レッスン 課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ	け	自教員より指定されたレッスノ曲を練音し(「ロ20ガ~30ガ以工),弾 るようにしておく 員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個
第6回	・ソナタ等)	人	受より指定された曲, または幼稚園・保育がのが概成数で呼べ曲の個 レッスン 課題の内容)(140分)
A) OE		各	自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾るようにしておく
	ピアノ個人レッスン ( ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等 )	人	員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個レッスン
第7回		各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	最近のである。 最より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第8回		各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン (ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第9回		各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上),弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン (ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第10回		各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	るよりにしていく 員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第11回		(事前事後学修 各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	最より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個レッスン
第12回		各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾 るようにしておく
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	るようにしてのく 員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第13回		(事前事後学修 各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
	ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ ・ソナタ等)	(学修内容)教	るようにしておく 員より指定された曲,または幼稚園・保育所の就職試験で弾く曲の個 レッスン
第14回	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(事前事後学修 各	課題の内容)(140分) 自教員より指定されたレッスン曲を練習し(1日20分~30分以上), 弾
	  ピアノ個人レッスン(ブルグミュラー・ソナチネ  ・ソナタ等)		るようにしておく 員より指定された試験曲の個人レッスン
第15回	_ // / ਚ /	各	課題の内容)(140分) 自教員より指定された試験曲を練習し(1日20分~30分以上), 完成さ
		t	ておく

授	業	名	形象音楽	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CE1402				
英	文	名	Figurative Music	開講時期	多 多 多 多 多 の の の の の の の の の の の の の								
担	当	者	<b>東田 みすづ</b> 対象										
授業	の椎		形象音楽とは音楽を形に表す意味で、インドのラーガ思想を参考にあ 技能の上に立って子どものうたの歌唱を中心に、その内容の具象化即 って、歌の内容のイメージを具体的に表現させ、創意工夫させ、歌の 成を目指す。又、グループワークを取り入れながら授業を進める。	ち、折り	)紙・手あそび・壁	面飾り・	あやとり	等をも					
学修到達			1)子どものうたを正確に楽しんで歌うことが出来る。 2)手遊びのレパートリーや、折り紙の折り方、製作物を多く覚える 3)子ども達に指導するスキルを高めることが出来る。	ことが出	出来る。								
			知識・理解	泂	用的技能								
学位			態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力						
方針と	<u>:</u> の	関連											
アクラ	- イ	ブ・	PBL ディスカッション・ディベート グ	 ループワ	1 <b>-</b> /2	<del>-1</del> 1	ゼンテー	S, = >,					
ラーニ 対象指					,一ク ](自主学習支援)		ピンテー:	ンヨン					
評価	方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記		き レポ 実習		制作物 実技					
評価	基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレゼ 観点 授業態度・参加意欲 (楽しんでいるか		/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)				
テキ		使用しない。											
課題はフィーの方法	ドノ												
留意	事	項	課題に積極的に取り組み、折り紙・手遊びのレパートリーを増やせる	ように努	<b>引力すること。</b>								
オファ		^	授業終了後										
実践			実践的教育 教員の実務経験など:保育士、主任保育士、所長として向日市公立保 など子どもの発達を交えながら話をします。	育所勤務	8。40年間の経験を	きもとに歌	や手遊び、	製作					

## 授業 名 形象音楽

1X × ⊢	¹	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス 歌唱・手遊び	(学修内容)授業についての説明 自己紹介・この授業で大事にしたいこと。
	自己紹介	子どものうた・手あそびを楽しむ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		シラバスを確認しておくこと。
	歌唱・手遊び・パクパク人形作り	今日の内容をノートにまとめる。次の授業の準備確認。 (学修内容)パクパク人形を作って音楽に合わせて遊ぶ。
		(子形内谷) ハグハグ人形を下づて自来に占わせて近か。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 今日の内容をノートにまとめる。次の授業の準備をする。
	歌唱・手遊び・ペープサート作り。	(学修内容)子どものうたを中心にペープサートを作って演じる。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題を仕上げる
	絵本の読み聞かせ。歌唱・手遊び・あやしあそび あやしあそびのおもちゃを作る。	(学修内容)同じ遊びでも月齢や年齢によってやり方も意味も違ってくることを知る。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題を仕上げる
	課題学習	(学修内容)課題学習 動画にて提出。
第5回		(事前事後学修課題の内容) (90分) 事前にClassroomで案内する。課題を仕上げる
	歌唱・手遊び・わらべ歌あそび 毛糸あやとり作り。	(学修内容)わらべ歌 毛糸で遊ぶ、くさり編み あやとり。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題を仕上げる。
	歌唱・手遊び・パッチンガエル作り。	(学修内容)子どもの歌を中心にパッチンガエルを作って飛ばして遊ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 次回の授業の準備をする。必要なものをノートにメモしておく。
	歌唱・手遊び・楽器を手作りし、みんなで合奏す	
第8回	3.	(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題を仕上げる。次の授業の準備をする。
		(学修内容)歌のもつ世界観を手話で表現する。 季節にちなんだものを折る。
第9回	M J ALL C M S.	(事前事後学修課題の内容)(60分) 手話について理解する。感じたことをノートに記す。
		課題を仕上げる。
	課題学習	(学修内容)課題学習 動画にて提出。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (90分)
		事前にClassroomで案内する。課題を仕上げる。
	歌唱・手遊び・七夕のおはなし、飾り作り。	(学修内容)七夕飾りの意味を知り製作する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 昔ながらの伝承行事を理解する。
	歌唱・手遊び	(学修内容)グループを決める。11回までの授業の題材を使って、グループで企画し
₩40E	グループ決め	発表するものをまとめておく。
第12回	今までのものを使って発表のための打ち合わせ。   準備物など必要なものをまとめて提出する。	(事前事後学修課題の内容)(60分) 意見を出し合い、準備物など必要なものをまとめて提出する。
	歌唱・手遊び 話し合ったものを分担して製作する。	(学修内容)発表のためのものを製作する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題を仕上げる
	歌唱・手遊び・発表するものをグループごとに練 習する。	(学修内容)製作したもので話し合いながらグループ練習をする。
第14回	どのように発表するかを話し合う。	(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題を仕上げる
	歌唱・手遊び・発表・総括	(学修内容)練習したものをプレゼンして発表する。ほかのグループのものを見て感想を言い合う。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 積極的に意見交換をする。

授 業 名	保育教材の研究	開講学年	2回生	単位数		科目 コード	CE2417				
英 文 名	Study of Child Care Teaching Materials	開講時期	春学期		必 修選 択	選択					
担当者	<b>鈴木 えり子</b> 対象 対象 対別教育2回生										
授業の概要	幼児教育における保育活動において教材は幼児の興味や関心を引き て必要な保育教材について理解を深め、その方法及び教育目的に通 な保育教材の特性を探求しながら、実際に製作や実演を通して、教	<b>動した技術は</b>	こ関する基礎的な考	え方につ	いて学ぶ。						
学修成果到達目標	教材の製作や実践を通して、その方法や技術を身につけることがで教材研究を通して様々な素材・用具の特性を理解する。 子どもの発達や興味に応じた活用方法を多角的に考えることができ										
	知識・理解	沂	1用的技能								
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力						
方針との関連											
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL       ディスカッション・ディベート         実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション					
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (60%)     口述     実習     実技	平常記(40		実習		制作物 実技					
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	·ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)				
テキスト	必要に応じて資料等を配布します。										
参考書	必要に応じて紹介します。										
課題に対する フィードバック の方法											
留意事項	意欲的に取り組むことを期待します。受講人数によっては別途費用	が派生する	3場合があります。								
オフィスアワー	授業内で伝えます。										
実践的教育											

#### 授業 名保育教材の研究

	חלוא לה ניויעג בו אא	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
₩4E	オリエンテーション 幼児教育の方法・技術の意義と重要性	(学修内容)教育方法の基礎的理論と教材研究の必要性について学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   主体性・環境・最善の利益のキーワードを調べてくる。 
第2回	教材研究1 乳児クラスの保育教材とは	(学修内容)乳児に適した保育教材について実践を通して学ぶ。 例/モビール制作 (事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもの身近な素材をリストアップしてくる。授業での実践を振り返り
	教材研究 2 幼児クラスの保育教材とは	をレポートにまとめて提出する。 (学修内容)幼児に適した保育教材について実践を通して学ぶ。 例/新聞紙を使って遊ぶ身近な素材を使った実践について発表する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 授業での実践を振り返りをレポートにまとめて提出する。
第4回	季節に応じた保育教材の研究(春) 一お誕生日カードー	(学修内容)春の季節に応じた保育教材の研究と実践を話し合いながら行う。 実践例/お誕生日のカード作り (事前事後学修課題の内容)(30分) 春の季節に応じた保育教材について考えてくる。
第5回	季節に応じた保育教材の研究(夏) 一染め紙一	(学修内容)夏の季節に応じた保育教材の研究と実践を話し合いながら行う。 実践例/ 染め紙 (事前事後学修課題の内容)(30分) 夏の季節に応じた保育教材について考えてくる。
第6回	季節に応じた保育教材の研究(秋) ーランタンー	(学修内容)秋の季節に応じた保育教材の研究と実践を話し合いながら行う。 実践例/双眼鏡・メガネ (事前事後学修課題の内容)(30分) 秋の季節に応じた保育教材について考えてくる。
第7回	季節に応じた保育教材の研究(冬) 一たこー	(学修内容)冬の季節に応じた保育教材の研究と実践を話し合いながら行う。 実践例/たこ (事前事後学修課題の内容)(30分) 冬の季節に応じた保育教材について考えてくる。
第8回	パネルシアター1 作り方・演じ方の説明	(学修内容)パネルシアターの作り方、活用法を説明する。 パネルシアターの製作に関する準備を行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) パネルシアターについて調べておく。具体的な制作教材を考えてくる。
第9回	パネルシアター2 下書き	(学修内容)パネルシアターの下書き、色塗りをする。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時間内でできなかった箇所を事後学修で行う。
第10回	パネルシアター3 色塗り	(学修内容)パネルシアターの着色を行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 色塗りを完成させる。
第11回	パネルシアター4 切り取り・発表準備	(学修内容)パネルシアターの切り取り、ふちどりを完了し発表準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(60分) パネルボードに貼り、演じ方を確認しておく。発表準備、練習をしておく。
第12回	パネルシアター5 仕上げ	(学修内容)パネルシアターの発表準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(60分) パネルシアターの演じ方、セリフなど発表の練習をしておく。
第13回	パネルシアター6 実践発表・評価	(学修内容)パネルシアターの実践発表を行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の発表について改善点を考えてレポートにまとめてくる。
第14回	パネルシアター7 発表後の振り返り	(学修内容)発表についてディスカッションをする。 (事前事後学修課題の内容)(30分) パネルシアターの意義を発表を通して考え、レポートにまとめてくる。
第15回	まとめ	(学修内容)保育教材研究を振り返り、保育方法や技術等、保育教材の研究の意義や 役割についてディスカッションをする。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 育みたい資質能力に照らし合わせて授業の実践例(教材)を考えてまと めてくる。

授 業 名	健康と	生涯スポーツ	√ a ·	b	開講学年	1回生	単位数	1単位	科 目 コ ー ド	CE1404		
英 文 名	Health an	d Lifelong Spo	rts la•b		開講時期	春学期		必 修選 択	選択			
担当者	吉永 有佳 対象 学生 幼児教育1AB・1CD											
	受講者全員に体力測定を実施する。講義では健康、体力、トレーニングについて理解を深める。実技では各種スポーツの ルールを理解し、基本的な技術の習得により、生涯にわたり日常的にスポーツを行う態度と能力を養う。											
授業の概要												
	1)運動の実践により生涯スポーツの基礎となる知識・技能を習得し、生涯スポーツにつなげる事できる 2)健康の維持・増進を目的とした運動・栄養・休養の見識を高め自己管理することができる											
				能力、協調性、リー			に参加でき	3				
学修成果												
到達目標												
党体博士の		・理解 ・志向性				礼用的技能 総合的な学習経験。	レ創造的田	<b></b>				
学位授与の方針との関連	忠反	• 志門生			, AM	5日的な子白紅駅(	一剧坦的忠	5月				
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL 実習・フィ	ィールドワーク		ション・ディベート (双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援		ゼンテーシ	ション			
評価方法	定期試験 ( 50 %)	筆記試験 ) 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常記 ( 50		験 レポ 実習		刮作物 実技			
評価基準	主たる評価( 観点	の 知識・理解 授業態度・参			プレゼンテーシ	ノョン能力 課! ) (	題発見・解	決能力		)		
	使用しない											
テキスト												
	『健康・スプ	ポーツ科学講義」出	l村慎一監修	(杏林書院)								
参 考 書												
			12 114	V					<b>.</b>			
課題に対する フィードバック			]の授業で解詞	説を行う。また、必	要に応じて個別	別に対応をする。!	実技テスト	及び授業額	<b>後に小</b>			
の方法												
	必要に応じて	てプリントを配布す	る。体操服と	と体育館シューズを	必ず持参するこ	こと。						
留意事項												
オフィスアワー	授業終了後仰	本育準備室で実施す	- る。									
実践的教育												

#### 授業名 健康と生涯スポーツ a・b

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	はじめに	(学修内容)本講に関するオリエンテーション
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスの内容を確認しておくこと
	アイスプレーキング	(学修内容)コミュニケーションを目的としたレクリエーション
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) アイスプレーキングについて具体的に調べ、まとめて提出
	ソフトバレーボール 1	(学修内容)基本技術の習得・ルールの理解・ソフトバレーボールの試合
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) ソフトバレーボールのルールを調べ、まとめて提出
第4回	ソフトバレーボール 2	(学修内容)基本技術の習得・ソフトバレーボールの試合 チームで課題を見つけるグループワーク (事前事後学修課題の内容)(30分) ソフトバレーボールの特徴を調べ、まとめて提出
第5回	ソフトバレーボール 3	(学修内容)ソフトパレーボールの試合 チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク (事前事後学修課題の内容)(30分) ソフトパレーボールの戦術について具体的に調べ、まとめて提出
第6回	ソフトバレーボール 4	(学修内容)ソフトバレーボールの試合 チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の試合を思いだし、自分達に必要な戦術を具体的にまとめて提出
	講義 1	(学修内容)健康と体力について
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 健康について調べまとてめて提出
	  体力測定 1	 (学修内容)文部科学省新体力テスト
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 体力テストについて具体的に調べてまとめ提出
	体力測定 2	(学修内容)文部科学省新体力テスト
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 体カテストについて具体的に調べてまとめ提出
	講義 2	(学修内容)体力評価
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 体力測定について振り返りをし、評価の仕方について調べて提出
	バドミントン 1	(学修内容)基本技術の習得・パドミントンの試合
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) バドミントンのルールを具体的に調べてまとめ提出
	バドミントン 2	(学修内容)バドミントンの試合
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) バドミントンの戦術について具体的に調べてまとめ提出
	卓球 1	(学修内容)基本技術の習得・卓球の試合
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 卓球のルールを具体的に調べてまとめ提出
	卓球 2	(学修内容)卓球の試合
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 卓球の戦術について具体的に調べてまとめ提出
	まとめ	(学修内容)レポート作成、提出
第15回		(事前事後学修課題の内容)(80分) 講義内容を振り返り、レポートにまとめて提出

授 業 名	健康と生涯スポーツ c	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CE1404
英 文 名	Health and Lifelong Sports Ic	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	眞崎 雅子	対象 学生 幼児教育1EF					
10.24. O 101 at	講義では健康、体力、トレーニングについて理解を深め、実技ではにより、生涯に亘り日常的にスポーツを行う態度と能力を養う。まポートにまとめる。						
授業の概要							
	1 )健康の維持・増進を目的とした運動・栄養・休養の見識を高め   2 )運動の実践により生涯スポーツの基礎となる知識と技能を習得   3 )スポーツを通してコミュニケーション能力、協調性、リーダー	することか	<b>べきる。</b>				
学修成果到達目標	60.50b TEB 422	J	□ 64++ 4t-				
学位授与の	知識・理解態度・志向性		l用的技能 合的な学習経験と	創造的思	 老力		
子位投与の		ñve					
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記(50		ま習		制作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	必要に応じてプリントを配付する。						
参考書	「健康・スポーツ科学講義」 出村 慎一 監修 (杏林書院)						
課題に対する フィードバック の方法	口頭で講評する。						
留意事項	実技を行う際は、運動に相応しい服装と上履きを必ず用意すること。	•					
オフィスアワー	授業終了後体育準備室または研究室にて実施する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:ダンスインストラクターとして、子どもから ・コミュニティーセンター及び幼稚園での・小学校での土曜教育プログラムにおける ・教育委員会主催体育研究会の講師、親子・	保護者をダ 「リズムシ	対象にズンバ指導 きび・からだの遊び		師		

## 授業名**健康と生涯スポーツ c**

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス:本授業の概要説明	(学修内容)授業目標と計画や進め方について説明する 柔軟性チェック
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 筆記用具、顔写真(3cm×3cm)
	講義1:運動と健康	(学修内容)健康関連体力と運動について学ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 前:健康に対する考えをまとめる
	体力測定1:筋(持久)力・投力・走力・柔軟性 の測定	(学修内容)文部科学省新体力テストを実施する
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   体調管理
	体力測定 2 : 跳躍力・敏捷性・全身持久力の測定	(学修内容)文部科学省新体力テストを実施する
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 体調管理
	有酸素運動と心拍数の測定	(学修内容)有酸素運動理論や脂肪燃焼効果について実践的に学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 前:有酸素・無酸素運動について調べる
	バドミントン1:基本技術の習得	(学修内容)フォア・バックハンド、サーブ、スマッシュを中心に実践する
第6回		(事前事後学修課題の内容) (30分)   バドミントンの特性と基本技術を調べる
	バドミントン 2 :簡易ゲーム	(学修内容)バレーバトミントンでチームプレーを通して技術を習得する
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) バレーバトミントンのルールを考える
	バドミントン3:ルールの理解と実践	(学修内容)シングルス・ダブルスの実践を通してルールを理解する
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シングルス・ダブルスの公式ルールを理解する
	パドミントン4:基礎技術の向上と応用	(学修内容)ダブルスの戦術を活かし、ゲームを実践する
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) パドミントンの戦術を調べる
	ソフトバレーボール 1 : 基本技術の習得	(学修内容)パス・サーブ・スパイク・レシープを中心に実践する
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) ソフトバレーの特性と基本技術を調べる
	ソフトバレーボール 2 : 簡易ゲームで技術の習得	(学修内容)ソフトバレーの簡易ゲームを通して技術を習得する
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) ソフトバレーのルールを考える
	ソフトバレーボール3:ルールの理解と実践	(学修内容)ソフトバレーの実践を通してルールを理解する
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) ソフトパレーの公式ルールを理解する
	ソフトバレーボール4:基本技術の向上と応用	(学修内容)ソフトバレーの戦術を活かし、ゲームを実践する
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) ソフトバレーの戦術を調べる
	講義 2:健康と体力	(学修内容)健康と体力について理解し、自身の新体力テスト・有酸素運動実践データを評価する
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 実践データを基に自己の健康と体力における課題について考える
	  講義3:健康的な学生生活と運動習慣 	(学修内容)健康的な大学生活についてのレポートを作成し提出する
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 生活習慣や実践データを振返り自身の課題や改善点について考える

授 業 名	健康と生涯スポーツ a・ b	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	CE1411
英 文 名	Health and Lifelong Sports a·b	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	吉永 有佳	対象学生	幼児教育1AB・	1CD			
	本講では、運動が身体にどのような影響を及ぼすかを学習し、学生 して深める。	固人の健身	」 便についての理解を	各種スポ	ーツの実践	<b>浅を通</b>	
授業の概要							
	   1 ) 運動の実践により生涯スポーツの基礎となる知識・技能を高め   2 ) 健康の維持・増進を目的とした運動・栄養・休養の見識を高め						
	3)スポーツを通してコミュニケーション能力、協調性、リーダー			できる			
学修成果							
到達目標							
*	知識・理解	-	l用的技能	创生的田子	<del>*</del> +		
学位授与の 方針との関連	態度・志向性	ANT	合的な学習経験と	剧逗的忠	5月		
	'	-					
アクティブ・ ラーニング		グループワ			ゼンテーシ	/ョン	
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	/ョン	
ラーニング			明(自主学習支援) 		<b>ート</b>	/ョン  リ作物 ミ技	
ラーニング対象授業	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (50%)       口述       実習       実技	I C T 活用 平常記 ( 50	(自主学習支援) 成験 筆記試験 () 口述	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラーニング対象授業評価方法	実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)       定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技         主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレー	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラーニング対象授業評価方法	実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)       定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ 授業態度・参加意欲	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラーニング対象授業 評価方法	実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)       定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ 授業態度・参加意欲	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラーニング対象授業 評価方法	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (50%)       口述       実習       実技         主たる評価の観点       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー授業態度・参加意欲         使用しない       使用しない	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラーニング対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (使用しない	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラース       対象       評価       価       本       よ       ま       は       よ       ま       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ       よ <td>実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (50%)       口述       実習       実技         主たる評価の観点       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー授業態度・参加意欲         使用しない       使用しない</td> <td>I C T 活用 平常記 ( 50</td> <td>月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (</td> <td>・ レポ 実習</td> <td>一ト 制</td> <td> 刂作物</td> <td>)</td>	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (50%)       口述       実習       実技         主たる評価の観点       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー授業態度・参加意欲         使用しない       使用しない	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラーニ 授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (使用しない	I C T 活用 平常記 ( 50	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラース 対象 が 対象 無価 無価 ・ ボート手 ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (使用しない	I C T 活用 平 50 ゼンテーシ	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラース 対象 が 対象 無価 無価 ・ ボート手 ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 使用しない  「健康・スポーツ科学講義」出村慎一監修 (杏林書院)  授業後に質問を受け、次回の授業で解説を行う。また、必要に応じ	I C T 活用 平 50 ゼンテーシ	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラ対評テ参課フの二授価毎スス大基エー方意大ますべよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよ	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 使用しない  「健康・スポーツ科学講義」出村慎一監修 (杏林書院)  授業後に質問を受け、次回の授業で解説を行う。また、必要に応じ	I C T 活用 平 50 ゼンテーシ	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラ対評テ参課フの留オーン業一級価価キコー法事イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレ 授業態度・参加意欲 ( 使用しない  『健康・スポーツ科学講義」出村慎一監修 (杏林書院)  授業後に質問を受け、次回の授業で解説を行う。また、必要に応じ  必要に応じてプリントを配布する。体操服と体育館シューズを必ず	I C T 活用 平 50 ゼンテーシ	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)
ラ対評テ参課フの留オーン業一級価価キコー法事イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレ 授業態度・参加意欲 ( 使用しない  『健康・スポーツ科学講義」出村慎一監修 (杏林書院)  授業後に質問を受け、次回の授業で解説を行う。また、必要に応じ  必要に応じてプリントを配布する。体操服と体育館シューズを必ず	I C T 活用 平 50 ゼンテーシ	月(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題 ) (	・ レポ 実習	一ト 制	 刂作物	)

#### 授業名 健康と生涯スポーツ a・b

授業計画		学修内容・課題
	はじめに	(学修内容)本講に関するオリエンテーション
₩.A.E.		(市公市从兴城知晓の中央)(00八)
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを確認しておく
		シンバスを唯祕してのく
	講義 1	
	are asc 1	いて学ぶ。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		健康づくりにはどのようなものがある
		か、考えをまとめて提出
	講義 2	(学修内容)スポーツを行う上での安全配慮について。
# 0 E		(事が事後労修細順の中容)(60八)
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 安全配慮にはどのようなものがある
		か、考えをまとめて提出
	バレーボール 1	(学修内容)基本技術の習得・ルールの理解・バレーボールの試合
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		バレーボールのルールを具体的に調べ、まとめて提出
	1151 11 2	
	バレーボール 2	(学修内容)基本技術の習得・パレーボールの試合   チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
УЗОП		バレーボールのルールの復習を行い、楽しむ工夫を考え、まとめて提出
	バレーボール 3	(学修内容) バレーボールの試合
		チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		バレーボールの戦術について調べ、まとめて提出
	バレーボール 4	(学修内容)バレーボールの試合
		チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		バレーボールの戦術について、自分たちに必要な戦術をしらべ、具体的
	100 10 70 10 10	にまとめて提出
	バドミントン 1	(学修内容)基本技術の習得・バドミントンの試合
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
УЗОП		バドミントンのルールを具体的に調べてまとめ提出
	バドミントン 2	(学修内容)バドミントンの試合
# 0 E		(事益事後党権課題の中京)(20八)
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) バドミントンの戦術について具体的に調べてまとめる提出
		// Co to o will co to comment to co co o well
	バドミントン 3	(学修内容) バドミントンの試合
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		バドミントンの戦術について具体的に調べてまとめ提出
	バスケットボール 1	(学修内容)基本技術の習得・ルールの理解・バスケットボールの試合
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		バスケットボールのルールを具体的に調べてまとめて提出
	  バスケットボール 2	(学修内容)基本技術の習得・バスケットボールの試合
	1/2/2/1/3/ WZ	( 字形内合 ) 基本技術の音符・バスグットホールの試合 チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		バスケットボールのルールの復習し、楽しむためのルール変更を考え提
		<u> </u>
	バスケットボール 3	(学修内容)バスケットボールの試合
第13回		チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク (事前事後学修課題の内容)(30分)
75.10H		バスケットボールの戦術について調べてまとめ提出
	バスケットボール 4	(学修内容)バスケットボールの試合
\$\$ 4 4 E		チームの課題を話し合い、解決に向けて練習を行うグループワーク
第14回		(事前事後学修課題の内容) (30分)   パスケットボールの戦術について、自分たちに必要な戦術を具体的に調
		バスケットが一ルの戦制について、自力だらに必要な戦権を具体的に調べてまとめて提出
	まとめ	(学修内容)レポート作成、提出
第15回		(事前事後学修課題の内容)(80分)
		授業内容を振り返り、レポートにまとめて提出する

授	業	名	健康と生涯スポーツ c	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CE1411
英	文	名	Health and Lifelong Sports c	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	眞﨑 雅子	対 象 学 生	幼児教育1EF				
授業	の相	既要	講義では、スポーツの文化的役割や傷害予防について理解し、実技に亘り日常的にスポーツを行う態度と能力を養う。また、運動時のでで理解を深め「私の健康と運動」についてのレポートにまとめる。						
学们到证			1)運動実践時の心拍数、継続時間を測定して運動強度を判定し、 2)健康の保持増進を目的としたスポーツの実践を通して、適切な解することができる。 3)スポーツを通してコミュニケーション能力、協調性、リーダー	強度によるシップなど	る運動を生涯に亘り	実践する	意義につい		
224 /2-	1117 L		知識・理解態度・志向性		凡用的技能 総合的な学習経験と	创生的 田	±+		
学位方針。				nii	5日的な子百紅駅と	剧逗的忠	5/1		
アク: ラー: 対象:	ニン	グ		グループワ ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評价	方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常i ( 50		・ レポ 実習		制作物 実技	
評价	<b>斯基</b>	準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレー観点授業態度・参加意欲(	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ <b>=</b>	Fス	. ト	使用しない。						
参	考	書	「健康・スポーツ科学講義」 出村 慎一 監修 (杏林書院)						
	・ドノ	口頭で講評する。 こ対する ・ドバック 去							
留意	意事	項	必要に応じてプリントを配付する。実技を行う際は、運動に相応し ウォーキング時は運動靴を使用すること。	ハ服装と」	上履きを必ず用意す	ること。			
オファ	フィワ	^	授業終了後体育準備室で実施する。						
実践	実践的教育 教員の実務経験など:ダンスインストラクターとして、子どもから大人を対象に活動。以下活動実績; ・コミュニティーセンター及び幼稚園での保護者を対象にズンバ指導 ・小学校での土曜教育プログラムにおける「リズム遊び・からだの遊び」等の講師 ・教育委員会主催体育研究会の講師、親子体操の講師								

## 授業名**健康と生涯スポーツ c**

	72 71 1		
第4回	授業計画		
第2回		カイタンス:本授業の概要説明 	(字修内容)授業目標と計画や進め方について説明する 柔軟性チェック 
第3回 (季前季後本祭課題の内容) (39分) 舶:女性としての日母の健康課題について書き出しておく (季商等後本学経過の内容) (39分) 舶:有概素連動と心形数の刻定 1 (季商等名 ** 女性を比しての日母の健康課題について説べて要点をまとめる (季商等後本学経過的内容) (39分) 舶:有概素 ** 類似素 ** 類似素 ** 類似素 ** 数似素 ** 数似素 ** 数似表 ** 数以 **	第1回		
# 第3回		講義1:女性の健康課題	(学修内容)女性特有の健康課題について学ぶ
第3回	第2回		
### 新報報   新報和   新報和   新程程   新程程   新程程   新程程   新程程   新程程   新程程   新程程   新程度		有酸素運動と心拍数の測定 1	(学修内容)エアロビックダンスの実践を通して学ぶ
# 第4回 (事前事後字榜課題の内容) (30分) 前:様々なダンスエクササイズについて誇べて拠点をまとめる 前:様々なダンスエクササイズについて誇べて拠点をまとめる 第 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1 表 1	第3回		
# 15回		有酸素運動と心拍数の測定 2	(学修内容)ダンスエクササイズの実践を通して学ぶ
第5回	第4回		
アルティメット2:簡易ゲーム (学修内容) 簡易ゲームを通してアルティメットの特性を挙ぶ (事前事後学問題の内容) (30分) アルティメットの一人を習べて要点をまとめる (学修内容) がフォア・パックハンド、サーブ、スマッシュを中心に実践する (事前事後学問題の内容) (30分) 単球の特性と基本技術を調べて要点をまとめる (学修内容) シングルス・ダブルスの実践を通してルールを理解する (事前事後学問題の内容) (30分) 単球2:ルールの理解と実践 (学修内容) シングルス・ダブルスの実践を通してルールを理解する (事前事後学問題の内容) (30分) 第5回 第5回 第5回 第二連動会1:企画・李備 グルーブワーク (学修内容) 運動会の音楽、種目決め、役割等を決めて企画案を提出する (事前事後学問題の内容) (30分) 自身の仕事が容を確認し準備をする (学修内容) 紅白チームタリ・音グループごとに担当した様目を実践し評価する (事前事後学問題の内容) (30分) 担当権目の司会・進行について確認する (学修内容) バス・ドリブル・様々なシュートを中心に実践する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの特性と基本技術を調べて要点をまとめる (学修内容) バス・ドリブル・様々なシュートを中心に実践する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの特性と基本技術を調べて要点をまとめる (学修内容) バスケットボールの特性と基本技術を調べて要点をまとめる (学修内容) バスケットボールの機合ゲームを通して技術を習得する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの実践を通してルールを理解する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの変別を通してルールを理解しておく (学修内容) バスケットボールの戦術を活がし、ゲームを実践する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの戦術を活がし、ゲームを実践する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの戦術を活がし、ゲームを実践する (事前事後学問題の内容) (30分) バスケットボールの戦術を消べてまとめる (学修内容) 健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する (学修内容) 健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する		[	(学修内容)フォア・バックハンド、パスを中心に実践する
# 第86回 (事前事後学常課題の内容)(30分)	第5回		
# 2		アルティメット2:簡易ゲーム	(学修内容)簡易ゲームを通してアルティメットの特性を学ぶ
(事前事後学修課題の内容) (30分)	第6回		
# 草塚 2 : ルールの理解と実践 (学修内容)シングルス・ダブルスの実践を通してルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 卓塚の公式ルールを調べて要点をまとめる (事前事後学修課題の内容)(30分) 卓塚の公式ルールを調べて要点をまとめる (学修内容)運動会の意義、種目決め、役割等を決めて企画案を提出する (事前事後学修課題の内容)(30分) 自身の仕事内容を確認し準備をする (学修内容) 100 + ガン・ガンとに担当した種目を実践し評価する (事前事後学修課題の内容)(30分) 担当種目の司会・進行について確認する (事前事後学修課題の内容)(30分) がパスケットボール1: 基本技術の習得 (学修内容)バストドリブル・様々なシュートを中心に実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの時性と基本技術を調べて要点をまとめる (学修内容)バスケットボールの開閉ゲームを通して技術を習得する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールのデームを考え書き出しておく (学修内容)バスケットボールの変活を通してルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの空式ルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの記式ルールを理解しておく (学修内容)バスケットボールの改式ルールを理解しておく (学修内容)バスケットボールの改式ルールを理解しておく (学修内容)バスケットボールの改式ルールを理解しておく (学修内容)バスケットボールの戦術を活べし、ゲームを実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの戦術を語べてまとめる (学修内容)健康とスポーツの意義についてレボートを作成し提出する (事前事後学修課題の内容)(30分)		卓球 1 : 基本技術の習得	(学修内容)フォア・バックハンド、サーブ、スマッシュを中心に実践する
(事前事後学修課題の内容) (30分)	第7回		
年球の公式ルールを調べて要点をまとめる		卓球 2 :ルールの理解と実践	(学修内容)シングルス・ダブルスの実践を通してルールを理解する
第9回	第8回		
自身の仕事内容を確認し準備をする		ミニ運動会1:企画・準備 グループワーク	(学修内容)運動会の意義、種目決め、役割等を決めて企画案を提出する
# 第10回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 担当種目の司会・進行について確認する  # 第11回 (学修内容)パス・ドリブル・様々なシュートを中心に実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの特性と基本技術を調べて要点をまとめる  # 第12回 (学修内容)パスケットボールの簡易ゲームを通して技術を習得する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールのゲームを考え書き出しておく  # 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 第 8 第 8 第 8	第9回		
第11回       (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの特性と基本技術を調べて要点をまとめる         第12回       (学修内容)バスケットボールの簡易ゲームを通して技術を習得する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールのゲームを考え書き出しておく         パスケットボール3:ルールの理解と実践       (学修内容)バスケットボールの実践を通してルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの公式ルールを理解しておく         ボスケットボール4:基本技術の向上と応用       (学修内容)バスケットボールの戦術を活かし、ゲームを実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの戦術を調べてまとめる         講義2:スポーツと文化       (学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する (事前事後学修課題の内容)(30分)         第15回       (事前事後学修課題の内容)(30分)	第10回	ミニ運動会 2 : 実践と評価	(事前事後学修課題の内容) (30分)
#12回 パスケットボール2:簡易ゲーム (学修内容)パスケットボールの簡易ゲームを通して技術を習得する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボール3:ルールの理解と実践 (学修内容)パスケットボールの実践を通してルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの実践を通してルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの公式ルールを理解しておく (学修内容)パスケットボールの公式ルールを理解しておく (学修内容)パスケットボールの戦術を活かし、ゲームを実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの戦術を調べてまとめる (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの戦術を調べてまとめる (学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する (事前事後学修課題の内容)(30分)		バスケットボール1:基本技術の習得	(学修内容)パス・ドリブル・様々なシュートを中心に実践する
#12回 (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの3:ルールの理解と実践 (学修内容)バスケットボールの実践を通してルールを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの公式ルールを理解しておく バスケットボール4:基本技術の向上と応用 (学修内容)バスケットボールの戦術を活かし、ゲームを実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの戦術を調べてまとめる (学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する (事前事後学修課題の内容)(30分)	第11回		
バスケットボールのゲームを考え書き出しておく		バスケットボール2:簡易ゲーム	(学修内容)パスケットボールの簡易ゲームを通して技術を習得する
# 第13回 (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの公式ルールを理解しておく (学修内容)パスケットボールの戦術を活かし、ゲームを実践する (事前事後学修課題の内容)(30分) パスケットボールの戦術を調べてまとめる (学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する (事前事後学修課題の内容)(30分)	第12回		
バスケットボールの公式ルールを理解しておく		バスケットボール3:ルールの理解と実践	(学修内容)パスケットボールの実践を通してルールを理解する
<ul> <li>第14回</li> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分) バスケットボールの戦術を調べてまとめる</li> <li>(学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する</li> <li>第15回</li> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分)</li> </ul>	第13回		
バスケットボールの戦術を調べてまとめる (学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する (事前事後学修課題の内容)(30分)		バスケットボール4:基本技術の向上と応用	(学修内容)バスケットボールの戦術を活かし、ゲームを実践する
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第14回		
		講義 2 :スポーツと文化	(学修内容)健康とスポーツの意義についてレポートを作成し提出する
	第15回		

					1		
授 業 名	保育英語コミュニケーション a	開講学年	1回生	単 位 数	1単位	科目 コード	CE1405
英 文 名	Child Care English la	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	山本 典子	対 象 学 生	幼児教育1AB				
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキン 基礎をバランスよく習得します。予習をしていることを前提にしてますが、また、専門領域に関する教材や異文化理解にもつながる多まプワークを取り入れます。	テキストを	E進めます。保育英	語に特化	した授業Ⅰ	こなり	
学修成果到達目標	1)英語基本5文型を中心とした基本的知識を身につけることがで 2)自身のことについて英語で伝えることができる。 3)平易な英語絵本を訳すことなく英語のまま理解することができる。						
	知識・理解	沂	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性		************************************	創造的思	 考力		
方針との関連							
アクティブ・	PBL ディスカッション・ディベート ゲ	ブループワ	J ー ク	プレ	ゼンテー	ション	
ラーニング 対象授業			, 月(自主学習支援)				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (ブレー	ヹンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
	Children's Garden 赤松直子著 成美堂						
テキスト							
参考書	保育英語ワークブック (保育英語検定 3 級問題集)社団法人国際 保育英語ワークブック (保育英語検定 2 級問題集)	子育て支持	<b>援機構著</b>				
課題に対する フィードバック の方法	提出された宿題や課題は採点しコメントとともに返却します。						
留意事項	テキストは毎回使用するので、必ず購入し持参してください。このテキストは秋学期も使用します。宿題は期日に提出すること。予習・復習はしっかりと行うこと。評価方法は上記にありますが、テキストを持ってきていない、寝ている,スマホを見ているなど、授業態度によってはそのとおりではありません。欠席5回で定期試験受験資格がなくなります。出欠、遅刻に関しては初講日にくわしく説明します。授業の進み具合によっては授業計画は前後することがあります。また、英語の絵本を読んでワード数を記録していきます。そのポイントは成績に加算されます。						
オフィス アワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:NHK文化センター京都支社、大学・短期大学、	中学校・	高等学校での英語				

## 授業名 保育英語コミュニケーション a

		<del>-</del>
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)読書記録シート、出欠・遅刻の扱いについて
	5文型の問題 / ABC song	テキストp.6 ABCの歌を歌う
第1回	Chapter 1 Children's Garden P.6	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		p.6目を通しておく
	be動詞・一般動詞の理解	(学修内容) be動詞・一般動詞の演習 テキストp.7,8,9
	Chapter 1 Children's Garden p.7,8,9	p.9はリスニングの後ペアーワークで音読
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキスト p. 7-9の予習 特にp.8
	  be動詞・一般動詞の疑問文 1	 (学修内容)be動詞・一般動詞の疑問文の演習
	Chapter 1 Children' Garden p.10,11	p.9の復習としてリスニングの後音読
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前にbe動詞・一般動詞の復習しておくこと
		テキストp.10,11の予習
	be動詞・一般動詞の疑問文 2	(学修内容) be動詞・一般動詞の疑問文の演習
	Chapter 2 The First Day of the Internship	
第4回	p.12,13,14	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		be動詞・一般動詞の疑問文の復習しておくこと
	    5文型の問題	テキストp.14,15を予習 (学修内容) be動詞・一般動詞,5文型
	Chapter 2 The Frist Day of the Internship	(学修内存) De動詞・一般動詞, 5大堂 p. 15リスニングと音読
第5回	p.15,16,17	(事前事後学修課題の内容)(60分)
사이디	F,,	事前にp.16を準備しておく
	現在進行形の理解	(学修内容)復習としてp.15会話リスニングの後音読
	Chapter 3 Out We Go! p.18,19,20	現在進行形の演習
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		笑顔で場面を楽しめるよう会話音読
		. 11/4 (- 1
	現在進行形の演習	(学修内容)現在進行形の復習
第7回	Chapter 3 Out We Go! p.21,22,23	(東前東後学修細題の中容)(60/))
<b>毎</b> 7凹		(事前事後学修課題の内容)(60分) 現在進行形の復習
		り.22の準備
		(学修内容)動詞過去形の演習
	Chapter 1 ~ 3の復習	復習としてp.9,15,21会話のリスニングの後音読
第8回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		動詞時制復習
		( W to 1 to 2 to 2 W to
	Chapter 4 Splash, splash p.24,25,26	(学修内容)外の遊びの単語
第9回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
ઋ기의		p.26の準備
		P. ≥007 + m
	Chapter 4 Splash, splash p,27,28,29	(学修内容)感情を表す形容詞の理解、演習
	感情を表す形容詞	p.27会話のリスニングの後ペアーワークで音読
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		p.28の準備
	Olambar F. Bassal B. 20 51 55	
	Chapter 5 Pancake Day p.30,31,32	(学修内容)感情を表す形容詞の復習・演習
第11回	感情を表す形容詞 	  (事前事後学修課題の内容)(60分)
차미백		(争削争後子修課題の内谷)(60分) 感情を表す形容詞の復習
		ᄊᆑᆫᆫᅑᄼᄽᆸᄢᆛᅅᅜᆸ
	動詞未来形の演習	
	Chapter 5 Pancake Day p.33,34,35	動詞未来形の演習
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.34の予習
		(** kg + cg > 1)
	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories	(学修内容)Urashima Taroの音読
第13回	p.36,37,38 / Urashima Taro	   (事前事後学修課題の内容) (60分)
바이면		(争削争後子修課題の内谷)(60分) p.38の準備
		γ.ουν
	Chapter 6 read me, Tell me	(学修内容)Urashima Taroの音読
	p. 39,40,41 / Urashima Taro	p.39会話リスニングの後ペアーワークで音読
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.39,40の準備
	This art to the	(学校本席) 大法市还大众是一次30
	動詞時制のまとめ	(学修内容)文法事項も含めて復習
第15回	春学期の総復習 	定期試験の説明  (事前事後学修課題の内容)(60分)
유IU미		(争削争後子形誅越の内谷)(50ガ) p.27,33,39の会話がスムーズに音読できるように練習
		<u> </u>

授 業 名	保育英語コミュニケーション b・ c	開講 学年 1回生 単位数 1単位 科目 コード CE1405
英 文 名	Child Care English Ib · Ic	開講 春学期 必修 選択
担当者	早瀬和栄	対象 学生 幼児教育1CD・1EF
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキン基礎をバランスよく習得します。予習をしていることを前提にテキ異文化理解にもつながる多読も授業に取り入れます。保育英語に特クをとりいれます。	-ストを進めます。また、専門領域に関連する教材や、
学修成果到達目標	1)英語基本5文型を中心とした基本的知識を身につけることがで2)自身のことについて伝えることができる。3)平易な英語絵本を訳すことなく、英語のまま理解することがで	
	知識・理解	汎用的技能
学位授与の	態度・志向性	総合的な学習経験と創造的思考力
方針との関連		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワーク ブレゼンテーション I C T 活用 (自主学習支援 )
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーション能力       課題発見・解決能力         )       (
テキスト	『保育英語』 赤松直子 (成美堂)	
参考書	保育英語検定受験予定の者は各自の英語力に応じたテキスト・問題 『保育英語検定3級テキスト(改訂版)』社団法人保育英語検定協会 『保育英語検定2級テキスト(改訂版)』社団法人保育英語検定協会 『保育英語ワークブック (保育英語検定3級問題集)』社団法人 『保育英語ワークブック (保育英語検定2級問題集)』社団法人	会著(本の泉社)、2000円 会著(本の泉社)、2000円 国際子育て支援機構著、1400円
課題に対する フィードバック の方法	提出されたリポートについては、コメントを付けて返却します。	
	本授業では定期試験を実施する。 5回以上の欠席は認めないが、正当な理由がある場合は考慮しますの 授業には辞書を必ず持参すること。 授業の進み具合によって授業計画は前後することがあります。	ので、必ず報告すること。
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。	
実践的教育		

# 授業名**保育英語コミュニケーション** b・ c

授業計画	学修項目	学修内容・課題
及来前百	オリエンテーション	(学修内容)到達目標の確認、進め方の説明、自己紹介
第1回		(事前事後学修課題の内容)(15分) 本授業のシラバスを読む
	英語でエッセイを読む	(学修内容)多読のすすめ 英語でエッセイを読む
第2回		央論でエッセイを読む  (事前事後学修課題の内容)(60分)
211-1-1		pp. 6-8の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	   Chapter 1 こどもの園保育園	(学修内容)保育で使う英語表現、リスニング問題
		(
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 9-11の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 1 来月、実習が始まります	(学修内容)登園時に使う英語表現
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
N. I		pp. 12-14の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	   Chapter 2 実習初日	(学修内容)教室内で使う英語表現
	Cliapter 2 Xelviu	(子形内骨) 教室内 C 区 プ 矢 品 代 境
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 15-17の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 2 実習生の加藤えみ です。	(学修内容)挨拶で使う英語表現
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 18-20の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 3 さあ、出かけましょう!	(学修内容) 園庭で使う英語表現
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第7四		pp. 21-23の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 3 いいお天気ね	(学修内容)言葉遊び・アナグラム
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   pp. 24-26 の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 4 バシャバシャ水しぶき	(学修内容)水泳の時間に使う英語表現 
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 27-29の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 4 オリンピック選手みたい	(学修内容)着替えの時に使う英語表現
₩40 <b>□</b>		(市学市体学版物界の中央)(2001)
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   pp. 30-32の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 5 ホットケーキの日	(学修内容)料理のときに使う英語表現
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 33-35の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 5 おいしい、おいしい、おいしいよ	(学修内容)食事の時に使う英語表現
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
₩ 14円		pp. 36-38の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 6 本を読んで、お話を聞かせて	(学修内容)読み聞かせのときに使う英語表現
	- 一つのでは、いまで同から	( ) 1973日 / 肌の向か このここに以 ノ大田状状
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 39-41の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 6 今日は何のお話?	(学修内容) こども絵本について
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		pp. 42-44の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	テキストの総復習	(学修内容)日常表現
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
2,3.00		テキストの見直し

授 業 名	保育英語コミュニケーション	3	講年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CE1412
英 文 名	Child Care English a		請期	秋学期		必 修 選 択	選択	
担当者	山本 典子		象生生	幼児教育1AB				
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニン基礎をバランスよく習得します。予習していることた授業になります。毎回の授業でグループワークを	 √グ、スピーキング、 ∵を前提にテキストを	ライティ 進めます	す。春学期から引	き続き保証	育英語に特		
学修成果到達目標	1)英語基本5文型を中心とした基本的知識を実に2)過去形や現在完了形を用いて自身のことを伝え3)平易な英語絵本を訳すことなく、英語のまま理	こることができる。						
	知識・理解		汎月	用的技能				
学位授与の	態度・志向性		総台	合的な学習経験と	創造的思想	<b></b>		
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向		 ープワ- T活用	ーク ( 自主学習支援 )	プレ	ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技		平常試團		き レポ・ 実習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーショ 観点 授業態度・参加意欲 (	)ン能力 プレゼン	テーショ	ョン能力 課題) (	発見・解決	夬能力		)
テキスト	Children's Garden 赤松直子著 成美堂 春学期のテキストの続きをします。							
参考書	保育英語ワークブック (保育英語検定3級問題集保育英語ワークブック (保育英語検定2級問題集	•	構著					
課題に対する フィードバック の方法	提出された宿題、課題はコメントをつけて返却しま	<b>ः                                    </b>						
留意事項	後期もテキスト中心に授業を進めますが、音読や発表の機会が増えます。予習、復習、宿題はしっかりとやっておいてください。提出物は期日を守ること。評価方法は上記のとおりですが、前期同様、授業態度によってはそのとおりではありません。進み具合によっては授業計画は前後することがあります。春学期に引き続き読書記録シートでワード数を記録していきます。							
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:NHK文化センター京都支社、ご	大学・短期大学、中学	学校・高	等学校での英語				

## 授業名 保育英語コミュニケーション a

	PINISPORM V V	7
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	Chapter 7 Activities with Watermelons	(学修内容)動詞時制の復習
	p.42,43,44 月の名前	月の名前の歌
第1回	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		動詞の時制の復習
	Chapter 7 Activities with Watermelons	(学修内容)月の名前のテスト
	p.45,46,47	p. 45会話のペアーワーク音読
第2回	月の名前のテスト	(事前事後学修課題の内容)(60分)
73211	733 1133 7 7 1	p.46の準備
		単語を覚える
	動詞・現在完了形の演習	(学修内容)現在完了形の演習
	Chapter 8 Happy Birthday!	
第3回	p.48,49,50	(事前事後学修課題の内容)(60分)
까이드	p. 40, 40, 00	p.50の準備
		p.5007 + Ma
	動詞・現在完了形の演習	(学修内容)現在完了形の演習
	Chapter 8 Happy Birthday! p.51,52,53	p.51の会話のペアーワーク音読
第4回	Chapter o happy birthday: p.51,32,33	(事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>寿</b> 4四		現在完了形の復習
		現在元子がの後首 p.52の準備
	助動詞の演習	(学修内容)助動詞の意味と使い方
	Chapter 9 Children at Play	遊びの名前を覚える
** - C		
第5回	p.54,55,56 遊びの名前	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.56の準備
	助動詞の演習	(学修内容)助動詞を使って文を作る
		( a married and ma
<u>حد ۵ </u>	Chapter 9 Children at Play p. 57,58,59	p.57会話を音読 (東前東後学修理師の内容)(60分)
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		助動詞の復習
		p.58の準備
	Chapter 7~9の復習	(学修内容)動詞時制の復習
~~	動詞時制の復習	p. 45,51,57会話復習
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		動詞時制の復習をしておく。
	T/c+2.147	( * 15 + 5 > 17 5 5 5 1 1 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	形容詞対語	(学修内容)形容詞の対語を覚える
~~~	Chapter 10 Baby News p.60,61,62	赤ちゃんに関する単語
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.62の準備
	以内容を持ちます。	/ 学校中央 / 取売与のニュー
	形容詞対語のテスト	(学修内容)形容詞のテスト
** o 🗔	Chapter 10 Baby News p.63,64,65	p.63会話リスニングとペアーワーク音読
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.64の準備
	Chapter 11 The Tooth Family p.66,67,68	(学修内容)歯に関する単語を覚える
77.40 T	歯に関する単語 / Kasajizou	Kasajizouの音読
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.68の準備
	Observe 44 The Total French Co. 70 To	(
	Chapter 11 The Tooth Family p.69,70,71	(学修内容) p.69会話の音読
**	Kasaj i zou	Kasajizouの音読
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.70を準備
		(学校内容) 体の如八の単語を覚える
	体の部分の単語 Chantan 40 The Cream and Wittel	(学修内容)体の部分の単語を覚える
## . o	Chapter 12 The Green-eyed Witch	(事業事後労権理師の中央)(22八)
第12回	p.72,73,74	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.74の準備
		(
	体の部分の単語のテスト	(学修内容)p.74会話音読
*** · · · ·	Chapter 12 The Green-eyed Witch p.75	(市华市体学物理服务中央)(22.01)
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.74の会話がスムーズに読めるように予習
	Chartes 40 = 70 77	体の部分の単語を覚える
	Chapter 12 p.76,77	(学修内容)Readingの音読
笠44回		(東前東後労権理師の中京)(20八)
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		p.76の準備
	Chantar 7, 12	(学校中央) 孙 学 即 復 羽
	Chapter 7~12	(学修内容)秋学期復習
\$\$4.5.T	秋学期の復習	定期試験の準備
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストやプリントのわからないところを探しておく

授 業 名	保育英語コミュニケーション b・ c	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	CE1412
英 文 名	Child Care English b · c	開講時期	秋学期		必修選択	選択	
担当者	早瀬和栄	対 象 学 生	幼児教育1CD・	1EF			
授業の概要	英語・コミュニケーション に続き、演習形式の授業を通して、リグの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得します。また、専門領域に関連する教材や、異文化理解にもつながる多語・ーションを実践します。	。予習を	していることを前掛	是にテキス	トを進め	ます	
学修成果到達目標	1)会話や多読に必要な文法の基礎を身につけることができる。 2)身近なトピックについて、簡単な単語を用いて意見を伝えるこ 3)平易な英語本を訳すことなく、英語のまま理解することができ	ప					
学位授与の	知識・理解態度・志向性	-	見用的技能 合的な学習経験と	創造的思想	<u></u> 皆力		
子位投与の	正 [F. J. C. J. C	ñve			2/1		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク](自主学習支援)	プレ	ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記		レポー実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレー観点授業態度・参加意欲(ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解決	決能力)
テキスト	『保育英語』 赤松直子(成美堂)						
参考書	保育英語検定受験予定の者は、各自の英語力に応じたテキスト・問 『保育英語検定テキスト3級(改訂版)』社団法人保育英語検定協会 『保育英語検定テキスト2級(改訂版)』社団法人保育英語検定協会 『保育英語ワークブック (保育英語検定3級問題集)』社団法人 『保育英語ワークブック (保育英語検定2級問題集)』社団法人	著(本の: 著(本の: 国際子育	泉社)、2000円 泉社)、2000円 て支援機構著 140	0円	望ましい。		
課題に対する フィードバック の方法	提出されたリポートについては、コメントを付けて返却します。						
	本授業では定期試験を実施する。 5回以上の欠席は認めないが、正当な理由がある場合は考慮しますの 授業には辞書を必ず持参すること。 授業の進み具合によっては、授業計画は前後することがあります。)で、必ず	ーーーーー 報告すること。				
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育							

授業名**保育英語コミュニケーション** b・ c

授業計画	学修項目	学修内容・課題
12 未 们 四	オリエンテーション	(学修内容)保育英語について考える
第1回		(事前事後学修課題の内容) (15分) シラバスを読む
第2回	Chapter 7 すいかで遊ぼう	pp.42-44の予習、英作文の練習問題をしておく。 (学修内容)行事で使う英語表現 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第2凹 ————————————————————————————————————	Chapter 7 * ** ** ** ** ** ** * * * * * * * *	(争削争後子修味超切付合)(60万) pp. 45-47の予習、英作文の練習問題をしておく。 (学修内容)グループワークの実践
	Chapter 7 おなかですいかが大きくなるよ	(子形内谷) グループソーグの美成
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.48-50の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 8 お誕生日おめでとう	(学修内容)お誕生日会で使う英語表現、グループワークの実践。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.51-53の予習、英作文の練習問題をしておく。
	Chapter 8 スターが生まれました	(学修内容)招待状を作成するときに使う英語表現、グループワークの実践。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第5回		pp.54-56の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 9 子どもと遊び	(学修内容)子どもと遊ぶ時に使う英語表現、プレゼンテーションの実践。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.57-59の予習、英作文の練習問題をしておく。
	Chapter 9 マーク君、やった!	(学修内容)感情をあらわす英語表現、ペアワークの実践。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.60-62の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 10 赤ちゃんニュース	(学修内容)赤ちゃんを保育するときに使う英語表現、グループワークの実践。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第8回		pp.63-65の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 10 おむつ交換をしてもよろしいですか?	(学修内容)赤ちゃんへの語りかけに使う英語表現とグループワークの実践。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回	<i>n</i> . :	(事制事後子修味題の内谷) (00万) pp.66-68の予習、英作文の練習問題をしておく。
	Chapter 11 歯の妖精	(学修内容)歯磨きを指導するときに使う英語表現とプレゼンテーションの実践。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分) pp.69-71の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 11 妖精の物語	(学修内容)乳児室で使う英語表現
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.72-74の予習、英作文の練習問題をしておく。
	Chapter 12 緑の目の魔女	(学修内容)演劇会での英語表現、プレゼンテーションの実践。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.75-77の予習、わからない単語は辞書で調べておく。
	Chapter 12 どの魔女がどの時計を見たの?	(学修内容)お楽しみ会での英語表現
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) pp.78-80の文法説明を読んでおく。
	テキスト総復習 (1)	(学修内容)テキストの文法問題の復習
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト文法問題の見直し
	テキスト総復習 (2)	(学修内容)日常で使える英語表現
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト英作文の見直し

授業名	社会的養護	開講	1回生	単位数	2単位	科目	CE1211
	Principles of Corporate Parenting	学年開講	秋学期		必修	選択	
		時 期 対 象			選択		
担当者		学 生	幼児教育1回生				
授業の概要	子どもは家庭で養育されることが望ましいが、事情により家庭だ「離れて施設で生活をしたり、家庭から通園して養護を受けることがる解し、児童の正常な成長・発達を保証するために必要な知識、技術「再統合的機能についても学習する。	ある。本科	料目では、社会的養	養護施設の	目的と機能	能を理	
学修成果到達目標	社会的養護において、一人ひとりの児童の権利が守られ、その正然、技術の理解と児童観、施設養護観の醸成を図るとともに、児童福祉のではで理解する。						
	知識・理解	-	l用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	4.7. 194	合的な学習経験と	創造的思	考力		
万町との原産							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		ブループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (80%) 口述 実習 実技	平常記		・ レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	テキスト 新 保育士養成講座 第5巻 社会的養護と障害児 新 保T プリントを配布して授業を行う	育士養成 詞	榡座編纂委員会/ 編	全国社	会福祉協	義会	
参考書	社会的養護の課題と将来像の実現に向けて http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/syakaiteki_yougo/dl/yougo_ 新しい社会的養育ビジョン http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintouj 児童福祉法、児童虐待防止法	-		000173206	.pdf		
課題に対する フィードバック の方法	授業内で実施する演習問題は解説を実施する。						
留意事項	授業で話す事例や視聴する映像教材の内容も試験の範囲となる。						
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:社会的養護施設である母子生活支援施設に304	丰以上勤剂	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				

授業名 社会的養護

計画		学修内容・課題
	授業概要の理解	(学修内容)授業概要とシラバスの理解
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
ま 1 凹		(事刑事後子修課題の内存)(30カ) 事前にシラバスを読んでおくこと
		チャッにノンバスを取りてのくここ
	第1章 現代社会における社会的養護の意義と歴	(学修内容)社会の変化と社会的養護の関係の理解
	史的变遷	社会的養護の基本原則の理解
第2回	~~~	(事前事後学修課題の内容)(30分)
73-H		子ども関連のニュースなどを関心をもって見る
		教科書P9~P20
	第2章 社会的養護の基本	(学修内容)子どもの権利と社会的養護の基本原則の理解
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		子どもの権利条約を確認しておく
		教科書P23~P37
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)児童福祉法と児童虐待防止法の理解
	1.社会的養護の制度と法体系	
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		児童福祉法と児童虐待防止法を確認しておく
		教科書P41~P44
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)児童相談所や福祉事務所等の理解
	2.社会的養護の仕組みと実施体系	
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		児童相談所や福祉事務所機能について確認しておく
		教科書P46~P50
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)児童虐待やDVが発生する背景と子どもへの影響の理解
~~ - —	3.社会的養護の対象	家庭養護と施設養護(家庭的養護)の理解
第6回	4.家庭養護と施設養護	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		児童虐待やDVと家庭養護と家庭的養護について調べておく
		教科書P54~P64
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)里親制度の理解
~~_	4.家庭養護と施設養護	教科書P54~P64
第7回	(里親制度)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		里親制度について調べておく
	ウンチ リムの美雄の甘土原則	教科書P54~P64
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)乳児院の理解
# 0 E	4.家庭養護と施設養護	(東前東後労牧神順の中容)(20八)
第8回	(乳児院)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		乳児院についてしらべておく 教科書P54~P64
	第3章 社会的養護の基本原則	
		(ナドッコノタ」エルメ攻ル以いと所
第9回	(母子生活支援施設)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
뉴이디	(母) 主// 文波/// (母)	日本 日
		教科書P54~P64
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容) 児童養護施設と地域小規模児童養護施設の理解
	4.家庭養護と施設養護	(ナドガサ) ル主民時地域と地域が成状ル主民時地域の注解
第10回	(児童養護施設・地域小規模児童養護施設)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
e ioEi	(儿童民族)地区 地域小流域儿童民族地区	大学的学校子 に成めが音が(30カケー) 1900年 大学的学校子 大学的学校子 大学的学校子 大学的学校子 大学的学校子 大学的学校子 大学的学校子 大学的学校子 大学の学校子
		教科書P54~P64
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)児童心理治療施設の理解
	4.家庭養護と施設養護	
第11回	(児童心理治療施設)	(事前事後学修課題の内容) (30分)
	(児童心理治療施設について調べておく
		教科書P54~P64
	第3章 社会的養護の基本原則	(学修内容)児童自立支援施設と自立援助ホームの理解
	4.家庭養護と施設養護	() DITT / DEFINATION CHANGE AVERT
第12回	(児童自立支援施設、自立援助ホーム)	(事前事後学修課題の内容) (30分)
		児童自立支援施設と自立援助ホームについて調べておく
		教科書P54~P64
	第4章 社会的養護の内容	(学修内容)様々な課題を抱えた子どもと支援の理解
	社会的養護における子どもの理解	C. C
第13回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		日常生活支援、治療的支援、自立支援について調べておく
		教科書P67~P82
	第5章 社会的養護の実際	(学修内容)アセスメントと自立支援計画についての理解
	社会的養護の子どもの理解	
第14回	第6章 社会的養護の現状と課題	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	障害児保育の基本的内容	支援記録、アセスメント、支援計画について調べておく
		教科書P89~P116
	授業の振り返り	(学修内容)テスト範囲の説明と復習
		C
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)

授 業 名	保育内容総論	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CE1301	
英 文 名	Outline of Child Care	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択		
担当者	鈴木 えり子	対象 学生 幼児教育1回生						
授業の概要	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園。 み取り、保育内容について保育の全体的構造を総合的に理解できる。 である「健康」「人間関係」「言葉」「環境」「表現」の基本的なさい、体験を通して具体的な保育の過程(計画・実践・記録・省察・記る。	ようにする 考え方をヨ	る。保育内容の多様 里解する。理解を深	もな展開に そめるため	ついて、! に保育実置	5 領域 线を行		
学修成果到達目標	1)保育内容5領域について理解できる。 2)各年齢に応じた保育内容のねらいが理解できる。 3)具体的な保育内容について実践と理論を関係づけることができる。	వె.						
	知識・理解	沂	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループワ I C T 活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (ブレー	ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テキスト	『保育内容総論-子どもと社会の未来を拓く-第3版』 近藤幹夫編:	著一青踏衫	ŧ					
参考書	文部科学省編『幼稚園教育要領』フレーベル館 厚生労働省編『保育所保育指針』フレーベル館 内閣府・厚生労働省・文部科学省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館							
	提出されたレポートについては授業内でコメントをします。 グループ発表については授業内で評価コメントを行います。 小テストについては採点して返却します。							
留意事項	保育内容を実践する。材料など指定されたものを忘れずに必ず各自	で用意し打 で用意し打	寺ってくること。					
オフィスアワー	研究室に掲示しますので確認してください。							
実践的教育								

授業名 保育内容総論

1X X 11	体		
授業計画	学修項目		
第1回	オリエンテーション 保育の全体構造と保育内容	内2 (事前事後学修記	R育内容」のことばの意味や意義を理解する。保育の全体構造と保育 客との関連を理解する。 果題の内容)(30分) どもの頃の生活や遊び活動を思い出しておく。
第2回	幼稚園・保育所・認定こども園の一日	日z (事前事後学修記	t園・保育所・認定こども園の生活の流れを学ぶ。 ▶における保育施設を理解する。 果題の内容)(30分) ♂自身の就学前までの生活環境や保育環境を振り返ってみる。
第3回	幼稚園・保育所・認定こども園の生活に即した保育内容	(事前事後学修記	推園・保育所・認定こども園の生活における保育内容を理解する。 課題の内容)(30分) 身園の年間行事についてインターネットなどを使って調べておく。
第4回	子どもの生活や遊びと保育内容との関係	容(事前事後学修記	を視聴し子どもの一日の生活の流れと保育内容を理解する。保育内 D基本的な考え方を学ぶ。 果題の内容)(30分) を視聴し、理解できたこと、できなかったことをレポートにまとめ
第5回	保育内容と歴史的変遷と社会背景	(学修内容)保育 保育 (事前事後学修訂	育内容の歴史的変遷と社会背景の変化との関連を理解する。 育活動としての遊びの重要性を理解する。 果題の内容)(30分) 頂域のねらいをワークシートを完成させて次週提出する。
第6回	保育内容 1 領域「環境」	ので (事前事後学修記	或「環境」のねらい・内容を理解する。領域「環境」と「環境構成」 ことばの違いを理解する。 果題の内容)(60分) 近な自然環境、物的環境を使った保育実践を考えて提出する。
第7回	保育内容 2 領域「言葉」	絵 ² (事前事後学修記 絵 ²	育内容「言葉」の領域と活動についてねらい・内容を理解する。 本の読み聞かせをグループで実践する。 果題の内容)(60分) 本の読み聞かせに適した絵本を選び素読をしてくる。読み聞かせ実践 後、気づきをレポートにまとめて提出する。
第8回	保育内容 3 領域「表現」	(学修内容)領域 いて (事前事後学修記 小ラ	、
第9回	子どもの発達に応じた保育の展開 ~牛乳パック制作~	のが (事前事後学修設 牛乳	乳パック制作を通して、保育活動のねらい・内容、活動展開、保育者かかわりを理解する。 果題の内容)(30分) 乳パックなど廃材を使った保育教材を考えてみる。制作に必要なもの 事備する。
第10回	小テスト 「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿」「保育内容のねらい・内容」	(事前事後学修記	Fスト 保育内容の各領域について具体的に理解する。 課題の内容)(60分) Fストの準備をする。
第11回	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域 ・活動とのつながり	事例(事前事後学修訂	見期の終わりまでに育ってほしい姿と領域および活動とのつながりを 列を通して理解する。 果題の内容)(30分) 養内の事例をノートにまとめておく。
第12回	保育内容 4 領域「人間関係」	(事前事後学修訂	或「人間関係」のねらい・内容を理解する。子どもの発達と保育内容 ついて、触れ合い遊びの実践から理解を深める。 課題の内容)(30分) っている手遊びを書き出してくる。
第13回	保育内容 5 領域「健康」	いて (事前事後学修記 「食	或「健康」のねらい・内容を理解する。子どもの発達と保育内容につて、触れ合い遊びの実践から理解を深める。 果題の内容)(30分) 食育」「運動」「基本的生活習慣」に関連する保育領域(保育内容) ついて調べておく。
第14回	生活や遊びを通した総合的な保育活動	する (事前事後学修記 「ヨ いる	果題の内容)(30分) E体的」「援助」「発達」「環境」「環境整備」「環境を通して」と うことばの意味について用語辞典を使って調べてくる。
第15回	個と集団の発達を踏まえた保育	性 (事前事後学修記 「P	育に基本的な考え方(個と集団を踏まえた保育展開)を子どもの主体 という意味との関連を理解する。 果題の内容)(30分) DCA」「個人差」「指導計画」「教育課程・保育課程」の言葉の意味 Nで調べてくる。

授	業	名	教育実習事前・事後指導 a	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	CE1413			
英	文	名	Pre and Post Guidance on Student Teaching (Kindergarten)	開講時期	秋学期		必修選択	選択				
担	当	者	鈴木 えり子・浅田 瞳・伊原 安見子・荘厳 茶茶・ 対象 対別									
			幼稚園教諭として責任ある行動がとれるように、教育実習の意義・ るための実践を積む。実習では講義や演習・実技で学んだ授業を総				ましい教師	市にな				
授業	美の村	既要										
	1)幼稚園現場で実際に保育し幼児理解を学び身に付けたことが実践できるように、総合的な力を身につけることができる。											
			2)幼稚園見学・保育の観察記録・指導計画案の理解などを通して。		教育実習への意識と	:責任をも	つことがっ	できる				
学(修成	礼果	3)幼稚園教諭として必要な資質や態度を身につけることができる。 	•								
	達目											
				1								
بدر بحد	+152 H	- ~	知識・理解 態度・志向性	-	凡用的技能 総合的な学習経験と	創造的田:	坐 力					
学位 方針			恋技・心門社	Air Air	6日的な子白紅線 C	剧逗的忠	5/]					
7.5		<u> </u>										
アクラー対象	ニン	グ		グループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評(面方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常i (50		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		制作物 実技				
評(面基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ション能力 課題) (発見・解	決能力)			
			文部科学省編『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 内閣府・厚生労働省・文部科学省編 『幼保連携型認定こども園教		要領解説』 フレー	ベル館						
テ =	キ ス	. F	京都教育大学附属幼稚園編 「教育課程・指導計画」授業内で配布: 	する								
			授業内で紹介する									
参	考	書										
			 授業中に提出されたレポートに対して、コメントをつけて返却し授:	** 中で紹言	 说を行う。							
無頭			技業中に提出されたレホートに対して、コメノトをプリて逐却し技	未内し附品								
フィー	ードノ	する バック	技業中に佐山されたレホートに対して、コメノトをフリて巡却し技: 	未内て肝菌								
	ードノ			来的 C 肝 i								
フィーの方:	ードノ	バック	教育実習に関る内容であるので無断欠席は認めない。 附属幼稚園の見学が授業時間外に設定される場合があるので、必ず	日時を確言								
フィーの方:	- ド <i>I</i> 法	バック	教育実習に関る内容であるので無断欠席は認めない。	日時を確言								
フィーの方:	- ド <i>I</i> 法 意 - フィ	「ック」 項 ス	教育実習に関る内容であるので無断欠席は認めない。 附属幼稚園の見学が授業時間外に設定される場合があるので、必ず	日時を確言								
フィーの方:	- ド <i>I</i> 法 意 事	「ック」 項 ス	教育実習に関る内容であるので無断欠席は認めない。 附属幼稚園の見学が授業時間外に設定される場合があるので、必ず 免許取得にかかわる関係科目の履修状況、出席態度によって実習が	日時を確言								
フィーの方:	- ド/ 法 意 ファー	「 項 ス ー	教育実習に関る内容であるので無断欠席は認めない。 附属幼稚園の見学が授業時間外に設定される場合があるので、必ず 免許取得にかかわる関係科目の履修状況、出席態度によって実習が	日時を確言								

授 業 名 **教育実習事前・事後指導** a

拉米针面	兴 极话口	党修 中京 细胞
授業計画	7 12 71-1	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の進め方、受講の心構えを理解する。幼稚園教育の意義、目的、方
₩4E	幼稚園実習の意義と目的	法について理解する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		シラバスを読んでくる。幼児の歌の弾き歌いを練習をする。
	幼稚園とは	/ 学校中の \ D\/D等を視聴! ・
	列作園 C は	(学修内容)DVD等を視聴し、幼稚園教育の1日の流れを理解する。
₩ o 🗔		/ 東於東後常復知時の中央 > / 50/> >
第2回		(事前事後学修課題の内容)(50分)
		幼稚園教育要領の総則を読み、幼稚園教育の目的を考える。
	 自己紹介に必要な視点をもつ	(学修内容)実習を想定した自己紹介を実践し省察する。
	日じ紀月に必要は税息をもり	(子形内台)美自を忍足した自じ細川を美成し自宗する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
250E		子どもたちに対する自己紹介の発表準備を行う。
	幼稚園の活動について	(学修内容)附属幼稚園の1年間の流れや見学で見る視点を養う
	777777777777777777777777777777777777777	(31)/1311/1311/1311/1311/1311/1311/1311/
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		幼稚園見学で何を見る必要があるのかについて考えておく
	自己紹介を発表する	(学修内容)クラス内でお互いの自己紹介を見せ合い、良い点や改善点について考え
		న
第5回		(事前事後学修課題の内容) (40分)
		クラスで一番よかった発表について意見をまとめる
	実技・教材研究 (制作と遊び)	(学修内容)季節の行事に関連した制作と制作物を使った遊びを体験する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		制作に必要なものを確認して準備しておく。
		/ 坐板上中 > //华国 o 地位 o/(1 型) - o D o 光 o
	幼稚園教諭の役割	(学修内容)幼稚園の教師の役割について学ぶ。
₩ 7 🗔		/ 東於東後常復知時の中央 > / CO// >
第7回		(事前事後学修課題の内容) (60分) 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿をワークシートに書いておく
		初光期の終わりまでに自ってはしい10の安をソークシートに書いてあく
	 実技・教材研究 (運動あそび、伝承遊び)	。 (学修内容)運動あそびや伝承遊びの実践を通して、活動の導入・展開・まとめの指
	大汉・教物別元 (建勤めとび、仏外遊び)	導計画の流れを理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
узоц		保育活動において教師が活動前にしなければならない具体的なことをま
		とめてレポート提出する。
	幼稚園の見学について	(学修内容)華頂幼稚園の概要 見学の注意事項の確認をする。
	実習記録の書き方	幼稚園実習記録の書き方について理解する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		幼稚園の見学の目的、注意事項を確認する。
	附属幼稚園の見学	(学修内容)附属幼稚園に見学に行き、子どもたちの様子や教師の活動について記録
		を取る。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		見学時に記録した内容をまとめ、レポート課題として提出する。
	内块 ************************************	/ 坐板上内 > 五体() + 1
	実技・教材研究 (行事と保育)	(学修内容)季節感を取り入れた制作を主とした保育の流れを体験する。
₩11 □		(事前事後学修課題の内容)(40分)
第11回		(争刑事後子修課題の内合)(40万) 幼児が興味をもつ教材について調べる。幼児の歌の弾き歌いを練習をす
		初光が興味をもり教材にプロで調べる。初光の歌の弾き歌印を練音を9 る。
	 歌唱指導の方法	(学修内容)実習での歌唱指導の方法について実践を通して理解する。
	3V. H1H 44 A \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	、」 № 13日 / 入日 C V 物/ F11日 サツ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
第12回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
713 / ETT		授業内で取り上げた幼児の歌の弾き歌いをできるように練習しておく。
		実習園で歌う歌や現場で弾く歌を想定しておく。
	幼稚園教育の実際 2回生から体験を聴く会	(学修内容)実習の体験を聴き自分たちの実習に見通しをもつ。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		実習体験を聞いてまとめるとともに、各自の課題を明確にする。
	指導案とは(指導案を立てる際のポイント)	(学修内容)指導案の構成、指導案を立てる際のポイントを理解する。
		(= 14 = 1/1 M. le Amor a
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業内の3つの実践活動を振り返り、実践を振り返って指導計画を立案
		し提出する。
	幼稚園現場研修のまとめ	(学修内容)各現場研修の状況と体験について共通理解し、2回生の教育実習に向け
₩4.5 E	履修カルテの記入	て各自の課題を考える。
第15回		(事前事後学修課題の内容) (60分) 1年間を振り返り、配布プリントをファイルを綴じて内容を見直してお
		「中间を振り返り、配布ノリノトをノアイルを綴じて内谷を見且しての く。
	1	\`o

授	業	名	教育実習事前・事後指導 b	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	CE1413
英	文	名	Pre and Post Guidance on Student Teaching (Kindergarten)	開 講時 期	春学期		必修選択	選択	
担	当	者	鈴木 えり子・荘厳 茶茶・浅田 瞳・渋谷 郁子・伊 原 安見子・東野 洋子・柘植 誠子	対 象 学 生	幼児教育2回生	Ē			
教育実習を行うために必要な事前の事項について具体的に学ぶ。 幼稚園教育の概要を学び現場の教育の全体が理解できるようにする。									
授美	美の相	既要							
	修成		1)実習の意義、目的を理解することができる。 2)実習に臨むための心構えや教員の倫理観が理解できる。 3)日常の態度や言動を振り返り、幼児のモデルとなるよう見直する 4)実習直前の準備として、幼児とのかかわり(指導)、指導計画等することができる。			などの重要	な意義を研	確認	
到:	達 目	標	Anith TO AZ						
~ /·	+ <u>∞</u> ⊦	- ~	知識・理解		汎用的技能 総合的な学習経験と	·创告的田			
学位方針			窓反・心円注	,	総ロツは子自経験と	. 剧足的芯	5/J		
,,,,,									
アク ラー 対象	ニン	グ		ブループ I C T活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常 (50	試験 筆記試駅 %) 口述	美 レポ 実習		制作物 実技	
評(西基		観点 授業態度・参加意欲 (ヹンテー	ション能力 課題) (発見・解	決能力)
テ:	キ ス		文部科学省編『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 内閣府・厚生労働省・文部科学省編 『幼保連携型認定こども園教育京都教育大学附属幼稚園編 「教育課程・指導計画」	育・保育	要領解説』 フレー	-ベル館			
参	考	書							
	-ドハ	授業中に提出したレポートに対して授業内で解説を行う。 けする パック							
留;	意事		教育実習に関する内容であるので無断欠席は認めない。 免許取得にかかる関係科目の履修状況、出席態度によって実習を実施 授業時間外で評価面談を行う。	もできな	いこともある。				
	フィ	^	各教員が授業内で伝えます。						
実践	的	改育							

授業名**教育実習事前・事後指導 b**

	WUVUL ANIMA	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス 教育実習事前・事後指導の授業について 春休み休暇課題の発表	(学修内容)実習関係調査表を記入し意識を確定する。授業の進め方や内容、目的を 理解する。春休み休暇課題を提出する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
		1回生の授業ファイルを見直しておく。春休み休暇課題を見直して提出する準備をしておく。
第2回	幼稚園実習に向けての準備(6月教育実習) 春休み休暇課題の発表	(学修内容)教師としての意識を高める。6月の2週間の実習内容を想定する。 実習生カードを記入する。春休み休暇課題を発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 実習生カードへ記入内容及び配布した書類等は不備がないように見直し
第3回	幼稚園の生活の流れ 6月実習目標の設定 春休み休暇課題の発表	ておく。春休み休暇課題の発表準備をする。 (学修内容)幼稚園の一日の流れを理解する。 6月の実習目標の設定する。春休み休暇課題を発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 6月の実習目標を作成し提出する。。春休み休暇課題の発表準備をする
第4回	幼稚園指導計画案の作成 教材研究を通して 6月の指導計画を立案する	。 (学修内容)指導計画の目的と書き方を理解する。6月の活動を実践する。 (事前事後学修課題の内容)(90分) 授業で実践した活動を主として、指導計画を作成し提出する。
第5回	実習の心構え 個人情報保護誓約書の説明 実習目標の下書き 返却	(学修内容)実習の心構えの確認。教育実習記録の必要性を理解し、記録の記入方法を把握する。個人情報保護の重要性と社会人としての責任を確認する。(事前事後学修課題の内容)(60分)配布された6月実習記録の概要部分、目標、実習予定表を記入しておく。実習目標の下書き添削を見直して記入しておく。
第6回	実習園とのオリエンテーションの説明 実習の振り返り報告書について説明	(学修内容)実習の振り返りの必要性を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 配布された実習記録を見直し授業内で指示した項目を記入し提出する。
第7回	実習に関する諸届けの書き方(お礼状など) 個人情報保護の誓約書について 実習評価の観点について	(学修内容)実習に関する諸届けについて書き方を理解する。守秘義務や実習評価項目について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 幼児の姿と保育の記録を作成し提出する。
第8回	実習記録記入の実際 幼稚園指導計画案の作成 (返却・アドバイス)	(学修内容)実習記録の書き方を理解する。作成提出した指導案を見直し、指導計画 作成について理解を深める。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 実習記録の実習園の概要、教育方針など必要事項を記入する。返却され た指導案を見直す。
第9回	9月の実習オリエンテーションについて 実習訪問担当教員との顔合わせ	(学修内容)9月実習の諸手続きを理解する。実習訪問担当者と面談し、実習に向けての意欲を高める。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 返却された指導案を見直し、修正する。
第10回	幼稚園教育実習期間	(学修内容)実習 (事前事後学修課題の内容)(180分) 各自の実習に応じて、設定保育・部分実習の計画や準備、ピアノ練習な
第11回	幼稚園教育実習期間	どを行う。 (学修内容)実習 (事前事後学修課題の内容)(180分) 各自の実習に応じて、設定保育・部分実習の計画や準備、ピアノ練習な どを行う。
第12回	6月実習の振り返り 9月実習の目標設定	(学修内容)振り返りシートを記入し提出する。(6月実習の振り返り、自己課題を明確する) (事前事後学修課題の内容)(60分) 実習振り返りシートの項目について考えまとめてくる。9月の実習目標 (下書き)を作成する。七夕の行事について調べる。
第13回	幼稚園指導計画案の作成 9月の指導計画(一日実習を想定して作成する)	(学修内容)9月の幼児の遊び・生活を予想して計画を立案作成する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 「教育課程・指導計画」の各学年9月の内容を予習する。
第14回	幼稚園指導計画案の作成 相互添削の方法について説明する	(学修内容)指導案の添削方法について理解する。 自分の作成した指導案を学生相互に交換し、添削し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 指導計画の考え方、記入方法を復習しておく。
第15回	9月実習に向けての心構えと準備 9月実習記録の点検・確認 履修カルテの記入 定期試験について 実習評価面談について	(学修内容)9月実習記録の配布。9月実習に向けて心構えや準備の再確認をする。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 9月の保育を予想して心構えややるべきことを確認する。9月の実習記録 の必要部分を記入しておく。

授 業 名	幼児と言葉	開講学年	1回生	単 位 数	2単位	科目 コード	CS1104
英 文 名		開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	生野 金三	対象学生	幼児教育1回生	<u> </u>			
授業の概要	領域「言葉」の指導法の基盤となる「ねらい」及び「内容」、人間 基本的知識を理解する。その上で、言葉遊び当によって子供が言葉 教材や実践について考える。さらに、児童文化財(絵本・物語等) な場面を通して理解を深める。	の楽しされ	ゅ美しさを味わい、	言葉の感	覚を豊かに	こする	
学修成果到達目標	1)言葉の獲得に関する領域「言葉」の「ねらい」及び「内容」を 2)人間にとっての言葉の意義と機能及び言葉の発達過程の概要を 3)言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解している。 4)児童文化財(絵本、物語等)の特徴を知り、工夫して活用して	理解してい					
	知識・理解		l用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
万里 この原産							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		き レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレ	ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	生野金三・香田健治・太田顕子著『保育内容「言葉」と指導法』学 教科書の購入方法については初回の授業で指示します。	教図書出版	反会 1,900円				
参考書							
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	ポートフォリオを作成しますので、授業での学びは整理しておきま ごとに整理します。資料も整理しておきましょう。学修の振り返り			題(見出	b)		
オフィスアワー	オフィスアワーの設定曜日・時間帯は研究室のドアに提示します。 ます。	それ以外の)時間帯でも、研究	室に在室	の場合、対	対応し	
実践的教育							

授業名 幼児と言葉

,	刈ルし口未	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション(授業の目的、授業の進め方	(学修内容)授業の目的と内容、進め方を確認する。
第1回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 各自、履修内容を確認しておく。
	言葉の獲得に関する領域「言葉」の「ねらい」や	(学修内容)領域「言葉」の「ねらい」及び「内容」について理解する。
第2回	「内容」	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	「言葉」の意義と機能	(学修内容)言葉の道具としての機能、伝達の機能、行動調整の機能等について理解
第3回		する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達(言葉の準備段階、一語文の時期、二	(学修内容)喃語の時期より二語発話のころまでの言葉の特色を理解する。
第4回	語文の時期)	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第5回	言葉の発達(語彙の拡大と構文化の進展、会話行動の進展)	(学修内容)単文より複文への発達、言葉による行動調整機能等について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達(思考の手段、文字言語の発達)	(学修内容)内言としての言葉、文字言語の発達等について理解する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達 (子供の言葉の収集について)	(学修内容)子供の言葉の収集の仕方について理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉の発達(収集した言葉の分析)	(学修内容)収集した言葉を分析し、子供の言葉の育ちについて理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉に対する感覚を豊かにする実践(サイコロを	(学修内容)サイコロを使った言葉遊びの方途について理解する。
第9回	使って遊ぼう)	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊び:	(学修内容)サイコロを使った言葉遊びを展開する。
第10回	サイコロを使って遊ぼう)	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
第11回	児童文化財 (絵本、物語等) の意義	(学修内容)児童文化財(絵本、物語等)について、基本的な知識を身に付ける。また、それを教育・保育にどのように取り入れるかを考える。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	児童文化財(絵本、物語等)を保育に取り入れた	(学修内容)教育・保育に取り入れる児童文化財を検討する。
第12回	実践(作品選び)	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	児童文化財(絵本、物語等)を保育に取り入れた	(学修内容)物語の展開に当たってのペープサートを作成する。
第13回	実践(ペープサートの作成)	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの該当箇所を読んでおく。
	児童文化財(絵本、物語等)を保育に取り入れた	(学修内容)作成したペープサートを基に、実践を行う。
第14回	実践(ペープサートの実践)	(事前事後学修課題の内容)(60分) ペープサートの実践に当たっての準備を行う。
	学修の振り返り、学習のまとめ(ポートフォリオ	(学修内容)学修を振り返り、ポートフォリオを作成する。
第15回	の作成)	(事前事後学修課題の内容) (30分) 学修内容を整理しておく。

授	業	名	音楽表現	開講	1回生	単位数	1単位	科目	CE1401			
	文			学年 開講 明期	春学期		必修選択	<u>コード</u> 選択				
担	当	者	坂口 みゆき・高科 絵美代・加藤 雅子・松村 佳奈・内藤 規子・服部 さやか・水谷 佳代子・阿久津 啓・後藤 由美子・今井 順子・小川 隆昭・権田 志帆子・小鍛治 弘美・千田 浩美	対象学生	幼児教育1回生	 E	選 抓	<u> </u>				
授美	業の梱	既要	子どもの姿を想像しながら,保育者に必要な音楽の基礎技術を身にように学生自身の感性や表現力を培う。	l 着ける。ま	 た , 子どもの音楽	≦表現を促	すことが ⁻	できる				
	修成達目		1)領域「表現」のねらいや内容を説明することができる。また、べることができる。 2)音楽表現に必要な、音楽の基礎知識と基礎技術を身に着け、『くことができる。 3)子どもの歌の歌唱や弾き歌いを通して、歌の世界をイメージする。 4)小グループ活動などを通して、他者と音楽的な表現を共有する。 学び、その意義を考察することができる。	バイエルと	ピアノ教則本』96番 €養い,表現するこ	がい上の曲 ことができ	を表情豊7	かに弾				
			知識・理解	汎用的技能								
学位		ラの関連	態度・志向性	4/2 nvit	合的な学習経験と	創造的思	考力					
ラー対象	ニン		PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技		月(自主学習支援) ば験 筆記試駅			ション 制作物 実技				
評(価基	- 準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (音楽的基礎能力	ゼンテーシ		孫見・解 奏・表現力)			
テ:	キス	۲,	『バイエルピアノ教則本』(音楽之友社)他,個々の経験や進度に 『子どものうた』(京都華頂大学・華頂短期大学音楽研究室発行)	応じて随明	持指定する。							
参	考	書	使用しない。									
	ードハ	するバック	毎回練習してきた曲について個別指導を行い,口頭で助言・指導を	行う。								
留;	意 事	耳	『バイエルピアノ教則本』と『子どものうた』の弾き歌いは,レッッスンを進める。授業期間内にステップ9(全15ステップ)まで終了業に出席するだけではなく,毎日のピアノの練習が必須である。 音楽療法士(2種)資格の取得を目指す学生は,1回生終了時に音さい。	しなけれ	ば,定期試験を受	けることか	ができない	。授				
	フィ		坂口(週1回 曜日と時間は研究室前に掲示)小川(週1回 曜日と 坂口・小川以外の教員(担当授業終了後に実施) *坂口・小川以外の教員のレッスンを受ける学生は,坂口・小川の		•	ださい。						
実践	影的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:おてつぎ子供奉仕団指導員歌唱指導、英国に 士、音楽教室、ピアノ講師、小学校・中学校 ・海外のコンサートに出演等の経歴を持つ教	・高等学校								

授業名 音楽表現

1文 耒 石	日米农况		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
第1回	ガイダンス	進め	の表現活動における音楽表現の意義を考える。具体的なレッスンの方を理解する。各自のピアノレッスン曲の決定する。 関節の内容)(60分)
75.11		、 小中 各レ	P高等学校の音楽の授業で学んだ基本的な音楽理論を復習しておく (シスン担当者が口頭で理解度を確認する)。
第2回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]腹式呼吸と発声法・手遊び歌	と発 (事前事後学修課	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]腹式呼吸の習得 発声法・手遊び歌「キャベツ」遊び歌「大きな栗の木の下で」 関の内容)(140分) ロッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第3回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]腹式呼吸と発声法・手遊び歌と季節の歌	法・	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]腹式呼吸と発声 手遊び歌「パンダ・うさぎ・コアラ」季節の歌「こいのぼり」 !題の内容)(140分)
7,501		各自 宿題	Iレッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上) 3:音楽理論のプリント 音の高さ
第4回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]腹式呼吸と発声法・輪唱	と発 (事前事後学修課 各自	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]腹式呼吸の習得為法・輪唱「かえるの合唱」「一年中のうた」 題の内容)(140分) ロッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第5回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]輪唱(小グループ活動)	(学修内容)[ピ うた (事前事後学修課 各自	③:音楽理論のプリント 大譜表 アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]輪唱「一年中の:」(小グループ活動) 思題の内容)(140分) ロレッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第6回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]輪唱のグループ発表(小テスト)	(学修内容)[ピー うた (事前事後学修課	望: 音楽理論のプリント 音名と変化記号 アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]輪唱「一年中の こ」のグループ発表 思題の内容)(140分) ロレッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第7回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・付点とシンコペーションのリズムの練習	とシ (事前事後学修課 各自	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・付点 ソンコペーションのリズム「おべんとう」「おつかいありさん 思題の内容)(140分) ロレッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第8回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・付点とシンコペーションのリ ズムの練習	(学修内容)[ピ とシ (事前事後学修課 各自	・音楽理論のプリント 変化記号 アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・付点 ンコペーションのリズム「こぶたぬきつねこ」「かたつむり」 思題の内容)(140分) ロレッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上) に音楽理論のプリント 音符と休符
第9回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・付点とシンコペーションのリズムの練習	(学修内容)[ビニ とシ (事前事後学修課 各自	3. 自来注:
第10回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・付点とシンコペーションのリズムの練習	(学修内容)[ピン とシ (事前事後学修課	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・付点 アンコペーションのリズム「いぬのおまわりさん」「アイアイ」 見題の内容)(140分) 日レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第11回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・付点とシンコペーションのリズムの練習	とシ (事前事後学修課	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・付点 ンンコペーションのリズム「アンパンマンたいそう」 UUD (140分) リレッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第12回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・試験曲の発表と個人ボイスチェック	曲の (事前事後学修課	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・試験)発表と個人ボイスチェック !題の内容)(140分) レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第13回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・試験曲(個人ボイスチェック)	曲の (事前事後学修課	アノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・試験 練習(個人ボイスチェック) 題の内容)(140分) レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第14回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・試験曲(個人ポイスチェック)	練習 (事前事後学修課	アノ]各自指定された試験曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・試験曲の 『(個人ポイスチェック) 『題の内容)(140分) 『レッスンを受ける試験曲を練習する(1日20分~30分以上)
第15回	声楽のまとめ	(事前事後学修課 声楽	どものうた」歌唱指導の総括と声楽小試験 関題の内容)(140分) (の試験曲を練習する(30分以上) フノの試験曲を練習する(1日20分~30分以上)

授	業	1 名	音楽表現	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード CE1408			
英	文	、 名		開講時期	秋学期		必修選択	選択			
担	놸	4 者	坂口 みゆき・永峯 翠子・内藤 規子・小鍛治 弘美・権田 志帆子・千田 浩 美・北村 陽子・松村 佳奈・水谷 佳代子・加藤 雅子・今井 順子・小川 隆 昭・後藤 由美子・服部 さやか・高科 絵美代・阿久津 啓	対象学生	幼児教育1回生	<u> </u>					
授美	ξ σ.)概要	音楽表現 での学びを基盤として,子どもの姿をより具体的に想像身に着ける。子どもの音楽表現を促すことができるように学生自身の				技術や表現	見力を			
		成 果目 標	1)子どもの表現活動における音楽表現の意義について,1年間の学2)音楽表現に必要な,音楽の基礎知識と基礎技術を身に着け,『に弾くことができる。 3)子どもの歌の歌唱や弾き歌いを通して,季節や自然に対する感じたことやイメージを工夫して表現することができる。 4)小グルーブ活動などを通して,他者と音楽的な表現やイメージを体験的に学び,さらに豊かな音楽表現活動へとつなげることができ5)子どもの発達に応じた音楽表現活動の展開を考え,発表すること	ブルグミ 性を高め を共有す きる。	ュラー25の練習曲』 ,歌の世界をイメー ることや,他者と却	1番以上 <i>0</i> -ジする想)曲を表情 像力を養し	豊かハ,感			
			知識・理解	,	汎用的技能						
学位	授	与の	態度・志向性	ź	総合的な学習経験と創造的思考力						
方針	اع	の関連									
ラー対象	授			グループ I C T活。 平常	用(自主学習支援)		ゼンテー	ション 制作物			
ā † 1	ІЩ	方 法	(50%) 口述 実習 実技	(50	%) 口述	実習	9	実技			
評(価	基 準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (音楽的基礎能力	ゼンテー:		発見・解 奏・表現フ)			
テ゠	‡	スト	『バイエルピアノ教則本』バイエル著(音楽之友社)他,個々の経 『子どものうた』(京都華頂大学・華頂短期大学発行)	験や進度	こ応じて随時指定す	る。					
参	老	善書	使用しない。								
	- F	対する ^ド バック	毎回練習してきた曲について個別指導を行う。								
留;	意	事 項	『バイエルピアノ教則本』と『子どものうた』は,レッスンのステ 授業期間内にステップをすべて(全15ステップ)終了しなければ, けではなく,毎日のピアノの練習が必須である。 音楽療法士(2種)資格の取得を希望する学生は,必ず1回生のうださい。	定期試験	を受けることができ	ない。授	業に出席で	するだ			
	-	ィス ! -	坂口(週1回 曜日と時間は研究室前に掲示)小川(週1回 曜日と 坂口・小川以外の教員(担当授業終了後に実施) *坂口・小川以外の教員のレッスンを受ける学生は,坂口・小川の		-	 〔ださい。					
実践	影的	到教育	実践的教育 教員の実務経験など:おてつぎ子供奉仕団指導員歌唱指導、英国にる 士、音楽教室、ピアノ講師、小学校・中学校 ・海外のコンサートに出演等の経歴を持つ教!	・高等学							

授業 名 音楽表現

按 耒 右	日米农况	
授業計画	学修項目	
第1回	[ピアノ]教則本と弾き歌いの個別レッスン [声 楽]仏教聖歌・発声の発展・秋の歌	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・『コンコーネ50番』よりNo.8・秋の歌「こおろぎ」「こぎつね」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第2回		(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]仏教聖歌・『コンコーネ50番』よりNo.8・秋の歌「きのこ」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第3回		(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]「コンコーネ50番」よりNo.11・秋の歌「まっかな秋」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第4回	[声 楽]発声の発展・秋の歌	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]「コンコーネ50番」よりNo.11・秋の歌「やきいもグーチーパー」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上) 宿題:音楽理論のプリント 拍子
第5回	[声 楽]リズムの発展	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズムの発展「となりのトトロ」「小さな世界」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上) 宿題:音楽理論のプリント シンコペーション・アウフタクト
第6回	[声 楽]リズムの発展	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズムの発展「さんぽ」「小さな世界」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上) 宿題:音楽理論のプリント 奏法
第7回	[声 楽]リズムの発展	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズムの発展「 うたえバンバン」「思い出のアルバム」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上) 宿題:音楽理論のプリント 繰り返し記号
第8回	[声 楽]リズム打ち	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズム打ち「思い出のアルバム」「ぞうさん」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第9回	[声 楽]リズム打ち(小テスト)	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズム打ち「ぞうさん」(小テスト) (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第10回	[声 楽]リズム遊び(小グループ活動)	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズム遊び(カスタネット・鈴・タンバリン)「あわてんぼうのサンタクロース」 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第11回	[声 楽]リズム遊び(小グループ活動・発表)	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]リズム遊び(カスタネット・鈴・タンバリン)「あわてんぼうのサンタクロース」発表 (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第12回	[声 楽]試験曲の発表と個人ボイスチェック	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]試験曲の発表と 個人ボイスチェック (事前事後学修課題の内容) (140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第13回	[声 楽]試験曲(個人ボイスチェック)	(学修内容)[ピアノ]各自指定されたレッスン曲の個別指導/[声楽]試験曲の練習(個人ポイスチェック) (事前事後学修課題の内容) (140分) 各自レッスンを受ける曲を練習する(1日20分~30分以上)
第14回	[声 楽]試験曲(個人ボイスチェック)	(学修内容)[ピアノ]各自指定された試験曲の個別指導/[声楽]試験曲の練習(個人 ポイスチェック) (事前事後学修課題の内容)(140分) 各自レッスンを受ける試験曲を練習する(1日20分~30分以上)
第15回		(学修内容)「子どものうた」歌唱指導の総括と声楽小試験 (事前事後学修課題の内容)(140分) 声楽の試験曲を練習する(30分以上) ピアノの試験曲を練習する(1日20分~30分以上)

授	業	名	音楽表現	開講学年	2回生	単 位 数	1単位	科目コード	CE2415
英	文	名		開講時期	春学期		必修選択	選択	
担	当	者	小川 隆昭・後藤 由美子・水谷 佳代子	対象学生	幼児教育2回生	<u> </u>			
			幼稚園・保育所の実習・就職試験、更には将来保育現場で役立つ実 通して豊かな感性や表現力、及び音楽の楽しさ・喜びを身に付け、が緊張せずに行えるように弾く機会を増やし、最後まで止まらずに	 践的な能力 それらを伝	ええる方法を学ぶ。				
授業	€の村	既要							
学 f 到 j			1)「子どものうた」のレパートリーを拡げることができる。 2)初見・伴奏付けの力をつけることができる。 3)人前で弾き歌うことに慣れることで、実習や幼・保就職試験、引 ることができる。	更には就職	銭後の保育現場で即]、役立つ	技術を身Ⅰ	こ付け	
23 /		1 124	40200 VII 07	1 1					
			知識・理解	-	L用的技能	اران د مارید شهر سازه	± +		
学位			態度・志向性	AZ	合的な学習経験と	創造的思*	专刀		
方針	رں ک	判理							
アク	ティ	ブ・	PBL ディスカッション・ディベート ゲ	⊢ ⊬∵u ⊸r⊏		- 71	#`= :	2, = 2,	
ラー 対象:) ーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記(30		き レポ 実習		制作物 実技	
評(西 基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テ =	トス	۱,	「子どものうた」華頂短大音楽研究室 編						
			使用しない。						
参	考	書							
課題 フィ- の方:	-ド/		練習してきた曲は授業の中でレッスンします。(幼児の曲に限る)						
留意	章 事	項	積極的に練習し、実習や幼・保の就職試験を目指して、弾き歌いの [・]	できる曲を	E増やすことが大事	0			
オ:ア	フィワ		小川以外は担当授業後に実施。小川は後日研究室前に掲示。小川以外は担当授業後に実施。小川は後日研究室前に掲示。小川以外	外の教員の)クラスも小川のオ	フィスア	ワーの可。		
実践	的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:教員の実務経験など:おてつぎ子供奉仕団指導が担当。		5導、音楽・ピア <i>ノ</i>	講師等の	 経歴を持 ⁻	○ 教員	

授業 名 音楽表現

1X × 1	日米农况						
授業計画	学修項目		学修内容・課題				
	ガイダンス、初見・歌唱 1	(学修内容)春学	期授業計画・注意事項・初見・歌唱				
第1回		'	題の内容)(20分)				
		'子	どものうた」を数曲練習する				
	 教育実習(幼稚園実習)準備1、初見・歌唱2	(学校由家 \ 夕 /	の幼稚園で歌われている「こどものうた」などの伴奏				
	対角美質 (幼稚園美質) 宇備 「、 初兄・ 歌帽 2 コードネーム・伴奏付け		の幼稚園で歌われている。ことものうた」などの件楽				
第2回			題の内容)(90分)				
211-1			どものうた」を練習し、指示した曲、直しておく箇所を弾けるよう				
		にす					
	教育実習(幼稚園実習)準備2、初見・歌唱3	'	稚園実習準備)継続、初見・歌唱、伴奏付け基本練習				
答。同	コードネーム・伴奏付け・手遊び		びの確認・習得を目指す				
第3回			題の内容)(90分) ・どものうた」を練習し、指示した曲、直しておく箇所を弾けるよう				
			る。手遊びの練習をする				
	教育実習(幼稚園実習)準備3、初見・歌唱4		稚園実習準備)継続、初見・歌唱、伴奏付け基本練習				
	コードネーム・伴奏付け	手遊	びの確認・習得を目指す				
第4回			題の内容)(120分)				
		-	どものうた」を練習し、指示した曲、直しておく箇所を弾けるよう				
	 春学期前半まとめ、初見・歌唱5		る。手遊びの練習をする ・・歌唱、個人チェック曲練習				
		(子修內台)初兄	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
第5回		(事前事後学修課	題の内容)(120分)				
		「子	どものうた」の練習をする				
		(当	プロに知時曲を しぜって … い かなやのまやまなどはマルン				
	第1回個人チェック 歌唱指導1	(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	·一プ別に課題曲を一人ずつチェック。教育実習事前事後指導で作成 ·各自の指導案に基づいて、実施に歌唱指導を行う				
第6回			日日の指導系に基づけて、美心に敬唱指導を11プ 題の内容)(120分)				
카이터			どものうた」の練習をする				
		_	プサート等準備、作成した指導案を確認する				
	歌唱指導2	'	指導を一人ずつ行う。教育実習事前事後指導で作成した各自の指導				
			基づいて、実施に歌唱指導を行う				
第7回			題の内容)(120分)				
		_	·どものうた」の練習をする ·プサート等準備、作成した指導案を確認する				
	歌唱指導3		プラード 守年 備、下成 ひた 珀 寺来 を 確 応 する 指導を一人ずつ行う。教育実習事前事後指導で作成した各自の指導				
	an and 43 o	1 .	基づいて、実施に歌唱指導を行う				
第8回		(事前事後学修課	題の内容)(120分)				
		「子	どものうた」の練習をする				
	AD C (N/ ± / 1 / 1 A ± ± /± 22 /		プサート等準備、作成した指導案を確認する				
	初見。伴奏付け補充練習 1 	(字修内谷)幼・	保の就職試験に向けての実践練習				
第9回		(事前事後学修課	題の内容)(60分)				
21.5.		'	どものうた」の練習をする				
	初見。伴奏付け補充練習 2	(学修内容)幼・	保の就職試験に向けての実践練習				
第10回		(事前事後学修課	題の内容)(60分)				
УЗТОД		1 -	どものうた」の練習をする				
	初見。伴奏付け補充練習 3	(学修内容)幼・	保の就職試験に向けての実践練習				
第11回		(事前事後学修理	題の内容)(60分)				
AP III I			·どものうた」の練習をする				
	初見。伴奏付け補充練習 4	(学修内容)幼・	保の就職試験に向けての実践練習				
₩40□		(事前事後当均等	順の内容 \ / co/\ \				
第12回		1 -	.題の内容)(60分) - どものうた」の練習をする				
	春学期後半まとめ	(学修内容)初見	・歌唱、伴奏付け				
mr		/ = # * * * * * * * * * * * * * * * * * *					
第13回			題の内容)(60分) ・どものうた」を練習し、指示した曲、直しておく箇所を弾けるよう				
		にす					
	初見・伴奏付けテスト		保就職で出題される曲を中心に初見伴奏付けテストを行う				
		、テラrsロノツ Movies C回返C1vの叫ですいに別元件実刊リノス「で1]ノ					
第14回		1 -	題の内容)(60分)				
			付けの練習をする。個人チェックの課題曲を練習する				
	第2回個人チェック	(学修内容)課題	曲を一人ずつ聴く				
第15回		1 -	題の内容)(120分)				
		個人	チェックの課題曲を練習する				

授 業 名	音楽表現	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	CE2423
英 文 名		開講時期	秋学期		必修選択	選択	
担当者	千田 浩美・後藤 由美子・水谷 佳代子	対象	幼児教育2回生	<u> </u>	ı		
	幼稚園・保育所の実習及び就職試験に即、対応する能力と、幼稚園	学 生・保育園に	│ □ □就職した場合は、	現場で役	立つ実践的	勺な能	
	力を養う。また、同時に「子どもの歌」や合奏を通して豊かな感性	や表現力及	及び音楽の楽しさ・	喜びを身	に付ける。		
授業の概要							
	│ │1)幼・保就職試験に対応できるピアノの技術力を身に付け、演奏 │2)現場で役立つピアノの実践的な能力を身に付けることができる						
	3)ビアノ弾き歌いで表現力豊かに演奏できる。 4)初見で簡単な楽譜に編曲でき、演奏できる。	•					
× 45 - 13 - 17	5)「子どものうた」のレパートリーを増やすことができる。						
学 修 成 果到 達 目 標							
	知識・理解	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	4/2	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・							
	PBL ディスカッション・ディベート	グループワ	フーク	ブレ	ゼンテーシ	ション	
ラーニング対象授業			フーク 用(自主学習支援) 		ゼンテーシ	ソョン	
ラーニング			用(自主学習支援)		一ト #	ション 訓作物 実技	
ラーニング 対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラーニング対象授業 評価方法	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラーニング対象授業評価方法	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラーニング対象授業 評価方法	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラーニング対象授業 評価方法	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ授業態度・参加意欲 (7子どものうた」華頂短大音楽研究室 編	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラーニング対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 (60%) 筆記試験 又ポート 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室編	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラース 対象評価事するご (実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ授業態度・参加意欲 (7子どものうた」華頂短大音楽研究室 編	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラーニ 授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 (60%) 筆記試験 又ポート 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室編	I C T活用 平常記 (40	用(自主学習支援)	と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラース 対象 アース アース アース アース アース アース アース アース ・ボース 	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 (60%) 筆記試験 又ポート 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室編	I C T 活用 平常記 (40 ゼンテーシ	用(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題) (と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラース 対象 アース アース アース アース アース アース アース アース ・ボース 	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 (60%) 筆記試験 口述 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室編 使用しない 練習してきた曲は授業の中でレッスンします。	I C T 活用 平常記 (40 ゼンテーシ	用(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題) (と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラ対評テ参課フの二授価価キまン業方基エー法事びよっよっ項	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室 編 使用しない 練習してきた曲は授業の中でレッスンします。 幼・保の就職試験に対応するため、個人指導を増やし、時間外にも	I C T 活用 平常記 (40 ゼンテーシ	用(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題) (と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラ対評テ参課フの留オン業二授価価キ対パまン業方基スオープの項スび大スままよび大よよよよよびよよよよよよよびよよよ </td <td>実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 (60%) 筆記試験 口述 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室編 使用しない 練習してきた曲は授業の中でレッスンします。</td> <td>I C T 活用 平常記 (40 ゼンテーシ</td> <td>用(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題) (</td> <td>と レポ 実習 (発見・解</td> <td>ート #</td> <td>訓作物</td> <td>)</td>	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 (60%) 筆記試験 口述 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室編 使用しない 練習してきた曲は授業の中でレッスンします。	I C T 活用 平常記 (40 ゼンテーシ	用(自主学習支援) ば験 筆記試験 %) 口述 /ョン能力 課題) (と レポ 実習 (発見・解	ート #	訓作物)
ラ対評デ参課フの日本	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室 編 使用しない 練習してきた曲は授業の中でレッスンします。 幼・保の就職試験に対応するため、個人指導を増やし、時間外にも担当授業後に実施。 小川のオフィスアワーも可。 実践的教育	ICT活用	用(自主学習支援) (試験 筆記試験 第記試験 1	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	ート #	到作物 尾技)
ラ対評デ参課フの日本	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (「子どものうた」華頂短大音楽研究室 編 使用しない 練習してきた曲は授業の中でレッスンします。 幼・保の就職試験に対応するため、個人指導を増やし、時間外にも 担当授業後に実施。 小川のオフィスアワーも可。	ICT活用	用(自主学習支援) (試験 筆記試験 第記試験 1	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	ート #	到作物 尾技)

授業 名 音楽表現

12 * 1	日米农坑	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業内容の説明、歌唱、初見
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		「子どものうた」を数曲練習しておく
	 初見・伴奏付けテスト	(学修内容)就職試験のリハーサル
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		初見、伴奏の練習をしておく
	初見・伴奏付け補充練習	(学修内容)歌唱・初見伴奏付け
第3回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
ઋ이터		初見、伴奏の練習をしておく
	初見・伴奏付け補充練習	(学修内容)歌唱・初見伴奏付け
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		初見、伴奏の練習をしておく
	第 1 回個人チェック	(学修内容)前半課題曲の小テスト
	ピアノ練習曲	就職試験でのピアノ曲を練習
第5回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		個人チェック曲練習しておく
		就職試験で弾く曲を練習しておく
	リズム変奏	(学修内容)マーチ・スキップ・かけ足・ワルツに変奏
₩ .c=	ピアノ練習曲	就職試験でのピアノ曲を練習
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) ピアノの練習しておく
		就職試験で弾く曲を練習しておく
	 初見・伴奏付け補充練習	(学修内容)歌唱・初見伴奏付け
	ピアノ練習曲	就職試験でのピアノ曲を練習
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		初見、伴奏の練習しておく
		就職試験で弾く曲を練習しておく
	初見・伴奏付け補充練習	(学修内容)歌唱・初見伴奏付け
第8回	ピアノ練習曲	就職試験でのピアノ曲を練習 (事前事後学修課題の内容)(60分)
寿 0凹		(争刑争後字形誅題の内谷)(60カ) 初見、伴奏の練習しておく
		就職試験で弾く曲を練習しておく
	初見・伴奏付け補充練習	(学修内容)歌唱・初見伴奏付け
	ピアノ練習曲	就職試験でのピアノ曲を練習
第9回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		初見、伴奏の練習しておく
	(日本来にしての主义体羽4(生活の動4)	就職試験で弾く曲を練習しておく
	保育者としての音楽練習1(生活の歌1)	(学修内容)保育を想定しての音楽教育全般の練習 生活の歌を中心に模擬練習
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
узтод		生活の歌を中心に練習しておく
	保育者としての音楽練習2(生活の歌2)	(学修内容)保育を想定しての音楽教育全般の練習
₩44 □		生活の歌を中心に模擬練習
第11回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 生活の歌を中心に練習しておく
		エルツまででに終白してのへ
	保育者としての音楽練習3(季節の歌1)	(学修内容)保育を想定しての音楽教育全般の練習
]	季節の歌を中心に模擬練習
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		季節の歌を中心に練習しておく
	 	(学校市家) 伊喜た相守 アホ辛寮 独幸奉献の徳翔
	保育者としての音楽練習4(季節の歌2)	(学修内容)保育を想定しての音楽教育全般の練習 季節の歌を中心に模擬練習
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
2,3.00		季節の歌を中心に練習しておく
	保育者としての音楽練習5(合唱)	(学修内容)保育を想定しての音楽教育全般の練習
***		合唱曲を中心にグループワークを行う
第14回		(事前事後学修課題の内容)(120分) 合唱曲を準備する
	第 2 回個人チェック	(学修内容)後半課題曲の小テスト
	1	
第15回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		個人チェック曲の練習をしておく

授	業	名	造形表現	開講学年	1回生	単 位 数	1単位	科目コード	CE1403		
英	文	名		開講時期	春学期		必 修選 択	選択			
担	当	者	山部 泰司・服部 正志・藤本 裕紀	対象学生	幼児教育1回生	Ī					
授美	€の村	概要	子どもの発達にとって大切な絵を描いたり、物をつくったりする子ど 礎的な技能や知識について学ぶとともに、制作を楽しみ,自分の中に 作活動を実施する。また、その制作、制作物について記録できる力を	もの造形 ある柔軟							
		龙 果 目 標	1)様々な表現の方法を、描いたり作ったりする体験を通して学ぶ。 2)表現方法や材料を工夫して自分らしい作品をつくることができる 3)制作した作品やその表現技法、作品に考察を加え、美しく分かり 4)秋学期の「新装開店 子どもデパート」についての導入を行う。	-	: とめることができ	÷る。					
			知識・理解	汎用的技能							
学位 方針			態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力				
刀亚	رں ے	川利廷									
アクラー	ニン	グ	PBL ディスカッション・ディベート グ 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) I		リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション			
対象	授業		大日・フィールドフーク エモ・カカ (СІДА	1(日工于日又扱)						
評(西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		制作物 実技			
評(西基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレゼ 観点 授業態度・参加意欲 (学修成果・到達目標によ			発見・解	決能力)		
テ:		書	「幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形材料」樋口一成編 萌文 保育所保育指針、幼稚園教育要領の改訂についてなど、参考資料のプ		:授業時に配布する	0.0					
課題 フィ・ の方	-ド/	するバック	各課題の提出時、また、制作物をまとめたワークブックについて指導	を行う。							
留;	意事	耳項	制作活動に適した服装・持ち物等に留意すること。授業には筆記用具 必携の画材,スケッチブックを購入すること。	を持参す	ること。						
	フィワ	· ス -	登録学生の時間割により決定し研究室前に掲示する。	_							
実践	的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:幼児の絵画教室などでの指導、造形ワークショ 造形について話をします。	ップ、自	1らの造形活動での	経験をも	とに、子の	どもの			

授業 名 造形表現

	坦形农坑		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
第1回	ガイダンス 鉛筆の表現、なぐりがき	鉛筆で (事前事後学修課題	の内容)(30分)
	水彩絵の具による表現 にじみ絵など	必携教	『スに目を通してまとめておく 対材を持参すること 会の具の使い方や技法にじみ絵などの技法遊び
第2回		(事前事後学修課題 教科書	風の内容)(30分) 書の関連箇所114,120,121頁を読んでまとめておく
第3回	水彩絵の具による表現 ドリッピングほか	(事前事後学修課題	会の具の技法 ドリッピング、デカルコマニーなどの技法遊び 風の内容)(30分) 骨の関連箇所50,51,122,123頁などを読んでまとめておく
第4回	水彩絵の具による表現・作品のまとめ	(事前事後学修課題	レた作品をスケッチブックにまとめる 凰の内容)(30分) レた技法について調べてまとめておく
第5回	水彩絵の具による表現 スパッタリングなど	(事前事後学修課題	会の具の技法 スパッタリング、スタンピングなどの技法遊び 夏の内容)(30分) 書の関連箇所23頁などを読んでまとめておく
# 0 E	水彩絵の具・パスによる表現		会の具・パスによる技法 バチック、など
第6回			書の関連箇所54,55,56,57頁などを読んでまとめておく
第7回	水彩絵の具・パスによる表現・作品のまとめ	(事前事後学修課題	∪た作品をスケッチブックにまとめる 凰の内容)(30分) 骨の関連箇所に目を通してまとめておく
	パスによる表現	(学修内容)パスに	
第8回		(事前事後学修課是 教科書	風の内容)(30分) 骨の関連箇所124,125,128,129頁などを読んでまとめておく
第9回	パスによる表現・作品のまとめ	(事前事後学修課題	ルた作品をスケッチブックにまとめる 種の内容)(30分) ルた技法について調べてまとめておく
第10回	フロッタージュ(表面の凹凸を写す) コラージュ(フロッタージュからの展開)	(事前事後学修課題	- ジュの技法による個人の表現 昼の内容)(30分) ▇130,131頁を読んでまとめておく
第11回	いろいろな版画表現	(事前事後学修課題	5法・活用・展開などについてまとめる 風の内容)(30分) 骨の関連箇所150,151頁などを読んでまとめておく
第12回	「新装開店 子どもデパート」の導入	(事前事後学修課題 子ども	こついての説明とグループ作り 配の内容)(30分) 5の造形活動について考えながら、教科書を読んでまとめておく 5での作品をまとめてスケッチブックを提出する
第13回	「新装開店 子どもデパート」のアイデアづくり	(事前事後学修課題	こついてのグループ、ディスカッション。 風の内容)(30分) O作品のアイデアを考えてまとめておく
第14回	「新装開店 子どもデパート」の製作計画	(事前事後学修課題	表開店 子どもデパート」で必要な材料や技法について調べる 風の内容)(30分) 骨の関連箇所を読んでまとめておく
第15回	まとめ・レポート	作品、 作品等的	è体の振り返り、造形表現の意味と大切さについて学ぶ。 および、ワークブックの返却 夏の内容)(30分) 『学んだ事を振り返ってまとめておく

控	邪	名	造形	= IP	 				開講	1回生	出 	対 1単位	科目	CE1409		
12	未	———	坦心	マゾ	,				学 年 開 講		十 位 女	× 「辛拉 必修	コード	CE 1409		
英 ——	文	名							時期	秋学期		選択	選択 			
担	当	者	山部	泰司	・服部	正志	・藤本	裕紀	対象学生	幼児教育	1回生					
授業	ぎ の	この授業では、さまざまな材料による造形体験を持ち幼児期の造形活動の意味について理解を深める。又、子どもの生活環境や発達に応じた素材や課題の選択、用具の扱い方や環境の整備についての理解を深める。「子どもデパート」の取り組みでは、グループワーク、ディスカッションを通して発表の方法を工夫し、子どもの意欲をひき出す動機付けや声かけなど主体的に学ぶ機会とする。また、後半の授業では保育の場でよく使われる造形材料などについて学ぶ。														
	-	或 果 目 標	2)子	どもが	造形表現	によって	て伝えたい	図画工作についての知識 N内容や気持ちを理解でき 理解して活動の方法や題材	る柔軟な感	性を養う。	రె.					
				知識・	理解				汎用的技能							
学位		_		態度・	志向性				1	総合的な学習終	経験と創造的思	思考力				
方針	Łσ.	D関連														
アク・	ティ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚	P B				ディフサ]ッション・ディベート	グループ		→ 1	レゼンテー	2, 7 2,			
ラー:対象					ールドワ	ーク		5月(双方向型授業)		用(自主学習)		ノビノ) ー	7 3 7			
評値	西ブ	方法		試験 %)	筆記 口述	試験	レポート 実習	> 制作物 実技	平常 (50				制作物 実技			
評(西基	甚 準		評価の 点	1	・理解 態度・参	コミニ 参加意欲	ュニケーション能力 プ (レゼンテー	ション能力)	課題発見・触 (解決能力)		
テ =	ŧ 7	スト	「幼児	造形の	基礎 乳	幼児の道	造形表現と	:造形材料」樋口一成編	萌文書林(1 回生春学期	閉購入のものを	使用)				
参	考	書	プリン	ト等で	配布する											
	-ド	対する バック	「子ど	もデパ・	ート」に	ついての	のまとめし	ンポート、自己評価チェッ	ク票による	学修内容の到i	達度を知る					
留意	意事	事項	子ども	との関	わりや造	形活動は	こふさわし	ブループワーク、創作活動 い1服装や態度、言葉遣い ざもとの関わりの機会を持	を心がける	-						
	フィ	ィス -	登録学	生の時	間割によ	り決定し	ン研究室前	们に掲示する。								
実践	的	教育		的教育 実務経!			会画教室な ついて話を	よどでの指導、造形ワーク E します。	ショップ、	自らの造形活動	動での経験をも	もとに、子	どもの			

授業 名 造形表現

	追形农 况	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	子どもデパート	(学修内容)子どもデパートのための課題の説明
~~ . 🗆		春学期のディスカッションの内容を振り返り、グループにより計画する
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 春学期のさまざまな技法の学習を復習してまとめておく
		教科書24~29頁を読んでまとめておく。
	子どもデパート	(学修内容)課題についてのグループでの相談する
		具体的な制作物やプランについて試し、工夫する
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配布プリントを読んでまとめておく
		教科書30~41頁を読んでまとめておく。
	子どもデパート	(学修内容)材料について理解し、制作の分担や行程について把握し、話し合う
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) さまざまな素材を探してまとめておく
歩 3凹		教科書42~47頁を読んでまとめておく。
		ATTELL TIER CHILD CO. CO. C.
	子どもデパート	(学修内容)子どもを想定して展示の環境構成について工夫する
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		子どもの動きと活動について考えてまとめておく
	子どもデパート	(学修内容)華頂祭での作品の準備と展示の素材を完成させる
₩r.⊟		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第5回		(争削争後子修誅趙の内合)(30カ) 展示作業などの予定を立てまとめておく
		版が行来などのうだと立てなどのくのく
	子どもデパートの発表	(学修内容)グループでの制作をもとに子どもと関わり、子どもを理解する
₩ □		(事益事後尚攸知時の中央)(20八)
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもの発達について調べまとめておく
		教科書106~107頁を読んでまとめておく。
	子どもデパートのまとめと考察	(学修内容)課題が達成できたか。レポートと考察をおこなう
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		自らの取り組みについて考えてまとめておく
	指絵の具をつくる	
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキスト112,151頁を読んでまとめておく
	小麦粉粘土をつくる	(学修内容)小麦粉粘土の制作と遊び
	小支が相工をラくる	イどもと粘土の出会いについて考えて話し合う
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキスト158~163頁を読んでまとめておく
	75 to 77 o #1/fr 4	
	張り子の制作 1	(学修内容)かたちをつくり、和紙を貼り込む
第10回		 (事前事後学修課題の内容)(30分)
УЗТОД		つくりたい作品のアイデアを考えてまとめておく
	張り子の制作 2	(学修内容)彩色とニス塗り
~~		はりこを完成させる
第11回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 前回の内容を完成させておく
		が言うにはなる。
	マーブリング紙の制作	(学修内容)マーブリング紙をつくる
		色彩の美しさや偶然にできるかたちの面白さに気づく
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキスト126,127頁を読んでまとめておく
	マーブリング紙の活用	 (学修内容)制作したマーブリング紙で何かをつくる
		作品を記録して提出する
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		アイデアを考えてまとめておく
	スライムをつくる	(学修内容)スライムの制作と遊びへの展開
		スライムと子どもの活動について考える
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		スライムについて調べその技法をまとめておく
	まとめ	
		(プラット) について理解する
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		自らの活動について考えてまとめておく
		教科書207~213頁を読んでまとめておく。

授	業	名	身体表現(音楽とリズム)	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CE1410	
英	文	名		開講時期	秋学期		必修選択	選択		
担	当	者	佐東 恒子	対 象 学 生	幼児教育1CD・	1EF				
授業	幼児期は生涯にわたる健康の基礎をつくる時期であり、子どもの発達に適した運動経験を積んでいく必要がある。運動遊びの実践を通して、遊びの中で体を動かす楽しさを体験しながら、それらの遊びの特性について理解を深める。子どもの発育・発達を視野に入れながら、多様な運動遊びの指導方法や援助について学び、運動遊びの重要性を理解する。保育の現場で、子どもたちにどのように言葉がけをすれば、子どもたちのやる気を引き出せるかを考える授業でもある。 ≰の概要									
学值到道			(1)保育現場で運動遊びの指導をする時に、理解しておかなければなによって運動遊びの指導ができる。 (2)子どもたちが楽しいと感じられる運動遊びの指導ができる。 (3)友達と一緒に体を動かすことの楽しさを、子どもに伝えることが (4)子どもの発育・発達を理解し集団遊びの指導ができる。	できる。		Ŀ				
بدر ا ب د	+132 F	- ~	知識・理解態度・志向性		l用的技能 総合的な学習経験と	创造的田	<u>*</u>			
学位 方針。		_		fivit	5日的な子白紅駅へ	剧坦的忠	5/1			
アクラ ラー3 対象	ニン	グ		ブループワ C T活用	フーク 月(自主学習支援)	プレ	ゼンテー	ション		
評個	方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技	平常記 (40		き レポ 実習		制作物 実技		
評個	基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレセ 観点 授業態度・参加意欲 (ジンテーシ	ソョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テ キ	- ス	. F	保育と幼児期の運動遊び」岩崎洋子編著(萌文書林)							
参	考	書	『幼児体育 基礎理論と指導の方法』 前橋明編著 樹村房 『幼児の運動遊び』 菊池秀範・石井美晴編著(相川書房) 『0∼5歳児の運動遊び指導百科』 前橋明著(ひかりにくに株式会社	Ė)						
課題 l フィー の方	・ドノ	する	提出されたレポートは、コメントを付けて返却する。 実技については、その都度コメントをする。 ック							
留意	重	項	保育者として現場に立つ時の事を考えて、積極的に運動遊びに取り紅毎回の学習内容をノートにまとめておく。課題で提示される内容につ							
オファ	フィワ	^	担当授業終了後に実施する。	_						
実践	的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:復活幼稚園・向陽幼稚園・ひかり幼稚園・篠村 奈良教育大学附属小学校(非常勤講師)京都文 佛教大学 {表演運動}(非常勤講師) 大谷大 社会活動として高齢者の健康体操やヨガの指導	て教短期プ マ学 { 保育	· 大学 { 幼児体育 } (非常勤講)		

授業名 身体表現(音楽とリズム)

第1回	ガイダンス 基本の運動	(学修内容)授業の目的や、授業の進め方について説明。 子どもの運動遊びの必要性について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業内容をノートにまとめて提出。 (学修内容)歩くと走るの違いについて知る。歩く・走る・跳ぶの動きからいろいな遊びに発展させることを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 基本の運動にはどの様な運動があるかを調べノートにまとめ提出。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業内容をノートにまとめて提出。 (学修内容)歩くと走るの違いについて知る。歩く・走る・跳ぶの動きからいろいな遊びに発展させることを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第2回		授業内容をノートにまとめて提出。 (学修内容)歩くと走るの違いについて知る。歩く・走る・跳ぶの動きからいろいな遊びに発展させることを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回		な遊びに発展させることを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回		な遊びに発展させることを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回	リズム運動	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回	リズム運動	
第3回	リズム運動	
第3回	リズム運動	
		(学修内容)いろんなリズムに反応して動いてみる。(反応遊び)2拍子~4拍子
		リズム遊び。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		どのようなリズムが有るのか考え、ノートにまとめ提出。
第4回	リズムダンス	(学修内容)楽しくリズムに合わせて体を動かし、表現力を身につける。子どもが
75 · II		しめるリズムダンス。 (事前事後学修課題の内容)(80分)
		幼児の好きな曲を選曲し、簡単な動きを考えノートにまとめて提出す
	-12 11 \\\ 12 \\\ 12 \\\	
	ボール遊び	(学修内容)ボールの特性を知る。つく・蹴る・ころがす・投げる・ 受ける・などの遊びを行う。ボール遊びを安全に行うための指導を学ぶ。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		少人数で行うボール遊びを考えノートにまとめ提出。
	ボールでゲーム遊び	(学修内容)多人数でのボール遊び。いろんなゲーム遊びを体験し、子ども達に楽
	N N C	いゲーム遊びを提供出来るようにする。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		子どものころに遊んだゲーム遊びを思い出し、ノートにまとめ提出。
	フープ遊び	 (学修内容)フープの特性を知り、まわす・転がす・くぐる・投げる・跳ぶ遊びを
		う。フープ遊びを安全に行うための指導を学ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		いろんなフープ遊びを考えノートにまとめ提出。
	フープでゲーム遊び	(学修内容)グループでのフープ遊びを行う。グループで競争ゲームを行う。協力
		る事を経験する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) いろんなゲーム遊びを考えノートにまとめ提出。
		いらかなノーム遊びを考えノートによこの旋山。
	マット遊び	(学修内容)床を利用しているんな動きを行う。(床となかよし這い這いで進む、
₩ o 🗔		物遊び)基本的技能をしっかり把握する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回		「毎日事後子彦麻越の行行」(60万)
	マット遊びの補助	(学修内容)マット遊びの注意点について説明。前転・後転の補助の方法を学ぶ。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 補助で大事な事は何かをノートにまとめ提出。
20.11		
	ふわ 本口 流行	/ 学校市家 / フェンショ ゴナ 厨 りゃがと 一 た 紅眼 / 5 年 地 中 か 立 こ 性 が ナ か こ と か で か か か か か か か か か か か か か か か か か
	ふれあい遊び	(学修内容)スキンシップを図りながら、信頼関係や仲間意識を培う遊びを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第11回		スキンシップが図れる遊びをノートにまとめ提出。
	縄遊び(短縄・長縄)	(学修内容) 縄を使っていろんな遊びが出来る事を知る。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		いろんなとび方を考えてノートにまとめ提出。
	創作ダンス	(学修内容)子どもの好きな乗り物を表現する。グループで創作し発表する。
~~		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回		表現する乗り物の動きをまとめて提出する。
	パラバルーン遊び	(学修内容)パラバルーンの扱い方を知る。みんなと協力して行う遊びである事を
第14回		る。(協力遊び)敏捷性・判断力・協調性等養う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
בודינע		パラバルーンの遊びを調べノートにまとめ提出。
	- 1 u	() W Aby _ print > ATT NE A ALL _ 100 A ALL _ 100 A ALL _ 100 ALL
	まとめ	(学修内容)授業全体の振り返りを行い、学びや課題について話し合う。 運動遊びの投資を行う時の保育者の役割について託し合う
第15回		運動遊びの指導を行う時の保育者の役割について話し合う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
л. о <u>ш</u>		運動遊びの重要性を、レポートにまとめて提出する。

授	業	名	身体表現(音楽とリズム)	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CE1410	
英	文	名		開講 時期	秋学期		必修選択	選択		
担	当	者	眞﨑 雅子	対 象 学 生	幼児教育1AB					
授業	切児期は生涯にわたる健康の基礎をつくる時期であり、子どもの発達に適した運動の経験が求められる。本授業では、身体表現や運動遊びの実践を通して体を動かす楽しさを体験し、遊びの特性について理解する。特に、子どもの発育・発達を視野に入れた指導や援助について学習する。理解を深めるために、適宜グループワークを実施する。 授業の概要									
学们到证			1)様々な運動遊びを経験し、子どもの発育・発達に応じた遊びを 2)遊びの展開・発展に必要な着眼点や基本的な配慮点がわかる 3)楽しく多様な動きを取り入れ、年齢に応じた子どもの体操を創							
				T 1						
			知識・理解		汎用的技能					
学位		_	態度・志向性		総合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針	との	関連								
アク: ラー: 対象:	ニン	グ		グループ ICT活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテー:	ション		
評(西 方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技		試験 筆記試駅 %) 口述	・ ・ 実習		制作物 実技		
評(西 基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテー	ション能力 課題) (発見・解	決能力)	
テ=	キ ス	. F	【 ISBN 】 9784893472748 【 タイトル 】 保育と幼児期の運動あそび 第2版 【 編著者 】 岩崎洋子/吉田伊津美/朴淳香/鈴木康弘 【 出版社 】 萌文書林							
参	考	書	「幼稚園教育要領」・「保育所保育指針」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育内容『表現』 からだで感じる・表す・伝える 」株式会社杏林書院 書							
課題 フィー の方:	- ドノ									
留意	意事	項	積極的な受講姿勢を尊重する。自身の健康維持、安全管理に留意し次々と新しい教材を学ぶので、毎回各自で予習・復習をしっかりする場合もある。				-	更にな		
	フィワ	^	担当授業終了後に実施する。							
実践	的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:ダンスインストラクターとして、子どもから ・コミュニティーセンター及び幼稚園での ・小学校での土曜教育プログラムにおける ・教育委員会主催体育研究会の講師、親子	保護者を 「リズム	対象としたダンス指 遊び・からだの遊び	導	師			

授業 名 身体表現 (音楽とリズム)

受業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の目的や、授業の進め方について説明する。
第1回		幼児期の運動遊びの必要性について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
新 I 凹		後:授業内容と振り返りを提出する
		及,10米11日 11版 7 起 7 年提出 7 0
	幼児期の運動・リズム遊び	(学修内容)リズム遊びが子どもの心と体の成長にどのように寄与するのかを、手遊
		び歌やわらべ唄に合わせた体遊びの体験を通して考察する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 前:手遊びやリズム遊びについて調べておく
		り、子班のドウスム班のにつけて調べてのく 後:授業内容と振り返りを提出する
	リズム遊び	(学修内容)多様なリズムに反応して動いてみる。リズム表現から体全体を使った表
		現へと発展させ、身体機能を高める方法を学ぶ。
第3回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		前:多様なリズムパタンについて考えておく
	リズムダンス	後:授業内容と振り返りを提出する (学修内容)リズミカルな動きを習得し、リズムダンスの楽しさを体感すると同時に
	324922	(学)
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		前:発達年齢に応じた動きについて調べておく
		後:授業内容と振り返りを提出する
	鬼遊びとボール遊び	(学修内容)様々な鬼遊びや、子どもの投力を高めるための遊びの展開方法を学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 前:年齢に応じた投球フォームを確認し、ボール遊びの種類を調べる
까이디		後:授業内容と振り返りを提出する
	フープ遊び・縄あそび	(学修内容)フープの特性を知り、まわす・転がす・くぐる・投げる・跳ぶ等の様々
** • •		な遊びを通して、個から集団へと遊びの展開方法について理解する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 前:色々なフーブ遊びを考えておく。
		後:授業内容と振り返りを提出する
	マット遊び	(学修内容) マットを利用した遊びを通して、動きのバリエーションについて学ぶ。
		前転・後転・側転遊びの補助の方法を身に付ける。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		前:マット遊びとして動物のなりきり遊びについて調べておく
	マット・跳び箱・平均台を使った遊び	後:授業内容と振り返りを提出する (学修内容)マット・跳び箱・平均台の特性について理解し、それらを利用した遊び
	「	を通して、遊びのレパートリーを広げる。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		前:マット・跳び箱・平均台の特性と多様な遊びについて調べておく
		後:授業内容と振り返りを提出する
	身近にあるモノを使った遊び サーキット遊びの計画	(学修内容)身近にある新聞紙・袋などを使った遊びを通して、即興的に子どもが染しめる遊びについて理解し、次週のサーキット遊びを計画する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
×11-5-		前:マット・跳び箱・平均台の特性と多様な遊びについて調べておく
		後:授業内容と振り返りを提出する
	サーキット遊びの展開	(学修内容)グループで考案したサーキット遊びを実施し展開させ、保育者・子ども
第10回		の視点から評価する (事前事後学修課題の内容)(30分)
35 TOE		前:グループで計画を練っておく
		後:授業内容と振り返りを提出する
	パラバルーン遊び	(学修内容)パラバルーンの特性を知り、基本の動きから大技まで表現方法を学ぶ。
~~		グループで協働的に作品を完成させる。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 前:パラバルーンの特性や表現方法について調べておく
		制:バラバルーグの特性や表現方法について調べておく 後:授業内容と振り返りを提出する
	子どもの体操創作(発達年齢に応じた動きの選択	(学修内容)体操の基本的な考え方を学び、グループで体操を創作する。幼児の年齢
)	に合った体操を考える。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		前:キッズダンスを参考に年齢に合わせた曲や動きを考える
	マジェの休場創作(曲に合った動きの選切)	後:グループワークの振返りを提出する (学修内容)体操の動きを見直し、様々な動きを取り入れたリズミカルで効果的な体
	子どもの体操創作(曲に合った動きの選択) 	(学修内各) 体操の割さを見直し、様々な割さを取り入れたり入りカルで効果的な 操に仕上げる。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		前:子ども達が楽しめる効果的な体操の流れについて確認し修正する
		後:グループワークの振返りを提出する
	子どもの体操創作(演出方法の工夫)	(学修内容) フォーメーションや演出方法など、歌のテーマに合わせた体操に仕上げ
		る。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第14回		
第14回		
第14回		前:グループ練習・自主練習をする
第14回	創作体操の発表会(自己評価と他者評価)	
第14回	創作体操の発表会(自己評価と他者評価)	前:グループ練習・自主練習をする 後:グループワークの振返りを提出する
第14回	創作体操の発表会(自己評価と他者評価)	前:グループ練習・自主練習をする 後:グループワークの振返りを提出する (学修内容)各グループで創作した体操を発表し、自己評価と他者評価をする

対象学生 幼児教育2回生 実 習 名 **教育実習 (**CE2418) 鈴木 えり子・武田 康晴・浅田 瞳・渋谷 郁子・名賀 亨・福井 百合子・東野 洋子・髙岡 理恵・野田 隆生・柘植 誠子・山部 泰司・林 静香・小川 隆昭・荘厳 茶茶・伊原 安見子・坂口 みゆき・眞崎 担 当 者 雅子 幼稚園教諭二種免許状取得に必要な幼稚園教育実習を行う。 実習では、幼稚園の保育の中で幼児や教師とかかわり、一人一人の幼児を理解することが重要であり、教師の姿から保育に対する考え 方や指導方法を学んでいく。さらに、幼児とのかかわりを通して子ども観、教育観を形成していくための幼児理解を積み重ねていくこ とが重要である。 机上の勉強だけでは習得できない様々な体験を重ね、幼稚園の教育現場で教員として実際に保育していく上に必要なことを学び、学校 で学んだ理論や学習内容を確認する。 実習は教師として人間として成長する重要な学びの場であり、教師として幼児を育てる意義について深く考え自覚する貴重な機会 である。 華頂短期大学附属幼稚園や各都道府県市町村の公立・私立の幼稚園および認定こども園で、2年次に4週間、教育実習を行う。 6月に2週間、9月に2週間の合計4週間の実習を行う。原則、同一園で実習を行うものとする。 教育実習の期間中に実習園を訪問し巡回指導を実施する。但し、訪問による巡回指導が難しい場合は同等の手段 (google meet等の遠隔での面談指導)を用いて実施する。 教育実習は、限られた期間内で効果的な体験が得られるよう、次の段階を踏まえて実施する。 実習の概要 1.事前オリエンテーション 実習園でオリエンテーションを受け、実習園の沿革、人的・物的環境、学級編成、幼児の実態、教師の役割などを総合的に 把握し、幼稚園の全体像を知る。 2.参加実習 担任の助手的な立場で保育活動に参加し、幼児とのかかわりを実習体験し、幼児のすがた、教師の対応を体験しながら学ぶ。 3.部分実習・指導実習(研究実習) 実習生が主体となって指導計画案を立案し、実際に指導を担当する。この指導実習を通して自ら反省し指導を振り返る。 さらに、担当教員から講評・指導を受けて、次への指導の向上を図る。 「教育実習事前事後指導」(1回生秋学期、2回生春学期)を必ず履修すること。 「教育実習事前事後指導」の出席状況、受講態度および各種レポート等の提出がない場合には、実習を中止することがあるので

教育実習開始までに1回生時の履修状況に不十分な点であると判断した場合、実習を当該年度に開始できないことがある。

実習に伴う各書類の提出に不備がある場合は実習開始できないこともあるので気をつけること。

気をつけること。

備

実 習 名	保育実習 a (CE1414) 対象学生 幼児教育1回生
担 当 者	高岡 理恵・安藤 正彦・武田 康晴・名賀 亨・野田 隆生・鈴木 えり子・眞崎 雅子・柘植 誠子・山部 泰司・東田 みすづ・林 静香・浅田 瞳・小川 隆昭・坂口 みゆき・福井 百合子・荘厳 茶茶・渋谷 郁子
実習の概要	「保育実習」は「保育所実習」と「施設実習」があり、どちらの実習も実施しなければならない。 1 ・実習目標・目的 実習では、授業で習得した基礎知識や技能を実際の職務に応用しながらその経験を通して乳幼児(利用者)に対する理解を深める こと、保育士の職務内容を理解し保育・養護技術を習得すること、保育士としての自覚を高めることを目標にします。 2 ・実習内容及び実習形態 保育所実習 公立・私立の認可保育所(幼保連携型認定こども園を含む)で行う。 実習時期は1回生の2~3月、実習日数は原則1日8時間以上、80時間以上(10日間以上) 通動による実習 実習先は近畿2府4県と福井県内とし、その選定方法は「保育実習指導」において説明します。 施設実習 児童福祉法に定められる児童福祉施設等で保育所以外の居住型福祉施設で行う。 実習時期は1回生の2~3月、実習日数は原則1日8時間以上、80時間以上(10日間以上) 原則宿泊による(一部のみ通勤)による実習 実習先の種別:現児院・児童語のみ通勤)による実習 実習先の種別:現児院・児童語のみ通勤による実習 実習先の種別:現児院・児童語のよりのよる実習 実習先の手刻・記よる、(個人的な事情等については事前に申し出ることで配慮します) 3 ・実習生に対する指導法 実習中は、実習担当職員からの指導・助言を受けながら実習を行います。教員は、原則的に実習中に1回訪問し、指導を行う。 4 事前事後指導等の内容について 実習先で事前にオリエンテーションを受け、事前オリエンテーション報告に記入します。 その際、実習先で指導された内容について詳細に記載するとともに、教員に伝える必要性のある事項については、必ず連絡すること。 指導は個別に行うこともあるため、Gメールを利用し、教員としっかり連絡をとるように心がけてください。 5 ・実習受講条件 「保育実習指導」」を受講していること 6 ・実習態度等 実習先の方針や守秘義務を遵守しなければなりません。社会とのかかわりの第一歩であるため、積極的に実習に臨んでください。また、子どもとかかわることを意識した、表情や態度を示してください。
備考	・この科目の単位認定されるには、「保育実習指導」を履修する必要があります。「保育実習 」と「保育実習指導」は個別に単位認定されますがそれぞれが有機的に連動している科目のため単独で単位認定されることはありません。 ・保育実習指導(1回生春学期・秋学期)を必ず履修していること。 ・出席状況および各レポート等が未提出の場合は実習できないこともあるので気をつけること。 ・実習記録は毎日提出すること。

	/日本中間 (050400)	5. W. W. 体旧数在0回件
美 習 名	保育実習 a (CE2420) 対:	象 学 生 幼児教育2回生
担当者	林 静香・浅田 瞳・小川 隆昭・坂口 みゆき・荘厳 茶	茶・渋谷 郁子・福井 百合子・眞崎 雅子
実習の概要	1.目標・目的「保育実習 (保育所・施設)」の保育所実習で学んだ内容を発展的に深2.保育実習 (保育所)の内容 乳幼児の成長・発達を理解し、個々に応じた保育者の援助について学健康管理、安全対策、子どもの心身の状態に応じた環境づくりを学ぶ保育実習 の内容(観察・参加・部分実習)に加えて、指導計画を立保育士の業務内容や職業倫理を学び、記録に基づく省察と自己評価を3.実習生に対する指導方法原則的に実習中に1回以上、巡回指導を行い、保育所の実習指導担当者4.実習形態公立・私立の認可保育所(幼保連携型認定こども園を含む)で行い、期間は、2回生の8月のうち10日間以上(休みを除く)であり、85.事前事後指導等の内容等(必要性)について「保育実習指導」で事前指導を受けた者が、実習を行うことができる席した場合には、実習を行えないとすることがある。体調管理や衛生管理実施の可否の判断基準となる。また、実習後には、保育所の評価に基や出勤簿の提出を義務付ける。	学ぶ。 ぶ。 立案し研究実習(部分、半日、全日のいずれか)を行う。 を行う。 皆との連携のもとに実習生へのスーパービジョンを行う。 原則「保育実習」の保育所実習先と同様とする。 30時間以上の実習を行わなければならない。 3。保育実習指導で提出物・レポート等の未提出並びに無断欠 里が求められる実習だけに、保育実習指導への積極的な参加が
備考	【留意事項】 COVID-19感染症について 平素より自身の健康・体調管理を徹底し、 1.実習受講の条件 = 〇「保育実習」の実習を終了していること。 」の単位を取得することを条件とする。〇「保育実習」と「保育実習指で個別に単位認定されることはありません。 2.実習態度、参加意欲 = 〇ブライバシー保護に基づいて、実習中に保護者の権利擁護を最優先とし、安全な実習が行えるように、危険防止、	○「保育実習」の単位を取得するには、「保育実習指導 指導 」は形式上個別に単位認定されますが、連動しているの に知り得た情報を第三者等に漏らしてはならない。○子どもと

授	業	名	保育実習指導 a	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード CE1406		
英	文	名	Guidance on Child Care Training	開講時期	春学期		必修選択	選択		
担	当	者	高岡 理恵・林 静香・武田 康晴・眞崎 雅子・安藤 正彦・野田 隆生・東田 みすづ	対象 学生	幼児教育1回生	Ξ.				
授	業の	この授業は、保育を担う豊かな感性をもつ保育士資格を取得するための必修科目であるため、保育士に必要な知識、技術、態度、職業倫理を学ぶ。 具体的には、実習事前準備として、実習目標や記録の意義の理解、保育実習の意義・目的の理解、実習施設の概要、実習施設における子どもの人権とプライバシーへの配慮、援助職に求められるコミュニケーション等について学ぶ。 実習施設の生活の流れや保育士の職務について理解や、援助職に求められるコミュニケーションが必要とされることからも、講義だけでなく視覚教材の使用、グループワークやディスカッションも取り入れる内容とする。								
_		戈 果 目 標	 1)保育実習の意義・目的・内容を理解できる。 2)実習生としての心構えが身についている。 3)学生間、教員とのコミュニケーションがとれる。 4)約束事を守ることができる。 							
			知識・理解		l用的技能	A13# ## ITT	.			
学位方針		与の)関連	態度・志向性	※	合的な学習経験と	. 創造的思	考刀			
アク ラー 対象	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評	価方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		策 レポ 実習		制作物 実技		
評	価基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (提出物の期限厳守	ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (題発見・解	決能力)		
テ	キフ	۲ ۲	新・基本保育シリーズ20 保育実習 近喰晴子・寅屋壽廣・松田純	子編 中央	공法規					
参	考	『保育所保育指針』厚生労働省、フレーベル館 『保育所保育指針解説書』厚生労働省、フレーベル館 『 勃保連携型認定子ども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 『 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説書』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 必要です								
	ードル	する バック	ワークを行ったあとに課されるレポートについては、確認後返却を 授業後の振り返りシートも同様。	行う。						
留	意 事	耳項	保育実習に関わる内容であるので、無断欠席及び遅刻は認めない。 及び教員に連絡を行う必要がある。 学科の保育関係科目の状況及び出席状況、受講態度や理解度によっ の提出遅れや未提出の場合も同様である。(要注意)							
	フィ 7 ワ	, ス -	専任教員は各研究室に日時を掲示しますので確認してください。 非常勤教員は授業終了後に実施します。							
実践	影的	教育								

授 業 名 **保育実習指導** a

## 15	1文 未 口	体月天白拍导 d		
#	授業計画	学修項目		
#		ガイダンス	(学修内容)授第	************************************
### 7947-19 - 4、わからない部向について終べる ### 7947-19 - 4、わからない部向について終べる ### 7947-19 - 4、わからない部向について終べる ### 7947-19 - 4、わからない部向について終べる ### 7947-19 - 4、わからない部向について深くる ### 7947-19 - 4、わからない部向について深くる ### 7947-19 - 4、わからない部向について深くる ### 7947-19 - 5、わからない部のについて深くる ### 7947-19 - 5、わからない部のについて深くる ### 7947-19 - 5、わからない語のについて深くる ### 7947-19 - 5 - 5、わからない語のについて深くる ### 7947-19 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -		保育実習指導を学ぶにあたっての諸注意		
### 世子大下りました。大学政府の (大学政府) (大学政府政府) (大学政府) (大学政府政府) (大学政府) (大学政	第1回		(事前事後学修設	果題の内容)(20分)
(常和古典和成的の自動性)			事前	前 シラバスを読んでくる
#福祉世としての検育士 (特別・			事後	後 テキストp3~4、わからない語句について調べる
第3回 (事前事業学物経験の内容) (009) 事前 テキストゥー・4、わからない語句について描べる 事前 テキストゥー・5、わからない語句について描れる 事前 テキストゥー・6、わからない語句について描れる 事前 テキストゥー・6、わからない語句について描れる 事前 テキストゥー・8、わからない語句について描れる 事性 テキストゥー・8、わからない語句について描れる 事性 テキストゥー・8、かからない語句について描れる 事性 テキストゥー・9 を担していて作る。 (学体内等) グループワークを通して、社会であられる信仰主、自身身が目指す 人を修用するの場所では、1090) 事前 作用するとかにする (学体内等) グループワークを参配し、社会であられる信仰主、したするとつにする (学体内等) グループリークを参配しての資子での原子の原発・回発を行い、自身 のおさずへを修用するとからにする (学体内等) グループリークを参配して、対理はしての原子の原発・10分音が出たしての原子の原子で原子をからないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな		保育士資格取得の位置付け	(学修内容)福祉	止職としての保育士が理解しておくべき職務内容や法的根拠のもとに
第40		福祉職としての保育士		
#単位 テキストゥラ・8、わからない場所について思いる (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方質の影響・目的) (有方型の関連解と 目指すべき信息上の関連化 一方であります。	第2回			
第3回				
第3回 保育主の職務理解と 保育土の職務理解と 日和すべき体育土の開発化 (学物内等)グループワークを減して、社会で表のおれる保育土、自分自身が目形すべきを信用土の機能について 第4名 (学物内等)グループワークを減して、社会で表のおれる保育土、自分自身が目形すべきを持てなる場合しの開発化 (学物内等)グループワークを減して、社会で表のもれる保育土、自分自身が目形すると特別を開発と (学物内等)グループロークを減して、社会で表のとれる保育土 (学物内等)グループロークを減して、社会で表のは、日本の理解を行い、自身 のカオマベを発土の機能としての保育土の理解を行い、自身 のカオマベを発土の他の開催と (学物内等)グループロークを持て、会社を発生を発展である。 第4 日指すべき保育土を含まままがる。 パート800字 事項 日指すべき保育土を含まままする。 パート800字 事項 日指すべき保育土を含ままする。 パート800字 事項 と対しから (のかけ) 事項 日指すべき保育土を含ままでする。 パート800字 事項 と対しから (のかけ) 事項 日指すべき保育土を含ままでする。 パート800字 事項 と対した (を行る)の知識と技術1 日前の理解 (学物内等)保存実工の夢文は様と自身について、グルータのフェクを基して必要を発起の内容(のか) (のかけ) 事項 に自身を発起した (で発力を対しては自身について、グループロークを基して必要を発起の内容(のかけ) 原列 (のかけ) 事項 (保育工程を含ままでする。 アループロークを基して必要を発起の内容(のかけ) 原列 (のかけ) 事項 (保育工程を含ままでする。 アループロークを基して必要を発起の内容(のかけ) 原列 (のかけ) 事項 (保育工程を含ままでも) 表では自身に対していて、グループロークを基して必要を発起の内容(のかけ) 原列 (のかけ) 事項 (保育工程を対した) 第40 別 現場がで発展した。 (事前事を存起題の内容)(のかけ) 事項 (保育工程を対した) 表では、表に関し、そこで他く保育工程を対していて、クルート800字) 事項 (保育工程を対して、対しが、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、			3.12	2 7 1711 P 2 17 1870 D 617 HH 510 P 7 1873 1 6
第3回		1	(字修内容)保育	育士になるための字びや保育実習で字ぶ意義・目的・内容を埋解する
## テキストゥ 5 - 8、かからない語句について謂べる	~~ o ==	保育実督の概要	(市公市从公均5	明明の中央ン(20八)
東台1の職務接触と 日指すべき保育士の開発(1) 保育士の役割について 保育士の役割について (素)・	弗3回			
横音上の個特別類と (学術内等)グリー・プワークを通して、社会で求められる保育上、自分自身が目指す べき保育上の開発化1 (保育土の役割について (事前事と学校課題の内容)(60分)				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
## 1988		保育十の職務理解と		
## (季音生の役割について				
第一個	第4回	[· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
### (学修内等) グループワークを参考にし、福祉職としての保育士の理解を行い、自身のかちずくを保育士を開催する。	212 114	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
当指すべき保育士の解経化2			事後	を 目指すべき保育士像を考え言語化できるようにする
### (事前事実會議議題の内容) (200分) 東省で必要な基礎的な知識と技術		保育士の職務理解と	(学修内容)グノ	レープワークを参考にし、福祉職としての保育士の理解を行い、自身
#前 日指す、全接自土像を書屋に変をし、ボート800字 東田 で必要な基礎的な知識と技術1		[· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
#86 目指すべき保育土像を言葉にする。レボート800字 #87	第5回	目指すべき保育士像		
# 10回				
第6回 レボートの書きかた (事前事後等議題の内容) (30分) 事前 目指すべき保育工像を言葉できる。レボート800字 事後 テキスト「保育」、原17-を表示、とからない語句を調べる。 学権の計 日間で、会議が、わからない語句を調べる。 (学体内部) 保育素質に必要な目標と目的について、グループワークを通して何を学びたいのか出しらい。目命の目標を明確にする。 (学体内部) 保育素質に必要な目標と目的について、グループワークを通して何を学びたいのか出しらい。目命の目標を明確にする。 (学体内部) 保育素質に必要な目標と目的について、グループワークを通して何を学びたいのかい自分に、目命の目標を明確にする。 (学体内部) 保育素質に必要な目標と目的について、グループワークを通して何を学びたいのかい自分に、同時で、「保育」、できな、わからない語句を調べる。 学後 保育素質目標についてノートに書いてくる 学後 保育素質に保育所でで「会質」を保護の内容) (60分) 事前 保育素質目標を指する (学体内部) 保育素質 (60分) 事が 保育素質目標を指する (学体内部) 保育素質 (60分) 事が 保育素質 (60分) を発する (60分) 事が 保育素質 (60分) 事が 保育素質 (60分) 事が 保育素質 (60分) を発する (60分) では (60分) 事が 保育素質 (60分) を発する (60分) では (60分) を発する (60分) を発する (60分) では (60分) を発する (60分) を発				
# 1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 '	
#前 目前すべき保育当像を言葉にする。レイト800字 東後 子名入「保育所、P17-8 を読み、わからない認句を調べる。 東図で必要な基礎的な知識と技術1 日格と目的の理解 第7回 第8回 東図で必要な基礎的な知識と技術2 日標と目的の理解 第8回 東図で必要な基礎的な知識と技術2 日標と目的の明確化 (字修内容) 保育素図に必要な目機と目的について、グループワークを通して何を学びたいのか出し合い。 目標の目標を明確にする。 (事態条学修課題の内容) (20分) 事的 テオスト (保育所、産務み、かからない語句を調べる。事を 保育薬園目標についてノートに書いてくる 事体 保育薬園目標と同様で書 (学修内容) 保質解析のでけつる姿でがたいのか (学修内容) 保質解析のにして美国情を思確にしてノートに書いてくる 事体 保育薬園目標を指についてノートに書いてくる 事体 保育薬園目標を指についてノートに書いてくる 事体 保育薬園目標を指してします。 (学修内容) 保育薬園目標を指してします。 (学修内容) 保護期のの音) (00分) 第10回 第10回 第10回 第2回 東部議談を理解する1 (学修内容) 実習施設の一つである「帰かい児・者」施設の保育生の信息を理解し、そこで働く保育工の役割を理解する。 (学修内容) 実習施設の一つである「保育が限、現児院、を理解し、そこで働く保育工の会場を理解する。 (学修内容) 実習施設の一つである「保育・加速の保育工の仕事(レポート800字)事体 保育工会協会の保育工の仕事(レポート800字)事体 別型を連携し、現児院の保育工の仕事(レポート800字)事体 別型を護施設・現児院の保育工の仕事(レポート800字)事が 別型を護施設の保育(60分) 第11回 第11回 保育素図の心構えと準備1 (保育所を関係に関する手続き (学修内容) 実置施設の一つである「母子生活支援施設・現児院の保育工の仕事(レポート800字)事が 児童護施設・現児院の保育工の仕事(レポート800字)事が 児童護施設・現児院の保育工の仕事(レポート800字)事が 児童護施設の保育工の仕事(レポート800字)事が 実置としてい保育所の情報を調べておく (学修内容) 実置方法、保育所選択について理解し、保育所へ依頼する際の アポイントの取り方について学が、(事前事後学修課題の内容)(20分) 事能 異性としてい保育所の情報を調べておく (学修内容) 実置方法、保育所の情報を調べておく 事態 実置とかしてい保育所の情報を調べておく 事能 実置とかしてい保育所の情報を調べておく 事節事を学修課題の内容)(20分) 事能 実施を調べておく (学修内容) 音楽的とは、保育所の情報を調べておく 事節事を学修課題の内容)(20分) 事能 実施できた。保育技術を指述している。 (学修内容) 音楽的授業 といに保育所の情報を調べておく 事的事能を推定の内容)(20分) 事能 実施できた。保育技術を指述している。 第15回	₩ 0□	レ ルートの書さかた		
事後 テキスト「保育所」p17~を読み、かからない語句を認べる。 実習で必要な基礎的な知識と技術 1	弗6四			
# 第7回				
第7回 日標と目的の理解 (事前事後学修課題の内容) (20分) 事前 テキスト'保育所」を読み、わからない語句を調べる。事後 保育実置目標についてフートに書いてくる 実習の要な基礎的な知識と技術 2 目標と目的の明確化 (学修内容)視覚教材で保育所で行う実育を理解し、そこで何を学びたいのか 実習目標を開催して実習目標を書く。 (学修内容)視覚教材で保育所で行う実育を理解し、そこで何を学びたいのか 実習機能を開催してリアートに書いてくる 実習施設を理解する 1 (学修内容)実習施設の一つである「障がい児(者)施設の連解 (学修内容)実習施設の一つである「障がい児(者)施設の連解 (学修内容)実習施設の一つである「障がい児(者)施設の連解 (学修内容)実習施設の一つである「関係育業百種を消費する (学修内容)実習施設の一つである「児童程施施設・乳児院の理解 (学修内容)実習施設の一つである「児童程施施設・乳児院」を理解し、そこで働く保育上の役割を理解する 3 (学修内容)実習施設の内容)(60分) 事態 保育実図目標を消費する (学修内容)実習施設の一つである「児童程施設・乳児院」を理解し、そこで働く保育上の役割を理解する 3 (学修内容)実習施設の一つである「児童程施設・乳児院」を理解し、そこで働く保育上の役割を理解する (学修内容)実習施設の一つである「母子生活支援施設等」を理解し、そこで働く保育主の技術と関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関		実習で必要が基礎的が知識と技術 1		
第7回 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 テスト「保育所」を読み、わからない語句を課べる。事後 保育実習目標とロいてノートに思いてくる 事後 保育実習目標を講べ、(学修内容) 現党教材で保育所で行う実習を確認、してこで何を学びたいのか 実習 情報を講べ、(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 保育実習目標を活動する (学修内容)実習施設の一である「晩証の便解 (学修内容)実習施設の一である「晩証の便解 (学修内容)実習施設の一である「晩証の便解 (学修内容)実習施設の一である「晩証の保育」の仕事(レポート800字) 事前 保育実習目標を清書する (学修内容)実習施設の一である「児童養護施設・乳児院の理解 (学修内容)実習施設の一つである「児童養護施設・乳児院の理解 (学修内名)実習施設の一つである「児童養護施設・乳児院」を理解し、そこで働く保育上の役割を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) 事後 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) (学修内名)実習施設の内容)(60分) 事前 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) (学修内名)実習施設の内容)(60分) 事前 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) (学修内名)実習施設の内容)(60分) 事前 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) (学修内名)実習施設の内容)(60分) (学修内名)実習施設の内容)(60分) 事前 の審別、(第の事業と、電費機械設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後、程子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) (学修内名)実習所設の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事前 等別の中生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したし保育所の情報を調べておく (学修内名)実育が設定したしての信号に関すについて理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について登録したし保育所の情報を調べておく (学修内名)保育所の例え (20分) 事前 実習生力上に必要な情報を調べておく (学修内名)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく (学修内名)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 事事 実習生カードに必要な情報を調べておく (学修内名)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく (学修内名)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 事事 実習生力に対しておる (学修内名)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 事後 変響生カードに必要な情報を調べておく 学修内容)保育所の例違目標を確認してくる				
第前 テキスト「保育所」を読み、わからない語句を製べる。 事後 保育実習自様についてくる 実習で必要な基礎的な知識と技術 2 目標と目的の明確化 (学修内容)視覚教材で保育所で行う実習を理解し、そこで何を学びたいのか 実習施設を理解する 1	第7回			
実習で必要な基礎的な知識と技術2				
第8回 目標と目的の明確化 実習目標を開催にし実習目標を書く。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 保育実習目標と清薄する 東宮施設を理解する1 (学修内容)実習施設の一つである「陽がい児(者)施設」を理解し、そこで働く保育上の役割を理解する2 (学修内容)実習施設の内容)(60分) 事前 保育実習目標を清薄する。 事後 障害児(者)施設の理解 (学修内容)実習施設の一つである「陽がい児(者)施設の保育上の仕事(レポート800字) 事前 保育実習目標を清薄する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 障害児(者)施設の保育上の仕事(レポート800字) 事態 伊育大会 (第十の役割を理解する) 事態 伊雷児(名)施設の保育上の仕事(レポート800字) 事態 伊雷提修会 (第十の役割を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 障害児(名)施設の保育上の仕事(レポート800字) 事態 伊雷養護施設 現児院の保育上の仕事(レポート800字) 事態 伊雷養護施設 現児院の保育上の仕事(レポート800字) 事態 伊雷養護施設 現児院の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊富養護施設 男儿院の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊富養護施設 男儿院の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊富養護施設・男児院の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊育上の役割を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事能 伊子生活支援施設等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊子生活支援施设等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊子生活支援施设等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 伊子生活支援施设等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 安子生活支援施设等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 安子生活支援施设等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 安全主法支援施设等の保育上の仕事(レポート800字) 事能 安全上大の取り方について理解し、保育所へ依頼する際の アポイントンの取り方について理解し、保育所へ依頼する際の アポイントンの取り方について理解し、保育所へ依頼する際の 東部 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後、実習生カードに必要な情報を調べておく 事能、実習生カードに必要な情報を調べておく 事後、実習上カードに必要な情報を調べてよる 事後 春野朋友製団建目標を確認してくる (学修内容)発育所の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べてる (学修内容)発育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (学修内容)発育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (学修内容)保育所の信報を調べてよる 事後 春野朋友製団建目標を確認してくる (学修内容)発育所の内容)(30分) 事前 実習生力・ドに必要な情報を調べてよる 事後 春野朋友製団 に (学修内容)保育所で使える(学修用の内容)(20分) 事前 実習生力・ドに必要な情報を調べてよく 事能 表学 修課題の内容)(30分) 事前 実習生力・ドに必要な情報を調べてよく 事能 表書 を書野 大学別技製団 に (学修内容)保育所の情報を調べてよく 事前 実際では、 (学修内容)保証の内容)(30分) 事前 実習生力・ドに必要な情報を調べてよく 事前 実際では、 (学修内容) 保証の内容 (30分) 事前 実習生力に必要な情報を測定したい保育の情報を調べてまく 事前 実際では、 (学修内容) 保証の内容 (30分) 事前 実習生力に必要な情報を測定したい保育の情報を調べてまり (学修内室) を対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい			事後	後 保育実習目標についてノートに書いてくる
# 10回 (事前事後学修課題の内容) (80分)		実習で必要な基礎的な知識と技術 2	(学修内容)視覚	覚教材で保育所で行う実習を理解し、そこで何を学びたいのか
#前 保育実習目標についてノートに書いてくる 事後 保育実習目標を清書する (学修内等)実際施設の一つである「障がい児(者)施設」を理解し、そこで働く保育工の役割を理解する。(学修内等)実際施設の一つである「障がい児(者)施設」を理解し、そこで働く保育工の役割を理解する。(事前事後学修理型の内容)(50分)事前 保育実習目標を清書する 東部施設を理解する2 児童養護施設・乳児院の理解 (学修内等)実際施設の一つである「児童養護施設・乳児院」を理解し、そこで働く保育工の役割を理解する。(事前事後学修理型の内容)(60分)事前 障害児(者)施設の保育工の仕事(レポート800字) 実習施設を理解する3 母子生活支援施設、児童心理治療施設の理解 (学修内等)実際施設の一つである「児童養護施設・乳児院の保育工の仕事(レポート800字)事態 限事後学修理型の内容)(50分)事前 限事機を対象がある。(事前事後学修理型の内容)(50分)事前 児童養護施設・乳児院の保育工の仕事(レポート800字) 「学修内等)実際施設の一つである「児童養護施設・乳児院の保育工の仕事(レポート800字)事態 児童養護施設・乳児院の保育工の仕事(レポート800字)事態 児童養護施設・乳児院の保育工の仕事(レポート800字)事態 児童養護施設・乳児院の保育工の仕事(レポート800字)事態 と子生活支援施設等の保育工の仕事(レポート800字)事態 と著と生ので、実習生の対象と準備 (学修内等)実質が表決、保育所運用についての認即を受け、自分の実習圏を選定する。実習生カードの下書きをする。(事前事後学修理型の内容)(20分)事前 母子生活支援施設等の保育工の仕事(レポート800字)事後 実習したい(保育所の情報を調べておく事後・禁題の内容)(20分)事態 と関して、日本の仕事(とのボート800字)を表す、実習生カードに必要な情報を調べておく事後、実習生カードに必要な情報を調べておく事後を評したいての表して、「学修内等)素学期の到達目標を確認してくる		目標と目的の明確化		
東部施設を理解する 1 陳善児(者)施設の理解 東部施設を理解する 2 東部施設を理解する 2 児童養護施設・乳児院の理解 第10回 東部施設を理解する 2 児童養護施設・乳児院の理解 東部施設を理解する 2 児童養護施設・乳児院の理解 第11回 東部施設を理解する 3 母子生活支援施設、児童心理治療施設の理解 第11回 東部原教学権課題の内容)(80分) 事態 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事を参考施題の内容)(20分) 事を参考施題の内容)(20分) 事を学権問題の内容)(20分) 事を実習したい保育所の情報を調べておく 東後 実習せたい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施理の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施理型の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施理型の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施理型の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施度型の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施度型の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事を学施度型の内容)(30分) 事が、世界の保育と加入によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	第8回			
東智施設を理解する1				
第9回 南書児(者)施設の理解		中羽体50大田砂大又 1		
第9回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 保育実習目標を清書する 事後 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) (学修内容)実習施設の一つである「児童養護施設・乳児院」を理解し、そこで働く 保育工の役割を提施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (標言児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (標言児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (標言児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (見重養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (見重教護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (日本の役割を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事態 (安学生)を提施し等の保育士の仕事(レポート800字) 事節 (日本の代表)を選出力・ドの下職者をする。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事前 安当としての心得と固意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (学修内容)実習生としての心得と固意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (学修内容)を課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生力・ドに必要な情報を調べておく 事後 実習生力・ドに必要な情報を調べておく 事後 実習生力・ドに必要な情報を調べておく 事後 実習生力・ドに必要な情報を調べておく 事後 実習生力・ドに必要な情報を調べておく 事後 学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 学問所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 程中の課題の説明を聞く。 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 程中の課題の説明を聞く。		I		
#前 保育実習目標を清書する 事後 障害児(者)施設の保育土の仕事(レポート800字) 実習施設を理解する2 児童養護施設・乳児院の理解 (学修内容)実習施設の一つである「児童養護施設・乳児院」を理解し、そこで働く保育土の役割を理解する3 事後 児童養護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) 事態 同な受験に関係を関係的では、アポート800字) 事態 児童養護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) 事後 児童養護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) 事後 別金種護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) 事施 の内容)(80分) 事前 児童養護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) (学修内容)実習施設の内容)(80分) 事前 児童養護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設等の保育土の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておて(学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学が、実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学が、実習したい保育所の情報を調べておく事後 実習したい保育所の情報を調べておく事後 実習したい保育所の情報を調べておく事後 実習セカードに必要な情報を調べておく事後 実習サードに必要な情報を調べておく 事後 実習サードに必要な情報を調べておく事後 実習サードに必要な情報を調べておく事後 事別事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習はカードに必要な情報を調べておく事後 春学期の実題の説明を聞く。(学修内容)春学期の到達目標を確認してくる	第9回	降舌儿(有)他成切连件		- · · · · - · · · · · · · · · · · · · ·
#後 障害児(者)施設の保育土の仕事(レポート800字) 実習施設を理解する2 児童養護施設・乳児院の理解 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第1	350		1 -	
第10回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回 第11回				
#11回 児童養護施設・乳児院の理解 保育士の役割を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(6分) 事後 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 第11回 保育実習の心構えと準備1 保育所実習自己開拓に関する手続き (学修内容)実習方法、保育所選択についての説明を受け、自分の実習園を選定する。実習生カードの下書きをする。 事前事後学修課題の内容)(80分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 学子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習生カードの下書きをする。 実習生カードの下書きをする。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておく (学修内容)実習上の心得と固奪事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習とかい保育所の情報を調べておく 事後 実習とかい保育所の情報を調べておく 事後 実習とカードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習とカードに必要な情報を調べておく 事後 実習とカードに必要な情報を調べておく 事後 大学修課題の内容)(20分) 第前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後学修課題の内容)(30分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる		実習施設を理解する 2	(学修内容)実習	習施設の一つである「児童養護施設・乳児院」を理解し、そこで働く
#前 障害児(者)施設の保育士の仕事(レポート800字) 事後 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 実習施設を理解する3 母子生活支援施設、児童心理治療施設の理解 第11回 ### ### ### ### ### ### ### ### ### #			保育	育士の役割を理解する。
事後 児童養護施設・乳児院の保育土の仕事(レポート800字) 実習施設を理解する3 母子生活支援施設、児童心理治療施設の理解 第11回 第11回 保育実習の心構えと準備1 保育所実習自己開拓に関する手続き 第12回 保育実習の心構えと準備2 保育所への依頼について 保育実習の心構えと準備2 保育所への依頼について 保育所で使える保育技術 第14回 第14回 第14回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15	第10回			
実習施設を理解する3				
第11回 日子生活支援施設、児童心理治療施設の理解				
第11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) (学修内容)実習方法、保育所選択についての説明を受け、自分の実習園を選定する。実習生カードの下書きをする。(事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておく (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習サードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 「学修内容)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる 春学期のまとめ(学びの振り返り) 秋学期に向けての課題 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		I	•	
#前 児童養護施設・乳児院の保育士の仕事(レポート800字) 事後 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 保育実習の心構えと準備1 保育所実習自己開拓に関する手続き (学修内容)実習方法、保育所選択についての説明を受け、自分の実習園を選定する。実習生カードの下書きをする。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておく 保育所への依頼について (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事が、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事を学期授業到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる	笠44日		1	
事後 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 保育実習の心構えと準備1 保育所実習自己開拓に関する手続き 第12回 (学修内容)実習方法、保育所選択についての説明を受け、自分の実習圏を選定する。と習生カードの下書きをする。 (事前事後学修課題の内容)(20分)事後実習したい保育所の情報を調べておく 保育実習の心構えと準備2 保育所への依頼について 保育所の依頼について 第13回 (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分)事前実習したい保育所の情報を調べておく事後実習生カードに必要な情報を調べておく事後実習生カードに必要な情報を調べておく。事後実習生カードに必要な情報を調べておく。事後実習生カードに必要な情報を調べておくの事が修課題の内容)(20分)事前実習生カードに必要な情報を調べておくまでは、事後を修課題の内容)(20分)事がまで使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。(事前事後学修課題の内容)(20分)事が表学修課題の内容)(20分)事が表学修課題の内容)(20分)事が表学修課題の内容)(20分)事が表別を修課題の内容)(20分)事が表別を修課題の内容)(20分)事が表別を修課を認してくる	弗11回			
#12回 保育実習の心構えと準備 1				
#14回 保育所実習自己開拓に関する手続き (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておく (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事 実習生カードに必要な情報を調べておく 事 実習生カードに必要な情報を調べておく 事 実習生カードに必要な情報を調べておく 事 実習生カードに必要な情報を調べておく 事 まとめ(学びの振り返り) 秋学期に向けての課題 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		保育宝習の心構えと準備 1		
#12回 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておく 保育実習の心構えと準備2 保育所への依頼について (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく事後実習生カードに必要な情報を調べておく事後実習生カードに必要な情報を調べておく「学修内容」保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく事後 春学期授業到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を確認してくる		1		
事前 母子生活支援施設等の保育士の仕事(レポート800字) 事後 実習したい保育所の情報を調べておく 保育実習の心構えと準備2 保育所への依頼について (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際のアポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく事後実習生カードに必要な情報を調べておく 事後実習生カードに必要な情報を調べておく 事後実習生カードに必要な情報を調べておく 事後実習生カードに必要な情報を調べておく 事後実習生カードに必要な情報を調べておく 事が書とめていて、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前実習生カードに必要な情報を調べておく事ができる場合では、事が表学を課題の内容)(20分) 事前実習生カードに必要な情報を調べておくまります。 春学期のまとめていていて、ままできるように人前で行う。 (学修内容)をには、要が表表に表現している。 「学修内容」を記述されていて、ままできるように人前で行う。 (学修内容)をはいていている。 「学修内容」を課題の内容)(30分) 事前を学修課題の内容)(30分) 事前を学修課題の内容)(30分) 事前を学修課題の内容)(30分)	第12回			
事後 実習したい保育所の情報を調べておく				
# 保育実習の心構えと準備 2 (学修内容)実習生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際の アポイントの取り方について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事務 実習生カードに必要な情報を調べておく (学修内容)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる				
第13回 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 保育実習の心構えと準備3 保育所で使える保育技術 (学修内容)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる 春学期のまとめ(学びの振り返り) 秋学期に向けての課題 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		保育実習の心構えと準備 2	(学修内容)実習	3生としての心得と留意事項について理解し、保育所へ依頼する際の
事前 実習したい保育所の情報を調べておく 事後 実習生カードに必要な情報を調べておく (学修内容)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (保育所で使える保育技術 (学修内容)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		保育所への依頼について		
事後 実習生カードに必要な情報を調べておく 保育実習の心構えと準備3 保育所で使える保育技術 保育所で使える保育技術 保育所で使える保育技術 保育所で使える保育技術 (学修内容)保育所で使える保育技術を行い、実践できるように人前で行う。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる 春学期のまとめ(学びの振り返り) 秋学期に向けての課題 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる	第13回			
# 保育実習の心構えと準備3				
第14回 保育所で使える保育技術 (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる 事後 春学期授業到達目標を確認してくる (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる				
第14回 事前 実習生カードに必要な情報を調べておく 事後 春学期授業到達目標を確認してくる 春学期のまとめ(学びの振り返り) 秋学期に向けての課題 (学修内容)春学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
事後 春学期授業到達目標を確認してくる	第14回	体目がで使んる体目技術	1 '	
春学期のまとめ(学びの振り返り) 秋学期に向けての課題 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 本学期のまとめ(学びの振り返りを行うとともに、夏期休 暇中の課題の説明を聞く。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる	第14 四			
秋学期に向けての課題 暇中の課題の説明を聞く。 第15回 「事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる			→ 19	× 百丁初]&未到庄口15で唯心ひしくる
秋学期に向けての課題 暇中の課題の説明を聞く。 第15回 「事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		 春学期のまとめ(学びの振り返り)	(学修内容)春堂	学期の到達目標を知見直し、学びの振り返りを行うとともに、 夏期休
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 春学期授業到達目標を確認してくる		1	•	
事前 春学期授業到達目標を確認してくる	第15回		1	
事後 資料をファイルをまとめる			事前	前 春学期授業到達目標を確認してくる
			事後	後 資料をファイルをまとめる

哲 丵 夕	保育実習指導 a	開講	1回生	単位数	2単位	科目	CE1406		
	Guidance on Child Care Training	学年開講	・ロー	- II X	必修	選択	021100		
× × 1	高岡 理恵・林 静香・武田 康晴・吉岡 史樹・安藤	時期			選択	23/(
担当者	正彦・野田 隆生・東田 みすづ	対象学生	幼児教育1回生 	Ξ					
授業の概要	本授業は、春学期「保育実習指導 」の引き続きの授業です。 保育現場で、保育を担う豊かな感性、人間性を有することのできるよう、保育所実習・施設実習におけるそれぞれの目的 意識を高め、学生自身が実習目標を明確にもって自立的に取り組めるように準備を行います。 実習を円滑にすすめるための記録の方法、指導計画の考え方と立案等、保育施設実習がイメージできるようにグループワークや演習を通して授業を進めます。 実習へ行く準備が進んでいきますので、その時々に必要なものの準備について期限を守って提出していけるよう自身の管理をおこなってください。								
学修成果到達目標									
	知識・理解		l用的技能						
学位授与の	態度・志向性	松	合的な学習経験と	:創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・	PBL ディスカッション・ディベート /	L グループワ		プレ	ゼンテーシ	/ 3			
ラーニング 対象授業			, 月(自主学習支援)						
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		く レポ 実習		制作物 ミ技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤー 観点 授業態度・参加意欲 (提出物の期限厳守	ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力)		
テキスト	新・基本保育シリーズ20 保育実習 近喰晴子・寅屋壽廣・松田純-	子編 中共	₹法規						
参考書	『保育所保育指針』厚生労働省、フレーベル館 『保育所保育指針解説書』厚生労働省、フレーベル館 『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説書』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 必要です								
課題に対する フィードバック の方法	ワークを行った後に課せられるレポートや課題物ついては、確認後返却を行う。 授業後の振り返りシートも同様 ック								
留意事項	保育実習 の事前・事後にあたる通年の学内実習指導であるため、 重要事項を学ぶ場であるので、無断欠席は認めない。また、学科の 解度によっては実習開始できないこともある。レポートや書類等の	呆育関係科	目の修得状況及び	が出席状況	、受講態原	きや理			
オフィスアワー	専任教員は各研究室に日時を掲示しますので確認してください。 非常勤教員は授業終了後に実施します。								
実践的教育									

授業名 **保育実習指導** a

受業計画	学修項目	学修内容・課題
	秋学期授業ガイダンス	(学修内容)秋学期に向けての心構え、予定、実習期間の確定、夏期課題の点検を行
~~ . -	健康管理について	う。実習に向けて自身の健康管理についての視点や方法を学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前 シラバスを読み理解しておく
		事態 テキスト P 158~168を読みわからない語句の整理をする
	実習で必要な基礎的な知識と技術 1	(学修内容)実習記録を書く意味と記録する視点、方法を学ぶ。記録をするときに必
	実習記録の意義と方法	要な観察や主観と客観について理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 テキスト P 158~168を読みわからない語句の整理をする
	実習で必要な基礎的な知識と技術 2	事後 観察した内容を記録用紙に書き込む (学修内容)事後学修した記録をグループワークを行いながら、主観と客観を分類し
	実習記録の書き方	(学)
第3回	A B B S O B C M	(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 観察した内容を記録用紙に書き込む
		事後 記録用紙を清書する
	実習で必要な基礎的な知識と技術3	(学修内容)保育実習で行う保育計画と指導案について理解し、指導計画を立案方法
第4回	指導実習(部分・責任実習)の理解	を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
54 四		(争刑争後子修誅越の内谷)(43ガ) 事前 記録用紙を清書する(提出)
		事後 模擬部分実習を視聴して指導案を作成する
	実習で必要な基礎的な知識と技術4	(学修内容)事後学修した指導案をもとにグループワークを行いながら、指導案の書
	指導実習案の作成	き方の留意について確認しあう。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 模擬部分実習を視聴して指導案を作成する
	実習施設を理解する 1	事後 自身が行く実習施設の概要を調べてくる (学修内容)実習施設種別を把握し、春学期に学んだ施設を復習し、施設の役割や対
	実習目標の設定(施設)	象者について理解を深める。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 自身が行く実習施設の概要を調べてくる
		事後の実習目標を設定する
	実習目標指導 1	(学修内容)春学期に行った実習目標のたてかたを復習し、施設実習目標を設定する
第7回	実習目標のたてかた	 (事前事後学修課題の内容)(60分)
歩/凹		「争刑争後子修綵題の内谷」(60カ) 事前 施設の実習目標を設定する
		事後 施設の実習目標をチェック項目に沿って見直す
	実習目標指導 2	(学修内容)事後学修の実習目標を題材にグループで披露し評価しあい、実習目標を
	実習目標の清書	仕上げる。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 施設の実習目標をチェック項目に沿って見直す
	実習事前準備 1	事後 施設の実習目標を清書する (学修内容)実習へいくための実習手続きを行う(健康診断・検便等)。学生カート
	実習手続き	の清書を行う。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 施設の実習目標を清書する
		事後 指導された箇所を直し再提出する
	実習事前準備 2 実習記録の確認と書き方	(学修内容)保育所・施設実習記録をみながら記録に書かれている内容を理解し書き
第10回	天白心球の唯能と言さり	方のポイントについて理解する。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
No LOCAL		事前 指導された箇所を直し再提出する
		事後 保育士倫理綱領について調べてくる
	実習事前準備3	(学修内容)実習へ行くための誓約書を読み誓約書の意味を理解し、保育士倫理綱領
	保育士倫理綱領と誓約書の理解	との関係について学ぶ。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 保育士倫理綱領について調べてくる 事後 在学生へ聞きたいことや質問を考えまとめておく
	実習事前準備4	(学修内容)在学生から実習について話を聞く、質問をする機会をもち、実習への
	実習をイメージする	メージを膨らませ不安を取り除く。
第12回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		事前 在宅生へ聞きたいことや質問を考えまとめておく
		事後 テキスト p 133~142を読み整理してくる
	実習事前準備5	(学修内容)実習の心得、実習中の注意事項、実習園とのオリエンテー ションへの 降みち 手続きの説明と書籍担出を行る
第13回	事前オリエンテーション	臨み方、手続きの説明と書類提出を行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
시기이리		事前 テキストp133~142を読み整理してくる
		事後 秋学期の内容を見直し疑問点を明確にしておく
	実習直前指導	(学修内容)実習課題の個別添削を返却し指導及び実習記録への記載をし、実習準備
	お礼状の書き方	を行う。お礼状の書き方を学ぶ。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 秋学期の内容を見直し疑問点を明確にしておく
	学内オリエンテーション及び訪問担当者との個別	事後 秋学期の到達目標を確認する (学修内容)実習評における評価の意義や方法について学び、評価視点を養う。実習
		(学修内谷)美音評にのける評価の息義や方法について学び、評価悦点を食う。美音 訪問担当者との個別面談を実施し、相互連絡の確認と質疑応答を行う。
第15回	面談	の同時当日との個別出版を実施し、相互連続の推薦と異規が日と行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第15回	国設	

授	業	名	保育実習指導 a	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目 コード CE2421		
英	文	名	Guidance on Child Care Training	開講時期	春学期		必 修選 択	選択		
担	当	者	野田 隆生・高岡 理恵・林 静香・眞崎 雅子・安藤 正彦・東田 みすづ	対 象 学 生	幼児教育2回生 対児教育2回生	Ē				
授訓	「保育実習 (保育所)」の事前・事後に行う学内指導となる。「保育実習 (保育所・施設)」の保育所実習の経験を踏まえて、ふりかえり、学んだことを深化、発展させ、「保育実習 (保育所)」に向けての実習課題を明確にする。「保育実習 」の実習の意義や目的を認識するとともに、現代社会における子どもや保護者を取り巻く保育環境や問題点を理解し、保育士として必要とされる資質や能力を養うことを目的とす。									
		戈 果	1)保育実習 の意義や目的を理解できる。 2)保育士の職業倫理・守秘義務を理解できる。 3)指導計画を理解し立案できる。 4)実習課題を明確にできる。							
			知識・理解		L用的技能		* +			
学位		与の)関連	態度・志向性	#WE	合的な学習経験と	:創造的忠	考刀			
73 121	_ 0,	/ 								
アク ラー 対象	ニン			ブループワ I C T活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評	価力	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ ・ 実習		制作物 実技		
評	価基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ1 観点 授業態度・参加意欲 (ヹンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)		
テ	キク	スト	随時資料を配布します。							
参	考	書	下記の冊子は毎時携行することが望ましい。(出版社はフレーベル館) 1)『保育所保育指針』厚生労働省 2)『保育所保育指針解説』厚生労働省 3)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省 4)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省							
	ードル	する バック	個別面談を通じて、各課題に対するコメントを行います。 る							
留	意 事	項	「保育実習」の実施に向けて、実習の重要な事項を学ぶ授業と 学科の保育関係科目の履修状況及び出席状況によっては、実習を問			-				
	フィ		専任教員は各研究室に日時を掲示しますので確認してください。 非常勤教員は授業終了後に実施します。(事前に予約を入れることが	が望ましい	۱。)					
実足		教育								

授業名 **保育実習指導** a

# 10回	运 类 計 画	学修項目	学修内家 . 課題
第1回 (授業計画		学修内容・課題 (学修内容)保育宝習 についての宝習概要・議義の進め方等について説明する
(東日本型 の目的・無義 (学得の音) 長月変習 との相近点や目的性を理解する。 (学得の音) 長月変習 との相近点が目的性を理解する。 (単音事態学を透照の内容) (公分) (福本変型 (保育等)の内容について基理し、良くできたことととこのが選集について主きかする。 (単音単学を通過の内容) (公分) (日本変型 (保育等)の内容について基理する。 (単音単学を通過の内容) (研究) の内容について基理する。 (単音単学を通過の内容) (研究) の内容について基理する。 (単音単学を通過の内容) (場合) (現在変質 (保育所・施達)の内容について基理する。 (単音を変型の内容) (場合) (現在変質 (保育所・施達)の内容について基理する。 (単音を変型の内容) (場合) (現在変質 (保育所を通過を通過を) (場合) (現在変更 (保育所を) (場合) (現在変更 (保育所を) (現在変更 (知知を) (知知を) (現在変更 (知知を) (知知を) (知知を)		3,323, 3,33	
第7回 保育実質 の目的・巻義 (学術内容)保有実質 との報道点や段階性理解する。 (事例等保予協議の内容)(45分) 保育実質 (報情等)の内容について整理し、良くできたこととこの登越していませんであり、良くできたこととこの登越していませんであり、良くできたこととこの登越していませんであり。 (学校内容) 第3章 (報報等)の内容について整理し、良くできたこととこれの登越していませんであり。 (学校内容) 第3章 (報報)の内容について整理し、良くできたこととこれの登録とついて生ませんであり。 (学科の音)保育実質 (報信所実質)のぶりかえりごピンテーションする。 (学科の音)保育実質 (報信所実質)のぶりかえりごピンテーションする。 (学科の音)保育実質 (報信所実質)のぶりかえりごピンテーションする。 (学科の音)保育実質 (報信所実質)のぶりかえりごピンテーションする。 (学科の音)保育実質 (報信所実質)のぶりかえりごピンテーションでの意識を売りる。 (事列を学校地域の内容)(45分) 野球の面談を受して、保育実質 のふりかえりと評価高談 (学校内容)保育実質 (保育実質)ふりかえりや国別評価高談を返して、保育実質 (保育実質) のありかえりと説別評価高談を返して、保育実質 (保育・選挙) (45分) 保育事業の学校地域の内容)(45分) 野球の面談を通して、保育実質 (保育・選挙) (45分) 保育事業の内容 (45分) 保証・これがらの課題についてまとめてあく (学校内容)保証を印度としての情報でいてまとめてあく (学校内容)保証とのの定じていて学ぶ。 (事列を学校は型の内容)(45分) 保証主の企業の保証を対しまいて、保育すとして、実理生としての 関について学ぶ (事刊を受けるの事件を制定しての情報でいて、アクシートにまとめてあく (学校内容)保証をの方的に事を同付は次で、(事刊を登りを対しての情報を)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容 (45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を定める (45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容 (45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を定める (45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を定める (45分) 保証を必要の内容)(45分) 保証を必要	第1回		保育実習 (保育所・施設)に関する実習ノート等を準備し、記載事項
第3回 (集育が多字を対数の内容) (45分) 保育実営 (集育所)の内容について整理し、良くできたこととこ。 (50銭更について生きかちおく)、 (7等の容) 保育実営 (集育所)の内容について整理する。 (平前事件を整理的の内容) (45分) (事前事件を登出期の内容) (45分) (事前事件を登出期の内容) (45分) (事前事件を登出期の内容) (45分) (事前事件を受けませんであく。 (事前事件を登出期の内容) (45分) (事前事件を受けませんであく。 (事前事件を受けませんであく。 (事前事件を受けませんであく。 (事前事件を対数の内容) (45分) (事前事件を対象を対してませんである。 (事前事件を対象を対してませんである) (事前事件を対象を対しておりる) (45分) (事前事件を対象を対しませんの名) (45分) (事前事件を対象を対しませんの名) (45分) (事前事件を対象を対象を対しませんの名) (45分) (事前事件を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を			の不備がないことを確認しておく。
# 会有実習 (集育別)の内容について設理し、含くできたこととことの接近についてまとから、		保育実習の目的・意義	(学修内容)保育実習 との相違点や段階性を理解する。
# 会有実習 (集育別)の内容について設理し、含くできたこととことの接近についてまとから、	~~-		/ = * = # * # # # # # # # # # # # # # # #
(第2回		
# 3:3回 (季前等後学修識圏の内容) (45分)			
(保育実質 のかりかえり (学称内音) 保育実質 (保育所実質)のかり入りをプレゼンテーションする (学称内音) 保育実質 (保育所実質)のかり入りをプレゼンテーションする (学称内音) 保育実質 (保育所実質)のかり入りをプレゼンテーションする (東前事体学体課題の内音)(45分) (東前事体等体理を力を目標・課題を設定し、説明ができるようで発力音)(東百分の方な自標・課題を設定し、記明ができるようで表しての論理していて過程(中間をしての論理していて、実際生としての論理していて、実際生としての論理を表していて、実際生としての論理を表して、表面を対して、表面を表面を表して、表面を表面を表して、表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表		保育実習 のふりかえりレポートの作成	(学修内容)保育実習 (保育所・施設)の内容について整理する。
(学科会習 (機能)の内容について整理し、食くできたこととれ の理理についてまとのできる。 (学科内容)保育実質 (保育所実質)のふりかえりをプレゼンテーションする (学科内容)保育実質 (保育所実質)のふりかえりをプレゼンテーションする (学科内容)保育実質 (保育所実質)のふりかえりをプレゼンテーションする (事前事件を課題の内容)(45分) 保育実質 の評価面談 (学様内容)保育実質 (保育所実質)の個別評価面談を通して、保育実質 の意味を高める。 (学様内容)保育実質 (保育所実質)の個別評価面談を通して、保育実質 の意味を高める。 (学様内容)保育実質 (保育所実質)の個別評価面談を通して、保育実質 の事情を変し、現立しておいたの課題についてまとめておくこと。 (学様内容)保育実質 (保育所実質)の個別評価面談を通して、保育実質 のふりかえりと関別評価面談を通して、保育実質 のふりかえりと関別評価面談を通して、保育実質 のいりかえりと関別評価面談を通して、保育実質 (学科内容)保育実質 (保育所実質)を対し、まためておくこと。 (学様内容)保育生の内容)(45分) 実習生力・ドの作成・提出 (学様内容)保育実質 の所な自標・課題を設定して、保育実質 に向けた影響を実体課題の内容)(45分) 保育実質 実質目標・課題の作成 (学様内容)保育実質 の新たな自標・課題を設定し、説明ができるようでは、保育実質 の新たな自標・課題を設定する (学様内容)保育実質 の新たな自標・課題を設定する (学様内容)保育実質 の新たな自標・課題を設定して、設明ができるようでは、会別表別表別を保護を表別の内容)(45分) 実質目標・課題の海別・指導 (学様内容)保育実質の新治指導を個別相談にて行う。 事前事体学情課題の内容)(45分) 実質目標・認理の海別指導を個別相談にて行う。 (学様内容)保育課題の内容)(45分) 実質目標・変数のの指針・注意専項・指導計画の立案 (学様内容)保育実質のの音がよートを読み返し、書きにくかったことをまとめ (実践内内容)保存などの説明ならびに個別面談 (学様内容)保育実質を介護としたに、指導案作成の問意点の理解、指導計画を (学様内容)保育実質を介護としての場合 (45分) 変の保育が記をイメージし、指導案の内容に向いて考えておくこと (学様内容)実質の内容)(45分) 変の保育が記述イメージし、指導案の内容に関する情報を したまくこと。 (学様内容)実質の内容)(45分) 変の保育が記述イメージし、指導案の内容に関する情報を したまくこと。 (学様内容)実質の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部を学権課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部を学権課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部を学権課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部を学権課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部を学権課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部を学権課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部で学を課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部で学を課題の内容)(45分) 変の保育が記述する。 第一部で学を課題の内容)(45分) 変の保証といてのよりを表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述を表述する。 第一部では、表述を表述する。 第一部では、表述を表述を表述を表述される。 第一部では、表述を表述を表述される。 第一部では、表述を表述を表述される。 第一部では、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	第2回		(東前東後学修理頭の内容)(45分)
第4回	歩 3四		(事前事後手に終題の内谷)(40カ) 保育実習 (施設)の内容について整理し、良くできたこととこれから
第4回 (季前年学年接近の内容) (45分) (季前年) (季節 18 年 18 日			
第4回 (季前事後学修課題の内容) (45分) 保育実質 の評価面談 (字称内容)保育支質 (保育所実習)の個別評価面談を通して、保育実習 の議員を高める。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 評価面談終了後、これからの課題についてまとめておくこと。 (学修内容)保育支質 (保育所実習)ふりか入りや個別評価面談を通して、保育実習 の		保育実習 のふりかえり	
(有食実習の課金を活み返し、ワークシートに記入して (字像内容) 保育実習 (保育実習) の側別評価面談を通して、保育実習 の意識を含める。 (事前事体学権課題の内容) (45分) (事前事体学体理器の内容) (45分) (有食業) の記録ノートの配布、記録の書き方について説明(音が事体学体理器の内容) (45分) (事前事体学体理器の内容) (45分) (事前事体学体理解的内容) (45分) (本述的内容)	第4回		
第5回 (事前事後字修設題の内容) (45分) 評価面談を通しいてまとめておくこと。 (事前事後字修設題の内容) (45分) 評価面談終了後、これからの課題についてまとめておくこと。 (字称内容) 保育実置 (保育所実置) ふいかえりや個別評価面談を通して、保 質 に向けた課題を制理にする。 (事前事後字修設題の内容) (45分) 前回まてのふりかえりと個別評価面談の内容についてまとめておく (事前事後字修設題の内容) (45分) 実習生カードの作成・提出 (字称内容) 実習生カード作成に必要なものを用意し、保育実置 に向けた動態 理しておくこと。 (字称内容) 保育主角 (中部成心) 要の (字称内容) (45分) 保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこと。 (字称内容) 保育実置 の (字称内容) 保育実置 の (字称内容) 保育実置 の (字称内容) 保育基面の (字称内容) (45分) 実習目標を課題の内容) (45分) 実習の (字称内容) 保育実置 の 実習の (45分) 実習の (字称内容) 保育実置の で (本分) 実習の (本分) 実習の心情などの説明ならびに個別面談 (字称内容) 保育実践を学ぶとともに、指導案作成の国意点の理解、指導計画を (字称内容) 保育支援室の内容) (45分) 裏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと (字称内容) 実習の心情、実習画の特徴や保育内容に関する情報を して多くこと (表示な 大きくに表示、実習画の特徴や保育内容に関する情報を して多くこと (字称内容) 実習の同様で保育内容に関する情報を (字称内容) 保育研究を保護部の内容) (45分) 配布プリントをよく読み、異図画の特徴や保育内容に関する情報を して多くこと (字称内容) 実習が問担当者との面談にで個別指導	21- 1		保育実習記録ならびに指導案を読み返し、ワークシートに記入しておく
第5回 (事前事後字階級型の容) (45分) 評価面談録である。 (事前事後字階級型の容) (45分) 評価面談録で表して、保育実置 のふりかえりと評価面談 (学修内容) 保育実置 (保育実置) ふいかえりや個別評価面談を通して、保育 日に付た課題を制能にする。 (事前事後字階級型の内容) (45分) 部回までのふりかえりと個別評価面談の内容についてまとめておく (事前事後字階級型の内容) (45分) 実習生カードの作成・提出 (学修内容) 実習生カードの作成 (報行) 実習生カードの作成・提出 (学修内容) 実習生カードの体の (事前事後字階級型の内容) (45分) 実習生カードの体の (事前事後字階級型の内容) (45分) 実習生カードの体の (事前事後字階級型の内容) (45分) 保育実置 に向けた動機 (事前事後字階級型の内容) (45分) 保育実置 実習目標・課題の作成 (学修内容) 保育実置 の新述 (学修内容) 保育実置 の新聞相談を設定し、説明ができるようである(と (学修内容) 保育実置 の実置記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容) 保育実置 の実置記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (学修内容) 保育実置 の実置記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (学修内容) 保育実置 の実認対ノートの配布、記録の書き方について説明 (学修内容) 保育実置 の実認対ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ (こ (学修内容) 保育実置 の実置記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ (こ (学修内容) 保育実置 の実置記録 (学修内容) 保育実置 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ (こ (学修内容) 実習の心何などの説明ならびに個別面談 (学修内容) 保育、実習の心行 (45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案作成の留意点の理解、指導計画を 実置事前指導 ・実習の心行などの説明ならびに個別面談 (学修内容) 実習の心行、実習異とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後字修課題の内容) (45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を してあくこと (学修内容) 実習に行う重類等準備についての説明 核便等 (学前等を学録題の内容) (45分) 配布プリントをよく読み、異習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと (学修内容) 実習に行う重類等準備についての説明 核便等 (学前等を学録題の内容) (45分) 配布プリントをよく読み、日後と課題について理解した上で、個別に始めるようにしておらてこと (学修内容) 実習の問担当者との面談にて個別指導		保育宝翠の評価面談	。 (学修内変)保育宝翌 (保育所宝翌)の個別延価面談を通して 保育宝翌 の日的
第6回		休月天日 の計画画歌	
第6回 保育実習 のふりかえりと評価面談 (学修内容)保育実習 (保育所実習)ふりかえりや個別評価面談を通して、保置 に向けた課題を明確にする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 前回までのふりかえりと個別評価面談の内容についてまとめておく (学修内容)実習生カードの作成・提出 (学修内容)実習生カードの作成 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習生カード作成に必要なものを用意し、保育実習 に向けた動機 理してるくこと。 (学修内容)保育工の価理研究を解説しながら、保育士として、実習生としての 理してるくこと。 (学修内容)保育工の価理研究を解説しながら、保育士として、実習生としての 理してもくこと。 (学修内容)保育工物の理理研究を解説しながら、保育士として、実習生としての 類様 学修課題の内容)(45分) 実習目標を設定しての前達について、ワークシートにまとめておくこ (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習目標を設定し、説明ができるようでくこと。 (学修内容)実習課題の内容)(45分) 実習目標・課題を設定し、説明ができるようでくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の実習記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実習の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと (学修内容)実習の心得なする。 (学修内容)実習の心得、実習優とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習の心容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習画の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習がの紹介(45分)配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 配本プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 配本プリントをよく読み。 目標と課題について理解した上で、個別 配本プリントをよく読み。 目標と課題について理解した上で、個別 配本プリントをよく読み。 目標と課題について理解した上で、個別 配本プリントをよく読み。 実習動の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならこと。 (学修内容)実習が同じならいに対しませならいに対しないに対しないに対しないに対しないに対しないに対しないに対しないに対しな	第5回		
第6回 と			評価面談終了後、これからの課題についてまとめておくこと。
# 10回 (事前事後学修課題の内容) (45分) 前回までのふりかえりと個別評価面談の内容についてまとめておく (学修内容)実習生カードの作成 (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習生力・作成に必要なものを用意し、保育実習 に向けた動機 理しておくこと。 (学修内容)保育主の倫理頻報を解説しながら、保育士として、実習生としての 観について学ぶ、(事前事後学修課題の内容) (45分) 保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこ (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようでおくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標と認題を治書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標と認題を活書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートを読み返し、満きにくかったことをまとめ (本別の指導・注意事項・指導計画の立案・ (学修内容)保育実践の内容)(45分) 東部等後学修課題の内容)(45分) 東部等後学修課題の内容)(45分) 東部等後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習圏の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習面とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習圏の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習が同知と書とく読み、実習圏の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習が同知と書との面談にて個別指導		保育実習 のふりかえりと評価面談	(学修内容)保育実習 (保育所実習)ふりかえりや個別評価面談を通して、保育実
第7回 第7回 (学修内容)実習生カードの作成・提出 (学修内容)実習生カードの作成 (事前事後学修課題の内容)(45分)実習生カード作成に必要なものを用意し、保育実習 に向けた動機理しておくこと。 (学修内容)保育工の倫理網領を解説しながら、保育士として、実習生としての領理について、関係自力の倫理網領を解説しながら、保育士として、実習生としての領理について、ワークシートにまとめておくこの論理について、ワークシートにまとめておくこの論理について、ワークシートにまとめておくこの論理について、ワークシートにまとめておくこであり、実習目標・課題の海部・指導 (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する (事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定する (事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標を3の考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようでおくこと。 実習記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標を3の表別・注意事項・指導計画の立案 - 、水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - 、水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - 、「学修内容)保育実習 の実習記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 実習事前指導 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 実習時間担当者との面談 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検使等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布プリントをよく読み、具習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検使等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布プリントをよく読み、具習園の提供をしいて可認明 検使等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布プリントをよく読み、具習園の技術をしていて可認明 検定等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布プリントをよく読み、具習園の技術をしていて可認明 大使等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布プリントをよく読み、具置と課題について可認明 大使等 (学修介容)実習が問知者をのの言いて個別指導			The state of the s
第7回 (学修内容)実習生カードの作成・提出 (学修内容)(45分) 実習生カードの作成 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習生カード作成に必要なものを用意し、保育実習 に向けた動機 理しておくこと。 (学修内容)保育工会理規令を解説しながら、保育士として、実習生としての 観について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(45分)保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこと。 (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する (事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようでおくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布と調き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標と課題を指書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分)保育実置 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実図 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の貿息点の理解、指導計画をし実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分)夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと、事前事後学修課題の内容)(45分)夏の保育活動をイメージし、指導案の内容に同ける管備をする。 (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、異習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等学備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配示プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に認めようにしておくこと。 (学修内容)実習が問題となること。 (学修内容)実習が問題の内容)(45分) に関めるようにしておくこと。 (学修内容)実習が問題の内容)(45分) に関めるようにしておくこと。 (学修内容)実習が問題の内容)(45分) に関めるようにしておくこと。 (学修内容)実習が問題となることに、指導を課題について理解した上で、個別に認めようにしておくこと。 (学修内容)実習が問題となることに、指導を対していて理解したとしておくこと。 (学修内容)実習ののないに、関力を対していて、実習が問題となることに、関力を対していて、実習が問題を対していて、実習が問題となることに、対していていて、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述されていて、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	第6回		
(事前事後学修課題の内容) (45分) 実習生カード作成に必要なものを用意し、保育実習 に向けた動機 理しておくこと。 (学修内容) 保育士の倫理網領について理解する (学修内容) 保育工程網報を開設しながら、保育士として、実習生としての 観について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこ (学修内容) 保育実習 の新たな目標・課題を設定する (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標・課題を設定し、説明ができるようでおくこと。 (学修内容) 実習課を関の内容) (45分) 実習目標・課題の添削・指導 (学修内容) 実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標と課題を消費用シートに記入しておくこと。 (学修内容) 実育実習 の実習は鍵ノートの配布、記録の書き方について説明(事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標と課題を消費用シートに記入しておくこと。 (学修内容) 保育実習 の実習は鍵ノートの配布、記録の書き方について説明(事前事体学修課題の内容) (45分) 保育実置 の定記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容) 保育実践を学ぶとともに、指導案作成の観意点の理解、指導計画をしまとに同けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと。 (学修内容) 実習の心得、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容) 実習の心得、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容) 実習の心得、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容) 実習に伴う書類等準備についての説明、検便等 (事前等後学修課題の内容) (45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容) 実習に伴う書類等準備についての説明、検便等			前回よどのふりかんりと個別計画面談の内容についてよどのとのくとと
第8回 保育士の倫理網領について理解する (学修内容)保育士の倫理網領を解説しながら、保育士として、実習生としての (東市事体学権課題の内容)(45分)保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこ (事前事体学権課題の内容)(45分)保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこ (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようであること。 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようであること。 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようであること。 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標と課題を満囲リントトに記入しておくこと。 (学修内容)保育実図 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標と課題を対しておくこと。 (学修内容)保育実図 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実図 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実図で増展的内容)(45分)変の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 東習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学権課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備について説明 検便等 (事前事後学権課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習が問担当者との面談にて個別指導		実習生カードの作成・提出	(学修内容)実習生カードの作成
第8回 保育士の倫理網領について理解する (学修内容)保育士の倫理網領を解説しながら、保育士として、実習生としての (東市事体学権課題の内容)(45分)保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこ (事前事体学権課題の内容)(45分)保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこ (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようであること。 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようであること。 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようであること。 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標と課題を満囲リントトに記入しておくこと。 (学修内容)保育実図 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事体学権課題の内容)(45分)実習目標と課題を対しておくこと。 (学修内容)保育実図 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実図 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実図で増展的内容)(45分)変の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 東習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学権課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備について説明 検便等 (事前事後学権課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習が問担当者との面談にて個別指導	笹7回		(事前事後学修理題の内容)(45分)
(学修内容)保育上の倫理網領について理解する (学修内容)保育上の倫理網報を解説しながら、保育士として、実習生としての報について学ぶ。(事前事後学修課題の内容)(45分)保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこの事態を関係では、「学修内容)保育実習の新たな目標・課題を設定する(事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標を設定する(事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標を認定と、説明ができるようでおくこと。 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。(事前事後学修課題の内容)(45分)実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)実習課題の深削指導を個別相談にて行う。(事前事後学修課題の内容)(45分)保育実習の記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてこと。 (学修内容)保育実習のが容(45分)表の内容)に対する情報をしたまない。 (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、類疑の答案と、「学修内容)と、「学修内容)に表力リントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備について説明 検便等(事前事後学修課題の内容)(45分)をよる読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備について説明 検便等(事前事後学修課題の内容)(45分)に認めるようにしておくこと。(学修内容)実習記問担当者との面談にて個別指導	AT EI		実習生カード作成に必要なものを用意し、保育実習に向けた動機を整
第8回 保育実習 実習目標・課題の作成 (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定し、説明ができるよう ておくこと (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定し、説明ができるよう ておくこと (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定し、説明ができるよう ておくこと (学修内容)保育実習 の実習記録リートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録リートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分)保育実習 の実習記録リートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分)保育実習 の記録リートを読み返し、書をにくかったことをまとめ (こと (学修内容)保育実習 の記録リートを読み返し、書をにくかったことをまとめ (こと (学修内容)保育実践の内容)(45分)保育実習 の記録リートを読み返し、書をにくかったことをまとめ (ごを (学修内容)保育実践の内容)(45分)保育実習 の記録リートを読み返し、書をにくかったことをまとめ (ごを (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案の内容について考えておくこと 東習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 (学修内容)保育実践の内容)(45分)を (学修内容)保育実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分)を (事前事後学修課題の内容)(45分)を (事前事後学修課題の内容)(45分)を (事前事後学修課題の内容)(45分)を (事前事後学修課題の内容)(45分)と (学修内容)実習が問題するに関助である。 (学修内容)実習が問題すると (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が同意を (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が問題を (学修内容)実習が同意の内容)(45分)と (学修内容)実習が同意を (学修内容)を (学修内容			
#80回 (事前事後学修課題の内容) (45分) 保育実習 実習目標・課題の作成 (学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標を3つ考え、それぞれに課題を設定し、説明ができるようておくこと。 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容) (45分) 保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容) (45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画をし実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、翼疑応答 (事前事後学修課題の内容) (45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容) (45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導		保育士の倫理綱領について理解する	
# 第9回	第8回		
第10回 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習目標・課題の添削・指導 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ (こと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 (学修内容)保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			保育専門職としての倫理について、ワークシートにまとめておくこと。
実習目標・課題の添削・指導 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習の定認録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 8月の保育内容 ・水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 ~ (学修内容)保育実習の定認対 / トを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 ・実習の心得などの説明ならびに個別面談 ~ (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 ・実習事前指導 ・必要書類の説明ならびに個別面談 ~ (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 ・事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導		 保育実習 実習目標・課題の作成	(学修内容)保育実習 の新たな目標・課題を設定する
実習目標・課題の添削・指導 (学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)実習課題の不能と書き方の説明 (学修内容)保育運図の実習記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育運図の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 8月の保育内容 ・水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 ~ (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 ・実習事前指導 ・必要書類の説明ならびに個別面談 ~ (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 ・実習事前指導 ・必要書類の説明ならびに個別面談 ~ (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 ・必要書類の説明ならびに個別面談 ~ (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 ・事前事後学修課題の内容)(45分) に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			
第10回 では、こと。 東習目標・課題の添削・指導 (学修内容) 実習課題の添削指導を個別相談にて行う。 (事前事後学修課題の内容) (45分) 実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 実習記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 第12回 8月の保育内容 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - (学修内容)保育実践に向けての準備をする。 事前事後学修課題の内容)(45分)夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと。 実習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 - 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分)配布ブリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導	第9回		
第11回 (事前事後学修課題の内容)(45分) 実習記録ノートの配布と書き方の説明 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 -実習の心得などの説明ならびに個別面談 (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布ブリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 に臨めるようにしておくこと。 実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			
実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 ・実習の心得などの説明ならびに個別面談~ (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 実習事が担導 ・必要書類の説明ならびに個別面談~ (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導		実習目標・課題の添削・指導	(学修内容)実習課題の添削指導を個別相談にて行う。
実習目標と課題を清書用シートに記入しておくこと。 (学修内容)保育実習 の実習記録ノートの配布、記録の書き方について説明 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめ くこと。 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 ・実習の心得などの説明ならびに個別面談~ (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 実習事が担導 ・必要書類の説明ならびに個別面談~ (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導	笙10回		(事前事後学修理題の内容)(45分)
第11回 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 8 月の保育内容 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画をし実践に向けての準備をする。(事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導	W 10E		(- m - m - m - m - m - m - m - m - m -
第11回 (事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 8 月の保育内容 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 (学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画をし実践に向けての準備をする。(事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導		호행되었다. 나이라는 나라는 수 없었다.	(光板中央) (石本中羽 (木中野) (八井) (八井) (八井) (八井) (八井) (八井) (八井) (八井
第11回 保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめくこと。 8月の保育内容 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - 東習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 - 実習事前指導 - 必要書類の説明ならびに個別面談 - 第14回 - 第14回 - 第14回 - 第15回 - 第16回 - 第17回 - 第17回 - 第17回 - 第17回 - 第18回 - 第18		美官記録ノートの配布と書き万の説明	
第12回 8月の保育内容	第11回		保育実習 の記録ノートを読み返し、書きにくかったことをまとめてお
第12回 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			くこと。
#12回 - 水遊びの指導・注意事項・指導計画の立案 - し実践に向けての準備をする。 (事前事後学修課題の内容)(45分) 夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 - 実習の心得などの説明ならびに個別面談 - (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導		8月の保育内容	│ │(学修内容)保育実践を学ぶとともに、指導案作成の留意点の理解、指導計画を立案
夏の保育活動をイメージし、指導案の内容について考えておくこと 実習事前指導 ~実習の心得などの説明ならびに個別面談~ (学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報をしておくこと。 実習事前指導 ~必要書類の説明ならびに個別面談~ (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	し実践に向けての準備をする。
実習事前指導	第12回		
第13回 ** ***			支の体目心動で1 グーン 0、指導余の内谷に プロしちんしのくこと。
第13回 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 (学修内容)実習に伴う書類等準備についての説明 検便等 ~必要書類の説明ならびに個別面談~ (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 に臨めるようにしておくこと。 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			(学修内容)実習の心得、実習園とのオリエンテーション、質疑応答
配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を しておくこと。 実習事前指導 ~必要書類の説明ならびに個別面談~ 第14回	第12回	~実習の心得などの説明ならびに個別面談~ 	(東前東後学修理頭の内容)(45分)
実習事前指導	와 10립		配布プリントをよく読み、実習園の特徴や保育内容に関する情報を収集
・必要書類の説明ならびに個別面談 ~ (事前事後学修課題の内容)(45分)		C 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
第14回 (事前事後学修課題の内容)(45分) 配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別 に臨めるようにしておくこと。 実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			(子修内谷)美省に件つ書類寺準備についての説明 模便等
配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別に臨めるようにしておくこと。 実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導	第14回	2.女自然の別で3.0.0に間別国政	(事前事後学修課題の内容)(45分)
実習訪問担当者との面談 (学修内容)実習訪問担当者との面談にて個別指導			配布プリントをよく読み、目標と課題について理解した上で、個別面談
		宝習訪問担当者との面談	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第15回 (事前事後学修課題の内容)(45分)			() でいって / 大日 いいにこ 日 こ い 四 吹 に く 回 が は 守
	第15回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
報告書等に必要事項を記入し、面談時に提出すること。 			報告書等に必要事項を記入し、面談時に提出すること。

授 業 名	保育実習指導 a	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	CE2421	
英 文 名	Guidance of Child Care Training	開講時期	春学期		必 修選 択	選択		
担当者	武田 康晴 対象 対別教育2回生							
授業の概要	「保育実習 (施設)」の事前・事後に行う学内指導となる。「保えて、振り返り、学んだことを深化、発展させ、「保育実習 (施」の実習の意義や目的を認識するとともに、現代社会における子保育士として必要とされる資質や能力を養うことを目的とす。実践ループ作業を取り入れて授業を進める。	設)」に「 どもや保証	可けての実習課題を 養者を取り巻く保育	明確にす	る。「保育 題点を理解	育実習 解し、		
学修成果到達目標	1)保育実習 の意義や目的を理解できる。 2)保育士の職業倫理・守秘義務を理解できる。 3)保育士としての社会的責任を説明することができる。 4)実習課題を明確にし、実習目標を達成する。							
	知識・理解	Ŋ	N用的技能 ————————————————————————————————————					
学位授与の	態度・志向性	糸	総合的な学習経験と	創造的思	考力 ————			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテージ	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (実習準備の完成度		ノョン能力 課題) (発見・解:	決能力)	
テキスト	保育実習指導 で使用したテキストを引き続き使用する。							
参考書	必要に応じて紹介する。							
課題に対する フィードバック の方法	個別面談を通じて口頭で行うほか、必要に応じて提出物にコメント	を記入して	で返却する。					
留意事項	「保育実習」の実施に向けて、実習の重要な事項を学ぶ授業と学科の保育関係科目の履修状況及び出席状況によっては、準備がすること。			-	きないので	で注意		
オフィスアワー	研究室に掲示し、口頭でも伝える。							
実践的教育								

授業名 **保育実習指導** a

1X - H	水月大日沿等 C	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)保育実習指導 、保育実習 について、実習概要、授業の進め方につい て理解する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスに目を通しておく。保育実習指導のノートを点検し、不備がないものを準備する。
	保育実習の目的・意義	(学修内容)保育実習 との関連また相違点や段階的学習について理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(45分) 保育実習 の実習ノートの該当箇所を復習し、課題を抽出しておく。
35 ^년		MANA WALL OF THE PROPERTY OF T
	保育実習 の振り返りレポートの作成	(学修内容)保育実習 の内容について振り返りを行い、個別面談を経て保育実習 へ向かう課題を明確にする。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
21.2		実習に関するファイル情報を作成し提出する。
	保育実習 の振り返りと評価面談	(学修内容)保育実習 の振り返りと個別面談を通じて保育実習 の目的、意義を理解する。個別面談以外の学生は課題を作成する。
第4回		解する。 個別国談以外の子主は話題を作成する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前に提示した課題に取り組み提出する。
	保育実習 の振り返りと評価面談	(学修内容)保育実習 の振り返りと個別面談を通じて保育実習 の目的、意義を理解する。個別面談以外の学生は課題を作成する。
第5回		解する。個別面級以外の子生は麻癬を下成する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前に提示した課題に取り組み提出する。
	保育実習 の振り返りと評価面談	(学修内容)保育実習 の振り返りと個別面談を通じて保育実習 の目的、意義を理解する。個別面談以外の学生は課題を作成する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前に提示した課題に取り組み提出する。
	実習生カードの作成と提出	(学修内容)実習生カードその他、保育実習 に必要な書類について準備する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第7回		写真等実習生カードその他の作成に必要なものを準備してくる。
	保育士として持つべき価値観・倫理観	(学修内容)全国保育士会の倫理綱領等を活用し、保育士として、また実習生として
第8回		の倫理、義務、責任について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		倫理綱領に目を通しておく。また事後には、保育士の倫理についてレポートを作成する。
	実習目標と課題の作成	(学修内容)保育実習 の積み残し課題を踏まえ、保育実習 としての目標と課題を 検討、所定の用紙を作成する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		目標と課題の用紙を作成し、提出する。
	実習目標と課題の添削指導	(学修内容)前回の授業を通じて作成、提出した実習課題と目標の用紙を使い、グループ作業も取り入れながら相互添削、教員による添削を受ける。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業の内容を踏まえ、目標と課題の用紙を清書して提出する。
	実習記録ノートの配布と書き方の解説	(学修内容)実習記録の書き方を学ぶ。また、保育実習 (施設)の実習ノートを持 参し、自己添削するワークショップも用いて記録について学ぶ。
第11回		(事前事後学修課題の内容) (90分)
		実習ノートを使って1日の記録を記入して提出する。
	保育実習 に関するグループ指導 	(学修内容)保育実習 (施設)という枠内でテーマを設定し、ディスカッションを 通じて課題と対応策について探求する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業内容に関するレポートを作成する。
	保育実習 に関するグループ指導	(学修内容)保育実習 (施設)という枠内でテーマを設定し、ディスカッションを 通じて課題と対応策について探求する。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		授業内容に関するレポートを作成する。
	書類の作成指導	(学修内容)保育実習 に必要な書類について、活用方法、必要性を十分に理解しながら作成する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		書類作成に必要なものを準備する。
	保育実習 に向けた最終確認・指導と訪問教員と の顔合わせ	(学修内容)保育実習 に向けた最終的な諸注意事項を理解する。また、訪問担当教員と面談し、実習中の指導方法について確認する。
	1 PA 1 C	スと国际し、ヘローの旧寺ハバにして「た唯物」と。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(90分) 実習に向けて総括的なレポートを作成する。

授	業	名	子ども家庭福祉	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CE1204
英	文	名	Child Welfare	開講時期	春学期		必 修 選 択	選択	
担	当	者	荘厳 茶茶	対 象 学 生	幼児教育1回生	Ξ			
授業	€の	概要	子どもとその家族の存在と尊厳を守り、育むための支援において必然歴史、制度(法律・施策)、社会資源、援助内容等、子どもとその家だ育ちと、家庭の安寧な子育て生活に重要となる支援について総合的I	族に関する	る福祉を多面的に扱				
			1)子どもの尊厳や発達を守ることと、家庭福祉とのつながりを理解 2)子どもやその家族、またその家族を取り巻く周囲環境に関する社会 きる制度や社会資源等を把握、理解できる。 3)子育て家庭の個々の問題に対する適切な支援の選択肢を考えること	会的問題が		らを解決す	るために氵	舌用で	
			知識・理解	·.	1用的技能				
学位	授	与の	態度・志向性		Parity Re	:創造的思	 考力		
		の関連	1010			. MJ.~ X J.O.	3,3		
アクラー	=:			グループワ I C T活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(西フ	方 法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (100 %) 口述 実習 実技	平常記	式験 筆記試駅 %) 口述	策 レポ 実習		制作物 実技	
評値	西县	基 準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	vョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テ=	‡ ;	スト	適宜、プリントを配布する。						
参	考	書							
	- F	付する バック	試験答案の回収後、模範解答を配布し、後日答案を個別返却する。						
留意	意	事項	授業時間以外での日常生活においても、子どもや子育て家庭に関する	る時事情幸	Bに関心をもって触	せれること	が望まし	, 1。	
		ィス -	曜日・時間は研究室ドアに掲示。 メールによる問い合わせは常時受け付け。						
実践	的	教育							

授業 名 子ども家庭福祉

	了このがた。同正	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション 	(学修内容)授業内容の概略、および授業計画の説明
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスの内容を確認する。
	現代社会と子ども家庭福祉	(学修内容)現代の子育て家庭を取り巻く問題とニーズ、およびその背景
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 子どもや子育てに関する時事問題のうち、興味をもったものや気になったものをメモにとる。
	子どもの人権	(学修内容)子どもの人権に関する観念、およびその規定根拠
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	子ども家庭福祉の成立と展開	(学修内容)子どもおよび子育て家庭を対象とした福祉施策の歴史
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
第5回	子ども家庭福祉の法体系、行財政、機関・施設(1)	(学修内容)子どもおよび子育て家庭を対象とする、現在の福祉施策の根拠法および 財源 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
第6回	子ども家庭福祉の法体系、行財政、機関・施設(2)	(学修内容)子どもおよび子育て家庭を対象とする、現在の福祉施策に関連する機関・施設の定義と役割 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	7. 在一种	
第7回	子育て支援・次世代育成支援と保育施策 	(学修内容)子育て支援の必要性および重点問題と、保育施策のつながり (事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	母子保健施策	(学修内容)母子の保健衛生の維持・向上を目的とする福祉施策
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	ひとり親家庭への福祉施策	(学修内容)ひとり親家庭の抱える顕在的・潜在的問題と、その解決施策
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	子ども虐待とDV問題の防止施策	(学修内容)児童虐待問題およびDV問題の現状と、その防止施策
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	社会的養護を必要とする子どもへの福祉施策	(学修内容)社会的養護の概念、必要性、現状、およびその福祉施策
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	障害がある子どもへの福祉施策	(学修内容)障害という特徴をもつ子どもを対象とする福祉施策
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
第13回	心理治療の必要性や非行問題を抱える子どもへの 支援	(学修内容)(障害以外の)困難特徴をもつ子どもを対象とする福祉支援の実際 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	 子ども家庭福祉の専門職と連携	 (学修内容)子ども家庭福祉に関わる多種類の専門職間の連携のあり方
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回の授業内容のノート整理をおこない、疑問・質問等をまとめる。
	総括	(学修内容)全回の総合的まとめ
第15回		(事前事後学修課題の内容)(180分) 全回の学修内容の流れを振り返ってノート整理をおこない、解決してい ない疑問・質問等をまとめる。

授業	業 名	人物史	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2219
英文	文 名	History of Great People	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当	当 者	新矢 昌昭	対象 学生	総合文化2回生	<u> </u>			
		本講義では、主として人物の思想について考えたい。彼らは、 その人物の目指した理想や理念を考え、また現代社会に生きる						
授業の	の概要							
		1)現代に生きるわれわれにとって、取り上げた人物から彼ら 2)時代と人物との関係を把握することができる	らの時代的な意象	らを掴むことができ	る			
		3)人物と思想を考える						
学修到達								
到 连	口作							
		知識・理解	<u>بر</u>					
学位授	受与の	態度・志向性		************************************	創造的思	 考力		
方針と	の関連							
アクテ ラーニ 対象授	ング	PBLディスカッション・ディベート実習・フィールドワークICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
		定期試験 筆記試験 レポート 制作物	平常記	式験 筆記試験	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一 ト #	訓作物	
計加					実習	3	€技	
	方 法	(85 %) 口述 実習 実技	(15	%) 口述				
評価		(85 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (プレゼンテーシ		発見・解	決能力)
評価		主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力		ノョン能力 課題	発見・解	決能力)
評価テキ	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 観点 授業態度・参加意欲 (ノョン能力 課題	発見・解	決能力)
	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 観点 授業態度・参加意欲 (ノョン能力 課題	発見・解	決能力)
	基準スト	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する		ノョン能力 課題	発見・解	決能力)
テキ	基準スト	主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する		ノョン能力 課題	発見・解	決能力)
テキ	基準スト書かする	主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える		ノョン能力 課題	発見・解	決能力)
テキ参え	基準スト書るク	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える	プレゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解)
テキ 参 考 課題にフィートの方法	基準スト書がパック	主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える	プレゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解)
テキ参え	基準スト書がパック	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える	プレゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解)
テキ参 課題に下法 留 オフ	基 ス	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える	プレゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解)
テキ 参 考 課題によった の方法	基 ス	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える わからない箇所は、講義後に聞くこと。また、史料は講義中に	プレゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解)
テキ参 課題に下法 留 オフ	基 ス 割 対バ 事 イフ	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (使用しない。史料を配布する 講義中に指摘する 配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える わからない箇所は、講義後に聞くこと。また、史料は講義中に	プレゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解)

授業 名 人物史

	八九以	
授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)人物史とは何か
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自身の好きな歴史的人物について調べておく
		↓ (学修内容)人物から歴史、社会を考える
第2回	足利義教一くじ引き将軍	(事前事後学修課題の内容)(60分) どのような人物が主として取り上げられているのかを高校の教科書から 調べておく (学修内容)くじ引き将軍の目指したもの
第3回	た 付 我 教 一 \ U コ C 付 里	(事前事後学修課題の内容)(30分) 義教についての基礎的な理解をしておく
	足利義教ー恐怖政治の思想	(学修内容)恐怖政治の思想
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 歴史的な恐怖政治の共通項について考えておく
	織田信長の思想	(学修内容)信長の目指したもの
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布史料を読み、信長の人物像を自身で描く
	本居宣長の思想	(学修内容)宣長の日本
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布史料を読んでおく
	フィールドワークー講義で関係のある人物につい	(学修内容)フィールードワーク
第7回	ての	(事前事後学修課題の内容)(60分) 自身で、行先の何を注目するのか、その注目した点について調べる
	フィールドワークについての発表	(学修内容)フィールドワーク事後報告
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 各自が設定したテーマについてレジュメを用意
	新撰組の思想	(学修内容)芹沢鴨は本当に乱暴者なのか
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 意幕末水戸藩についての理解しておく
	残念さん一歴史の犠牲者	(学修内容)水井精一と山本誠一郎
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布史料を解読しておく
	夏目漱石の『こころ』の思想	(学修内容)D V D鑑賞
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 漱石について理解しておく
	『こころ』についてのグループワーク	(学修内容)『こころ』をみんなで考える
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) ワークシートに記入しておく
	夏目漱石と近代社会	(学修内容)漱石は近代日本をどのように見ていたのか
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布資料を読んでおく
	夏目漱石と個人主義	(学修内容)個人主義は可能か
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布資料を読んでおく
	夏目漱石と現代	(学修内容)現代社会と漱石
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布資料を読んでおく
	I	I

授 業 名	日本文化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コ <i>ー</i> ド	IC1201	
英 文 名	Japanese Culture	開講時期	春学期		必 修選 択	必修		
担当者	工藤 美和子 対象 学生 総合文化1回生							
授業の概要	日本の文化や思想は、インドで誕生しアジア諸国を通じて伝わった 鎌倉時代までをあつかい、日本文化の有り様を仏教との関わりの観 本文化がどのように成立してきたのかの基礎的知識、および多様な	点から概観	見する。また、歴史					
学修成果到達目標	1)日本仏教の歴史や文化、仏教思想の特徴を説明することができ 2)時代や身分階層による文化の変遷を説明することができる。 3)自国の文化と他国(他者)の文化を公平にみる視点を養うこと							
	知識・理解	沂	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	松	合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│ グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記(30		ション 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレ (ゼンテーシ	vョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テキスト	特に使用しない。授業内にて資料を配付する。							
テキスト 参 考 書	特に使用しない。授業内にて資料を配付する。 授業内にて随時紹介する。 高校の日本史教科書を読むことをすすめる。 史料を読むこともあるので、国語・漢字・日本史等の辞典類はそろ	えておくこ	ことがのぞましい。					
	授業内にて随時紹介する。 高校の日本史教科書を読むことをすすめる。	えておくこ	ことがのぞましい。					
参 考 書 課題に対する フィードバック	授業内にて随時紹介する。 高校の日本史教科書を読むことをすすめる。 史料を読むこともあるので、国語・漢字・日本史等の辞典類はそろ							
参 考 書 課題に対する フィードバック の方法	授業内にて随時紹介する。 高校の日本史教科書を読むことをすすめる。 史料を読むこともあるので、国語・漢字・日本史等の辞典類はそろ 提出されたレポートはコメントを付けて返却する。							

授業 名 日本文化

,	口华义化	
授業計画	i 学修項目	学修内容・課題
	文化とは何か	(学修内容)文化という言葉の意味を知る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前にシラバスに目を通し、概要を理解しておくこと。
第2回	日本への仏教伝来と仏教東漸	(学修内容)インド・中国・古代朝鮮を経て伝わった仏教とその影響について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布した資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第3回	聖徳太子と「憲法十七条」	(学修内容)「憲法十七条」を読解し、聖徳太子が社会に与えた影響を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布した資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第4回	聖徳太子信仰の変遷	(学修内容)古代から現代も信仰される聖徳太子の伝承を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布した資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第5回	東大寺創建と大仏造立にみる仏教国家への道	(学修内容)東大寺と大仏造立に込められた仏教国家思想を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
歩 3凹	仏教と文字文化	(争削争後子修課題の内容)(の分) 事前配布した資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。 配付資料をもとに、実際に現地を訪れることをすすめる。 (学修内容)中国から日本に伝わった漢字と仮名文字の文化について知る。
第6回	山山水にステスル	(子修内存)中国から日本に伝わりた漢字と収名文字の文化について知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布した資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第7回	平安時代の密教 空海と最澄	(学修内容)空海と最澄が伝えた密教と密教文化について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第8回	平安時代の浄土教『往生要集』の世界	記付資料をもとに、実際に現地を訪れることをすすめる。 (学修内容)『往生要集』の浄土信仰と浄土教文化を学ぶ。 配付資料をもとに、実際に現地を訪れることをすすめる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第9回	藤原道長の仏教信仰	(学修内容)平安貴族・藤原道長の仏教信仰について知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。 配付資料をもとに、実際に現地を訪れることをすすめる。
第10回	仏教年中行事 温室	(学修内容)平安時代の仏教年中行事を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第11回	仏教年中行事 盂蘭盆会	(学修内容)平安時代の仏教年中行事を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第12回	院政期と仏教	(学修内容)平安時代後半の仏教文化について知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。
第13回	後白河院と平清盛	(学修内容)後白河法皇と平清盛が創出した仏教文化を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。 配付資料をもとに、実際に現地を訪れることをすすめる。
第14回	鎌倉時代の仏教文化	(学修内容)鎌倉仏教とそれが創出した仏教文化を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前配布の資料に目を通し、授業内容をノートにまとめる。 配付資料をもとに、実際に現地を訪れることをすすめる。
第15回	まとめ	(学修内容)授業全体の振り返りを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業をふり返り、定期試験にそなえる。

授 業 名	健康と食の文化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	IC1202
英 文 名	Health and Food Culture	開講時期	春学期		必修選択	必修	
担当者	平 正人	対象学生	総合文化1回生	Ξ.			
授業の概要	日本は世界に誇る長寿の国で平均寿命は年々延びているものの、いる。今後の目標は平均寿命ではなく、健康寿命の延伸にシフトしら健康で長生きするためには、健康な食生活や栄養学を理解し、自主を授業では、さまざまな栄養素と食品、健康の維持・増進のためび、次世代にどのように継承していくかを考える。	 国民医療費 ておりー次 身の健康に	マ予防が重要視され こ関心をもつことか	いている。 ヾ重要とな	私たちがる る。	これか	
学修成果到達目標	・食生活と健康に関する基礎知識を習得する。 ・生活習慣病を予防するための栄養と食について理解する。 ・日本の伝統的食文化を理解し、次世代へどのように継承したいか	を説明でき	53.				
	知識・理解	沪	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	松	合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ラーニング	PBL ディスカッション・ディベート	グループワ	リー ク	プレ	ゼンテーシ	ソョン	
対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	ICT活用	引(自主学習支援) ————————————————————————————————————				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記 (30		ま レポ 実習		削作物 €技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 () (発見・解	決能力)
テキスト	『大学で学ぶ食生活と健康のきほん』著:吉澤みな子・武智多与理	・百木和	2020 (化学同人)				
参考書	・日本の食文化「和食」の継承と食育 編著:江原 絢子、石川 ・その他適宜、授業中に紹介する。	尚子 201	6.09 (アイ・ケイ	コーポレ-	-ション)		
課題に対する フィードバック の方法	提出された課題につき、必要な部分については適宜解説する。						
留意事項	自身の食生活について振り返り、評価できる力を養ってほしい。						
オフィスアワー	初回の授業でお伝えします。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:私立病院、官公立病院で栄養士・管理栄養士: クリニックにおける栄養食事指導に従事。 地域栄養士会、保健所を通じて、地域病院と				動など。		

授業名 健康と食の文化

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)健康とは何か! 健康づくりに必要な栄養量について学ぶ。
第1回	健康と食の分化について - 1	(人は何故食べるのか) (事前事後学修課題の内容)(30分)
新 I 凹		(事刑事後字形誅越の内谷) (30万) 教科書p.1~6を読み、健康を維持するための栄養量について調べて授業
		に臨むこと(エネルギーと栄養素)
	健康と食の分化について・2	(学修内容)炭水化物の体内での働きについて学ぶ
	(炭水化物)	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教科書p.7~13を読み、炭水化物について調べ授業に臨むこと
		(炭水化物が豊富な食品その役割)
	健康と食の分化について - 3	(学修内容)たんぱく質の体内での働きについて学ぶ
~~~	(たんぱく質)	/ <del>= * = // * // * // * // * // * // * /</del>
第3回		(事前事後学修課題の内容) (30分)   教科書p.15~22を読み、たんぱく質について調べ授業に臨むこと
		教科書p. 13~22を読み、たんはく真について調べ投業に過むこと (たんぱく質が豊富な食品その役割)
	健康と食の分化について・4	(学修内容) 脂質の体内での働きについて学ぶ
	(脂質)	(子形では)加良の作りての倒じについて子が
第4回	(MAX)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教科書p.23~30を読み、脂質について調べ授業に臨むこと
		(脂質が豊富な食品その役割)
	健康と食の分化について - 5	(学修内容)ビタミンとミネラルの体内での働きについて学ぶ
	(ビタミンとミネラル)	
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教科書p.31~40を読み、ビタミン・ミネラルを調べて授業に臨むこと
		(ビタミン、ミネラルが豊富な食品とその役割)
	健康と食の分化について・6	(学修内容)美味しいとは何かについて学ぶ
第6回	(おいしさと健康のための調理)	(和食の基本「出し」について) (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>年0</b> 凹		(争刑争後子修綵題の内谷) (30ガ)   教科書p.41~51を読み、美味しいということ、について調べ授業に臨む
		こと (出し、塩分について)
	健康と食の分化について - 7	(学修内容)病気の予防や健康の増進にかかわる食品の機能性を学ぶ
	(食品の機能性)	
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教科書p.53~68を読み、機能性食品について調べ授業に臨むこと
		(日頃利用する食品の表示制度について)
	ライフステージ別の食と健康 - 1	(学修内容)妊娠期、授乳期、乳児期~幼児期の食生活と健康について学ぶ
ζζ. ο ΓΙ	(妊娠期・授乳期~乳児期・幼児期)の食生活と	/ <del>= * = * * * * * * * * * * * * * * * * </del>
第8回	健康	(事前事後学修課題の内容)(30分)   教科書p.69~82を読み、女性の疾病、乳児期~幼児期について調べ授業
		教科書p.09~62を読み、女性の疾病、孔元期~初元期について調へ授事 に臨むこと
	ライフステージ別の食と健康 - 2	(学修内容)学童期~思春期の食生活と健康について学ぶ
	(学童期~思春期)の食生活と健康	
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教科書p.87~92を読み、学童期・思春期の疾病について調べ授業に臨む
		こと
	ライフステージ別の食と健康 - 3	(学修内容)成人期~高齢期の食生活と健康について学ぶ
	(成人期~高齢期)の食生活と健康	
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		教科書p.93~103を読み、成人期、高齢期の主な疾病についてし食べ授
	(独体 L 全の八ルについて 0	業に臨むこと
	健康と食の分化について - 8   (健康づくりと食生活)	(学修内容)人に必要な栄養量(エネルギーと栄養素)について学ぶ
第11回	(健康ラベリと良土冶)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
짜니ഥ		教科書p.105~110を読み、あなたに必要なエネルギー量を調べ授業に関
		むこと
	健康と食の分化について - 9	(学修内容)食の安全とは何か、生産・流通・販売や食中毒予防について学ぶ
	(食生活と安全)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第12回		教科書p.117~132を読み、食中毒について調べ授業に臨むこと
		(身近な食べ物における「食中毒予防」など)
	健康と食の分化について - 10	(学修内容)和食の魅力とその特徴について、日本の伝統的な食文化について学ぶ
***	(和食)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第13回		教科書p.133~142を読み、和食について調べ授業に臨むこと (和食の特徴や自身の出身地における行事食や郷土料理)
		(作民の付取で日分の山分地にのける行事民や浄工科理)
	健康と食の分化について・11	(学修内容)日本料理とは何かを学ぶ
		世界の料理について学ぶ
	(日本科理と世界の科理)	
第14回	(日本料理と世界の料理) 	- (事則事後子修誅趙の内谷)(30分)
第14回	(日本科理と世界の科理)	(事前事後学修課題の内容)(30分)   日本料理の特徴について、洋食料理と中華料理の特徴について情報を
第14回	(日本科理と世界の科理)	
第14回	健康と食の分化について・12	日本料理の特徴について、洋食料理と中華料理の特徴について情報を集
第14回		日本料理の特徴について、洋食料理と中華料理の特徴について情報を集めておく (学修内容)精進料理とは何かについて学ぶ
第14回	健康と食の分化について - 1 2	日本料理の特徴について、洋食料理と中華料理の特徴について情報を めておく

授 業 名	日本の歴史	開講学年	1回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	IC1203
英 文 名	Japanese History	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	工藤 美和子	対象学生	総合文化1回生	<u> </u>			
授業の概要	高校までの歴史の学習ではなく、「歴史とは何か」を考え、日本史 つかの事象を取りあげて考察する。また、現在までに明らかになっ たのかを学び、今後、主体的に知識を獲得していくための考え方や	ている歴史	史的知見が、どのよ				
学修成果到達目標	1)「歴史学」という学問分野の基本的な考え方を理解することが 2)日本の各時代における社会の特性を理解し、説明できる。 3)歴史的に物事を考えるための視座を得ることができる。	できる。					
	知識・理解	j.	几用的技能				
学位授与の	態度・志向性	***	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│ グループワ ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 70 %) 口述 実習 実技	平常記 (30		ま習 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	特に必要としません。授業内で資料を配付します。						
参考書	日本史の教科書や資料集など歴史辞典など、適宜、授業内で紹介し	ます。					
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートはコメントをつけて返却します。						
留意事項	日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。						
オフィスアワー	研究室に日時を掲示します。確認してください。						
		-					

## 授業名 日本の歴史

# 2 計画	,, ,, ,,	日本の歴义	
第4回	授業計画	学修項目	学修内容・課題
第4回		ガイダンス:「歴史」とは何か	(学修内容)「歴史」の誕生とそれを学ぶ意義を考える。
第4回			
第4回	第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第2回 (学教内音) 注意图家の神理かを模案した時代の社会と文化について理解する。 (学教内音) 注意音楽と考疑器の内音) (60分)	75.1		
# 新華皇子教護部の内容)(の分)			子 10 子 区・ア ア ババマ A A A D O O O O O O O O O O O O O O O O
# 新華皇子教護部の内容)(の分)		飛鳥時代の歴史と文化	(学修内容)律今国家の枠組みを模索した時代の社会と文化について理解する
##10			
### 記録の   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	第2回		(
京談時代:適園便と中間文化	<b>뉴스</b> 티		
# 第3回			争後、技業内台でノードによこのな。
# 第3回			( 労権力会 ) 漫画体派書による中国文化の影響を考える
平文時代: 貴族社会と天皇		示反時代・追居使と中国文化	(子杉内台) 追居使派追による中国文化の影音を考える。 
平文時代: 貴族社会と天皇	₩ 0 E		(東前東後労協理師の中容)(60/))
東京	弗3凹		
平安・代・貴族社会と天皇			
第4回			
## 1.60		平女時代:貝族社会と大皇	( · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
#後: 授業内容をノートにまとめる。  平安・鎌倉時代の京都と武事社会  (学修内容)院政や平氏政権、鎌倉幕府の成立と京都との関係を考える。 (事前事後字修謀題の内容)(60分) 事前・近布資料を結む。 事後・授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)ア安時代から蘇西時代の仏教と欠化  (学修内容)ア安時代から蘇西時代の仏教と欠化  (学修内容)アマサドから蘇西時代の仏教と化していて知る。 (事前事後字修謀題の内容)(60分) 事前・近布資料を結む。 事後・授養内容をノートにまとめる。 (学修内容)アマールドワークを実施する(見学先来定・日程調整)。 (学修内容)アマールドワークを実施する(見学先来定・日程調整)。 (学修内容)アマールドラークを実施する(見学先来定・日程調整)。 (学修内容)京都に置かれた窓町幕府の政治形態や文化を理解する。 (事前事後字修謀題の内容)(60分) 事前・近布資料を結む。 事後・授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 原知・最初の内容)(60分) 第前・近布資料を持てい。 第10回  第10回  第10回  第10回  第11回  第11回  第11回  第12回  第13回  第13回  第14回  第13回  第14回  第13回  第15回	~~ . <del>-</del>		
平安・鎌倉時代の京都と武藩社会	弗4回		
第5回			事後:授業内谷をノートにまとめる。 
第5回			
## 18. 配売資料を読む。 ## 18. 一下では、		平安・鎌倉時代の京都と武冢社会	(字修内谷)院政や平氏政権、鎌倉幕府の成立と京都との関係を考える。
## 18. 配売資料を読む。 ## 18. 一下では、			
事後:	第5回		(
第6回			
# 新: 記布領科を読む。		平安・鎌倉時代の仏教と文化	(学修内容)平安時代から鎌倉時代の仏教文化について知る。
# 新: 記布領科を読む。			
事後: 授業内容を	第6回		
第7回 マイールドワーク (学作内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:見字先を謂べておく。 (学作内容)京都に置かれた室町幕府の政治形態や文化を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前:配荷資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学作内容)変町・戦国所での政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (学作内容)変町・戦国所での政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (学作内容)変町・戦国所での政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (学作内容)変町・戦国所での政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (学作内容)変所をソートにまとめる。 (学作内容)をソートにまとめる。 (学作内容)事能・起荷資料を読む。事能:促棄内容をノートにまとめる。 (学作内容)事所・配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布資料を読む。事前:配布资料を読む。事前:配布资料を読む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を誘む。事前:配布资料を読む。事前:配布资料を読む。事前:配布资料を読む。事前:配布资料を読むのの容)(60分)事前:配布资料を読むのの容)(60分)事前:配布资料を読むの。第13回 第13回 第15回 (学作内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考えるの。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考えるの。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考えるの。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考えるの。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考えるの。 (学修内容)日本が目指した近代を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考えるの。 (学修内容)日本が目指した近代を、明治・大正時代を比較しその共通点を通り、 (学修内容)日本が同様に表記。 まとめ (学の内容)日本が同様に表記。 まとめ (学修内容)日本が同様に表記。 まとり (学の内容)日本が同様に表記。 まとり (学の内容)日本が同様に表記。 まとり (学の内容)日本が同様に表記。 まとり (学の内容)日本が同様に表記。 まとり (受力を)日本が同様に表記。 まとり (学の内容)日本が同様に表記。 またり (学の内容)日本が同様に表記。 まり (表述の内容)日本が同様に表記。 まり (学の内容)日本が同様に表記。 まり (学の内			事前:配布資料を読む。
第7回			事後:授業内容をノートにまとめる。
第前: 見学先を調べてあく。  (学修内容)京都に置かれた室町幕府の政治形態や文化を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容)宮町・戦国時代の政治的動向と、京都と朝国大名との関わりを知る。 (学修内容)宮町・戦国時代の政治的動向と、京都と朝国大名との関わりを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 機震政権と後側政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 例第派と任政がといて、第12回 第13回 第13回 第14回 第末の京都: 志士たち活躍 (学修内容) 日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 授業の版り返り。 (学修内容) 授業の版り返り。		フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整)。
第前: 見学先を調べてあく。  (学修内容)京都に置かれた室町幕府の政治形態や文化を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容)宮町・戦国時代の政治的動向と、京都と朝国大名との関わりを知る。 (学修内容)宮町・戦国時代の政治的動向と、京都と朝国大名との関わりを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 機震政権と後側政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 予保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授養内容をノートにまとめる。 (学修内容) 例第派と任政がといて、第12回 第13回 第13回 第14回 第末の京都: 志士たち活躍 (学修内容) 日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前: 配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 授業の版り返り。 (学修内容) 授業の版り返り。			
第8回 (学修内容)京都に置かれた室町幕府の政治形態や文化を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事館:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)対事的:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)対事的:配布資料を読む。事態:形成等内容が受けていません。 (学修内容)対象的では、「事前事後学修課題の内容)(60分)事的:配布資料を読む。事態:授業内容をノートにまとめる。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事的:配布資料を読む。事態:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)対象がにいまり (学修内容)対象が上級の対象はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容)研究としていました。 第13回 第末の京都:志士たち活躍 (学修内容)研究をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分)事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。	第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事態:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)室町・戦国大名との関わりを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)幽農政権と後川政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事節:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)事例:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)事例:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近保を、明治・大正時代を比較しその共通点や適いを考える。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や適いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や適いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。			事前:見学先を調べておく。
(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事態:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)室町・戦国大名との関わりを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)幽農政権と後川政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事節:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)事例:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)事例:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近保を、明治・大正時代を比較しその共通点や適いを考える。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や適いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や適いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。			
#前:配布資料を誘む。 #後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)室町・戦国時代の政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (学修内容)室町・戦国的代の政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)織豊政権と徳川政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (学修内容)端豊の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)等保、養政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容)元禄文化と代政文化の特徴を理解する。 (学修内容)元禄文化と代政文化の特徴を理解する。 (学修内容)例第派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを適して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)例第派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを適して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (学修内容)授業の振り返り。 第:配布資料を読む。		室町幕府と京都	(学修内容)京都に置かれた室町幕府の政治形態や文化を理解する。
#前:配布資料を誘む。 #後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)室町・戦国時代の政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (学修内容)室町・戦国的代の政治的動向と、京都と戦国大名との関わりを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)織豊政権と徳川政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (学修内容)端豊の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)等保、養政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容)元禄文化と代政文化の特徴を理解する。 (学修内容)元禄文化と代政文化の特徴を理解する。 (学修内容)例第派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを適して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)例第派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを適して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (学修内容)授業の振り返り。 第:配布資料を読む。			
#前:配布資料を読む。   郵館:授業内容をノートにまとめる。	第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
#後: 授業内容を / ートにまとめる。	21.51		
第9回   戦国大名と京都			
(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  (学修内容) 織豊政権と近世のはじまり (学修内容) 織豊政権と徳川政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  (学修内容) 享保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  (工戸時代:元禄・化政文化 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容) 元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容) 月本文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容) 日本が日本が日本に活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。(事前事後学修課題の内容) (60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 日本が日指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 日本が日指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。			
# 前: 配布資料を読む。   事前: 配布資料を読む。   事後: 授業内容を		THE POST OF THE PO	(
#後: 授業内容をノートにまとめる。  (学修内容) 織豊政権と近世のはじまり (学修内容) 織豊政権と徳川政権のつながりと近世社会の成立を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 享保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (学修内容) 事前:配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容) 元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容) 示禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (学修内容) 事前:配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 側幕派と任憲派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容) 日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配売資料を読む。 事後: 授業内容をノートにまとめる。	笙9回		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	35 CE		
# 第10回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)享保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  江戸時代:元禄・化政文化 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  第末の京都:志士たち活躍 (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  近代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前・配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  ば代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前・配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  まとめ (学修内容)授業の振り返り。			学校・1文米17日とグードにあてのる。
# 第10回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)享保・寛政・天保の改革はなぜ行われたのか、その社会的背景を知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  江戸時代:元禄・化政文化 (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  第末の京都:志士たち活躍 (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  近代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前・配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  ば代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前・配布資料を読む。事後:授業内容をノートにまとめる。  まとめ (学修内容)授業の振り返り。			(学修内窓) 鮮典政族と海川政族のつたがけと近世社会の成立を理解する
#前:配布資料を読む。   事前:配布資料を読む。   後:授業内容をノートにまとめる。   江戸時代:三大幕政改革			( 子杉内台 ) 職豆以惟と徳川以惟の ) なかりと近と社会の成立を注解する。
#前:配布資料を読む。   事前:配布資料を読む。   後:授業内容をノートにまとめる。   江戸時代:三大幕政改革	第10回		(東前東後学修毎時の内容)(60分)
事後:授業内容をノートにまとめる。   江戸時代:三大幕政改革	와 10립		( - m - m - m - m - m - m - m - m - m -
江戸時代:三大幕政改革			
#11回  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  江戸時代:元禄・化政文化  (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  近代化とは何か  (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  まとめ  (学修内容)授業の仮容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。			
#11回 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  江戸時代:元禄・化政文化  (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  近代化とは何か  (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  まとめ  (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。		八厂时11、二人春以以早 	
#後:授業内容をノートにまとめる。    江戸時代:元禄・化政文化	第11日		
第12回   (学修内容)元禄文化と化政文化の特徴を理解する。	ま 二 凹		
#12回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 近代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを 考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 まとめ (学修内容)授業の振り返り。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)			争仮:按耒内谷をノートにまとのる。
#12回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 近代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを 考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 まとめ (学修内容)授業の振り返り。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)		江市時代,二海 水形光水	( 当夜市家 ) 二独立ル レルかさル ふは働き 四級 ナマ
事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)		江厂時11、江塚・北以又北	(子修内谷)兀塚乂化C化以乂化の特倒を埋解9る。
事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)	₩		/ 事益事後党権理師の中央 > / 22 // >
事後:授業内容をノートにまとめる。	第12回		
第13回幕末の京都:志士たち活躍(学修内容)倒幕派と佐幕派がともに活躍した京都の様子を史蹟などを通して知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。近代化とは何か(学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。まとめ(学修内容)授業の振り返り。第15回(事前事後学修課題の内容)(30分)			
第13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)			
第13回 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 近代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 まとめ (学修内容)授業の振り返り。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)		暴木の泉都:志士たち活躍	(
事後:授業内容をノートにまとめる。  近代化とは何か  (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  (学修内容)授業の振り返り。  第15回  (事前事後学修課題の内容)(30分)	AV		
近代化とは何か (学修内容)日本が目指した近代化を、明治・大正時代を比較しその共通点や違いを考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第13回		
考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  まとめ (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)			事後:授業内容をノートにまとめる。 
考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。  まとめ (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)			
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 まとめ (学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分)		近代化とは何か	(
事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 まとめ (学修内容)授業の振り返り。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	***		
事後:授業内容をノートにまとめる。 まとめ (学修内容)授業の振り返り。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第14回		
まとめ (学修内容)授業の振り返り。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)			
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)			
		まとめ	(学修内容)授業の振り返り。
事後:授業内容をノートにまとめる。 	第15回		
			事後:授業内容をノートにまとめる。

授 業 名	日本の文学と心	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	IC2213
英 文 名	Japanese Literature and Mind	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	柿本 真代	対 象学 生	総合文化2回生	<b>.</b>			
授業の概要	この授業では、日本の文学のなかでも児童文学を主に扱う。近代日 丸』は博文館の「少年文学」叢書の第1冊目である。『こがね丸』を とともに、文学と絵の関係についても考察する。						
学修成果到達目標	日本児童文学史の概要と特質を説明することができる。 子どもにとって「よい本」とはなにか、自分なりに説明することが	できる。					
	知識・理解	ÿ	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		険 レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ソョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	授業中にプリントを配布またはClassroomで配信します。						
参考書	適宜紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法	発表や感想については次週フィードバックを行います。						
留意事項	予習として作品を読んでくることとともに、発表に対して積極的な ープかは変化しますが、発表がありますので十分に準備をしてのぞ			者数によ	って個人 <i>f</i>	かグル	
オフィスアワー	初回授業時に説明します。						
実践的教育							

## 授業 名 日本の文学と心

授業計画		学修内容・課題
	授業ガイダンス	(学修内容)授業の概要と進め方について理解する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) シラバスを読んで、わかりにくい点があればメモをしておく。
第2回	日本児童文学史における「少年文学」叢書	(学修内容)日本児童文学史の概要をおさえ、「少年文学」叢書の意義を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) リストの中から、読んでみたい本をいくつか選んでおく。
第3回	日本最初の創作児童文学	(学修内容)巖谷小波『こがね丸』について、発表された当時の書評などを読みその 意義を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読みまとめておく。
第4回	『こがね丸』の変容	(学修内容)巖谷小波『こがね丸』について、書き直された複数の媒体と比較し、時代によって異なる子ども観について理解を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読みまとめておく。
第5回	アンデルセンと尾崎紅葉『二人椋助』	(学修内容)「少年文学」叢書の2編として刊行された『二人椋助』を読み、当時問題とされた部分について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) これまで読んできたアンデルセン童話について整理しておく。
第6回	偉人伝と「少年文学」叢書	(学修内容)「少年文学」叢書から偉人伝をいくつか取り上げ、その描き方の特質と問題点を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) とりあげられた偉人とその逸話をまとめておく。
第7回	近代日本文学における口絵・挿絵	(学修内容)近代日本文学における絵と文の関係と問題について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 配布した論文を読み、疑問点などをまとめておく。
第8回	「少年文学」叢書における口絵・挿絵	(学修内容)「少年文学」叢書の口絵・挿絵とその問題点について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 好きな表紙・口絵とその理由をまとめておく。
第9回	作品の鑑賞とディスカッション	(学修内容)各自の担当する作品について、内容をまとめ表紙・口絵の役割について 考察し発表する。受講者と議論を交えることで考察を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表される予定の作品を読んでおく。
第10回	作品の鑑賞とディスカッション	(学修内容)各自の担当する作品について、内容をまとめ表紙・口絵の役割について 考察し発表する。受講者と議論を交えることで考察を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表される予定の作品を読んでおく。
第11回	作品の鑑賞とディスカッション	(学修内容)各自の担当する作品について、内容をまとめ表紙・口絵の役割について 考察し発表する。受講者と議論を交えることで考察を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表される予定の作品を読んでおく。
第12回	作品の鑑賞とディスカッション	(学修内容)各自の担当する作品について、内容をまとめ表紙・口絵の役割について 考察し発表する。受講者と議論を交えることで考察を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表される予定の作品を読んでおく。
第13回	作品の鑑賞とディスカッション	(学修内容)各自の担当する作品について、内容をまとめ表紙・口絵の役割について 考察し発表する。受講者と議論を交えることで考察を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表される予定の作品を読んでおく。
第14回	作品の鑑賞とディスカッション	(学修内容)各自の担当する作品について、内容をまとめ表紙・口絵の役割について 考察し発表する。受講者と議論を交えることで考察を深める。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表される予定の作品を読んでおく。
第15回	まとめとディスカッション	(学修内容)発表されなかった作品を読み、「少年文学」叢書の意義と子どもの本に 求められるものとはなにかを考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) これまでの授業を振り返りまとめておく。

授	業	名	日本の伝統芸能と大衆文化	開講学年	2回生	単 位 数	2単位	科目コード	IC2214
英	文	名	Traditional Performance Art and Popular Culture in Japan	開講時期	春学期		必修選択	必修	•
担	当	者	工藤 美和子	対 象 学 生	総合文化2回生	Ē			
			日本の伝統芸能から、文楽・浄瑠璃・落語など仏教芸能を取りあげ を通じてどのように仏教思想が語られたのか、現代の芸能文化にい					ò芸能	
授業	の相	既要							
			1 )日本の芸能の歴史をたどりながら、その特質を考察することが   2 )仏教が生み出した様々な芸能の歴史的流れを理解することがで						
学例到道									
			知識・理解	-	1用的技能				
学位 方針。			態度・志向性	A/Z	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
アクラ ラー: 対象!	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
	受業								
評価			定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 70 %) 口述 実習 実技	平常記(30		き レポ 実習		刮作物 実技	
	方	法	(70%) 口述 実習 実技	( 30	%) 口述		5		)
評個	方	法	( 70 % )     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評個	斯 方 斯 基	法	( 70 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評句	斯 方 斯 基	法	( 70 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評句	ある 基	法準	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評の	方基ス考	法準ト書	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評価	方基ス学が	法準ト書る	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評価できる。	方基ス学が	法 準 ト 書 るク	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評価できる。	方基ス考づけい	法 準 ト 書 るク	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。  提出されたレポートはコメントを付して返却します。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評テ参課フの留オ	古   考   こ・去   意	法 準 ト 書 るク 項 ス	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。  提出されたレポートはコメントを付して返却します。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)
評テ参課フの留オ	古   考   対バ   事   イ	法 準 ト 書 るク 項 ス	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に使用しません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。  提出されたレポートはコメントを付して返却します。  伝統芸能に興味関心のある方は、積極的に足を運んでください。	( 30	%) 口述 リョン能力 課題	実習	5		)

### 授業 名 日本の伝統芸能と大衆文化

	THE DIMESTER CONTRACTOR	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業概要を知る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
75.1		事前事後:シラバスの確認。授業内容をノートにまとめる。
		するずは、アンバハのに応じ、1文米にはピン 「にんこのも。
		(学修内容)浄瑠璃の成立と歴史的変遷を考える。
	四る女化・伊埔崎の歴史と文化	(子杉内台)が坩堝の成立と歴史的支達を与える。
<b>₩</b> 0回		(東前東後学修理師の内容)(60分)
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料に目を通す。
	+++++ ++++	事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	読む芸能:講談の歴史と文化	(学修内容)講談の成立と歴史的変遷を考える。
		, <del>+ + + // */                           </del>
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	話す芸能:落語の歴史と文化	(学修内容)落語の成立と歴史的変遷を考える。
第4回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	仏教と説教:安楽庵策伝の生涯と思想	(学修内容)落語の祖・安楽庵策伝について知る。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
2,1-0		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整有り)。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
2000		事前:見学先を調べておく。
		争的・兄子元を調べてのく。
	P. 田味林 大林 、 林 本 本 体	(学校本京) [羽氏校 本佐日本際第1 老京士]
	『醒睡笑』を読む:落語の源	(学修内容)『醒睡笑』の作品を鑑賞し考察する。
~~-		, <del>+ + + // */                           </del>
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	『醒睡笑』を読む:笑いと落語	(学修内容)策伝『醒睡笑』から生まれた落語を知る。
第8回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	怪談と芸能	(学修内容)江戸時代に創作された怪談と芸能化への背景を理解する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	お菊の物語:『播州皿屋敷』と落語「皿屋敷」	(学修内容)怪談から派生した落語を観賞し考察する。
	O NO O PORT . MATTER AND COURSE MATERIAL	
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
AS TOLES		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	  累の物語:怪談噺「真景累ヶ淵」成立以前	サ後・投業内谷を皆白ノートによこめる。 (学修内容)江戸時代の実話をもとに創作された怪談と、その芸能化への社会背景を
	赤い10m・住吹噺   具泉系り/㎡」以立以削	,
第11回		考える。 (60分)
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料に目を通す。
	用 <b>。</b> 杨轩,杨敦峰「吉里用,咖啡克格"	事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	累の物語:怪談噺「真景累ヶ淵 宗悦殺し」	(学修内容)三遊亭圓朝作・怪談噺「真景累ヶ淵」を観賞し、思想的背景を考える。
~~		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第12回		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	累の物語:怪談噺「真景累ヶ淵 深見新五郎」	(学修内容)怪談噺「真景累ヶ淵」を観賞し、思想的背景を考える。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	累の物語:怪談噺「真景累ヶ淵 豊志賀の死」	(学修内容)怪談噺「真景累ヶ淵」を観賞し、思想的背景と影響を考える。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料に目を通す。
		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
	まとめ	(学修内容)授業の振り返り。
	J,	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
第15回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
2010년		事後:授業内容を各自ノートにまとめる。
		<b>ず以・以木には口口ノ 」になしのる。</b>
	1	I

授業	3	アミ	プアの文化						開講学年	2回生		単位数	2単位	科目コード	IC2220	
英文名	3	Asia	n Culture						開講時期	秋学期	1		必 修選 択	必修		
担当者	H	伊藤	茂樹						対 象 学 生							
			アの文化を学びます マな文化が伝来して					しています	け。ま∤	つりが海に	こ囲まれた	た島国日本	も、アジ	ア各国		
授業の概要	更															
				<del></del>												
		2)3	アジアの文化の意義 文化交流史を理解す アジア文化における	ける。		解する。										
		,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- Н		., .										
学修成身到達目机																
			知識・理解						沪	凡用的技能	ت ن					
学位授与(方針との関	- 1		態度・志向性						絲	総合的な学	学習経験と	創造的思	考力			
<b>万里 この</b> (表)	Æ															
アクティブ ラーニング			3 L 習・フィールドワー	<b>-</b> /2			ノ・ディベート				学習支援)		ゼンテー	ション		
対象授業								- `								
評価方法	去		明試験 筆記記 60 %) 口述	<b>式験</b>	レポート 実習	制作 実技			平常記( 40		筆記試馬口述	検 レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	ŧ		る評価の 知識・ 観点 授業態		コミュニ 参加意欲		/ョン能力	プレゼン	ノテーシ	/ョン能力	) 課題	題発見・解	決能力		)	
		必要Ⅰ	- に応じてプリントで	で配布	します。											
テキスト	1															
		授業「	中に適宜紹介します	۲.												
参考書																
+m 8∓ 1 - 3 1 - 4		作成し	したレジュメにコメ	\ \ ا	や訂正を加え	える。ま	<b>₹た、フィー</b> J	ルドワーク	フではii	寛宜補足な	や説明を行	ī う				
課題に対す フィードバッ の方法																
		わから	らない事は積極的に	質問	してください	,۱。										
留意事具	頁															
オフィクアワー	ζ	後日	开究室の扉に掲示し	 ,ます。	0											
実践的教	育															

## 授業 名 アジアの文化

受業計画		学修内容・課題
	アジアの文化とは何か?	(学修内容)アジアの文化とは何かを概説します。 
第1回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。
	東アジアについて	(学修内容)日本を含む東シナ海周囲の国々は東アジアとされます。東アジアを特色
<b>⇔</b> ○□		づけるものは何か。その特色を概説します。
第2回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   (事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)授業の内容を整理し、関心のある内容を探してください。
	仏教東漸	(学修内容)仏教はインドで生まれ、シルクロードを通し、中国、朝鮮半島を経由し
		日本に伝来しました。仏教伝来について学びます。
第3回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
	仏教伝来について	(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。 (学修内容)日本への仏教伝来の過程ついて概説します。
	近教伝来にプロで	(子杉内台)日本への仏教伝木の過程づけて似就します。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。
	フィールドワーク四天王寺	(学修内容)四天王寺にフィールドワークで行きます。
**		/ <del>= + = // + // = = = -   -   -   -   -   -   -   -   -</del>
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		(事制)フィールドワーク元を調べてください。 (事後)フィールドワークでの発見をまとめてください。
	フィールドワーク(事後学習)	(学修内容) F W で発見したことや関心の持ったことをまとめて発表してもらいます
		•
第6回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		発表した内容を確認し、レポートで提出してもらいます。
	アジア文化交流史	(学修内容)シルクロードを通して、中国へは世界の様々な文化が伝来しました。シ
第7回		ルクロードを通した文化交流史を学びます。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
<i>7</i> 97 (⊏1		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。
	日中交流史 遣隋使	(学修内容)随の誕生と遣隋使について学びます。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
	日中交流史 遣唐使	(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。 (学修内容)唐の誕生と遣唐使について学びます。
		(チョッド)日)日のに工と連出区にラいて子のよう。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
	- 11 to - 5	(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。
	フィールドワーク	(学修内容)日中交流史に関連のある場所にフィールドワークに行きます。
第10回		   (事前事後学修課題の内容)(60分)
와 IO티		フィールドワークで得た知見をまとめてください。
	冊封体制について	(学修内容)古代東アジアについて学びます。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。 (学修内容) 唐滅亡後の東アジア文化を学びます。
		(ナルドログリ
第12回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。
	国風文化	(学修内容)894年の遺唐使廃止後、日本は独自の文化を発達させていきます。国風
₩40□		文化を学びます。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   (事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す。ノートを整理する。
	フィールドワーク	(学修内容)国風文化に関連のある場所にフィールドワークで行きます。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)行き先を調べる
	455米のかれ	(事後)フィールドワークで得た知見をまとめる
	授業の総括	(学修内容)これまでの授業の内容をまとめます。
第15回		(
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   関心のあることをまとめてレポートで提出してもらいます。

授 業 名	京都理解	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	IC1204
英 文 名	Understanding Kyoto	開講時期	春学期		必修選択	選択	
担当者	工藤 美和子	対 象 学 生	総合文化1回生				
	古代から近現代の日本において、政治・文化・宗教の中心に位置 よって創られ日本各地に影響を与えた文化についても知識と理解を		」 つれる京都の歴史を	たどると	ともに、ほ	時代に	
授業の概要							
	1 )京都の歴史と文化の知識を得て、理解を深めることができる。 2 )京都の歴史と文化について説明することができる。						
学修成果							
到達目標							
	知識・理解	1 30	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性		・ 一 ・ ・	創造的思	 考力		
方針との関連							
アクティブ・ラーニング	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)	プレ	ゼンテーシ	ション	
対象授業						bul /6-116-	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常記 (30		レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	vョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
	特に使用しません。授業内で資料を配布します。						
テキスト							
	適宜、授業内で紹介します。						
参考書	適宜、授業内で紹介します。						
参考書							
課題に対する	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。						
	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。						
課題に対するフィードバック	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。	ください。					
課題に対するフィードバック	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。	ください。					
課題に対するフィードバックの方法	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。	ください。					
課題に対するフィードバックの方法 留意事項	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。 授業以外の時間も活用して、自分の足で京都を歩いて理解を深めて	ください。					
課題に対するフィードバックの方法 留意事項	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。 授業以外の時間も活用して、自分の足で京都を歩いて理解を深めて	ください。					

## 授業 名 京都理解

,	次 即 注 M +	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス・世界遺産と京都	(学修内容)授業概要を知る。京都の世界遺産について知る。
	カイノンス 上升返注と水部	(1) 野自日 ) 技来M 文 と州 る。 水間の 上 川 返注に ライ・ に州 る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
75.1		事前事後:シラバスの確認、授業内容をノートにまとめる。
		THE TOTAL PROPERTY OF THE COURT
	古代の都と平安京	(学修内容)古代の都城と平安京が都に選ばれた理由を考える。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
까스디		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	平安京の成立	(学修内容)平安京はどのような都だったのか、1000年以上も続いた理由を知る。
	一大文がの成立	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回		授業内容をもとに各自ノートをまとめる。
歩 3 凹		1文末的台でしてに百日ノートでよこのも。
	   平安京から京都へ	
	十女示がら示師へ	(子形的台)示師という時間のはひよりやその意味について考える。
<b>₩</b> 4 🗔		(東前東後党修理販の中容)(60/))
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整有り)。
		(*************************************
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:見学先を調べておく。
		事後:課題を提出する。
	宗教都市京都の寺社と人々	(学修内容)宗教都市の性格をもつ京都のはたらきを考える。
		/ The Hart III All III Am DT and the hart I have been a second
第6回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	平安貴族の生活	(学修内容)平安貴族の暮らしについて理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	応仁の乱から戦国時代の京都	(学修内容)京都で起こった内乱と戦国時代の京都の様相を知る。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	首都東京の誕生と京都	(学修内容)幕末の騒乱を経て、首都が東京に移った後の京都の様相について知る。
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回		事前:配布資料を読む。
Жод		事後:授業内容をノートにまとめる。
		TK. XXIII CV TICKCOO
	京都の祭礼(1)やすらい祭	(学修内容)京都を代表する祭礼「やすらい祭」について知る。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
7,5.00		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都の祭礼(2)葵祭	(学修内容)京都三大祭の「葵祭」の歴史と文化を理解する。
		( ) 1213日 / 小印一ハハツ   天水   ツ止火   〇八   七計   7   0
第11回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
7311EI		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	  京都の祭礼(3)祗園祭	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		(ナッパコロノ水即一八水の一版四水」の歴史と入心を注解する。
第12回		   (事前事後学修課題の内容)(60分)
> 12년		事前:配布資料を読む。
		争削・配布員行を読む。
	(年中行車と会立化	サ俊:投業内谷をノートによどのる。 (学修内容)京都の年中行事とそれに関連して創り出された食文化について学ぶ。
	年中行事と食文化	
<b>第42</b> 回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都の地名と通り名	 (学修内容)京都の地名と通り名の歴史的意味を理解する。
		(ナッパヨー) 小甲ツ・ゼロー位ソロツ症火川忌がでは肝する。
第14回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
25 14년		(争削争後子修課題の内谷)(60万)   事前:配布資料を読む。
		争則:配仰員科を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	まとめ	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	ام د س	( ナドバオ / IZ未V)IKソ M.ソ。
\$4.5 E		(東前東後学修毎題の内容)(20分)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事後:授業内容をノートにまとめる。

授 業 名	ものつくりの文化	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	IC2215
英 文 名	Manufacturing Culture	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担 当 者	工藤 美和子	対 象学 生	総合文化2回生	Ē			
授業の概要	授業では「ものつくり」を「生活において使用される道具類のうちおよびその製作」と定義し、18世紀の産業革命から21世紀の現製作された製品の様式美や生産者の想いについて学ぶ。						
学修成果到達目標	「ものつくり」という言葉の意味を考え説明することができる。						
	知識・理解	沪	1用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常記(30		・ レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ノョン能力 課題	発見・解	決能力		)
テキスト	特に必要としません。授業内で資料を配付します。						
参 考 書	適宜、授業内で紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートにはコメントを付けて返却します。						
留意事項	博物館や美術館等、各自興味関心を持ってできるだけ足を運んでく	ださい。					
オフィスアワー	研究室に日時を貼付します。確認してください。						
実践的教育							

## 授業 名 ものつくりの文化

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業概要を知る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:シラバスの確認。
	中世の職業意識	(学修内容)産業革命以前の職業観や製品に対する中世の思想を理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
	産業革命と資本主義	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)産業革命誕生の背景と資本主義を理解する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
	資本主義下におけるものつくり	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)資本主義経済下にみる生産活動のメリットとデメリットを知る。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	ルナー・ソサエティの誕生と活動	(学修内容)ルナー・ソサエティの活動と成立背景を理解する。 
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
	ジョン・ラスキンの思想:人間の細分化	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)ジョン・ラスキンが提唱した、資本主義による労働と製品生産への弊害
第6回		を知る。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	アーツ・アンド・クラフト運動の誕生と歴史	(学修内容)アーツ・アンド・クラフト運動の誕生と歴史的変遷、後世への影響を理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
	アーツ・アンド・クラフト運動とウィリアム・モ	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)ウィリアム・モリスの生涯と思想を理解する。
第8回	リス	(事前事後学修課題の内容)(60分)
211-212		事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	アーツ・アンド・クラフト運動と日本への影響	(学修内容)アーツ・アンド・クラフト運動と日本の民藝運動との関係を考える。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	近代デザインの誕生:パウハウスの歴史	(学修内容)近代デザインに大きな影響を与えたバウハウスの活動を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	バウハウス:日本での展開	(学修内容) バウハウスが日本社会に与えた影響を理解する。 
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
	フォントという文字文化:機能美の文字	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)フォントが社会に与える影響を考える。
<b>₩40</b> □	ン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
	世界大戦と北欧デザインの関わり	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)日本でも人気が高い北欧デザイン誕生の歴史的・思想的背景を理解する
第13回		。   (事前事後学修課題の内容)(60分)
75.0H		事前:配布資料を読む。
	Emoji (絵文字):世界共通言語の謎	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)絵文字文化の誕生とその採用をめぐる動きを知る。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	まとめ	(学修内容)授業の振り返り。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事後:授業内容をノートにまとめる。

授 業 名	装いの文化	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2221	
英 文 名	Clothing Culture	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択		
担当者	馬場 まみ 対象 学生 総合文化2回生							
授業の概要	人々の装いは、時代により、また地域により多様に変化してきた。 服飾文化をみていく。理解を深めるために、適宜映像を鑑賞しする		は、日本と西洋の女	7性の装い	の変化とヨ	見代の		
	1.日本の服飾文化の変化を理解することができる。 2.西洋の服飾文化を理解することができる。 3.現代の装いの文化について理解できる。							
	知識・理解	)	N用的技能					
学位授与の	態度・志向性	#	総合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		/ / / / / グループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 70 %) 口述 実習 実技	平常記 (30		検 レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題) (	発見・解	決能力		)	
テキスト	適宜資料を配付する。							
参考書	随時紹介する。							
課題に対する フィードバック の方法								
留意事項								
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く)設定します。ただし、会議や出張なる	 ビで対応で	きない場合があり	ます。				
実践的教育								

# 授業名 装いの文化

	20.00210	
授業計画		学修内容・課題
	科目ガイダンス	(学修内容)講義内容と授業の進め方について
第1回		(事前事後学修課題の内容)(10分)
75.1		シラバスを読んでおく
	平安時代の装い:貴族の装い	(学修内容)平安時代の身分階級と貴族の装いについて
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
7,52		配付資料を読んでおく
	平安時代の装い:文様と色彩 	(学修内容)平安時代時代の装いと文様・色彩について
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
21.01		配付資料を読んでおく
	江戸時代の装い:女性の装い	(学修内容)衣装比べと奢侈禁止令について
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配付資料を読んでおく
		(当体中央) 大地のサルトナナのの大学トなぶにのいて
	江戸時代の装い:きものの文様と色彩	(学修内容)女性の装いときものの文様と色彩について 
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配付資料を読んでおく
	  江戸時代の装い:きもの・帯・化粧	(学修内容)女性の装いときもの・帯・化粧について
	江戸時代の表に、さもの・帝・化粧 	(学修内台)女性の表いとさもの・帝・化権について
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配付資料を読んでおく
	  近代の装い:洋服と和服	(学修内容)洋服の導入と和服について
		(子)の日)
第7回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		配付資料を読んでおく
	  近代の装い:和服文様の近代化	(学修内容)近代的な和服文様について
		(TIPITITE) ATOM OTHER AND ATOM
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配付資料を読んでおく
	  西洋のファッション:近代までの歴史	(学修内容)近代までの西洋ファッションの歴史
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配付資料を読んでおく
	西洋のファッション:近代的洋服の成立	(学修内容)社会の変化と近代的洋服の成立について
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく
		出り見べてのだしてのく
	西洋のファッション:シャネル	(学修内容)シャネルの生涯とファション
₩.4.E		(市学市体学校知晓の中央) (00/)
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく
		abij seti z min co v
	西洋のファッション:戦後の装いとディオール	(学修内容)ディオールのファッション
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
₩ 1도II		配付資料を読んでおく
	戦後日本のファッション	(学修内容)戦後ファッションの変化について
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
.,		配付資料を読んでおく
		( 当体中の ) ロナー ごば / 上 - みば 計
	日本人デザイナー 	(学修内容)日本人デザイナーの活動
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配付資料を読んでおく
	 現代の装いの文化	(学修内容)現代の装いの文化について
		(ナド)台) 坑に切衣い切入心に ノいし
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		これまでの講義内容を振り返る

授	業	名	伝統芸能と工芸	開 講学 年	1回生	単位数	1単位	科目コード	IC1401
英	文	名	Traditional Performance Art and Industrial Art	開 講時 期	春学期		必 修 選 択	選択	
担	当	者	工藤 美和子	対 象 学 生	総合文化1回生	Ē			
授美	巻の相	妖要	古代より日本には、アジア諸国より様々な伝統芸能が伝わった。仏教ら芸能から派生した能・狂言・浄瑠璃・歌舞伎などの演目を取りあい学ぶ。						
	侈 成		1)アジア各地から日本に伝わった芸能とその歴史的変遷について知る。 2)伝統芸能と工芸について理解を深め説明することができる。	口識を得る	ことができる。				
			知識・理解		用的技能				
学位			態度・志向性	44	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針	との	関連							
アク ラー 対象	ニン			ブループワ 【CT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(	西 方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常記( 30		マップ マップ マップ マップ マップ マップ マップ アンドラ マッチ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア		制作物 実技	
評(	西基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレt 観点 授業態度・参加意欲 (	ヹンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ:	キス	۲	特に必要としません。授業内で資料を配布します。						
参	考	書	適宜、授業内で紹介します。						
課題 フィ・ の方	- ドバ		提出されたレポートはコメントを付けて返却します。						
留;	意 事	項	博物館・美術館・伝統芸能の催しを随時紹介します。興味関心がをも	らって積極	<b>極的に足を運んでく</b>	ださい。			
	フィ		研究室に日時を貼付します。確認してください。						
実践	的	数 育							

## 授業名 伝統芸能と工芸

受業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の概要を知る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前事後:シラバスの確認。授業内容をノートにまとめる。
	大陸から伝来した芸能	   (学修内容)東アジアから日本に伝わった芸能とその歴史的変遷について知る。
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第2回		事後:授業内容をノートにまとめる。
	  唱導と芸能	   (学修内容)唱導の歴史的変遷と派生した芸能について理解する。
	行寺で公応	(子形13日) 日寺の歴文団文造と派工のたみ形について連続する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
	* * * T + 1 + 1/2	事後:授業内容をノートにまとめる。
	能の歴史と文化	(学修内容)能の歴史と世阿弥『風姿花伝』を読み、考察する。
第4回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
73 · LI		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	浄瑠璃と歌舞伎の歴史と文化	(学修内容)浄瑠璃と歌舞伎の関係性と歴史的変遷を知る。
~~		( <b>**</b> * <b>* * * * * * * *</b>
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前:配布資料を読む。
		事制:配仰貝科を祝む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整)。
第6回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:見学先を調べておく。
	  能と狂言の歴史	事後:課題を提出する。 (学修内容)能と狂言の違い・演目・道具を知る。
	能と狂音の歴史	(子序7)台)配と独自の座(1・原白・追兵を知る。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
	G /T this fat. I do F II do	事後:授業内容をノートにまとめる。
	『伊勢物語』と能「井筒」 	(学修内容) 『伊勢物語」「筒井筒」と能「井筒」を読み、その関係や思想背景を考える。
第8回		へる。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
моп		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	『道成寺縁起』の芸能化	(学修内容) 『道成寺縁起』を題材にした様々な芸能について理解する。
<b>₩</b> 0□		(東莞東後常校課題の中央)(60八)
第9回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	『道成寺縁起』と能楽:能「道成寺」の観賞と考	(学修内容)能「道成寺」を観賞し、『道成寺縁起』と比較する。
	察	
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	  『道成寺縁起』と浄瑠璃:「日高川入相花王」の	事後・投業内谷をナートによこのる。 (学修内容)浄瑠璃「日高川入相花王」を観賞し、『道成寺縁起』と比較する。
	観賞	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第11回		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
		(学修内容)歌舞伎「娘道成寺」を観賞し、『道成寺縁起』と比較する。
	た成分移足』 この外区・ 双足以付」 少観員	(ナルクドコロノのA外区 XXに成立」で断負し、 に以寸終处』とは戦する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
	YT \D(* a -> ///	事後:授業内容をノートにまとめる。
	狂言:滑稽の文化 	(学修内容)狂言にみる滑稽や喜劇の意味を考える。 
第13回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
75.VH		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	狂言「棒縛」の観賞	(学修内容)狂言「棒縛」を読み、滑稽の意味を理解する。
₩44E		(東前東後学校理師の中央)(20八)
第14回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	    まとめ	(学修内容)授業の振り返り。
	まとめ	
第15回	まとめ	

授 業 名	日本の歳時と年中行事	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	IC1402
英 文 名	Seasonal and Annual Events	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	伊藤 茂樹	対 象 学 生	総合文化1回生	Ē			
授業の概要	日本は四季があり、様々な行事がある。季節を感じ、伝統ある日本 、彼岸とあるように、各行事の意義を概説し、フィールドワークで 実施して相互に理解を深め、新たな知見を得る場としたい。						
学修成果到達目標	1)四季にまつわる日本の諸行事を理解する 2)地域における習慣の相違を学び、地域文化を尊重することを目 3)様々な文献を駆使して積極的に調べる方法を身につける	指す					
	知識・理解	à	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	#	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70%) 口述 実習 実技	平常)		ま レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題 ) (	発見・解:	決能力		)
テキスト	必要資料をこちらで配布します。						
参考書	授業内で適宜、紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法	レポートを回収後、コメントをして返却します。						
留意事項	関連する本、例えば祭り、暦、日本の習俗についての本を積極的に	読んでく	ださい。				
オフィスアワー	後日、研究室に掲示します。						
実践的教育							

### 授業 名 日本の歳時と年中行事

授業計画	学修項目	学修内容・課題
1文 未 川 凹	オリエンテーション、本講義で学ぶ内容を説明し	(学修内容)講義の内容を説明します。また、近辺の桜の見学に行きます。
	オリエンナーション、本構義で手が内存を説明し  ます。桜見学。	(子形的台) 購我の的台を説明しより。 また、旦起の板の光子に11とより。
第1回	X 7 8 1870 1 8	(事前事後学修課題の内容)(20分)
21.1		シラバスをじっくりと読んでください。
	京都東山の春行事 - 知恩院の御忌	(学修内容)京都の春の行事ともいえる知恩院の御忌について概説します。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		ノートをしっかりとまとめてください。配布プリントを参照してくださ
	如国的加马尔公共	
	知恩院御忌の参拝ーフィールドワーク	(学修内容)衣装比べと呼ばれる知恩院の御忌を参拝して、行事を拝観してもらいま   す。
第3回		9。  (事前事後学修課題の内容)(30分)
MOE		前回のノートを参照すること。授業後、感想文を書くこと。
	元号について	(学修内容)日本の元号について概説します。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		ノートをまとめてください。配布プリントを参照してください。
	  日本の暦について	(学修内容)日本の暦について概説します。
	ロ本の暦について	(子形内台)口本の僧について慨説します。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
УЗОП		ノートをまとめる。配布プリントを参照する。
	フィールドワーク - 京都御所	(学修内容)京都御所を拝観します。
第6回		(事前事後学修課題の内容) (50分)
		フィールドワークで発見したことや感じたことをまとめてもらいます。
	  日本の年中行事	│ │(学修内容)日本古来からの行事。また近年はやりだした行事などをグループワーク
		で探ります。内容を検討し皆でディスカッションします。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
21.1		皆さんが関心を持つ近年の行事や地元の祭りを探りましょう。
	疫病について	(学修内容)人々を苦しめてきた疫病について。歴史的に概説します。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		授業の内容をまとめ、整理してもらいます。
	疫病と闘う祈り	   (学修内容)疫病に勝つために行う祈りの行事について概説します。
	18 113 C ILIJ J 11 J	
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		京都や地方の疫病退散行事を調べる。
	発表方法とレジュメの作成	(学修内容)関心を持った日本の行事(祭り)について、その魅力を発表してもらい
₩40E		ます。レジュメの作成と発表方法を講義します。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(90分)   レジュメの作成
		D J I NOTE III.
	発表 - 第一グループ	(学修内容)調べた内容を発表してもらいます。
第11回		(事前事後学修課題の内容) (40分)
		発表した内容を提出。また、他人の発表の評価をしてください。
	 	(学校中央) 知べた中央を発生してもといます
	発表 - 第二グループ 	(学修内容)調べた内容を発表してもらいます。 
第12回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
75.20		発表した内容を提出。また、他人の発表の評価をしてください。
	討論会	(学修内容)それぞれの発表の良い点・悪い点を検討します。
77 T		
第13回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		検討した内容をまとめて提出してください。
	  フィールドワーク - 祇園祭りゆかりの場所	   (学修内容)祇園祭りのゆかりの場所にフィールドワークに行きます。
		The state of the s
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		フィールドワークについて感想や発見したことをまとめてもらいます。
	Att at a set 1 st	
	講義のまとめ	(学修内容)これまでの内容をふり返りまとめます。
第15回		
차이비		(事前事後子修辞題の内台) (30ガ)   ノートやプリントを整理し、関心のあったところをまとめてレポート提
		出してください。

授	業	名	伝統産業に学ぶ	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	IC1404
英	文	名	Traditional Industry	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	工藤美和子	対象学生	総合文化1回生	≣			
授業	<b>(</b> の)	概要	現在の京都は、18世紀末の天明の大火以後の姿であり、京都の 維新以降、首都機能が東京に移ったことで、京都の伝統産業は様々 京都の伝統産業が中断と継続を繰り返すなかで、どのような歴史的	な形で近	代化の波に直面する	ら。以上の	点から、	今日、	
		<b>戈 果</b> 目 標	1)主要な京都の伝統産業の知識を得ることができる。 2)京都の伝統産業の歴史・文化的背景、今日的課題を知り、語る3)伝統産業の近代化に尽力した人物や組織の知識を得ることがで		<del>්</del> රි.				
			知識・理解	,	凡用的技能				
学位			態度・志向性	4	総合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針	との	関連							
アクラー:対象:	ニン	グ	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループ ICT活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評(	西方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常 (30		策 レポ 実習		制作物 実技	
評値	西基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題 ) (	題発見・解	決能力		)
テ =	キ フ	ζ ト	特に使用しません。授業内で資料を配付します。						
参	考	書	適宜、授業内で紹介します。						
課題 フィー の方	-ド/	する バック	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。						
留意	意事	耳	授業に関する展覧会などを紹介します。興味関心をもって博物館・	美術館・	資料館等へ足を運ん	っでくださ	l I。		
	フィワ	r ス -	研究室前に日時を掲示します。確認してください。						
実践	的	教育							

## 授 業 名 伝統産業に学ぶ

	以及に子に子の	<b>兴岭</b> 市荥 ≒用西
授業計画	学修項目 対イダンス	学修内容・課題 (学修内容)授業概要を知る。
	N.1.3.7.4	(ナドバイ)収未収女で叫る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前事後:シラバスの確認。授業内容をノートにまとめる。 
	首都「東京」の誕生と京都	(学修内容)東京に首都が移った後、京都が抱えた問題は何かについて考える。
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第2回		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都の近代産業化(1)琵琶湖疏水	(学修内容)琵琶湖疏水計画について理解する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
MOE		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都の近代産業化(2)琵琶湖疏水がもたらした	(学修内容)疏水関連事業と影響について知る。
第4回	し、	(事前事後学修課題の内容)(60分)
71- 1		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京焼・清水焼(1)歴史的変遷	(学修内容)京焼・清水焼の成立と歴史的変遷、特徴を知る。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京焼・清水焼(2)オーダーメイドの焼き物	(学修内容)明治・大正時代の京焼・清水焼の歴史と文化を理解する。 
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京焼・清水焼(3)戦争と焼き物	(学修内容)太平洋戦争前後の京焼・清水焼の歴史を知る。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
까니다		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整有り)。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
짜이드		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都と茶産業(1)茶の伝来	(学修内容)中国から日本に伝わった茶の歴史を知る。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>寿</b> 9四		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都と茶産業(2)茶文化と宇治	(学修内容)日本の喫茶史を理解する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
* 10년		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京都と茶産業(3)日本と世界の抹茶文化	(学修内容)日本と海外の抹茶に対する理解の違いを理解する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
新 I I 凹		(事則事後子修課題の内谷) (60分)   事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京菓子(1)菓子の文化史	(学修内容)日本の菓子の歴史と文化を理解する。
₩40E		(車前車後学校細題の内容) (60/2)
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	京菓子(2)砂糖の歴史と日本への影響	(学修内容)砂糖の伝来が日本の菓子にもたらした影響を考える。
₩40E		(東並東後光版知版の中央)(20八))
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前:配布資料を読む。
		事的・配布員杯を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	京菓子(3)年中行事と菓子	(学修内容)京都に伝わる年中行事と関わりの深い和菓子を知る。
第44回		(車前車後学校細題の内容)(60分)
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
		事的・配布員杯を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
	まとめ	(学修内容)授業の振り返り。
		/ <b>= += // * // h</b> = = = + co
		- / 実前実為気候無明の口炎) / 20台)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   事後:授業内容をノートにまとめる。

授 業 名	英語で学ぶ日本文化	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	IC2407
英 文 名	Japanese Culture in English	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	松尾 章子	対象学生	総合文化2回生	į			
	日本を訪れる人々に日本の文化を紹介して理解してもらえるよう、 いトピックを取り上げ理解を深めます。英語で説明するための必要			スポーツ	や歴史なる	ビ幅広	
授業の概要							
	   1 )日本を訪れる外国人がよくする質問に、英語で5つ以上答えられ   2 )興味のあるトピック1つについて、外国人に説明するために、		 「くまとめることが	····································			
	3)興味のあるトピック1つについて、英語で簡単に説明すること						
学修成果							
到達目標							
* 4	知識・理解		用的技能	创生的田:	<del>*</del>		
学位授与の 方針との関連	態度・志向性	Art	合的な学習経験と	剧逗的忠	<b>5</b> 刀		
アクティブ・ラーニング		グループワ			ゼンテーシ	ション	
対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	ICT活用	](自主学習支援)				
評価方法	   定期試験 筆記試験 レポート 制作物	平常記		i レポ 実習		制作物 実技	
BT IM 73 74	(50%) 口述 実習 実技	( 50	•				
評価基準	(50%) 口述 実習 実技		/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
	( 50 % )     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ	ゼンテーシ	) (				)
	( 50 % )     口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	) (				)
評価基準	( 50 % )     口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	) (				)
評価基準	( 50 % )     口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	) (				)
評価基準	( 50 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( ロックリー・トーマス著 『英語で読む外国人がほんとに知りたい	世ンテーシ	) (				)
評価 基準 テキスト 参 考 書 にによいている。 フィードバック	( 50 % )     口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	世ンテーシ	) (				)
評価基準テキスト参にに対する	( 50 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( ロックリー・トーマス著 『英語で読む外国人がほんとに知りたい テストや提出物については、テスト終了時や返却時に解説を行いま	世ンテーシ	) (				)
評価 基準 テキスト 参 ま は に ド 法	( 50 % ) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( ロックリー・トーマス著 『英語で読む外国人がほんとに知りたい テストや提出物については、テスト終了時や返却時に解説を行いま  積極的な授業参加を期待します。 提出物は期日に間に合うように提出してください。	 ゼンテーシ 日本の文化	)(				)
評価 基準 テキスト 参 ま は に ド 法	( 50 % )     口述     実習     実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (     コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (     プレ 技業態度・参加意欲 (       ロックリー・トーマス著     『英語で読む外国人がほんとに知りたい       テストや提出物については、テスト終了時や返却時に解説を行いま 積極的な授業参加を期待します。	 ゼンテーシ 日本の文化	)(				)
評価 基準 テキスト 参 ま は に ド 法	( 50 % ) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( ロックリー・トーマス著 『英語で読む外国人がほんとに知りたい テストや提出物については、テスト終了時や返却時に解説を行いま  積極的な授業参加を期待します。 提出物は期日に間に合うように提出してください。	 ゼンテーシ 日本の文化	)(				)
<ul><li>評価基準</li><li>テ 参 課題ー方</li><li>副 すすいののののののののののののののののののののののののののののののののののの</li></ul>	( 50 % ) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( ロックリー・トーマス著 『英語で読む外国人がほんとに知りたい テストや提出物については、テスト終了時や返却時に解説を行いま 積極的な授業参加を期待します。 提出物は期日に間に合うように提出してください。 30分までの遅刻は0.5回分の欠席扱い、30分以上の遅刻についてはク	 ゼンテーシ 日本の文化	)(				)
<ul><li>評価基準</li><li>テ 参 課題ー方</li><li>副 すすいののののののののののののののののののののののののののののののののののの</li></ul>	( 50 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレ 授業態度・参加意欲 ( ロックリー・トーマス著 『英語で読む外国人がほんとに知りたい テストや提出物については、テスト終了時や返却時に解説を行いま  積極的な授業参加を期待します。 提出物は期日に間に合うように提出してください。 30分までの遅刻は0.5回分の欠席扱い、30分以上の遅刻については分研究室前に日時を掲示しますので、確認してください。	 ゼンテーシ 日本の文化	)(				)

## 授業 名 英語で学ぶ日本文化

授業計画	学修項目	学修内容・課題
12 来 미 巴	オリエンテーション	(学修内容)授業の進め方・到達目標の説明
		効果的な学習プランを立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容) (10分)
		事前:シラバスを読む。
	1世界都市への発展:江戸から東京へ	(学修内容)第1章の内容理解と練習
		(1)1111/11 - 1111-111 - 1111
第2回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:1の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
	2 誉れ高い日本の武士: 侍	事後:1の復習(復習方法は授業での説明に準ずる) (学修内容)第2章の内容理解と練習
	2 貫11同11日本の武工・村	(チドハ谷)第2草の内谷は肝と漱白
第3回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:2の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
		事後:2の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	3 日本の雅な象徴:着物	(学修内容)第3章の内容理解と練習
第4回		  (事前事後学修課題の内容)(40分)
75.14		事前:3の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
		事後:3の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	4 かつてのポップカルチャー:歌舞伎	(学修内容)第4章の内容理解と練習
<b>⇔</b> ∈ □		(東前東後学校毎時の中容)(40八)
第5回		(事前事後学修課題の内容)(40分)   事前:4の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
		事後:4の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	5 思いスポーツ:相撲	(学修内容)第5章の内容理解と練習
		, to the true with the true to
第6回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:5の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる) 事後:5の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	6 弾丸列車:新幹線	(学修内容)第6章の内容理解と練習
第7回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:6の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
	7日本初の世界の物語:漫画	事後:6の復習(復習方法は授業での説明に準ずる) (学修内容)第7章の内容理解と練習
	7 日平初の世界の初記・漫画	
第8回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:7の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
	8日本を世界に知らしめた:美術と工芸	事後:7の復習(復習方法は授業での説明に準ずる) (学修内容)第8章の内容理解と練習
	0 日本を世外に知らしめた、美術と工芸	(チドハ谷)第0早の八台注解と終白
第9回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:8の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
	0.51.7.4.7.11.7	事後:8の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	9動く芸術:映画	(学修内容)第9章の内容理解と練習
第10回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前:9の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
		事後:9の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	10コスプレの聖地:秋葉原	(学修内容)第10章の内容理解と練習
第11回		   (事前事後学修課題の内容)(40分)
70.11		事前:10の予習(勉強方法は授業での説明に準ずる)
		事後:10の復習(復習方法は授業での説明に準ずる)
	外国人との関わり方について(調整により内容・	(学修内容)外国人との関わり方、説明方法他についての説明
第12回	日程に変更有)	(事前事後学修課題の内容)(50分)
第12回		(事則事俊子修課題の内谷)(50分)   事前:プレゼンテーションの準備
		事後:振り返り
	プレゼンテーション 1 日目	(学修内容)テキストから一つテーマを選びプレゼンテーションを行う
άτιο <u>Γ</u>		/ 末光末後光板細形の中央 > / 50 / 50
第13回		(事前事後学修課題の内容)(50分)   事前:プレゼンテーションの準備
		事後:振り返り
	プレゼンテーション 2 日目	(学修内容)テキストから一つテーマを選びプレゼンテーションを行う
第14回		(事前事後学修課題の内容)(50分)
		事前:プレゼンテーションの準備 事後:振り返り
	総復習	● (学修内容)第29章の内容理解と練習
		C a / Pierra a la
第15回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:授業内容の振り返り
		事後:レポート提出に向けて準備

授	業	名	和食文化体験	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	IC2410
英 :	文	名	Washoku Experience (Japanese Food Culture)	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	猿渡 綾子	対 象 学 生	総合文化2回生	Ξ			
授業	の棚		平成25年、「和食;日本人の伝統的な食文化」は、ユネスコの人類(理そのものではなく、「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいれて登録されている。本授業では、ビデオや資料を見たり、実物に触れ、理解を深めることを目的として、適宜、グループワークも行う。	と「食」に	こ関する「習わし」	を文化と	位置付ける	ること	
学修到達			・和食文化の特徴を理解し、説明できる。 ・自分の地元の郷土料理を知り、人に伝えることができる。 ・和食文化に興味を持ち、守り、次世代へつなげていこうと思える。						
学位打	运 上	<b>-</b> Φ	知識・理解 態度・志向性		凡用的技能 	·創造的思	 老力		
方針と			1872 1911		o mario y minero C	. 143 22 14 3 765	373		
アクラ ラーニ 対象扱	ニン	グ		ブループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価	方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常 ( 50		乗ります。 実習		制作物 実技	
評価	基	準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレヤ	ヹンテーシ	ション能力 課題 ) (	発見・解:	決能力		)
テキ	: ス		特に使用しない。適宜プリントを配布する。						
参:	考		授業中に例示する。						
課題に フィー の方法	ドハ		添削後返却する。						
留意	事	項	受講人数や時間割によっては内容を変更します。						
オファ		^	初回の授業で連絡します。 研究室前にも掲示します。						
実践	的多	改育							

## 授業名 和食文化体験

	TH RATIO PT 18A	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション 	(学修内容)授業の進め方、「健康と食の文化」の復習
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 「健康と食の文化」の授業内容を振り返っておく
	和食文化と水	(学修内容)和食文化に大きく影響を及ぼす水について学ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 水が食文化とどう関係するか考えておく
	お茶について	(学修内容)お茶の種類や歴史、淹れ方について学ぶ
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) お茶にはどんな種類があるか調べてくる
第4回	京の食文化ミュージアム:あじわい館 見学	(学修内容)京の食文化ミュージアム:あじわい館を見学し、京都の食文化について 学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) あじわい館について調べておく
	行事食1(亥の子餅) 	(学修内容)亥の子餅について、そのいわれや作り方を学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 行事食にはどんなものがあるか調べてみる
	伝統野菜について	(学修内容)京の伝統野菜について、その種類や栄養価、利用例を学ぶ
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の出身地の伝統野菜について調べてみる
第7回	漬物について	(学修内容)京の三大漬物を中心に、その種類と製法、栄養学的価値等について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 京の三大漬物とは何か調べてくる
	おばんざいについて	(学修内容)京のおばんざいとはどのようなものかその優れた点等を学ぶ
第8回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 京のおばんざいとして思いつくものをいくつか考えておく
第9回	調味料について1(塩・砂糖)	(学修内容)和食を支える調味料についてその種類や製法を学ぶ 1回目は塩・砂糖を中心に (事前事後学修課題の内容)(30分) 砂糖の種類を調べてくる
第10回	調味料について2(発酵調味料)	(学修内容)和食を支える調味料についてその種類や製法を学ぶ 2回目は発酵を利用した調味料について (事前事後学修課題の内容)(30分)
		発酵を利用して得られる調味料にはどのようなものがあるか調べてくる
	だしについて	(学修内容)だし汁の種類や特徴、そのとり方について学ぶ
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の家での「だし」の利用について調べてくる。
	郷土料理1(調べてみよう)	(学修内容)自分の出身地の郷土料理について調べる
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の出身地にどのような伝統食品があるか調べてくる
	行事食2(正月料理)	(学修内容)雑煮、三種肴を中心に、その意味や作り方を学ぶ
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自分の家での正月の食事についてまとめておく
第14回	郷土料理2(発表)	(学修内容)それぞれ自分の出身地の伝統食品や郷土料理について発表する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) できれば写真などの資料を集めるなど発表の準備をしておく
	まとめ	(学修内容)和食文化継承の課題について考える
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 今、なぜ、和食文化の継承に危機感がもたれているのか考えておく
	I	I

授	業	名	華道・茶道・香道体験	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目  コ <i>ード</i>	IC2411
英	文	名	Japanese Flower Arrangement, Tea Ceremony, and Incense Ceremony	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	工藤美和子	対象 学生	総合文化2回生	į			
			仏教伝来とともに華道・茶道・香道は日本に伝り日本の風土や文化 では、華道・茶道・香道の歴史的変遷と仏教との関係について学ぶ					<b>本講義</b>	
授業		概要							
			華道・茶道・香道の伝統文化について見識を深めるとともに、感性	を育むこと	とができる。				
		成 果							
到i	達目	目標							
			知識・理解	3.0					
学位	授.	与の	態度・志向性		************************************	創造的思	 考力		
		D関連	332 31312		5 H 13 0. 3 H 12-3X -	<i></i>	373		
ラー	ニン		PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
対象	授業	<b>€</b>							
評(			定期試験 筆記試験 レポート 制作物	平常記	式験 筆記試験			引作物	
	西方	5 法	(70%) 口述 実習 実技	( 30	%) 口述	実習	<u> </u>	実技	
評(		5 法 —— 基 準	( 70 % )     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ	( 30 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (			<b>ミ技</b>	)
評(			( 70 % )     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			実技	)
	面 基		( 70 % )     口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			美技	)
	面 基	ま 準	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			<b>E</b> 技	)
<b>テ</b> ᠄	画 基 	ま 準	( 70 % )     口述 実習 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			<b>E技</b>	)
<b>テ</b> ᠄	画 基 	ま準スト	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			<b>E技</b>	)
テ =	まり 考	ま 準 スト 書	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			<b>E技</b>	)
テラ参	画 まった 考 にずい	ま 準 スト 書	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。	( 30 ゼンテーシ	ション能力 課題			<b>E技</b>	)
テ = 参 課 辺 -	画 まった 考 にずい	基準 ト 書 すバック	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解		<b>E技</b>	)
テ = 参 課題 フィー の方:	画 キー 考 に一法	基準 ト 書 すバック	( 70 %)     口述     実習     実技       主たる評価の観点     知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (       特に必要としません。授業内で資料を配付します。       適宜、授業内で紹介します。       提出されたレポートはコメントをつけて返却します。	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解		<b>E技</b>	)
テニ 参 課題・方 留 オ	一 一 考 一 に「法 一 意	ま ス すが 事 イ	( 70 %)     口述     実習     実技       主たる評価の観点     知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (       特に必要としません。授業内で資料を配付します。       適宜、授業内で紹介します。       提出されたレポートはコメントをつけて返却します。	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解		<b>E技</b>	)
テニ 参 課題・方 留 オ	画 キー 考 に一法 意 フ	ま ス すが 事 イ	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。  提出されたレポートはコメントをつけて返却します。  授業内容に関する、博物館・資料館など紹介します。興味関心のあ	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解		<b>E</b> 技	)
テー参課フの留オア	画 キー 考 に一法 意 ファー	ま ス すが 事 イ	( 70 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 特に必要としません。授業内で資料を配付します。  適宜、授業内で紹介します。  提出されたレポートはコメントをつけて返却します。  授業内容に関する、博物館・資料館など紹介します。興味関心のあ	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解		<b>E技</b>	)

### 授業 名 華道・茶道・香道体験

授業計画	三 学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業のすすめ方について学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前事後:シラバスの確認。授業内容をノートにまとめる。
	華道の歴史(1)仏前供花	(学修内容)仏教と花との関係について学ぶ。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
75211		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	華道の歴史(2)六角堂と池坊	(学修内容)京都の六角堂と華道池坊の成立と展開を理解する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
УЗОП		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	華道の歴史(3)立花と生花	(学修内容)立花と生花の成立について知る。
	「一	(1911) 1100110000000000000000000000000000
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
75.1		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	茶の伝来と仏教	(学修内容)茶が日本に伝わった歴史と仏教との関係について知る。
	水の因水と因外	(子房門日) ボガロ本に囚むりた歴史と囚私との関係について知る。
第5回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
사이티		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	   茶道の歴史(1)平安・鎌倉時代	事後・技業内谷をアードによどめる。 (学修内容)平安時代から鎌倉時代の茶の歴史について学ぶ。
		(子形が分) 千文時にから縁后時にの示の歴文について子が。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
*이미		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	茶道の歴史(2)闘茶	(学修内容)闘茶の成立と歴史的変遷について知る。
	示追切症文(2)國示	(子彫り台)断示の成立と歴史的支達について知る。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
ᅏᄺ		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	茶道の歴史(3)千利休と茶の湯	(学修内容)千利休が広めた茶の湯を学ぶ。
		(子形内骨)「利水が広めた末の湯を子が。
第8回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
카이터		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整有り)。
		(子形では) フィールイン アと天地・3 (元子ル水足 日祖田町正月97)。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
No CEI		事前:見学先について調べる。
		事後:課題を提出する。
	香と宗教	(学修内容) 香と宗教の関係性を理解する。
	日こが教	(子形が音)自己小教の関係はを理解する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
Nator		事前:配布資料を読む。
		事的・配句具件を読む。
	香道の歴史(1)日本への香の伝来	(学修内容)日本に伝来した香について知る。
	日尾の歴史(1)日本への目の囚不	
第11回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
7311E		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	香道の歴史(2)香の種類と効能	
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
73.151		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	香道の歴史(3)古典文学にみる香	(学修内容)日本の古典文学にみる香の話を読み、香の意味を知る。
第13回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
), 10E		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	香道の歴史(4)香道の成立と変遷	(学修内容)香道の成立について学ぶ。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
_		事前:配布資料を読む。
		事後:授業内容をノートにまとめる。
	まとめ	(学修内容)授業の振り返り。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前事後:授業内容をノートにまとめる。
		I .

授	業	名	京都の風土と文化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	IC1209		
英	文	名	Climate and Culture in Kyoto	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択			
担	当	者	工藤 美和子 総合文化1回生								
授業	<b>€ 0</b> †	概要	京の人々が神仏・自然・生活とどのように関わり、どのような文化『都名所図会』といった資料やDVDなどの情報媒体を用いて、江戸『半にかけての京都市街の様子を取りあげ、社会的な出来事や事件がたのかについて、フィールドワークを実施しながら理解を深めてい	寺代の京都 京都の景	鄒の姿を考える。	また、明治に	人降から昭	和前			
学们到近		<b>党 果</b> 目 標	1)自然と生活との関わりについて理解を深める 2)京都で培われてきた文化の歴史的、文化的背景を理解できる								
			知識・理解		汎用的技能						
学位			態度・志向性		総合的な学習経験	と創造的思	考力				
方針。	との	関連									
アク: ラー: 対象:	ニン	グ			「ワーク 用(自主学習支援		ゼンテージ	ション			
評値	西方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技		試験 筆記記 ) %) 口述	議 レポ 実習		制作物 実技			
評値	西基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課 ) (	題発見・解	決能力		)		
テ =	キフ	ζ ト	特に指定しません。授業内で資料を配付します。								
参	考	書	適宜、授業内で紹介します。								
課題( フィー の方)	-ド/	する バック									
留意	意事	耳	京都に関連する新聞記事や文献に目を通す、ガイドブックや地図を	見るなど	興味関心をもって	授業にのぞ	んでくだる	<b>≐</b> ≀1。			
	フィ ワ	r ス -	研究室に日時を掲示します。確認してください。								
実践	的	教育									

# 授業名 京都の風土と文化

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の概要を知る。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前事後:シラバスの確認。授業内容をノートにまとめる。
第2回	京都の路地と通り名	(学修内容)京都市の住所表記・両側町・辻子と路地・大路小路の変遷を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第3回	東山の風土と景観(1)洛中洛外図屛風	(学修内容)『洛中洛外図屛風』に描かれる東山の景観を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
第4回	東山の風土と景観(2)名所図会	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)『都名所図会』『拾遺都名所図会』に記された東山の景観を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第5回	東山の風土と景観(3)上知令	(学修内容)明治時代に発布された上知令の内容とその影響を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。
等公园	東山の風土と景観(4)円山公園	事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)円山公園の設立による東山の景観変遷を考える。
第6回	フィールドワーク	(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。 (学修内容)フィールドワークを実施する(見学先未定・日程調整有り)。
第7回		(字形内合) フィールドワークを実施する(見字元末足・口程調整有リ)。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:見学先について調べる。 事後:課題を提出する。
第8回	四条界わいの風土と景観(1)洛中洛外図屏風	(学修内容)『洛中洛外図屛風』に描かれる四条界わいを知る。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第9回	四条界わいの風土と景観(2)名所図会	(学修内容)『都名所図会』『拾遺都名所図会』に記された四条界わいの景観を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第10回	四条界わいの風土と景観(3)上知令と花街	(学修内容)明治時代に発布された上知令がおよぼした四条界わいの景観の変遷を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第11回	四条界わいの風土と景観(4)戦後の移り変わり	事後・技業内谷をプートによどのる。 (学修内容)太平洋戦争後の四条界わいの景観の変遷を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第12回	フィールドワーク	(学修内容)フィールドワークを実施する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:見学先について調べておく。 事後:課題を提出する。
第13回	京都の同業者町	(学修内容)同業者町(地名 西陣 仏具店 清水焼団地等)について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第14回	古都「京都」と小京都	(学修内容)小京都といわれる条件とその影響について考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料を読む。 事後:授業内容をノートにまとめる。
第15回	まとめ	(学修内容)授業の振り返り。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前事後:授業内容をノートにまとめる。

授 業 名	情報ビジネス演習 a	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CS1106		
英 文 名	Information Business Practice a	開講時期	秋学期		必 修 選 択	必修			
担当者	高村 伸吾 対象								
授業の概要	現在、パーソナルコンピューターを介した記録や情報検索などが日常的におこなわれ必要不可欠となっている。コンピューターを用いた基本的な情報利活用能力を習得するため、本科目では文章編集ソフト、表計算ソフト、ブレゼンテーションソフトなどの使い方や活用方法、インターネットを用いた情報検索などについての実習をおこなう。またインターネットや情報機器を使用するにあたっての注意事項についても併せて学習する。演習データの提供や提出はICTを活用して実施する。								
	1) Microsoft Wordによる文書入力・整形、図表の作成・挿入などの 2) Microsoft Excelによるデータ入力、関数を用いた計算、グラフ 3) Microsoft PowerPointによるスライド作成、図表の挿入・整形な 4) インターネットリテラシーを習得し、インターネットやSNSを適 5) 課題解決のために必要な情報を探索し、分析・評価・整理、アウ	や表の作品 どができ 切に利用で	戏・整形などができ る できる	: 3					
	知識・理解	٦.	凡用的技能						
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション			
2] 承12 未									
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 (50		ま習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	情報リテラシー教科書 Windows 10/Office 2016対応版(オーム社	)							
参考書									
課題に対する フィードバック の方法									
留意事項	・情報処理室のパソコンで各自作業を行いますので、入学時に配布分かる状態で授業に参加してください。 ・2回目以降はUSBメモリにデータを保存しますので、毎回USBメモリ容量やメーカーは問いませんので各自で準備してください。 ・毎回の授業の内容は前回の授業内容をふまえたものであるため、	りを持参し	てください。						
オフィスアワー	授業前後に対応します。								
実践的教育									

## 授 業 名 情報ビジネス演習 a

授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業概要の説明,情報処理室の使用方法,Gメールの送受信
~~ . ¬	Windowsの基本操作	アカウントの追加,情報に関するリスク・対策・モラルについて
第1回	メールの基本操作	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	情報セキュリティ、モラル	事前:シラバス、教科書第1章(1-3を除く)、第2章、入学時に配布された情報マニュアルを読み持参 事後:メールの送信
	Word 1(基本操作)	(学修内容) USBメモリ使用上の注意, Wordの開始、保存、終了
	(=)	コピー&貼り付け,ページ設定,書式設定、文字カウント
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前: USBメモリを購入し持参,教科書第1章1-3、第3章3-1~2を読む
	Word 2(文書作成と整形)	事後:第2回課題(Word・書式設定をした文書)をClassroomから提出 (学修内容)検索と置換,ヘッダーとフッター、ページ番号の挿入
	1010 2 (又音下成と歪形)	インデントとTabキー、箇条書きなど
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:教科書第3章3-3、3-4を読む 事後:第3回課題(Word・Tabキー
		を使用した文書)をClassroomから提出
	Word 3(図入りの文書の作成)	(学修内容)図形、画像の作成、挿入,テキストの配置
第4回		Snipping Tool の使い方など  (事前事後学修課題の内容)(30分)
#1 ^년		事前:教科書第3章3-5を読む 事後:第4回課題(Word・図形や画像を
		使用した文書)をClassroomから提出
	Word 4 (表作成)	(学修内容)単純な表、複雑な表の作成
	文献検索	文献検索について
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:教科書第3章3-5を読む 事後:第5回課題(Word・表)を印刷し
	Word 5(総復習)	
	NOTO 3 ( MISTRE )	(子PF15日) MM COTFM (DD ) COTFM )
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:教科書第3章を復習
		事後:第6回課題(Word・レジメ)をClassroomから提出
	PowerPoint 1(基本操作)	(学修内容)スライドサイズの変更,スライドマスターの編集,箇条書き
第7回		インデント、Tabキーの使い方,画像の加工、アニメーションの設定 (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>第7</b> 四		「争削争後子に訴題の内存」(30カ)   事前:教科書第5章5-1、5-2、5-3を読む
		事後:第7回課題(PowerPoint・画像加工)をClassroomから提出
	PowerPoint 2(Word、Excelとの連携)	(学修内容)グラフ、表の作成,ノートの記入,印刷設定
		罫線、文字の配置、セルの挿入・削除・結合
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:教科書第5章5-7を読む 事後:第8回課題(PowerPoint・グラフ)を印刷し提出
	PowerPoint 3 (総復習)	●後、第6回鉄題(FOWEIFOTHIC・グラフ)を印刷し提出 (学修内容)プレゼンテーション技法
	l chart out o (more of)	次回プレゼンテーション用のスライドを作成
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前: 教科書第5章5-4、5-5、5-6を読み、発表テーマを考えてくる
	Dawa = Dailet 4 ( = 1 + 12 = 2 = 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 +	事後:発表用スライドを完成させ、Classroomから提出
	PowerPoint 4(プレゼンテーション)	(学修内容)PowerPointを使ったプレゼンテーションの実際
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:発表用原稿を作成する
		事後: プレゼンテーションの振り返りを行う
	Excel 1(基本操作、関数)	(学修内容)セル、シート等、各画面の説明,データ入力
第44日		簡単な計算式など
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   事前:教科書第4章4-1、4-2-1を読む 事後:第11回課題(Excel・セノ
		新削・教科書第4章4-1、4-2-1を読む、新刊回詠題(Excell できた) 番地を使用した計算)をClassroomから提出
	Excel 2 (関数)	(学修内容)各種関数(合計、平均、最大値・最小値、四捨五入、IF関数など)
		(事前事後学修課題の内容) (30分)
第12回		事前:教科書第4章4-2を読む
		事後:第8回課題(Excel・関数を使用した計算)をClassroomから提出
	Excel 3 (表 グラフの作成)	(学修内窓) 梼 折線 円 海会かどのガラフ 印刷包宝
	Excel 3(表、グラフの作成)	(学修内容)棒、折線、円、複合などのグラフ,印刷設定
第13回	Excel 3(表、グラフの作成)	(学修内容)棒、折線、円、複合などのグラフ,印刷設定 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第13回	Excel 3(表、グラフの作成)	(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む 事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出
第13回	Excel 3 (表、グラフの作成 )  Excel 4 (既存データベースの利用 )	(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む
		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む 事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出 (学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む 事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出 (学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する (事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む 事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出 (学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する
		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む 事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出 (学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章を復習し、レポート案を作成してくる
第14回	Excel 4(既存データベースの利用)	(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む 事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出 (学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:教科書第4章を復習し、レポート案を作成してくる 事後:選んだ統計データの分析を行う (学修内容)前回の情報分析結果をレポートにまとめる
	Excel 4(既存データベースの利用)	<ul> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分)</li> <li>事前:教科書第4章4-3、4-4、4-8を読む</li> <li>事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出</li> <li>(学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する</li> <li>(事前事後学修課題の内容)(30分)</li> <li>事前:教科書第4章を復習し、レポート案を作成してくる</li> <li>事後:選んだ統計データの分析を行う</li> </ul>

授 業 名	現	代文化					講年	1回生	単位数	2単位	科目コード	IC1205
英 文 名	Con	temporar	y Culture				講期	春学期		必 修選 択	必修	,
担当者	新矢 昌昭 対象											
授業の概要	授業				々な領域の具体的な ディスカッション [*]				ン、現代文	化に対する	5理解	
学修成果到達目標	2)	自身と現代	代文化との関わ	り方を意識し	の特徴について理 で考えられるように フィールドワーク	こなる	に主体	的に取り組むこ。	とができる	ようになる	3	
		知識・ヨ	理解				汎					
学位授与の		態度・浸						************************************		 考力		
方針との関連		75.12	01111				-	, H 13 0. 3 H 12-3X 1	- 11,72 - 3,0	373		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		BL 習・フィー	-ルドワーク		ション・ディベー   (双方向型授業)		ープワ T活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法		期試験 50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		平常討 50		険 レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準		:る評価の 観点	知識・理解授業態度・	コミュニ 参加意欲	ケーション能力(	プレゼン		ョン能力 課題 ) (	夏発見・解:	決能力		)
テキスト	使用	しない										
	授業	中に適宜指	 旨摘する									
参考書												
課題に対する フィードパック の方法	グル	ープワーク	フ・ディスカッ	ション・発表	などについて、講記	评する						
留意事項	1		7・ディスカッ ぎえを持つこと		ールドワーク・発え	表などに主 [.]	体的に	取り組むこと。言	講義中に質	問をするの	<b>ので、</b>	
オフィスアワー	研究	室の扉に搭	曷示									
実践的教育												

# 授業 名 現代文化

1X * L	現代文化	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	オリエンテーション	(学修内容)授業の概要、学修成果・到達目標、評価方法、授業計画等について (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前にシラバスの内容を確認しておく
第2回	文化とは何か	(学修内容)文化概念の歴史を考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 文化とは何かを調べ、理解しておく
第3回	日本文化論は可能か	(学修内容)日本とは何か (事前事後学修課題の内容)(60分) 日本とは何か、日本人とは何かを調べておく
第4回	日本文化論を考える	(学修内容)日本+文化=? 日本文化論の疑い (事前事後学修課題の内容)(60分) 代表的な日本文化論についての配布プリントを読んでおく
第5回	オリエンタリズム	(学修内容)西欧の東洋を見る視線 (事前事後学修課題の内容)(60分) オリエンタリズムについての配布プリントを読んでおく
第6回	現代文化としての都市	(学修内容)現代文化と都市の関係 (事前事後学修課題の内容)(60分) 都市とは何かを調べ、説明できるようにしておく
第7回	現代文化としてのメディア	(学修内容)メディアとつながり (事前事後学修課題の内容)(60分) メディアの利用頻度についてまとめておく
第8回	現代文化としての消費	(学修内容)消費と欲望 (事前事後学修課題の内容)(60分) 何を何故欲しいのか、を考えておくこと
第9回	現代文化の中の恋愛	(学修内容)恋愛は可能か (事前事後学修課題の内容)(60分) 恋愛についての配布データを読んでおく
第10回	現代文化の中の「わたし」	(学修内容)現代文化での「わたし」の行方 (事前事後学修課題の内容)(60分) 「わたし」自身とは何かをまとめておく
第11回	フィールドワークの準備	(学修内容)個人、グループでフィールドワークの準備。フィールドワークのスケジュール等をグループでディスカッションして検討。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 現地の情報等を各自で調べておいてください。
第12回	フィールドワーク 1 施設の見学等 1回目	(学修内容)フィールドワーク。施設の見学等。1回目 (事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドノートの整理 1回目
第13回	フィールドワーク 2 施設の見学等 2回目	(学修内容)フィールドワーク。施設の見学等。2回目 (事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドノートの整理 2回目
第14回	フィールドワークの振り返り	(学修内容)グループワークと発表 (事前事後学修課題の内容)(90分) 各自で振り返り(グループワークと発表)の準備をしておく
第15回	現代文化 振り返りとまとめ	(学修内容)グループワークと発表 (事前事後学修課題の内容)(90分) 各自で振り返り(グループワークと発表)の準備をしておく

195 111	(本+ロベン) 1 . ユーハノ	開講	004	W - 41 - 1111	0377.77	科目	1000:-			
授 業 名	情報科学と文化	学 年	2回生	単位数		コード	IC2216			
英 文 名	Information Science and Culture 開講  時期  秋学期  必修  選択  必修									
担当者	堀出 雅人	<b>屈出 雅人</b> 総合文化2回生								
授業の概要	車の自動運転の実現、遠隔操作によって家の中の家事を進める「スマート家電」など、IoT(Internet of Things),人工知能(AI:Artificial Intelligence)といった技術革新によって私たちの生活は大きく変わりつつあります。また、SNSや動画投稿サイトなどスマートフォン・アブリによって国内外を問わずひととひととのつながりが拡がり、新しい文化が生まれています。携帯電話の所持率の低年齢化または所持する年代の高年齢化、今後更にスマートフォンを中心としたインターネット上の各種メディアを老若男女が使用しそれぞれの生活をより善くしていこうとする傾向が強まると予想されます。一方で、日々のニュースで取り上げられるようにインターネット上のトラブルが絶えません。大学や若者の被害もみられます。そこで、本授業を通して、わたしの「生活とメディア」の現状を捉え、見つめ直す中で、最終的にメディアを介したコミュニケーション上で被害者にも加害者にもならない情報倫理を学修し、実践できる力の習得をめざします。ルールやマナーを理解するためには、自己理解と他者理解が欠かせないプロセスのため、グループワークを授業内で実施します。また、授業内容の理解を深めるために、自らの言葉で発表する、書くといった方法を取り入れます。									
学修成果到達目標	・わたしの生活を支えるメディアの特徴を説明できる ・メールや各SNSの特徴を把握した上で適切な情報発信ができる ・情報セキュリティの基本的な知識・技術を説明し、また実践でき ・ネットトラブルの具体例と解決方法を説明できる ・Society 5.0が目指す社会像を説明できる	<b>ర</b>								
	知識・理解		用的技能							
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力					
方針との関連										
アクティブ・ラーニング対象授業		グループワ I C T活用 平常記	](自主学習支援)		ゼンテー: ート #	ション				
評価方法	(50%) 口述 実習 実技	( 50	%) 口述	実習	3	実技				
評価基準	主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	[・] ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)			
	noa出版『情報倫理ハンドプック』									
テキスト										
参考書	<ul> <li>・消費者庁ホームページ「インターネットをめぐる消費者トラブルer_policy/ca ution/internet/</li> <li>・警察庁ホームページ「サイバー犯罪対策プロジェクト」 https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.https://www.</li></ul>	//www.npa	.go.jp/cyber/		, ,	consum				
課題に対する フィードバック の方法	毎回提出を求めるコメントカードを後日チェックし全体的あるいは プレゼンテーションを行う場面では、評価項目を事前に伝え、プレ			評を行う						
留意事項	テキストでの学習をおこなうため必ず購入すること グループワークやブレゼンテーション等には積極的に参加すること 配慮事項がある場合は、事前に相談にくること (授業を欠席する場合も事前連絡を)									
オフィスアワー	授業時間終了後教室で行います。まとまった時間が必要な場合はメ okacho-u.ac.jp	ールを下さ	い。日程調整をし	ます。ku	096horide	@kyot				
実践的教育										

## 授業名情報科学と文化

## 対	1X <del>X</del> 1	IR HX11丁CスIU		
第11日	授業計画	学修項目		学修内容・課題
第10回		オリエンテーション	(学修内容)シラバ	ス、テキストpp.1-3を読み、授業の概要を把握し、授業を受ける
# 前の時 : ショバスを挟め、			際の	質問事項を整理しておく。
関連別応急退して名。単純学科: クライネット上の著作後、目急性	第1回		(事前事後学修課題	の内容) (60分)
### (インターネット上の著作権、自像権 (学売内容) インターネット上の著作権と日本権について著称を呼げて対対できる (学売外容) 大きなごまなな5%5の特徴 (学売外容) 生活をおよって37%5の特徴 (学売外容) 生活をおよって37%5を持つ 10分分 (学売外容) 生活をおよって37%5を持つ 10分分 (学売外容) 生活をおよって37%5を持つ 10分分 (学売外容) 生活をおよって37%5を持つ 10分分 (学売外容) というないます。 (学売内容) インターネット上で情報発音がある 10分分 (学売内容) インターネット上で情報発信する原の注意情報を送回できる (学売内容) インターネット上で情報発信する原の注意情報を送回できる (学売内容) インターネット上で情報発信する原の注意情報を送回することができる (学売の表) 大きないません 10分分 (学売り合) インタース・アーク 10分分 (学売り合) (学売り合) インタース・アーク 10分分 (学売り合) (学売り合) インタース・アーク 10分分 (学売り合) (学売り合) (学売り合) (ジース・アーク 10分分 (学売り合) (学売り合) (ジース・アーク 10分分 (学売り合			事前学	修:シラバスを読み、授業の概要を把握し、授業を受ける際の質
#### ### #### #### #### #### #########			問事項	を整理しておく 事後学修:シラバスを読み返す
# 第42回		インターネット上の著作権、肖像権	(学修内容)インタ	ーネット上の著作権と肖像権について事例を挙げて説明できる
上田門する事材を一つ調べ配布するコメントカードにまとめる			(事前事後学修課題	の内容)(60分)
# 30回	第2回			
# 第3個			に関	する事例を一つ調べ配布するコメントカードにまとめる
# 第3個				
第3回		さまざまなSNSの特徴		
第4回				
#4回 信報を発信する際に意識すること (学館内容) インターネット上で情報発信する際の注意事項を設明できる (事前事故学替護題の内容) (60分) 事物学館: テキストpp.18-16を設計	第3回			
# 15回 (学術育を作課題の内容) (60分) 事前字後: テキストpp. 18-16を話む 事を学後: 「万,80c, Coの母に分け方法をコメントカードにまとめる 事と学後: 「万,80c, Coの母に分け方法をコメントカードにまとめる 事と学後: 「万,80c, Coの母に分け方法をコメントカードにまとめる (学術方音) メールや98上の情報の法受信の都囲を説明することができる (学術方音) メールや98上の情報の法受信の都囲を説明することができる (学術方音) メールや98上の情報の法受信の都囲を説明することができる (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワードではない性の他ロメントカードにまとめる (事前学を) デキストpp. 23-28を読む 事態学後: 情報セキュリティン・コレイに いにできていない性の他ロメントカードにまとめる (学術学を) インタン (学校内音) (60分) 事前学を: アックの安全を合かする (学術者を) インタン アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファックでででででででででででででででででででででででででででででででででででで			~ ~ J	悪い、美除の利用者のトラブル事例をコメントガートにまどのも
# 15回 (学術育を作課題の内容) (60分) 事前字後: テキストpp. 18-16を話む 事を学後: 「万,80c, Coの母に分け方法をコメントカードにまとめる 事と学後: 「万,80c, Coの母に分け方法をコメントカードにまとめる 事と学後: 「万,80c, Coの母に分け方法をコメントカードにまとめる (学術方音) メールや98上の情報の法受信の都囲を説明することができる (学術方音) メールや98上の情報の法受信の都囲を説明することができる (学術方音) メールや98上の情報の法受信の都囲を説明することができる (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワード正理、パックアップ、テッ繁殖によるセキュリティの (学術方音) バスワードではない性の他ロメントカードにまとめる (事前学を) デキストpp. 23-28を読む 事態学後: 情報セキュリティン・コレイに いにできていない性の他ロメントカードにまとめる (学術学を) インタン (学校内音) (60分) 事前学を: アックの安全を合かする (学術者を) インタン アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファック・アンファックでででででででででででででででででででででででででででででででででででで			(労権由家) /いね	カルトでは把発信する際の注音車項を説明できる
# 前字條: テキストの: 18-19年起記 事後字標: 10.8 cb. 20cの世代分け方法を3メントカードにまとめる 事後字標: 10.8 cb. 20cの世代分け方法を3メントカードにまとめる (学権内容)メールやSIS上の首権の送受値の範囲を説明することができる (事前事本学業課題の内容)(60分) 事前字標: テキストの: 20-22年記む 事後字標: 1対特定多数、1対不称 定多数のSIS上のトラブル専例を調べコメントカードにまとめる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: テキストの: 23-23を読む 事後字標: 1対特定多数、1対不称 定多数のSIS上のトラブル専例を調べコメントカードにまとめる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: テキストの: 23-23を読む 事後字標: 信報セキュリティを化 方法を設開できる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: テキストの: 23-23を読む 事後字標: 信報セキュリティを化 アータの安全を得かすもの (学権内容)でルウェア、元エアクセス、ソーシャルエンジニアリング、フィッシ 学能がよいには関係できる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: 19-24-33まで読む 事後字標: 19-24-33まで表記 事後字標: 19-24-33までで表記 事後字標: 19-24-33まで表記 事後字標: 19-24-33まで表記 事後字標: 19-24-33まに表記 19-24-3		情報を発信する際に息減すること	(子修内谷)1ノツ	ーイット上で情報光信する除の注息事項を説明できる
# 前字條: テキストの: 18-19年起記 事後字標: 10.8 cb. 20cの世代分け方法を3メントカードにまとめる 事後字標: 10.8 cb. 20cの世代分け方法を3メントカードにまとめる (学権内容)メールやSIS上の首権の送受値の範囲を説明することができる (事前事本学業課題の内容)(60分) 事前字標: テキストの: 20-22年記む 事後字標: 1対特定多数、1対不称 定多数のSIS上のトラブル専例を調べコメントカードにまとめる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: テキストの: 23-23を読む 事後字標: 1対特定多数、1対不称 定多数のSIS上のトラブル専例を調べコメントカードにまとめる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: テキストの: 23-23を読む 事後字標: 信報セキュリティを化 方法を設開できる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: テキストの: 23-23を読む 事後字標: 信報セキュリティを化 アータの安全を得かすもの (学権内容)でルウェア、元エアクセス、ソーシャルエンジニアリング、フィッシ 学能がよいには関係できる (事前事本学業課題の内容)(00分) 事前字標: 19-24-33まで読む 事後字標: 19-24-33まで表記 事後字標: 19-24-33までで表記 事後字標: 19-24-33まで表記 事後字標: 19-24-33まで表記 事後字標: 19-24-33まに表記 19-24-3	第4同		/ 車前車後学修課題	(の内容)(60分)
第6世   第6世   13/1、13村年定参数、1対不特定参数の情報送受信   13/1、13村年定参数、1対不特定参数の情報送受信   13/1、13村年を数、1対不特定参数の情報送受信   13/1、13村年を数、1対不存定を30の813の内容)(60分)	카카의			
1対1、1対特定多数、1対不特定多数の情報送受信				··
# 5回 (学前事後学路護題の内容) (60分)		1対1 1対特定多数 1対不特定多数の情報送受信		
# 新門学修: テキストpp. 20:22を該印 事後受害: 対対抗変を数、1対抗変を数、1対抗変を数 35k2 から 7 カル 事務を書から 1 大スワード管理、バックアップ、データ整理によるセキュリティ強化 方法を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事務が修: テキストpp. 23:22を読む 事後学修: 情報セキュリティに使っているものとできていないものをコメントカードにまとしる (事前事後学修理の内容) (60分) 事前学修: アータの安全を脅かすもの (学修内容) (7 カーターフ・不正ア・アウエス・ソーシャルエンジニアリング、フィッシ / 公路版について設田できる (事前事後学修: 1992 - 20-33まで読む 事後学修: データの商献となる4つのう 12を選び具体的は要例を3 カーカードにまとめる (学修内容) 情報を守るセキュリティソフト等の機能を説明できる (学修内容) 情報を守るセキュリティソフト等の機能を説明できる (学修内容) (40分) 事前学修: pp. 20-33まで読む 事後学修: pp. 20-33まで読む 事務学修: pp. 20-33まで読む 事後学修: pp. 40-44まで読む 事後学修: pp. 40-44まで読む 事後学修: pp. 40-45を考え カントカードにまとめる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を考え カントカードにまとめる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を表 カンメントカードにまとのる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を表 カンメントカードにまとめる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を表 pp. 40-4				1000年の情報の区文店の範囲を配例することができる
# 新門学修: テキストpp. 20:22を該印 事後受害: 対対抗変を数、1対抗変を数、1対抗変を数 35k2 から 7 カル 事務を書から 1 大スワード管理、バックアップ、データ整理によるセキュリティ強化 方法を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事務が修: テキストpp. 23:22を読む 事後学修: 情報セキュリティに使っているものとできていないものをコメントカードにまとしる (事前事後学修理の内容) (60分) 事前学修: アータの安全を脅かすもの (学修内容) (7 カーターフ・不正ア・アウエス・ソーシャルエンジニアリング、フィッシ / 公路版について設田できる (事前事後学修: 1992 - 20-33まで読む 事後学修: データの商献となる4つのう 12を選び具体的は要例を3 カーカードにまとめる (学修内容) 情報を守るセキュリティソフト等の機能を説明できる (学修内容) 情報を守るセキュリティソフト等の機能を説明できる (学修内容) (40分) 事前学修: pp. 20-33まで読む 事後学修: pp. 20-33まで読む 事務学修: pp. 20-33まで読む 事後学修: pp. 40-44まで読む 事後学修: pp. 40-44まで読む 事後学修: pp. 40-45を考え カントカードにまとめる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を考え カントカードにまとめる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を表 カンメントカードにまとのる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を表 カンメントカードにまとめる (学修内容) (50分) 事前学修: pp. 40-45を表 pp. 40-4	第5回		(事前事後学修課題	の内容)(60分)
(学修内容) パスフート回生、パックアップ、データ歴によるセキュリティでは (学修内容) パスフート回生、パックアップ、データ歴によるセキュリティ強化 方法を説明できる (事前事後学学経過の内容) (50分) 事前学等: テキストpp. 23-28を読む 事後学等: 情報セキュリティにア、 ドできているものとできていないはのをコメントカードにまとめる (学修内容) マリウェア、不正アクセス、ソーシャルエンジニアリング、フィッシ グ学教育 情報を守着は呼吸される (学修内容) マリウェア、不正アクセス、ソーシャルエンジニアリング、フィッシ グ学教育 情報を守着は理解を加速を呼吸される 第10回 第3回回 第4回回 ボークの安全性を守る技術的対策 (学修内容) (ア修内容) (60分) 事前学修: pp. 23-34、可能 事後学修: データの商権を認明できる (事前事後学修護題の内容) (60分) 事前学修: pp. 43-40まで読む 事後学修: 原学・自身が使用しているセキュ ティソフト等の情報を守ら技術の特徴をコメントカードにまとめる (学修内容) (アループワーク) 大学生や若高に設定がているネットラブルに にて説明できる (事前事後学修護題の内容) (60分) 事前学修: pp. 43-54まで読む 事後学修: 授業で取り上げたトラブル 例から1つ遊び、それを回避する方法を考え コメントカードにまとめる (学修内容) (アループワーク) 大学生や若高がネットトラブルに ボール・ロング・ア・ション1 大学や若者がネットトラブルに 第11回 第11回 第11回 第12回 第2を修修を表現の内容) (60分) 事前学修: pp. 43-55までご託も 事後学修: 授業で取り上げたトラブル (学修内容) イルゼスについて説明できる (学修内容) コンナ海のおかでも野光度を維持するため情報遺伝技術を活用した 来の学をは 理解の内容)(60分) 事前学修: 内閣所の外でも関光度を推持するため情報遺伝技術を活用した 来の学をは 情報を関いる コメントカードにまとめる (学修内容) 3ロコナ海のなかでも野光度を推持するため情報遺伝技術を活用して 来の学をは 情報を関い の分 日報・社会像については明できる (学修内容) 3のの別を認明できる (学修内容) 3のの別を認明できる (学修内容) 3のの別を認明できる (学修内容) 3のの別を認明できる (学修内容) 1による可能・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・内閣・	7101			
##8				
# 新事後学修設型の内容)(60分) 事情学修: 宇北 大 ト		情報セキュリティの3つの観点		
#			方法を	説明できる
# 10回	第6回		(事前事後学修課題	の内容)(60分)
# 7- 夕の安全を脅かすもの			事前学	修:テキストpp.23-28を読む 事後学修:情報セキュリティにつ
# 第7回 (事前事後学権課題の内容) (60分) 事前字後 : アータの脅威となる4つのう 1つを選び具体的な事例をコメントカードにまとめる (学修内容) 情報を守るセキュリティソフト等の側壁を説明できる (学修内容) 情報を守るセキュリティソフト等の側壁を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修 : pp. 34-40まで読む 事後学修 : 自身が使用しているセキュティソフト等の情報を守る支持の時報を含る技術の特徴をコメントカードにまとめる (学修内容) 【グルーブワーク】大学生や若者に被害がでているネットトラブルに 1に記明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修 : pp. 41-44まで読む 事後学修 : 背楽で取り上げたトラブルに 1に記明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修 : pp. 41-44まで読む 事後学修 : 授業で取り上げたトラブルに 1に記明できる (学修内容) 【ブルーブワーク】大学生も者言がネットトラブルに 2を続き返記できる (事前事後学修理観の内容) (60分) 事前学修 : pp. 45-63まで表も : 大学や舌者がネットトラブルに 2を終してきる (事前事後学的) (1 レゼンテーション】大学や舌者がネットトラブルに 2を終してきる (事前事後学修理を) (50分) 事前学修 : pp. 45-63まで表も : 大学を考え、コメントカードにまとめる (学修内容) 1 担し活」を整理してくる 事後学修 : 接業で学修した注意点を近く学生や者者に周知理解させる方法を考え コメントカードにまとめる (学修内容) 1 コレイスのなかでも観光を整理を維持するため情報通信技術を活用した 光ビシネスについて説明できる (事前を修理機関の内容) (60分) 事前学修 : 情報通信技術を活用した観光ビジネスについて機索エンジ から聞べてる 事後学修理を通り内容 (60分) 事前学修 : 情報通信技術を活用した観光ビジネスについて機索エンジ から聞べてる 事後学修理のの理な (60分) 事前学修 : 情報通信技術を活用した観光ビジネスについて機索エンジ から聞べてる 事後学修理のの理な (60分) 事前学修 : 情報通信技術を活用した観光ビジネスについて機索エンジ カードにまとめる (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修理機関の内容) (60分) 事前学修 : 情報通信技術を活用される事例を調べる 事後学修理を可以を引きませた。 (学修内容) (1 アルーブワーク 2を表 1 接受 : 大田される事例を調べる 事後学修 : 接端の内容) (60分) 事前学修 : 情報による解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修理を : 授業の感想をコンメントカードにまとめる (学修内容) (1 アルーブワーク 2を表 1 接受 : 大田と成り返って、これからの私事的学修 : 情報による解析が実社会で活用される事例を調べる事態学修 : 授業の感想をコンメントカードにまとめる (学修内容) (1 アルーブワーク 2を表 1 接着の : 大田と成り返って、これからの私事と学修理を : 大田と成りを : 大田とのの : 大田とのの意味を : 大田とのの表 : 大田とのの : 大田とのの表 :			いて	できているものとできていないものをコメントカードにまとめる
第7回		データの安全を脅かすもの	(学修内容)マルウ	ェア、不正アクセス、ソーシャルエンジニアリング、フィッシン
# 新か学像: pp. pp. 29-33まで読む 事後学修: データの脅威となる4つのう 1つを選び具体的な事例をコメントカートにまとめる			グ詐	欺について説明できる
# 10回	第7回		(事前事後学修課題	の内容) (60分)
# 88回			事前学	修:pp.29-33まで読む 事後学修:データの脅威となる4つのうち
第8回				
# 新中学等: pp. 34-40まで読む 事後学修: 自身が使用しているセキュティソフト等の情報を守る技術の特徴をコメントカードにまとめる		データの安全性を守る技術的対策	(学修内容)情報を	守るセキュリティソフト等の機能を説明できる
# 新中学等: pp. 34-40まで読む 事後学修: 自身が使用しているセキュティソフト等の情報を守る技術の特徴をコメントカードにまとめる				
# 10回	第8回		1 '	
第9回				··
# 11回 (字修内容) (60分) 事前学修: P(表示で取り上げたトラブルも例から1つ選び、それを回避する方法を考え、コメントカードにまとめ (字修内容) (ブレゼンテーション) 大学や若者がネットトラブルに遭わないため 注意点を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: P(表示で表示を考え、コメントカードにまとめる (字修内容) 「ガレゼンテーション】大学や若者がネットトラブルに遭わないため 注意点を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: P(表示で表示 A) スントカードにまとめる (学修内容) 「推し活」を支えるネットサービスについて説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: 自らの「推し活」を整理してくる 事後学修: ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる (学修内容) コロナ禍のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて読明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: 情報通信技術を活用した 親光ビジネスについて検索エンジ から過べてくる 事後学修: P(表示の思想をコメントにまとめる (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: 内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる (学修内容) Alによる気条、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: Alによる気条、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: Alによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修: 漫楽の感想をコメントカードにまとめる (学修内容) (70分) 事前学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる (学修内容) (70分) 事前学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる (学修内容) (70分) 事前学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる 事後学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる 事後学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる 事後学修: P(表示の思想をコメントカードにまとのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: P(表示の思想をコメントカードにまとめる P(を表示の思想を) P(を表示の思知を) P(を表		さいしロークトのトニブリ東側		
第9回		ネットワークエのトフフル争例		
# 前学修: pp. 41-44まで読む 事後学修: 授業で取り上げたトラブル 例から1つ選び、それを回避する方法を考え、コメントカードにまとめ 注意点を説明できる (学修内容) 【ブレゼンテーション】 大学や若者がネットトラブルに遭わないため 注意点を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: pp. 45-52までを読む 事後学修: 授業で学修した注意点を起く学生や若者に周知理解させる方法を考えコメントカードにまとめる (学修内容) 「推し活」と情報文化 (学修内容) 「推し活」を整理してくる 事後学修: ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる (学修内容) コロナ禍のなかでも転光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: 情報文化 (学修内容) コロナ禍のなかでも転光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: 情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジから調べてくる 事後学修: 授業の感想をコメントにまとめる (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: 内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく事後学修: 授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容) AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる事後学修課題の内容) (60分) 事前学修: Z修課題の内容) (60分) 事前学修: Z修課題の内容) (50分) 表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	笠の同			
# 11回	ઋ키띄			
# 第10回				• • •
注意点を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分)		ネットトラブルを避けるための注意点		
# 11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修: Pg. 48-52までを読む 事後学修: 授業で学修した注意点を反く学生や苦者に周知理解させる方法を考えコメントカードにまとめる (学修内容)「推し活」を支えるネットサービスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:自らの「推し活」を整理してくる 事後学修:ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる (学修内容)コロナ禍のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:情報通信技術を活用した観光とでジネスについて検索エンジ から調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:投業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:投業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアドこいに話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアドこいに話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事				
(学修内容)「推し活」と情報文化 (学修内容)「推し活」を支えるネットサービスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:自らの「推し活」を整理してくる 事後学修:ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる (学修内容)コカー科のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジ から調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる  Society5.0と情報文化 (学修内容)Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0がのホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化 (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 、自分の意見を説明できる (学修内容)【アループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 事もととメディアについて話し合い発表できる (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 事もしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修:題題の内容)(60分) 事前学修:授業の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事を学修:授題の内容)(60分)	第10回			
第11回			事前学	修:pp.45-52までを読む 事後学修:授業で学修した注意点を広
第11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:自らの「推し活」を整理してくる 事後学修:ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる (学修内容)コロナ禍のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジ から調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる  Society5.0と情報文化 (学修内容)Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化 (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:指による解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業の内容)(60分) 事前学修:授業の内容)(60分) 事前学修:授業の内容)(60分)			く学生	や若者に周知理解させる方法を考えコメントカードにまとめる
事前学修:自らの「推し活」を整理してくる 事後学修:ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる 観光促進と情報文化 (学修内容)コロナ禍のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジ から調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる (学修内容)Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)Alicよる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 (自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:Alicよる解析が実社会で活用される事例を調べる事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)(50分)事前学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)(ガループワーク・発表)授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:授業加内容)(60分)		「推し活」と情報文化	(学修内容)「推し	活」を支えるネットサービスについて説明できる
事前学修:自らの「推し活」を整理してくる 事後学修:ネット依存 スクリーニングを行い、結果を考察し、コメントカードにまとめる 観光促進と情報文化 (学修内容)コロナ禍のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジ から調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる (学修内容)Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)Alicよる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 (自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:Alicよる解析が実社会で活用される事例を調べる事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)(50分)事前学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)(ガループワーク・発表)授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分)事前学修:授業加内容)(60分)				
#13回	第11回			
第12回 第13回 第13回 (学修内容)コロナ禍のなかでも観光産業を維持するため情報通信技術を活用した 光ビジネスについて説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジから調べてくる事後学修:授業の感想をコメントにまとめる (学修内容)Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく事後学:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業回の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事				
#12回				
#12回  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジ から調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる  (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化  (学修内容) AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  (学修内容) 【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 第15回  第15回  第15回  (学修内容) 【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業期の内容)(60分) 事前学修:授業期の内容)(60分)		観光促進と情報文化		
事前学修:情報通信技術を活用した観光ビジネスについて検索エンジから調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる  Society5.0と情報文化  (字修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化  (学修内容) AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考点分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  これからの情報社会と文化  (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業期の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事				
第13回 おら調べてくる 事後学修:授業の感想をコメントにまとめる (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる (学修内容) Society5.0が目指す社会像について説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容) AIと情報文化 (学修内容) AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事	第12回			
第13回				
第13回  (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化  (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:月業の感想をコメントカードにまとめる  これからの情報社会と文化  (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事		0		
事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化  (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  これからの情報社会と文化  (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事		SOCIETYS.UC 情報又化	(子16内谷)Societ	yɔ.∪か日指9任宏隊に ノい C 記明 でさる
事前学修:内閣府のSociety5.0のホームページを検索し、予習してく 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化  (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  これからの情報社会と文化  (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事	<b>第42</b> 同		/ 重益事签类检验照	(の中容)(60分)
事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  AIと情報文化  (学修内容)AIによる気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 。自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  これからの情報社会と文化  (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事	第13四			
#14回 (学修内容) AI による気象、犯罪、寿命予測データをどのように活用するのか、考 、自分の意見を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修: AI による解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修: 授業の感想をコメントカードにまとめる にれからの情報社会と文化 (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修: 授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事				
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる これからの情報社会と文化 (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事		AIと情報文化		
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:Alによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる これからの情報社会と文化 (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事				
事前学修: AIによる解析が実社会で活用される事例を調べる 事後学修: 授業の感想をコメントカードにまとめる これからの情報社会と文化 (学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修: 授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事	第14回			
事後学修:授業の感想をコメントカードにまとめる  これからの情報社会と文化			1 '	
(学修内容)【グループワーク・発表】授業11~14回を振り返って、これからの私 暮らしとメディアについて話し合い発表できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる事				
暮らしとメディアについて話し合い発表できる 第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事		これからの情報社会と文化		
事前学修:授業11~14回を振り返って興味のもった箇所を調べる 事				
	第15回		(事前事後学修課題	の内容)(60分)
<b>学修・グループロークで飪し合った内容をコメントカードにキレめス</b>				
ーニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			学修:	グループワークで話し合った内容をコメントカードにまとめる

授業名	表現文化	開講	1回生	単位数	2単位	科目	IC1206			
		学 年 開 講			必修	コード				
英文名 —————	Representation Culture									
担 当 者	全 炳昊	全 炳昊 総合文化1回生								
授業の概要	現代文化は、独自のテーマや領域において様々な表現の「ツール」を介して現象する。多様な担い手によって拡散する現代文化の特徴を知るため、授業では多様なジャンルで展開する総合コンテンツとしての「韓流」という文化現象に注目する。韓流の歴史や展開過程、担い手間の相互関係から韓流が如何にグローバル化へ乗り出したのか、またその過程に内在している問題は何かを考察することで、現在進行形である韓流の「イマ」を探る。授業の導入としては、現代文化に対する理解とともに理論的考察を進め、続けて韓流の歴史や各ジャンル別の展開過程について見ていきたい。後半には、韓流をめぐる問題とともに、日韓両国の関係において韓流がどのような役割や機能を担うことができるのか、その可能性を図るため、韓国社会における日本文化(「日流」)の様子とその特徴についての考察を行う。									
学修成果到達目標	日常的で身近な文化現象の社会的背景や意味を知ることができる。 韓流の歴史と展開過程を通して、特定の文化現象が社会の中でどら ができる。 韓流という文化現象の理解から、日韓関係の今後について考える。	のような役		いるのか	、把握する	ること				
	知識・理解	:	 .用的技能							
学位授与の	態度・志向性		がかりない。 合的な学習経験と	創造的思	 考力					
方針との関連										
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 目(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記		まで 実習		訓作物 実技				
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (自発的に発言すること			発見・解 理的に文章	決能力 章を書くこ	٤	)			
テキスト	特に指定しません。									
参考書	井上俊 編(2014)『現代文化を学ぶ人のために』世界思想社 クォン・ヨンソク(2010)『「韓流」と「日流」?文化から読み解	く日韓新時	f代』NHKブックス							
課題に対する フィードバック の方法	GoogleClassroom、またはメールにてコメントを行います。 postjeon@gmail.com									
留意事項	毎回の講義時に出されるワークシートは自分の言葉で作成し、必ず	提出するこ								
オフィスアワー	講義時間前後に限って、控え室などに在室します。 他には、メールにて授業関連の相談などを行います。									
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:映画配給会社にて、日本語と韓国語の翻訳・ 企業と行政の現場における通訳業務に携わる。		「る企画および運用	の統括と	して勤務。					

## 授 業 名 表現文化

1X * 1	农况义化		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	オリエンテーション・「みせもの」としての文化	(学修内容)講	<b>島概要と進行の流れ</b>
			ぎ、「韓流」に焦点を合わせているのか。
第1回			<b>果題の内容)(30分)</b>
		各目	目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
		).	「について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	現代文化を考える - 「都市的」生活様式として	(学修内容)都市	<b>市的な生活様式における現代文化の特徴</b>
	の文化	_ r	87市的」であることの意味を知る。
第2回			<b>果題の内容)(30分)</b>
			目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	現代文化を考える - 「消費する(される)」も	(字修内容)「氵	肖費」の担い手は誰なのかを知る。
₩ . □	のとしての文化	/ 東前東後学校=	■暗の中容)(20/))
第3回			果題の内容)(30分) 目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	現代文化を考える - 「情報」を共有する手段と		たちが求めているものとは何か。
	しての文化	( ) 1913 11 / 12/	
第4回		(事前事後学修訂	<b>果題の内容)(30分)</b>
		各目	目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
		).	「について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	文化研究の視点と方法 - いくつかの理論的アプロ		カルチュラル・スタディーズ」と「言説分析」
	- <del>-</del> -	1	ジェンダー・スタディーズ」と「文化的再生産」 
第5回			果題の内容)(30分) フィのはたは、エレス「特流シーシン(文字)はニュー映画・文学をは
			目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
	   何が「表現」されるのか - 「韓流」の歴史と現		」について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
			と現象としての「韓流」の歴史と現状 ブループワークで韓流を自由に語る)
第6回	11/		界題の内容)(30分)
250년			      
			について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	何が「表現」されるのか - 戦略としての「韓流		<b>美戦略としての韓流から文化戦略へ</b>
	」と担い手	ダイ	イナミック・コリアの正体/(GWの成果をプレゼンする)
第7回		(事前事後学修訂	<b>果題の内容)(30分)</b>
			目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	どのように「表現」されるのか - ドラマシーン		ミソナ」から韓流「時代劇」ブームまで たようで、 カラブ
第8回	における「韓流」	1	流トレンディー・ドラマ 開題の中容 > (20/) >
<b>寿</b> 0凹			果題の内容)(30分) 自で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			」について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	どのように「表現」されるのか - 映画シーンに	-	国映画産業の歴史と戦略
	おける「韓流」		
第9回		(事前事後学修訂	<b>果題の内容)(30分)</b>
			目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	どのように「表現」されるのか - 音楽シーンに	(学修内容)K-p	
第10回	おける「韓流」	1	髪が国境を越える時 果題の内容)(30分)
第10回		1 '	*題の内谷)(30カ) 目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			「について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	どのように「表現」されるのか - 文学シーンに		国版「ハルキスト」たち
	おける「韓流」		型書店における「日本文学コーナ」の意味
第11回		(事前事後学修記	<b>果題の内容)(30分)</b>
			目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
	A + M/F		について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。 ************************************
	今までの総括 - 「韓流」という文化現象の実像と		夏と今後を考える。 ブル・プロ・4 不禁泣ち 中中に語る >
₩40回	虚像		ブループワークで韓流を自由に語る)
第12回		1 '	果題の内容)(30分) 自で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			」について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	相反する「表現」のカタチ ー韓国社会における		学、アニメを中心とする「日流」の実像
	「日流」		ブループワークで韓流を自由に語る)
第13回			<b>果題の内容)(30分)</b>
			目で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
	lacks the control of		について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	相反する「表現」のカタチー「韓流」と「日流	1 '	れぞれの文化現象から「みえる」もの ブリープロークで持済された。
第44回	」の狭間で日韓関係を考える 		ブループワークで韓流を自由に語る)
第14回			果題の内容)(30分) 自で興味を持っている「韓流シーン(音楽・ドラマ・映画・文学など
			ョで興味を持っている、韓流ソーノ(音楽・トラマ・映画・文字など) , について、コメントできるように、毎回準備しておくこと。
	  成果発表および総括		丘な韓流との関わりから思うこと。
			更設定および報告会/(GWの成果をプレゼンする)
第15回			<b>果題の内容)(60分)</b>
		1 '	もの準備をしておくこと。

授 業 名	現代スポーツ文化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	IC1207		
英 文 名	Contemporary Sport Culture	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択			
担当者	湯浅 俊郎 対象 学生 総合文化1回生								
授業の概要	現代のスポーツは、オリンピックやサッカーのワールドカップな 至るまで、政治、経済、教育などを含む、私たちの社会生活の様々。 た、メディアや消費文化とも結びつき、その影響力は、ますます多 手・社会的な条件のもとで、発展してきたのか、考察していきます。	な側面と原 面化し増え	関連している文化現	象ととら	えられます	す。ま			
	1) スポーツの成り立ちが理解できる。 2) 歴史的な考察ができる。 3) スポーツを、多面的にみることができる。								
	知識・理解	ÿ	凡用的技能						
学位授与の	態度・志向性	Z.	総合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループ! I C T活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション			
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 % )     口述     実習     実技	平常記 (40		・ レポ 実習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	適宜、資料を配布する。								
参考書	井上俊・菊幸一,2020,『よくわかるスポーツ文化論』ミネルヴァ書	房.							
課題に対する フィードバック の方法	課題に対して必要なアドバイスを行います。								
留意事項	授業の状況により、進度、内容の順番など変更する。								
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。								
実践的教育									

### 授業 名 現代スポーツ文化

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の進め方について
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおく
	スポーツの歴史	(学修内容)スポーツの歴史をとらえていく。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 興味のあるスポーツを選び、それに関連する資料を集めておく。
	メディア化するスポーツ	(学修内容)メディア化するスポーツをとらえていく。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 興味のあるスポーツに関して、メディアと関連する資料を集めておく。
第4回	ソーシャル・メディアとスポーツ	(学修内容)ソーシャル・メディアとスポーツのありかたについて考察していく。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 興味のあるスポーツ関連するSNSを調べておく。
	生活からスポーツへ狩りのスポーツ	(学修内容)狩りから発生したスポーツについて考察する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 狩りから発生したスポーツについて調べておく。
	生活からスポーツへ冬のスポーツ	(学修内容)冬のスポーツについて考察する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 冬のスポーツについて調べておく。
	生活からスポーツへ山・野原のスポーツ	(学修内容)山・野原のスポーツについて考察する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 山・野原のスポーツについて調べておく。
	生活からスポーツへ自転車のスポーツ	(学修内容)自転車のスポーツについて考察する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 自転車のスポーツについて調べておく。
	体育とスポーツ	(学修内容)体育とスポーツの関わりについて考察する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 経験した体育の授業内容を整理しておく。
	子どもとスポーツ	(学修内容)子どもとスポーツとの関係を考察していく。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) スポーツに関する子どもの習い事を調べておく。
	プロ・スポーツの発展について	(学修内容)プロ・スポーツの発展について考察する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 関心のプロ・スポーツについて、チームの組織など調べておく。
	プロ格闘技について	(学修内容)プロ格闘技について考察する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) どのような、プロ格闘技があるのか調べておく。
	スポーツと地域社会	(学修内容)スポーツと地域社会について考察する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) サッカーなど、地域のフランチャイズ制をとっている競技を調べておく
	市民マラソン	。 (学修内容)市民マラソンスについて考察する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) どのような市民マラソンが開催されているのか調べておく。
	まとめ	(学修内容)これまでの内容を整理していく。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) スポーツに関して、気づいたことを整理しておく。

授 業 名	メディア文化史	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	IC1210
英 文 名	History of Media Culture	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	富川 拓	対 象学 生	総合文化1回生	≣			
授業の概要	本授業では、様々なメディア・メディア文化の歴史や現状、課題にとの関わり方を意識して考えられるようになることを目標としてい授業では、講義に加えてグループワーク・ディスカッション・フィ化に対する理解を深めます。	ます。					
学修成果到達目標	1)様々なメディア・メディア文化の特徴、現状と課題について学2)自身とメディアとの関わり方を意識して考えられるようになる3)グループワーク、ディスカッション、発表、フィールドワーク	•				5.	
	知識・理解		凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	<b>*</b>	総合的な学習経験と	創造的思	考力 ————		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 50 %)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		東習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	特に指定しません。						
参考書	授業中に適宜指示します。						
課題に対する フィードバック の方法	グループワーク・ディスカッション・発表・授業中に課すレポート	に対してに	は、講評を行います	•			
留意事項	日頃からメディアに関心を持つようにしてください。 グループワーク・ディスカッション・フィールドワーク・発表など	に主体的に	こ取り組んでくださ	Ell.			
オフィスアワー	担当授業終了後に実施します。						
実践的教育							

### 授業名メディア文化史

授業計画		学修内容・課題
第1回	オリエンテーション	(学修内容)授業の概要、学修成果・到達目標、評価方法、授業計画等について (事前事後学修課題の内容)(20分) 事前にシラバスの内容を確認しておいてください。
第2回	メディア文化	(学修内容)メディア、社会、文化、メディア文化について (事前事後学修課題の内容)(60分) 学習内容を復習し、用語等を覚えるようにしてください。
第3回	メディアの歴史 1 声、文字、印刷と書籍	(学修内容)声、文字、印刷と書籍について。記号、コミュニケーションについて (事前事後学修課題の内容)(60分) 学習内容を復習し、用語等を覚えるようにしてください。
第4回	メディアの歴史 2 新聞、電話、ラジオ、テレビ、インターネット、 SNS、携帯電話、スマホ	(学修内容)新聞、電話、ラジオ、テレビ、インターネット、SNS、携帯電話、スマホについて。メディアリテラシー、情報リテラシーについて(事前事後学修課題の内容)(60分) 学習内容を復習し、用語等を覚えるようにしてください。
第5回	日本文化とメディア 1 マンガ、アニメ等	(学修内容)マンガ・アニメ・映画・ゲームについて。アニメ、映画等の聖地巡礼について (事前事後学修課題の内容)(60分) 日本のマンガ・アニメ・映画・ゲームについて事前に各自で調べてきてください。
第6回	日本文化とメディア 2 グループディスカッション	(学修内容)日本文化とメディアについて、グループでディスカッションし、発表する (事前事後学修課題の内容)(60分) 各自でディスカッション、発表の振り返りをしてください。
第7回	ジェンダーとメディア 1 性別役割分業、異性愛主義等	(学修内容)ジェンダー、性別役割分業、異性愛主義、男女共同参画について (事前事後学修課題の内容)(60分) 学習内容を復習し、用語等を覚えるようにしてください。
第8回	ジェンダーとメディア 2 ジェンダー表象	(学修内容)メディアにおけるジェンダー表象について (事前事後学修課題の内容)(60分) 普段から接しているメディアにおけるジェンダー表象について、各自で調べ、分析してください。
第9回	子育て・教育とメディア	(学修内容)子育て・教育とメディアとの関連、絵本や教科書について (事前事後学修課題の内容)(60分) 学習内容を復習し、用語等を覚えるようにしてください。
第10回	フィールドワークの準備	(学修内容)個人、グループでフィールドワークの準備。フィールドワークのスケシュール等をグループでディスカッションして検討。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 現地の情報等を各自で調べておいてください。
第11回	フィールドワーク 1 施設の見学等 1回目	(学修内容)フィールドワーク。施設の見学等。1回目 (事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドノートの整理 1回目
第12回	フィールドワーク 2 施設の見学等 2回目	(学修内容)引き続き、フィールドワーク。施設の見学等。2回目 (事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドノートの整理 2回目
第13回	フィールドワーク 3 施設の見学等 3回目	(学修内容)引き続き、フィールドワーク。施設の見学等。3回目 (事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドノートの整理 3回目
第14回	フィールドワークの振り返り	(学修内容)グループワークと発表 (事前事後学修課題の内容)(90分) 各自で振り返り(グループワークと発表)の準備をしておいてください。
第15回	メディア文化史 振り返りとまとめ	(学修内容)グループワークと発表 (事前事後学修課題の内容)(90分) 各自で振り返り(グループワークと発表)の準備をしておいてください。

授 業 名	エコ文化と世界遺産	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2222
英 文 名	Eco Culture and World Heritage	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	久保 美智代	対象学生	総合文化2回生	Ξ.			
授業の概要	世界遺産とは、美しい自然、歴史ある町や建物、人々の営みから生で、人類共通の財産として守り、未来へ引き継いでいかなければなどのような基準や価値で登録されているのか、なぜ守っていく必要外の事例を取り上げながら学習する。パワーポイントや現地の映像、グループワークを実施し、発表する。フィールドワークとして、	 まれた景観 らない。こ があるのか を用いなか	この世界遺産条約が へ、どのような課題 べら、講義形式で解	ヾどのよう ほに直面し ぼ説。理解	にして誕 <i>生</i> ているかる	生し、 を国内	
学修成果到達目標	1)世界遺産についての基本的な知識を習得する 2)世界遺産がどのような経緯で生まれたのか、なぜ守る必要があ 3)世界遺産が直面している課題を、具体的な事例で説明し、解決 4)世界遺産の活用と保存のパランスを考え、自分なりの未来像を	策を提案で	ぎきる				
	知識・理解	泂	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	終	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	PBL ディスカッション・ディベート	└──┴ グループワ	1 <b>-</b> 7	プリ	ゼンテー		
ラーニング 対象授業			, , 引(自主学習支援)		L), .	, , ,	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記( 50		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力		)
テキスト	「きほんを学ぶ世界遺産100」マイナビ出版 1450円 + 税 978-4-8399-7565-4 必要があれば、講義内で紹介する。						
参考書							
課題に対する フィードバック の方法	提出物については、コメントをつけて返却する。						
	自浜にもる州田場をに移域的に見る選び、 党羽等物を育めてはしい						
留意事項	身近にある世界遺産に積極的に足を運び、学習意欲を高めてほしい	o.					
留意事項 オフィス アワー	担当授業の前後に質問時間を設ける	5					

### 授業 名 エコ文化と世界遺産

授業計画	エコス化したが過程	学修内容・課題
12 未 ii 四	リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	子 (学修内容)世界遺産条約誕生のきっかけと基礎知識
	Line Economic Control of the Control	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキストの第一章「世界遺産の基礎知識」について読んでおく
		復習として、講義で配布したプリントを用いて、おさらいする
	日本の世界遺産のあゆみ	(学修内容)日本が世界遺産条約を批准した経緯について   自分が好きな世界遺産についてグループで発表
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
7,50		自分が好きな世界遺産を選び、その価値と理由について考えておく
	文化的景観について	(学修内容)文化的景観という考え方について学ぶ グループワークで身近な文化的景観について紹介する
第3回		グループソークで身近な文化的景観にプロで紹介する (事前事後学修課題の内容)(30分)
까이더		身近な文化的景観について調べる
	産業遺産について	(学修内容)産業遺産の紹介と直面している課題について
~~		グループワークで産業遺産について紹介する
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 産業遺産にはどのようなものがあるのか調べる
	「古都京都の文化財」	(学修内容)フィールドワークの事前・事後の学習方法について
	フィールドワーク実施のための事前学習	グループ分け
第5回	(状況により内容の変更あり)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		「古都京都の文化財」について調べておく
	フィールドワーク 二条城 (状況・調整により、実施場所・日時の変更有)	(学修内容)フィールドワークを実施する
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		質問を考えておく
	フィールドワーク 二条城の修復作業見学 (状況・調整により、実施場所・日時の変更有)	(学修内容)フィールドワークを実施する
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		質問を考えておく
	自然遺産について	(学修内容)自然遺産と環境保全を学ぶ
		グループワークで調べたことを共有し、知識を深める
第8回		(事前事後学修課題の内容) (30分)   自然遺産はどのように守られているのか、実例を調べておく
	フィールドワークの事後学修	(学修内容)レジュメやスライドを作成し、発表する
	(プレゼンテーション)	
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:発表に向けて練習する 事後:発表後の振り返りをおこなう。
	  危機遺産について	・
	10 marie 10 ov. C	グループワークで危機遺産について調べたことを共有する
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		危機遺産にはどのようなものがあり、なぜ危機に瀕しているのか調べて おく
	負の遺産について	(学修内容)負の遺産とは何か?実例をあげて解説する
第11回		グループワークで負の遺産について調べたことを共有する (事前事後学修課題の内容)(30分)
77 T.		負の遺産にはどのようなものがあり、どのような理由なのか調べておく
	探求課題の提示とグループ分け	(学修内容)自然環境の保全、観光都市づくり、気候変動、平和などの探求課題を提供している。
A140		示し、グループ分けして興味のあるテーマを選ぶ
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   選んだテーマについて調べておく
	現状調査と課題を見つける	(学修内容)選んだテーマについて現状と課題について意見を出して調べる
第13回		
毎13凹		(事前事後学修課題の内容)(30分) グループワークででた課題解決について自分なりの意見をもつ
	問題解決について意見をだし、まとめる	(学修内容)意見を出し合い、まとめる
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
77 TEI		レジュメやスライドを作成し、発表ができる準備をする
	発表	(学修内容)グループごとにプレゼンテーションする
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
_		事前:発表に向けて練習する
		事後:発表後の振り返りをおこなう。

授業名	情報メディアの活用	開講	1回生	単位数	2単位	科目	IC1211		
英文名	Practical Use of Information and Media	学 年 開 講	秋学期		必修	コード 必修			
× × ¬	Tractical use of information and wedia	時期	選択						
担当者	<b>堀出 雅人</b>   対象   総合文化1回生								
授業の概要	私たちの生活にいまや欠かすことができない携帯電話やスマートフィンターネットを介して収集することが可能となりました。企業や関要な情報を的確に伝えるために、ホームページやSNSを活用した広報体職員等を目指す上で、配属された部署での事業PRなどを周知する。須のものとなるでしょう。そこで本授業では、就職先で基本的な広的に、PCやスマートフォンを活用し、華頂生やオープンキャンパスを資料の作成など具体的な課題に取り組みます。また授業中に、完成レゼンテーション力を伸ばします。以上を通して、受講生一人ひときます。	自治体も、 発活動に力を ために、ホ 版活動が担 を加者を対 した課題を	消費者や住民がすを入れています。  ホームページやSNS 引える力を育成する 対象に「総合文化学 発表する機会を作	ぱめる情報 就職先とし を使って☑ ことを目: ○科での学 ○リます。	、また周st いて企業や 「報する力 指します。 び」を説明 発表を通り	知が必 自は必 具体 明する してプ			
学修成果到達目標	(1)情報メディアの特徴を説明することができる (2)情報メディアを活用したチラシや簡易新聞等を作成できる (3)仲間と協力して一つの目標に向かって活動できる (4)情報発信する際のルールやマナーが説明できる								
	知識・理解	泂	用的技能						
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション			
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		実習		制作物 実技			
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (		vョン能力 課題 ) ( 	発見・解	決能力		)		
テキスト	テキストはありません。各回に印刷資料の配布または必要事項を板	当しより。							
参 考 書	授業中に適宜指示します。								
	提出を求めるコメントカードについては、後日、授業の際に講評したループワークで作成する各課題については適宜アドバイスを行いまつンテーションの回にチェックし、指導を行います。								
留意事項	授業中盤から課題制作のためにグループワークを実施します。 課題制作上、学校備え付けのPCとは別に、各自の所持しているスマ・。 。 配慮事項のある学生は事前に相談してください。	ートフォン	/やタブレットPCを	使用する	場合もあり	)ます			
オフィスアワー	授業時間終了後教室で行います。まとまった時間が必要な場合はメーokacho-u.ac.jp	ールを下さ	らい。日程調整をし	,ます。ku	096horide	@kyot			
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:特定非営利活動法人学習開発研究所 所員と 。	して、E-Le	earninシステムの	設計および	「運用に携	わる			

### 授業 名情報メディアの活用

授業計画	学修項目	学修内容・課題
12 未 们 凹	学修項日 ガイダンス	子修内谷・課題 (学修内容)「情報メディアの活用」の15回を通した目標と内容を説明できる
	"   "   "   "   "   "   "   "   "   "	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第1回		事前 シラバスを読んでくる
		事後 授業の感想や要望をコメントカードに記入して次回に提出
	情報メディアの特徴	(学修内容)情報の送信側と受信側、それぞれの立場から情報メディアの特徴を説明
		できる
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 「情報メディア」の意味を辞書などで調べてくる
		事後 情報の送受信の特徴をコメントカードにまとめ次回提出
	情報リテラシー	(学修内容)情報メディアを活用する際に求められるリテラシーを説明できる
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回		事前 情報リテラシーについて調べてくる
		事後 自身が今後伸ばす必要がある情報リテラシーを整理する
	企業や自治体のホームページでの広報の特徴	(学修内容)企業や自治体の広報用ホームページの現在のおおよその構成を説明でき
第4回		る (事前事後学修課題の内容)(60分)
בודית		事前 企業や自治体のホームページを閲覧し比較してくる
		事後 広報用ホームページの特徴をコメントカードにまとめ次回提出
	企業や自治体のSNS上での広報の特徴	(学修内容)現在、企業や自治体によるSNSを活用した広報の在り方を説明できる
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第5回		事前 企業や自治体が行うSNS上の広報活動を調べてくる 事後 各SNS の特徴を生かした広報の在り方をコメントカードにまとめ次回提出
		の行気を主かりた仏報の任り力をコメントカードによどの外回提出
	情報メディアのユーザビリティとアクセシビリテ	(学修内容)情報メディアのユーザビリティとアクセシビリティについて説明できる
<b>₩</b> □	1	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第6回		事前 スマホなどのデバイスでだれでも利用できるような工夫を調べて くる 事後 授業で取り上げたキーワードとその意味を復習する
		くる 学校 10米で扱うエアだっ ノート ここの心外で投音する
	「炎上」等トラブルを防ぐために	(学修内容)著作権への抵触、不適切な画像・動画の拡散、攻撃的な記事のアップな
第7回		ど「炎上」の実際と防ぐためのチェック体制について説明できる
<b>第</b> /凹		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前 企業や自治体のネット上での広報における「炎上」事例を調べる
		事後「炎上」回避する要点をコメントカードにまとめ次回
	広報業務の実際	(学修内容)職場で広報に携わるゲストスピーカーの話の要点をまとめることができ
第8回		る (事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>寿</b> 0凹		「争刑争後子修練題の内存」(60万)  事前 広報業務について調べてくる
		事後 ゲストスピーカーの話への感想をまとめ提出
	広報活動にチャレンジ	(学修内容)【グループワーク】本学の入試広報等を想定し、届けたい受信者の興味
~~ · □		関心を意識して、記事作りのテーマを考え決めることができる
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 記事にするテーマを考えてくる
		事後 グループワークで出た意見をもとに更に記事内容を検討してくる
	広報用記事の材料収集	(学修内容)【フィールドワーク】広報記事に掲載する材料を探すために大学近隣で
		フィールドワークに参加し成果を挙げることができる
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 記事作成のため必要な材料を事前にピックアップしておく 事後 フィールドワークを実施した反省をコメントカードにまとめ次回提出
	広報用記事の作成	(学修内容) 【グループワーク】 広報記事をグループ内で分担して作成することがで
		きる
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 グループ内で担当を割り振り、事前準備を進める 事後 プレゼ ンテーションに向けて、記事を完成させて発表の段取りを整える
	完成した広報用記事の共有	(学修内容)【プレゼンテーション】グループごとに作成した広報用記事と工夫した
	1	点を紹介することができる
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 限られた時間の中でプレゼンするため、プレゼンの練習を前日までに行う事後、プレゼンの気炎をフィントカードにまとめ次回担出
	  広報用動画の素材作成	でに行う事後 プレゼンの反省をコメントカードにまとめ次回提出 (学修内容)【グループワーク】広報用動画の素材を作成することができる
	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	C. C
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 総合文化学科を紹介する動画のストーリーを考えてくる 事後 作ばした表対などのとうに始集するのが工程を考える
	  広報用動画の編集	事後 作成した素材をどのように編集するのか工程を考える (学修内容)【グループワーク】フィールドワークで撮影した画像データをPCソフト
		やスマホアプリを活用しつなげ動画にすることができる
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 動画に掲載する画像を整理しておく
	制作した広報用動画の発表	事後 次回の発表に向けて動画を完成させる (学修内容)【プレゼンテーション】制作した広報用動画をグループごとにプレゼン
	PUTTE OICIGHK内到凹り元代	「(子形内谷)【フレビファーション】制TFUた仏報用動画をグループことにプレビフ することができる
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 前日までに動画を完成、メンバーとプレゼンの練習をおこなう
		事後 他のグループからのコメントを記録し最終レポートに反映させる

授 業 名	マンガ・アニメ・ゲーム文化	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード	IC2217
英文名	Manga, Anime, and Game Culture	開 講時 期	春学期		必 修選 択	必修	
担当者	渡邉 秀司	対 象 学 生	総合文化2回生	Ē			
授業の概要	1980年代よりアニメやゲームに耽溺する人たちが現れました。アニれるものではなく、より多くの人たちが日常的に楽しむものに変化背景もより複雑なものになってきています。この講義では現代日本と思います。	しつつあり	ります。その流れの	中で、ア	ニメやゲ-	-ムの	
学修成果到達目標	(1)アニメ・ゲームが、現在の考えかたにどのような影響を与えてい(2)アニメ・ゲームが、現在の考えかたからどのように影響を受けて						
	知識・理解	ÿ	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│ グループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常記 (30		ま レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	特定のテキストは使用しません						
参 考 書	土居伸彰、2017年『21世紀のアニメーションがわかる本』フィルム	アート社					
課題に対する フィードバック の方法	授業終了後、疑問点・感想などを聞くために用紙を配り、疑問点なる限り答えます。	どがその月	<b>用紙に書かれていた</b>	:場合、次	回の授業で	ででき	
留意事項	授業中に指示されたアニメ作品は、できる限り視聴をしてください。 あります。その際には事前に連絡をします。	。授業開始	冶時の状況に応じて	、内容を	変更する。	ことも	
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育							

# 授業 名マンガ・アニメ・ゲーム文化

授業計画	学修項目	学修内容・課題
12 未 们 四	オリエンテーション	(学修内容)以後の授業の流れについての説明。
	授業の流れ	注意事項。アナログゲームの体験会。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		第2回の予習として、ファンタジー作品と呼ばれる小説を1冊読み感想を まとめて次回に提出。
	ファンタジーについて	(学修内容)ゲームやアニメを考える前提としての、ファンタジー作品について物語
		を楽しむという視点から講義する。
第2回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   復習として、ファンタジー作品を読む意味を、授業の内容をふまえた上
		でまとめて次回に提出。
	「オタク」とされるひと	(学修内容)アニメ・ゲームの受容者・消費者としての「オタク」層について、「オ
第3回		タク」の社会性という視点から講義する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
카이미		復習として、授業の中で述べられた内容をふまえて自らの考えを整理し
		、レポートにして次回に提出。
	ゲームの始まり   「アナログゲーム」と呼ばれるゲームについて	(学修内容)現在のコンピュータゲームに影響を与えた「アナログゲーム」と称され るボードゲーム、会話型ロールプレイングゲームについて講義する。
第4回	アプログラーム] と呼ばれるアームについて	るが一ドゲーム、芸品室ロールグレイググゲームについて開義する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、授業で配布された資料を参考にしながら内容を整理したう
	  コンピュータゲームの黎明期	えで自らの考えを整理して、レポートにして次回に提出。 (学修内容)コンピュータゲームの初期において重要な作品とされる『ポン』など、
	コンピューティームの乗売物	初期のコンピュータゲームについて講義する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、授業で配布された資料を参考にしながら内容を整理したう えで自らの考えを整理して、レポートにして次回に提出。
	コンピュータRPGについて	(学修内容)『ドラゴンクエスト』など日本製のコンピュータRPGについて講義する
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、授業で配布された資料を参考にしながら内容を整理したう
		えで自らの考えを整理して、レポートにして次回に提出。
	2000年代以降のゲーム状況	(学修内容)2000年代以降のゲーム状況について講義する。
第7回	eスポーツについて 	(事前事後学修課題の内容)(60分)
까니다		(事刑事後子)に納めの内告 / (30万) 復習として、授業で配布された資料を参考にしながら内容を整理したう
		えで自らの考えを整理して、レポートにして次回に提出。
	ゲーム研究について ゲームを文化として考えること	(学修内容)物語としてのゲーム、ゲームはなぜ楽しいのか、実際に行われているゲームイベントの話などを講義する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		第9回の予習として、アニメ映画の『君の名は』もしくは『この世界の
	  アニメの中の「わたし」	片隅に』を視聴し、感想をまとめて次回に提出。 (学修内容)アニメにおける「わたし」の描き方の変化について講義する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   復習として、今回の授業の内容をふまえつつ『君の名は』もしくは『こ
		復省として、学回の授業の内谷をかまえフラ・岩の名は』もしては * こ   の世界の片隅に』についてレポートをまとめて次回に提出。
	アニメキャラクターの「わたし」	(学修内容)宮崎駿の『もののけ姫』と新海誠の『ほしのこえ』を視聴し、登場キャ
第10回		ラクターの「わたし」について講義する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		(争削争後子修綵題の内谷) (60万) 復習として、『もののけ姫』のキャラクターと『ほしのこえ』のキャラ
		クターを比較、考察したレポートをまとめて次回に提出。
	「わたし」から「わたしたち」へ 	(学修内容)アニメ作品における「わたし」の描き方を考えるための前提となる議論 を讃義する。
第11回		と調義する。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、授業で配布された資料を参考にしながら内容を整理したう
	人間関係からアニメの背景を考える	えで自らの考えを整理して、レポートにして次回に提出。 (学修内容)いったんアニメそのものの議論から離れて、日常的な人間関係について
	アンコスのの ファーアンドボ こうんし	考える。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、授業の中で述べられた内容をふまえつつ、自分の感想をまとめて次回に提出。
	アニメにおける表現の変化	(学修内容)アニメ作品の表現が変化しているとする議論もある。デジタル・テクノ
₩40□		ロジーがアニメーションに何をもたらしたのかについて講義する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   復習として、授業で配布された資料を参考にしながら内容を整理したう
		えで自らの考えを整理して、レポートにして次回に提出。
	2017年のアニメ『夜明け告げるルーのうた』	(学修内容)『夜明け告げるルーのうた』を視聴して、今までの講義内容を振り返り ながら、「わたし」の描き方の変化について講義する。
第14回		なから、「わたし」の描さりの変化についく講義する。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、『夜明け告げるルーのうた』の視聴した感想を次回に提出
	個人作家のアニメーション	。 (学修内容)今までの講義の内容を総括しながら、個人作家のアニメーションを実際
	個人TF家のアニア ション   結び	(学修内合) すまての調義の内合を総括しなから、個人作家のアニメーションを美際 に視聴してもらう。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		授業の最後に、今までの授業内容をふまえながら自らの考えを整理し、 レポートとして提出する。
		レホードとして廃山する。

授業名	 情報サービス	開講	1回生	単位数	2単位	科目	IC1208	
英文名	Information Service	学年開講	春学期		必修	コード 選択		
担当者	渡邊 雄一	時 期 対 象	総合文化1回生	=	選択			
12 3 1	図書館における情報ニーズとサービス、レファレンスツール及びレ	学生 ファレン			<u></u> 。情報サ-	-ビス		
	とは何か、また情報やサービスを提供する際に注意すべきことは何ある。図書館における情報サービスの実際を理解するために、グル	か、図書館	館と図書館員の役割	を把握す	ることが	目的で		
	を行いながら授業を進める。							
授業の概要								
	1)図書館における情報サービスの種類とその内容について説明す 2)レファレンス事例とレファレンス資料に関するプレゼンテーシ			きる。				
学修成果								
到達目標								
学位授与の	知識・理解		汎用的技能  総合的な学習経験と	:創造的思:	考力			
方針との関連								
アクティブ・	   P B L ディスカッション・ディベート	グループ!	フ <i>ーク</i>	プレ	ゼンテー	ション		
ラーニング 対象授業			, 用(自主学習支援) ————————————————————————————————————					
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 %)     口述     実習     実技	平常記 (40		険 レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題) (	9発見・解	決能力		)	
	授業にて指示する。							
テキスト								
	『情報サービス論』(現代図書館情報学シリーズ5)、山﨑久道、樹	村房、20	)12年					
参考書								
	フィードバックとして理解度を測る小テストを実施後、解答の解説	を行いまる	<u> </u>					
課題に対する フィードバック	ァ・・・ハファこの こを呼及で加るホテベーで 大心攻、 肝音切肝机	ا ۱۱۸۱۳ ا	• •					
の方法								
60 at = -T	・図書館の情報サービスについて理解を深めるために、公共図書館員に質問し、レファレンスサービスを体験してくることが望ましい。	•						
留意事項	・本講義において学習するレファレンスサービス理論及び情報検索 ァレンス演習課題として取り組む際に必要となる理論である。本講 ビス演習」の学習に繋げてもらいたい。							
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。							
	実践的教育		⇒≈≈≈××××××××××××××××××××××××××××××××××	E <b>‡</b> □ ↓↓	71-0::=	<b></b>		
実践的教育	教員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館 します。	じ勤務。	<b>実務詮</b> いをもとに情	<b>育報サービ</b>	スピンい	し話を		

### 授業 名情報サービス

	IFITE OF THE TENTE OF THE TEN	AV In Late Am DE
授業計画	- 11 1111	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスを読んでおくこと。
		(学修内容)図書館の役割について理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 情報社会の特質についてまとめたプリントを配付するのでよく読んでお くこと。
第3回	情報サービスの実際 直接的サービス	(学修内容)情報サービスのうち直接的サービスの内容について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>第3回</b>		第1回授業で解説したレファレンスサービスの概要について復習し、ま とめておくこと。
	情報サービスの実際 間接的サービス	(学修内容)情報サービスのうち間接的サービスの内容について理解する
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 情報サービスの種類と内容をまとめたプリントを配付するのでよく読ん でおくこと。
第5回	レファレンスサービスの理論と実際	(学修内容)レファレンスサービスの理論を学習する。サービスの実施に関わる具体 的問題についてグループディスカッションを行うことで理解を深める。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
	レファレンスプロセス	レファレンスサービスの理論に関わる配付プリントをよく読んでおくこと。 (学修内容)レファレンスプロセスの概念について学習し、情報 探索行動に対応し
第6回	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	たレファレンスプロセスの在り方について理解を深める。 (事前事後学修課題の内容)(20分)
		レファレンスプロセスに関するプリントを配付するのでよく読んでおく こと。
	情報検索と情報検索システム 種類と内容	(学修内容)情報検索の種類・内容について理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(20分)   情報検索システムに関する配付資料をよく読んでおくこと。 
	情報検索と情報検索システム 検索過程	(学修内容)情報検索システムにおける検索過程の内容について理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 図書館に行き、OPACを用いて特定のテーマに関する情報検索を行い、結果をまとめておくこと。
	情報サービスにおける各種情報源の利用法	(学修内容)個々の情報源の特性を理解し、多様な情報源を駆使した情報サービスを
第9回		提供する技能を習得する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 図書館に行き、授業中に紹介した各種情報源を手に取り、利用すること
		0
	情報サービスと知的財産権	(学修内容)著作権法について概説し、図書館における複写サービスなどについて学習する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 図書館に行き、複写サービスの内容と範囲を確認しておくこと。
	オンラインデータベース	(学修内容)オンラインデータベースの作成から利用までの流れを理解する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   図書館に行き、いくつかのオンラインデータベースを用いて情報検索を
		行い、それぞれのオンラインデータベースの特徴をまとめておくこと。
	電子ジャーナル	(学修内容)電子ジャーナルの種類について概説する。オープンアクセス雑誌と機関
第12回		リポジトリについて学習する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
77.EH		図書館に行き、電子ジャーナルを利用しておくこと。
	レファレンス事例について(プレゼンテーション)	(学修内容)レファレンス質問とその回答についてまとめ、ブレゼンテーションを行う。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 発表レジュメを作成する。
	レファレンス資料の概要について(プレゼンテー	(学修内容)前回のレファレンス事例中にある参考資料について、レファレンス資料
第14回	ション)	としての特徴をまとめ、プレゼンテーションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 発表レジュメを作成する。
	まとめ	(学修内容)今後の情報サービスあり方について考える。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回までの配付プリントを読んでおくこと。

授業名	サプカルチャー	開講	1回生	単位数	2単位	科目	IC1212
		学年 開講		T III XX	必修	コード	101212
英文名 —————	Subculture	時期	秋学期		選択	選択	
担当者	全 炳昊	対 象 学 生	総合文化1回生	<u> </u>			
授業の概要	「サブカルチャー」という言葉は、それが使われる国や地域、集団、的な概念である。こうしたサブカルチャーの多義性について理解して、そして現在を中心テーマに設定している。日本社会におけるサを余儀なくされた在日コリアンの歴史を通して、彼ら独自の生活様のか、その展開過程に注目する。授業の流れとしては、導入としては景から、在日コリアンの歴史と文化、そして彼らの生活様式がどの、せて後半に至っては、様々な在日(ブラジル・中国・ベトナム)の文文化共生」の可能性について考えてみたい。	てもらうた ブ(マイ) 式や文化か のサブカル ように維持	ために、授業では、 ソリティーor非主済 バ如何にしてサブカ レチャーに対する理 ・・変化してきたか	在日コリ Tor周辺人 Iルチャー Mを図る Vについて	アンの歴5 ) としてで として定れ ための理言 考察する。	史と文 D生活 与した 倫的背 合わ	
学修成果到達目標	サブカルチャーの多義性について理解することができる。 在日コリアンの歴史と文化、生活様式について理解することができる。 多文化共生の可能性に対する自分なりの見解を示すことができる。	-					
	知識・理解	泂	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・							
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援) 		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記		き レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (自発的に発言すること			発見・解 理的に文章	決能力 章を書くこ	٤٤	)
	特に指定しません。						
テキスト							
参考書	伊奈正人 (1999) 『サブカルチャーの社会学』世界思想社 ディック・ヘブディジ (1986) 『サブカルチャー - スタイルの意味 尹健次 (2015) 『「在日」の精神史 1 ・ 2 ・ 3 』岩波書店	するもの』	未来社				
課題に対する フィードバック の方法	GoogleClassroom、またはメールにて対応いたします。 postjeon@gmail.com						
留意事項	事前学習は必要ありませんが、毎回の講義時に出されるワークシー	トは自分の	)言葉で作成し、必	がず提出す	ること。		
オフィスアワー	授業時間前後に限って、控え室などに在室します。 その他、授業関連の相談などには、メールにて対応いたします。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:映画配給会社にて、日本語と韓国語の翻訳・ 企業と行政の現場における通訳業務に携わる。		「る企画および運用	の統括と	して勤務。		

#### 授業名サブカルチャー

授業計画	学修項目	学修内容・課題
12 未 们 四	オリエンテーション・「サブ」が意味するもの	(学修内容)なぜ、「在日コリアン」に注目するのか。
	:講義概要と進行の流れ	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準備をしておくこと。
	サブカルチャーとは何か - サブカルチャーの正	(学修内容)様々なサブカルチャーの様相
	体	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	サプカルチャーとは何か - 理論的アプローチ	(学修内容)「イデオロギー」としてのサブカルチャー
答る日		「ポスト・モダン」なサブカルチャー
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	サブカルチャーとは何か - 実態としてのサブカ	(学修内容)サブカルチャーの担い手は誰なのか。
第4回	ルチャー	地域と集団、そして時代から考えるサブカルチャーの実像 (事前事後学修課題の内容)(30分)
54四		(事刑事後子修綵題の内存) (30ガ)   日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	「在日」を生きる - オールドカマーとニューカ	(学修内容)在日コリアンの歴史を考える。
第5回	₹-	(グループワークで思いを共有する) (事前事後学修課題の内容)(30分)
MOE		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	「在日」を生きる - 映しだされる「在日」(1  )	(学修内容)映画の素材としての「在日」を考える。 (DVD教材などを使った鑑賞会を行う)
第6回	/  :映画の中の在日「表象」	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	「在日」を生きる - 映画解説および分析	(学修内容)映画の素材としての「在日」を語る。   (グループワークで思いを共有する/プレゼンを行う)
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		映画に対するコメントを用意すること。(A4-1枚程度)
	│  「在日」を生きる - 映しだされる「在日」(2	│ │(学修内容)映画の素材としての「在日」を考える。
	)	(DVD教材などを使った鑑賞会を行う)
第8回	:映画の中の在日、家族、そして日本社会	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準 備をしておくこと。
	「在日」を生きる - 映画解説および分析	(学修内容)映画の素材としての「在日」を語る。
# 0 E		(グループワークで思いを共有する/プレゼンを行う)
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   映画に対するコメントを用意すること。(A4-1枚程度)
	「在日」を生きる - 在日コリアンの文化と生活  様式	(学修内容)地域文化としての「在日」
第10回	が来て	民族教育はいかに継続するのか。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	「在日」を生きる - 日本人と韓国・朝鮮人と在  日	(学修内容)在日コリアンにとって、「アイデンティティ」とは何か。 
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
	│ │「在日」の様相 - 在日ブラジル人の場合	備をしておくこと。 (学修内容)地域と集団、そして文化
		( , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準備をしておくこと。
	「在日」の様相 - 在日中国人の場合	(学修内容)地域と集団、そして文化
第13回		(東前東後学校短時の内容) (20/1)
治し回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。
	「在日」の様相 - 在日ベトナム人の場合	(学修内容)地域と集団、そして文化
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		日常的な「サブカルチャー」との関わりについて、毎回、コメントの準
		備をしておくこと。 (学修内交)「左口」との出合しかに目えるもの(細題お上が起生会)
	成果報告および総括	(学修内容)「在日」との出会いから見えるもの(課題および報告会) (GWの成果としてプレゼンを行う)
第15回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		報告会の準備をしておくこと。

授	業	名	現代の音楽	開記		2回生	単位数	2単位	科 目 コ ー ド	IC2218
英	文	名	Contemporary Music	開調時期		春学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	盧 珠妍	対算		総合文化2回生	Ē.			
授業	€Ot		人間にとって音楽とは何か。私たちの周囲には実に様々な音楽が順オーディオ装置で聴取する音楽、いやそればかりか、テレビをつけが常に溢れている。また音楽を「音」という観点から見ると、自然は、音楽を単なる楽曲と見なす考え方から脱却し、音楽の様相に立	ればコ 、界や日	マ- 常に	·シャルソングが流 :もそれがない世界	れ、商店 は存在し	や街中に=	も音楽	
学 貸 到 适			1)私たちにとって音楽が持つ意味について考えることができる。 2)音楽現象を幅広し視野から捉えられる。 3)既成の音楽観に対する思考を変換する視点を獲得する。							
			知識・理解		汎	用的技能				
学位:			態度・志向性		総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針と	との	関連								
アクラ ラーニ 対象指	ニン	グ	PBL     ディスカッション・ディベート       実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)	グルー ICT		ーク  (自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価	<b>西方</b>	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技		常討 50	、験   筆記試験 %)  口述	実習		制作物 実技	
評価	五基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテ	<b>-</b> シ	ョン能力 課題 (	発見・解	決能力		)
テキ	Fス	7	プリントを配布する。							
参	考		授業時に指定する。							
課題に フィー の方法			小レポートは回収後、次回の授業に還元する。							
留意	去		常に問題意識をもって授業に臨むこと。							
オフ	法	項	常に問題意識をもって授業に臨むこと。 研究室に日時を掲示するので、確認すること。							

### 授業 名 現代の音楽

	が100日末	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	本講義の趣旨	(学修内容)私たちにとって音楽が持つ意味とは何か。
~~		( <del>* * * * // * // *                     </del>
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   学修内容について各自で予備的考察をしておく。
		子形内谷について合日でア浦的も余をしてのく。
	学校音楽	(学修内容)学校音楽教育の経験を振り返る。準備したワークシートをもとにグルー
		プで意見交換する。学校音楽について考える。
第2回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		配布資料を参照しながら、学校音楽について検討を加える。
		(学権大臣) - 2.11 - 1 - 1 - 5 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2
	コンサートホールの音楽	(学修内容)コンサートホールの音楽について考える。 
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
узод		授業前に配布資料を読み、授業後はコンサートホールの音楽について小
		レポートを作成し、提出すること。
	コマーシャルソング	(学修内容)コマーシャルソングについてのディスカッションとグループ発表
₩. 4 E		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第4回		いくつかコマーシャルソングについて調べる。授業後はコマーシャルソ ングについて小レポートを作成し、提出すること。
		ファについて小レハートを下成し、従山すること。
	街中の音楽	(学修内容)街中の音楽について考える。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業前に配布資料を読み、授業後は学修内容について小レポートを作成
	自然界の音楽	し、提出すること。 (学修内容)自然界の音楽について考える。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業前に配布資料を読み、授業後は学修内容について小レポートを作成
		し、提出すること。
	映画音楽	(学修内容)映画音楽について考える。
第7回		   (事前事後学修課題の内容)(60分)
37 E		授業前に配布資料を読み、授業後は学修内容について小レポートを作成
		し、提出すること。
	カラオケの音楽	(学修内容)カラオケの音楽について考える。
~~~		
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前に配布資料を読み、授業後は学修内容について小レポートを作成
		技業制に配布員件を読み、技業後は子形内台にプロでホレホートを作成し、提出すること。
	寺社の音楽	(学修内容) 寺社の音楽について考える。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業前に配布資料を読み、授業後は寺社の音楽について小レポートを作
	祭式の音楽(1)日本	成し、提出すること。 (学修内容)日本における祭式の音楽について考える。
		(チョウロー ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		日本の祭式、祭式の音楽について調べる。
	タナの立窓 / 2) 特団	(学校市家) 特団にもはて奴子の主义についておこっ
	祭式の音楽(2)韓国 	(学修内容)韓国における祭式の音楽について考える。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		韓国の祭式、祭式の音楽について調べる。
	フィールドワーク(1)キャンパス内	(学修内容)キャンパス内の音楽について探求する。その音楽についてディスカッシュントを表
第12回		ョンと発表 (事前事後学修課題の内容)(60分)
毎12 凹		(争刑争後子修誅超の内谷)(00カ) 授業前に予備的考察を試み、授業後はキャンパス内の音楽について小レ
		ポートを作成し、提出すること。
	フィールドワーク(2)キャンパス周辺	(学修内容)キャンパス周辺の音楽について探求する。その音楽についてディスカッ
~~ -		ションと発表
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業前に予備的考察を試み、授業後はキャンパス周辺の音楽について小
		技業制に予備的考察を試め、技業後はキャンバス周辺の自業に プロビホ レポートを作成し、提出すること。
	フィールドワーク(3)各自住居周辺	(学修内容)各自住居周辺の音楽について探求する。その音楽についてディスカッシ
		ョン
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業前に予備的考察を試み、授業後は学修内容について小レポートを作成し、提出すること
	まとめと考察	成し、提出すること。 (学修内容)本講義の内容を踏まえて、私たちにとって音楽が持つ意味とは何かにつ
	S = 3 C 3 N	いて自分の考えをまとめ、グループで共有する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		5~10分程度発表準備をする。

授	業	名	先端的京都体験	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	IC1405
英	文	名	Ultramodern Kyoto Experience	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	新矢 昌昭	対象 学生	総合文化1回生				
授業	(の相	既要	京都は「古都」というイメージがあるが、明治以降、近代化と「古 、この近代化と「古都」の両方に注目し、現代における京都を考え、 ていく。また、京都を比較的な観点からみるために、中心だけでは、 発表として探訪先の史跡に関する予備知識をグループで発表し、次 異はどうであったのかを確認し、新たに明らかになったことなどを	. 先端的兒 なく外のり ハで実地訓	京都の意義をフィー 地域からも比較して 間査を行う。結果、	ルドワー みる。そ 予備知識	クを通して のためには と実地調査	て考え は事前 査の差	
学们到证		,果	1)近代化と「古都」を考えることができる 2)講義やフィールドワークを通して、先端的京都の意義を理解する 3)「京都らしさ」を考えることができる						
≃ /	+xx +	- ~	知識・理解態度・志向性	-	l用的技能 総合的な学習経験と	創造的田:	 ≱力		
学位方針			※ 보고 ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	TVA.	ジロ 10 4 子 日 注 款 C	剧足叫心			
アクラー:対象:	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評(五方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		制作物 実技	
評値	五基	準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレー観点授業態度・参加意欲(ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
7 =	トス	۱,	使用しない、プリントを配布する						
参	考	書	適宜紹介する						
課題 フィー の方	-ド/		作成したレジュメにコメントや訂正を加える。また、フィールドワー	一クでは通	適宜補足説明を行う	0.			
留意	意事	項	日常的に京都をどんな町か考えてほしい						
オ:	フィワ		研究室の扉に掲示						
実践	的都	教育							

授業 名 先端的京都体験

运 类 計 画	学修項目	学校中央 . 細暗
授業計画	子修填日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学修内容・課題 (学修内容)この講義の進め方
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおく
	近代化する京都	(学修内容)京都の近代化事業について考える
第2回	TIME & SWIN	(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布史料を読んでおくこと
	京都のグロバール企業	(学修内容)先端技術を有する企業の特徴と歴史
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) グローバルな視野に立つ京都の企業を調べておく
	レジュメの作成方法と発表の仕方	(学修内容)発表の仕方とグループ分け、行先の選定
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自、どこに行きたいのか、それは何故かをまとめておく
	第1グループ。事前発表と討論	(学修内容)第1グループによる事前学習発表
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第1グループはレジュメを作成しておく
	フィールドワーク1回目	(学修内容)第1グループによる現地調査と案内
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第1グループによるガイドの作成、経路確認
第7回	第1グループの事後学習、討論 第2グループの事前学習、討論	(学修内容)第1グループによる調査内容、反省点のレジュメ 第2グループによる事前学習発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第1、第2グループごとにレジュメを作成しておく
	フィールドワーク2回目	(学修内容)第2グループによる現地調査と案内
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第2グループによるガイドの作成、経路確認
第9回	第2グループの事後学習、討論 第3グループの事前学習、討論	(学修内容)第2グループによる調査内容、反省点のレジュメ 第3グループによる事前学習発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) 第2、第3グループごとにレジュメを作成しておく
	フィールドワーク3回目	(学修内容)第3グループによる現地調査と案内
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第3グループによるガイドの作成、経路確認
	第3グループの事後学習、討論 第4グループの事前学習、討論	(学修内容)第3グループによる調査内容、反省点のレジュメ 第4グループによる事前学習発表
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第3、第4グループごとにレジュメを作成しておく
	フィールドワーク4回目	(学修内容)第4グループによる現地調査と案内
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第4グループによるガイドの作成、経路確認
	第4グループの事後学習、討論 第5グループの事前学習、討論	(学修内容)第4グループによる調査内容、反省点のレジュメ 第5グループによる事前学習発表
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第4、第5グループごとにレジュメを作成しておく
	フィールドワーク5回目	(学修内容)第5グループによる現地調査と案内
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第5グループによるガイドの作成、経路確認
	第5グループの事後学習、討論 全体のまとめ	(学修内容)第5グループによる調査内容、反省点のレジュメ
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第5グループはレジュメを作成しておく

授業名	 WEB コミュニケーション演習	開講	2回生	単位数	1単位	科目コード	IC2408	
	Web Communication Practice	学年 開講 明期	秋学期		必修	 		
坦 光 孝		対 象	選択 選択 総合文化2回生					
授業の概要	SNSは交友関係、趣味、ビジネス、暮らしに欠かせないものとなって特に、一個人が自らの楽しみを情報発信するなかで、大きな共感をつながっています。 本授業では、SNSの基本的な仕組みを理解するとともに、実際にSNS社会生活で役立つ知識やスキルの習得を目指します。その一方で、を取り上げ、トラブルに巻き込まれない活用方法を検討します。	生み、新し で情報発信	 ₋ い商品やサービス を行うなかでそ <i>の</i>	(の開発、)発信力を	奢き、卒詞	業後の		
学修成果到達目標	1)SNSの基本的な仕組みを説明できる。 2)SNSを活用した情報発信のノウハウを説明できる。 3)SNSを利用する際の注意点を説明できる。							
	知識・理解	沪	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		└───┴── グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ レポ・ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解決 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	決能力)	
テキスト	授業担当者が作成した資料を配布します。							
参考書	授業中に適宜紹介します。							
課題に対する フィードバック の方法	レポートなど提出をもとめた課題に対してはプリントへの書き込み トします。	やメールな	いさなんらかの形で	· フィード	バックの:	コメン		
留意事項	実際に既存のSNSを用いて演習を行います。							
オフィスアワー	授業時間終了後教室で行います。まとまった時間が必要な場合はメ okacho-u.ac.jp	一ルを下る	ゞい 。日程調整をし	,ます。ku(096horide	@kyot		
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:特定非営利活動法人学習開発研究所において アの学習環境の開発と運用に携わった	e-learn	ingによる大学生、	中小企業	などのエン	ソジニ		

授業名 WEBコミュニケーション演習

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業の目的と15回の流れを説明できる
第1回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
ऋा⊏।		事前:日々のSNSの付き合い方をふり返ってまとめてくる
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSの基本的な仕組み	(学修内容)SNSで何ができるのか、その基本的な機能を説明できる
77. o. 🗆		(市共市体学校研究の中央)(00八)
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:Instagramの機能について調べてくる
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSが開発、普及した経緯	(学修内容)2000年代から現在にかけて爆発的に普及したSNSの特徴について説明で
		きる
第3回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:SNSがなぜ浸透したのかその背景を調べてくる
	リアルなつながりとSNS	事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む (学修内容)家族、友人、職場での関わりなど日常生活でつながりがある者同士のS
	9770434792310	S上でのやりとりがそのつながりに与える影響を説明できる
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:SNSとのやりとりで人間関係が好転した事例を書き出してくる
		事前:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	バーチャルなつながりとSNS	(学修内容)共通の趣味や志向性が合う者同士で現実世界では面識がなくてもSNS上
第5回		のつながりだけで意気投合することができる心理的背景を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分)
ઋ기리		事前:バーチャルなつながりが人びとに与える効果を書き出してくる
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSとインフルエンサー	(学修内容)インフルエンサーの影響力について説明できる
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:自分にとってのインフルエンサーを書き出してくる
		事前:自分にとうてのイフノルエフリーを書き出してくる 事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	インフルエンサーから学ぶ情報を伝える方法	(学修内容)SNSで発信することで日常生活を送る気持ちや生活が向上した事例を説
		明できる
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:マスメディアに登場する有名人以外でSNSで活躍するアカウント
	SNSと起業	を書き出す 事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む (学修内容)起業する場合の費用を抑えた広報の在り方を説明できる
	5/10 C 起来	(子杉内合) 起来する場合の負用を抑えた仏牧の任り力を説明できる
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:起業について調べてくる
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSで映える撮影技法	(学修内容)SNSで写真を投稿する際の撮影技法を説明できる
第9回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
MO OF		事前:これまで投稿したSNSのなかで最も気に入ってる画像を選択する
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSで映える画像加工	(学修内容)SNSに投稿する画像を加工する技法を説明できる
***		(** ** ** ** ** ** * * * * * * * * * *
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:画像を加工する技法について調べてくる
		事前: 画塚を加工する技法について調べてくる 事後: 授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSで注目を惹くメッセージ	(学修内容)SNSに投稿する効果的な文章について説明できる
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:SNS上でフォローしているアカウントのお気に入りのメッセージ
	フォロワーを増やす各種戦略	を選択する 事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む (学修内容)フォロワーを増やすための工夫を説明できる
	フォロフーで4日で9百浬製船	(ナド内台)ノオロソーを指やすための上大を説明できる
第12回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
_		事前:フォロワーを獲得する工夫を調べてくる
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSの負の側面 現実とフェイク	(学修内容)偽りのフォロワーとフェイクニュースについて説明できる
第13回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
와 I3凹		(争刑争後子修誅超の内谷)(60万) 事前:SNSの負の側面について調べてくる
		事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む
	SNSの負の側面 セキュリティ	(学修内容)SNSとセキュリティの問題について説明できる
		. The Victor (a. W. As are re-
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
35 1 TEI		事前:情報流失などトラブル事例を調べてくる
WITE		
75174	SNSと私たちの墓らし	事後:授業後にコメントカードへ感想を書き込む (学修内容)15回の授業をふり返ってSNSによるコミュニケーションの可能性と危険
31.4E	SNSと私たちの暮らし	争後: 投業後にコメントカートへ感想を書き込む (学修内容)15回の授業をふり返ってSNSによるコミュニケーションの可能性と危険性を説明することができる
第15回	SNSと私たちの暮らし	(学修内容)15回の授業をふり返ってSNSによるコミュニケーションの可能性と危険
	SNSと私たちの暮らし	(学修内容)15回の授業をふり返ってSNSによるコミュニケーションの可能性と危険性を説明することができる

授 業 名	プログラミング演習	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目 コード IC2412				
英 文 名	Programming Practice	開講時期	秋学期		必修選択	選択				
担当者	北本 悠伍	対象学生	総合文化2回生							
授業の概要	たとえば、将来的にプログラミング教育を受ける、あるいは受けてきた子ともたちや、将来の会社の同僚だちと関わっていくにあたり、共通の経験や基盤をもっているということは非常に大切なことである。									
学修成果到達目標	自身のプログラミング体験をとおして、社会とどのように関わっていくかについて考えることも本講義における重要事項のひとつである。 (1)コンピュータやスマートフォンで動くプログラムを、自分自身の手で制作、開発することができる。 (2)プログラミングによる制作のための知識や方法、あるいは制作中に見つかった不明点を自分自身の手で調べて解決することができる。 (3)プログラミングによる制作のための具体的な企画や構想を立て、制作物として完成させることができる。									
学位授与の方針との関連	知識・理解態度・志向性	-	l用的技能 8合的な学習経験と	創造的思考	考力					
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用 	フーク 目(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		マップ 大学		割作物 実技				
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ソョン能力 課題) (発見・解	決能力)				
テキスト	講義時に適宜共有します。 主に、講義時に用いるスライドやウェブサイトといったデジタル資料	料が中心と	こなります。							
参考書	講義時に適宜紹介します。 たとえば、インターネットで「p5.js」と画像検索してみましょう。									
課題に対する フィードバック の方法	講義時に取り組んだ制作課題は提出後に受講者間で共有し、ともに	レビューで	きるようにします	•						
留意事項	・プログラミングまったくの初学者の方でも受講できる内容ですの・「プログラミングとは何か」について、たとえば子どもたちと共和的									
オフィスアワー	質問事項などについては、講義中にお知らせするメールアドレスま	で気軽にこ	ご連絡ください。							
実践的教育										

授業 名プログラミング演習

	ノロノフヘンノ映目	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)本講義について
第1回		 (事前事後学修課題の内容)(30分)
까다		事後:講義時に紹介する資料に目をとおし、本講義で取り扱うプログラ
		ミングについてのイメージをつかむ。
	プログラミングでスケッチする(1)	(学修内容)基本的な形の図形を色鮮やかに表現する。
~~~ <del>-</del>	FTV 1.4.	(市公市体学校理院の中央)(00八)
第2回	【形と色】 基本図形と色の表現	(事前事後学修課題の内容)(30分)   事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。
	本本因形と色の役成	学校・時我時に用いたノロノノムを起い決えている。
	プログラミングでスケッチする(2)	(学修内容)さまざまな形の図形を描きつつ、その輪郭にさまざまな表現を与える。
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回	【形と色	事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。
	いろいろな形の図形とその輪郭の表現	
	プログラミングでスケッチする(3)	↓ (学修内容)マウス操作によって自身が描く、あるいはプログラムによって自動的に
		描かれるといった、動きのある表現をする。
第4回	【動かす】	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	動きのある表現とプログラムのなかに流れる時間	事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。
	  プログラミングでスケッチする(4)	   (学修内容)講義時に用いた作品を自分好みにアレンジしたり、他の受講生によるア
		レンジをさらにアレンジしたりと、分岐的に作品を制作していく。
第5回	【組み替える】	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	すでにあるプログラムを組み替える	事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。あるいは、それを
	プログラミングでスケッチする(5)	参考に一から自身でプログラムを作ってみる。 (学修内容)マウス操作による条件が満たされたときに作動するプログラムを用いて
		(学修内台) マリス探信による宗行が何だされたとさに作動するプログラムを用いて 表現する。
第6回	【条件によって動きを変える 】	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	マウス操作による表現	事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。あるいは、それを
		参考に一から自身でプログラムを作ってみる。
	プログラミングでスケッチする(6)	(学修内容)すでに動きのある表現のなかで、ある条件を満たしたとき、さらに変化を生じさせるような表現をする。
第7回	│ │【条件によって動きを変える 】	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	図形の位置の変化による表現	事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。あるいは、それを
		参考に一から自身でプログラムを作ってみる。
	プログラミングでスケッチする(7) 	(学修内容)たくさんの図形を効率的に描く方法について考える。
第8回	│ ┃【たくさんの図形を描く 】	(事前事後学修課題の内容)(30分)
까이더	プログラムの強みをいかした表現	事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。あるいは、それを
		参考に一から自身でプログラムを作ってみる。
	プログラミングでスケッチする(8)	(学修内容)たくさんの図形を用いてさまざまなパターンの模様を表現する。
第9回	  【たくさんの図形を描く 】	(事前事後学修課題の内容)(30分)   事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。あるいは、それを
5年3四	パターンのある模様の表現	参考に一から自身でプログラムを作ってみる。
	プログラミングでスケッチする(9)	(学修内容)たくさんの図形それぞれに動きを与え、情報量の多い入り組んだ表現を
₩40 <b>□</b>	  【たくさんの図形を描く 】	する。
第10回	【たくさんの図形を描く 】  情報量の多い入り組んだ表現	(事前事後学修課題の内容)(30分)   事後:講義時に用いたプログラムを組み換えてみる。あるいは、それを
	ID   IA ユンンマ・ハミフ METO (C ない)	参考に一から自身でプログラムを作ってみる。
	まとめ :制作に備えて	(学修内容)プログラミングに関する基本事項について振り返りつつ、最終制作に備
<b>**</b> 44 <b>.</b>		える。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   事後:講義の内容を振り返りつつ、自分の興味のある表現手法について
		調べ、最終制作の準備をする。
	制作 : 企画	(学修内容)最終制作物の企画を立てる。
~~·-		(市兴市体兴物温度の中央)(227)
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   事前:最終制作物としてどのようなプログラムを作りたいかをある程度
		争削: 取終制作物としてとのようなプログラムを作りだいかをある程度 考えておく。
	制作 :制作	(学修内容)最終制作物の制作作業を行う。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 東前事後、制作作業
		事前事後:制作作業
	制作 : 完成	(学修内容)最終制作物の制作作業と提出
-		
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前事後:制作作業
	  まとめ : 総括	│ │(学修内容)最終制作物をレビューしながら、これまでの講義内容をまとめる。
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第15回		事前:提出、共有されている制作物にあらかじめ目をとおしておく。
	1	I .

授 業 名	現代ファッションとメイク	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	IC2413
英 文 名	Fashion and Makeup	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	永田 美江子	対象 学生	総合文化2回生	Ē			
授業の概要	現代のファッションとメイクは、コーディネートによって個性を引きある商品をいかに組み合わせ、どのような個性を出していくか。そである。自身の個性を出し、コーディネートをしていく際には、自ま、形など基本的な項目の組み合わせを考えていく。	して、それ	れは自身の個性を最	大限に発	揮するかた	が大切	
学修成果到達目標	1.ファッションを通して"自分らしさ"を表現する力を養う。 2.ファッションやメイクの基礎知識を理解できる。 3.各人の個性にあったファッションやメイクをすることが理解で						
学位授与の	知識・理解態度・志向性		l用的技能 合的な学習経験と	創造的思	<b>老</b> 力		
方針との関連	AND AND IT	INC			3/1		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		き レポ 実習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (提出物やレポートも評			発見・解	決能力		)
テキスト	資料を適宜配布する。						
参考書	授業中に随時紹介する。						
課題に対する フィードバック の方法	レポートについては、コメントをつけて返却します。						
留意事項	新聞や雑誌、書籍などからだけでなく、日常生活でもファッション [・]	やメイクに	こついて関心を寄せ	てくださ	l I.		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:ホテルコンシェルジェ、マナー講師経験者や ファッションやメイクに関する話と実践をお			ストが実	務経験をも	きとに	

### 授業 名 現代ファッションとメイク

	元 ((ファッノコン こハー)	<b>学校</b> 古南 無麻
授業計画	学修項目 オリエンテーション	学修内容・課題 (学修内容)授業概要の説明
	現代の日本女性にとってのファッションとメイク	(子形が台)及来派女の肌切
第1回	とは何か	(事前事後学修課題の内容)(20分)
		習として、自分にとってのファッションとメイクの意味を考え、レポー
	自分の外見の印象(個性)分析と体形にあった洋	トにまとめて提出 (学修内容)自分の持っている外見の印象(個性)を分析するとともに体形にあった
	服の形(デザイン)	(子鳥が各) 自力の持っているが兄の印象(個性)を力術することもに体がにめった   洋服の形を選ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		復習としてクローゼットにある自分の洋服が自分の体形に合っているか
	ファッションと色の関係 色彩心理 パーソナル	│ を確認する │ (学修内容)色彩心理(色が人間に与えている印象)とパーソナルカラー(自分の髪
	カラー	、目、肌の色に調和して健康的にいきいきと見せてくれる色)の理解
第3回		(事前事後学修課題の内容) (20分)
		雑誌などから4シーズンの写真を選んで切り抜き、提出する。
	  イメージとコーディネート	│ │(学修内容)ファッションイメージ(エレガント、キュート、スポーティなど)を理
		解し、"自分らしさ"をコディネートで表現できるようになる。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		身の回りのもののイメージを分析する。 
	TPOにあったファッションと小物の効果的な使い	  (学修内容)ビジネス、フォーマル、遊びなどTPOにふさわしい装いを理解する。ア
	方	クセサリーやストール、スカーフなどの使い方を学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		復習として、配布資料を読み、自身の過ごす時間を考えてどのような装いがふさわしいかを考える。
	ファッションを引き立てる立ち居振る舞い	(学修内容)良い姿勢と立ち居振る舞いの意義を理解し、自身のファッションに活か
77 a		す。 (本本本/4 ** *******************************
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   復習として、授業で学んだ立ち居振る舞いを日常でも実践する。
		及自として、放来で手がた立り出版も外がと自由でも失政する。
	21世紀のファッションを考える	(学修内容) SDGs視点からこれからのファッションを考えることでファッションの視
第7回		野を広げる。  (事前事後学修課題の内容)(30分)
第7四		(事前事後子修跡題の内谷)(30万)   復習として、持続可能な世界とファッションを結び付け、自分にできる
		ことをファッションを通して考える。
	ライフステージによるコーディネート	(学修内容)ビジネス、フォーマル、スポーツ、遊びなど場面による装いを理解する
第8回		。  (事前事後学修課題の内容)(30分)
		復習として、配布資料を読み、自身の過ごす場面をイメージしてどのよ
		うな装いがふさわしいかを考える。
	自分の魅力を引き出すメイクアップ実技 	(学修内容)メイクの基本となる基礎化粧について、その種類や使い方を知る。  (事前事後学修課題の内容)(20分)
第9回		予習として、普段の自分はどんな基礎化粧品を使っているか確認してく
		<b>ა</b>
	自分の魅力を引き出すメイクアップ実技	(学修内容)ベースメイクの種類とその使い方を知る。
		(子形13日) 、 スパイプの性深とこの区が別と知る。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		復習として、配布資料を読む。また授業で学んだ実技ができる機会があれば実践する。
	  自分の魅力を引き出すメイクアップ実技	16は美成する。   (学修内容)アイシャドウ、アイブロウなどのアイメイク種類を知り、自分に似合う
		色や眉の形などを理解する。
第11回		(事前事後学修課題の内容) (20分)
		復習として、配布資料を読む。また授業で学んだ実技ができる機会があれば実践する。
	自分の魅力を引き出すメイクアップ実技	(学修内容)チークとリップの種類や色を知り、自分に似合うものを理解する。
\$\$ 10 T		(事前事後学修課題の内容)(20分)
第12回		復習として、配布資料を読む。また授業で学んだ実技ができる機会があれば実践する。
		11000000000
	自分の魅力を引き出すためのヘアスタイリング	(学修内容)髪型や髪色の種類を知り、自分に似合うものを見つける。
第13回		  (事前事後学修課題の内容)(20分)
N3 10E		復習として、配布資料を読む。また授業で学んだ実技ができる機会があ
		れば実践する
	自身のファーストインプレッションをあげるため  に	(学修内容)感じのいいファッションやメイクとはどんなものか、どこに注意すれば いいのかを理解する。
第14回		1000mを理解する。  (事前事後学修課題の内容)(30分)
_		復習として、配布資料を読み、自分なりに感じのいいメイクやファッシ
	マイクト健康の間だ(2015年 ラルフコー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ョンを考え、レポートをまとめる。
	メイクと健康の関係(QOLを高めるファッション とメイク)	(学修内容)ファッションと健康、また近年の話題である美容整形についてその課題   を理解する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		予習として、美容整形のコマーシャルをピックアップし、そのコマーシ
		ャルがどんなメッセージを発しているのかを自分なりにまとめる。

授 業 名	観光英会話	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目コード	IC2414			
英文名	Tourism Orientated English Conversation	開講明期	秋学期		必修選択	選択				
担当者	竹中宏文	対象学生	総合文化2回生							
	リーディングとスピーキング、観光や旅行の際に必要とされる初歩	 的な語彙や								
	ーキングに重点を置き、京都観光を英語で案内できるくらいの知識を身に着け、京都のトピックを用いて英会話力を高め る。 観光英会話力の習得を目標とするため、授業中はグループワークやプレゼンテーションを取り入れ、また、英語でのコミ									
授業の概要	ュニケーション力を高めるフィールドワークも実施する。									
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,										
	1 )観光に関連するシチュエーションで、必要とされる事項を平易:   2 )京都に関する見識を深め、京都や日本の歴史や文化に関わる知:									
	3)プレゼンテーションやフィールドワークを通して、英会話力に れば助けてあげることができるようになる。					ってい				
学修成果										
到達目標										
	40.500 T99.42	25	I I I 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11							
学位授与の	知識・理解 態度・志向性	-	l用的技能 合的な学習経験と	創造的思	 考力					
方針との関連										
アクティブ・										
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	/ョン				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記		り りポ 実習		削作物 €技				
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)			
	広瀬直子著『1分間英語で京都を案内する』KADOKAWA 2014年 600円	] + 税								
テキスト										
	授業にて、適宜、指示する									
参考書										
	定期試験は、定期試験返却期間中に希望者に返却する。									
課題に対する フィードバック の方法	授業内発表・小テストは、返却時または実施後に解説を行う。									
¢π <del>; ; ; ;</del> - τ	テキストの内容を何度も声に出して読み練習してください。 演習授業のため、積極的な授業参加とともに授業外での練習も期待									
留意事項	30分以内の遅刻は0.5回の欠席扱い、30分以上の遅刻は欠席扱いとし 	/ <b>まり</b> 。								
オフィスアワー	授業の前後に教室にて実施									
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:京都教育大学教育学部附属京都中学校 文部: 慶祥中学校・高等学校 教諭、教頭、副校長 常務理事、立命館中学校・高等学校 副校・ 平成9年度文部省検定済教科書 中学校外国語/	、初芝立命 長、高等学	命館中学校・高等学 ^全 校長、池坊短期プ	学校 校長 文学 学長	、大阪初ま					

# 授業名 観光英会話

按 耒 右	観兀犬女前		
授業計画	学修項目	<u> </u>	学修内容・課題
	オリエンテーション、ビジネス自己紹介	(学修内容)授業の進	め方や事前・事後学修方法について説明、英語の自己紹介演習
	第1章「京都のきほん」 京都のきほん、古都		ほんについて学び、英会話練習
第1回	、碁盤の目、歩き方、盆地の気候	(事前事後学修課題の	
			テキストのp.18、p.20、p.22、p.24、p.26をそれぞれ10回以上
			て読む。次回、いずれかを暗唱で発表。テスト勉強。
	道案内の基本		英会話表現について復習と練習
	第1章「京都のきほん」 神社仏閣、仏像の種		ほんについて学び、英会話練習
第2回	類、うなぎの寝床、芸妓はんと舞妓はん	(事前事後学修課題の	
75211	AN SOCIAL MAN EMICHAELE		前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.28、p.30、p.32
			10回以上声に出して読む。次回、暗唱で発表。テスト勉強。
	道案内の練習		英会話表現について実地演習
	第1章「京都のきほん」 旅館、お茶屋と料亭		ほんについて学び、英会話練習
第3回	、ならわし、京都人、京ことば、京都のおもてな	(事前事後学修課題の	
21.0	L		前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.36、p.38、p.40
			p.44、p.46を10回以上音読。次回、発表。テスト勉強。
	プレゼンテーションの基本		プレゼンテーションの方法について学ぶ
	第2章「京都の味」 京都の水、京野菜、京懐		食」についての知識を身につけ、英会話練習
第4回	石、精進料理、おばんざい	(事前事後学修課題の	
			前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.50、p.52、p.54
			p.58を10回以上声に出して読む。次回、発表。テスト勉強。
	プレゼンテーションの練習		プレゼンテーションについて練習
	第2章「京都の味」 箱寿司、鱧料理、京漬物		食」についての知識を身につけ、英会話練習
第5回	、生麩、豆腐、ゆば	(事前事後学修課題の	
			前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.60、p.62、p.64
			p.68、p.70を10回以上音読。次回、発表。テスト勉強。
	応用的プレゼンテーション		プレゼンテーションの演習
	第2章「京都の味」 京だし、白みそ、七味と		食」についての知識を身につけ、英会話練習
第6回	山椒、和菓子、緑茶、日本酒	(事前事後学修課題の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		(事前)	前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.72、p.74、p.76
		、p.78、	p.80、p.82を10回以上音読。次回、発表。テスト勉強。
	観光MAPづくり		都での行きたいところ・おススメのスポットについて調べる
	第3章「京都の厳選ルート」 清水寺、地主神社		所について、英語で学び、英会話練習
第7回	、錦市場、祇園、他	(事前事後学修課題の	
			前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストの第3章から各自で
			ージをそれぞれ10回以上声に出して読む。次々回、発表。
	フィールドワーク Sign Collecting Challenge		ら清水寺まで、看板を探しながら歩き、看板の英語での説明を
	(天候・その他の理由により、日程が多少前後	•	真で記録する 各自で探してきた看板の内容を交流する
第8回	することがある)	(事前事後学修課題の	
			各自、探して記録をとった看板の英語の意味を調べ、日本語で
			も説明できるようにしておく。テスト勉強。
	フィールドワーク Sign Collection 成果発表	(学修内容)各自で探	してきた看板をプレゼンテーションで発表して交流する
	第4章「京都の行事」 葵祭、祇園祭、五山の送		事について、英語で学び、英会話練習
第9回	り火、時代祭、能と狂言	(事前事後学修課題の	内容)(60分)
		(事前)	プレゼンテーション準備。 (事後)テキストの第4章から各
		自で選ん	だページをそれぞれ10回以上声に出して読む。次回、発表。
	接客サービス (コンビニやレストランなど)での	(学修内容)コンビニ	やレストランなどで使える英会話表現を学び、英会話練習
	英会話	京都でで	きる体験について、学び、英会話練習
第10回	第5章「京都を体験」 友禅染、西陣織、清水	(事前事後学修課題の	内容)(60分)
	焼、茶の湯、華道	(事前)	前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.158、p.160、p.
		162、p.1	64、p.166を10回以上音読。次回、発表。テスト勉強。
	交通機関の券売機や電化製品の使用方法の説明	(学修内容)各種「耶	扱説明書」の英語を読んで表現を学ぶ
	第5章「京都を体験」 座禅、尼僧体験、保津	京都でで	きる体験について、学び、英会話練習
第11回	川下り、鞍馬の温泉、おみくじ	(事前事後学修課題の	内容)(60分)
			前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.168、p.170、p.
		172、p.1	74、p.176を10回以上声に出して読む。次々回、発表。
	フィールドワーク Interview Challenge (天		プログラ プログロ アルマ
	候・その他の理由により、日程が多少前後するこ	して聞き	取った内容をメモしておく
第12回	とがある)	(事前事後学修課題の	内容)(60分)
		(事前)	インタビューで話したい・聞きたい内容・英文を10個書き出し
			(事後)聞き取った内容を記録しておく
	フィールドワーク Interview Challenge 成果発		プのインタビュー内容を発表して交流する
	表	YouTube	等を活用した英語学習法について学ぶ
第13回	YouTube視聴によるリスニング練習	(事前事後学修課題の	1 - 1 1 2 4 1 - 2
		(事前)	インタビューで聞いた内容をまとめておく (事後)前々回の
			覚えておきたい語句・表現」のテスト勉強。
	英語レポートの基本	(学修内容)英語での	レポートの書き方の基本を学ぶ
	第6章「京都のおみやげ」 和服、風呂敷、陶	京都のお	みやげについて知り、英会話練習
第14回	磁器、漆器、扇子、お香	(事前事後学修課題の	
		(事後)	テキストのp.180、p.182、p.184、p.186、p.188、p.190をそれ
			以上声に出して読む。次回、暗唱で発表。テスト勉強。
	英語レポートの練習		所や名産品で各自の好きなものについて、英語で書く練習
	第6章「京都のおみやげ」 竹細工、骨董品、	京都のお	みやげについて知り、英会話練習
第15回	和紙、お守り、藍染	(事前事後学修課題の	内容)(60分)
		(事前)	前回範囲の暗唱の練習 (事後)テキストのp.192、p.194、p.
			98、p.200を10回以上音読。試験に向けてレポートの練習。

授 業 名	ビジネス文書表現	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	CS1114
英 文 名	Business Writing	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	生野 金三	対 象 学 生	総合文化1回生	Ē			
授業の概要	ビジネス文書の内容は、社内文書と社外文書に大別されるが、前者 先及び関係者等の社外と遣り取りされる文書である。いずれも正確 業では、ビジネス現場に相応しい文書のあり様について学び、それ 学び、書簡文を作成する。その基盤となる内容として文書の基本、	さだけで <i>た</i> を踏まえて	なく、形式を守るこ て文書を作成する。	とも必要 同時に、	である。 る	この授 基礎を	
学修成果到達目標	1.ビジネスで用いられる各種の書式を目的に応じて使い分けている 2.書簡文の基本を理解し、書簡文を書いている。 3.敬語について理解し、それを適切に使っている。	•					
	知識・理解	ij	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	紫	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常i ( 40		・ レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ンョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	適宜、プリントを配布する。						
参 考 書							
課題に対する フィードバック の方法	・プレゼンテーションを行った際には、作成した教材、教材の提示 ・提出されたレポートについては、コメントを加えます。	の仕方、言	舌し方等について解	<b>?説します</b>	•		
留意事項	ポートフォリオを作成しますので、授業での学びは整理しておきま します。資料も整理しておきましょう。学修の振り返りにもなりま		<b>ઇ日、それを基に</b> 譲	<b>思(見出</b>	し) ごと!	こ整理	
オフィスアワー	オフィスアワーの設定曜日・時間帯は研究室のドアに提示します。 ます。	それ以外の	D時間帯でも、研究	宮に在室	の場合、対	対応し	
実践的教育							

### 授業 名 ビジネス文書表現

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション   (授業の目的、授業の進め方)	(学修内容)授業の目的と内容、進め方を確認する。 
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自、履修内容を確認しておく。
	ビジネス文書の内容	(学修内容)社内文書と社外文書について理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、社内文書と社外文書について調べ、要点をメモしておく
	文書の基本	(学修内容)5Wと1Hについて理解する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 5Wと1Hの内容について調べ、要点をメモしておく。
	基本文型	(学修内容)基本的な文型について理解する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 基本文型について調べ、要点をメモしておく。
	短作文	(学修内容)5Wと1Hを念頭に置いて作文を書く。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料について、各自ノートにまとめておく。
	敬語の基本と練習その1	(学修内容)敬語の表現形式を理解する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、日本語の敬語の特色について調べ、まとめておく。
	敬語の基本と練習その2	(学修内容)敬語の表現形式を理解する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、謙譲語について調べ、まとめておく。
	敬語の基本と練習その3	(学修内容)敬語の表現形式を理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、丁寧語について調べ、まとめておく。
	敬語の応用練習その1	(学修内容)状況に合わせた敬語の使い分けを理解する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の補習課題を振り返る。
	敬語の応用練習その2	(学修内容)状況に合わせた敬語の使い分けを理解する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の補習課題を振り返る。
第11回	ビジネス文書作成のポイント	(学修内容)「結論を先に書く」、「簡潔な文にする」、「曖昧な表現は避ける」 「間違い・誤字・脱字に注意する」等のポイントを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の内容を振り返る。
	ビジネスの文書について	(学修内容)ビジネス文書について検討する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の内容を振り返る。
	書簡文の基本	(学修内容)書簡の基本構成を理解する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、授業中の内容を振り返る。
	書簡文を書く	(学修内容)教育実習のお礼状を書く。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、教育実習のお礼状を書いておく。
	学習のまとめ(ポートフォリオの作成)	(学修内容)学修を振り返り、ポートフォリオを作成する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 学修内容を整理しておく。

授	業	名	情報文化と倫理	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CS2121	
英	文	名	Information Culture and Ethics	開講時期	春学期		必 修選 択	必修		
担	当	者	湯川 宗紀	対 象 学 生	総合文化2回生	Ξ				
			PC、ネット、スマホ等々が日常に欠かせなくなり、意識さえしなくだ。 それはどのような世界で我々にどんな恩恵をもたらし、どのような							
授美	現代に至るまでのメディアの歴史、それによる社会変容、理論的研究を紹介し、 現代における情報文化の問題点と倫理について資料・映像を使い、事例を交えながら考えていきます。 授業の概要									
	修 成達 目	果	1. メディアの変化を歴史的に学ぶことにより現状の情報文化を把握2. これまでのメディア研究から情報に対する倫理を理解することが3. 現在のネット環境と自身との関わり方を考えることができる。	できる。						
			知識・理解		L用的技能					
学位			態度・志向性	4/2 ****	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針	との	関連								
アク ラー 対象	ニン				リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー:	ション		
評(	価 方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 100 % )     口述     実習     実技	平常記	ば験 筆記試駅 %) 口述	り レポ 実習		制作物 実技		
評(	価基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (		/ョン能力 課題 ) (		決能力		)	
テ:	+ ス	7	必要に応じて資料を配付する							
参	考	書								
課題 フィ・ の方	ードバ		提出されたレポートにコメントを付けて返却							
留力	意 事	項								
	フィ	ス	講義前後に対応します							
	ヮ.	-								

### 授業 名情報文化と倫理

	IRTX人IU CIM 生	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)講義計画
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
20.1		シラバスの内容を確認しておく
	<b>関ノーレから知えー</b> レ	( 学校中央 ) 預りもと 立守す の本ルについて
	聞くことから観ること	(学修内容)語りから文字への変化について
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	書物	(学修内容)グーテンベルクの活版印について
	E 170	(The right) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
第3回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		前回のまとめをしておく
	書物が誕生する社会的背景	(学修内容)社会状況と印刷技術について
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	書物がもたらした社会変容	(学修内容)技術による社会変容について
~~ - ·		(本学本/4 学物物理 6 大克 > / 00 / ) >
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   前回のまとめをしておく
		min we core of the
	出版メディアの誕生	(学修内容)マス・メディア、新聞の誕生について
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
카이의		前回のまとめをしておく
	電子メディア・ラジオの誕生	(学修内容)ラジオと聴衆についての理論紹介
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
2,51		前回のまとめをしておく
	**************************************	( × //n + r'n > -           +         +
	電子メディア・テレビの誕生 	(学修内容)テレビと視聴者についての理論紹介
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	コンピューターの歴史	(学修内容)コンピューターの発展とその背景について
	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	(1811) TO CE OF WILLIAM CONTROL OF CONTROL O
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	インターネットの歴史	(学修内容)インターネットの歴史、特に日本国内での歴史にいて
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   前回のまとめをしておく
	「検索」が世界を創る	(学修内容)検索システムによる社会変容について
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
자니법		前回のまとめをしておく
		N. W. L.
	新しい『1984』 SNSで楽しみ進める監視・管理 社会	(学修内容) SNSの問題点、倫理点について
第12回	TL A	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	LaT トビッグニーカ	( 学校中央 ) 現場のIT世帯の切入と問題とについて
	IoTとビッグデータ 	(学修内容)現状のIT技術の紹介と問題点について
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		前回のまとめをしておく
	  意識すら出来ないIT化社会での倫理	(学修内容)現代社会でのITリテラシーについて
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	まとめ	(学修内容)これまでのまとめ
<b>**</b>		(主体主体光体和压力上内) (2-1)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   前回のまとめをしておく
		別問いなこのでしての/
	9.	

授 業 名	女	性史				開学		2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2309
英 文 名	His	tory of	Women			開時		秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	馬均	まみ				対学		総合文化2回生	Ē			
	会的	位置づけに		、現代社会に	位置づけの変遷につ おける女性に関わる							
授業の概要												
	2.単	後におけ	る、女性を取り	)巻く社会の変	ぱづけを説明すること だ化と女性の状況を記 お摘することができる	说明するこ		できる。				
学修成果到達目標												
		知識・野	理解				汎	l用的技能				
学位授与の		態度・滞	志向性				総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連												
アクティブ・ ラーニング 対象授業		B L 習・フィー	-ルドワーク		ション・ディベート (双方向型授業)			リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法		期試験80%)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技		常記 20	ば験 筆記試験 %) 口述	き レポ 実習		削作物 €技	
評価基準		る評価の 観点		コミュニー 参加意欲		プレゼンテ	ーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力		)
テキスト	適冝	資料を配付	ि इंड.									
	脂油	紹介する。										
参考書	,,,,,,,	MA71 7 30										
課題に対する フィードバック の方法	提出	物について	には理解度を確	認し解説を行	<b>う</b> 。							
留意事項												
オフィスアワー	毎週	1回(休業	期間中を除く)	) 設定します。	ただし、会議や出張	長などで対	心で	きない場合があり	ます。			
実践的教育												

### 授業 名 女性史

科目ガイダンス (学修内容)科目の概要と目的 第1回 (事前事後学修課題の内容)(20分)		XIX	
# 第1回 (事前事後字後強強の内容)(20分) クラルスを対していて、	授業計画		学修内容・課題
プラバスを含め、これまでにテルに女性の意思をいって振り返る (学期内容)女性の楽器と女性で変が取り上げる課題について (季和内容)女性の楽器と女性で変が取り上げる課題について (季和内容)女性の楽器と女性で変が取り上げる状態について (季和内容) (30分) 上が一般である。 (季和内容)女性の変なののから、(30分) 上が一般である。 (季和内容)女性の表について (季和の内容)(30分) 上代社会と女性:女は真にみる女性後 (学時内容)女性の表について (季和の内容)(30分) 上代社会と女性:東国質の教育 (学を内容)が表にいる女性の秘密について (季和の内容)(30分) 上代社会と女性:東国質の教育 (学科内容)女性をと女性の発起について (季和の内容)(30分) 上代社会と女性:明治反法女性 (学和内容)が表における女性の発見について (季和内容)が表とできる。 上代社会と女性:明治反法と文性 (学和内容)が表における女性の効果について (季和内容)が表における女性の効果について (季和内容)が表における女性の効果について (季和内容)が表における女性の効果について (季和内容)が表における女性の効果について (季和内容)が表における女性の表について (季和内容)が表が表について (季和内容)(30分) 大代社会と女性:女性と教育 (学和内容)が表がら現代まである人の分 、現代社会と女性:女性と教育 (学和内容)が表がら現代まである人の分 、現代社会と女性:女性と教育 (学和内容)教験から現代までの女性に対する教育の変遷について (季和の内容)(30分) 大性を影響を受ける場所の内容)(30分) 東代社会と女性:女性と教育 (李和内容)女性意知知及条約の内容と批准 (季和内容)女性意知知及系がこれておく (季和内容)女性意知知及系がについてディスカッションを行う 、現代社会と女性:男女共同参加社会 (季和内容)女性の表面と今他の展望 (季和内容)女性の表面と今他の展望についてディスカッションを行う ・ 東での表面と今他の展望 (季和の表面と今他の展望についてディスカッションを行う ・ 東での表面と今他の展望 ・ 「季和内容」(30分) ・ 東文はの表面と今他の展望についてディスカッションを行う ・ 東ではの表面と今他の展望 ・ 東の表面と今他の展望 ・ 「季和内容」(30分) ・ 東の表面と今他の展望 ・ 東の表面を表面についてディスカッションを行う ・ 東の表面を表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッションを表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についてディスカッと表面についていると表面についていると表面についていると表面についていると表面についていると表面についてのでは、表面についていると表面についていると表面についていると表面についていると表面についていると表面についでは		料目ガイダンス	(学修内容)科目の概要と目的
# 第2回	第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスを読み、これまでに学んだ女性の生活の歴史について振り返る
照位社会と女性 (学権内容) 江戸時代の女性の身分と階層 (学権内容) 江戸時代の身份について調べておく (学権内容) 江戸時代の身分制について調べておく (学権内容) 対理 (学権内容) 対議の成立と概要 (事命事後を保護型の内容) (30分) 記行資料を持たすると (学権内容) 女訓費の必定の身分と概要 (事命事後を保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) 女訓費の必定の身について (等命事後学保護型の内容) (60分) 記行資料を請かておく (学権内容) 女訓費のみなせの機能について (等命事後学保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) 女訓費のみなせの機能について (等命事後学保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) 変化とみなせについて (等命事後学保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) 近代社会と女性について (等命事後学保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) が代社会と女性の役職について (等命事後学保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) 財命長法における女性の位置づけについて (等命事後学保護型の内容) (30分) 記行資料を請かておく (学権内容) 財金 (第一年 (第一年 (第一年 (第一年 (第一年 (第一年 (第一年 (第一年		女性史における課題	(学修内容)女性史の発展と女性史が取り上げる課題について
# 39回 (事前事後今経課題の内容)(30分) 江戸時代の身分制について調べておく ( 字核内容) 文訓書の成立と概要 ( 事前事後今経課題の内容)(30分) 近世社会と女性: 女訓書を読む ( 字核内容) 文訓書の成立と概要 第 4回 ( 字核内容) 文訓書の成立と概要 第 5回 ( 字核内容) 文訓書の成立と例表	第2回		
近世社会と女性: 交訓書とは (字極内音) 女訓書の成立 色電型 (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複雑を読んである (字極内音) 女訓書の成立 色電型 (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複雑を読んである (字極内音) 女訓書におる女性後 (字極内音) 女訓書にみる女性の分割について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複判を読んである (字極内音) 表別情報を読んである (字極内音) 表別情以表表 (字極内音) 表別情による女性の役割について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複判を読んである (字極内音) 近代社会と女性: 表政書にみる女性後 (字極内音) 近代社会と女性: 表政書にみる女性後 (字極内音) 近代社会と女性の役割について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複判を読んである (字極内音) 近代社会と女性: 別治民法と女性 (字極内音) 所代社会と女性の役割について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複判を読んである (字極内音) 所述 (字極内音) 所述 (字極内音) 近世 法元である (字極内音) 近世 法元での女性観 (字極内音) 近世 法元での女性観 (字極内音) 近世 法元での女性観 (字極内音) 近世 法元での女性観 (字極内音) 数値の支性の連いについて ディスカッションを行う (事前事後今後課題の内容) (30分) 記行複判を読んである (字極内音) 数値の支性の労動について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記付複判を読んである (字極内音) 数値の支性の労動について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記付複判を読んである (字極内音) 数値の支性の労動について (事前事後今後課題の内容) (30分) 記付複判を読んである (字極内音) 対策の多様代表の氏でついてある (字極内音) 男女共同参画社会基本法について謂べてある (字極内音) 男女共同参画社会基本法について謂べてある (字極内音) 男女共同参画社会基本法について謂べてある (字極内音) 男女共同参画社会基本法について謂べてある (字極内音) 男女共同参画社会基本法についてディスカッションを行う (事前事後今後の課題の内容) (60分) 男女共同参画社会基本法についてディスカッションを行う (事的事後字を課題の内容) (60分) 男女共同参画社会基本法についてディスカッションを行う (事的事後字を課題の内容) (60分) 男女共同参画社会基本法についてディスカッションを行う (事的事後字を課題の内容) (50分)		近世社会と女性	(学修内容)江戸時代の女性の身分と階層
第4回 (季前事後字修謀語の内容) (30分) 配付資料を誘んであく (学核内容) 女訓書の記述内容について (事前事後字修謀語の内容) (80分) 配付資料を誘んであく (学核内容) 女訓書にある女性の役割について (事前事後字修謀語の内容) (80分) 配付資料を誘んであく (学核内容) 女訓書にみる女性の役割について (事前事後字修謀語の内容) (30分) 配付資料を誘んである (学校内容) 致政策にみる女性について (事前事後字修謀語の内容) (30分) 配付資料を誘んでくる 近代社会と女性: 泉票賢母教育 (学核内容) 近代社会と女性の役割について (事前事後字修謀語の内容) (30分) 配付資料を誘んでくる 近代社会と女性: 明治民法と女性 (学核内容) 可代社会と女性課題の内容) (30分) 配付資料を誘んでも (学核内容) 近世 近代のの役割 (30分) 配付資料を誘んでも (学核内容) 近世 近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う (学核内容) 近世 近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う (事前事後字修謀語の内容) (30分) 女性報の違いについて考えてくる (学核内容) 数世の方容) (30分) 医付資料を誘んであく (学核内容) 教徒の女性の分類について (事前事後字修謀語の内容) (30分) 医付責件を誘んであく (学核内容) 教徒の女性の分類について (事前事後字修謀語の内容) (30分) 配付資料を読んであく (学核内容) 女性を別倫原係を訪んであく (学核内容) 女性を別倫原係系的の内容と推准 (事前事後字修謀語の内容) (50分) 女性差別倫原係系的の内容と推准 (事前事後字修謀語の内容) (60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく (学核内容) 男女共同参画社会基本法について調べておく (学核内容) 別女共同参画社会基本法についておく (学核内容) 別女共同参画社会基本法について対でするく (学核内容) 別女共同参画社会基本法について対でするく	第3回		
記付資料を読んである  ( 学教内容) 女訓書の記述内容について ( 事前事後を経課題の内容) (80分) 記付資料を読んであく 近世社会と女性: 女訓書にみる女性像 ( 学教内容) 女訓書の記述内容について ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んであく ( 字教内容) 多数書にみる女性について ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んであく ( 字教内容) 多数書にみる女性について ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んでる ( 字教内容) 現代社会と女性にの見割について ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んである ( 字教内容) 明治民法における女性の担割について ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んである ( 字教内容) 明治民法における女性の位置づけについて ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んである ( 字教内容) 可能民法における女性の位置づけについて ( 事前事後を経課題の内容) (30分) 記付資料を読んである ( 字教内容) 現代社会と女性: 女性と対策 ( 字教内容) 現世と近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う ( 事前事後を対課題の内容) (30分) 定性観句 ( 字教内容) 教教の女性の分離について ( 事前事後を対課題の内容) (30分) 記付資料を読んである ( 字教内容) 教教の女性の分離について ( 事前事後を対理題の内容) (30分) 記付資料を読んである ( 字教内容) 女性差別態度系的の内容と批准 ( 事前事後を対理の内容) (60分) 女性差別態度系的の内容と批准 ( 事前事後を対理の内容) (60分) 女性差別態度系的の内容と批准 ( 事前事後を対理の内容) (60分) 女性差別態度系的の内容と記律 ( 字教内容) 男女共同参書社会基本法について調べてある 現代の課題と今後の展望 ( 字教内容) 男女共同参書社会基本法について調べてある 現代の課題と今後の展望 ( 字教内容) 男女共同参書社会基本法について謂べてある 現代の課題と今後の展望 ( 字教内容) 現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う		近世社会と女性:女訓書とは	(学修内容)女訓書の成立と概要
#5回 (季前事後学修護題の内容)(60分) 配付資料を読んでおく (学修内容)交割画にみる女性像 (学修内容)交割画にみる女性の役割について (季前事後学修護題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)交融による女性について (季前事後学修護題の内容)(30分) 配付資料を読んでよる 近代社会と女性:良妻賢母教育 (学修内容)近代社会と女性の役割について (季前事後学修護題の内容)(30分) 配付資料を読んでよる 近代社会と女性:明治民法と女性 (学修内容)近代社会と女性の役割について (季前事後学修護題の内容)(30分) 配付資料を読んであく  近代社会と女性:明治民法と女性 (学修内容)近世と近代の女性の役割について (季前事後学修護題の内容)(30分) 配付資料を読んであく (学修内容)近世と近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う (季前事後学修護題の内容)(30分) 配付資料を読んである (学修内容)軽後の女性の労働について考えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について考えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について考えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について考えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の女性の労働について表えてくる (学修内容)軽後の方容)(30分) 配付資料を読んであく 現代社会と女性:女性差別邀廃条約 (学修内容)男女性差別邀廃条約の内容と批准 (季前事後学修護題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について謂べておく 現代社会と女性:男女共同参画社会	第4回		
近世社会と女性: 女訓書にみる女性像		近世社会と女性:女訓書を読む	(学修内容)女訓書の記述内容について
(事約事後学修課題の内容)(30分) 正代社会と女性:家政書にみる女性像 (字修内容)家政書にみる女性について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでくる 近代社会と女性:良妻賢母教育 (学修内容)近代社会と女性の役割について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく 近代社会と女性:明治民法と女性 (学修内容)所治民法における女性の位置づけについて (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)所治民法における女性の位置づけについて (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)近世と近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分) 変性観の違いについて考えてくる (学修内容)教後の女性の労働について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)教後の女性の労働について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)教後の女性の労働について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)教徒から現代までの女性に対する教育の変遷について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)教徒から現代までの女性に対する教育の変遷について (事前事後学修課題の内容)(60分) 女性差別撤廃条約について調べておく (学修内容)男女共同参画社会基本法の内容 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく (学修内容)男女共同参画社会基本法について調べておく (学修内容)男女共同参画社会基本法についてディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分)	第5回		( - m - m - m - m - m - m - m - m - m -
遊代社会と女性:家政書にみる女性像		近世社会と女性:女訓書にみる女性像	(学修内容)女訓書にみる女性の役割について
第7回	第6回		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
超代社会と女性: 良妻賢母教育		近代社会と女性:家政書にみる女性像	(学修内容)家政書にみる女性について
第8回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく  近代社会と女性:明治民法と女性 (学修内容)明治民法における女性の位置づけについて (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく  近代社会と女性:近代の女性観 (学修内容)近世と近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分) 女性観の違いについて考えてくる  現代社会と女性:女性と労働 (学修内容)戦後の女性の労働について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく  現代社会と女性:女性と教育 (学修内容)戦後から現代までの女性に対する教育の変遷について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく  現代社会と女性:女性差別撤廃条約 (学修内容)女性差別撤廃条約の内容と批准 (事前事後学修課題の内容)(60分) 女性差別撤廃条約について調べておく  現代社会と女性:男女共同参画社会 (学修内容)男女共同参画社会基本法の内容 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく  現代社会と女性:男女共同参画社会 (学修内容)男女共同参画社会基本法について調べておく  現代の課題と今後の展望 (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分)	第7回		
配付資料を読んでおく     近代社会と女性:明治民法と女性		近代社会と女性:良妻賢母教育	(学修内容)近代社会と女性の役割について
第9回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第8回		
照代社会と女性:近代の女性観 (学修内容)近世と近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分) 女性観の違いについて考えてくる 現代社会と女性:女性と労働 (学修内容)戦後の女性の労働について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)戦後から現代までの女性に対する教育の変遷について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)戦後から現代までの女性に対する教育の変遷について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく (学修内容)女性差別撤廃条約の内容と批准 (事前事後学修課題の内容)(60分) 女性差別撤廃条約について調べておく 現代社会と女性:男女共同参画社会 (学修内容)男女共同参画社会基本法の内容 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく (学修内容)現代の課題と今後の展望 (学修内容)現代の課題と今後の展望 (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分)		近代社会と女性:明治民法と女性	(学修内容)明治民法における女性の位置づけについて
第11回	第9回		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
安性観の違いについて考えてくる  現代社会と女性:女性と労働  (学修内容)戦後の女性の労働について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく  現代社会と女性:女性と教育  (学修内容)戦後から現代までの女性に対する教育の変遷について (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく  現代社会と女性:女性差別撤廃条約  (学修内容)女性差別撤廃条約の内容と批准  (事前事後学修課題の内容)(60分) 女性差別撤廃条約について調べておく  現代社会と女性:男女共同参画社会  (学修内容)男女共同参画社会基本法の内容 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく  現代の課題と今後の展望  (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分)		近代社会と女性:近代の女性観	(学修内容)近世と近代の女性観の違いについて ディスカッションを行う
第11回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく	第10回		( - m - m - m - m - m - m - m - m - m -
配付資料を読んでおく		現代社会と女性:女性と労働	(学修内容)戦後の女性の労働について
# 第12回 (事前事後学修課題の内容)(30分) 配付資料を読んでおく 現代社会と女性:女性差別撤廃条約 (学修内容)女性差別撤廃条約の内容と批准 (事前事後学修課題の内容)(60分) 女性差別撤廃条約について調べておく (学修内容)男女共同参画社会基本法の内容 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく (学修内容)男女共同参画社会基本法について調べておく (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分)	第11回		
配付資料を読んでおく		現代社会と女性:女性と教育	(学修内容)戦後から現代までの女性に対する教育の変遷について
第13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 女性差別撤廃条約について調べておく 現代社会と女性:男女共同参画社会 (学修内容)男女共同参画社会基本法の内容 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく 現代の課題と今後の展望 (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第12回		
安性差別撤廃条約について調べておく		現代社会と女性:女性差別撤廃条約	(学修内容)女性差別撤廃条約の内容と批准
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 男女共同参画社会基本法について調べておく 現代の課題と今後の展望 (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う (事前事後学修課題の内容)(30分)	第13回		
男女共同参画社会基本法について調べておく 現代の課題と今後の展望 (学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う 第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)		現代社会と女性:男女共同参画社会	(学修内容)男女共同参画社会基本法の内容
第15回 (事前事後学修課題の内容)(30分)	第14回		
		現代の課題と今後の展望	(学修内容)現代の課題と今後の展望についてディスカッションを行う
	第15回		

授	業	名	国際理解	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2307
英	文	名	International Understanding	開講時期	春学期		必 修選 択	必修	•
担	当	者	秋山 裕之	対象 学生	総合文化2回生	Ξ			
			グローバリゼーションの進む現在、世界全体が一つのシステムに統なお国家、あるいは近隣国家群(地域)において、それぞれの風土づいている。本講義ではそれらを地域別に概観し、世界の多様性にを目的とする。	、歴史、目	₹族、宗教、文化な	よどに由来	する独自性	生が息	
授業	業の	概要	なぜ戦争が起きるのか?現在の国際情勢に関する知識をもとに考え	てみましょ	<b>こう。</b>				
			学期の終盤でグループワークによるプレゼンテーションを行います						
			1) 世界の諸国・諸地域の現状について、歴史的な経緯を含めた教教 2) 様々な事柄について、国際的な視野のもとで考えることができる3) 調べ学習を通して、世界の多様性についての理解を深めることが	3.	ける。				
		成果							
			知識・理解	<u> </u>	 l用的技能				
学位	ī 授	与の	態度・志向性	+ + -	://sasskiis 合的な学習経験と	:創造的思	 考力		
方針	との	D関連							
アク ラー 対象	=>		PBL     ディスカッション・ディベート       実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)	<u>│</u>	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(	価プ	方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		食 レポ		制作物 実技	
評(	価基	基 準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ:	キス	スト	なし。毎回資料を配付する。						
参	考	書	適宜紹介する。						
	ード	寸する バック	授業の最初に、前回授業で提出してもらったコミュニケーションペ	.ーパーから	5抜粋してコメント	する。			
留	意『	事項	世界のことに関する教養を身につけたい人は是非受講してください 毎回事前学習としてキーワードの予習をしてもらいます。	。グルーフ	プワーク等への積極	極的な関わ	りを求める	ます。	
	フィワ	ィス -	週に1時間×1回設定。曜日・時間帯は3号館4階学生演習室にて	揭示。					
実践	<b></b> 线的	教育							

### 授業名 国際理解

授業計画     学修項目       オリエンテーション:知識の確認       第1回       国とは       東アジア       第3回	学修内容・課題  (学修内容)世界の国々に関するクイズ  (事前事後学修課題の内容)(10分) シラバスをしっかり読んでくる  (学修内容)国の定義、国境、民族、言語などの関係  (事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:国家  (学修内容)東アジアの近現代、台湾情勢  (事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:漢字文化圏、台湾
第1回 国とは 第2回 東アジア	(事前事後学修課題の内容)(10分) シラバスをしっかり読んでくる (学修内容)国の定義、国境、民族、言語などの関係 (事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:国家 (学修内容)東アジアの近現代、台湾情勢 (事前事後学修課題の内容)(30分)
国とは 第2回 東アジア	シラバスをしっかり読んでくる  (学修内容)国の定義、国境、民族、言語などの関係  (事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:国家  (学修内容)東アジアの近現代、台湾情勢  (事前事後学修課題の内容)(30分)
第2回 東アジア	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:国家 (学修内容)東アジアの近現代、台湾情勢 (事前事後学修課題の内容)(30分)
東アジア	キーワード予習: 国家 (学修内容)東アジアの近現代、台湾情勢 (事前事後学修課題の内容)(30分)
	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回	
東南アジア	(学修内容)東南アジアの近現代
第4回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習: ASEAN
オセアニア	(学修内容)オセアニアの歴史と現在
第5回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:ポリネシア、ミクロネシア、メラネシア
インド・イスラム	(学修内容)インドとイスラムを取り巻く国際情勢
第6回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:イスラム教、インド・パキスタン関係
サハラ以南アフリカ	(学修内容)アフリカの歴史と現在
第7回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:アフリカ分割、奴隷貿易
中南米	(学修内容)中南米の近現代
第8回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:ラテンアメリカ、インカ帝国
北米	(学修内容)アメリカの成り立ち
第9回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:アメリカ独立戦争、南北戦争
ヨーロッパ(1)	(学修内容)ヨーロッパの国々の概要
第10回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:北欧、旧東欧
ヨーロッパ(2)	(学修内容)冷戦後のヨーロッパ情勢
第11回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:NATO、EU
戦争・紛争	(学修内容)人類と戦争、その歴史と現在
第12回	(事前事後学修課題の内容)(30分) キーワード予習:戦争、紛争
世界のことについて調べ学習 第13回	(学修内容)グループに分かれて国際的な多様性を知るための調べ学習を行う。グループのテーマ決定、役割分担、下調べなど。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:調べ学習のテーマをいくつか考えてくる
復習テスト 第14回	(学修内容)これまでの授業で取り上げた事柄をクイズ形式で出題、その解答と解説 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:これまでの総復習
発表「多様な世界」	(学修内容)グループワークの成果をパワーポイントを用いて発表
第15回	(事前事後学修課題の内容)(120分) 事前:発表用の資料を完成させて、担当者にメール添付にて送信

授	業	名	人間関係の心理学	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2312
英	文	名	Psychology of Human Relations	開講 時期	秋学期		必 修 選 択	必修	
担	当	者	渋谷 郁子	対 象 学 生	総合文化2回生	Ē			
授訓	業の村	既要	人はさまざまな人間関係を経験する中で、自己のアイデンティティ リングなどの観点から、現代社会における人間関係の問題を探求し 沿ったグループワークを行い、さまざまな人間関係の問題に柔軟に	、人間関	係の多様性と複雑さ				
	修成達目		1.自己とは何か、他者とは何か、自己と他者との関係性はどのよ 2.カウンセリングの考え方を説明できる。 3.臨床心理学的視点から対人関係を説明できる。	うなもの	かを説明できる。				
			知識・理解		汎用的技能				
学位			態度・志向性		総合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針	との	関連							
アク ラー 対象	ニン	グ		 グループ ICT活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評	価 方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技		試験   筆記試駅 %)  口述	策 レポ 実習		制作物 実技	
評	価 基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題 ) (	見発見・解	決能力		)
テ	キス	۲,	教科書は指定しない。適宜資料を配布する。						
参	考		授業内で紹介する。						
課題フィーの方	ードノ	するバック	レポートにはコメントをつけて返却する。						
留	意 事	項							
	フィ		初回授業時に伝える。						
実践	<b>影的</b>	教育	実践的教育 教員の実務経験など:教育、福祉機関でカウンセラーとして勤務。						

### 授業 名 人間関係の心理学

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	人生におけるさまざまな人間関係	(学修内容)-生の中で出会うさまざまな人間関係を、発達段階に沿って概観してい
第1回		く。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 自分を取り囲む人間関係を図で表す。
	自己と他者の成り立ち	(学修内容)自己と他者の成り立ちについて、発達的な観点から理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 思い出せる一番古い記憶をたどり、自分の成り立ちについて考える。
第3回	他者理解(1)対人認知	(学修内容)他者理解はどのような要因によってなされているのか、対人認知のプロセスについて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 他者を理解する上で、自分が重点を置くポイントは何かを考える。
第4回	他者理解(2)対人魅力	(学修内容)他者に心ひかれるのはどのような要因によるものなのか、対人魅力について学ぶ。また、恋愛関係のプロセスについて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 他者に好意をもつときの心の動きについて考える。
第5回	自己理解(1)パーソナリティとは何か	(学修内容)パーソナリティとは何か、どのようにすれば把握することができるのかを学ぶ。また、自分のパーソナリティを考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 質問紙法を用いて自分のパーソナリティを把握する。
第6回	自己理解(2)無意識的な側面のパーソナリティ	(学修内容)無意識的な側面のパーソナリティについての理論や、それを把握する方法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 描画法や投影法を用いて自分のパーソナリティを把握する。
第7回	自己理解(3)自己概念	(学修内容)生涯のテーマとなるアイデンティティの形成について、様々な角度から 考察する。 (事前事後学修課題の内容)(20分) これまでの授業を振り返り、自分についての自分のイメージを整理する
第8回	自己理解(4)人間関係のあり方	。 (学修内容)人間関係の築き方における個人差について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 自分の人間関係の特徴を把握する。
第9回	対人援助のコミュニケーション (1) カウンセリングにおける受容的態度	(学修内容)クライエント中心のカウンセリングの考え方を学び、受容的態度に必要な繰り返しの技法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 授業で行ったロールプレイを振り返る。
第10回	対人援助のコミュニケーション (2) カウンセリングにおける共感的態度	(学修内容)クライエント中心のカウンセリングの考え方を学び、共感的態度に必要な質問の技法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 授業で行ったロールプレイを振り返る。
第11回	対人援助のコミュニケーション(3)コミュニケーションを促進する質問	(学修内容)オープンエンドな質問を繰り返し、コミュニケーションを促進する技法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 授業で行ったロールプレイを振り返る。
第12回	対人援助のコミュニケーション (4)問題解決を 導く質問	(学修内容)クローズドな質問を繰り返しながら、問題解決に導くメタファシリテーションの考え方と技法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 授業で行ったロールプレイを振り返る
第13回	ストレスへの反応と対処	(学修内容)ストレスやストレス反応について学び、ストレスコーピングの種類を知る。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 自分のストレス対処法を振り返り、改善点を考える。
第14回	メンタルヘルス	(学修内容)罹患率の高い精神疾患(うつ病や神経症など)の主症状と支援について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 身近な人が精神疾患に罹った場合にどんな対応・支援ができるかを考える。
第15回	個と集団	(学修内容) いじめやハラスメントなど、集団の中で生じうる人間関係の問題について学び、どのように理解すればよいかについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(20分) いじめやハラスメントがなぜ起こるのかについて考える。

授 業 名	ことばと文化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	IC1301
英 文 名	Words and Expressions	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	伊藤 茂樹	対象 学生	総合文化1回生	Ē			
	言葉とは私たちが必ず使うものです。言葉がもつ意義は多様ですが、	その成立	Zと発展。また変遷	をについて	学びます。		
授業の概要							
	1 ) 言葉の成立や伝来。意味の変遷について理解できる。   2 ) フィールドワークでの発見をレポートにまとめることが出来る。						
	3 ) 言葉の持つ多様な可能性を理解出来る。						
<b>当 收</b> 卍 田							
学修成果到達目標							
	知識・理解		l用的技能				
学位授与の 方針との関連	態度・志向性	NVE	合的な学習経験と	創造的思	考力		
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL     ディスカッション・ディベート       実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)		リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
ラーニング 対象授業	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) 定期試験 筆記試験 レポート 制作物		](自主学習支援)	・ レポ	- h #	制作物	
ラーニング	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	ICT活用	(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述	・ レポ 実習	— ト fi		
ラーニング 対象授業	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (60%)       口述       実習       実技	I C T活用 平常記 ( 40	(自主学習支援) 試験 筆記試験 %) 口述	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラーニング 対象授業 評価方法 評価基準	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (60%)       口述       実習       実技         主たる評価の       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー	I C T活用 平常記 ( 40	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラーニング対象授業評価方法	実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)       定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (60%)     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレー       授業態度・参加意欲     (	I C T活用 平常記 ( 40	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラーニング対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト	実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)       定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (60%)     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレー       授業態度・参加意欲     (	I C T活用 平常記 ( 40	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラーニング対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (60%)       口述       実習       実技         主たる評価の       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー授業態度・参加意欲         適宜、プリント等を配布します。	I C T活用 平常記 ( 40	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラーニング対象授業 評価 方法 評価 基準 テキスト	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験       筆記試験       レポート       制作物         (60%)       口述       実習       実技         主たる評価の       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー授業態度・参加意欲         適宜、プリント等を配布します。	I C T活用 平常記 ( 40	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラース 対象 アース アース アース アース アース アース アース アース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース 	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー授業態度・参加意欲 ( 適宜、プリント等を配布します。  授業内で適宜紹介します。	I C T活用 平常記 ( 40	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラー対評テークコーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次フーク一次一次一次フーク一次一次一次フーク一次一次一次フーク一次一次一次フーク一次一次一次一次フーク一次一次一次一次フーク </th <th>実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技         主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (適宜、プリント等を配布します。         授業内で適宜紹介します。         発表については適宜コメントをします。</th> <th>I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ</th> <th>引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題</th> <th>・ レポ 実習</th> <th>— ト fi</th> <th>制作物</th> <th>)</th>	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技         主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (適宜、プリント等を配布します。         授業内で適宜紹介します。         発表については適宜コメントをします。	I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラ対評デ参課フの一無よよよ大ままよ大ままよ大まよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよよ	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー授業態度・参加意欲 ( 適宜、プリント等を配布します。  授業内で適宜紹介します。	I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラース 対象 アース アース アース アース アース アース アース アース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース ・ボース 	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技         主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (適宜、プリント等を配布します。         授業内で適宜紹介します。         発表については適宜コメントをします。	I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラ対評デ参課フの日本ままはフまままフまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままスまままま <tr< th=""><th>実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技         主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (適宜、プリント等を配布します。         授業内で適宜紹介します。         発表については適宜コメントをします。</th><th>I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ</th><th>引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題</th><th>・ レポ 実習</th><th>— ト fi</th><th>制作物</th><th>)</th></tr<>	実習・フィールドワーク       ICT活用(双方向型授業)         定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60%) 口述 実習 実技         主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (適宜、プリント等を配布します。         授業内で適宜紹介します。         発表については適宜コメントをします。	I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラ対評デ参課フの留オア二授価価キオアン業方基ストよいよいエーなりストままよいストまよいよいストままよいストまよいよいストままよいストまよいよいストまよいよいストまよいよいストまよいよいストまよいよいストよいよいよいストよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよいよい	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレー授業態度・参加意欲 ( 適宜、ブリント等を配布します。  発表については適宜コメントをします。  発表については、授業内容や社会状況について変更の可能性があり。	I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)
ラ対評テ参課フの留オン業一条価価キマップ大基ス考マップス基スまマップスまマップススまマップス	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)  定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技  主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレー授業態度・参加意欲 ( 適宜、ブリント等を配布します。  発表については適宜コメントをします。  発表については、授業内容や社会状況について変更の可能性があり。	I C T 活用 平常記 ( 40 ゼンテーシ	引(自主学習支援) 武験 筆記試験 %) 口述 vョン能力 課題	・ レポ 実習	— ト fi	制作物	)

# 授業 名 ことばと文化

授業計画		学修内容・課題
	言葉の成り立ちと文化	(学修内容)講義内容の説明。
第1回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
짜니다		(事前)シラバスを確認しておく
		(事後)配布したプリントを読み返す
	方言について	(学修内容)地元でしか使わない方言。方言について皆で話し合いましょう。
		(事前事後学修課題の内容) (120分)
第2回		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す
	方言について	 (学修内容)京都の人が使う京言葉。どのような言葉があるのか探ります。
	) I le sur c	
第3回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す
	言葉の変遷	(学修内容)私たちが普段使う言葉はどのようなところからはじまり変化するのか。 生活の中で使う何気ない言葉を題材に考えます。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
75.14		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す
	フィールドワーク-清水寺	(学修内容)今年の世相を著した漢字一文字が年末に発表されます。発表の舞台であ
		る清水寺へ行きます。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		(事前)清水寺を調べる (事後)フィールドワークで得た知見をまとめる。
	フィールドワーク事後学習	(学修内容)フィールドワークの発見と感想を発表してもらいます。
第6回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		(事前)発表資料を作成する
	(漢字 しき/レ	(事後)レポートとしてまとめる
	漢字と文化	(学修内容)東アジア文化の特色の一つである漢字について。成り立ちと変遷を概記 します。
第7回		069。   (事前事後学修課題の内容) (60分)
N. H		(事前)漢字についての基礎的知識を調べる
		(事後)配布したプリントを読み返す
	書と文化 中国の書法	(学修内容)個性ある書法について概説します。
<b>₩</b> 0□		(市华市体学校知晓の中央) (400八)
第8回		(事前事後学修課題の内容) (120分)   (事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す
	書と文化 日本の書法	(学修内容)日本の筆跡について。概説します。またFWへの事前学習も行います。
		(事前事後学修課題の内容) (120分)
第9回		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
		(事後)配布したプリントを読み返す
	フィールドワーク	(学修内容)漢字博物館を見学します。
		(于1973日)1天] 時初祖已元于089。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		(事前)フィールドワーク先を調べる
	44	(事後)フィールドワークで得た知見をまとめる
	本について	(学修内容)本の成り立ち。本の種類について歴史的に学びます。
第11回		   (事前事後学修課題の内容)(120分)
짜니띠		(事前)本についての基礎的な知識を調べる。
		(事後)配布したプリントを読み返す
	出版流通について	(学修内容)本の出版流通について概説します。
		( = 14 = 1/4 W to Ampro = 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1
第12回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく (事後)配布したプリントを読み返す
	和歌について	(学修内容)和歌やことばの遊びについて学びます。
		(1)21127 (100) = 2000,2012 (100)
第13回		(事前事後学修課題の内容) (120分)
		(事前)前回の内容を振り返りまとめておく
	7, 4, 5, 5	(事後)配布したプリントを読み返す
	フィールドワーク	(学修内容) 小倉百人一首に関連する場所へ行きます。 
第14回		  (事前事後学修課題の内容)(120分)
AD 1 7 EL		(事前)行き先について図書館で調べる。
		(事後)フィールドワークで得た知見をまとめる
	授業の総括	(学修内容)これまでの授業の内容をまとめ整理する
		( = 14 = 1/4 W (s ANDE = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 )
第15回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		(事前)プリントを整理しまとめておく
		(事後)これまでの学びをレポートにまとめる

授 業 名	コミュニケーション演習	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	IC1302	
英 文 名	Communication Practice	開講時期	春学期		必 修選 択	選択		
担当者	堀出 雅人	対象 学生	総合文化1回生					
授業の概要	コミュニケーションには、意思や情報のやり取りのことで、大きく分けて言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションがある。また、相手や場面、状況によってコミュニケーションの内容は変化する。例えば「挨拶をする」という行為について、笑顔なのか無表情なのか、親しい相手なのか初対面の相手なのか、部屋の中なのか道路なのか、朝なのか夜なのか…、仕方や状況によってコミュニケーションは大きく異なり、伝わる意思や情報も変化してくる。この授業では、様々な角度からコミュニケーションを取り上げ、実際に学生がコミュニケーションを検することを通じて、コミュニケーションの音味を学び、社会生活の中で音識してコミュニケーションを活用できる力を身につけることを目的とする。把							
学修成果到達目標	1)コミュニケーションとは何かを自分なりに説明できる2)仲間と協力して取材を行うことができる(準備、本番、編集、3)他の受講生の発表等に対してフィードバックすることができる	·						
W // I= 1 =	知識・理解		旧用的技能	<b>如此的田</b>	bz +			
学位授与の方針との関連	態度・志向性	A/C	合的な学習経験と	創造的思	与刀			
万里 この民産								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)	プレ	ゼンテーシ	ション		
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		レポ· 実習		刮作物 実技		
評価基準	主たる評価の       知識・理解       コミュニケーション能力       プレー         観点       授業態度・参加意欲       (		/ョン能力 課題 ) (	発見・解決	夬能力		)	
テキスト	必要に応じて資料を配布する。							
参 考 書	適宜指示をします。							
課題に対する フィードバック の方法	課題や振り返りシートについては必ず目を通し、必要に応じて口頭	やコメント	〜の記入で対応する	•				
留意事項	演習ですので「参加」が前提となります。積極的な発言ばかりが参強く意識して授業に参加して下さい。	加ではあり	)ませんが、「参加	している	いというで	ことを		
オフィスアワー	授業終了後に教室で行います。まとまった時間が必要な場合はメー 日程調整を行います。	ルを下さい	N。ku096horide@ky	otokacho	-u.ac.jp			
実践的教育								

#### 授業 名 コミュニケーション演習

TEC 317 71 =	* W. T. D	₩ M + ☆ + □ EF
授業計画	7 12 7111	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の内容と進め方を理解し学修計画を立てることができる
	自己紹介、他己紹介	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 シラバスを読んでくる
		事後 授業の感想を書き提出する
	「読む」を通したコミュニケーション	(学修内容)新聞や雑誌、マガジンなど紙媒体の資料を読み他者と情報共有すること
		ができる
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 友だちにぜひ読んで欲しい書籍をピックアップする
		事後 授業の感想を書き提出する
	「聴く」を通したコミュニケーション	(学修内容)インタビューの基本的な方法を実践できる
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 友だちに聴いてみたいことをピックアップする
		事後 授業の感想を書き提出する
	「視る」を通したコミュニケーション	(学修内容)映像教材を見て他者と意見交換することができる
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 友だちに紹介した映画やドラマなどピックアップする
		事後 授業の感想を書き提出する
	「動く」を通したコミュニケーション	(学修内容)身体を通じたコミュニケーションワークを実践できる
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 ノンバーバルコミュニケーションについて調べてくる
		事後の感想を書き提出する
	「触れる」を通したコミュニケーション	(学修内容)実物に直接触れ感じるコミュニケーションを実践できる
		(
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 ハンズオン展示について調べてくる
		事後 授業の感想を書き提出する
	「書く」を通したコミュニケーション	(学修内容)「書く」ことを通して自分の気持ちを表現できる
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 これまで一番心に残っている手紙などメッセージを整理する
		事後 授業の感想を書き提出する
	「話す」を通したコミュニケーション	(学修内容)1つのテーマについて一定の時間人前で話すことができる
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 推し活について話ができるように整理する
		事後 授業の感想を書き提出する
	「つくる」を通したコミュニケーション	(学修内容)他者と一緒に作り上げる達成感や喜びがもたらす効果について説明でき
		გ გ
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 これまで他者と何かを作りだした経験を整理する
		事後 授業の感想を書き提出する
	「調べる」を通したコミュニケーション	(学修内容)1つのテーマについてツールを使用し調べることができる
~~		/ 末光末// 光 / 1915
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 検索エンジンを用いて課題を調べてくる
	「おうっ を深したっち ール ト ト	事後、授業の感想を書き提出する
	「考える」を通したコミュニケーション	(学修内容)1つテーマについてその場で考えをまとめ他者と話し合うことができる
9544 E		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第11回		事前 これまで10回の授業に関する小レポートをまとめてくる
		事後の感想を書き提出する
	│ │「まちづくり」団体への取材準備	(学修内容)【グループワーク】取材の基礎を習得する
	よりノイリュ国体への鉄例年間	(ナルアンロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
차나스		「争刑争後子隊就越の内谷」(30万)
		事後 授業の感想を書き提出する
	  「まちづくり」団体への取材	「学修内容」【フィールドワーク】現地で取材することができる
		( ) POISING AND CANADO COM COM
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前の取材の準備
		事後 授業の感想を書き提出する
	「まちづくり」団体への取材結果の編集	(学修内容)【グループワーク】取材の記録を編集し広く発信することができる
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第14回		事前 インタビューの文字起こし
		事後 授業の感想を書き提出する
	「まちづくり」団体への取材成果の発表	(学修内容)【プレゼンテーション】取材成果をまとめたメディアを発表できる
		(事前事後学修課題の内容) (120分)
第15回		事前 取材の成果をまとめ上げる
		事後 授業の感想を書き提出する

授 業 名	芸術と文化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	IC1303
英 文 名	Art and Culture	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	伊藤 茂樹	対象学生	総合文化1回生	Ē			
授業の概要	芸術とは、人間の生活に潤いをもたらします。芸術には様々な分野でおり、学ぶことがたくさんあります。本講義では、そのような芸的には、京都(特に東山区)の中にある様々な芸術的な事象(たとワークを通して知見を得ます。文化的な意義に踏みこみ深く学んで	長術と文化の こえば仏像、	)関連を学んでゆく 庭園、建築物)に	事を目的	とします。	具体	
学修成果到達目標	1)芸術が私たちの生活にもたらす意義は何か具体的に指摘出来る 2)正確な知識をもって鑑賞出来る。 3)鑑賞において自らの見解を持つことが出来る。	ò.					
	知識・理解		l用的技能	A15# ## ID	<del></del>		
学位授与の方針との関連	態度・志向性	× ×	合的な学習経験と	創造的思	考力		
万里での原産							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常記(30		き レポ 実習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	<b>,</b> ゼンテーシ	ソョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	必要な資料を配布します。						
参 考 書	必要に応じて紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートは、コメントをつけて返却します。						
留意事項	フィールドワークついては、授業の進展や社会状況により変更する	場合があり	)ます。				
オフィスアワー	講義中に指示します。						
			·				

# 授業名 芸術と文化

	Z FIJ C Z ID	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)本講義で講義する内容を説明します。日本文化における芸術の意義を概
第1回		説します。  (事前事後学修課題の内容)(20分)
		まずは、シラバスをよく読んでください。講義の内容をしっかりと把握
	仏像について(1)起源と意義	すること。 (学修内容)仏像とは何か。仏像の起源や意義を学びます。
		(子形13日) 仏像には同方。 仏像の起源で高義を子びよう。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配布したプリントをよく読み返してください。内容をまとめること。
	仏像について(2)作製技法と種類	(学修内容)仏像作製における技法や像の種類を学びます。
<b>₩</b> 0□		(事故事後常校知時の中央)(20八)
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   配布プリントやノートをよく見返しておくこと。
		HD18777117 1 COX (7022 0 CO) ( C C C
	仏師について(1)定朝を中心に	(学修内容)仏像を作製する仏師について学びます。特に定朝を中心とします。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   配布プリントを整理し、ノートをよく見返しておくこと。
215 1 [		
	// 姉について / 2 と演奏を中心に	( 労権市の ) ( ) 俺を制作する() 毎について労びます。 株に深塵を中心 とします
	仏師について (2) 運慶を中心に 	(学修内容)仏像を制作する仏師について学びます。特に運慶を中心とします。  (事前事後学修課題の内容)(30分)
第5回		配布プリントを整理し、ノートをよく見返しておくこと。
	仏師について(3)快慶を中心に	(学修内容)仏像を制作する仏師について学びます。特に快慶を中心とします。
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第6回		発表内容を整理してまとめてください。 
	フィールドワーク	(学修内容)華頂学園周辺の名刹寺院を参拝し仏像を拝観します。
第7回		  (事前事後学修課題の内容)(60分)
715.1		フィールドワークで発見した内容や感想をまとめること。
	フィールドワーク事後学習	
	フィールドソーク事後子自	(子廖内子) フィールド ノーノ に付たが光を光衣し こもらいより。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		発表内容を整理しまとめて提出してください。 
	工芸品について	(学修内容)刀について学びます
第9回		   (事前事後学修課題の内容)(30分)
까이프		ノートをしっかりとまとめてください。配布プリントを見直すこと。
	7.4. 位 4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	/ 兴版市应)于100mm 为14.7 7年24.4 7年24.1 18.1 14.1 15.5 5年4年23年24年24年37年3
	建築物について	(学修内容)寺院における建造物(本堂、門、塔…)の種類や建築方法を学びます。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		身近な知恩院の建築を調べてください。
	フィールドワーク - 知恩院 -	(学修内容)これまで学んだ知識を駆使して知恩院を参拝します。
\$\$ 4.4 T		/ 事故事後光修知時の中央 > / 00 / 1 >
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   フィールドワークで発見した内容や感想をまとめること。
	フィールドワーク事後学習	(学修内容)フィールドワーク(知恩院)で得た知見を発表してもらいます。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第12回		(争削争後子修謀越の内合)(30万) レポートを作製します。
	舞台芸術について	(学修内容)落語、歌舞伎等の舞台芸術を学びます。
	STAN AFINE SVIC	() 1973日 / 月間(明/24 以外日の門と子びのり。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		配布プリントとノートを整理してください。 
	フィールドワーク - 歌舞伎・落語の関連施設	(学修内容)京都内における歌舞伎や落語に関連のある施設にフィールドワークに行
第14回		きます。   (事前事後学修課題の内容)(30分)
为14四		(争削争後子修課題の内谷) (30分)   発見・感想をまとめてください。
	無ム共体の登場	/ 学校中央 > NIの支那毎日 - 存在やする時   ナナ
	舞台芸術の鑑賞	(学修内容)DVDで歌舞伎・落語等を鑑賞します。 
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		内容をまとめてください。講義のあとレポートにすること。

授 業 名	現代社会の動き	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	IC1306
英 文 名	Social Movement in Today's World	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	新矢 昌昭	対 象 学 生	総合文化1回生	Ē			
授業の概要	社会学を通して考えると、さまざまな社会に起こっている現象はどしたちの身近なできごとから現代社会の特徴を考えるとともに、わいて考えていく。主として、現代社会におる家族を見て行くが、現代社会におる家族を見て行くが、現代社会におる家族を見て行くが、現代社会におる家族を見て行くが、現代社会におる家族を見て行くが、現代社会において、	たしたち	がいかに社会に左右	される存	在なのか、		
学修成果到達目標	1)現代社会を理解することができる 2)複眼的な視野を養うことができる 3)社会と人間の関係を考えることができる						
	知識・理解	à	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	4.	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│──│ グループ「 ICT活↓	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 85 %) 口述 実習 実技	平常 ( 15		・ レポ 実習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	使用しない。 プリントを配布する						
参考書	講義中に適宜指摘する						
課題に対する フィードバック の方法	配布資料についての解説、グループワーク発表などにコメントを加まれた。	える					
留意事項	わからないことは講義後に聞くように。講義中に意見を求めるので、	、自身の	考えをしっかり持つ	こと			
オフィスアワー	研究室の扉に掲示						
実践的教育							

## 授業 名 現代社会の動き

	<b>光10社会の到と</b>	
授業計画	2 12 1111	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)この講義の進め方
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおく
	近代家族の誕生-西欧	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読んでおく
	近代家族の誕生-日本	(学修内容)日本の家族史
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読んでおく
	現代家族の行方	(学修内容)現代家族の特徴、家族の未来
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布する新聞記事を読み、考えをまとめておく
	恋愛結婚	(学修内容)恋愛結婚の可能性と行方
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布する新聞記事を読み、考えをまとめておく
	ジェンダー	(学修内容)現代社会とジェンダー
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布する新聞記事を読み、考えをまとめておく
	「見えない貧困」	(学修内容)現代社会における貧困問題について
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布する新聞記事を読み、考えをまとめておく
	若者論	(学修内容)現代社会における若者の生きづらさ
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布する新聞記事を読み、考えをまとめておく
	グループワーク	(学修内容)若者論を疑う
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) グループワークで使用するプリントを予め読んでおくこと
	「わたし」とは何か	(学修内容)アイデンティティの確立は可能か
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布する新聞記事を読み、考えをまとめておく
	「世間」とは何か	(学修内容)日本は社会ではなく、「世間」では
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読み、考えをまとめておく
	「空気」とは何か	(学修内容)「空気」に敏感なわたしたち
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読み、考えをまとめておく
	閉塞感を感じる社会	(学修内容)何故、わたしたちは閉塞感を感じてしまうのか
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読み、考えをまとめておく
	実施見学	(学修内容)授業で関連する博物館などの見学
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 講義で関連する博物館などを見学する。行先は、講義中で決める。その 博物間などの施設について事前学習しておくこと
第15回	全体のまとめ	(学修内容)学期間のまとめ (事前事後学修課題の内容)(60分) 博物館などの施設見学について感想文の提出
		<b>博物館なCの施設見子にプいて感想又の提出</b>

授 業 名	地域文化と観光	開講学年	2回生	単 位 数	2単位	科目コード	IC2308
英 文 名	Local Culture and Tourism	開 講時 期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	新矢 昌昭	対 象 学 生	総合文化2回生	<u> </u>			
授業の概要	本講義は、京都、大阪、神戸の「三都物語」のそれぞれの地域の特ずは、歴史的な三都を学習し、そしてJR西日本「三都物語」のキみたい。また、実際にそれぞれの地域を訪れ、どのような文化と観	ヤンペーン	ンから、地域観光σ	特徴と「			
学修成果到達目標	1) 三都について学ぶ 2) 「三都物語」を理解する 3) それぞれの地域の文化と観光を考えてみる						
	知識・理解	ÿ	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		で レポ 実習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテージ	ソョン能力 課題	発見・解	決能力		)
テキスト	使用しない。プリントを配布する						
参考書	適宜紹介する						
課題に対する フィードバック の方法	配布資料についての解説、発表、レジュメなどにコメントを加える						
留意事項	講義やフィールドワークを通して「売り」を疑う。発見や課題を深	めて欲しい					
オフィス							
アワー	研究室の扉に掲示する						

## 授業 名 地域文化と観光

授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)この講義の進め方と注意
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおく
	  三都とは何か	 (学修内容)三都の歴史的考察
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布資料を読んでおく
	京	(学修内容)名所図会にみる京
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布史料を読んでおく
	大坂	(学修内容)名所図会にみる大坂
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布史料を読んでおく
	名所図会の地と現代	(学修内容)フィールドワーク
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 行先の名所図会と現代の案内プリントを読んでおく
	「三都物語」	(学修内容)「三都物語」とは何か
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) JR西日本の該当HPを読んでおく
	神戸の文化と観光	(学修内容)神戸の文化的特徴、観光的資源
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 旅行業者のパンフレットを入手し、読んでおく
	京都の文化と観光	(学修内容)京都の文化的特徴、観光的資源
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 旅行業者のパンフレットを入手し、読んでおく
	大阪の文化と観光	(学修内容)大阪の文化的特徴、観光的資源
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 旅行業者のパンフレットを入手し、読んでおく
	神戸フィールドワーク	(学修内容)神戸グループによるガイドと解説
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) レジュメの用意、経路確認をしておく
	神戸フィールドワーク事後学習	(学修内容)神戸グループによる発表
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 神戸グループは、設定したテーマのレジュメを用意
	京都フィールドワーク	(学修内容)京都グループによるガイドと解説
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) レジュメの用意、経路確認をしておく
	京都フィールドワーク事後学習	(学修内容)京都グループによる発表
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 京都グループは、設定したテーマのレジュメを用意
	大阪フィールドワーク	(学修内容)大阪グループによるガイドと解説
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) レジュメの用意、経路確認をしておく
	大阪フィールドワーク事後学習	(学修内容)大阪グループによる発表
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪グループは、設定したテーマのレジュメを用意
	1	I .

授 業 名	ホスピタリティ	開講学年	2回生	単位数	1単位	科目 コード	IC2310
英 文 名	Hospitality	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	,
担当者	藤田 恵美子	対象学生	総合文化2回生	<u> </u>			
	将来、ホスピタリティ産業(ホテル・旅行・航空・ブライダル・レジリティ・マインド(おもてなしの心)とホスピタリティ産業で求めらだ 状とその仕事を紹介し、応対実践事例を考察する。						
授業の概要							
学修成果	・おもてなしやホスピタリティ産業(ホテル・旅行・航空・ブライタ・ホスピタリティ産業の現状を理解することができる。 ・効率的な情報検索方法を身につけることができる。 ・ホスピタリティ産業へのキャリアデザインを考えるスタートとなっ		ャー)で求められる	<b>基礎能力</b>	を育成でき	₹ <b>る</b> 。	
到達目標	40.500 TB 42						
学位授与の	知識・理解態度・志向性	-	礼用的技能 総合的な学習経験と	創造的思	———— 老力		
方針との関連	1010 VIII			A12176	373		
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常i ( 50		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ション能力 課題 ) (	発見・解説	決能力		)
テキスト	プリント配布						
参考書	『サービスを超える瞬間』高野登(著)かんき出版						
課題に対する フィードバック の方法	毎回提出されるレポートと気づきや質問には、コメントを付けて返っ をします。	却します。	実習や口述につい	1ては、そ	の都度コン	<b>メント</b>	
留意事項	・自分の将来を考える場として積極的に参加し、学んだことを日常: ・おもてなしの仕事は言葉遣い・時間・期限・連絡などマナーに厳・新聞やニュース等で社会の動き、特にホスピタリティ産業に関心:	しいため、	それを理解の上で		と。		
オフィスアワー	担当授業前後に実施する						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:国際線客室乗務員として勤務。その後、接遇・ 種企業研修を担当。 それらの経験を活かし、光陵女子短期大学・; 准教授としてビジネス実務・秘書実務・エア・	大阪国際ス	大学非常勤講師、大	、阪学院大	学・短期プ	大学部	

## 授業 名 ホスピタリティ

# 2 章 計画	12 * 1	<b>小人にダリテ1</b>		
別日	授業計画	学修項目		学修内容・課題
第20回	第1回		ホス (事前事後学修設 (事	ピタリティの語源とホスピタリティ産業の構造について 思題の内容)(30分) 前)シラバスの内容確認とサービスとホスピタリティの違いについて
第前回	第2回	ホテル業界について	ント (事前事後学修設	についてとホテルの仕事内容、求められる人材について !題の内容)(30分)
第4回	第3回	観光・旅行業界について	(事前事後学修設	!題の内容)(60分) 前)日本の世界遺産について調べておく
(事命) (事後) (事後) (現象) (39分) (事後) (現象) (現象) (現象) (現象) (現象) (現象) (現象) (現象	第4回	ブライダル業界について	(事前事後学修設	<b>課題の内容)(30分)</b>
(事後) 興味のあるテーマバークと仕事について調べる 新空業界について (学修内音) 新空業界のに事の特性と各仕事内容、求められる人材 (事能) 興味のある底空会社と仕事について調べる (事能) 明味のある底空会社と仕事について調べる (事能) 明味のある底空会社と仕事について調べる (事能) 明味のある底空会社と仕事について調べる (事能) 明水の方式を、メラビアンの法則、表情&アイコンタクト (事能) 日・表情訓練を実行し、表情&アイコンタクトに心掛ける (事能) 日・表情訓練を実行し、表情&アイコンタクトに心掛ける (事物) 日・表情訓練を実行し、表情&アイコンタクトに心掛ける (事物) 日本を能力の育成・2 (事物等か・色) (事能) 日のない。 第8回 日・表情訓練を実行し、表情&アイコンタクトに心掛ける (事能) 日本生活でも成が、多の回りで色彩心理を利用した事例を調べる (海が・態度) (事物) 日本生活でも規が、良い姿勢・お辞儀・歩き方)・マナーの大切さ (事物等後学修護題の内容) (30分) (事能) 日本生活でも規が、良い姿勢・お辞儀・歩き方を実行する (本のられる基本能力の育成・4 (所と言葉連い) (事物) 発声検討と目に対して、表情、といき方を実行する (事物) 日本生活でも実行する (活し方・聴き方) (事物) 日本生活でも実行する (活し方・聴き方) (事物) 日本生活でも実行する (事物等後学修護題の内容) (30分) (事物) 日本生活でも実行する (事物等後学修護題の内容) (30分) (事物) 日本生活でも実行する (事物等後学修護題の内容) (30分) (事物) 日本生活でも実行する (事物等後様題の内容) (30分) (事物) 日本生活でも実行する (学修内音) 新者本の学イブを知り、応対を考える (学的内音) 対策の分でブを知り、応対を考える (学の内音) うながけいてもある商客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する (学の内音) 文流分析から応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 交流分析がら応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 文流分析がら応対を考える (学修内音) 次元次ピリティ・マネジメントとまとめ(レボートの構成を考		レジャー業界について		
(事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)興味のある航空会社と仕事について調べる (字後内容)第一印象の大切さ、メラピアンの法則、表情&アイコンタクト (素情、アイコンタクト) (事権・アイコンタクト) (事権・アイコンタクト) (事権・アイコンタクト) (事権・アイコンタクト) (事権・アイコンタクト) (事権・アイコンタクトに心掛ける (学修内容) 身間みとおしゃれの違い、色彩心理、パーソナルカラーについて (身場み)・色) (学修内容) 身間みとおしゃれの違い、色彩心理、パーソナルカラーについて (身場み・色) (学修内容) 身間みとおしゃれの違い、色彩心理、パーソナルカラーについて (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)自分に似合う色を知る。身の回りで色彩心理を利用した事例を調べる (接拶・秘度) (事後)自分に収合う色を知る。身の回りで色彩心理を利用した事例を調べる (接援・秘度) (事後)日常生活でも挨拶・長い姿勢・お辞儀・歩き方)・マナーの大切さ (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)日常生活でも挨拶・長い姿勢・お辞儀・歩き方を実行する (学修内容)第声練習と記慮表現と敬語)について (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)第一時報習と記慮表現を日常生活でも実行する (学修内容) 正しく伝え、長い聴き手になる(グループワーク) (第6)正しく伝え、長い聴き手になる(グループワーク) (第6)正しく伝え、長い聴き手になる(グループワーク) (第6)正しく伝え、長い聴き手を日常生活でも実行する (学修内容) 部名心理を理解してCS(顧客満足・実践を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正して伝え・長い聴き手を日常生活でも実行する (学修内容) 部名心理を理解してい、アルバイト等日常生活でも実行する (学修内容) か高様のタイブを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、根手のタイプに応じた接し方に活用する(学修内容)の次が析から成対を考える (学修内容) 交流分析から成対を考える (学修内容) 次次が析のら対を考える (学修内容) アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振 水 スピタリティ・マネジメントとまとめ (レポートの書き方説明) まとめ(レポートの書き方説明) (学修内容) アルスピタリティ・マネジメントとまとめ (レポートの書き方説明) (学修内容) アルスピタリティ・マネジストとまとなどがよりませばない。 (学修内容) アルバイト等日常生活で、大学では、アルバイト等日本生活で、大学では、アルバイト等日本生活で、大学では、アルバイト等日本生活で、大学では、アルバイト等日本生活で、大学では、アルバイト等日本生活で、大学では、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活で、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイト等日本生活で、アルバイト等日本生活では、アルバイト等日本生活で、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイト等日本生活で、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイギーを対しなどのでは、アルバイトを含めなどのでは、アルバイト等に対しなどのでは、アルバイを含めなど	第5回			
(事後)興味のある航空会社と仕事について調べる		航空業界について	(学修内容)航空	3業界の仕事の特性と各仕事内容、求められる人材 
(表情・アイコンタクト) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)日・表情訓練を実行し、表情&アイコンタクトに心掛ける  求められる基本能力の育成・2 (身端み・色) (学修内容)身端みとおしゃれの違い、色彩心理、パーソナルカラーについて (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)自分に収合う色を知る。身の回りで色彩心理を利用した事例を調べる  求められる基本能力の育成・3 (技捗・態度) (学修内容)接い態度(姿勢・お辞儀・歩き方)・マナーの大切さ (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)日常生活でも技捗・良い姿勢・お辞儀・歩き方を実行する  求められる基本能力の育成・4 (声と言葉週い) (声と言葉週い) (学修内容)発声練習と言葉違い(配慮表現と研語)について (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え、良い聴き手になる(グループワーク) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する  第11回 第12回 第2日 (学修内容) 顧客心理を理解してCS(顧客満足)実践を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある簡客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する。 (学作内容) あ客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある簡客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する。(交流分析) (学修内容)変別の内容)(30分) (事後)誰にでもある簡客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する。(交流分析)を対な考える (学修内容)のの分)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する。(交流分析)を学体が見趣の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振速の、流スピタリティ・マネジメントとまとめ(レボートの書を方説明) 第15回	第6回		1 -	
第7回			(学修内容)第一	印象の大切さ、メラビアンの法則、表情&アイコンタクト
(身噛み・色) (事物事後学修課題の内容)(30分) (事後)自分に似合う色を知る。身の回りで色彩心理を利用した事例を調べる (学修内容)挨拶・態度(姿勢・お辞儀・歩き方)・マナーの大切さ (挨拶・態度) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)日常生活でも挨拶・良い姿勢・お辞儀・歩き方を実行する (学修内容)発声練習と言葉違い(配慮表現と敬語)について (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)発声練習と配慮表現を日常生活でも実行する (学修内容)発声練習と配慮表現を日常生活でも実行する (活し方・聴き方) (話し方・聴き方) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え、良い聴き手になる(グループワーク) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する (学修内容)顧客心理) (学修内容)顧客心理と理解してCS(顧客満足)実践を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)離にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する (学修内容) 部を係のタイプを知り、応対を考える (学修内容) お客様のタイプを知り、応対を考える (学修内容) お客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)な流分析的に対を考える (学修内容)な流分析のら応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する ホスピタリティ・マネジメント まとめ(レボート説明) (学修内容)ホスピタリティを楽の企業研究レボートの構成を考	第7回	(Kin ) I = 2 / / I		··= ····· / · ··· /
(接拶・態度) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)日常生活でも挨拶・良い姿勢・お辞儀・歩き方を実行する  求められる基本能力の育成・4 (声と言葉遣い) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)発声練習と配慮表現と敬語)について (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)発声練習と配慮表現を日常生活でも実行する  求められる基本能力の育成・5 (話し方・聴き方) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え、良い聴き手になる(グループワーク) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する  顧客満足実践事例・1 (原答心理) (学修内容)顧客心理を理解してCS(顧客満足)実践を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)能にでもある顧客心理を理解して、アルパイト等日常生活でも活用する (学修内容)あ客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (交流分析) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振動を発展して、アルパイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活料を表して、アルパイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活用する (学修内容)が表が表して、アルパイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活が表して、アルパイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活が表して、アルバイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活が表して、アルバイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活が表して、アルバイト等日常生活で、大きの交流の仕方を学んだ内容から振り、活が表して、アルバイトを開いて、「学修内容)が表とは、「学修内容)が表とは、「学修内容)が表とは、「学修内容)が表とは、「学修内容)が表となり、「学修内容)が表とする。「学修内容)が表となり、「学修内容)が表となり、「ディー・アルバイトの書き方説明)(学修内容)が表となり、「学修内容)が表して、「学修内容)が表して、アルバイトを関いて、アルバイトを関いて、アルバイトを関いて、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイト等日で、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表して、アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。アルバイトを表している。	第8回		(事前事後学修設	思題の内容)(30分) 後)自分に似合う色を知る。身の回りで色彩心理を利用した事例を調
第11回 (事と言葉遭い) (事前事後学修課題の内容) (30分) (事後)発声練習と配慮表現を日常生活でも実行する (学修内容)正しく伝え、良い聴き手になる(グループワーク) (事前事後学修課題の内容) (30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する (学修内容) 顧客満足実践事例-1 (原答心理) (学修内容) 顧客心理を理解してCS(顧客満足)実践を考える (事前事後学修課題の内容) (30分) (事後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する (学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容) (30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容) (30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)交流分析の応対を考える (学修内容) 交流分析の応対を考える (学修内容) 交流分析の応対を考える (学修内容) が、活用する (学修内容) ホスピタリティ・マネジメント まとめ (レポートの書き方説明) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考	第9回		(事前事後学修設	思題の内容)(30分)
第10回 (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)発声練習と配慮表現を日常生活でも実行する  求められる基本能力の育成-5 (話し方・聴き方) (学修内容)正しく伝え、良い聴き手になる(グループワーク) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する  顧客満足実践事例-1 (顧客心理) (学修内容)顧客心理を理解してCS(顧客満足)実践を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルパイト等日常生活でも活用する (学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルパイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (交流分析) (事後)アルパイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)交流分析から応対を考える (学修内容)交流分析から応対を考える (学修内容)交流分析がら応対を考える (学修内容)で流分析がら応対を考える (学修内容)で流分析がら応対を考える (学修内容)で流分析がら応対を考える (学修内容)で流分析がら応対を考える (学修内容)で流分析がら応対を考える (学修内容)が流分があり、活用する (学修内容)が、活用する (学修内容)が、活用する (学修内容)が、活用する (学修内容)が、スピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事能)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考			(学修内容)発声	練習と言葉遣い(配慮表現と敬語)について
#11回 (話し方・聴き方) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する (享修内容)顧客流足実践事例-1 (資修内容)顧客心理を理解してCS(顧客満足)実践を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する (学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (タイプ別) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)交流分析) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)交流分析から応対を考える (交流分析) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する (学修内容)ホスピタリティ・マネジメント まとめ(レポート説明) (学修内容)ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考	第10回	(PCロ末垣11)	1 -	
#11回 (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)正しく伝え・良い聴き手を日常生活でも実行する  顧客満足実践事例-1 (顧客心理)  第12回  第13回  第13回  第14回  第14回  第14回  第15回  (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する (学修内容)あ客様のタイプを知り、応対を考える (学修内容)あ客様のタイプを知り、応対を考える (学修内容)あ客様のタイプを知り、応対を考える (学修内容)あ客様のタイプを知り、応対を考える (学修内容)の方容)の分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (交流分析)  (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する ホスピタリティ・マネジメント まとめ(レポート説明)  第15回  (学修内容)ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考			(学修内容)正し	,く伝え、良い聴き手になる(グループワーク)
(顧客心理) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する (学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)交流分析から応対を考える (交流分析) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する ホスピタリティ・マネジメントまとめ(レポート説明) (学修内容)ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考	第11回	(BL C / ) *60 C / ) /	1 -	
#12回 (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活用する  顧客満足実践事例-2 (タイプ別) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する  顧客満足実践事例-3 (交流分析) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する  (学修内容)交流分析から応対を考える (学修内容)交流分析から応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する  ホスピタリティ・マネジメント まとめ(レポート説明) (学修内容)ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考			(学修内容)顧客	r心理を理解してCS(顧客満足)実践を考える
(学修内容)お客様のタイプを知り、応対を考える (タイプ別) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルパイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する (学修内容)交流分析から応対を考える (交流分析) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルパイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する ホスピタリティ・マネジメント まとめ(レポート説明) (学修内容)ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事能)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考	第12回		(事:	後)誰にでもある顧客心理を理解して、アルバイト等日常生活でも活
#13回 (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、相手のタイプに応じた接し方に活用する  顧客満足実践事例-3 (交流分析) (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振返り、活用する  ホスピタリティ・マネジメント まとめ(レポート説明) (事修)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考				
顧客満足実践事例-3 (交流分析) 第14回 第14回 第15回 (学修内容) 交流分析から応対を考える (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振 返り、活用する (学修内容) ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考	第13回		(事:	
# 第14回 (事前事後学修課題の内容)(30分) (事後)アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振 返り、活用する (学修内容)ホスピタリティ・マネジメントとまとめ(レポートの書き方説明) まとめ(レポート説明) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考				行析から応対を考える
まとめ(レポート説明) (事前事後学修課題の内容)(60分) (事後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考	第14回		· (事: 返り	後) アルバイト等日常生活で、人との交流の仕方を学んだ内容から振 」、活用する
	第15回		(事前事後学修設	問の内容)(60分) 後)興味を持ったホスピタリティ産業の企業研究レポートの構成を考

授 業 名	生涯学習	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コ <i>ー</i> ド	IC2311	
英 文 名	Lifelong Learning	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択		
担当者	<b>渡邊 雄一</b> 対象							
授業の概要	人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会の実現のため、学習者の特性の把握、生涯学習・社会教育の内容・方法・形態、生涯学習関連機関相互の連携のあり方、学習情報の提供と相談などの効果的なあり方を学び、生涯学習の新しい可能性を切り拓く力を育成する。ビデオを見たり、グループディスカッションやプレゼンテーションを行いながら授業を進める。 授業の概要							
学修成果到達目標	1)生涯学習社会の望ましい学習機会や環境について説明すること 2)生涯学習支援者の支援のあり方について説明することができる 3)生涯学習振興策の内容と地域の生涯学習推進の実際についてプ	•		<b>すうことが</b>	できる。			
	知識・理解		凡用的技能 () 全 \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	A15# ## ID	<del></del>			
学位授与の方針との関連	態度・志向性	22	総合的な学習経験と	創造的思	考力			
万里での原産								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループ' ICT活	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常( 40		ま習		刮作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題	発見・解	決能力		)	
テキスト	授業中に指示する。							
参 考 書	適宜、授業中に紹介する。							
課題に対する フィードバック の方法	フィードバックとして理解度確認テストを回収後、解答の解説を行	います。						
留意事項	授業中に出された課題に対して主体的に取り組むこと。地域の生涯 い。	学習施設	を訪問し、学習活動	かに参加す	ることが覧	望まし		
オフィスアワー	毎週1回(休業期間を除く。)オフィスアワーを設けます。							
実践的教育								

## 授業名 生涯学習

	工柱丁目	
授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
(元)		・
		J II C C C V V V V C IN IV C C I S I C C I I I I I I I I I I I I I
	生涯学習とは何か	(学修内容)生涯学習の理念について基本的考えを理解できる。
~~~		
第2回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		いるかについてまとめておく。
	人間形成と生涯学習	(学修内容)自らが考えるライフコースの中で「学ぶこと」の意味について考えるこ
		とができる。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		予習として自ら生涯にわたって学習することの意味について箇条書きに まとめる。
	 生涯発達と発達課題	(学修内容)人間の生涯にわたる発達段階とそれぞれの発達課題の内容について具体
		的に考察する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		自らの今後の人生を見通し、学ぶことの意味・必要性について考えてく
	 生涯学習論の発端と経緯について	る。 (学修内容)生涯学習論の発生の背景とその後の経緯について理解できる。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、プリントの要点を箇条書きにする。
	 ラングランの生涯教育論	 (学修内容)ラングランの提唱した生涯教育の理念について理解できる。
	ファップンの工作教育論	(子形にはアプラブラブの旋泊のに工歴教育の短心について理解できる。
第6回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		復習としてプリントを読んでラングランの考え方の要点をまとめる。
	 日本における生涯教育の理念	 (学修内容)日本における生涯教育、生涯学習についての基本的考えを理解できる。
	口本にのける主座教育の達念	(子彦内谷)日本にのける主族教育、主族子首についての基本的考えを注解できる。 (事前事後学修課題の内容) (60分)
第7回		復習として、日本の生涯教育・生涯学習の歴史的経緯について要点を箇
		条書きにまとめる。
	学が国の大涯党羽祭にユス党羽知	(学校中央) 学が日の先近学習会にユス度中的収集を学習知
	諸外国の生涯学習論にみる学習観 	(学修内容)諸外国の生涯学習論にみる歴史的経緯と学習観、人間観について理解で きる。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習としてプリントを読んで要点をまとめる。
	 OECDのリカレント教育	(学修内容)OECDのリカレント教育について理解できる。
	したこのうカレント教育	(子彫内台)000000000000000000000000000000000000
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習としてプリントを読んで要点をまとめる。
	口★にもはえた運動会会の展開	(学校中央) 日本にもはえた海教会会からた江学習会会の歴史的本演について理解で
	日本における生涯教育論の展開 	(学修内容)日本における生涯教育論から生涯学習論への歴史的変遷について理解で きる。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、生涯学習社会の制度的変遷の要点を箇条書きにまとめる。
		/ 当め中央・17年 18年 184
	日本における生涯学習の必要性と各種審議会答申 について	(学修内容)社会教育審議会、中央教育審議会などにみられる生涯教育の理念と具体 案について理解できる。
第11回	10000	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、プリントを読んで、生涯学習の考え方の歴史的変遷の要点
		をまとめる。
	生涯学習振興策の立案と推進について	(学修内容)地方自治体が立案する生涯学習振興策の内容を調べ、生涯学習の推進の 実際と関連させた上で、整理した内容のプレゼンテーションを行う。
第12回		美際と関連させた工で、登珪した内谷のプレゼンデージョンを17つ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
×1- /		予習として、自分が住む地方自治体のHPなどから生涯学習振興策を調べ
		てまとめる。
	生涯学習の実施状況 生涯学習世論調査	(学修内容)生涯学習世論調査から生涯学習の実施状況を確認し、グループ討議を通 して望ましい生涯学習の在り方について考察する。
第13回	エ#エテ目 뜨빼멘트 	して望ましい生涯子宮の仕り方について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		予習として、自分が住む地方自治体のHPなどから生涯学習実施状況を調
	A VENCENTAL A LE DATE DE LA CONTRACTOR D	べてまとめる。
	生涯学習社会における社会教育について 	(学修内容)生涯学習の中核を担う社会教育の役割について考察する。
第14回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
2,- , ,		復習として、社会教育の具体的内容について要点をまとめる。
	生涯学習の事例発表	(学修内容)自分が住む地方自治体の生涯学習の取り組みについて、調べた内容のプ しぜいテーションを行う
第15回		レゼンテーションを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
,,, . o E		予習として、自分が住む地方自治体の生涯学習振興策及び実施状況を調
		べて、発表用資料にまとめる。

授	業	名	地域プランド	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2313
英	文	名	Local Brand	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	新矢 昌昭	対 象 学 生	総合文化2回生	Ξ			
授美	巻の相	既要	地域プランドとは、地域活性化のための取り組みのことである。この自らの地域プランドの課題や方策を考察していく。特に、本校が位置ている。フィールドワークや見学を通して、「京都プランド」の強み	はする 京都	『は全国でも有数な				
学(到)	修 成		1) 地域プランドを理解する 2) 「京都プランド」を理解する 3) 自らが住む地域プランドを考えてみる						
			知識・理解		用的技能				
学位			態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針	との	関連							
アク ラー 対象	ニン	グ	PBL ディスカッション・ディベート ク 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) I		リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評(西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (80%) 口述 実習 実技	平常記(20		実習		刮作物 実技	
評(西基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレゼ 観点 授業態度・参加意欲 (ジンテーシ	マラン能力 課題) (発見・解:	決能力)
テ :	キ ス	۱,	使用しない						
参	考	書	プリントを配布する						
課題 フィ - の方	ードハ		グループワーク、発表へのコメントを加える						
留;	意 事	項							
	フィ		研究室の扉に貼付する						
実践	的	教育							

授 業 名 **地域プランド**

受業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)この講義の進め方と諸注意
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおく
	地域ブランドとは何か	(学修内容)地域ブランドの概要
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) どのような地域プランドがあるのかを調べ、HPなどをコピーしておく
	地域ブランドの背景	(学修内容)何故、地域ブランドなのか
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 興味のある地域ブランドの取り組みを調べておく
	食の地域プランド	(学修内容)食の地域プランドの事例
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 食の地域ブランドについて、どのようなものがあるのかを調べておく
	事例発表 1回目	(学修内容)地域ブランドの発表、討議
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) これまでの講義や自己が調べたことをまとめ、レジュメを作成しておく
	事例発表 2回目	(学修内容)地域ブランドの発表、討議
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) これまでの講義や自己が調べたことをまとめ、レジュメを作成しておく
	事例発表 3回目	(学修内容)地域ブランドの発表、討議
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) これまでの講義や自己が調べたことをまとめ、レジュメを作成しておく
	地域プランドの取り組み	(学修内容)地域ブランドの成功事例
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事例について、その地域について自ら確認しておく
	地域ブランドの失敗	(学修内容)地域ブランドの失敗事例
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事例について、その地域について自ら確認しておく
	京都ブランド	(学修内容)京都ブランドの強み
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 京都ブランドについて、どのようなものがあるのかを調べておく
	京都プランドの歴史	(学修内容)どのようにして、京都ブランドは形成されたのか
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 「古都」京都に関する配布プリントを読んでおく
	地域プランドについての事前発表	(学修内容)グループごとによる発表、討議
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 行先についてのレジュメを用意
	地域プランドを歩く 1回目	(学修内容)担当グループによる案内と解説
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメ作成と行程の提示
	地域ブランドを歩く 2回目	(学修内容)担当グループによる案内と解説
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) レジュメ作成と行程の提示
	地域プランドの事後発表	(学修内容)グループごとによる発表、討議
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) フィールドワーク先のレジュメを用意

授	業	名	多文化共生を考える	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	IC2314	
英	文	名	Multicultural Coexistence	開講時期	秋学期		必 修 選 択	選択		
担	当	i者	松尾 章子 対象 常生 総合文化2回生							
授業	●の	概要	総務省(2006)は、「多文化共生」を「国籍や民族などの異なる人。こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と、本と世界との距離はとても近くなり、日本社会で暮らす外国人も増えの基礎知識を学び、それを毎日の生活に活用するという視点からまケーション自体が異文化であることにも気づいてもらいたい。	している。 えている。	交通手段や通信の 本授業では、主に)飛躍的な 二異文化コ	発展に伴い ミュニケ・	ハ、日 ーショ		
		成 果目 標	1)多文化共生・異文化コミュニケーションの基礎概念について簡単2)多文化共生社会を目指す日本の課題を指摘することができる。3)多文化共生を目指す地域社会のあり方や課題について意見を述べ							
			知識・理解	沂	1用的技能					
		与の	態度・志向性	44 MC	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針	٥ع	の関連								
アクラー	=:			レーリグループワ I C T活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評値	西方	方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		美 レポ 実習		制作物 実技		
評値	西县	基準	主たる評価の	ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テ =	+ ;	スト	石井敏他著 『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション:多文化共会 0円 + 税	生と平和権	5築に向けて』 有	斐閣選書	2013年	2,00		
参	考	書	必要に応じて授業内で紹介します。							
	-ド	対する ·バック								
留意	意	事項	積極的な授業参加を期待します。							
		ィス	研究室前に日時を掲示しますので確認してください。							
実践	的	教育								

授 業 名 多文化共生を考える

,	タスル大工で与んる	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業の進め方・到達目標の説明・自己紹介
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
715 . [4]		事後:授業内容を振り返る。
		子及・技术自己に成り起る。
	日本のグローバル化と多文化共生	 (学修内容)人の移動と文化・社会の多様性
	日本のプローバル化と多文化共主	(子形内台) 八の物助と文化・社会の夕像は
第2回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第 2四		(争削争後子修辞題の内台)(60万) 事前:テキストの1章を読む。
	ナル 田ナル タナルトは	事後:授業内容を振り返る。
	文化・異文化・多文化とは	(学修内容)氷山モデル、トータルカルチャーとサブカルチャー
77.0 C		(市分市後労物理院の中央) (70八)
第3回		(事前事後学修課題の内容)(70分)
		事前:テキストの2章、3章を読む。
	+ O + 60 0	事後:授業内容を振り返る。
	自分を知る	(学修内容)アイデンティティ、ジョハリの窓
第4回		(事前事後学修課題の内容) (70分)
		事前:テキストの12章、14章を読む。
		事後:授業内容を振り返る。
	コミュニケーション	(学修内容)非言語コミュニケーション、高コンテクスト文化・低コンテクスト文化
		(事前事後学修課題の内容) (60分)
第5回		事前:テキストの13章を読む。
		事後:授業内容を振り返る。
	シミュレーション	(学修内容) バーンガ体験
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:テキストの5章を読む。
		事後:感想を書いて提出する。
	視点を変える	(学修内容)自文化中心主義、文化相対主義
	The state of the s	(1) PITT AND TO LESS NICHAILES
第7回		 (事前事後学修課題の内容)(60分)
까니다		事前:テキストの6章を読む。
		事後:授業内容を振り返る。
		(学修内容)「やさしい日本語」の内容と表現
	「「「「「「「」(嗣正により、「「」の交叉日	(子形内音) 「そとしい日本品」の内音と収集
第8回	,	 (事前事後学修課題の内容)(60分)
카이터		事前:テキストの11章を読む。
		事後:感想を書いて提出する。
		「学修内容」外国人との交流、「やさしい日本語」の使用
	有	(子形が音)が国人との文派、「そとしい日本品」の反角
第9回	5 /	 (事前事後学修課題の内容)(60分)
ઋ키띄		「事前事後子隊麻盗の行音)(60カナ
		事後:感想を書いて提出する。
	差別を考える	
	左別で与んる	(学修内容)イメージ、ステレオタイプ、偏見
₩40E		(事前事後労権課題の中央)(20八)
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:テキストの8章を読む。
	世界の <i>压</i> 体知	事後:授業内容を振り返る。
	世界の価値観	(学修内容)価値観、対立
~~ · · · ·		/ 市公市体光均温度の中央 > / 65 / 5
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:テキストの9章を読む。
	III > (L) Tr	事後:授業内容を振り返る。
	異文化適応	│(学修内容)カルチャーショック、U字・W字曲線
第12回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:テキストの4章を読む。
		事後:授業内容を振り返る。
	合理的配慮と平等:プロブレムマップ	(学修内容)グループワーク
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:テキストの10章を読む。
		事後:プロブレムマップを仕上げて提出する。
	合理的配慮と平等:ロールプレイ	(学修内容)グループワーク
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事後:感想を書いて提出する。
	多文化共生社会の実現に向けて	(学修内容)授業で学んで内容を振り返り、多文化共生社会の実現に向けて考える
		(事前事後学修課題の内容) (70分)
第15回		事後:レポート試験に向けて準備する。
	1	ı

授 業 名	情報サービス演習	開講	1回生	単位数	2単位	科目	IC1304		
	Information Service Practice	学 年 開 講	· · · · ·	1 12 20	必修	選択			
		時期							
担当者	渡邊 雄一 対象 総合文化1回生								
授業の概要	情報サービス、レファレンスサービス業務に必要な各種情報源(冊子体、電子データ)の基礎知識や検索理論・検索技法を講義と演習を通して学習する。また、図書館での蔵書検索、冊子体の文献情報の読み方、データベースの利用法等をテキストに記載されている演習課題を通じて実践的に身につけていく。発信型情報サービスの理解を深めるために、グループワーク、プレゼンテーションを行いながら授業を進める。								
学修成果到達目標	1)図書館利用者の情報要求に対し、適切な情報源(電子情報、冊子情報)を用いて情報探索することができる。 2)情報検索理論を理解し、適切な情報検索技術を用いて検索することができる。 3)パスファインダーの調査成果についてプレゼンテーションすることができる。								
	知識・理解	沪	用的技能						
学位授与の	態度・志向性	44 ME	合的な学習経験と	:創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・		#		-	125 5				
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	/ーク](自主学習支援)		ゼンテーシ	ノヨン			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		・ ・ 実習		削作物 ミ技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)		
テキスト	原田智子『情報サービス演習』(現代図書館情報学シリーズ7)、	樹村房、2 ¹	021年						
参考書	随時指示する。								
課題に対する フィードバック の方法	フィードバックとして理解度を測る小テストを実施後、解答の解説	を行います	-						
留意事項	・レファレンスサービス及び情報検索に関する基礎的な理論を活用おける情報サービスを実践的に理解していくため、「情報サービスくこと。(「情報サービス論」あるいは「情報サービス」を履修済み・講義で紹介されたデータベースについては、授業後に再度利用し、復習すること。	論」で学習 ⊦であるこ	した基本的な理論 とが望ましい。)	はしっか	りと復習し	してお			
オフィス アワー	毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館 スサービスについて解説を行います。	に勤務。実	₹務経験をもとに情	情報サービ	ス、レフェ	ァレン			

授業 名情報サービス演習

授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の概要を理解し、授業計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスの内容を確認しておくこと。
	情報サービスの設計と評価	(学修内容)情報サービス、レファレンスサービスの概要を理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト1章、2章を読んで予習しておくこと。
第3回	情報探索の基礎	(学修内容)情報検索理論について、検索方式、検索語、トランケーションを中心に 学習する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト2章を読んで予習しておくこと。
	情報資源の探し方	(学修内容)さまざまな情報資源の種類、使い方について学習する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回講義の検索基礎理論を理解しておくこと。 テキスト3章を読んで予習すること。
第5回	Webページ、Webサイトの探し方	(学修内容)Webページ、Webサイト、検索エンジン、インターネット上の情報の探し方について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト4章を読み予習すること。
	図書情報の探し方	(学修内容)図書情報の種類、特徴、探し方について学習する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト5章を読み予習すること。
	雑誌および雑誌記事の探し方	(学修内容)雑誌、雑誌記事の種類、特徴、探し方について学習する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト6章を読み予習すること。
	新聞および新聞記事の探し方	(学修内容)新聞の種類、特徴、探し方について学習する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト7章を読み予習すること。
第9回	言葉、事柄、統計の探し方	(学修内容)言葉、事柄、統計資料の種類、特徴、探し方について学習する。(図書館演習) (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト8章を読み予習すること。
第10回	歴史、日時、地理、地名、地図の探し方	(学修内容)歴史、日時、地理、地名、地図資料の種類、特徴、探し方について学習する。(図書館演習) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト9章、10章を読み予習すること。
第11回	法律、判例、特許の探し方	(学修内容)法令、判例、特許資料の種類、特徴、探し方について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト12章を読み予習すること。
	発信型情報サービス	(学修内容)発信型情報サービス(パスファインダー)の構築する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト15章を読み予習すること。
第13回	人物、企業、団体の探し方	(学修内容)人物、企業、団体資料の種類、特徴、探し方について学習する。(図書館演習) (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト9、10章を読み予習すること。
第14回	レファレンスコレクションの整備	(学修内容)レファレンスコレクションの整備・評価の在り方について学習する。Wb上に公開されているデータベースの調査、評価を行う。(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト14章を読み予習すること。
第45 同	パスファインダーの調査成果発表 まとめ	(学修内容)パスファインダー調査成果を発表する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 各自調査結果の発表準備を行う。

授	業	名	キャリアデザイン a	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	CS1105	
英	文	名	Career Design	開講時期	春学期		必 修選 択	必修		
担	当	者	堀出 雅人	対 象 学 生	総合文化1回生	<u> </u>		•		
授業	€の根	我要	キャリアとは、その語源をたどれば「人生」という意味をもつ。一「進路を考えることに違和感を感じるかもしれない。しかし、この2分からの自分がどうありたいのか、目標や方向性を定めることが重要るが、あなたの人生の現時点の設計図を描き、その実現に向けたカスキルを習得するとともに、人生の設計図を実現するためのライフ・お金の流れ)の作成などである。授業では担当教員以外にもより専門授業の進捗度、ゲスト講師との日程調整などによって、下記のシラルは、より学びを深めるために、感染症予防対策を取りながら、グル・	手間の学である。 『である。 『 を培ントれ でいなでいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	がをより充実したもこの授業を通して、 この授業を通して、 具体的には就職活動 も、人生の出来事) もいち授業を深める もの内容が前後す	のにする 人生100年 かに向けた とキャゲス る場合も	ためには、 F時代と言 基礎的なタ シュフロ・ ト講師をオ ある。授ၨ	これ われ 田識や 一表(習く。 業中で		
	多 成		1)自らの将来を切り拓くため、働く意味、キャリアやキャリア・2)進路実現のためインターンシップや実習や就職活動に取り組み3)人生の設計図としてライフイベント表とキャッシュフロー表を44)仲間と積極的にコミュニケーションを取り協力して授業の課題(意義と心権 作成するこ	購えを表現すること ことができる。					
			知識・理解	沂	1用的技能					
学位	授与	。 の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針	との	関連								
アク ラー 対象:	ニン			レーリグループワ I C T活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評(西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		く レポ 実習		制作物 実技		
評(五基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
	キス考		授業の初回に無償のテキストを配付します。各自テキストには名前を提供します。 日本	を書くこと	こ。毎回の授業時に	持ってく	ること。			
課題 フィー の方:	- ドバ		提出された課題については授業中での講評、あるいは、適宜コメントを付けて返却することで学修成果へのフィードバックを行います。プレゼンテーションの際は事前に評価指標を公表します。その指標に沿って、発表後に全体やグループへコメントを返します。							
留意	意 事	項	傾聴は職場や生活なかで人と人との信頼関係を生む大切な行為です。授業担当者の説明をよく聴く、受講生同士の話し合いや発表の時にもまず相手の話をよく聴きましょう。講義は授業担当者が一方的に「話す」ではなく、受講生へ「問い」を投げかけながら進めます。挙手や発言を求められた場合は積極的に応じましょう。学びが深まります。毎回、授業をふりかえる課題を主にGoogleClassroom上で出します。そのほとんどの締切は次の授業日の前日とします。授業になんらかの理由で欠席する際は事前にku096horide®kyotokacho-u.ac.jpまでメールを送ることを心がけましょう。							
	フィ ヮ・		授業終了後に教室で行います。また、まとまった時間の相談が必要な	な場合はス	メールを下さい。E	程調整を	します。			
実践										

授業名 キャリアデザイン a

	1100000	WW 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)「キャリアデザイン」の意味を説明することができる
**	キャリアデザインの意味	学生生活とお金の関係を説明することができる
第1回	学生とお金の知識	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:シラバスを読んでくる
	お金の役割を知る	事後:授業の感想をまとめ提出 (学修内容)人生設計に欠かせないお金の役割を説明できる
	の並の反割を知る	(子修内台) 八主政制に大がせないの並の役割を試明しさる
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
7,52		事前:配布資料Lesson2を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	お金を使う	(学修内容)人生をより充実させるためのお金の使い方を説明できる
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson3を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	働きお金を稼ぐ	(学修内容)お金を稼ぐための方法、特に様々な働き方を説明できる
₩46		(東前東後労協理順の中容)(60八)
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料Lesson4を読んでくる
		事前・配布員作Lessonを読がてくる
	お金を貯める・増やす	(学修内容)将来必要となるお金を貯める方法を説明できる
	000000000000000000000000000000000000000	
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson5を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	お金を借りる	(学修内容)ローンを組むメリットとデメリットを説明できる
第6回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前:配布資料Lesson6を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	お金のトラブル	(学修内容)多重債務について説明できる
笠っ同		(東前東後学修知師の内容)(60/))
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前:配布資料Lesson7を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	税金と社会保障	(学修内容)生活に関わる税金と社会保障について説明できる
	IN THE CITE OF THE	
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson8を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	万が一に備える	(学修内容)保険の種類について説明できる
**		/ = + = + + + + + + + + + + + + + + + +
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson9を読んでくる 事後:授業の感想をまとめ提出
	ライフプランとお金	「学修内容」ライフイベント表とキャッシュフロー表を作成する意義を説明できる
	フィップンとの金	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		事前:配布資料Lesson10を読んでくる
2,5.1.0,		事後:授業の感想をまとめ提出
	ライフイベント表の作成	(学修内容)ライフイベント表を作成できる
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:ライフイベント表の下書きを進めてくる
	1	事後:授業の感想をまとめ提出
	キャッシュフロー表の作成	(学修内容)キャッシュフロー表を作成できる
等40回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第12回		(事則事後字修謀題の内谷)(60分) 事前:キャッシュフロー表の下書きを進めてくる
		事前・キャッシュノロー表の下音さを進めてくる 事後:授業の感想をまとめ提出
	人生設計図(ライフイベント表とキャッシュフロ	(学修内容)作成したライフイベント表とキャッシュフロー表の要点を説明できる
	一表)の発表	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回	,	事前:人生設計図の説明資料を作成する
		事後:授業の感想をまとめ提出
	自己分析	(学修内容)人生設計図の実現に向けて自らの善さと課題を分析できる
~~··		/ = + = + + + + + + + + + + + + + + + +
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:自分の長所と短所を書き出してくる事後・授業の成相を表とめば出
	就活支援ツールの活用	事後:授業の感想をまとめ提出 (学修内容)インターネット等を活用し就職活動に向けた情報を収集できる
	がルロ又弦ノールの位用	(ナドバサノコノノーかソドザで泊用し熱鴨泊動に回けた開報を収集じるの
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
2,2.00		事前:就職や進学を希望する先の情報をインターネットで調べてくる
		事後:授業の感想をまとめ提出

授	業	名	キャリアデザインb・c	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コード	CS1105			
英	文	名	Career Design	開講時期	春学期		必 修選 択	必修				
担	当	者	堀出 雅人	対 象 学 生	 幼児教育1回生	Ē						
授業	の根	現要	キャリアとは、その語源をたどれば「人生」という意味をもつ。一回生のみなさんにとっては入学後間もない段階で次の 進路を考えることに違和感を感じるかもしれない。しかし、この2年間の学びをより充実したものにするためには、これ からの自分がどうありたいのか、目標や方向性を定めることが重要である。この授業を通して、人生100年時代と言われ るが、あなたの人生の現時点の設計図を描き、その実現に向けた力を培う。具体的には就職活動に向けた基礎的な知識や スキルを習得するとともに、人生の設計図を実現するためのライフイベント表(人生の出来事)とキャッシュフロー表(お金の流れ)の作成などである。授業では担当教員以外にもより専門的な視点から授業を深めるためゲスト講師を招く。 授業の進捗度、ゲスト講師との日程調整などによって、下記のシラバスの授業回の内容が前後する場合もある。授業中で は、より学びを深めるために、感染症予防対策を取りながら、グループワークなど活動的な学習も行う予定もある。									
学们到证			1)自らの将来を切り拓くため、働く意味、キャリアやキャリア・2)進路実現のためインターンシップや実習や就職活動に取り組み3)人生の設計図としてライフイベント表とキャッシュフロー表を4)仲間と積極的にコミュニケーションを取り協力して授業の課題	意義と心構 作成するこ	えを表現すること とができる。							
			知識・理解	汎	用的技能							
学位	授与	。 の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力					
方針。	との	関連										
アク: ラー: 対象:	ニン			グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評値	方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		き レポ 実習		制作物 実技				
評値	基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	・ ョン能力 課題) (発見・解	決能力)			
テ゠			授業の初回に無償のテキストを配付します。各自テキストには名前に接業中に適宜指示します。	を書くこと	。毎回の授業時に	持ってく	ること。					
	・ドバ		提出された課題については授業中での講評、あるいは、適宜コメンクを行います。プレゼンテーションの際は事前に評価指標を公表し、コメントを返します。									
留意	意事	項	傾聴は職場や生活なかで人と人との信頼関係を生む大切な行為です。授業担当者の説明をよく聴く、受講生同士の話し合いや発表の時にもまず相手の話をよく聴きましょう。講義は授業担当者が一方的に「話す」ではなく、受講生へ「問い」を投げかけながら進めます。挙手や発言を求められた場合は積極的に応じましょう。学びが深まります。毎回、授業をふりかえる課題を主にGoogleClassroom上で出します。そのほとんどの締切は次の授業日の前日とします。授業になんらかの理由で欠席する際は事前にku096horide®kyotokacho-u.ac.jpまでメールを送ることを心がけましょう。									
	フィ ワ・	^	授業終了後に教室で行います。また、まとまった時間の相談が必要	な場合はメ	ールを下さい。 E	程調整を	します。					
実践	的教	故育										

授業名 キャリアデザインb・c

	イドラブブライブローと	光板 中岛
授業計画	学修項目 ガイダンス	学修内容・課題 (学修内容)「キャリアデザイン」の意味を説明することができる
	カイタンス キャリアデザインの意味	(学修内谷)・キャリアテリイン」の意味を説明することができる 学生生活とお金の関係を説明することができる
第1回	学生とお金の知識	「事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:シラバスを読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	お金の役割を知る	(学修内容)人生設計に欠かせないお金の役割を説明できる
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第 2四		事前:配布資料Lesson2を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	お金を使う	(学修内容)人生をより充実させるためのお金の使い方を説明できる
~~~		/ 事 <del>/ 事 /                             </del>
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前:配布資料Lesson3を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	働きお金を稼ぐ	(学修内容)お金を稼ぐための方法、特に様々な働き方を説明できる
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson4を読んでくる 事後:授業の感想をまとめ提出
	お金を貯める・増やす	・
	O w c n o o o o o o o o o o o o o o o o o o	( ) Para ( ) Tanka & C. & South Early of South C C S
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson5を読んでくる
	お金を借りる	事後:授業の感想をまとめ提出 (学修内容)ローンを組むメリットとデメリットを説明できる
	の並を借りる	(子序的台)ロークを組むメックトとアメックトを説明できる
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:配布資料Lesson6を読んでくる
	h 6 a 1 = = = 1	事後:授業の感想をまとめ提出
	お金のトラブル	(学修内容)多重債務について説明できる
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
75.1		事前:配布資料Lesson7を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	税金と社会保障	(学修内容)生活に関わる税金と社会保障について説明できる
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>카이</b> 의		事前:配布資料Lesson8を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	万が一に備える	(学修内容)保険の種類について説明できる
₩ o 🗔		/ 東並東後党修理師の中容 / (CO/) )
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前:配布資料Lesson9を読んでくる
		事後:授業の感想をまとめ提出
	ライフプランとお金	(学修内容)ライフイベント表とキャッシュフロー表を作成する意義を説明できる
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		事前:配布資料Lesson10を読んでくる 事後:授業の感想をまとめ提出
		争後、技業の総念をよこの提出
	ライフイベント表の作成	(学修内容)ライフイベント表を作成できる
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:ライフイベント表の下書きを進めてくる 事後:授業の感想をまとめ提出
	キャッシュフロー表の作成	・ 技楽の感恩をよこの提出   (学修内容) キャッシュフロー表を作成できる
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:キャッシュフロー表の下書きを進めてくる 事後:授業の感想をまとめ提出
	  人生設計図(ライフイベント表とキャッシュフロ	● 後、投業の感恩をよどの提出 (学修内容)作成したライフイベント表とキャッシュフロー表の要点を説明できる
	一表)の発表	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回		事前:人生設計図の説明資料を作成する
		事後:授業の感想をまとめ提出
	自己分析	(学修内容)人生設計図の実現に向けて自らの善さと課題を分析できる
		(ナルアコロノハエ以前  白ツ大城に凹げて口りい古じに疎起を刀削しさる
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
	]	事前:自分の長所と短所を書き出してくる
	禁ੱスキャッ II の江田	事後:授業の感想をまとめ提出
	就活支援ツールの活用	事後:授業の感想をまとめ提出 (学修内容)インターネット等を活用し就職活動に向けた情報を収集できる
第15回	就活支援ツールの活用	
第15回	就活支援ツールの活用	(学修内容)インターネット等を活用し就職活動に向けた情報を収集できる

授 業 名	ビジネス文書表現	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CS1114	
英 文 名	Business Writing	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択		
担当者	<b>生野 金三</b> 対象							
授業の概要	ビジネス文書の内容は、社内文書と社外文書に大別されるが、前者 先及び関係者等の社外と遣り取りされる文書である。いずれも正確 業では、ビジネス現場に相応しい文書のあり様について学び、それ 学び、書簡文を作成する。その基盤となる内容としての文書の基本。。	さだけで <i>た</i> を踏まえて	なく、形式を守るこ て文書を作成する。	とも必要 同時に、	である。る 書簡文の	この授 基礎を		
	1.ビジネスで用いられる各種の書式を目的に応じて使い分けている。 2.書簡文の基本を理解し、書簡文を書いている。 3.敬語について理解し、それを適切に使っている。	•						
	知識・理解	j j	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	\$4.00 miles	総合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (60%)     口述     実習     実技	平常i ( 40		険 レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)	
テキスト	適宜、プリントを配布する。							
参考書								
課題に対する フィードバック の方法	・プレゼンテーションを行った際には、作成した教材、教材の提示・提出されたレポートについては、コメントを加えます。	の仕方、訁	舌し方等について解	¥説 します	o			
留意事項	ポートフォリオを作成しますので、授業での学びは整理しておきまします。資料も整理しておきましょう。学修の振り返りにもなりまで		<b>後日、それを基に</b> 設	<b>限題(見出</b>	し) ごと!	こ整理		
オフィスアワー	オフィスアワーの設定曜日・時間帯は研究室のドアに提示します。 ます。	それ以外の	D時間帯でも、研究	窓室に在室	の場合、対	対応し		
実践的教育								

## 授業 名 ビジネス文書表現

受業計画		学修内容・課題				
	オリエンテーション  (授業の目的、授業の進め方)	(学修内容)授業の目的と内容、進め方を確認する。 				
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 各自、履修内容を確認しておく。				
	ビジネス文書の内容	(学修内容)社内文書と社外文書について理解する。				
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、社内文書と社外文書について調べ、要点をメモしておく				
	文書の基本	(学修内容)5Wと1Hについて理解する。				
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 5₩と1Hの内容について調べ、要点をメモしておく。				
	基本文型	(学修内容)基本的な文型について理解する。				
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 基本文型について調べ、要点をメモしておく。				
	短作文	(学修内容)5Wと1Hを念頭に置いて作文を書く。				
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料について、各自ノートにまとめておく。				
	敬語の基本と練習その1	(学修内容)敬語の表現形式を理解する。				
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、日本語の敬語の特色について調べ、まとめておく。				
	敬語の基本と練習その2	(学修内容)敬語の表現形式を理解する。				
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、謙譲語について調べ、まとめておく。				
	敬語の基本と練習その3	(学修内容)敬語の表現形式を理解する。				
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、丁寧語について調べ、まとめておく。				
	敬語の応用練習その1	(学修内容)状況に合わせた敬語の使い分けを理解する。				
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の補習課題を振り返る。				
	敬語の応用練習その2	(学修内容)状況に応じた敬語の使い分けを理解する。				
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の補習課題を振り返る。				
第11回	ビジネス文書作成のポイント	(学修内容)「結論を先に書く」、「簡潔な文にする」、「曖昧な表現は避ける」 「間違い、誤字・脱字に注意する」等のポイントを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の内容を振り返る。				
	ビジネスの文書について	(学修内容)ビジネス文書について検討する。				
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、授業中の内容を振り返る。				
	書簡文の基本	(学修内容)書簡の基本構成を理解する。				
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、授業中の内容を振り返る。				
	書簡文を書く	(学修内容)教育実習のお礼状を書く。				
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、教育実習のお礼状を書いておく。				
	学習のまとめ(ポートフォリオの作成)	(学修内容)学修を振り返り、ポートフォリオを作成する。				
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 学修内容を整理しておく。				

授 業 名	<b>情報ビジネス演習</b> c~g	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CS1106	
英 文 名	Information Business Practice	開講時期	春・秋学期		必 修 選 択	必修		
担当者	荘厳 茶茶・高村 伸吾・猿渡 綾子	対 象学 生	幼児教育1回生	Ē				
授業の概要	現在、パーソナルコンピューターを介した記録や情報検索などが日常的におこなわれ必要不可欠となっている。コンピューターを用いた基本的な情報利活用能力を習得するため、本科目では文章編集ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの使い方や活用方法、インターネットを用いた情報検索などについての実習をおこなう。またインターネットや情報機器を使用するにあたっての注意事項についても併せて学習する。演習データの提供や提出はICTを活用して実施する。							
学修成果到達目標								
	知識・理解	沙	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 50 % )     口述     実習     実技	平常記 (50		まで 大ポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ノョン能力 課題	発見・解	決能力		)	
テキスト	保育者のためのパソコン講座 阿部正平 萌文書林							
参 考 書	<b>:</b> 書							
課題に対する フィードバック の方法	・バック							
留意事項	・情報処理室のパソコンで各自作業を行いますので、入学時に配布されたユーザーIDとパスワードが 分かる状態で授業に参加してください。 ・2回目以降はUSBメモリにデータを保存しますので、毎回USBメモリを持参してください。 容量やメーカーは問いませんので各自で準備してください。 ・毎回の授業の内容は前回の授業内容をふまえたものであるため、欠席をしないように心がけること。							
オフィスアワー	授業初回にアナウンスします。 【高村】授業の前後時間で対応します。 【荘厳・猿渡】研究室前にも掲示します。							
実践的教育								

## 授業名 情報ビジネス演習c~g

受業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業概要の説明,情報処理室の使用方法,Gメールの送受信
	Windowsの基本操作	アカウントの追加,情報に関するリスク・対策・モラルについて
第1回	メールの基本操作	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	情報セキュリティ、モラル 	事前:シラバス、教科書P31~49、373~382、392~395、入学時に配布 された情報マニュアルの冊子を読み持参 事後:メールの送信
	Word 1 (基本操作)	(学修内容)USBメモリ使用上の注意,Wordの開始、保存、終了
第2回		コピー&貼り付け,ページ設定,書式設定、文字カウント (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>카스</b> 티		事前:USBメモリを購入し持参する,教科書P132~140、153、154を読む
	Word 2(文書作成と整形)	事後:第2回課題(Word・書式設定をした文書)をClassroomから提出 (学修内容)検索と置換,ヘッダーとフッター、ページ番号の挿入
		インデントとTabキー、箇条書きなど
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:教科書P137~147、156~160を読む 事後:第3回課題(Word・Tibキーを使用した文書)をClassroomから提出
	Word 3(図入りの文書の作成)	(学修内容)図形、画像の作成、挿入,テキストの配置
₩ 4 E		Snipping Tool の使い方など
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   事前:教科書P181~189を読む 事後:第4回課題(Word・図形や画像を
		使用した文書)をClassroomから提出
	Word 4 (表作成)	(学修内容)単純な表、複雑な表の作成
<u>شد</u> د ا	文献検索	文献検索について (事前事後学修課題の内容)(30分)
第5回		(争削争後子修誅起の内谷) (30万)   事前:教科書P168~181を読む 事後:第5回課題(Word・表)を印刷し
		提出。文献検索より書籍を1冊選んで読み、次回持参
	Word 5 (総復習)	(学修内容)課題の作成(レジメの作成)
第6回		   (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>第</b> 0四		事前:教科書P129~200を読んで、第2~5回目までの授業を復習する
		事後:第6回課題(Word・レジメ)をClassroomから提出
	PowerPoint 1(基本操作)	(学修内容)スライドサイズの変更,スライドマスターの編集,箇条書き
第7回		インデント、Tabキーの使い方,画像の加工、アニメーションの設定 (事前事後学修課題の内容)(30分)
<b>第/</b> 凹		(争削争後子修綵題の内存)(30万)   事前:教科書P332~344を読む
		事後:第12回課題(PowerPoint・画像加工)をClassroomから提出
	PowerPoint 2(Word、Excelとの連携)	(学修内容)グラフ、表の作成、ノートの記入、印刷設定
第8回		
ઋ이티		事前: 教科書P328~360を読む
		事後:第13回課題(PowerPoint・グラフ)を印刷し提出
	PowerPoint 3(総復習)	(学修内容)プレゼンテーション技法
第9回		次回プレゼンテーション用のスライドを作成  (事前事後学修課題の内容)(30分)
ઋ키리		事前:教科書P328~360を読んで、第12~13回の復習をし、発表テーマ
		を考えてくる 事後:発表用スライドを完成させ、Classroomから提出
	PowerPoint 4(プレゼンテーション)	(学修内容)PowerPointを使ったプレゼンテーションの実際
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:発表用原稿を作成する
	Excel 1(基本操作、関数)	事後:プレゼンテーションの振り返りを行う (学修内容)セル、シート等、各画面の説明,データ入力
		簡単な計算式など
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:教科書P216~251を読む 事後:第11回課題(Excel・セル番地を
	Excel 2 (関数)	使用した計算)をClassroomから提出 (学修内容)各種関数(合計、平均、最大値・最小値、四捨五入、IF関数など)
		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第12回		事前:教科書P236~240を読む
		事後:第12回課題(Excel・関数を使用した計算)をClassroomから提出 ー
	Excel 3(表、グラフの作成)	(学修内容)棒、折線、円、複合などのグラフ,印刷設定
第12回		
第13回		(事前事後学修課題の内容) (30分)   事前:教科書P241~266を読む
		事後:第13回課題(Excel、Word・グラフ)を印刷し提出
	Excel 4 (既存データベースの利用)	(学修内容)e-Stat のデータを利用し、情報を分析評価し整理する
第14回		   (事前事後学修課題の内容)(30分)
사내리		(争削争後子修跡超の内存) (30万)
		事後:選んだ統計データの分析を行う
	Excel 5(総復習)	(学修内容)前回の情報分析結果をレポートにまとめる
		(事益事後常校課題の中央)(20八)
第15回		(事則事復子修誅規(/)内谷 ) (30元 )
第15回		(事前事後学修課題の内容) (30分)   事前:選んだ統計データの分析とレポート案の作成 事後:第14、15回

授 業 名	情報文化と倫理	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CS2121	
英 文 名	Information Culture and Ethics	開講時期	春学期		必 修 選 択	選択		
担当者	湯川 宗紀 対象 対別教育2回生							
	PC、ネット、スマホ等々が日常に欠かせなくなり、意識さえしなく それはどのような世界で我々にどんな恩恵をもたらし、どのような							
	現代に至るまでのメディアの歴史、それによる社会変容、理論的研究を紹介し、 現代における情報文化の問題点と倫理について資料・映像を使い、事例を交えながら考えていきます。 の概要							
	1. メディアの変化を歴史的に学ぶことにより現状の情報文化を把握 2. これまでのメディア研究から情報に対する倫理を理解することが 3. 現在のネット環境と自身との関わり方を考えることができる。		ができる。					
	知識・理解	沪	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 100 % ) 口述 実習 実技	平常記	式験   筆記試駅 %)  口述	策 レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	題発見・解	決能力		)	
テキスト	必要に応じて資料を配付する							
参考書								
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートにコメントを付けて返却							
留意事項								
オフィスアワー	講義前後に対応します							
実践的教育								

## 授業 名情報文化と倫理

	IRTX人IU C III) 生	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)講義計画
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
20.1		シラバスの内容を確認しておく
	<b>関ノーレから知えー</b> レ	( 学校中央 ) 預りもと 立守す の本ルについて
	聞くことから観ること	(学修内容)語りから文字への変化について
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	書物	(学修内容)グーテンベルクの活版印について
	E 170	(The right) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
第3回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		前回のまとめをしておく
	書物が誕生する社会的背景	(学修内容)社会状況と印刷技術について
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	書物がもたらした社会変容	(学修内容)技術による社会変容について
~~ - ·		(本学本/4 学物物 医 6 上京 ) (00 / ) )
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   前回のまとめをしておく
		min we core of the
	出版メディアの誕生	(学修内容)マス・メディア、新聞の誕生について
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
카이의		前回のまとめをしておく
	電子メディア・ラジオの誕生	(学修内容)ラジオと聴衆についての理論紹介
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
212.1		前回のまとめをしておく
	**************************************	( × //n + r'n > -           +           +
	電子メディア・テレビの誕生 	(学修内容)テレビと視聴者についての理論紹介
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	コンピューターの歴史	(学修内容)コンピューターの発展とその背景について
	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	(18111) TO CE OF WILL CONTROL OF
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	インターネットの歴史	(学修内容)インターネットの歴史、特に日本国内での歴史にいて
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   前回のまとめをしておく
	「検索」が世界を創る	(学修内容)検索システムによる社会変容について
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
자니법		前回のまとめをしておく
		N. W. L.
	新しい『1984』 SNSで楽しみ進める監視・管理 社会	(学修内容) SNSの問題点、倫理点について
第12回	TL A	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	LaT トビッグニーカ	( 学校中央 ) 現場のIT世帯の切入し即販上について
	IoTとビッグデータ 	(学修内容)現状のIT技術の紹介と問題点について
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		前回のまとめをしておく
	  意識すら出来ないIT化社会での倫理	(学修内容)現代社会でのITリテラシーについて
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		前回のまとめをしておく
	まとめ	(学修内容)これまでのまとめ
<b>**</b>		(主体主体光体和压力上内) (2-1)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   前回のまとめをしておく
		別問いなこのでしての/
	9.	·

授 業 名	ビジネスマナー	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	CS1113	
英文名	Business Etiquette	開講時期	秋学期		必修選択	選択		
担当者	市川順子	対象学生	幼児教育1回生、総合文化1回生					
授業の概要	ビジネスマナーは、社会の常識やルールを学ぶことによって、相手の立場を考えて行動することを基本とします。本講義では働く場での人間関係や環境を知り、より良い人間関係を築くことに欠かすことのできないコミュニケ ション能力の向上を目指します。また働く場にふさわしい社会人としての立ち居振る舞いについてはロールプレイを通して演習し実践力を身に付け、接客対応ができるまでの応用力を身に付けることを目標とします。							
学修成果到達目標								
	知識・理解	沂	l用的技能					
学位授与の方針との関連	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力			
万町との財産								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		り ポリンポ 実習		削作物 €技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	孫見・解!	決能力		)	
テキスト	株式会社ウイネット ビジネスマナー研究会 編著 『実践 ビジネ.	スマナー』	ウイネット					
参考書	伊藤京子 著 『仕事の基礎・基本』 樹村房 社会人マナーで使用するテキスト							
課題に対する フィードバック の方法	授業内小テストを回収後、解答解説を行います。提出された課題に確認後、返却します。実技(ロールブレイング)についてはその都度		<b>,ます。</b>					
留意事項	授業で学修したことは、できる限り実践し、身につけるようにしてください。							
オフィスアワー	担当授業終了後に実施します。							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:一般企業において10年間、受付応対、電話応 た、一般企業での新人研修や、大学・高等学 修、大学・専門学校での検定対策授業等を担 秘書技能検定準1級面接審査員、サービス接退	校での就職 当。	銭対策授業、インタ	<b>7</b> ーンシッ	プ事前マカ			

## 授 業 名 ビジネスマナー

授業計画	学修項目	学修内容・課題
1文 未 司 匹	オリエンテーション/働くことへの心構え	(学修内容)授業計画について
	S J Z J J J J J J J J J J J J J J J J J	学生と社会人の違いを知り働くことへの心構えについて学ぶ
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		授業までにシラバスをよく読んで確認し、授業をイメージしておく
	社会人としての立ち居振る舞いと基本のあいさつ	(学修内容)社会人としての立ち居振る舞いを学ぶ
		第一印象について考え、よい印象を与える自己紹介考える
第2回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   復習として、感じのよいあいさつの仕方を身に付けるための練習を行う
		侵省として、感じのよれのいさりの仕方を身に刊りるための練省を行う 自分から進んであいさつすることを実践する
	社会人としての言葉遣い 1	(学修内容)敬語の種類と基本を学ぶ
	敬語をを知る	( = \( \frac{1}{2} \) \( \frac{1} \) \( \frac{1} \) \( \frac{1} \) \( \frac{1} \) \(
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   復習として、基本的な敬語を覚えて可能な限り日常で使う
		後日として、金平的な駅間を見れて可能な限り目前で戻り
	社会人としての言葉遣い 2	(学修内容)敬語と接遇用語を使い、人間関係を円滑にするコミュニケーション力を
第4回	接遇用語をつかう	身につける (事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>寿</b> 4凹		(事刑事後子修綵題の内谷) (60万)     復習として、基本的な接遇用語を覚えて可能な限り日常で使う
	電話応対の基本と受け方	(学修内容)電話応対の基本を学び、感じのよい電話の受け方ができるようにロール プレイで練習する
第5回		プレイで練音する   (事前事後学修課題の内容)(60分)
уроц		復習として、学んだ電話の受け方を友人や家族とロールプレイで練習し
		、可能な限り実践する
	電話伝言メモ作成とかけ方	(学修内容)伝言メモ作成のポイントを学ぶ 感じのよい電話のかけ方ができるようにロールプレイで練習する
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、感じのよい電話のかけ方を友人や家族とロールプレイで練
	さまざまなパターンの電話応対	習し、可能な限り実践する (学修内容)さまざまなパターンの電話応対ができるようにロールプレイで練習する
	さまさまなバダーノの電話心対	(学修内谷) さまさまなパターノの電話心対かできるようにロールノレイで練習する 伝言メモの作成を行う
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、実習先やインターンシップ先に電話ができるように練習し
	訪問のマナー	ておく (学修内容)他社を訪問する際の基本を学び、実習先などの訪問の準備を行う練習を
	m31-302 ( )	ta
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		復習として、訪問先で、感じのよい笑顔、あいさつ、立ち居振る舞いが できるようにする
	来客の応対の基本	(学修内容)来客応対の基本を学び、受付・案内・名刺交換をペアワークで練習する
		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回		受付・案内・見送りの流れを復習し、ポイントを確認しておく 友人や家族と名刺交換の復習をしておく
		次八下が成と自和文法の授旨としての(
	冠婚葬祭と慶事	(学修内容)社会人として必要な交際業務(慶事)について知り、対処ができるように
第10回		学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分)
жи		祝儀袋(水引の結び方・のし)について復習しておく
	冠婚葬祭と弔事	(学修内容)社会人として必要な交際業務(弔事)を知り、対処ができるように学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分)
第11回		復習として、弔事のマナーについての知識を確認しておく
	贈答(中元・歳暮)と見舞いのマナー	(学修内容)社会人として必要な贈答の知識と見舞いのマナーの基本を学ぶ
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		贈答の知識と見舞いのマナーについて復習しておく
	ビジネス文書(社内文書)	(学修内容)社会人として必要とされるビジネス文書の形式を知り作成できるように
<b>**</b>		学ぶ
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   社内文書のレイアウト、作成について復習しておく
		E.O.C. T. VII MICE. CIXED CO.
	ビジネス文書(社外文書)	(学修内容)社会人として必要とされる社外文書の形式と返信ハガキの記入について
第14回		学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分)
72 T T		復習として、例を参考にしながら簡単な社外文書が書けるようにしてお
	**************************************	
	文書の取り扱いと郵便の知識まとめ	(学修内容)文書の取り扱いと郵便の知識について学ぶ   まとめ(総復習)
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		文書の取り扱い注意点と郵便の知識について復習しておく
		復習として、これまで学習したことを自分自身で振り返る

授 業 名	キャリア実践演習	開講学年	1・2回生	単位数	1単位	科目コード	CS2120
英 文 名	Career Practical Seminar I	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	富川 拓	対象学生	総合文化1・2	回生、幼	児教育2	回生	
授業の概要	この講義では、目前に迫った進路決定の実現について、計画的、綿けたグループディスカッションや模擬面接、発表、討議などを中心つけ、学生間で情報共有も図りたい。						
学修成果到達目標	1) 自己の進路実現と連携する 2) 就職活動について、明確な意識を持つ 3) 就職活動情報を共有する						
	知識・理解	ì	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL     ディスカッション・ディベート       実習・フィールドワーク     ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常 ( 50		・ レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (基礎的な社会人力		ション能力 課題	発見・解	決能力		)
テキスト	使用しない。プリントを配布						
参考書	講義中に適宜指摘する						
課題に対する フィードバック の方法	グループワークや発表などに関して、コメントを加える						
留意事項	キャリアセンターが実施する企画に参加する場合がある。インター	ンシップ	を受講していること	が望まし	l I		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育							

#### 授業名 キャリア実践演習

受業計画	」 」	 学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)この講義ですること
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおくこと
	就職活動に向けて	(学修内容)就職活動への諸注意
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 就職活動スケジュールの確認
	コミュニケーション力を身につける	(学修内容)グループワークの実践
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) ワークシートをまとめておく
	面接練習	(学修内容)個人面接
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 「面接に対する心構え」を読んでおく
	集団面接練習	(学修内容)集団面接
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「面接に対する心構え」を読んでおく
	グループディスカッション	(学修内容)就職活動を想定したグループディスカッション
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) ワークシートをまとめておく
	先輩からのアドバイス その1	(学修内容)先輩による就職活動体験の報告
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 現在の週就職活動の不安や悩みをまとめておく
	先輩からのアドバイス その2	(学修内容)先輩による就職活動体験の報告
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 現在、就職活動の不安や悩みをまとめておく
	外部講師による講義	(学修内容)今の就職活動と自己の将来
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 講師に対する質問をまとめておく
	企業関連施設訪問(フィールドワーク)	(学修内容)事前の諸注意と企業紹介
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 施設先での質問を考えておく
	学内企業説明会 1回目	(学修内容)学内企業説明会への参加
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) どのようなものであったのかをレポート
	学内企業説明会 2回目	(学修内容)学内企業説明会への参加
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) どのようなものであったのかをレポート
	就職活動報告 その1	(学修内容)現在の就職活動についての現状と報告
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 現状の就職活動関するレジュメの作成
	就職活動報告 その2	(学修内容)現在の就職活動についての現状と報告
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 現状の就職活動関するレジュメの作成
	就職活動報告 その3	(学修内容)現在の就職活動についての現状と報告
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 現状の就職活動関するレジュメの作成

授 業 名	キャリア実践演習	開講学年	1・2回生	単位数	1単位	科目 コード	CS2128
英 文 名	Career Practical Seminar	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	富川 拓	対 象学 生	総合文化1・2[	回生、幼	児教育2	回生	
	この講義では、来年から社会人になるための心構えや知識を涵養すな人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」である社会人基礎			「職場や	地域社会で	で多様	
授業の概要							
学修成果	1) 社会人基礎力を完成する 2) 現代社会を把握する 3) 自己の将来設計を明確にする						
到達目標							
	知識・理解	à	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	¥.	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常 ( 50		i レポ 実習		削作物 €技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (基礎的な社会人力		ション能力 課題) (	発見・解	決能力		)
テキスト	使用しない。プリントを配布する						
参 考 書	講義中に適宜指摘する						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	キャリア実践演習 を受講しておくこと。キャリアセンターが実施 受講していることが望ましい。大阪企業家ミュージアムは代替の場		こ参加する場合があ	る。イン	ターンシェ	ップを	
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。						
実践的教育							

# 授業 名 キャリア実践演習

授業計画	学修項目	学修内容・課題
12 未 미 四	ガイダンス	(学修内容)講義の進め方と諸注意
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバを読んでおく
	現代社会と若者	(学修内容)わたしたちを取り巻く社会情勢
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布プリントを読んでおく
	現代社会と経済	(学修内容)経済の動き
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布プリントを読んでおく
	新聞を読む	(学修内容)新聞の読み方
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布新聞を読んでおく
	新聞から見る現代 その1	(学修内容)新聞記事を元に発表、討議
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 新聞を用いたレジュメを作成
	新聞から見る現代 その2	(学修内容)新聞記事を元に発表、討議
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 新聞を用いたレジュメを作成
	大阪企業家ミュージアム見学(予定)	(学修内容)大阪企業家ミュージアムの見学と職員による講義
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく
	社会人力の復習	(学修内容)社会人力とは何か
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 社会人力についての配布プリントを読んでおく
	社会人力の確認	(学修内容)社会人力ワーク作業
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自らの社会人力を配布プリントから確認しておく
	社会人力の完成に向けて	(学修内容)社会人力チャート記入
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 自己の社会人力の弱点を認識しておく
	社会人力の発表	(学修内容)自己の社会人力についての発表と討議
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 自己の社会人力についてのレジュメ
	社会人力グループワーク	(学修内容)グループワークを通して社会人力を考える
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回発表したレジュメについて、修正、加筆したものを用意
	下級生に向けてのアドバイス その1	(学修内容)就職活動へのアドバイス
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 就職活動体験のレジュメを作成
	下級生に向けてのアドバイス その2	(学修内容)就職活動へのアドバイス
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 就職活動体験のレジュメを作成
	下級生に向けてのアドバイス その3	(学修内容)就職活動へのアドバイス
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 就職活動体験のレジュメを作成

授 業 名	社会人マナー	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コ <i>ー</i> ド	IC1403		
英 文 名	Social Manners	開講時期	春学期		必 修選 択	選択			
担当者	<b>市川 順子</b> 対象								
授業の概要	社会人としての心構え、知っておくべき常識とマナーについて学修します。社会常識を日常生活・仕事に関連させて考え、自らの行動・実践に応用することができることを目標としています。具体的には社会人としての立ち居振る舞いや言葉 遣いの演習を通して、より良い人間関係の構築に欠かせないコミュニケーション能力の向上を目指します。また自己表現 の重要性を認識することで、就職活動等の面接や実社会で必要となる「自分で考えること」や「伝えること」も含めて社会人としての基礎的マナーをグループワークやロールプレイを行いながら学んでいきます。								
学修成果到達目標	1)社会人としての常識を知り、自らの言動において実践し応用で 2)マナーや言葉遣いの演習を通して適切な言葉遣いで自己表現が 3)人間関係を円滑にするコミュニケーションができる。								
	知識・理解		l用的技能						
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力 ————				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ノョン			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		・ レポ 実習		制作物 実技			
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ソョン能力 課題 ) (	発見・解	决能力		)		
テキスト	伊藤京子 著 『仕事の基礎・基本』 樹村房								
参考書	講義中に指示します								
課題に対する フィードバック の方法	授業内小テストを回収後、解答解説を行います。提出された課題については、確認後、返却します。実技(ロールプレイ する ベック								
留意事項	授業で学修したことは、できる限り実践し、身につけるようにして	ください。							
オフィスアワー	担当授業終了後に実施します。								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:一般企業において10年間、受付応対、電話応 た、一般企業での新人研修や、大学・高等学 修、大学・専門学校での検定対策授業等を担 秘書技能検定準1級面接審査員、サービス接退	校での就職 当。	哉対策授業、インタ	<b>7</b> ーンシッ	プ事前マカ				

# 授業 名社会人マナー

1X <del>X</del> 'L	社会人マノー		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授第	<b>巻計画について</b>
	社会人とは	「袺	±会人とは」を考える
第1回			<b>果題の内容)(30分)</b>
		事前	fiにシラバスの内容をよく読んで確認しておくこと
	社会人基礎力		会人基礎力を身に付けるためにどのようにすればよいか考える
~~~			<b>課題の内容)(60分)</b>
第2回			回目の復習をし、社会人基礎力を身に付けるためにどのようにすれ
		19.9	にいか自分自身で考えておく
	第一印象の大切さと社会人に必要な立ち居振る舞	(学修内容)第-	- 印象の重要性と構成要素を知りそれぞれのポイントを学ぶ
	()	(0 10 10 11) 11	会人として必要な立ち居振る舞いを学び、ロールプレイを行う
第3回			果題の内容)(60分)
2100		'	-印象をよくするためにはどうすればいいのか確認しておく
		学ん	∪だ立ち居振る舞いが身につくまで練習しておく
	社会人として必要な言葉遣い 1	(学修内容)敬語	吾の種類と基本を学ぶ
	敬語の基本		
第4回		'	果題の内容)(60分)
			引として、基本的な敬語を覚える
	10.1.1.1.2.V#4.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2		常生活で敬語を使うよう努力する
	社会人として必要な言葉遣い 2		yション言葉と改まった表現を学び、それらを使ってグループで練習 ・
第5回	クッション言葉と改まった表現	する する (事前事後学修制	5 果題の内容)(60分)
寿 3凹		'	≭題の内谷)(60万) 引として、学んだ敬語の使い分けを友人や家族とロールプレイで練習
			T能な限り実践する
	社会人として必要な言葉遣い 3		☆でのいろいろな場面での言葉遣いを考える
	いろいろな場面での言葉遣い	() () () ()	
第6回		(事前事後学修設	果題の内容)(60分)
		復習	引として、学んだことを学校など色々な場面で可能な限り実践する
	コミュニケーション 1	(学修内容)人間	引関係を円滑にするための話し方と聴き方を学び、ペアワークで練習
	計し方・聴き方	する	
第7回		'	果題の内容)(60分)
		復習	引として、学んだことを学校など色々な場面で可能な限り実践する
	コミュニケーション 2	(学校内容) 表点	ウレンソウの重要性を理解し、指示の受け方、報告の仕方のポイント
	指示の受け方と報告・連絡・相談	1 '	プレファラの皇女性を理解し、指示の支げ方、報告の仕方のホイフトロリ、ロールプレイングで練習する
第8回	1日小の支げりと取ら、注記・旧談		思題の内容)(60分)
카이드			るとして、学んだことをアルバイトなどの場面で可能な限り実践する。
			程度チェックワークで復習する
	電話応対 1	(学修内容)電話	舌応対の基本を学び、電話をかける練習をペアワークで行う
	電話の特徴と電話応対の基本		
第9回			果題の内容)(60分)
			程度チェックワークで復習し、基本的なかけ方を友人や家族とロール
	THE COLUMN TWO IS NOT		ノイで練習し、可能な限り実践する
	電話応対 2		話を受ける際の注意点と基本的な電話用語を学び、ペアワークを行う
第10回	電話の受け方と伝言メモ作成		言メモ作成のポイントを学ぶ 果題の内容)(60分)
第10凹			≭超の内谷)(のカ) 引として、電話応対を友人や家族とロールプレイで練習し、可能な限
		1	自として、電話心対を及入や家族とロールブレイで練音し、可能な限 B践する
	来客応対の基本		R応対(受付・案内・見送り等)について学び、ペアワークやグループ
	_ · · · · <u>- · · · </u> ·		- クを行う
第11回			#題の内容)(90分)
			引として、学んだことを実践できるようにしておく
			解度チェックワークで復習する
	基本的な訪問のマナー		k的な訪問時のマナーや上座・下座、名刺の受け渡しについて学び、
m			アワークやグループワークを行う
第12回		(5 100 5 12 0 12 12	果題の内容)(60分) ストレス・ヴんだことを実践できるとうにしておく
			習として、学んだことを実践できるようにしておく 図度チェックワークで復習する
	文書作成 1		程度チェックワークで復習する ジネス文書の種類と書き方について学ぶ
	大声1Fル ビジネス文書の基本		マネス文書の程類と書き方について字が 内文書を作成できるようにレイアウトやポイントを学ぶ
第13回			現題の内容)(90分)
			N文書を作成できるように学んだことを復習しておく
			程度チェックワークで復習する
	文書作成 2	(学修内容)メー	- ルの基本ポイントと封筒の書き方を学ぶ
	メールの基本、封筒の書き方	1	
第14回			黒題の内容)(90分)
		復習	引として、実習先や企業などに送るメールを考えてみる
	± L.W.	/ 学校中京 \ = 4	2 土 7 学羽 1 たっしょ 数 四 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	まとめ	(子16円谷)ごれ	1まで学習したことを整理し、確認する
第15回		 (事前事後学修制	果題の内容)(90分)
Na IOE		1	*歴の内骨)(30カ) 3として、これまで学習したことを自分自身で振り返る(総復習)
		132 =	
		-1	

授 業 名	インターンシップ	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	CS1107
英 文 名	Internship	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当者	新矢 昌昭	対象学生	幼児教育1回生	ミ、総合ス	文化1回生	Ė	
授業の概要	夏季休暇中に行うインターンシップを通して社会人に向けての心構 てインターシップに向けての準備や企業研究をグループごとに行い うことが重視される						
学修成果到達目標	1)プレゼンテーション能力、探究心を養うことができる 2)企業研究、自己分析をすることができる 3)インターンシップを通して、社会への理解、職業意識を高める	ことができ	₹ る				
	知識・理解	'n	1用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ レポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ション能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	使用しない。プリントを配布する						
参考書	講義中に適宜指示する						
課題に対する フィードバック の方法	グループワーク、発表へのコメントを加える						
留意事項	インターンシップは、受け入れ先の時間を割き実施してもらうため 易な気持ちでは受講できないことを理解して欲しい。キャリアセン お、会社見学や外部講師の講義日については、先方の都合により変	ターが実別	もする企画に参加し				
オフィスアワー	研究室の扉に掲示する						
実践的教育							

授業 名 インターンシップ

拉 米 計 교	- <u> </u>	光板 市农 知時
授業計画	学修項目 ガイダンス	学修内容・課題 (学修内容)この講義の進め方
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおく
	グループワークの実践	(学修内容)課題に対するグループワーク
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 配布資料を読み、自身の考えをまとめておく
	グループワークの実践と復習	(学修内容)課題に対するグループワークとグループワークの振り返り
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 先週で学んだ自身の考え、反省点をまとめておく
	会社見学の準備	(学修内容)会社見学先の企業研究発表
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく
	会社見学の実施	(学修内容)会社見学
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 会社見学先での意見や質問を考えておく
	会社見学のまとめ	(学修内容)会社見学の振り返り発表
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成
	外部講師による講義1回目	(学修内容)働くこととは何か
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 自身にとって働くこととは何かを考えておく
	外部講師による講義2回目	(学修内容)近年の就職活動についての動向
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 就職活動に対する疑問を考えておく
	外部講師による講義3回目	(学修内容)インターンは何故するのか
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターンをなぜするのかを考えておく
	就業体験先の確認	(学修内容)就業体験先企業の確認と諸注意
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターンに関する必要書類の作成
	インターンシップの準備	(学修内容)インターンシップ先企業分析
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての資料、情報収集(
	インターンシップの事前学習1回目	(学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成
	インターンシップの事前学習2回目	(学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成
	インターンシップ事前説明会	(学修内容)インターンシップの心構えと準備
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 『インターンシップの手引き』を読んでおく
	インターンシップに向けて	(学修内容)インターンシップ先企業の最終確認と諸注意と抱負発表
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップに向けての自身の抱負を考えておく

授 業 名	インターンシップ	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	CS1115
英 文 名	Internship	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	伊藤 茂樹	対 象学 生	幼児教育1回生	ミ、総合な	文化1回台	Ė	
授業の概要	春季休暇中に行うインターンシップを通して、さらなる社会人に向る。インターンシップや講義を通して自分がどんな仕事や職種に向師や企業見学先では、自身の意見や質問を積極的に行って欲しい。研究を行い発表する。	いているフ	かという職業適性を	把握する	。特に、タ	小部講	
学修成果到達目標	1)自身の職業適性を把握することができる 2)自身の職業、職種選択を決定し、自身の将来を見据えることが 3)社会人力を養うことができる	できる					
	知識・理解	Ŋ	凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		ま習 とポ		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ション能力 課題) (発見・解:	決能力)
テキスト	使用しない。プリントを配布する						
参考書	講義中に適宜指示する						
課題に対する フィードバック の方法	グループワークや発表に関して、コメントを加える						
留意事項	春学期と同じく、高い意欲や自覚、積極性が求められる。そのため 。キャリアセンターが実施する企画に参加する場合がある	安易な気技	寺ちでは受講できた	いことを	理解して谷	次しい	
オフィスアワー	研究室の扉に掲示する						
実践的教育							

授 業 名 インターンシップ

# 1回	授業計画	学修項目	
# 2 日本の	1文 未 山 巴		
第3回	第1回		
インターンシップ報告会2		インターンシップ報告会1	(学修内容)春学期のインターンシップ体験発表
# 388 (事前事後や後課題の内容)(60分)	第2回		
### (インターンシップを発達的の内容) (の分) (学権内容) 音学期のインターンシップを検売表 (学称事業や管護期の内容) (の分) インターンシップを検売表 (学権内容) 企業研究について (事前事後学修課期の内容) (の分) 第3位 (第4位 (第4位 (第4位 (第4位 (第4位 (第4位 (第4位 (第4		インターンシップ報告会2	(学修内容)春学期のインターンシップ体験発表
第4回	第3回		
#5回		インターンシップ報告会3	(学修内容)春学期のインターンシップ体験発表
第5回 (事前事後字修課題の内容) (60分) 該当企業の情報、資料収集 第6回 (事前事後字修課題の内容) (60分) 該当企業の情報、資料収集 (学修内容)企業研究発表 (学修内容)企業研究発表 (学修内容)企業研究発表 (学修内容)企業研究成果レジュメ (学修内容)会社見学先について (事前事後学修課題の内容)(50分)会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく (学修内容)会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく (学修内容)会社見学先での意見や質問を考えておく (学修内容)会社見学先での意見や質問を考えておく (学修内容)会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成 外部講師による講演(事前事後学修課題の内容)(60分) 法提示允定表の研究、意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 法議演允定基の研究、意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 法議済允定基の研究、意見や質問を考えておく (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(80分) 大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(80分) 大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(80分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく、意見や質問を考え インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表	第4回		
議当企業の情報、資料収集 (学修内容)企業研究発表 (事前事後学修課型の内容)(60分) 該当企業の研究成果レジュメ (学修内容)会社見学先について (事前事後学修課型の内容)(60分) 会社見学の実施 (学修内容)会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく (学修内容)会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく (学修内容)会社見学たで創見や質問を考えておく (学修内容)会社見学の集り返り発表 (事前事後学修課型の内容)(80分) 会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課型の内容)(60分) 会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課型の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課型の内容)(60分) 表記を業際ミュージアム見学 (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (学修内容)インターンシップ免企業の確認と諸注意 (事前事後学修課型の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え (学修内容)インターンシップ先企業の研究発表 (事前事後学修課型の内容)(60分) 分更書類を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課型の内容)(60分) インターンシップ事前説明会 (学修内容) 観賞体験の内容)(60分) インターンシップ表企業についての研究発表 (事前事後学修課型の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課型の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課型の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容)観覚体験の心情えと準備		希望就職先の事前研究	(学修内容)企業研究について
第6回	第5回		,
接当企業の研究成果レジュメ 会社見学事前学習 (学修内容)会社見学先について (事前事後学修課題の内容)(60分) 会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく 会社見学の実施 (学修内容)会社見学先を理解するため、資料、情報収集を行っておく 会社見学の実施 (学修内容)会社見学の原則を考えておく 会社見学事後学習 (学修内容)会社見学の振り返り発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) 会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成 外部講師による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究、意見や質問を考えておく 外部講師による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究、意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 議法允定業の研究。意見や質問を考えておく (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) の要責題を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 第14回 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ事前説明会 (学修内容)インターンシップ先企業についてのレジュメの作成		希望就職先の研究発表	(学修内容)企業研究発表
(事前事後学修課題の内容)(60分)会社見学の実施 (学修内容)会社見学(事前事後学修課題の内容)(30分)会社見学の実施 (学修内容)会社見学 (事前事後学修課題の内容)(30分)会社見学の意見や質問を考えておく (学修内容)会社見学の振り返り発表 (事前事後学修課題の内容)(60分)会社見学の振り返り発表 (事前事後学修課題の内容)(60分)会社見学をに、自身が学んだことについてのレジュメ作成 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分)講演先企業の研究。意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分)講演先企業の研究。意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分)法の企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分)大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え (学修内容)大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分)必要書類を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 第14回 インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分)インターンシップ先企業についての研究発表	第6回		
会社見学の実施		会社見学事前学習	(学修内容)会社見学先について
(事前事後学修課題の内容) (30分) 会社見学事後学習 (学修内容)会社見学先での意見や質問を考えておく (学修内容)会社見学の振り返り発表 (事前事後学修課題の内容) (60分) 会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成 外部講師による講演1回目 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 議演先企業の研究、意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 議演先企業の研究、意見や質問を考えておく (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考えておく (学修内容)大阪企業家にコージアムについて調べておく。意見や質問を考え (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容) 観楽体験の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成	第7回		
会社見学事後学習 (学修内容)会社見学の振り返り発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) 会社見学たて、自身が学んだことについてのレジュメ作成 外部講師による講演1回目 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく 外部講師による講演2回目 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (学修内容)郷業体験の心構えと準備		会社見学の実施	(学修内容)会社見学
第9回	第8回		
会社見学先で、自身が学んだことについてのレジュメ作成 外部講師による講演1回目 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく 外部講師による講演2回目 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく 学外授業 (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 第14回 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成		会社見学事後学習	(学修内容)会社見学の振り返り発表
第11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく 外部講師による講演2回目 (学修内容)経営者による講演 (事前事後学修課題の内容)(60分) 講演先企業の研究。意見や質問を考えておく 学外授業 (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 第13回 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備	第9回		
### ### ### ### #####################		外部講師による講演1回目	(学修内容)経営者による講演
第11回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 請演先企業の研究。意見や質問を考えておく 学外授業 (学修内容)大阪企業家ミュージアム見学 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考え インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備	第10回		
講演先企業の研究。意見や質問を考えておく		外部講師による講演2回目	(学修内容)経営者による講演
# 第12回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考えて インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ 第前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備	第11回		
大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考えて インターンシップの準備 (学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備		学外授業	(学修内容)大阪企業家ミュージアム見学
第13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 必要書類を作成しておく (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備	第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 大阪企業家ミュージアムについて調べておく。意見や質問を考えておく
必要書類を作成しておく インターンシップ事前学習 (学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表 第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分)インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備		インターンシップの準備	(学修内容)インターンシップ先企業の確認と諸注意
第14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備	第13回		
インターンシップ先企業についてのレジュメの作成 インターンシップ事前説明会 (学修内容)職業体験の心構えと準備		インターンシップ事前学習	(学修内容)インターンシップ先企業についての研究発表
	第14回		
第15回 (事前重後学修理題の内容)(60分)		インターンシップ事前説明会	(学修内容)職業体験の心構えと準備
第15回 (争削争後子形試題の内容)(ものカ) 『インターンシップの手引き』を読んでおく	第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 『インターンシップの手引き』を読んでおく

授 業 名	プレゼンテーション演習	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	IC1406		
英 文 名	Presentation Practice	開講			必修	選択			
40 W +v	根山 MAI	対象 (公立)(人) 選択 (乙)(人)							
担当者	堀出雅人	学生	総合文化1回生						
授業の概要	複雑化する社会の中で、職場や地域社会の場において、さまざまな価値観をもった他者と協働するにあたり、自らの意見やアイディアを相手にわかりやすく伝えるための力(「ブレゼンテーション力」)が今後より一層求められるでしょう。 国際的な競争に生き残るための技術革新や新商品の開発、我が国が抱える少子高齢、人口減少をはじめさまざまな社会的 課題など、私たち一人ひとりから生み出されるアイディアや解決方法がいま必要とされています。その解決法を他者と共有し、共感を生み出したり、アイディアとアイディアをつなげ創造するためのツールとして、プレゼンテーションの場が会社や地域社会で設けられています。そこで、この授業では、プレゼンテーションの作成を助けるMicrosoft社のPowerPointの基本的な操作方法の習得とともに、オリジナルのスライド資料作りおよびプレゼンを通して、相手にわかりやすく伝え共感を生み出すための力を伸ばすことを目的としています。そのため、授業中に、教室のPCを活用した作品作り、クリッカーをはじめ学内ネットワークを活用した作品に対する学生と教員とのやりとり、プレゼンテーションとその評価などアクティブ・ラーニングを実践します。								
	(1)職場や地域を想定し、社会人として自らの考えを相手にわかりや (2)PowerPointの基本的な操作方法を習得できる (3)課題に対して自ら工夫して作品づくりに取り掛かることができる (4)他者の意見やアイディアを参考に、自らの作品のより善く修正す	3							
学修成果到達目標									
	知識・理解	沂	l用的技能						
学位授与の	態度・志向性	4/2 mit	合的な学習経験と	:創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	│ グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテージ	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記(50		実習		制作物 実技			
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解え	決能力)		
テキスト	noa出版『ドリルマスター PowerPoint & プレゼンテーション』	noa山城							
参考書	授業時に適宜指示します								
	授業終了時にコメントカードを配布し、次回の授業時冒頭に提出を にコメントをつけたカードを返却します。最終課題として、各自、 施しますが、その計画、途中経過、プレゼンといった区切り区切り 適宜助言をします。	文化をテー	-マにスライド資料	を作成し、	プレゼン	ンを実			
留意事項	パソコンを操作する時間が増えます。人前での発表を課題とします。特別な配慮が必要がある場合は事前に相談してください。 基本的にテキストに沿って学修を行うため、必ずテキストを購入することをお願いします。								
オフィスアワー	授業時間終了後教室で行います。まとまった時間が必要な場合はメ okacho-u.ac.jp	一ルを下さ	らい。日程調整をし	ノます。 ku(096horide	@kyot			
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:特定非営利活動法人学習開発研究所 所員と 。	して、E-L	earninシステムの	受計および	 ド運用に携	わる			

授業 名 プレゼンテーション演習

#	+10 24 +1 -10	プレビングンコン次目	24 kb 4 cb 5 5 B B B
第刊	授 業 計 世		学修内容・課題
###		71977	(子形内谷) 平技美のほういと流れを説明することができる
##は 学校の原理をコメントカードに成とめた回避出 (今時内等) 3回 6のプレセプテーション別が直接(企業性を発明できる(テキナトの 報節:1971) (60分)	第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
### (学家内容) 自らのプレゼンデーション私力を得く必要性を採制できる (テキストの 期) : STEP1 (国際 1) : STEP1 (国际 1) : STEP1			
## 第2回			
### 第3		プレゼンテーションの基本を学ぶ	
### デキストSITP に表述かでくる 事後 ネットや結結などでビジネスの世界でプレゼンに関うる理を強づる フレゼンテーションの違人たち/PowerPointの立 カ上げ カ上げ カ上げ カ上げ アションの違人たち/PowerPointの立 カ上げ カード カード アションの違人たち/PowerPointの立 カード フレゼンテーションの違人のプレゼンの対域である。 「参称用等)質料の作成が歴と見かられてくる 事態 と呼吸が認めらい。「のか) 素ができる。「参称というトナードにまとか次回退出 アションの作成 「学修内等)質料の作成が歴とアフトラインの作成方法を理解し操作できる 「参称を呼吸が表がしたスティーティの変形に入フィド中域の平穏ができる 「参称を呼吸が表がしたスティーティの変形に入フィド中域の平穏ができる 「参加・デキストSITPが表がしてくる。一番後 「良い」プレゼン資料のボーバントラードにまとの次回提出 アキストSITPが表がしてくる。「参修 日本(京都)文化・国際文化・現代文化で調べたい文化を次回まで決める 「会称の音)が表を及したスティーティーの変形し入フィド中域の平穏ができる 「参加・デキストSITPが表がしてくる。「参修 日本(京都)文化・国際文化・現代文化で調べたい文化を次回まで決める 「会称の音)スティード国内の課人の対力・エントラートを関係を提出できる 「事前・サキストSITPが表がないティーを決める 「会称の音)フードアートと関係の添入がよりできる 「参加・デキストSITPが表がないティーを決める 「会称の音)が表が表がないティーを決める 「会称の音)が表が表がないティーを決める 「会称の音)が表が表がないティーを表がまった。 「参加・デキストSITPが表がないます。 「会称の音)が表が表がないまり、一般を表えら、「会称の音)が表が表がないました。「のか) 「事前・サキストSITPが表がないまり、一般を表えら、「会称の音)ができる 「事前・サキストSITPが表がないました。」を表えフィドに挿入することができる 「事前・サーストSITPが表がないました。」 「会称の音) ア・オストSITPが表がないました。「会が表ができる」 「事前・サーストSITPが表がないました。「のか) 「事前・サーストSITPが表がないました。」 「会称の音) ア・オストSITPが表がないました。「会が表がないました。「会が表がないました。」 「会が表がないました。「会がおないました。」「会が表がないました。「会が表がないました。」「会が表がないました。「会が表がないました。」「会が表がないました。「会が表がないました。」「会が表がないました。「会が表がないました。」「会が表がないがないました。「会が表がないがないま」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「会が表がないがないま」「というないました」」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」」「というないました」」「というないました」「というないました」「というないました」「というないました」」「というないました」」「というないました」」「というないました。「というないました」「というないました」「というないました。「というないました」」「というないました」」 「会様のではいるいないました。「というないました」「というないました。「というないました」「というないました」」「というないました。「というないました。「というないました」」「というないました。「というないないました。「というないました」」 「というないないました。「というないないないました。「というないないました。「というないないないました。「というないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	第2回		in the second se
プレゼンテーションの連入たち/PowerPoint の立ち上げ (マ学内音) (に打造用) (15 人表をさつけるガレゼンの換入のプレゼンの特徴を 20歳できる。PowerPointの立ち上げ方法を理解し、操作できる。 (学術内音) (1675) (1	뉴스 티		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			
第38回			
## デキストSIPPを結婚でくる ## 技護の関連を配するコンメ)カードにまとめ次回提出 学術内容	₩ 0□	ち上げ	
# 授 授業の品類を配布するコメントカードにまとめ文庫提出	弗3四		
### デキストSTEPSを結かてくる 事後 「良い」プレゼン資料のポイントをコメントカードにまとめ次回歴出 プレゼンテーションの作成 (学修内容) 次元を応じたスライドチーマの違形しスライド所成の準備ができる (事能学生学修理画の内容) (60分) 事能 デキストSTEPSを結かてくる 事後 日本(京都)文化・国際文 化・規作などに関へたいな化を大加までよう。事後 日本(京都)文化・国際文 イットをコメントに関係とないなどの表現まで決める 「実施を関係できる(事態を)」といって、「実施を関係できる(事態を)」といって、「実施 日本(京都)文化・国際文 イットに対した文化のデーマを決める 「実施を)」で、「大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大			
#前 テキストSTPのを語んできる 事後 「良い」プレゼン資料のボ イントをコンシアカートにまとめの問題 プレゼンテーションの作成 (学格内音)が応定のじたスタイドテーマの選択レスライド内成の準備ができる (事前事件や接線型の内容)(60分) 第前 テキストSTPのを請及できる(事前を持有できる) (事前事件を接線型の内容) (60分) 第前 デキストSTPのを請加している。 (学格内音)が応定のじたスタイドできる) (学格内音)が応えている。 (学格内音)がたい文化についてインターネット等で情報を獲得できる (事前 乗歩学線理の内容)(60分) 第前 デキストSTPのを誘加でくる 第位、受権の分割(60分) 第一年アートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) 100分 第一年大 STPでを結がしてくる 第位、発表用スタイド資料の順点を考える (学格内音) 100分のからいる。 (学格内音) 100分の (事前事を学後課題の内容)(60分) 第一年を上の日の (10分) 第一年・アース・STPのを注がしている 第一年を上の日の (10分) 第一年・アース・STPのを注がしている。 第一年を表えフィド資料を提出している。 (学格内音) ブレゼンを行い際に必要な準備物を理解し操作できる (学格内音) ブレゼンを行い際に必要な準備物を理解し持定できる(アリンとフロジェクターの序接方法や手元資料の印刷方法等) 第一年 (10分) 第一年		PowerPointを活用した資料作成	(学修内容)資料の作成過程とアウトラインの作成方法を理解し操作できる
#前 テキストSTPのを語んできる 事後 「良い」プレゼン資料のボ イントをコンシアカートにまとめの問題 プレゼンテーションの作成 (学格内音)が応定のじたスタイドテーマの選択レスライド内成の準備ができる (事前事件や接線型の内容)(60分) 第前 テキストSTPのを請及できる(事前を持有できる) (事前事件を接線型の内容) (60分) 第前 デキストSTPのを請加している。 (学格内音)が応定のじたスタイドできる) (学格内音)が応えている。 (学格内音)がたい文化についてインターネット等で情報を獲得できる (事前 乗歩学線理の内容)(60分) 第前 デキストSTPのを誘加でくる 第位、受権の分割(60分) 第一年アートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) フードアートと回復の行み方法を再接し操作できる (学格内音) 100分 第一年大 STPでを結がしてくる 第位、発表用スタイド資料の順点を考える (学格内音) 100分のからいる。 (学格内音) 100分の (事前事を学後課題の内容)(60分) 第一年を上の日の (10分) 第一年・アース・STPのを注がしている 第一年を上の日の (10分) 第一年・アース・STPのを注がしている。 第一年を表えフィド資料を提出している。 (学格内音) ブレゼンを行い際に必要な準備物を理解し操作できる (学格内音) ブレゼンを行い際に必要な準備物を理解し持定できる(アリンとフロジェクターの序接方法や手元資料の印刷方法等) 第一年 (10分) 第一年			
# イントをコメントカードにまとめの原因出	第4回		
(学修内音) が記念をしたスライドアーマの選択以スライド内成の準備ができる (学術事権) 字様認知の内容) (60分)			
# 第6回		プレゼンテーションの作成	
### (・現代文化で調べたに、対心を次回まで決める			
第6回	第5回		
# 第6回			化・現代又化で調べたい又化を次回まで決める
# 第6回		プレゼンテーションを編集	(学修内容)スライド資料の編集やヘッダーとフッターを操作できる
#前 テキストSTPPを読んでくる 事後 安国生に関わた上文化のテーマを決める 事後 安国生に関わた上文化のテーマを決める 事務を学修課題の内容)(50分) 事務・テキストSTPPを読んでくる 事後 発表月スライド資料のテーマに沿った施計データを検索する (学修内容)ができる 年後 東本月スライド資料のテーマに沿った施計データを検索する (学修内容)ブレゼンのの単をよい高めるアニメーション機能を理解し操作できる 事務・テキストSTPPを読んでくる 事後 発表フタイド資料にも図形 中本を押入するため、その内容を検討する (学修内容)ブレゼンの成果を注め高めるアニメーション機能を理解し操作できる 事務・デキストSTPPを読んでくる 事後 発表フタイド資料にも図形 中本を押入するため、その内容を検討する (学修内容)ブレゼンを行いのの分) 第			調べたい文化についてインターネット等で情報を獲得できる
特殊な文字やイラストを挿入	第6回		
特殊な文字やイラストを挿入			
#70回 (事前事後学修護題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP6を誘んでくる 事		特殊な文字やイラストを挿入	
#前 テキストSIFPISを読んでくる 事後、発表用スライド資料の帰放を考える (学修内容) 説得力を高めるプレゼン作りのため、データをExcelでグラフ化したものを貼り付けられる、情報を引用する際の注意事項を説明できる (事前事な学修護題の内容) (60分) 事前 テキストSIFPISを読んでくる 事後、発表用スライド資料のデーマに沿った統計データを検索する (学修内容) PowerPointの機能としてSmartArtや図形・表をスライドに挿入することができる (事前事後学修護題の内容) (60分) 事前 デキストSIFPISを読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形・表をスライド資料にも図形・表をオーストSIFPISを読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形・表をオーストSTEPISを読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形・表を挿入するため、その内容を検討する アニメーション効果 (学修内容) ブレゼンの効果をより高あるアニメーション機能を理解し操作できる 事後 発表スライド資料にも図形・表を挿入書かれのように表します。 (学修内容) ブレゼンを行い際に必要な準備物を理解し用意することができる (パソコンとプロジェクターの接続方法や手元資料の印刷方法等) (事前事を学修護題の内容) (60分) 第11回 第200 (学修内容) ブレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明できる (事前事を学修護題の内容) (60分) 第312回 第12回 第12回 第12回 ブレゼンの成果発表 (学修内容) ブレゼンを元の法世組出むけて準備を進める (学修内容) ブレゼンを元の法世出まできる (人名分程度) (第前事を学修護題の内容) (60分) 第第 医子口の成果発表 (学修内容) ブレゼンを元の法世出までに担当教員にデータを提出 事後 発表スライドの完成・提出におけて準備を進める (学修内容) ブレゼンを元の法を追索さコメントカードにまとめ次回に提出 学修成果のふりかえり (60分) 第14回 デ修成果のふりかえり (学修内容) ブレゼンの音とを考にスライド資料を修正することができる (事前事後学修護題の内容) (60分) 第14回 学修成果のふりかえり (グ修内容) ブレゼンの違人といまの自分のブレゼンカとは、今後、どういった かをつげる必要があるか分析し、授養後の学びにつなげることができる (事前事後学修護題の内容) (60分)		1976-62] (1271 2377	
#後 発表用スライド資料の構成を考える (学修内容) 部符力を高めるプレゼン作りのため、データをExcelでグラフ化したものを貼り付けられる。情報を引用する際の注意事項を説明できる (事前事体学修護題の内容) (60分) 事前・テキストSTEPでを誘んでくる 事後 発表用スライド資料のテーマに沿った統計データを検索する (学修内容) PowerPointの機能としてSmartArtや図形・表をスライドに挿入することができる (事前事体学修護題の内容) (60分) 事前・テキストSTEPを移んでくる 事後 発表スライド資料にも図形・表を挿入するため、その内容を検索する (学修内容) プレゼンの別果をより両めるアニメーション機能を理解し操作できる (事前事体学修護題の内容) (60分) 第前・手後・発表スライド資料を作成しはじめる (学修内容) プレゼンを行い際に必要な準備物を理解し用意することができる (パソコンとプロジェクターの接続方法や手元資料の印刷方法等) (学修内容) プレゼンを行い際に必要な準備物を理解し用意することができる (パソコンとプロジェクターの接続方法や手元資料の印刷方法等) (学修内容) プレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明できる (事前事体学修護題の内容) (60分) 事前 STEP10を読む 第 2 (学修内容) プレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明できる (事前事体学修護題の内容) (60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める プレゼンの成果発表 (学修内容) ブレゼンテーション】自らが取り上げたテーマに沿ってプレゼンテーションを行い関数応答がでと一人5分程度) (事前事体学修護題の内容) (60分) 事前 表表用プレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出 第 2 (学修内容) ブレゼンのた成させ当日までに担当教員にデータを提出 第 2 大大・アート・アートにまとめ次回に提出 アレゼンの反省とスライド資料の改善 (学修内容) 【「河流府】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。(事前事体学修護題の内容) (60分) 事後 プレゼンの原文ととは表した反省に表してデータを提出 第 2 大大・アート・アートにまとめ次回に提出 アレゼンの原文とスライド資料の改善 第 2 大大・アート・アートにまとの次回に提出 アレゼンの原文とスライド資料の改善 第 2 大大・アート・アートにまとの次回に提出 アレゼンの原文とスライド資料を発展を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正するとができる。(事前事体学修護題の内容) (60分) 事後 2 大大・アート・アートにまとの次回に対して、アート・アートにまとの発	第7回		(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第8回 表やグラフを挿入			
第8回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEPPを読んでくる 事後 発表フライド資料のできる(学修内容) PowerPointの機能としてSmartArtや図形・表をスライドに挿入することができる(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEPPを読んでくる 事後 発表スライドであれていて関係としてSmartArtや図形・表をスライドに挿入することができる(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEPPを読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形・表を挿入するため、その内容を検討する (学修内容)プレゼンの効果をより活動のるアニメーション機能を理解し操作できる 事後 発表スライド資料を作成しはじめる 事後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP10を読む 事後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP12を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める ブレゼンの成果発表 (学修内容)プレゼンテーションと自ら表の完成・提出にむけて準備を進める (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 使素スライドの完成・提出にむけて準備を進める (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 チェアに沿ってブレゼンテーションを表正さる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 チェアに沿ってブレゼンテーションを表正さる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テェストSTEP1、ISTEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータを提出 かたりける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事を学修課題の内容)(60分) 事前 フェスライド資料を期日までに教員にデータで提出 「学修内容)プレゼンカと比較し、今後、どういった カをつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前を学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をありかえった感想をコメントカードにまとめ提		表やグラフを挿 λ	
#前 テキストSTEP7を誘んでくる 事後 発表用スライド資料のテーマに沿った統計データを検索する (学修内容) PowerPointの機能としてSmartArt*中図形・表をスライドに挿入すること ができる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP8を読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形 や表を挿入するため、その内容を検討する (学修内容) ブレゼンの効果をより高めるアニメーション機能を理解し操作できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP8を読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形 ・ できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP9を読んでくる 事後 発表スライド資料を作成しはじめる (学修内容) ブレゼンを行い際に必要な準備物を理解し用意することができる (パソコンとブロジン (9の分) 「事前事後学修課題の内容) (50分) 事前 STEP10を読む 事後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める ブレゼンテーションを行い環題応答ができる (一人5分程度) (事前事後学修課題の内容) (60分) 事務 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める ブレゼンテーションを行い環題応答ができる (一人5分程度) (事前事後学修課題の内容) (60分) 事務 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める ブレゼンテション 1 自らが取り上げたテーマに沿ってブレゼンテーションを行い環題応答ができる (一人5分程度) (事前事後学修課題の内容) (60分) 事務 チ表用ブレゼンを発成た反場をエメントカードにまとめ次回に提出 第14回 第14回 学修成果のふりかえり (学修内容) (「ご所用) 発表を自然をコメントカードにまとめ次回に提出 事後 ブレゼンを終えた反場をエメントカードにまとめ次回に提出 事後 アキストSTEP11、STEP12を読む 事後 学修課題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後 デオストSTEP11、STEP12を読む 事後 デオストSTEP11、STEP12を読む 事後 学修課題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後 デオストSTEP11、STEP12を読む 事後 アキストSTEP11、STEP12を読む 事後 アキストSTEP11、STEP12を読む 事後 アキストSTEP11、STEP12を読む 事後 アキストSTEP11、STEP12を読む 事務 テキストSTEP11、STEP12を読む 事務 テキストSTEP11、STEP12を読む		K F 7 5 7 E J F / C	
事後 発表用スライド資料のテーマに沿った統計データを検索する	第8回		
第9回			
# 13回		図形の挿入	
#前 テキストSTEP8を読んでくる 事後 発表スライド資料にも図形や表を挿入するため、その内容を検討する (学修内容)プレゼンの効果をより高めるアニメーション機能を理解し操作できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP9を読んでくる 事後 発表スライド資料を作成しはじめる (学修内容)プレゼンを行い際に必要な準備物を理解し用意することができる(パソコンとプロジェクターの接続方法や手元資料の印刷方法等) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP17を読む 事後 発表スライドの定誌む 事後 発表スライドの定誌む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容)プレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容)【プレゼンテーション】自らが取り上げたテーマに沿ってプレゼンテーションを行い関係の形容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容)【プレゼンテーション】自らが取り上げたテーマに沿ってプレゼンテーションを行い定成させ当日までに担当教員にデータを提出 事後 労権課題の内容)(60分) 事前 発表の言葉を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修正したスライド資料を修修理題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後学修課題の内容)(50分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を修修理題の内容)(50分) 事前 フォストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を修修理題の内容)(50分) 事前 フォストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライト資料を明日までに教員にデータで提出 (学修内容)プレゼンの定法といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった 力を可ける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分)		17 3 JT / C	ができる
ヤ表を挿入するため、その内容を検討する	第9回		
#10回			
第11回		アーメーション効里	
事後 発表スライド資料を作成しはじめる			
発表準備	第10回		
第11回 コンとプロジェクターの接続方法や手元資料の印刷方法等) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP10を読む 事後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する プレゼンする時の注意事項 (学修内容)プレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明 できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容)【プレゼンテーシュン】自らが取り上げたテーマに沿ってプレゼンテーシュンを行い質疑応答ができる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 発表用プレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出 事後 プレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとめ次回に提出 事後 プレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとの次回に提出 事後 (学修内容)【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 キストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼンカと比較し、今後、どういった 力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提			事後 発表スライド資料を作成しはじめる
第11回 コンとプロジェクターの接続方法や手元資料の印刷方法等) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP10を読む 事後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する プレゼンする時の注意事項 (学修内容)プレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明 できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容)【プレゼンテーシュン】自らが取り上げたテーマに沿ってプレゼンテーシュンを行い質疑応答ができる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 発表用プレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出 事後 プレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとめ次回に提出 事後 プレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとの次回に提出 事後 (学修内容)【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 キストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼンカと比較し、今後、どういった 力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		举 表準備	
#前 STEP10を読む 事後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する プレゼンする時の注意事項 (学修内容) ブレゼンを行い際の服装や話し方、質疑応答の仕方など基本事項を説明できる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容) 【ブレゼンテーション】自らが取り上げたテーマに沿ってブレゼンテーションを行い質疑応答ができる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 発表用プレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出事後 ブレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出事後 ブレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとめ次回に提出 (学修内容) 【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 テキストSTEP11,STEP12を読む事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり 学修成果のふりかえり (学修内容) ブレゼンの凌人といまの自分のブレゼン力と比較し、今後、どういった力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		75 E T 178	
#後 発表スライドの途中経過を報告できるように準備する	第11回		
#11回			
#12回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める (学修内容)【プレゼンテーション】自らが取り上げたテーマに沿ってプレゼンテーションを行い質疑応答ができる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 発表用プレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出事後 プレゼンの反省とスライド資料の改善 (学修内容)【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を修正したスライド資料を開日までに教員にデータで提出 (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		プレゼンする時の注音車項	
#12回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 STEP13を読む 事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める ブレゼンの成果発表 (学修内容)【ブレゼンテーション】自らが取り上げたテーマに沿ってブレゼンテーションを行い質疑応答ができる(一人5分程度) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 発表用ブレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出 事後 ブレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとめ次回に提出 (学修内容)【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11、STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼンカと比較し、今後、どういった力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		ファビングの内の八本の子供	
事後 発表スライドの完成・提出にむけて準備を進める	第12回		
第13回			
第13回		プレゼンの成里発素	
#13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 発表用プレゼンを完成させ当日までに担当教員にデータを提出 事後 プレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとめ次回に提出 プレゼンの反省とスライド資料の改善 (学修内容)【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料 を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11,STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼンカと比較し、今後、どういった 力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		フレビンの成本元以	
事後 プレゼンを終えた反省点をコメントカードにまとめ次回に提出	第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第14回 プレゼンの反省とスライド資料の改善 (学修内容)【ICT活用】発表会の結果を受けて、他者の意見を参考にスライド資料を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11,STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提			
を修正することができる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11,STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった 力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		プレゼンの丘尖とフライビ咨蚪の功美	
#14回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキストSTEP11,STEP12を読む 事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった 力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		フレビノの灰目にヘノ1 「貝付の以音	
事後 修正したスライド資料を期日までに教員にデータで提出 学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった 力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提	第14回		
学修成果のふりかえり (学修内容)プレゼンの達人といまの自分のプレゼン力と比較し、今後、どういった力をつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提			
カをつける必要があるか分析し、授業後の学びにつなげることができる 第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		学修成用のふけかえけ	
第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提		子	
事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提	第15回		
出事後 最終レポートに向けて教員の他の受講生のコメントをまとる			事前 これまでの授業をふりかえった感想をコメントカードにまとめ提
			出 事後 最終レポートに向けて教員の他の受講生のコメントをまとる

授 業 名	図書館概論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CL1705
英 文 名	Introduction to Library	開講時期	秋学期		必修選択	選択	
担当者	渡邊 雄一	対象学生	総合文化1回生) KE 3/(1	
授業の概要	図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基の理解を深めるために、実際的な事例にもとづいたグループディス進める。	館の歴史と なを学んで	ごいく。図書館をめ	ぐる今日	的課題にこ	ついて	
学修成果到達目標	1)図書館の機能・役割を理解し、基本的な専門用語については意 2)図書館と知的自由に関する今日的課題を解決するために、「図解をプレゼンテーションすることができる。 3)公立図書館の管理運営に関して、現状と課題を把握し、自己の	書館の自由	由に関する宣言」に			己の見	
	知識・理解	沪	1用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	4/2 mi	合的な学習経験と	創造的思	考力		
万町との関係							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		東習		削作物 €技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	『図書館概論』(JLA図書館情報学テキストシリーズ 1)、塩見	昂、日本図	書館協会、2018年				
参考書	随時指示する。						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	授業で学んだことを自分で経験して確かめるために、居住地の公共	図書館を利	責極的に利用するこ	<u>ا</u> ک			
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館 。	に勤務。ぽ	ミ務経験をもとに図	図書館につ	いて話をし	します	

授業名 図書館概論

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスの内容を確認しておくこと。
	図書館とは	(学修内容)図書館の定義、種類について概説する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.13~P.20をよく読んでまとめておくこと。
第3回	図書館の理念:図書館の自由など	(学修内容)「図書館の自由に関する宣言」について解説する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
	図書館の自由について考える	テキストP.57~P.64をよく読んでまとめておくこと。 (学修内容)図書館の自由に関してグループディスカッションを行い、意見交換の後
第4回	囚官時の日田にフバーで与える	(手修内音) 図書館の日田に関してアルーフティスガラフョフを刊れ、意光文操の後にプレゼンテーションする。 (事前事後学修課題の内容)(20分) 「図書館の自由に関する宣言」(テキストP.65~ P.67)を読んでおくこと。
	図書館法規と行政	(学修内容)公共図書館の根拠となる法的基盤について考察する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 「教育基本法」、「社会教育法」の条文を読んでおくこと。
	図書館の歴史的展開(欧米)	(学修内容)欧米における公立図書館の制度化の歴史について概説する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.225~P.228をよく読んでまとめておくこと。
	図書館の歴史的展開(日本)	(学修内容)日本の図書館の歴史的展開を概説する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.229~P.232をよく読んでまとめておくこと。
	公共図書館の制度と機能	(学修内容)「図書館法」の構成と性格を理解する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 「図書館法」の条文を読んでおくこと。
	公共図書館のサービス	(学修内容)公共図書館が提供するサービスについて概説する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.146~P.150をよく読んでまとめておくこと。
	公立図書館の管理運営について考える	(学修内容)公立図書館の管理運営に関してグループディスカッションを行い、意見 交換の後にプレゼンテーションする。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 指定管理者制度に関する配付プリントをよく読んでおくこと。
	学校図書館の制度と機能	(学修内容)学校図書館の役割と機能について概説する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.161~P.168をよく読んでまとめておくこと。
	大学図書館の制度と機能	(学修内容)大学図書館の法的根拠、機能などについて考察する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.177~P.183をよく読んでまとめておくこと。
	専門図書館の制度と機能	(学修内容)専門図書館の特性、類別、機能などについて概説する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.190~P.193をよく読んでまとめておくこと。
	国立図書館の制度と機能	(学修内容)国立図書館の法的基盤、図書館奉仕などについて概説する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.203~211をよく読んでまとめておくこと。
第15回	出版文化と図書館	(学修内容)出版文化と図書館の貸出サービスとの関係についてグループディスカッションを行い、意見交換の後にプレゼンテーションする。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP.45~P.48をよく読んでまとめておくこと。

授 業 名	図書館サービス概論	開講	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2711	
	Introduction to Library Services	学年 開講 明期	 春学期		必修選択	 		
担当者	川瀬 綾子	対 象	 総合文化2回生		送扒			
授業の概要	図書館サービスにかかる理念、構造、活動内容、規範について公共図書館を基本として解説し、学びを深めていく。図書館サービスとネットワーク化の必要性など、現代の図書館における様々なサービスについて、その意味や意義を理解する。また近年の情報社会において図書館で扱う資料や情報提供サービスの基本と展開についても学んでいく。授業では、図書館に関する映像を見たり、ディスカッションやレポートの作成、プレゼンテーションにも取り組む。							
	1) 現代の図書館サービスについて、その基本と意義、理念を把握することができる。							
学修成果到達目標	2)図書館における様々なサービスを学び、その多様な在り方につ3)今後の図書館サービスの在り方を考えることができる。	いて理解し	ル、考察を深める。					
	知識・理解		用的技能					
学位授与の 方針との関連	態度・志向性	**E	合的な学習経験と	創造的思	考力			
万軒Cの料理								
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		き レポ 実習		削作物 €技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テキスト	高山正也・村上篤太郎編『改訂 図書館サービス概論』樹村房、201	9年						
参考書	授業にて指示する。							
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートは、コメントを付けて返却します。							
留意事項	公共図書館等を積極的に訪れてその図書館でどのようなサービスが 授業の予習・復習は欠かさずに行い、わからない点などがあれば次 ようにしてください。 出席日数が3分の2に満たない者には、原則として単位は与えませ	の授業まで						
オフィスアワー	担当授業終了時に実施する。また毎授業時にコメント等を書く用紙 ること。	を配布する	ので、質問などか	があればそ	の用紙を消	舌用す		
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:図書館司書として児童図書館、学校図書館、 スについて話をします。	病院図書室	圏に勤務。実務経 駅	きも踏まえ	て図書館も	ナービ		

授業 名 図書館サービス概論

	四目的グ しろ 吸酬	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	授業の概要説明、公共図書館における図書館サー ビスについて	(学修内容)授業の概要(授業計画、内容、評価方法、本講義の進め方等についての 説明)、図書館のサービスとはどのようなものであるのかを学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 今まで自分が図書館で体験した、もしくは見聞きしたことのある図書館 サービスについて考えておく。
	図書館サービスの意義と理念1 - 図書館サービスの概要 -	(学修内容)様々な図書館サービスについての解説、その意義や理念などを概説する
第2回	V 100, 52	(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第1章1・2項を読んでおくこと。
	図書館サービスの意義と理念2 - 図書館業務の概要 -	(学修内容)図書館で行われている業務にについて学ぶ。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第1章3 - 5項を読んでおくこと。
	公共図書館サービスの変遷	(学修内容)公共図書館サービスの基盤整備から市民の図書館への流れと今日の公共 図書館サービスの確立についてを学ぶ。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書第2章を読んでおくこと。
	図書館サービスとコンプライアンス	(学修内容)知識のデジタル化・オープンアクセス化についてを中心に学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第5回		教科書第3章を読んでおくこと。
	資料提供サービス	(学修内容)資料提供サービスについて理解する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書第4章を読んでおくこと。
	情報提供サービス	(学修内容)レファレンスサービスを中心に解説する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(120分) 教科書第5章を読んでおくこと。レファレンスサービスに関する課題を 課す。
	図書館サービスの協力と連携	(学修内容)図書館や類縁機関との協力・連携について学ぶ。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(120分) 教科書第6章を読んでおくこと。
	課題解決支援サービス	(学修内容)各種課題解決支援サービスを事例映像を観ながら確認及び解説する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回		教科書第7章を読んでおくこと。
	利用者対象別サービス - 多文化サービス、障害者 サービス、高齢者サービスについて -	(学修内容)外国の方への図書館サービスや、障害者、高齢者の方への図書館サービ スについてを解説する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書第8・9章を読んでおくこと。
	図書館サービスとコミュニケーション	(学修内容)利用者に対する接遇・広報について理解する。第7回の授業で課した課題の発表とディスカッションを行う。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 公共図書館のHPや広報物等を確認しておくこと。
	図書館サービスと著作権1-著作権の概要-	(学修内容)著作権の意義と概要について学習する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書第3章3項を読んでおくこと。
	図書館サービスと著作権 2 - 図書館における著作	(学修内容)図書館で行われている複写サービスを中心に解説する。
第13回	権 -	(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書第3章3項を読んでおくこと。
	図書館サービスの課題と展望	(学修内容)これまで学んできた内容を振り返り、現代の図書館サービスについての TROY 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
第14回		理解を深め、これからの課題、問題点などを考える。 (事前事後学修課題の内容)(120分) 今まで学んできたことを振り返って復習し、図書館に必要なサービスと
		は何かを考えてくる。教科書第11章を読んでおくこと。
	図書館サービスの未来:授業まとめ	(学修内容)これからの図書館の在り方について考える。

授業名	児童サービス論	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2712	
	Theory of Child Services	開講 時期	春学期		必修選択	選択		
担当者	 杉岡 和弘	対 象	総合文化2回生		医扒			
授業の概要	子生 公共図書館にとって児童サービスは重要な担当業務である。子どもは、生涯続く図書館利用者だからです。知識を得るだけでなく、業務の実際を体験しながら、自発的に考え行動する児童図書館員の育成をめざします。子どもの図書館にとって、1.子どもを知ること、2.子どもの本を知ること、3.子どもと本を結びつけること、が重要です。この3点を基軸に、子どもの読書、子どもの図書館、子どもの本を学習し、子どもの本を紹介する技術の習得を、ワークショップ形式で学んでいきます。							
学修成果到達目標	1)公共図書館における児童サービスの役割を生涯学習者形成の観点 2)児童図書館員の役割を主眼に、講義中の各テーマについて自分の 3)グループ討論を通して、根拠に根ざした意見を他者に伝えるスキ	視点に沿	って意見を論述で	きること。				
	知識・理解	沪	l用的技能					
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		└─── グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		実習		削作物 尾技		
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレー	ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)	
テキスト	使用しない(GoogleClassroomで授業スライドなどpdf配布)。							
参考書	堀川照代編著、『児童サービス論』,日本図書館協会,2014,ISBN97848 日本図書館協会児童青少年委員会児童図書館サービス編集委員会編 1,ISBN9784820411062,ISBN9784820411079 杉岡和弘著、『子ども図書館をつくる』(図書館の現場; 4),200	,『児童図	書館サービス1・		図書館協会	늧,201		
課題に対する フィードバック の方法	提出物については、ポータルにて講評及びコメントする。 る コメントシートの記載内容については、授業内で適宜フィードバックする。 ク							
留意事項	授業は、学んだことをグループ討議を通して学習していく。 また、トが学習システムで求められる。積極的に授業参加し、課題解決で時与えられるので、心構えしてほしい。							
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:香寺町立図書館における館長、姫路市立図書 紹介しながら解説します。	館における	ら司書の実務経験を	きもとに、	具体的な乳	事例を		

授業 名 児童サービス論

受業計画		学修内容・課題
	授業オリエンテーション	(学修内容)授業の概要や課題、学習方法を説明する。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(10分) シラバスを読んで授業内容や到達目標と評価方法を確認しておく。 自分の幼い時の 読書体験、図書館利用を討議する。
笠の同	子どもを知る	(学修内容)子どもの成長に応じた、読書の変化、子どもの情報行動について学習す る。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 子どもの成長と読書の関係を、自分の経験をもとに考えておくこと。また、グループ討議します。
第3回	子どもの図書館を知る	(学修内容)子どもの図書館が歩んできた過程を通して、児童サービスの重要性を学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 自分の図書館経験をグループ討議します。また、課題「図書館見学レボ
	子どもの本を知る(1)	ート」が出題されます。 (学修内容)就学前の子どもの本(わらべうた、なぞなぞ、昔話、絵本)を学びます。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第4回		書評(レビュー)スリップの作成課題が出題されます。課題の図書から どの図書を選ぶか留意して授業に臨んでください。
第5回	子どもの本を知る(2)	(学修内容)学童期の子どもの本(少年詩、児童文学、科学読み物、ノンフィクション)を学びます。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
	本を選ぶ(1)	書評(レビュー)スリップの作成課題が出題されます。課題の図書から どの図書を選ぶか留意して授業に臨んでください。 (学修内容)児童図書出版状況、選書の実際とその重要性を学ぶ。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 児童サービスにとって選書の大切さを整理しておくこと。次週、また課
	本を選ぶ(2)	題の「書評(レビュー)スリップ」を利用して選書会議をします。 (学修内容)書評(レビュー)スリップを利用して、グループ討議を通して選書を学
第7回		ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 選書会議で、得られた他メンバーの意見の相違点や類似点を書評(レヒュー)スリップにまとめておくこと。
第8回	書評を書く	(学修内容)書評を書くことを通して、子どもの本を正しく捉え、評価することを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第 0四		書評(レビュー)スリップをもとに、「書評を書く」課題について、締め切り、字数に留意して作成してください。
第9回	ブックリストを作る	(学修内容)子ども向けの文章の違いを学び、子どものためのブックガイドの書き方 、ブックリストを作成について考えます。 (事前事後学修課題の内容)(60分) グループ討議「テーマ探し」を参考に、課題「ブックリストを作る」に
	子どもの本を紹介する	ついて書評(レビュー)スリップをもとに取り組んでください。 (学修内容)公共図書館で行われている読み聞かせ、ストーリーテリング、ブック トークなど、子どもと本を結ぶ技術を学ぶ。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 子どもに直接本を紹介する技術にはどのようなものがあるか、またどの ような違いがあるか整理してください。
第11回	子どもの図書館を考える	(学修内容)図書館計画において子どものために留意する点について学びます。レポート「図書館見学」をもとにグールブ討議します。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
	児童室のレイアウトを考える	課題「図書館見学レポート」をもとに、グループ討議をします。子ども に対する配慮や利用しやすい図書館を考えます。 (学修内容)図書館の中の児童室の書架レイアウトを考えます。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 課題「児童室のレイアウトをつくる」が出題されます。グループ討議の
	子どもの図書館の運営	意見を参考にし、課題に取り組んでください。 (学修内容)ヤングアダルト、特別なニーズを持つ子どもたちに対する図書館サーヒス、他機関の連携を学ぶ。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) ヤングアダルト文学の特徴、それぞれの特別なニーズに対してどのよう な資料があるか整理してください。
第14回	子ども読書活動推進計画を考える	(学修内容)児童サービスを、政策として捉え、子どもの読書を推進していくための 具体的な方法を考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) グループ討議「子ども読書活動推進計画を考える」を、次回授業時にフ
第15回	おはなし会の実際とグループ発表「子ども読書活動推進計画」	レゼンテーションで発表できるように準備をしてください。 (学修内容)おはなし会の実際について学ぶ。「子ども読書活動推進計画」をグルー プ発表します。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		他のグループの「子ども読書活動推進計画」との相違や類似について整理してください。

授	業	名	図書館制度・経営論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CL1706
英	文	名	Theory of Library System and Management	開講 時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担	当	者	渡邊 雄一	対象学生	総合文化1回生	<u> </u>			
授業	の相		図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について学の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態に 理解を深めるために、グループワークやプレゼンテーションを実施	ついて学習					
			1)図書館設置を規定する法律の内容を理解し、説明することがで	 きる。					
			2)図書館設員を規定する法律の内容を理解し、説明することがで 2)図書館組織、管理、運営、施設等の、図書館経営に関する基本 3)図書館サービス計画に関するプレゼンテーションを10分間行う	的な内容を		ことがで	きる。		
学順到這									
			知識・理解		l用的技能	A15#11 = 1			
学位方針。			態度・志向性	11/1	合的な学習経験と	創造的思	考力		
,,,,,,									
アクラ ラー: 対象!	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評個	方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技	平常記(40		き レポ 実習		制作物 実技	
評値	基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
7	= ス	۲	授業中に指示する。						
参	考	書	授業中に指示する。						
課題I フィー の方?	ドバ		フィードバックとして理解度を測る小テストを実施後、解答の解説	を行います	Γ.				
留意	重事	項	地域の公共図書館に足を運び、その活動状況を観察しておくこと。						
オファ	フィワ		毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。						
実践	的都	数育	実践的教育 教員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館 話をします。	に勤務。ぽ	ミ務経験をもとに図]書館制度	や経営にご	סווד	

授業名 図書館制度・経営論

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスの内容を確認しておくこと。
	図書館の制度	(学修内容)図書館設置を規定する各法律について解説する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前配付ブリントをよく読んでおくこと。
	図書館法	(学修内容)図書館法の条文を理解する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 図書館法の条文を読んでおくこと。
	他館種の図書館に関する法律	(学修内容)学校図書館法、国立国会図書館法などについて解説する。
第4回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 学校図書館法、国立国会図書館法の条文を読んでおくこと。
	図書館サービスと法律	(学修内容)著作権法、個人情報保護法などについて解説する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 著作権法の条文を読んでおくこと。
	図書館の管理運営の外部化 指定管理者制度	(学修内容)指定管理者制度について解説する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 指定管理者制度について調べておくこと。
	 図書館の管理運営の外部化 PFI	 (学修内容)PFIについて解説する。管理運営の外部化に関して問題点をグループ討
答え回		議する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) PFIについて調べておくこと。
	図書館のサービス計画	(学修内容)図書館サービスの計画について概説する。
第8回		 (事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前配付プリントをよく読んでおくこと。
	図書館のマーケティング	(学修内容)図書館におけるマーケティングの内容・方法について概説する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前配付プリントをよく読んでおくこと。
	図書館の建築計画	(学修内容)図書館建設手順の流れについて解説する。
₩40E		/ 東於東後光度細胞の中央 > / 20/> >
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前配付プリントをよく読んでおくこと。
	レイアウト図をつくる ゾーニング計画	(学修内容)ゾーニング計画をつくる。適切なレイアウトについてグループで討議を
第11回		行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 地域の公共図書館のゾーニングを調べておくこと。
	レイアウト図をつくる 書架	(学修内容)図書館のレイアウト図をつくる。書架を並べる。
第40 同		(重前事後学修課題の内容)(60分)
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 地域の公共図書館の書架配置について調べておくこと。
	レイアウト図をつくる 閲覧席	(学修内容)図書館のレイアウト図をつくる。閲覧席を並べる。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 地域の公共図書館の閲覧席配置について調べておくこと。
	レイアウト図を発表する ゾーニング計画	(学修内容)作成したゾーニング計画及びレイアウト図を発表する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) レイアウト図を完成させる。
第15回	レイアウト図を発表する コンセプト・レイア ウト図	(学修内容)コンセプトをふまえて作成したゾーニング計画及びレイアウト図を発表する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		レイアウト図を完成させる。

授 業 名	図書館情報技術論	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2718
英 文 名	Theory of Library Information Technology	開 講時 期	秋学期		必 修選 択	選択	
担 当 者	岡紀子	対象学生	総合文化2回生	Ē			
授業の概要	今日の図書館司書の業務は、コンピュータを中心とする情報機器に 務の習得が不可欠である。本科目では、図書館業務に必要な基礎的 、コンピュータシステム、データベース、検索エンジン、図書館シ ぼ毎回授業内容に関する課題を行う。数回はグループディスカッシ 験する。	な情報技術 ステム、電	うを修得するために ②子資料等について	、コンピ 学習する	ュータ等(。授業でl	の基礎 よ、ほ	
学修成果到達目標	1)図書館の現場で必要となる基礎的な情報技術の知識を習得する2)知識を活用して図書館が直面する今日的な課題に対応すること3)インターネット上の情報源や電子出版の動向などを理解し、そ4)情報サービス演習 · 、情報サービス論とあわせて履修する力を身に着ける。	ができる。 れらと連携					
	知識・理解	泂	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・	DDI =	# u		→ 1.	ボ ン,ニー:	2, - 2,	
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用) ーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレ	ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	改訂 図書館と情報技術(樹村房)2018 4月発刊 ・図書館情報技術論 田中均 青弓社 2019年						
参考書	・新版デジタルアーキビスト入門:デジタルアーカイブの基礎2019 ・新しい産業創造へ (デジタルアーカイブ・ベーシックス 5) 202 ・自然史・理工系研究データの活用 (デジタルアーカイブ・ベーシ ・検索スキルをみがく第二版検索技術者検定3級公式テキスト吉田書	1年5月 2 ⁻ ックス3)	750円(税含)時実 2020年4月2750円			i	
課題に対する フィードバック の方法	・提出されたレポートは、発表の際に都度コメントします。 ・制作物などについては、その実習中に個別に対応します。						
留意事項	・授業で学ぶことは基本的なことだけです。この分野についてよりずに各専門書を参照してください。現代の社会の情報技術の進歩はけましょう。新しい技術を図書館でどのように活用できるかを考えで、既成概念にとらわれない自由な発想ができるように期待してい・自ら図書館に足を運び、図書館における業務を把握し、情報技術	目覚ましい るのが、こ ます。	いので、常に最新のこれからの司書の重)情報を入 要な使命	手するよう だと思いる	う心が ますの	
オフィス アワー	担当授業後に質問を受け付ける						
実践的教育							

授業 名 図書館情報技術論

1X - 1	凶首時刊秋秋州調		
授業計画	学修項目		
第1回	図書館情報技術論の概要とねらい	び学 (事前事後学修設	技術が重要な基盤となっている現代の図書館情報技術の重要性、およ 学習の概要とねらいについて学ぶ 思題の内容)(10分) 4箇所の予習
第2回	コンピュータの基礎	(事前事後学修設	ソピュータの基本、仕組みについて学ぶ。 課題の内容)(10分) 治箇所の予習
第3回	ネットワークの基礎	(事前事後学修設	・トワーク、インターネット、WWWについて基礎を学ぶ。 課題の内容)(10分) á箇所の予習
第4回	情報技術と社会・法律	術の (事前事後学修設	役化社会の特徴をふまえ情報技術との深い関わりを理解する。情報技 の法的保護の観点から、知的財産権、特に著作権について学習する。 課題の内容)(10分) 指箇所の予習
第5回	データベースの仕組み	・知 (事前事後学修設	- タベースの定義、種類、データベースシステムなど。データ・情報 日識について学ぶ。 児題の内容)(10分) 指箇所の予習
第6回	サーチエンジン(検索エンジン)の仕組み	徴。 (事前事後学修説	: ブ検索の歴史と検索エンジン、種類。ロボット型検索エンジンの特 新しい情報アクセス技術(RDF)について理解する。 思題の内容)(10分) á箇所の予習
第7回	コンピュータシステムの管理とセキュリティ	テ <i>L</i> (事前事後学修設	・ピュータシステムが安全確実に運用されるためのセキュリティシス &とその技術について学習する。 課題の内容)(10分) {箇所の予習0
第8回	図書館の新たなITの活用 その1	の根 (事前事後学修設	≹館の管理システムにつて、技術面から学習する。図書管理システム ₹要、ICタグ、自動化技術などを活用したシステムについて学ぶ。 果題の内容)(10分) á箇所の予習
第9回	図書館の新たなITの活用 その 2	び学 (事前事後学修設	ジタルレファレンスサービス、レファレンス協同データベース、およ 学術機関リポジトリー、ディスカバリーサービスについて学習する。 課題の内容)(10分) á箇所の予習
第10回	図書館と電子資料	電子 (事前事後学修設	書館で扱う電子資料と、その管理技術を学習する。電子ジャーナル、 プブック、文献デリバリーおよび資料のデジタル化について。 思題の内容)(10分) á箇所の予習
第11回	1)デジタルアーカイブ 2)最終レポート課題設定:提出期限は13回目 3)図書館における障がい者支援のとりくみ M-DAISY作成の概要、アカウントとPWを配布	野と (事前事後学修説	デジタルアーカイブの定義、歴史、さらにその動向と意義、応用分特長、作成技術などについて。ウェブサイト例を紹介する。 関題の内容)(10分) 後節所の予習
第12回	マルチメディアDAISY作成の演習(1)	音声 (事前事後学修説	い者支援機能の一つである、マルチメディアDAISYについて学ぶ。 支支援システムソフトを用いてmDAISY形式資料の編集を実践をする。 R題の内容)(10分) pウント・PWでアクセスの確認
第13回	最終レポート提出 ブレゼンテーション(1) マルチメディアDAISY作成の演習(2)	(事前事後学修設	ペート提出期限 日レポートの発表(1) R題の内容)(60分) AISY編集作業を継続
第14回	最終レポートのプレゼンテーション (2) プレゼンの状況に応じて、 マルチメディアDAISY作成の演習 (3)継続	(事前事後学修設	原レポートの発表(2) 課題の内容)(60分) ImDAISY編集作業を継続
第15回	最終レポートのプレゼンテーション(2) マルチメディアDAISY完成・提出(4)	mDA (事前事後学修設	[レポートの発表(3) ISY編集完成版の提出 思題の内容)(60分) ImDAISY編集作業完成

授業名文		開講	454	224 /2 454	034 /A	科目	01.4700
	図書館情報資源概論 	学年	1回生	単位数		コード	CL1702
英 文 名 Int	ntroduction to Library Information Resource	開 講時 期	春学期		必修選択	選択	
担当者渡	造 雄一	対 象 学 生	総合文化1回生	Ē			
に必	年多様化している図書館情報資源について、その類型と特質、歴史 必要な情報資源に関する知識を習得することを目的とする。また、 に対する情報サービスの方法や心得に関する基本的知識の習得も目 ループディスカッションを行いながら授業を進める。	図書館の)将来を見通した賞	[料収集の	あり方や、	利用	
2)) 図書館が扱う資料(印刷資料、非印刷資料、電子資料)の種類と) 図書館で受け入れる資料の処理方法や取り扱い方の注意点、修復) ネットワーク情報資源や電子情報資源について理解し、説明でき	夏方法を理					
	知識・理解	泂	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・							
ラー・ング		ブループワ [C T 活用	/一ク](自主学習支援)		ゼンテーシ	/ョン	
評価方法 `	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 50 %) 口述 実習 実技	平常記(50		・ レポ 実習		削作物 €技	
評価基準 主加	たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレセ観点授業態度・参加意欲(ヹンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	田岳久編『図書館情報資源概論』(ベーシック司書講座・図書館の)基礎と展	望8)学文社,20	16年			
参考書	場俊明編『図書館情報資源概論 JLA図書館情報学テキストシリー	ズ 8』	日本図書館協会,	2018年			
フィ 課題に対する フィードバック の方法	ィードバックとして理解度確認テストを回収後、解答の解説を行い	ます。					
	書館を積極的に利用し、図書館資料の種類・特色について調べてま 極的な授業参加が求められる。特に、グループディスカッションで]に発言し、意見交	換するこ	と。		
オフィス ^{毎退} アワー	週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。						
	実践的教育 員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館に ます。	二勤務。実		書館資料	について角	平説 し	

授業 名 図書館情報資源概論

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業展開の解説、図書館が取り扱う知識と情報の性質について学習する
第1回		。 (事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスの内容を確認しておくこと。
	図書館情報資源の経緯	(学修内容)図書館資料全般の特質、歴史について学習する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト2章p.12-17を読んでまとめておくこと。
第3回	印刷資料・非印刷資料の類型と特質	(学修内容)資料の類型、図書、逐次刊行物、小冊子、視聴覚資料、マイクロ資料、 障害者向け資料の定義、種類、特徴、などについて学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト3章p.18-25 を読んでまとめておくこと
第4回	電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質	(学修内容)電子資料、ネットワーク情報資源の定義と特徴、ネットワーク型情報資源、パッケージ型電子資料の種類と特質について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト4章p.26-31を読んでまとめておくこと。
第5回	地域資料、行政資料、灰色文献	(学修内容)地域資料の意義、地域資料、行政資料、灰色文献の定義について理解し、地域資料の収集、情報発信のあり方について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト5章p32-37を読んでまとめておくこと。
₩	情報資源の生産(出版)と流通	(学修内容)出版の流通、図書の制作の過程について学習する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト6章p. 38-43を読んでまとめておくこと。
~~~	図書館業務と情報資源に知識関する知識 図書館と著作権	(学修内容)図書館情報資源利用と著作権法の関わりについて学習する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 「図書館と著作権法」に関する情報をインターネットで調べ、わからない言葉を書き出しておくこと。
第8回	コレクション形成の理論	(学修内容)コレクション形成における資源、コレクション形成理論の史的展開について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト8章p. 50-57を読んでまとめておくこと。
第9回	コレクション形成の方法	(学修内容)蔵書構築と蔵書構成、選択、収集、形成、維持について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト9章p.58-63を読んでまとめておくこと。
第10回	人文・社会科学分野の情報資源とその特性	(学修内容)人文・社会科学、科学技術分野、各分野の学問的諸領域、情報資源へのアクセスについて学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト10章p.64-71を読んでまとめておくこと。
第11回	科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性	(学修内容)科学技術分野、生活分野の意味、科学技術情報、科学技術コミュニケーション、生活分野の学術文献の特色について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト11章p.72-77を読んでまとめておくこと。
第12回	資料の受入・除籍・保存・管理の実際	(学修内容)資料の受入、除籍、保存、資料管理のあり方について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト12章p.78-85を読んでまとめておくこと。
第13回	情報生産の新たな仕組みと図書館情報資源	(学修内容)クラウドソーシング、クラウドコンピューティング、オープンソース・オープンアクセスなどについて学習する (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト13章p.86-91を読んでまとめておくこと
第14回	電子書籍、電子ジャーナルー 図書館情報資源としての意義と課題	(学修内容)電子書籍の現状と意義について学習する。電子ジャーナルに関してグループディスカッションを行い、現状と課題について考察する (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト14章p.92-97を読んでまとめておくこと
第15回	まとめ	(学修内容)総復習 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキスト15章p.98-117を読んでまとめておくこと

授業	名	情報資源組織論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	CL1707
英文	名	Theory of Informational Resource Organization	開講時期	春学期		必 修選 択	選択	
担当	者	川瀬 綾子	対象 学生	総合文化1回生	Ē			
授業の	概要	図書館は資料・情報を収集・整理・保存し、提供する社会的記憶装 織化につき、その意義の理解を進め目録法等の基礎知識を獲得する。 状況の理解を目的とする。						
学修月到達員		1)情報資源組織化の手法(記述目録法)の基本的事項を説明でき 2)情報資源組織化の手法(分類法・件名法など)の基本的事項を記 の基本的事項を記	説明できる					
学位授	ΕΦ	知識・理解態度・志向性		l用的技能 総合的な学習経験と	創造的思	 ≱力		
方針との		בו דיוטי צופי	INC			3/1		
アクティラーニン 対象授業	ノグ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価フ	方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 70 %) 口述 実習 実技	平常記(30		き レポ 実習		制作物 実技	
評価基	基 準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレー観点授業態度・参加意欲(	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキン	スト	田窪直規『三訂 情報資源組織論』樹村房 202年発行 ISBN:978-4-	-88367-33	9-1				
参考	書	講義で紹介。						
課題に対フィードの方法		提出物を添削し、コメントをつけて返却する。						
留意	事項							
オフィアワ	1 ^	担当授業終了後に実施する。						
実践的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:図書館司書として児童図書館、学校図書館、 織化について話をします。	<b>病院図書</b> 室	室に勤務。実務経験	きも踏まえ	て情報資源	原の組	

## 授業名 情報資源組織論

授業計画		学修内容・課題
	情報資源組織論資料組織化の目的	(学修内容)当該科目と図書館司書科目について
第1回		(事前事後学修課題の内容) (20分) 図書館情報資源の配列やOPACを確認する
第2回	情報資源組織論の概要について	(学修内容)2つの探し方、検索をする仕組み、情報資源組織論の骨格、専門用語 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第1章を読む
第3回	情報資源の組織化、図書館情報資源の配列、検索 手段について	(学修内容)情報資源組織、図書館法、記述目録法、主題索引法(主題目録法)、排列(配列)、別置、サイン計画等 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書第1章を読む
第4回	目録について	(学修内容)目録の役割、書誌分類、目録の種類、OPAC (事前事後学修課題の内容)(30分)
**·□		教科書第2章を読む
第5回	目録の機能について	(学修内容)目録の種別、目録の機能、検索機能、集中機能・識別機能、著者名典拠 ファイル、同定識別、分類目録、件名目録 (事前事後学修課題の内容)(20分) 教科書第2章「1.目録と目録法の意義」「2.目録法の基本的な考え 方」を読む
第6回	目録の機能、典拠コントロールについて	(学修内容)書誌コントロール、典拠コントロール、典拠データ(典拠ファイル)、 著者とは?、著作とは? (事前事後学修課題の内容)(10分) 教科書第2章「2.目録法の基本的な考え方」を読む
第7回	FRBR (書誌レコードの機能要件)について	(学修内容)FRBR(書誌レコードの機能要件)、著作(Work)、表現形(Expression)、 体現形(Manifestation)、個別資料(Item)、国際目録原則覚書 (事前事後学修課題の内容)(20分) 教科書第2章「3.FRBRモデル」~「6.実体間の関連の記録」を読む
第8回	目録規則の歴史について	(学修内容)目録規則、RDA、FRBRモデル、日本目録規則、書誌階層、ISBD (事前事後学修課題の内容)(20分) 教科書第2章「2.目録法の基本的な考え方」、「7.目録法の歴史的
第9回	日本目録規則2018年版、メタデータ、インターネットの検索エンジンについて	発展と現在」を読む  (学修内容)日本目録規則2018年版(NCR2018)、メタデータ、ダブリン・コア、検索エンジン (事前事後学修課題の内容)(40分)  教科書第1章p.14-15、第2章「7.目録法の歴史的発展と現在」(3) 、第3章を読む
第10回	コンピュータ目録について	、第3章を読む (学修内容)OPAC(Online Public Access Catalog)、キーワード検索、Nグラム (事前事後学修課題の内容)(20分) 第3章p.66-70、p.79-81を読む
第11回	総合目録、書誌ユーティリティ、横断検索、ILL( Inter Library Loan)について	(学修内容)総合目録、書誌ユーティリティ、横断検索、ILL(Inter Library Loan) 、ディスカバリーOPAC (事前事後学修課題の内容) (15分) 第3章p.74-84を読む
第12回	主題索引法について	(学修内容)既知文献検索と未知文献検索、トピックスとサブジェクト、分類目録、 日本十進分類法新訂10版、NDC10、分類記号 (事前事後学修課題の内容)(20分) 教科書第4章p.101-106、第5章p.112-123を読む
第13回	『日本十進分類法 新訂 10 版』について1	(学修内容) NDC10 (事前事後学修課題の内容)(20分) 教科書第5章p.122-147を読む
第14回	『日本十進分類法 新訂 10 版』について 2	(学修内容) NDC10 (事前事後学修課題の内容)(20分) 教科書第5章p.122-147を読む
第15回	『基本件名標目表第4版』、シソーラスについて	(学修内容)自然語、統制語と主題検索、件名目録・件名標目表、シソーラス、事前 結合方式と事後結合方式 (事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書第5章p.136-142、第6章を読む

授 業 名	情報資源組織演習	開講学年	2回生	単 位 数	2単位	科目  コード	CL2719
英 文 名	Bibliographic Organization Practice	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択	
担当者	川瀬 綾子	対象学生	総合文化2回生				
	多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、 について実践的な能力を養成する。	⊥ 統制語彙 <i>0</i>	」 D適用等の演習を通	して、情	報資源組織	哉業務	
授業の概要							
	1 ) 多様な情報資源に関する書誌データの作成が出来る。 2 ) メタデータの作成が出来る。						
	3)NDC10版、BSH4版を使って、情報資源の主題を記号お	よびことに	ば(統制語)で表現	<b>!できる。</b>			
学修成果							
到達目標							
学位授与の	知識・理解態度・志向性		l用的技能 総合的な学習経験と	創造的思想			
方針との関連	10000 101111			A3.2437.05	373		
アクティブ・ ラーニング		グループワ ICT活用	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン	
対象授業	美自・フィールドラーク ICI泊用(双方門堂技業)						
評価 方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (40%) 口述 実習 実技	平常記( 60		き レポ 実習		削作物 尾技	
	定期試験 ( 40 % )     筆記試験 口述 実習     レポート 実習     制作物 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (     コミュニケーション能力 プレ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (		5		)
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 40 % )     口述     実習     実技       主たる評価の     知識・理解     コミュニケーション能力     プレ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価方法	定期試験 ( 40 % )     筆記試験 口述 実習     レポート 実習     制作物 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (     コミュニケーション能力 プレ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価基準	定期試験 ( 40 % )     筆記試験 口述 実習     レポート 実習     制作物 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (     コミュニケーション能力 プレ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価基準	定期試験 ( 40 % )     筆記試験 口述 実習     レポート 実習     制作物 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (     コミュニケーション能力 プレ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価基準テキスト参考書	定期試験 ( 40 % )     筆記試験 口述 実習     レポート 実習     制作物 実技       主たる評価の 観点     知識・理解 授業態度・参加意欲 (     コミュニケーション能力 プレ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価	定期試験 ( 40 %)       筆記試験 口述 実習 実技       レポート 実習 実技         主たる評価の 観点       知識・理解 授業態度・参加意欲 (       コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (       プレ 授業態度・参加意欲 (         北克一、村上泰子共著『資料組織演習 改訂第4版』エム・ビー・コ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価を基準を対する。	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (40%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 北克一、村上泰子共著『資料組織演習 改訂第4版』エム・ビー・コ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価	定期試験 ( 40 %)       筆記試験 口述 実習 実技       レポート 実習 実技         主たる評価の 観点       知識・理解 授業態度・参加意欲 (       コミュニケーション能力 授業態度・参加意欲 (       プレ 授業態度・参加意欲 (         北克一、村上泰子共著『資料組織演習 改訂第4版』エム・ビー・コ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 40 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 北克一、村上泰子共著『資料組織演習 改訂第4版』エム・ビー・コ 授業中に行う課題については、添削をし、解説をする。 講義内容を復習すること。	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (40%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 北克一、村上泰子共著『資料組織演習 改訂第4版』エム・ビー・コ	( 60 ゼンテーシ	%) 口述 /ョン能力 課題 ) (	実習	5		)
評価まままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままままま<	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 40 %) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 ( 北克一、村上泰子共著『資料組織演習 改訂第4版』エム・ビー・コ 授業中に行う課題については、添削をし、解説をする。 講義内容を復習すること。	( 60 ゼンテーミ ニー 2017年	% ) 口述 課題 ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	実習・解説	決能力	<b>E技</b>	)

## 授業 名 情報資源組織演習

授業計画	学修項目	学修内容・課題	
第1回	情報資源組織化業務について、書誌レコード検索 演習	(学修内容)情報資源組織化の意義と目的、日本目録規則、ISBD、書誌ユーティイについて解説、書誌レコードの検索演習 (事前事後学修課題の内容)(30分) 「情報資源組織論」で学習した内容を復習しておくこと。	ィリテ
	和図書所蔵登録	(学修内容)和図書所蔵登録の演習	
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	和図書所蔵流用入力、和図書所蔵新規入力	(学修内容)書誌レコード流用入力、 新規入力の演習	
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	和図書所蔵新規入力 2	(学修内容)書誌レコード新規入力の演習	
第4回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	洋図書所蔵登録、洋図書所蔵流用入力	(学修内容)洋図書所蔵登録、流用入力の演習	
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	洋図書所蔵新規入力 	(学修内容)書誌レコード新規入力の演習 	
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	洋図書所蔵新規入力 2	(学修内容)書誌レコード新規入力の演習	
第7回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	典拠コントロール演習、雑誌所蔵登録演習	(学修内容)典拠コントロールの演習、雑誌の所蔵登録の演習	
第8回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	メタデータ演習	((学修内容)メタデータの演習 	
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。	
	基本件名標目表による件名付与	(学修内容)基本件名標目表の構成、利用の仕方を解説、演習問題	
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。間違えた課題は再居 しておくこと。	度確認
	基本件名標目表による件名付与	(学修内容)基本件名標目表の構成、利用の仕方を解説、演習問題	
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。間違えた課題は再展しておくこと。	
	日本十進分類法による分類作業	(学修内容)分類の概要、一般補助表(形式区分等)・固有補助表、相関索引の (事前事後学修課題の内容)(30分)	の活用
第12回		( 争削争後子修課題の内谷) ( 30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。間違えた課題は再居 しておくこと。	度確認
	日本十進分類法による分類作業	(学修内容)日本十進分類法の言語区分、固有補助表(言語共通区分・文学共道など)に関する解説、演習問題	通区分
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。間違えた課題は再展	度確認
	日本十進分類法による分類作業	しておくこと。 (学修内容)分類規程、図書記号の付与に関する解説、演習問題	
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。間違えた課題は再原 しておくこと。	度確認
	日本十進分類法による分類作業	(学修内容)演習問題	
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書の該当部分を見て、復習しておくこと。間違えた課題は再展 しておくこと。	度確認

英文名 Special Lecture on Library 開講 時期   担当者 渡邊 雄一 対象 学生	必修選択	<u>コード</u> 選択	CL1703
担 当 者 渡邊 雄一     財 当 者 渡邊 雄一     対象 総合文化1回生		選択	
担当者 被短 44 学生 総合文化1四生			
図書館司書課程の授業でこれまで学習した内容を発展的に深める。図書館におけるサービス内容を整理スに関わるテーマを各自で設定し、関連する文献資料を収集、整理し、自己の見解をまとめ、伝達できた、図書館の今日的動向を表すサービスの一つである課題解決支援サービスの在り方について、グルージンテーションを通して考察を深める。  授業の概要	るようにす	る。ま	
1)図書館サービスに関してテーマを各自で設定し、印刷媒体・電子媒体の資料を用いて適切な情報をレルポートの形に仕上げる。 2)図書館の課題解決支援サービスが求められる背景と今日的意義について説明することができる。 3)公共図書館で行われている課題解決支援サービスを紹介する資料を作成し、プレゼンテーションをできる。 学 修 成 果 到 達 目 標			
知識・理解 汎用的技能			
学位授与の 態度・志向性 総合的な学習経験と創造的別	思考力		
方針との関連			
	レゼンテー	ション	
対象授業 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業) ICT活用(自主学習支援)			
評価方法     定期試験     筆記試験     レポート     制作物     平常試験     筆記試験     レポート       (50%)     口述     実習     (50%)     口述     実施		制作物 実技	
評価 基 準 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力 課題発見・領 観点 授業態度・参加意欲 ( ) (	解決能力		)
授業中に指示する。			
授業中に指示する。 参考書			
フィードバックとして理解度を測る小レポートを回収後に解説を行います。 課題に対する フィードバック の方法			
受講者自身が図書館やデータベースを利用しながら必要な情報を収集し、整理し、資料を作成し、発表るため、積極的に授業に出席することが求められる。 留意事項	する授業形	式であ	
オフィス アワー 毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。			
実践的教育 教員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館に勤務。実務経験をもとに図書館ので て話をします。	今日的課題	につい	

#### 授業名 図書館基礎特論

授業計画	学修項目	学修内容・課題
X X II I	ガイダンス	(学修内容)本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分) シラバスの内容を確認しておくこと。
	公共図書館とは	(学修内容)図書館の定義、公共図書館の意義について学習する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(20分) 図書館の定義について調べておくこと。
第3回	公共図書館の今日的課題について	(学修内容)公共図書館の管理運営やサービス内容からみる今日的な課題について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前に配付する資料を読んでおくこと。
第4回	公共図書館運営の新たな動向について	(学修内容)指定管理者制度等の公共図書館をめぐる新たな動向について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前に配付する資料を読んでおくこと。
第5回	図書館サービスを考える	(学修内容)地域住民に奉仕する公共図書館のサービスの在り方について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 図書館に出向き、図書館サービスの内容を確認すること。
第6回	レファレンスサービスについて	(学修内容)図書館の情報サービスの柱であるレファレンスサービスについて説明する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 図書館に出向き、レファレンスサービスを体験しておくこと。
第7回	課題解決支援サービスについて	(学修内容)ビジネス支援サービス等の課題解決支援サービスの意義と課題について 学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 図書館に出向き、課題解決支援サービスの内容を調べておくこと。
第8回	レファレンス協同データベースについて	(学修内容)レファレンス協同データベースの意義について考察する。データベースを用いてレファレンスサービスの具体的事例を検索する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 検索したいテーマを考えておくこと。
第9回	サードプレイスについて	(学修内容)公共図書館に求められる役割として注目されるサードプレイスの概念について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前に配付する資料を読んでおくこと。
第10回	ラーニングコモンズについて	(学修内容)ラーニングコモンズが求められる背景とその内容について学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前に配付する資料を読んでおくこと。
第11回	図書館建築の動向(吹き抜け等)	(学修内容)図書館建築に見られる吹き抜け等について、その意義と課題について考察する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 事前に配付する資料を読んでおくこと。
第12回	図書館資料の探索と活用	(学修内容)図書館資料を効率的に探索し、それを整理する方法について解説する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 図書館での情報検索の方法について考えておくこと。
第13回	発表資料作成	(学修内容)図書館サービスを紹介する資料を作成する。 (事前事後学修課題の内容)(120分) 図書館で関連する資料を収集する。
	発表	(学修内容)各自で調べた図書館サービスの内容を発表する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(120分) 発表資料を完成させておく。
第15回	まとめ	(学修内容)授業を振り返り、レポートを作成する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) これまでに発表した内容をまとめ、新たに必要な資料があれば入手して
		おくこと。

授 業 名	図書・図書館史	開講	2回生	単位数	1単位	科目	CL2713
	History of Books and Libraries	学 年 開 講	       春学期	1 12 20	必修	コ - ド 選択	0227 10
	-	時期	選 択				
担当者	渡邊 雄一 対象						
授業の概要	図書の形態、印刷、普及、流通に関して歴史的に概説し、あわせて図書館の歴史的な展開についても解説する。古代知識の集積と図書館のはじまり、中世社会の思想と図書館との関係、近世図書館思想の広まりから公共図書館の誕生までの歴史を、西欧、中国、日本の視点から考えていく。図書館の歴史に対する理解を深めるために、グループワークやプレゼンテーションを行いながら授業を進める。   概要						
学修成果到達目標							
	知識・理解	沪	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	統	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・		#		<b>-</b>	125 5	> .	
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	/ーク ](自主学習支援)		ゼンテーシ	732	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記		ま習		制作物 ミ技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (		) (	発見・解	決能力		)
テキスト	『図書・図書館史』(現代図書館情報学シリーズ11)佃一可、樹村. 	房、2012年	Ē				
参考書	随時指示する。						
課題に対する フィードバック の方法	フィードバックとして理解度を測る小テストを実施後、解答の解説	を行います	-				
留意事項	普段から図書館に出向くよう心掛け、図書館の様子を観察しておいてもらいたい。グループワークやプレゼンテーションでは主体的な学びが求められる。積極的に授業に参加してもらいたい。						
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:レファレンス担当図書館員として大学図書館 します。	に勤務。実	- 異務経験をもとに図	書館の歴	史について	一解説	

## 授業名 図書・図書館史

授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。
第1回		(事前事後学修課題の内容) (20分) シラバスの内容を確認しておくこと。
	古代の図書館(西洋)	(学修内容)文字の発生と記録、古代の図書館について学習する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 古代の文字の種類とその記録媒体について考えておくこと。
	中世の図書館(西洋)	(学修内容)修道院図書館や大学図書館について学習する。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.62~P.77をよく読んでおくこと。
	近世の図書館(西洋)	(学修内容)ガブリエル・ノーデやライプニッツの図書館思想などについて学習する
第4回		。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.94~P.111をよく読んでおくこと。
第5回	近現代の図書館(西洋)	(学修内容)大英博物館図書館やボストン公共図書館の成立などについて学習する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.134~P.146をよく読んでおくこと。
	中国の図書の歴史(古代・中世)	(学修内容)紙の発明、四部分類について学習する。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.27~P.40をよく読んでおくこと。
	中国の図書の歴史(近世・近代)	(学修内容)印刷時代の図書について学習する。
第7回		(事前事後学修課題の内容) (60分) テキストP.123~P.131をよく読んでおくこと。
	古代の図書館(日本)	(学修内容)奈良時代・平安時代の図書館について学習する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.50~P.60をよく読んでおくこと。
	中世の図書館(日本)	(学修内容)鎌倉時代・室町時代の図書館について学習する。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.86~P.91をよく読んでおくこと。
	近世の図書館(日本)	(学修内容)江戸時代の図書館について学習する。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分) テキストP.112~P.122をよく読んでおくこと。
	近代の図書館(日本)	(学修内容)明治・大正・昭和前期の図書館について学習する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストP.147~P.166をよく読んでおくこと。
	現代の図書館(日本)	(学修内容)第二次世界大戦以降の図書館について学習する。
第12回		(事前事後学修課題の内容) (60分) テキストP.183~P.204をよく読んでおくこと。
第13回	日本の図書館の歴史について (グループワーク) 図書館の概要	(学修内容)これまでの授業で説明を受けた図書館の中から日本の図書館を一つ取り上げ、その館の概要をワークシートに従って調査する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 取り上げる図書館について、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと
	日本の図書館の歴史について(グループワーク)	(学修内容)これまでの授業で説明を受けた図書館の中から日本の図書館を一つ取り
第14回	関わった人物	(学修内谷) これまでの授業で説明を受けた図書館の中から日本の図書館を一つ取り上げ、その館の創立に関わった人物について調査する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 図書館に行き、取り上げる図書館について記載されている資料を閲覧し
	日本の図書館の歴史について(プレゼンテーション)	ておくこと。 (学修内容)前回までの調査で明らかになった事項をパワーポイントを用いて発表する。
第15回		(事前事後学修課題の内容) (120分) 前回までの調査で明らかになった事柄を整理し、パワーポイント資料を 作成する。

哲 丵 夕	秘書実務	開講	2回生	単位数	2単位	科目	CL2720
		学 年 開 講		<b>平位奴</b>	必修	コード	CLZ7ZU
英文名 ————	Practical Business in Office Administration	時期	秋学期       選択  選択				
担当者	藤田 恵美子	対象学生	総合文化2回生	Ē			
授業の概要	「秘書の仕事内容の理解と求められる基礎能力の習得」 秘書学概論で学んだことを具現化する。秘書業務を系統立てて具体的に学びながら、秘書だけでなくあらゆる業種や職種において必要とされるビジネス実務のマナー、ルールにまで理解を広げる。グループワークも取り入れながら、学んだ知識を実践で活用できる能力を修得する。						
学修成果到達目標							
	知識・理解	沂	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・		<u> </u>					
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	)ーク ](自主学習支援)		ゼンテーシ	ノヨン	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		・ 大ポ 実習		刮作物 実技	
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (		/ョン能力 課題	発見・解	決能力		)
テキスト	「秘書・オフィス実務」 武田秀子・岡田小夜子 著、早稲田教育	出版					
参考書	「全訂新版 秘書実務」田中篤子著 嵯峨野書院						
課題に対する フィードバック の方法	毎回提出される気づきや質問には、コメントを付けて返却します。	実技や口辺	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	 )都度コメ	ントをしま	 <b>ます</b> 。	
留意事項	・ 教科書に提出用の課題問題が付いているので、必ず教科書は購力 ・ 上司をサポートするこの仕事は、正確・時間・期限・言葉遣いた 捨て、もうすぐ社会人になるという自覚を持って受講してください。 ・ 学んだことは日常生活でも活かし、日常から社会の動きに興味を	どマナー	を守ることが求め	られます。	-	えを	
オフィスアワー	担当授業前後に実施する						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:国際線客室乗務員として勤務。 その後、接遇インストラクターとして新入社 それらの経験を活かし、光陵女子短期大学・ 准教授として秘書実務・ビジネス実務・エア	大阪国際大	、学非常勤講師、 大	阪学院大	学・短期ス		

## 授業名 秘書実務

12 * 1		
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション 「秘書実務」では何を学ぶのか	(学修内容)秘書学概論で学んだことを「秘書実務」で実践へ
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) (事前)シラバスを確認しておく
		(事後)配布プリントを復習する
	第1章 言葉遣い	(学修内容)敬語、接遇用語
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) (事前)第1章教科書を読んでおく、各Exercise問題を考える
	第2章 ビジネスマナー	(事後)第1章教科書と各Exercise問題を復習 (学修内容)来客応対(受付・名刺交換・案内・席次・茶菓のマナー、ロールプレイ
第3回		ング) (事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)第2章教科書を読む、各Exercise問題をグループで考える (事後)第2章教科書と各Exercise問題を復習
	第3章 電話応対	(学修内容)電話のマナー(かけ方・受け方、ロールプレイング)
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)第3章教科書を読んでおく、各Exercise問題を考えておく (事後)第3章教科書と各Exercise問題を復習し、日常生活で活かす
	第4章 指示の受け方と報告の仕方	(学修内容)聴き方、伝え方(ロールプレイング、ペアで役割演習)
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)第4章教科書を読んでおく、各Exercise問題を考えておく (事後)第4章教科書と各Exercise問題を復習し、日常生活で活かす
	第5章 スケジュール管理	(学修内容)スケジュール表作成、アポイントメントを取る・受ける(ロールプレイング、ペアで役割演習)
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)第5章教科書を読んでおく、各Exercise問題を考えておく (事後)第5章教科書を復習し、Googleカレンダーを活用
	第6章 出張業務	(学修内容)予約、手配、旅程表作成
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)教科書(P70~71)を読む、Exercise1問題をグループで考える (事後)教科書(P70~71)とExercise1問題を復習
	第7章 ファイリング	(学修内容)書類・名刺の整理
第8回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		(事前)教科書(P78~81)を読んでおく、Exercise1問題を考えておく (事後)教科書(P78~81)とExercise1問題を復習
	第8章 会議・会合	(学修内容)会議・会合の準備の留意、議事録作成
第9回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)教科書(P86~89)を読んでおく、Exercise1,2問題を考えておく
		(事後)教科書(P86~89)とExercise1,2問題を復習
	第9章 ビジネスメール&文書-1(社内文書)	(学修内容)社内メール&社内文書作成
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)教科書(P98~99、105)を読む、Exercise2問題を考えておく
		(事後)教科書(P98~99、105)、Exercise2問題を復習
	ビジネスメール&文書-2(社外文書)	(学修内容)社外メール&社外文書作成
第11回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)教科書(P100~102、114)を読む、Exercise1.8問題を考える
	<u> </u>	(事後)教科書(P100~102、114)とExercise1,8問題を復習
	社交文書&その他の文書-3	(学修内容)社交文書&その他(契約書・往復はがき・封筒)
第12回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)教科書(P107~113、115)を読む、各Exercise問題を考える
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(事後)教科書(P107~113、115)と各Exercise問題を復習
	第10章 受信と発信	(学修内容)文書&秘密文書の取り扱い
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)教科書(P118~121)を読んでおく、Exercise1.2の問題を考える
	<b>年</b> 44 年 10 日 10	(事後)教科書とExercise1.2の問題を復習
	第11章 慶弔	(学修内容)慶事、弔事のマナーと心得
第14回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)教科書(P124~130)読んでおく、Exercise問題を考えておく
		(事後)教科書(P124~130)を復習し、日常生活に活かす
	来客・電話応対まとめ	(学修内容)まとめの状況対応ロールプレイング(グループで役割演習)
第15回		(事前事後学修課題の内容) (60分) (事前)授業を振り返り、グループで役割演習の準備
		(事前)投棄を振り返り、グループで役割演員の卒補 (事後)日常生活に活かす

授 業 名	秘書学概論	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード CL2714		
英文名	Introduction to Office Administration	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択		
担当者	藤田 恵美子	対 象 学 生	総合文化2回生					
授業の概要	「秘書」という職務について、企業組織の中での秘書に着目し、秘書の役割、秘書の業務内容、秘書に求められるもの、秘書として最適な行動をとるための思考などを理論的に学ぶ。さらに、変化する社会環境・経済情勢の中で、上司を補佐する秘書として何が求められるかを考察し、自分自身のこれからのキャリアについても考える。							
学修成果到達目標								
	知識・理解	沙	 l用的技能					
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		後 レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)		
テキスト	プリントを配布する							
参 考 書	秘書概論 高橋眞知子、北垣日出子 樹村房							
課題に対する フィードバック の方法	毎回提出される理解度テストと気づきや質問には、コメントを付け 度解説・コメントする。	て返却する	る。毎回の理解度す	ころトにつ	いては、 [:]	その都		
留意事項	・ 上司のサポートをする仕事のため、出席・時間・提出期限・言葉遣いなどマナーを守ることが求められますので、それを理解の上で受講してください。 項 ・ 日常からニュースなど社会の動きに興味を持つように心掛けて下さい。							
オフィスアワー	担当授業前後に実施する							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:国際線客室乗務員として勤務。 その後、接遇インストラクターとして新入社 それらの経験を活かし、光陵女子短期大学・ 准教授として秘書実務・ビジネス実務・エア	大阪国際ノ	マジョン 学非常勤講師、プ	阪学院大	学・短期に			

## 授業名 秘書学概論

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション、「秘書学概論」の内容	(学修内容)「秘書学概論」では何を学ぶのか
第1回		   (事前事後学修課題の内容) (20分)
新 I 凹		(事前争後子修跡超の内谷)(20カ) (事前)シラバスの確認
		(事後)配布シラバスから学ぶ内容・目標の理解
	第1章 秘書とは	(学修内容)秘書の定義と歴史について学ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前)秘書のイメージを自分なりに考えておく
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第2章 秘書と急変する企業環境	(学修内容)組織と企業環境の関わりについて
<b>⇔</b> ∩⊟		   (事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回		(事刑事後子修謀越の内谷)(30ガ)   (事前)現在の企業環境について考えておく
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第3章 秘書と会社組織	(学修内容)会社組織の理解と秘書の位置づけ
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前)会社組織について考えておく
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第3章 4.秘書の業務形態	(学修内容)組織体に見る様々な秘書の業務形態
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前)どのような秘書の形態があるか考えておく (事後)配えずけいより歴報第二スト問題の復習をまる。
	第4章 秘書の職務と職能	(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする (学修内容)秘書業務内容とそれぞれの目的・目標
	54早	(子形内合)物音素物内合とてれてれの日的・日标
第6回		   (事前事後学修課題の内容)(30分)
NO CE		(事前)秘書業務の内容と目的・目標を考えておく
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第4章 5.秘書に求められる能力	(学修内容)秘書に求められる能力
	6.専門分化していく秘書	
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前)秘書に求められる能力を考えておく
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第5章 秘書に求められる資質	(学修内容)秘書に求められる資質と自己理解
<b>₩</b> .□		(市学市体学校理院の中京)(00八)
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   (事前)求められる資質を考えておく
		(事態)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第6章 秘書と人間関係	(学修内容)職場での人間関係と求められるコミュニケーション力
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前)求められるコミュニケーション力を考える
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第7章 秘書と情報管理	(学修内容)秘書が扱う情報の収集・整理・提供、その留意点
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		(事前)秘書が扱う情報の留意点について考えておく
	第0音 私事とまればマ	(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする (学修内容)様々な分野の秘書、その任務と求められる知識・技能
	第8章 秘書とキャリア	(ナドバ台)19xx は刀割い伽首、てい江紡と水のりれる料画・技能
第11回		   (事前事後学修課題の内容)(30分)
77.11		(事前)各分野の秘書に求められるものを考える
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第 部 グローバル化と国際秘書	(学修内容)企業のグローバル化について
	第1章 これからの企業	
第12回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		(事前)最近の企業の動きをニュース等で調べる
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第2章 秘書と異文化理解	(学修内容)異文化理解と異文化コミュニケーション
₩40E		(東前東後学校神順の中次)(20八)
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分)   (事前)異文化コミュニケーション事例を考える
		(事削) 乗X化コミュニケーション事例を考える (事後) 配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第3章 秘書とプロトコール	(学修内容)プロトコールとは
	WECZEL W	( SING / PAI - WORK
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
. –		(事前)プロトコールの事例を考えておく
		(事後)配布プリントと理解度テスト問題の復習をする
	第4章 これからの秘書	(学修内容)今後求められる秘書像と自分のキャリアデザインを考える
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		(事前)授業振返りとキャリアデザインを考える
		(事後)配布プリントと理解度テストをまとめる

授 業 名	ビジネス実務総論	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目 コード CL	_2715	
英 文 名	Outline of Practical Business Affairs	開講時期	春学期		必修選択	選択		
担当者	市川順子	対 象 学 生						
授業の概要	私たちの日々の生活は、衣食住の提供はもちろん、家庭を維持する礎である収入や保険まで、企業とのかかわりをなくしては考えられません。職業人として社会に出るまでの準備としてビジネス社会の仕組みや活動について学修します。また、テキストの第3部を予習・復習に使い理解を深め、社会人としての基礎能力を身につけていきます。  概要							
学修成果到達目標								
	知識・理解	,	凡用的技能					
学位授与の	態度・志向性	4	総合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		 グループ ICT活	ワーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソヨン		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常 ( 50	試験 筆記試駅 %) 口述	検 レポ 実習		削作物 €技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題 ) (	題発見・解	決能力		)	
テキスト	水原道子・大島武 編著 『新版 ビジネス実務総論』 樹村房							
参考書	講義中に指示します。							
課題に対する フィードパック の方法	提出された課題に対しては確認をして返却をします。 る 解説については、授業内で行います。 ク							
留意事項	社会人になるまでに社会(世の中のできごと)に対して興味・関心を持ち、新聞や企業のHPなどで自分が目指す業界の情報 を積極的に収集してください。 受講者の状況によって、進度・内容を随時調整することがあります。							
オフィスアワー	担当授業終了後に実施します。							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:一般企業において10年間、受付応対、電話応 また、一般企業での新人研修や、大学・高等 研修、大学・専門学校での検定対策授業等を: 秘書技能検定準1級面接審査員、サービス接退	学校での! 担当。	就職対策授業、イン	ノターンシ	ップ事前、			

## 授業 名 ビジネス実務総論

授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション/ビジネス社会とは	(学修内容)授業計画について
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前にシラバスの内容をよく読んで確認しておくこと
	企業の種類	(学修内容)企業の種類・組織について学ぶ
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) テキストを読み、ふりかえりシートを使って予習しておく
	社会と企業	(学修内容)社会における企業の役割を学ぶ
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 各自が興味のある企業のCSRを調べておく
	企業の会計	(学修内容)企業会計について学ぶ
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 各自が興味のある企業の決算について調べておく
	身の回りの経済	(学修内容)日常生活と経済についての関係について学ぶ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 身の回りのものの値段について調べてみる
	日本経済の流れ	(学修内容)戦後から現代までの経済の流れについて学ぶ
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) ふりかえりシートを使って復習する
	税と社会保険	(学修内容)税金の種類と社会保険について学ぶ
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 税金の種類、社会保険について調べておく ふりかえりシートを使って復習する
	労働と法律	(学修内容)労働者を守る法律について学ぶ 正規雇用と非正規雇用の違いを考える
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 労働三法について調べておく ふりかえりシートを使って復習する
	さまざまな働き方	(学修内容)働く意義や働き方の変化について学ぶ
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 回りの人たち(両親等)がどのような働き方をしているのか調べておく 自分がどのような働き方をしたいのか考える
	グローバル社会とビジネス	(学修内容)グローバル社会がビジネスにもたらす影響について学ぶ
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) インバウンドと観光にについて調べておく
	企業研究 1	(学修内容)グループで興味のある企業を選び、その企業について調べる
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) グループで選んだ企業について、各人でも調べておく
	企業研究 2	(学修内容)グループで調べた企業について、その内容を発表する
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 発表のための準備をする
	ボランティア	(学修内容)ボランティアについて学ぶ
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 自分自身ができるボランティア活動を考えてみる
	情報管理の重要性	(学修内容)情報化社会の中で情報を管理することの重要性について学ぶ
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 情報漏洩の過去の事例を調べておく
	まとめ	(学修内容)これまで学習したことを整理し、確認する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 自分自身のキャリアブランを考える

授 業 名	ビジネス実務実践演習	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2722	
英 文 名	Practical Business Affairs	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択		
担当者	市川順子	対象学生	総合文化2回生					
	社会に出たときに必要とされる知識とスキルを学び、即、実践できることを目標に、演習を行います。							
授業の概要								
	1)職業人として必要な基本的知識を身に付け実践する力をつける  2)仕事を進める上での課題を見つけ、問題解決に向けて論理的思:  3)さまざまな場面・状況を想定し、臨機応変に対応することがで	考ができる						
	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -							
学修成果到達目標								
*	知識・理解態度・志向性		l用的技能 3合的な学習経験と	<b>创生的田</b>	<del>*</del> +			
学位授与の方針との関連	恋反・心凹注	#We	5日174子自紅秋C	剧但的芯	5/1			
アクティブ・		 #`!!		<b>→</b> 1	Lï= >			
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用 ·	) ーク 月(自主学習支援) 		ゼンテーシ	_{アョノ} 		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		実習		制作物 実技		
評価基準	観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ソョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)	
テキスト	教科書は現在選定中のため、決まり次第、シラバスを更新します。  秋学期開始時にシラバスまたは教科書販売サイトを確認してくださ  	١,						
参考書	講義中に指示します。							
<i>y</i> 3 E								
	提出された課題に対しては確認をして返却し、解説については授業 実技(ロールプレイング)については、その都度コメントします。	内で行いま	₹す。					
フィードバック の方法								
(7) 辛 末 压	受講者の状況によって、進度・内容を随時調整することがあります。 学んだことは、できる限り実践して身に付けるよう心がけてくださ							
留意事項								
オフィスアワー	担当授業終了後に実施します。							
	実践的教育 教員の実務経験など:一般企業において10年間、受付応対、電話応	対、秘書業	美務、総務・経理事	孫の実務	経験がある	 る。		
実践的教育	また、一般企業での新人研修や、大学・高等 研修、大学・専門学校での検定対策授業等を: 秘書技能検定準1級面接審査員、サービス接退	担当。				マナー		

#### 授業 名 ビジネス実務実践演習

授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業計画について
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前にシラバスを読み、学習内容を確認しておく
第2回	言葉遣い1 敬語・クッション言葉・改まった表現	(学修内容)敬語を復習し、お客さまとの会話、社内での会話を演習によって学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 敬語・クッション言葉・接遇用語について確認しておく
第3回	言葉遣い2 さまざまな場面での言葉遣い	(学修内容)遅刻しそうなとき、休暇をとるときなど、さまざまな場面での言葉遣い を演習によって学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 学んだことを日常生活などいろいろな場面で、可能な限り実践する
第4回	報・連・相	(学修内容)社内における報告・連絡・相談のポイントを学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 学んだことを日常生活などいろいろな場面で、可能な限り実践する
第5回	電話応対(演習)	(学修内容)電話応対の基本を確認し、演習によって学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 学んだことを日常生活などいろいろな場面で、可能な限り実践する
第6回	来客応対(演習)	(学修内容)来客応対の基本(受付・案内・見送り)を確認し、演習によって学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 学んだことを日常生活などいろいろな場面で、可能な限り実践する 名刺交換については、友人や家族と練習しておく
第7回	文書作成 1 社内文書(案内文)	(学修内容)文書作成の基本的ルールを学び、簡単な社内文書を作成する (事前事後学修課題の内容)(60分) 文書作成のポイント・レイアウトを確認しておく
第8回	文書作成 2 社内文書(報告書)	(学修内容)報告書のフォーム(レイアウト)を学び、報告書を作成する (事前事後学修課題の内容)(60分) 報告書に必要な項目は何か確認しておく
第9回	文書作成 3 社外文書	(学修内容)社外文書のポイントを学び、簡単な取引文書を作成する (事前事後学修課題の内容)(60分) 頭語と結語、時候のあいさつについて確認しておく
第10回	慶弔業務	(学修内容)慶弔業務のそれぞれの対応について学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 上書き等、学んだことを確認しておく
第11回	郵便の知識・ファイリング	(学修内容)郵便の知識とファイリングの方法を学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 自分自身の資料・プリントをファイリングしてみる
第12回	パブリックスピーキングと雑談力	(学修内容)公の場での話し方のポイントを学ぶ 初対面の人や親しくない人との会話(話題)を考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 面接の場を想定して、パブリックスピーキングを考えてみる 親しくない人とでも会話ができるように練習する
第13回	接客応対	(学修内容)お客さまを意識した接客応対を学ぶ 相手の立場になっての声かけを考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 日常で目にする接客について考えてみる
第14回	クレーム対応	(学修内容)誠実なクレーム対応について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分) クレームの理由や対応について確認しておく
第15回	まとめ	(学修内容)これまで学習したことを整理し、確認する (事前事後学修課題の内容)(90分) これまでの学習したことを実践できるよう確認しておく

授 業 名	応用ビジネス実務論	開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	CL2721	
英 文 名	Theory of Business Practice	開講時期	秋学期		必 修 選 択	選択		
担当者	湯浅 俊郎 対象							
授業の概要	変化の厳しい現代社会の中にあって、社会人として必要な資質や役 ビジネス行動の最適化を図るにはどのように考えて行動すべきなの で学んだことをベースに、ビジネスコミュニケーション、アクティ よる意思決定・問題解決、メンタルヘルス、ビジネス法律などを学	かなど理記 ブリスニン	倫的に考察していく	. 「ビジ	ネス実務網	総論」		
学修成果到達目標	1)創造的なビジネス実務を行うための知識・技能について理解を2)対話の能力、課題発見・課題解決能力を培うことができる。3)論理的に学ぶことによって、ビジネス実務能力を発揮できるよ			べできる。				
	知識・理解	j j	1用的技能					
学位授与の	態度・志向性	\$4.00 miles	総合的な学習経験と	創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 60 %)     口述     実習     実技	平常i ( 40		東習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)	
テキスト	授業時に資料を配布します。							
参考書	適宜授業内に紹介する。							
課題に対する フィードバック の方法	課題に対して必要なアドバイスを行います。							
留意事項								
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する							
実践的教育								

## 授業 名応用ビジネス実務論

	心力しノヤス夫切開	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業計画・内容・注意事項等。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを一読しておく。
	  ビジネスを考える	│ │(学修内容)ビジネスは何を目指しているのか、説明します。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(69分) 資料を読んでおく。
第3回	ビジネス環境をとらえる グローバル化、情報 化について	(学修内容)経済のグローバル化、高度情報化について解説します。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
#0E		資料を読んでおく。
	ビジネス環境をとらえる環境問題、少子高齢  化について	(学修内容)地球環境問題、少子高齢化の問題について解説します。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   資料を読んでおく。 
	教養について	(学修内容)教養の問題について解説します。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 資料を読んでおく。
	ビジネス教養について	(学修内容)ビジネス教養について説明します。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 資料を読んでおく。
	ビジネス実務の教養について論理的な思考 とは	(学修内容)ビジネス教養について、論理的な思考について説明します。
第7回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   資料を読んでおく。 
第8回	ビジネス実務の教養について基本的な数学	(学修内容)ビジネス実務における、ごく基本的な数学について説明します。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業の復習。
第9回	ビジネス実務の教養について基本的な数学 の応用	(学修内容)ビジネス実務における、基本的な数学の応用について説明します。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業の復習。
	ビジネス実務の活動をとらえるキャリア形成 とコストパフォーマンス	(学修内容)キャリア形成とコストパフォーマンスについて説明します。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) データ作成。
	ビジネス実務の創造	(学修内容)これからのビジネス実務について説明します。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) データ作成
	業界研究	(学修内容)グループワークで、関心のある業界から始まり、それに関連する業種を 整理していく
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 自分の興味・関心のある企業を調べる。
	業界研究	(学修内容)前講から引き続き、グループワークで、業種から企業を絞り、歴史など
第13回		調べてみる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 新聞記事など企業に関連する記事を収集してみる。
	自分のキヤリア形成の方向性について考える	(学修内容)「生き方・働き方・休み方・楽しみ方」それぞれの選択肢をどのように
第14回		組み合わせていくのか考察する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 自分のキャリア形成について考え、整理する。
	まとめ	(学修内容)自己啓発について考える。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) レポートに向けた質問事項を整理する。

授 業 名	観光実務	開講学年	2回生	単 位 数	2単位	科目コード	CL2723		
英 文 名	Practical Business in Tourism	開講時期	秋学期		必 修選 択	選択			
担当者	湯川 宗紀	対 象 学 生	総合文化2回生	<u> </u>					
授業の概要	旅行業務取扱管理者試験の科目である「国内旅行実務」の中の「観光地理」を取り上げ、北海道から沖縄までの自然景観 、世界遺産、温泉、祭、社寺など様々な視点から広範囲にわたる知識の取得をめざす。 最終的な目的は、旅行業務取扱管理者試験に合格することなので、国内旅行業務取扱管理者試験に向け、演習問題を取り 入れ合格をめざす。								
学修成果到達目標	1.日本の各地域の観光資源の特徴を把握できる 2.日本の各地域の観光資源の位置関係を把握できる 3.日本の各地域の観光資源の特徴、位置関係を把握することにより	観光ルート	〜の習得ができる						
	知識・理解		几用的技能						
学位授与の方針との関連	態度・志向性	44 m	総合的な学習経験と	創造的思	考力				
万町との制度									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		ゾループワ ICT活用	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		き レポ 実習		刮作物 実技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (	発見・解	決能力		)		
テキスト	随時必要な資料を配付する								
参考書									
課題に対する フィードバック の方法	テストの回答を解説する								
留意事項									
オフィスアワー	講義の前後に対応する								
実践的教育									

## 授業名 観光実務

12 未 亡	似无关份	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)講義概要
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバス内容を確認する
	日本の観光資源 北海道	(学修内容)北海道のカテゴリー別観光資源を説明する
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 東北	(学修内容)東北のカテゴリー別観光資源を説明する
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 関東1	(学修内容)関東のカテゴリー別観光資源を説明する
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 関東2	(学修内容)関東のカテゴリー別観光資源を説明する
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源の中部	(学修内容)中部のカテゴリー別観光資源を説明する
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 近畿1	(学修内容)近畿のカテゴリー別観光資源を説明する
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 近畿2	(学修内容)近畿のカテゴリー別観光資源を説明する
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 近畿3	(学修内容)近畿のカテゴリー別観光資源を説明する
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 中四国1	(学修内容)中四国のカテゴリー別観光資源を説明する
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 中四国2	(学修内容)中四国のカテゴリー別観光資源を説明する
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 九州・沖縄1	(学修内容)九州・沖縄のカテゴリー別観光資源を説明する
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 九州・沖縄2	(学修内容)九州・沖縄のカテゴリー別観光資源を説明する
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 九州・沖縄3	(学修内容)九州・沖縄のカテゴリー別観光資源を説明する
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 前回のまとめを行う
	日本の観光資源 まとめ	(学修内容)これまでのカテゴリー別観光資源を説明する
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分) これまでのまとめを行う

授 業 名	社会の理解	開講学年	1回生	単位数	2単位	科 目   コ ー ド			
英 文 名	Understanding Society	開講時期	春学期		必 修 選 択	必修			
担当者	野田隆生	対 象 学 生							
授業の概要	わたしたちは、生計が安定し、安心で安全な地域社会の中で暮らすことができれば、特段の不満は生まれないでしょう。しかし、日本経済の不況や自然災害による被災者の二次被害などが、容赦なく国民の生活を奈落の底へと誘っている現実がある。そうした時に、国は社会保障という枠組みで、国民の生活を立て直す施策を展開するという仕組みがある。本講では、国民一人ひとりに付与されている尊厳の保持や権利擁護の視点に基づきながら、地域の中で生きていくために必要とされる社会保障について理解することを目的とします。主なテーマとしては、わたしたちのくらし、地域共生社会、社会保障制度の仕組み、高齢者に関する法制度などの問題を取り上げ、その現状と背景を分析しながら原因と解決策を考えていきたい。								
学修成果到達目標									
	知識・理解	汎	 .用的技能						
学位授与の	態度・志向性	総	 合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業 評価方法		グループワ I C T 活用 平常記 ( 50	(自主学習支援) 工 試験 筆記試験			ション 制作物 _{実技}			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	プログログライ はままれる はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	発見・解	決能力	)			
	介護福祉士養成講座 第2巻『社会の理解』中央法規								
テキスト									
参考書	講義時に随時、文献・資料を紹介する。								
課題に対する フィードバック の方法	小レポートにはコメントを添えて返却する。 プレゼンテーションの後には、批評ならびにコメントを行う。								
留意事項	平素より時事問題に目を向け、批判的な視点で考究するようにして下さい。								
オフィスアワー	授業初回時に連絡をします。 基本的に研究室(1R-404)に在室していれば対応します。また、急	象な質問等に	については学内G-r	nailを利月	用して下さ	· 61°			
実践的教育									

## 授業名 社会の理解

授業計画	学修項目	学修内容・課題
	はじめに	(学修内容)本講の進め方や成績評価の方法について説明する。
第1回		    (事前事後学修課題の内容)(15分)
N I		テキストのはしがきと目次を見ておくこと。
	生活を考える	(学修内容)「生活」についてグループディスカッションを通して学ぶ。
第2回		  (事前事後学修課題の内容)(45分)
—		テキスト第1章(pp.2-40)を読んでおくこと。
	人と向き合うこと	(学修内容)自分史を作成する。
	Chee Jee	(子彫内台)日ガ史を下成する。
第3回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		前回の内容をまとめておくこと。
	地域で生活するということ	────────────────────────────────────
		0
第4回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		テキスト第2章(pp.42-65)を読んでおくこと。
	地域包括ケアシステムについて	(学修内容)地域共生社会や地域包括ケアシステムが、今、なぜ必要とされるのかに
77. F		ついて考える。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   基本用語について各自で調べておくこと。
		調べたことをノートに記述しておくこと。
	社会保障制度について?	(学修内容)社会保障が、なぜ必要とされるのかについて学ぶ。
第6回	〜 社会保障の意義と役割とその機能〜	   (事前事後学修課題の内容)(45分)
мод		テキスト第3章 (pp.66-78) を読んでおくこと。
		(*# h-m) **/
	社会保障制度について? ~ 社会保障制度の発達過程~	(学修内容)戦後の歴史的展開過程について学ぶ。
第7回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		テキスト第3章(pp.79-90)を読んでおくこと。
	社会保障制度について?	(学修内容)社会保険や公的扶助のしくみについて学ぶ。
	~ 社会保障制度のしくみ~	( ) PIG ) IZZWIN ZIJMAJO O ( O IE Z V C J O II
第8回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		テキスト第3章(pp.91-118)を読んでおくこと。 
	高齢者保健福祉と介護保険制度?	(学修内容)現代社会における高齢者の動向とその課題についてディスカッションを
# 0 E	~高齢者保健福祉の動向~	通して考える。
第9回		(事前事後学修課題の内容) (45分)   テキスト第4章(pp.122-139)を読んでおくこと。
		"" /
	高齢者保健福祉と介護保険制度?   ~高齢者保健福祉に関連する法体系~	(学修内容)高齢者保健福祉に関連する法体系について、その理念を取り上げながら   学ぶ。
第10回	で同暦日体性価値に制建する法体がで	・ チバ。   (事前事後学修課題の内容)(45分)
		テキスト第4章(pp.140-147)を読んでおくこと。
	  高齢者保健福祉と介護保険制度?	(学修内容)なぜ介護保険制度が必要とされているのかについて学ぶ。
	「同版自体健価値とが護体陝制度?	(ナドロコロ)など川原外内側及が必女して10~010~110~110~110~110~110~110~110~110~
第11回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		テキスト第4章(pp.148-163)を読んでおくこと。
	高齢者保健福祉と介護保険制度?	(学修内容)介護保険制度のサービスの種類とその内容について学ぶ。
97.40	~ 介護保険制度のしくみとサービス概要 ~	/ 事故事後尚收細題の中容 \ / (5八)
第12回		(事前事後学修課題の内容) (45分)   テキスト第4章(pp.163-182)を読んでおくこと。
		7 171 75 . <del>-</del> 1/Pp. 100 102/ = pp.10 C 07 \ C C 0
	高齢者保健福祉と介護保険制度?	(学修内容)介護保険制度の改正内容について学びながら、高齢者の生きる権利につ
第13回	│ ~介護保険制度の改正とその内容~ │	いて考える。   (事前事後学修課題の内容)(45分)
21. YOL		テキスト第4章(pp.183-204)を読んでおくこと。
	   京	(学修内容)虐待や後見制度など、介護実践において重視される権利擁護について学
	高齢者の権利擁護について	(学修内谷) 虐待や後見制度など、介護美践において里倪される惟利擁護に プロマチー ぶ。
第14回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		テキスト第6章(pp.260-318)を読んでおくこと。
	まとめにかえて	   (学修内容)介護の魅力について、ディスカッションを通して学ぶ。
	~介護の魅力って、なに?~	
第15回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		介護実践について、自身の意見をまとめておくこと。 
	I.	I .

授 業 名	医療的ケア	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード			
英 文 名	Medical Care	開講時期	秋学期		必 修選 択	必修			
担当者	中島香織  対象  学生  専攻科介護専攻								
授業の概要	介護福祉士の基礎的教育をベースとして、医療的ケアを受ける人の立場にたって尊厳を守ることができる。また、医療的ケアを安全・適切に実施するために、感染予防、安全管理体制について知識を身につける。さらに、医療職と介護職の連携の重要性と役割を認識する。 授業の概要								
学修成果到達目標									
	知識・理解	ÿ	凡用的技能						
学位授与の	態度・志向性	糸	総合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		」 グループ! ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション			
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常i ( 40		・ 実習		制作物 実技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	ンョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)			
テキスト	最新 介護福祉士養成講座 15 医療的ケア 中央法規出版								
参 考 書	随時紹介する								
課題に対する フィードバック の方法									
留意事項	・教科書中心に進めるので、事前学習・復習をして授業に臨んでください。 ・わからないことは調べたり、聞くなどして明らかにし、その都度理解しておいてください。 項								
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:済生会京都府病院 看護師 新無瀬訪問看護ステーション 管理者 水無瀬ケアブランセンター 管理者兼ケアマネジャー 島本町地域包括支援センター センター長兼看護師 実践事例をもとに介護について話します。								

## 授業名 医療的ケア

受業計画		学修内容・課題
	医療的ケアとは	(学修内容)医療的ケアと医行為の違い(介護福祉士が行ってよい行為)、医療の何
	* 医行為との違い	理と介護福祉士の倫理、個人の尊厳と自立を理解する
第1回	* 医療の倫理	(事前事後学修課題の内容) (30分)
	*個人の尊厳	介護福祉士としての倫理を理解しておく
	喀痰吸引に関わる制度	
	* 医療保険制度とその変遷	(チョッド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
** o lei	* 喀痰吸引等制度の概要	(事前事後学修課題の内容) (30分)
第2回	・ 格/ 例が引き削皮の佩女	
		学習後、医療的ケアを学ぶ意義についてレポート提出 
	保険医療制度等	(学修内容)保健医療に関する制度と医療的ケア提供の場について理解する
	* 介護保険法	
第3回	*障がい者総合支援法	(事前事後学修課題の内容)(30分)
	* その他制度	学習後、制度の違いをまとめレポート提出
	チーム医療と介護職の連携	
	* チーム構成員の役割	(チョット・コンドル スの情が気の性然と反形について アル・ファ アナリ
第4回	*多職種連携(事例を通して)	(事前事後学修課題の内容)(30分)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		学習後、事例の感想をレポート提出
	DANG#43	(*b-p) p) g g g g g g g g g g g g g g g g g
	安全な療養生活 * リスクマネジメント	(学修内容)安全で確実な医療的ケアを実施するための、リスクマネジメント及び ヤリハットとアクシデントを理解する
第5回	* 救急蘇生ガイドライン	(事前事後学修課題の内容)(30分)
까이드		予習としてヒヤリハットとアクシデントの違いを述べられるようにし
		おくこと。
	救急蘇生法の実際	(学修内容)急変状態を理解、実践としてAEDを使用して救急蘇生を学ぶ
	* 急変状態の把握	
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		教科書、P284から救急蘇生法を理解しておく
	清潔の保持と感染予防	
	*感染とは	違い、職員の健康管理の必要性を学ぶ
第7回	* 職員の感染予防	(事前事後学修課題の内容)(30分)
75. [	*消毒方法	学習後、感染予防についてレポート提出
	De de la la de la la la	
	健康状態の把握	(学修内容)健康状態の把握、バイタルサインや観察内容を理解する
第8回	*バイタルサイン	(事前事後学修課題の内容) (30分)
урод		学習後、健康状態について理解したことについてレポート提出
	喀痰吸引基礎的知識	(学修内容)呼吸器各部位の名称やしくみを理解、通常の呼吸と異常の呼吸を理解   る
第9回	* いつもと違う呼吸	   (事前事後学修課題の内容) (30分)
짜이다	VI J G C 座 J N N	学習後、学んだことをレポートにまとめ提出
	喀痰吸引基礎的知識	(学修内容)痰を排出するしくみと痰貯留を示す状態、痰吸引の必要性を理解する
第10回	│ * 痰の吸引とは │ * 人工呼吸器と吸引	(事前事後学修課題の内容)(30分)   学習後、学んだことをレポートにまとめ提出
35 TUE	八上呼吸韻と吸引	子自後、子がたことをレホートによどの提出
	喀痰吸引基礎的知識	(学修内容)子どもの呼吸の状態観察と呼吸の異常の観察、吸引を受ける利用者や
₩44 <b>□</b>	*子どもの吸引	族の気持ちを理解、対応を学ぶ
第11回	* 吸引を受ける利用者や家族の気持ち	(事前事後学修課題の内容)(30分)   学習後、学んだことをレポートにまとめ提出
		ナロ攻、ナルルとことでレホードによこの徒山
	経管栄養基礎的知識	(学修内容)消化器各部位の名称やしくみを理解、消化吸収と消化器の症状を理解
	*消化器のしくみと働き	3
第12回	* 消化吸収と消化器の症状	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		学習後、学んだことをレポートにまとめ提出
	経管栄養基礎的知識	   (学修内容)経管栄養が必要な人を理解、経管栄養の種類・栄養剤を学ぶ
	* 経管栄養とは	(、)/11日/配日小区(2225/)と在所、配日小及が建筑 小民がとすが
第13回	*経管栄養の種類と栄養剤	(事前事後学修課題の内容)(30分)
		学習後、学んだことをレポートにまとめ提出
	<b>经公共美甘林的加勒</b>	(当成市会)収益出美中佐しのの立上を頂切り 古典セレフ じょっ 全事模型 いっぷか
	経管栄養基礎的知識   * 経管栄養実施 トの留音点	(学修内容)経管栄養実施上の留意点を理解、高齢者と子どもの食事摂取から消化
第44回	*経管栄養実施上の留意点	収の違いを理解する (東前東後学修理題の内容)(20分)
第14回	* 子どもの経管栄養とは	(事前事後学修課題の内容)(30分)   学習後、学んだことをレポートにまとめ提出
		テロス、テルルことをレか、「によこの延山
	経管栄養基礎的知識	(学修内容)経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちをグループで考える
	*経管栄養を受ける利用者や家族の気持ち	/ 事益事後
~~		(事前事後学修課題の内容)(60分)
第15回		テキストを読み利用者や家族の気持ちを考えてくる

授業名	医療的ケア	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード				
英文名	Medical Care	開講時期	秋学期		必 修選 択	必修				
担当者	中島 香織	対象字生中攻科介護専攻								
授業の概要	介護福祉士の基礎的教育をベースとして医療的ケアを安全・適切に実施するための、専門的知識を習得する。医療的ケアを安全かつ感染防止をふまえ、技術を習得する。 授業の概要									
学修成果到達目標										
	知識・理解		1用的技能							
学位授与の方針との関連	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力					
万町との財産										
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション				
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		東習		制作物 実技				
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (実技	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)				
テキスト	最新 介護福祉士養成講座 15 医療的ケア 中央法規出版 「医療的ケア 」と同じテキストを使用します。									
参 考 書	随時紹介する									
課題に対する フィードバック の方法										
留意事項	実技については「医療的ケアの実施手順」のDVDを事前に観てもらい手順を理解してから行います。									
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。									
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:済生会京都府病院 看護師 水無瀬訪問看護ステーション 管理者 水無瀬ケアプランセンター 管理者兼ケアマネジャー 島本町地域包括支援センター センター長兼看護師									

## 授業名 医療的ケア

1X - H	広原的ソプ	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	経管栄養実施手順 *経管栄養の器具・器材とそのしくみ *経管栄養の技術と留意点	(学修内容)経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、経管栄養法の違いによる技術と留意点を学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 授業後、経管栄養法の違いによる留意点をまとめ提出
第2回	経管栄養実施手順 *経管栄養に伴うケア *感染予防、事故発生時の対応	(学修内容)介護福祉士として行うケア、感染予防、事故発生時の対応を理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 介護福祉士として行うケアを考えておく
第3回	経管栄養実施手順 * D V D 視聴 * 記録、報告	(学修内容) D V D を視聴しながら経管栄養の実施研修評価票の流れを理解する 記録の意義・内容、報告の内容及び必要性 (事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の A R の経管栄養を視聴しておく
第4回	喀痰吸引手順 *喀痰吸引の器具・器材とそのしくみ *喀痰吸引の技術と留意点	(学修内容)喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、吸引部位(口・鼻・気管) の違いによる技術と留意点を学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 授業後、吸引部位の違いによる留意点をまとめ提出
第5回	喀痰吸引手順 *喀痰吸引に伴うケア *感染予防、事故発生時の対応	(学修内容)介護福祉士として行うケア、感染予防、事故発生時の対応を理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 介護福祉士として行うケアを考えておく
第6回	喀痰吸引手順 *DVD視聴 *記録、報告	(学修内容) D V D を視聴しながら喀痰吸引の実施研修評価票の流れを理解する 記録の意義・内容、報告の内容及び必要性 (事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書の A R の喀痰吸引を視聴しておく
第7回	喀痰吸引演習(口・鼻・気管)	(学修内容)喀痰吸引に必要な物品を理解、手順の流れを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 喀痰吸引の評価項目に合わせた手順を理解しておく
	喀痰吸引演習(口・鼻・気管)	(学修内容)喀痰吸引の演習を5回実施
第8回		(事前事後学修課題の内容)(10分) 喀痰吸引の評価項目に合わせた手順を理解しておく
第9回	喀痰吸引演習(口・鼻・気管)	(学修内容)喀痰吸引の演習を5回実施 (事前事後学修課題の内容)(10分) 喀痰吸引の評価項目に合わせた手順を理解しておく
第10回	喀痰吸引演習(口・鼻・気管)	(学修内容)評価票に基づき間違えることなく喀痰吸引が出来る (事前事後学修課題の内容)(30分) 終了後、自身の評価を記入提出
第11回	経管栄養演習(胃瘻・経鼻)	(学修内容)経管栄養に必要な物品を理解、手順の流れを理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 経管栄養の評価項目に合わせた手順を理解しておく
第12回	経管栄養演習(胃瘻・経鼻)	(学修内容)経管栄養の演習を5回実施 (事前事後学修課題の内容)(10分) 経管栄養の評価項目に合わせた手順を理解しておく
第13回	経管栄養演習(胃瘻・経鼻)	(学修内容)経管栄養の演習を5回実施 (事前事後学修課題の内容)(10分) 経管栄養の評価項目に合わせた手順を理解しておく
第14回	経管栄養演習(胃瘻・経鼻)	(学修内容)喀痰吸引の演習を5回実施 (事前事後学修課題の内容)(10分) 経管栄養の評価項目に合わせた手順を理解しておく
第15回	経管栄養演習(胃瘻・経鼻)	(学修内容)評価票に基づき間違えることなく経管栄養が出来る (事前事後学修課題の内容)(30分) 終了後、自身の評価を記入提出

授	業	名	介護ソーシャルワーク論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
英	文	名	Theory of Nursing Care	開講時期	春学期		必 修選 択	必修	
担	当	者	吉島 紀江	対 象 学 生	専攻科介護専:	攻			
授	業の村	既要	ソーシャルワークとは、狭義には相談援助をさす言葉であり、広義、ソーシャルワークを広義に捉え、ソーシャルワークを実践する技術シャルワークの理論に基づく介護の展開について、ソーシャルワークく基本的事項を学んでいきます。介護福祉学は、実践の学問であるご語化し、様々な考えを通して学びが深まるよう進めていきます。またいきます。	fの一つと 7の価値倫 ことから、	こして介護を明確に 論理に基づき、実践 理論を学ぶだけて	位置付け 的知識や はなく、	ています。 技術を学 <i>i</i> 自身で考え	, ソー んでい え、言	
	修 成達 目		1) ソーシャルワークの基礎理論を用いて介護場面(事例)に活用2)地域包括ケアシステムが推進される意味について説明できる。3)自分自身の地域の社会資源を調べ発表することができる。						
			知識・理解		用的技能	AD# 44 ED	+v -L		
学位		ラの 関連	態度・志向性	##E	合的な学習経験と	:創造的思	考刀		
ノリエ	_ 0,	为压							
アクラー	ニン	グ		───── ブループワ ごCT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
対象	授業		X1 7 7 7 7 10 11/1/(M)11 12 XX						
評	価方	法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常訂 (50		実習		制作物 実技	
評	価基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレセ 観点 授業態度・参加意欲 (	ジンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ	キス	۲,	必要なプリント等を配布する。						
参	考	書	必要に応じて紹介する。						
	ードノ	するバック							
留	意 事	項	介護をどのように捉えるか、固定概念にとらわれることなく積極的意見交流を望んでいます。 頁						
	フィクワ		研究室に掲示し、授業時に口頭でも伝える。						
実足	<b>线的</b>	教育	実践的教育 教員の実務経験など:高齢者施設、障害児施設で勤務						

## 授業 名 介護ソーシャルワーク論

	71 NSC 2 1 10 2 7 Hill	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)社会福祉の理解とソーシャルワークの理解
	ソーシャルワークとは何か	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前・シラバスの内容に目を通しておく。
		事後地域の社会資源を理解するための資料を収集する
	ソーシャルワークの理論的展開 (課題解決アプ	(学修内容)ソーシャルワークの理論的変遷について、診断主義と機能主義の論争を
答る日	ローチまで)	経て課題解決アプローチに至る経過を理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 地域の社会資源を理解するための資料を収集する
		事後 ICFの概念について復習し説明できるようにしておく
	ソーシャルワークの理論的展開 (医学モデルか	(学修内容)1980年を境に医学モデルから生活モデル(社会モデル)に転換し現在に
	ら生活モデルへ)	続くソーシャルワークの理論的基礎について理解する。
第3回	31/10/10/10	(事前事後学修課題の内容)(60分)
узоц		事前 ICFの概念について復習し説明できるようにしておく
		事後 授業で示すいくつかの用語について調べてくる
	ソーシャルワークの理念	(学修内容)ノーマライゼーションとインクルージョンについて、具体的事例を通し
	ノーマライゼーションの理解	て学ぶ。さらに、意見交流を行う。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 授業で示すいくつかの語句について調べてくる
		事後 憲法11条~14条までの意味を調べてくる
	ソーシャルワークの理念	(学修内容)事例をもとに、利用者本位と人権尊重、自立支援に関する文献・憲法の
	利用者本位、自立支援の理解	理解をする。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 憲法11条~14条までの意味を調べてくる
	ソーシャルワークを構成する要素	事後 ソーシャルワークを構成する要素を調べてくる (学修内容)ソーシャルワークの「目的」「価値」「知識」「方法・技能」「権限の
	フークマルワークを構成する安系	(子彫内谷)グーグマルグーグの「白的」「画画」「知識」「万法・Xx能」「権限の 委任」について理解する。グループワークを行う。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
카이더		事前 ソーシャルワークを構成する要素を調べてくる
		事後 バイステックの7原則を書き写す
	ソーシャルワークの基本原則	(学修内容)バイステックの7原則、ソーシャルワークの基本原則を具体的に理解す
	バイスティックの7原則	<b>ర</b> ం
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 バイステックの7原則を書き写す
		事後 配付プリントを読んでくる
	相談援助(ケースワーク)の展開過程	(学修内容)演習シートを活用し、本人及び家族の援助場面におけるケースワークの
答る日	ケースの発見とインテーク	展開についてディスカッションを取り入れながら授業を進める。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 配付プリントを読んでくる 事後 ディスカッションを通じて感じたことをまとめる。
	  地域包括ケアシステムの構築と推進	・
	地域の理解と地域包括ケアシステム	について学ぶ。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 ディスカッションを通じて感じたことをまとめる。
		事後 見学実習の注意について配付資料を読む
	地域包括ケアシステムの構築と推進	(学修内容)地域包括ケア実現に向けた「地域ケア」のとりくみについて実践してい
		る事業所を見学する。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 見学実習の注意について配付資料を読む
	地域包括ケアの構築と推進	事後 学んだことをレポートにする (学修内容)地域の考え方とフォーマル・インフォーマルな社会資源について理解し
	地域包括グアの構築と推進   社会資源の考え方	(学修内谷)地域の考え方とフォーマル・1フフォーマルな社会員源にプロと理解し、学びのプレゼンテーションを行う。
第11回	エム気がソラルバ	(事前事後学修課題の内容)(60分)
N3 1 1 1 1		事前 学んだことをレポートにする
		事後 学んだことをレポートにする
	ケアマネジメントと介護支援専門員の役割	(学修内容)ケアマネジメントの方法と介護支援専門員の役割、ケアプランと支援計
		画、介護計画と保育計画の相違点と共通点について学ぶ。
第12回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前 学んだことをレポートにする
	((中に人体)) ス・リワート	事後 配布した資料(厚生労働省通知)に目を通し、質問を考えておく
	災害と介護ソーシャルワーク	(学修内容)介護ソーシャルワークが必要となる災害時の援助活動について、災害派
笠42回	災害活動と福祉チーム 	遺福祉チームの動きも交えて学ぶ。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前 配布した資料(厚生労働省通知)に目を通し、質問を考えておく
		事的 配布した真体(厚土方側自通知)に日を通じ、真同を考えてのく。事後 配付資料を読んでおく
	災害と介護ソーシャルワーク	(学修内容)災害ソーシャルワークの枠組みを踏まえ、ゲストを呼び、東日本大震災
	京都府災害派遣福祉チーム(京都DWAT)	、熊本地震、西日本豪雨の事例を活用し、質疑応答を交えながら学ぶ。
第14回	1	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 配付資料を読んでおく(過去の災害、熊本、阪神大震災等)
		事後 発表されたことに対してレポートにする
	介護ソーシャルワークの根源	(学修内容)介護ソーシャルワークと専門職の理解について、ゲストスピーカーを招
Art		き、法の成立の背景について具体的に学ぶ
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:質問事項を準備しておく
	1	事後の今までの配付資料の整理

授 業 名	介護技術	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード			
英 文 名	Nursing Care Work Skills	開 講時 期	春学期		必 修選 択	必修			
担当者	木村 あい	対象専攻科介護専攻							
授業の概要	科学的根拠を踏まえながら、居住環境の整備、移動の介護、身支度の介護技術を実践する。学生自身が援助者・モデルになり、利用者の気持ちの理解を深める。また、利用者の気持ちを知ることで、介護実践に活かせるよう工夫をする。								
学修成果到達目標									
	知識・理解	à	凡用的技能						
学位授与の	態度・志向性	糸	総合的な学習経験と	創造的思	考力				
方針との関連									
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション			
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (70%)     口述     実習     実技	平常記( 30		険 レポ 実習		刮作物 <b></b> 毛技			
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテー	ション能力 課題	発見・解	決能力	)			
テキスト	最新 介護福祉士養成講座6 『生活支援技術 』中央法規: 春: 「生活支援技術 」-鈴木先生担当でも使用 最新 介護福祉士 「介護技術 」-髙岡先生担当でも使用 最新 介護福祉士養成誌 護技術 」-髙岡先生担当でも使用	養成講座	7 『生活支援技術	』中央法	t規: 春	学期			
参考書	適宜紹介する								
課題に対する フィードバック の方法									
留意事項	予習・復習をしっかり行ってください。 介護技術を実践しますので、上靴と動きやすい服装を準備してください。授業内で確認します。 !								
オフィスアワー	初回の授業で説明する。								
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:障害者の入所施設で生活指導員として勤務 シリアダマスカス脳性麻痺教育センターに青:	年海外協力	力隊員として派遣						

## 授業 名 介護技術

1X <del>X</del> L	川 張 (文作)		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)介護	護技術の進め方と考え方
₩4E		/ 東於東後帶收部	明明中中央人(20八)
第1回		1 '	果題の内容)(30分) ラ バスを確認しておくこと
	自立に向けた環境の整備	(学修内容)住環	<b>環境の意義、居住環境のアセスメント、掃除について</b>
第2回		(車前車後学修部	<b>課題の内容)(60分)</b>
<b>第4</b> 四			ĸぬの内谷)(00カ) 景境の意義、居住環境のアセスメント、掃除の予習をしておくこと丿
		— h	·をまとめておく
	自立に向けた環境の整備	(学修内容)シー	-ツ交換、物品整理について
第3回	シーツ交換	   (事前事後学修訂	<b>課題の内容)(60分)</b>
까이더			回のまとめとシーツ交換、物品整理予習
	自立に向けた移動の介護 移動の意義と目的、ボディメカニクス	(学修内容)移動 	かの意義と目的、ボディメカニクスについて
第4回		   (事前事後学修護	<b>課題の内容)(60分)</b>
No.12		1 '	回のまとめと移動の意義と目的、ボディメカニクスの予習
	自立に向けた移動の介護   I C F の視点に基づくアセスメントと移動・移乗		Fの視点に基づくアセスメントと移動・移乗の介護について 課題の内容)(60分)
第5回	の介護		起の内存)(00万)   までの復習
2,500			
	ウナにウはた移動の人類	/ <del>** / / / * * * * * * * * * * * * * * </del>	マスカ なわれる なわれる ひかん ひょうしゃ こうしゃ ない ひょうしゃ ひかん ひかん ひかん ひかん ひかん ひかん ひがん ひがん ひがん ひがん ひがん ひがん ひがん ひがん ひがん ひが
	自立に向けた移動の介護 ベッド上での移動		全で的確な移乗・移動の介助方法 ベッド上での移動について 課題の内容)(60分)
第6回	()   T (3)   D = 1	1 '	国までの復習とベッド上での移動の予習
	自立に向けた移動の介護	(学校内容) 空台	Èで的確な移乗・移動の介助方法
	車いすへの移乗		ことの確な検索・検動の介助方法
第7回			<b>課題の内容)(60分)</b>
		前回	までの復習と車いすへの移乗の予習
	  自立に向けた移動の介護	(学修内容)安全	☆で的確な移乗・移動の介助方法 福祉用具を活用した移乗について
	福祉用具を活用した移乗	1 .	<b>課題の内容)(60分)</b>
第8回		前回	団までの復習と福祉用具を活用した移乗の予習
	自立に向けた移動の介護 フィールドワーク	(学修内容)安全	全で的確な移乗・移動の介助方法 歩行等移動について
	步行等移動		[・] ールドワーク、バリアフリー展に参加
第9回		1 '	果題の内容)(60分) 記までの復習と生活等を動のる習
		月リヒ	日までの復習と歩行等移動の予習
	自立に向けた身支度の介護	(学修内容)生活	5習慣と装いの楽しみを支える介護について
	生活習慣と装いの楽しみを支える介護		
第10回			果題の内容)(60分) 〗までの復習と生活習慣と装いの楽しみを支える介護について教科書
		1	はなくの後首と土石首頂と表いの末りのを支える介護について教行首
	自立に向けた身支度の介護	1 '	<b>ទ(爪きり、化粧、髭剃り、洗顔、整髪、耳掃除等)について</b>
<b>等44回</b>	整容		果題の内容)(60分) 団までの復習と整容についての予習
第11回		特リピ	はあていは日に正甘にファルでのプロ
	自立に向けた身支度の介護	(学修内容)衣服	最の着脱について こうしゅうしゅう
第12回	衣服の着脱	  (事前事後学修調	<b>果題の内容)(60分)</b>
A3 1 스틴			REMOVIST (007) 回までの復習と衣服の着脱についての予習
	自立に向けた身支度の介護  衣服(着物)の着脱	(学修内容)衣肌 	3 (着物)の着脱と着物のたたみ方について
第13回	以以(自物)の自成	  (事前事後学修詩	<b>課題の内容)(60分)</b>
		1 -	記までの復習と衣服(着物)の着脱と着物のたたみ方
	演習課題	/ 学校中郊、市内	女+レーフャフリン,LI人雄サベナ中郎ナマ
	事例	(子尨內谷)事物 	<b>小をもとにアセスメントし介護技術を実践する</b>
第14回		(事前事後学修設	<b>果題の内容)(120分)</b>
		前回	までの復習
	総括	(学修内容) 全1	5回の授業の振り返り
	mv Jan		~ IN / KE /
第15回		1	<b>課題の内容)(120分)</b>
		復習	1
	1	1	

英文名 Nursing Care Work Skills 開講 春学期 必修 選択 必付 担当者 高岡 理恵 対象者の能力を活用し、自立を支援するための生活支援技術(食事・排泄・清潔保持等)の基本を習得する。自分が行った技術について、科学的に説明できる能力を身につけるための学習とする。この授業は、2コマを利用し、理論と実践を行う。実践については、学内で自分自身が対象者になる実体験を行うとともに、協力施設に出向いて行うこともある。  1)基本的な生活支援技術を身につける。 2)実践の根拠について説明できる。 3)介護を受ける側の気持ちを理解できる。 学修成果						
## A Nursing Care work Skills   時期   日子期   選択   201   日   日   日   日   日   日   日   日   日	· ɔ					
世 当 者 同間 理思 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学						
た技術について、科学的に説明できる能力を身につけるための学習とする。 この授業は、2コマを利用し、理論と実践を行う。実践については、学内で自分自身が対象者になる実体験を行うとともに、協力施設に出向いて行うこともある。  1)基本的な生活支援技術を身につける。 2)実践の根拠について説明できる。 3)介護を受ける側の気持ちを理解できる。						
2)実践の根拠について説明できる。 3)介護を受ける側の気持ちを理解できる。 学 修 成 果						
到達目標						
知識・理解 汎用的技能						
学位授与の態度・志向性総合的な学習経験と創造的思考力						
方針との関連						
アクティブ・ ラーニング 対象授業	ン					
評価方法     定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 50 %)     口述     実習     実技     ( 50 % )     口述     実習						
評価 基 準	)					
最新 介護福祉士養成講座7 『生活支援技術 』『生活支援技術 』中央法規 最新 介護福祉士養成講座7 『生活支援技術 』中央法規のテキストについては、下記の授業でも使用します。 テキスト 春学期 「介護技術 」 - 木村先生担当						
適宜紹介する 参 考 書	適宜紹介する					
毎回行う小テストは、確認後コメントをいれて返却を行う。 課題に対する フィードバック の方法	5 提出されたレポート等においても同様。					
なぜ、この方法をとっているのかということを常に頭におきながら介護技術を行ってください。 メモを取りながら見学を行い、実践時には積極的に行ってください。 留意事項	メモを取りながら見学を行い、実践時には積極的に行ってください。					
オフィス アワー 授業内で発表する。 必要な時にはGメールを活用して連絡をしてください。						
実践的教育 教員の実務経験など:社会福祉協議会で訪問介護及び介護支援専門員として勤務。 実践的教育	教員の実務経験など:社会福祉協議会で訪問介護及び介護支援専門員として勤務。					

# 授業 名 介護技術

国立に切けた食事の介護	拉莱石	<b>川設江州</b>		
## 10 日本	授業計画	学修項目		学修内容・課題
第1日 (事前単性や経難の内容) (30分) 第2		ガイダンス	(学修内容)授	業の概要説明、介護実習室の使用方法を理解する。感染予防の技術を
# 別としていたと、		感染予防	身	こ付ける。
	第1回		(事前事後学修訂	課題の内容)(30分)
■立にむけた母音の介養			事	前 シラバスを読んでおくこと。
### (学科学語の内容) (45分) 事前 自身の食义化について人に説明できるようにしておく、			事行	後 自身の食文化について人に説明できるようにしておく。
# 第2回		自立にむけた食事の介護	(学修内容)食	事介助の意義(生理的、心理的、社会的、文化的)についてディスカ
### 自身の食文化について人に説明できるようにしておく。   事項   日立にむけた食事の介護		食事介助の基本	้ พร	ションしながら理解する。
#前 自身の変化について人に請明できるようにしておく、 東後 チャストク2・4のでわからない語句を終了人」とはませた。 (学修内書) 食事に応じた食事の作業 (学修内書) 食事に必要な成々な用具を見学し、食事形態(とろみ、ミキサ・減食し、口から水る高端について考える。(事前事性を解離の内容)(60分) (事前事をの同じで考える) (事前事をの原じを)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(第一年)(中央)(中央)(第一年)(中央)(中央)(中国)(中央)(第一年)(中央)(中国)(中国)(中国)(中国)(中国)(中国)(中国)(中国)(中国)(中国	第2回		(事前事後学修訂	課題の内容) (45分)
関立にむけた食事の介護 関立にむけた食事の介護 関本に応じた食養介護 (学教育) 食事を必要なな用用を見失り、食事を終くさみ、ミサリー 主きない。				
類似				後 テキストp2~40でわからない語句を調べノートにまとめる。
類似		自立にむけた食事の介護	(学修内容)食	事に必要な様々な用具を見学し、食事形態(とろみ、ミキサー等)を
第4回		障害に応じた食事介護	試1	食し、口から食べる意味について考える。
関立にむけた負季の介護 用具の選択と食事形態の部)返り 食事後の口腔ケアの重要を同い方法について育べてくる。 事務の口腔ケアの重要を同い方法について育べてくる。 事態、テストと対したのできない。 第6回	第3回		(事前事後学修訂	課題の内容) (60分)
自立にむけた各事の介護			事	前 テキストp2~40でわからない語句を調べノートにまとめる。
# 第4回			事行	
## 10回 会事後の口腔ケア (事前事を学修理整の内容) (45分) 事前 口腔ケアの最後と方法について謂べてくる。 事後 テモストp41-80でわからない語句を謂ペノートにまとも ア・オース ア・		自立にむけた食事の介護	(学修内容)食	事後の口腔ケアの意義や目的、方法について学ぶ。
## 1 回収上ではけた人浴・清潔保持の介護		用具の選択と食事形態の振り返り		
自立にむけた人浴・清潔保持の介護	第4回	食事後の口腔ケア	(事前事後学修記	<b>課題の内容)(45分)</b>
日立立むけた入浴・清潔保持の介護 入浴・清潔保持のの意義と目的 (学修育官)入浴・清潔保持のの意義と目的 (学修育官) 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大			事	前 口腔ケアの意義と方法について調べてくる。
# 35回			事行	後 テキストp41~80でわからない語句を調べノートにまとめる。
第5回 (事前事後学修課題の内容) (6分) 第		自立にむけた入浴・清潔保持の介護	(学修内容)入	谷・清潔保持の意義(生理的、精神的、社会的、文化的)をディスカ
#前 テキスト p41 - 80ででわからない語句を登取ペートにまとま		入浴・清潔の介護の意義と目的	ุ ่	ションしながら理解する。
自立にむけた人浴・清潔保持の意	第5回		(事前事後学修訂	課題の内容) (60分)
自立にむけた人浴・清潔保持の介護			事	前 テキストp41~80でわからない語句を調べノートにまとめる。
自立にむけた人浴・清潔保持の介護			事	後 テキストp81~150でわからない語句を調べノートにまとめる。
(事前事後学修課題の内容) (45分) 事前 テキスト p 81 - 150で2かからない語句を謂ベノートにまとを事後 テキスト p 151 - 220でわからない語句を謂ベノートにまとの事態 テキスト p 221 - 270でわからない語句を謂ベノートにまとの事態 テキスト p 221 - 270でわからない語句を謂ベノートにまとの事態 を解説題の内容) (45分) 事前 テキスト p 221 - 270でわからない語句を謂ベノートにまとの事態 を解説題の内容) (60分) 事前 を学修課題の内容) (60分) 事前 デキスト p 221 - 270でわからない語句を謂ベノートにまとの事後 を付資料を読み理解する。 (学修内容) バリアフリー展 へ行き 核々な福祉用具にふれる。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 事前 配布資料を読み理解する (パリアフリー展 ) を 使 デキスト p 221 - 230でわからない語句を調ベノートにまとの与の状態に応じた入浴・清潔保持の介護 中事後学修課題の内容) (60分) 事前 デキスト p 271 - 330でわからない語句を調ベノートにまとのものが表した人浴・清潔保持の介護 (学修内容) 協力施設の見学実習を行い、新しい入浴機器と入浴方法について事の手を持続、を行う利用者 (学修内容) 協力施設の見学実習を行い、新しい入浴機器と入浴方法について事前 学キスト p 271 - 330でわからない語句を調ベノートにまとの事態 テキスト p 230 - でわからない語句を調ベノートにまとの事態 テキスト p 230 - でわからない語句を調ベノートにまとの事態 チャスト p 230 - でわからない語句を調ベノートにまとの事態 チャスト p 230 - でわからない語句を調ベノートにまとの事後 チャスト p 230 - でわからない語句を調べて (学修内容) 特別介護を誘動の内容 (60分) 事前 テキスト p 230 - でわからない語句を調べて (学修内容) 所述所を p 250 - 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		自立にむけた入浴・清潔保持の介護		
## 後学修課題の内容)(45分)  自立にむけた人浴・清潔保持の介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 (李修内容)人浴における事故とその対応を学ぶ、全身清加の実践。 (李修内容)人浴における事故とその対応を学ぶ、全身清加の実践。 (李修内容)人浴・清潔保持の基本的介護 洗髪の介護 第8回 洗髪の介護 第9回  第9回  自立にむけた人浴・清潔保持の介護 人浴・清潔保持のが護 洗髪の介護 の身の状態に応じた人浴・清潔保持の介護 中心身の状態に応じた人浴・清潔保持の介護 心身の状態に応じた人浴・清潔保持の介護 ・自立にむけた人浴・清潔保持の介護 ・ 中心身の状態に応じた人浴・清潔保持の介護 ・ 中心身の状態に応じたが高速である。     「学修内容)協介施能の見学実置を行い、新しい人浴健園と人ろ方法につい (季修内容)協介施能の見学実置を行い、新しい人浴健園と大ろ方法につい (事前事後学修課題の内容)(65分)     事態、デキストト271~330でわからない語句を調ベノートにまとめ     事後、デキストト271~330でわからない語句を調ベノートにまとめ     事後、デキストト271~330でわからない語句を調ベノートにまとめ     事後、デキストト271~330でわからない語句を調ベノートにまとめ     事後、デキストト271~330でわからない語句を調ベノートにまとの     事後、学修課題の内容)(65分)     事態、デキストの171・日本の181・日本と外育・注が行きの意義・力からない語句を調ベノートにまとの     事後、学に関の内容)(60分)     事前、デキストの171・日本の181・日本と外育・日本とが自然の意義・(47) 中にまとの事後、ドル港の181・日本とが自然の意義・(47) 中にまとの事後、ドル港の181・日本とが自然の意義・(47) 中にまとの事後、ドル港の181 を調をの内容)(60分)     事前、デキストの171・日本ととい話句を調べノートにまとの事後、ドル港の181・日本とが自然の意義・人が自然の意義・人が自然の表述の意義・人が自然の表述の意義・人が自然の意義・人が自然が表述した。(学修内容) 内にないが自然の意義・大いたびに関心を表述したが自然の意義・人が自然が表述した。(学修内容) 内にないが自然の意義・大いたびに関いないが自然の意義・大いたびに関いないが自然の意義・大いたびに関いないが自然の意義・大いたびに関いないが自然の表述を持続した。(学修内容) 内にないが自然の意義・大いたびに関いないが自然の意味を呼吸されていた。(学修内容) 内にないが自然の意味を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたが自然の表述を呼吸されていたがしないないではないないないではないないではないないではないないではないないないではないないないない		入浴・清潔保持の基本的介護		
#後 テキスト p 151 - 220 でわからない語句を課ペノートにまとの	第6回			
関立にむけた人為・清潔保持の介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 の事的 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事後 アキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事後 p3回  (学修内容) / 清潔保持のそれの課題の内容) (45分) 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにまく 事後 配力課料を読み理解する(パリアフリー展)  (学修内容) / 「清潔保持の子護 (学修内容) / (50分) 事前 を学修課題の内容) (60分) 事前 配力課料を読み理解する。 事後 見学ルボートを書き発表できるようする。 (学修内容) 人浴介護での留意に配慮しい浴体験及び人浴介護を行う。 の身の状態に応じた人浴・清潔保持の介護 (学修内容) 人浴介護での留意に配慮しい浴体験及び人浴介護を行う。 (学修内容) 人浴介護での留意に配慮しい浴体験及び人浴介護を行う。 (学修内容) 協力施設の見学実習を行い、新しい人浴機器と人浴方法について学が存りるが表した人浴・清潔保持の介護 (学修内容) 協力施設の見学実習を行い、新しい人浴機器と人浴方法について事物を学修課題の内容) (45分) 事前 テキスト p271-330でわからない語句を調ベノートにまとめ 第後アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ 第後 テキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第後 テキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第後 テキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第6 テキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第6 手名 アキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ アキスト p30-7 からない語句を調ベイノートにまとめ 第6 手名 アキスト p30-7 からない語句を調ベイノートにまとめ p3-9 は p3-7 を行きが課題の介護 (60分) 事前 テキスト p30-7 からない語句を調ベイノートにまとめ p3-9 にかけた排泄の介護 (学修内容) 内部防害のある人 (ストマのからな) への対応でえる。 事後 実技テストの定義を読み からない話句を調べてくる 事後 実技テストのための課題を育る。 (学修内容) 内部防害のある人 (ストマのかるか方) への特定介護について学が表述の対策を対する p3-15回 を呼び調整の内容 (60分) 事前 ストマについて変が表述の対策を呼び調整の内容 (60分) 事前 ストマについでする。 (学修内容) 内部を分を検護型の内容 (60分) 事前 ストマについでする。 (学修内容) 内部を分としているのが表述を行う。 の対応を行っためないだが表述を行う。 で終内容 (50分) 事前 ストマについでする。 (学修内容 (50分) 事前 ストマについでする。 (学修内容 (50分) 事前 ストマについでする。 p3 実技テストを行いためないだける。 p3 実技テストのののよりについでする。 p3 実技テストののが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うる。 p3 実技テストののからない語句を対する。 p3 実践テストののが表述を行うる。 p3 実践テストののではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではい			事	前 テキストp81~150でわからない語句を調べノートにまとめる。
関立にむけた人為・清潔保持の介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 人浴・清潔保持の基本的介護 の事的 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事後 アキスト p21-27でわからない語句を調べノートにま、 事後 p3回  (学修内容) / 清潔保持のそれの課題の内容) (45分) 事前 テキスト p21-27でわからない語句を調べノートにまく 事後 配力課料を読み理解する(パリアフリー展)  (学修内容) / 「清潔保持の子護 (学修内容) / (50分) 事前 を学修課題の内容) (60分) 事前 配力課料を読み理解する。 事後 見学ルボートを書き発表できるようする。 (学修内容) 人浴介護での留意に配慮しい浴体験及び人浴介護を行う。 の身の状態に応じた人浴・清潔保持の介護 (学修内容) 人浴介護での留意に配慮しい浴体験及び人浴介護を行う。 (学修内容) 人浴介護での留意に配慮しい浴体験及び人浴介護を行う。 (学修内容) 協力施設の見学実習を行い、新しい人浴機器と人浴方法について学が存りるが表した人浴・清潔保持の介護 (学修内容) 協力施設の見学実習を行い、新しい人浴機器と人浴方法について事物を学修課題の内容) (45分) 事前 テキスト p271-330でわからない語句を調ベノートにまとめ 第後アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ 第後 テキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベノートにまとめ アキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第後 テキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第後 テキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第6 テキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ 第6 手名 アキスト p30-7 かからない語句を調ベイノートにまとめ アキスト p30-7 からない語句を調ベイノートにまとめ 第6 手名 アキスト p30-7 からない語句を調ベイノートにまとめ p3-9 は p3-7 を行きが課題の介護 (60分) 事前 テキスト p30-7 からない語句を調ベイノートにまとめ p3-9 にかけた排泄の介護 (学修内容) 内部防害のある人 (ストマのからな) への対応でえる。 事後 実技テストの定義を読み からない話句を調べてくる 事後 実技テストのための課題を育る。 (学修内容) 内部防害のある人 (ストマのかるか方) への特定介護について学が表述の対策を対する p3-15回 を呼び調整の内容 (60分) 事前 ストマについて変が表述の対策を呼び調整の内容 (60分) 事前 ストマについでする。 (学修内容) 内部を分を検護型の内容 (60分) 事前 ストマについでする。 (学修内容) 内部を分としているのが表述を行う。 の対応を行っためないだが表述を行う。 で終内容 (50分) 事前 ストマについでする。 (学修内容 (50分) 事前 ストマについでする。 (学修内容 (50分) 事前 ストマについでする。 p3 実技テストを行いためないだける。 p3 実技テストのののよりについでする。 p3 実技テストののが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うのが表述を行うる。 p3 実技テストののからない語句を対する。 p3 実践テストののが表述を行うる。 p3 実践テストののではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではい				·
第7回		自立にむけた入浴・清潔保持の介護		
第8回				
第8回 おおいた (学修内容) パリアフリー展へ行き、様々な福祉用具にふれる。 事後、デキスト p21 - 270でわからない語句を調ベノートにまとの まま を テキスト p21 - 270でわからない語句を調ベノートにまとの まま を 配付資料を読み、	第7回		(事前事後学修訂	課題の内容)(45分)
#後 デキスト p.221 - 270でわからない語句を調べノートにました。   第6回				
自立にむけた人浴・清潔保持の介護				·
第8回		自立にむけた入浴・清潔保持の介護		
第8回 洗髪の介護			1 '	
第9回   東部   東部   東部   東部   東部   東部   東部   東	第8回	洗髪の介護		前 テキストp221~270でわからない語句を調べノートにまとめる
異にふれる			事行	後 配付資料を読み理解する(バリアフリー展)
異にふれる				
第9回		食事、排泄、清潔の保持に使用する様々な福祉用	(学修内容)バリ	リアフリー展へ行き、様々な福祉用具にふれる。
#前 配布資料を読み理解する。  自立にむけた入浴・清潔保持の介護 心身の状態に応じた入浴・清潔保持の介護 特殊入浴を行う利用者  自立にむけた入浴・清潔保持の介護 物身の状態に応じた入浴・清潔保持の介護 神後学修課題の内容)(60分) 事前 男学レポートを書き(800字にまとめる)発表できるよう 事後 テキストp271~330でわからない語句を調べノートにまる 事後 テキストp330~でわからない語句を調べノートにまる 事後 テキストp330~でわからない語句を調べノートにまる 事後 デキストp330~でわからない語句を調べノートにまる 事後 テキストp300~でわからない語句を調べノートにまとめ 事後 テキストp300~でわからない語句を調べイへ( 学修内容)「排泄介護」を行うための準備、環境整備を行い、介護技術を実 用具を使用した非泄介護 (学修内容)「排泄介護」を行うための準備、環境整備を行い、介護技術を実 用具を使用した非泄介護 (学修内容)「神泄介護」を行うための準備、環境整備を行い、介護技術を実 用具を使用した非泄介護 (プ学修内容)「神泄介護」を行うための非臓・あむつ(事前事後学修課題の内容)(60分) 事を入すでしいて調べてくる。事を実技テストのための練習をする。 (学修内容)実技テストを行い、その後振り返りディスカッションを行う。が方法をとったのかということを説明できる。 (学修内容)実技テストを行い、その後振り返りディスカッションを行う。が方法をとったのかということを説明できる。 (学修内容)実技テストの準備として練習を行う。		具にふれる		
#後 見学レポートを書き発表できるようする。   自立にむけた入浴・清潔保持の介護	第9回		(事前事後学修訂	課題の内容)(60分)
自立にむけた入浴・清潔保持の介護				
# 110回 お				
第10回		自立にむけた入浴・清潔保持の介護	(学修内容)入	谷介護での留意に配慮し入浴体験及び入浴介護を行う。
#前 見学レポートを書き (800字にまとめる) 発表できるよう 事後 テキスト p 271~330でわからない語句を調べノートにまと が 事後 テキスト p 271~330でわからない語句を調べノートにまと が 特殊人浴を行う利用者		心身の状態に応じた入浴・清潔保持の介護		
事後	第10回	特殊入浴を行う利用者	(事前事後学修訂	課題の内容)(60分)
### 自立にむけた入浴・清潔保持の介護 心身の状態に応じた入浴・清潔保持の介護 特殊入浴を行う利用者    10			事	前 見学レポートを書き(800字にまとめる)発表できるようにする
# 第11回 か				後 テキストp271∼330でわからない語句を調べノートにまとめる
#11回 特殊人浴を行う利用者		自立にむけた入浴・清潔保持の介護	(学修内容)協力	力施設の見学実習を行い、新しい入浴機器と入浴方法について学ぶ。
事後 テキストp330~でわからない語句を調ベノートにまとめ 自立にむけた排泄の介護 排泄介護の意義と目的 第12回 第12回 第13回 第13回 第13回 第14回 第14回 第14回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15				
自立にむけた排泄の介護	第11回	特殊入浴を行う利用者		前 テキスト p 271~330でわからない語句を調べノートにまとめる。
# 第12回 # 12回			事	後 テキストp330~でわからない語句を調べノートにまとめる。
# 第12回 # 12回				
#12回  (事前事後学修課題の内容)(45分) 事前 テキストp330~でわからない語句を調べノートにまとめ 事後 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてく。  (学修内容)「排泄介護」を行うための準備、環境整備を行い、介護技術を実 用具を使用した排泄介護(ボータブルトイレ、便尿器、おむつ) (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてくる。 (学修内容)内部障害のある人(ストマのある方)への排泄介護について学派 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 ストマについて調べてくる。 (学修内容)内部障害のある人(ストマのある方)への排泄介護について学派 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 ストマについて調べてくる。 事後 実技テストのための練習をする。  (学修内容)実技テストを行い、その後振り返りディスカッションを行う。な 方法をとったのかということを説明できる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 実技テストの準備として練習を行う。			1 '	
#前 テキストp330~でわからない語句を調ベノートにまとめ 事後 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてく。 自立にむけた排泄の介護 排泄の基本的介護 (学修内容)「排泄介護」を行うための準備、環境整備を行い、介護技術を到 用具を使用した排泄介護(ポータブルトイレ、便尿器、おむつう (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてくる。 自立にむけた排泄の介護 心身の状態に応じた排泄介護 第14回 第14回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第16回 第17日 第17日 第17日 第17日 第17日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日		排泄介護の意義と目的	1	
事後 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてく。   自立にむけた排泄の介護	第12回			
自立にむけた排泄の介護				前 テキストp330~でわからない語句を調べノートにまとめる。
#				後 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてく。る
#13回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてくる。 自立にむけた排泄の介護 心身の状態に応じた排泄介護 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 ストマについて調べてくる。 事後 実技テストと振り返り (学修内容)東護テストを行い、その後振り返りディスカッションを行う。な方法をとったのかということを説明できる。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 実技テストの準備として練習を行う。			1 '	
事前 テキスト排泄の介護を読み、わからない語句を調べてくる。		排泄の基本的介護		
#後 ストマについて調べてくる。   自立にむけた排泄の介護	第13回			
自立にむけた排泄の介護				
①身の状態に応じた排泄介護				
# 第14回			1 '	
事後 実技テストのための練習をする。    実技テストと振り返り		心身の状態に応じた排泄介護	1 -	
実技テストと振り返り	第14回			te di
方法をとったのかということを説明できる。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 実技テストの準備として練習を行う。			事	<b>後 実技テストのための練習をする。</b>
方法をとったのかということを説明できる。 第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 実技テストの準備として練習を行う。				
第15回 (事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 実技テストの準備として練習を行う。		実技テストと振り返り	1 '	
事前を実技テストの準備として練習を行う。				
	第15回		1 -	
車後 宝柱ニュトロ以西が知識について田姫に主 しみ担山オス				
・			事	後 実技テストに必要な知識について用紙にまとめ提出する。

授	業	名		開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
			Nursing Care Work Skills	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担	当	者	<b>京岡 理事</b> 対象 東方科介護東方						
授業	学生 学生 学校パイパラでな 対象者の能力を活用し、対象者の状態・状況に応じた自立を支援するための生活支援技術、医療との連携や人生の最終段階の介護方法を習得する。また、実践の根拠について説明できる能力を身につける。この授業は、2コマ連続で、理論と実技を同時に行います。介護技術の総まとめですので、他の授業で学んだ知識を活かし、テキストを読み込みわからない語句がないようにノートに調べまとめておくようにしてください。毎授業時、小テストがあります。								
		成 果							
			知識・理解	沪	l用的技能				
学位			態度・志向性	総	合的な学習経験と	:創造的思	考力		
力針	0ع	D関連							
アク ラー 対象	ニン			グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評(	西ブ	方 法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記( 50		・ は 実習		削作物 実技	
評(	西基	ま 準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)	
テ =	<b>+</b> 2	スト	テキストは 最新 介護福祉士養成講座8 『生活支援技術 』中央 しかし、この授業内で行う事前事後学習には『生活支援技術 」中 したがって毎回授業はじめに行う小テストは『生活支援技術 」テ	央法規を使	見用します。	· .			
参	考	書	宮崎総一郎・佐藤尚武『睡眠と健康』、放送大学教育振興会、2013						
	-ド	対する バック							
留意	意事	実践時には、メモを取りながら積極的に行ってください。							
	フィ	' ^							
実践	的	実践的教育 教員の実務経験など:社会福祉協議会で訪問介護及び介護支援専門員として勤務。 教育							

## 授業 名 介護技術

,		
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業の進め方の理解を行う。
	介護技術・の復習	介護技術・ の復習を行う。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 介護技術 ・ で学んだことを見直しておくこと。
		事後 実習で学んだ介護技術と根拠についてまとめレポートにする。
	心身の状態に応じた休息・睡眠の介護	(学修内容)休息と睡眠の介護の意義(生理的、精神的、社会的、文化的)について
	睡眠が心身に及ぼす影響	ディスカッションしながら理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 実習で学んだ介護技術と根拠についてまとめレポートにする。
		事後 テキスト2~30を読み、わからない語句を調べる。
	心身の状態に応じた休息・睡眠の介護	(学修内容)良質な睡眠のための方法をディスカッションを行い根拠とともに考える
~~~	良質な睡眠と睡眠障害	(本类本体类物理医疗大学)
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 テキスト2~30を読み、わからない語句を調べる。
	シウの世代に広じた 仕口 「吒田の人様の中國	事後 テキストp31~45を読み、わからない語句を調べる。
	心身の状態に応じた休息・睡眠の介護の実際	(学修内容)良質な睡眠のための環境整備についてディスカッションを行い他者の考
₩ 4 E	良質な睡眠を得るための環境整備	え方にふれる。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 テキスト p 31~45を読み、わからない語句を調べる。
	心身の状態に応じた休息・睡眠の介護の実際	事後 テキスト p 45 ~ 62を読み、わからない語句を調べる。 (学修内容)褥瘡の発生要因を学び、グループで予防方法を考える。
		(子杉内台) 特信の光主安凶を子び、グループで「別方法を考える。
第5回	標瘡予防と安楽な体位	(事前事後学修課題の内容)(60分)
45回		(争則争後子修課題の内谷) (60万) 事前 テキストp45~62を読み、わからない語句を調べる。
		事削 デキスト p 45~62を読み、わからない語句を調べる。 事後 テキスト p 63~90を読み、わからない語句を調べる。
	心身の状態に応じた休息・睡眠の介護の実際	「学修内容」副交感神経を高めるための方法を考え、癒しを目的としたマッサージを
	心身を安楽にするリラクゼーションの方法	(学修内各) 副文徳仲経を向めるための方法を考え、想しを目的としたマッケーシを行う。
第6回	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1770 (事前事後学修課題の内容)(60分)
카이터		事前 テキストp63~90を読み、わからない語句を調べる。
		事後 テキストp91~120を読み、わからない語句を調べる。
	心身の状態に応じた休息・睡眠の介護の実際	(学修内容)症状を軽減させるために家庭で行っている温罨法と冷罨法の方法を学ぶ
	適切な罨法の用い方	(子吟13日) 症状と生然ととるために外旋と110 といる温電/AC/A電/Aの/J/Aと子が
第7回		。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
75. [事前 テキストp91~120を読み、わからない語句を調べる。
		事後 テキストp121~157を読み、わからない語句を調べる。
	医療と介護	(学修内容)医師法第17条に基づく内容の理解を行い、介護福祉士が医療的ケアを行
	介護福祉士と医療行為、医療的ケアの違いを学ぶ	う法的、歴史的意味について理解する。
第8回	7121222223333	(事前事後学修課題の内容)(600分)
2,100,11		事前 テキスト p 121~157を読み、わからない語句を調べる。
		事後 テキストp158~195を読み、わからない語句を調べる。
	医療と介護	(学修内容)異常時の発見と在宅における緊急時の対応について学ぶ。
	家庭でおきやすい緊急時の対応	
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 テキス p 158~195を読み、わからない語句を調べる。
		事後 テキスト p 196~228を読み、わからない語句を調べる。
	医療と介護	(学修内容)心肺蘇生法やAEDの使い方を学び、普通救急救命を取得する。
	心肺蘇生法	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回		事前 テキスト p 196~228を読み、わからない語句を調べる。
		事後 テキスト p 246~294を読み、わからない語句を調べる。
	医療と介護	(学修内容)介護福祉士が行う薬剤使用の方法、留意点について学ぶ。
	薬剤の知識と介護福祉士が行う薬剤使用の留意点	
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 テキスト p 246~294を読み、わからない語句を調べる。
	1 /1 A AM	事後、ティーチングするための資料作成を行う。
	人生の最終段階における介護	(学修内容)人生の最終段階の意義とその段階にある人への介護の視点を理解し、
m	死を迎える人の介護への関わり方	臨終に向かうプロセスと生活支援について学ぶ。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 ティーチングするための資料作成を行う。
		事後、ティーチングするための資料作成を行う。
	人生の最終段階における介護	(学修内容)死後に行う介護や家族支援、グリーフケアについて理解する。
等40 同	死後のからだを整える	/ 東前東後労権領籍の内容 > / 20// >
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 ティーチングするための資料作成を行う。
	知識と技術の統合	事後 介護技術試験の作成をする。 (学修内容)介護技術試験をグループで考え作成する。
	和誠と技術の統合 介護技術試験の作成	(ナドバサノ川環XMJ叫歌でソルーノしちんTF成りの。
第14回	/ I n安 3 X 1作 J 直 丸 向火 V ノ ト / J X 	(事前事後学修課題の内容)(60分)
차기4凹		(争削争後子修課題の内谷) (60分) 事前 作成に必要な根拠となる資料を集めておく。
		事制 作成に必要な依拠となる負科を集めてのく。 事後 介護技術試験を仕上げ発表できるようにしておく。
	知識と技術の統合	(学修内容)介護技術試験の発表を行い、内容を振り返りディスカッションを行う。
	小舗と技術の流音 小護技術試験発表と振り返り	(手順内谷) / 環状的試験の光衣を11 に、内谷を振り返り / イスカッションを11)。 (事前事後学修課題の内容) (60分)
第15回		事前 作成した試験を行えるよう準備しておく。
시기이다		事後 行ったあとの振り返りをレポートにして提出する。
		TICO CICIO COMO NO PROCESSION OF THE CONTRACT
		I .

実 習 名	介護実習a・b	対象学生	専攻科介護専攻					
担当者	高岡 理恵・野田 隆生							
	1.実習の目的 講義、演習、学内実習で学んだ理論と技術を実際に活用し、利用者への総合的な介護が実践できるための基礎能力を習得する。 実習指導者の指導を受けながら、実習目標に沿った介護計画のたてかたや記録について学び、チームの一員として介護を遂行する 能力を養い、介護福祉士の役割について理解を深めることを目的とする。							
	2 . 実習内容の区分及び形態 「実習施設・事業等()」及び「実習施設・事業等()」に区分して、210時間の介護実習を実施する。 「実習施設・事業等()」 利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、これに併せて、利用者、家族とのかかわりを通じた							
	コミュニケーションの実践・多職種協働の実践、介護技術の確 秋学期に「介護総合演習」」を配当し「実習施設・事業等(「実習施設・事業等()」 一つの施設・事業所等において一定期間以上継続して実習を行	認等を行うこと)」において5[に重点を置く。 日間の実習を行う。1日8時間。					
実習の概要	えた計画の修正といった一連の介護過程の展開を行う。 介護実習は春学期に「介護総合演習」を配当し、8月に「実習 3.実習施設	間施設・事業等	()」において22日間の実習を行う。1日8時間。					
	介護実習の実習施設は、老人福祉法に定められている特別養護法に定められている重度心身障がい児施設、障がい者自立支援法施設である。 4.実習生に対する指導							
	実習中は、実習担当者から指導、助言を受けながら実習を行う。 5.実習受講条件 「介護総合演習」を受講していること	。教員は週に1厘	回訪問し、指導を行う。					
	6.実習態度等 実習先の方針や守秘義務を遵守しなければならない。積極的に実習に臨んでください。							
	実習先でオリエンテーションを受け、実習担当職員からの指導・ 介護総合演習を履修していなければ介護実習ができません。 個人情報保護法違反を行った時、介護総合演習で注音される能度							
備考	個人情報保護法違反を行った時、介護総合演習で注意される態度を取ったとき、感染予防に配慮できなかった等、実習施設に不利益を与えてしまつたときには実習中止となり介護福祉士資格を取ることはできません。							

授	業	名	ターミナルケア論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
英	文	名	Thory of Terminal Care	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担	当	者	野田 隆生 対象						
授美	「死」とは何か?「いのち」って何だろう?この問いにははっきりとした応えはあるのだろうか。人は必ず死ぬという事実は、知識としてみなさんは理解しています。しかし、あなた自身や親しい人が余命いくばくもないと告知を受けたとしたら、あなたはどういう思いを抱きますか。本講では、まず現代社会における「死」の様相を明らかにし、次いで「死にゆく人」への関わりについて社会福祉なかんずく介護においてどのような視点で捉えていくことが必要とされるのかについて考察を深めていきたい。								
	1) 現代社会における「死」と「生」について意見を述べることができる。 2) 自らの死生観を養うことができる。 3) 介護における終末期の関りについて「こころ」と「からだ」の両面より支援する技術と創造力を身につけることができる。 4) 「生ききること」への執着ではなく人生観を見出すことができる。 5) 安楽死や尊厳死の違いについて説明することができる。								
			知識・理解		1用的技能	AN# 44 FD			
学位		_	態度・志向性	新	合的な学習経験と	創造的思	专刀 ————		
アク ラー 対象	ニン	グ		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評(西方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (65 %) 口述 実習 実技	平常記(35		検 レポ 実習		制作物 実技	
評(西基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (題発見・解	決能力)
テ゠	キス	۱,	随時資料を配布する。						
参	考	書	講義時に随時、文献・資料を紹介する。						
	-ド/	小レポートにはコメントを添えて返却する。 対する ドバック							
留;	平素より時事問題に目を向け、批判的な視点で考究することができるようにして下さい。								
	フィ	其末的に再変要に左案していれば対応します。また、急た顧問等については党内amailを利用して下さい。							
実践	的	教育							

授業 名 ターミナルケア論

1X * -		¥ /b; ↓ ch; ←B BE
授業計画		学修内容・課題
	はじめに ~ 「死」とは何なのか?~	(学修内容)講義の進め方、成績評価の方法について説明する。 「死」に関してディスカッションを行う。
第1回	2 36 1 CIRTHIA (O) 11 1 2	(事前事後学修課題の内容) (15分)
77.1		シラバスより学びの道筋をイメージしておく。
	現代社会における誕生と死	(学修内容)統計資料に基づき誕生と死の現状を把握し、ディスカッションを行う。
	現代社会にのける誕生と先	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第2回		『国民の福祉と介護の動向』『国民衛生の動向』や人口動態統計のサイ
		トを閲覧しておく。
	社会問題としてのターミナル・ケア	 (学修内容)ターミナル・ケアが社会問題となっている背景について学び、ディスカ
		ッションを行う。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		時事問題の中から学修項目に照らした気になる話題を選択しておく。
	ターミナル・ケアの歴史	(学修内容)ターミナル・ケアの歴史をその語義よりたどりながら、ホスピスならび
第4回	~ホスピス・PCUの成立過程~	にPCUへと変遷する過程について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
寿 4四		(争刑争後子隊(株選の内谷) (100万) 紹介した書籍を読んでおく。
	ターミナル・ケアの歴史	(学修内容)仏教と基礎としたターミナル・ケアの成立過程について学ぶ。
	~ ビハーラの誕生と成立過程~	(子序が行) 四致とを凝としたチーミナル・ナナの成立過程について子が。
第5回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		紹介した書籍を読んでおく。
	全人的ケアについて	(学修内容)全人的痛みの理解とその援助について事例を通じて学ぶ。
第6回	~ 4 つの痛みへのアプローチ~	 (事前事後学修課題の内容)(60分)
NOE		紹介した書籍を読んでおく。
	ホスピス病棟の実際	
	~ がん看護専門看護師を通じて~	を知り、ディスカッションを行う。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後、小レポート(文字数800字)を課題とする。
	ビハーラ病棟の実際	(学修内容)ビデオ鑑賞;ビハーラ病棟では、僧侶がどのようなケアを展開し、患者
第8回	~ 病と向き合う僧侶を通じて~	と向き合っているのかを知り、ディスカッションを行う。
50四		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事後、小レポート(文字数800字)を課題とする。
	痛みを緩和する	(学修内容)ビデオ鑑賞:終末期の患者をアセスメントし、シートに記入する。
	~ 寄り添うケアに向けて~	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回		事後、アセスメントシートに患者のニーズを記入し、どのようなケアを
		展開する必要があるのかをまとめる。
	痛みを緩和する	(学修内容)ビデオ鑑賞;遺族の気持ちに寄り添いながら展開される緩和ケアについ
~~	~遺されるものへのケア~	て知り、ディスカッションを行う。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事後、小レポート(文字数800字)を課題とする。
	生死をめぐる諸問題 ~生殖補助医療とその課題~	(学修内容)生殖補助医療の現状と代理出産の現実から主題に迫っていく。 資料をよく読み込んだ上で、ディスカッションを行う。
第11回	エ担刑の心派しての休起~	
		事前に配布したワーク・シートを作成しておくこと。
	生死をめぐる諸問題	 (学修内容)安楽死と尊厳死の違いを理解し、現場にて齟齬なく意見を述べることが
	~ 安楽死と尊厳死 ~	できるよう事例を通して学び、ディスカッションを行う。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前に配布したワーク・シートを作成しておくこと。
	満足な看取りは可能か?	(学修内容)ビデオ鑑賞;福祉施設での看取りについて考え、ディスカッションを行
第13回	〜 ~ 福祉施設での看取り ~ 	う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
거기이다		事後、小レポート(文字数800字)を課題とする。
	満足な看取りは可能か?	(学修内容)ビデオ鑑賞;在宅での緩和ケアの現場を取り上げ、家で看取ることにつ
	~ 在宅緩和ケアの現場より~	いてディスカッションを行う。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事後、小レポート(文字数800字)を課題とする。
	まとめにかえて	(学修内容)「生ききる」ことを支えることのできる地域社会の構築について考え、
₩45 □	~「生ききる」ことを支える介護とは~	ディスカッションを行う。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) これまでの学びについて各回の要点をまとめておくこと。
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

授 業 名	障害の理解	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
英 文 名	Study of Disability	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担当者	武田 康晴	対象学生	専攻科介護専2	攻			
授業の概要							
学修成果到達目標							
	知識・理解		凡用的技能				
学位授与の	態度・志向性	<u> </u>	総合的な学習経験と	:創造的思:	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│ グループ「 ICT活月	フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記 (30		ま習 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ション能力 課題) (9発見・解	決能力)
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護福祉士養成講座14 障害の理	解』中央》	去規出版				
参考書	授業の中で随時紹介する。						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	実戦を想定して授業を実施するので、常に自分の考えを持ちながら授業に参加する。						
オフィスアワー	研究室前に掲示し、授業中に口頭でも伝える。						
実践的教育							

授業名 障害の理解

	12日の注析	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)シラバスを活用しながら授業計画について説明する。
	障害に対するイメージ	障害に対するイメージついて、講師と学生がディスカッションする。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:シラバスの内容を確認しておく。
	障害者福祉の基本理念	(学修内容)障害者福祉の基本理念のうちノーマライゼーションについて、定義、内
	ノーマライゼーションについて	容、達成過程、現代的意義について解説する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめておく。事後:ノー
		マライゼーション達成過程の具体例についてまとめる。
	障害者福祉の基本理念	(学修内容)障害者福祉の基本理念である自立と自立支援について、概念成立の背景
⇔ .□	自立と自立支援	から福祉分野での意味について具体例を交えながら解説する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回		(争削争後子修課題の内谷) (60分) 事前:自立と自立支援に関する自分なりの考えをまとめておく。事後:
		新り、日立と日立又接に関する日がなりの考えをよどめてのへ。争後、 自立と自立支援について、介護現場での具体例を書き出してみる。
		(学修内容)医学モデルから生活モデルへの価値の転換という視点から、国際障害分
	医学モデルと生活モデル	類及び国際生活機能分類について具体例を交えて解説する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
APTEI		事前:教科書の該当箇所を読み、分かったことをまとめておく。事後:
		ICFを活用した介護支援の例について書き出してみる。
	障害とは	(学修内容)障害者基本法など各種法制度に位置付けられた障害の定義について、法
	法制度に見る障害の定義	律の成立や改正の背景も含めて解説する。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の該当箇所を読み、障害の定義にあたる部分に線を引いて
		くる。事後:各障害について、特徴の概要についてノートにまとめる。
	障害とは	(学修内容)障害をもつ人の側に立ち、障害の心理的・主観的側面について基本事項
	障害が及ぼす心理的影響(障害の主観的側面)	を解説し、ディスカッションにより共感的理解に近づけていく。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:書籍またはインターネットで障害者の記事を探し、気持ちに着目
		して呼んでくる。事後:ディスカッションで感じたことをまとめる。
	障害の理解とその援助	(学修内容)身体障害のうち肢体不自由と内部障害について基本事項をおさえ、援助
	身体障害(肢体不自由・内部障害)の理解と援助	の留意点について検討する。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめてくる。事後:介護
		場面での留意点という視点からまとめなおしてみる。
	障害の理解とその援助	(学修内容)身体障害のうち視覚障害と聴覚障害について基本事項をおさえ、援助の
~~~	進退障害(視覚障害・聴覚障害)の理解と援助	留意点について検討する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめてくる。事後:介護
		場面での留意点という視点からまとめなおしてみる。
	知的障害の理解と援助	(学修内容)知的障害について基本事項をおさえ、援助の留意点について検討する。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
第9回	加り厚舌の注解と援助	事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめてくる。事後:介護
<b>寿</b> 9四		場面での留意点という視点からまとめなおしてみる。
		物面での自念点でいう状点からなどのなのしている。
		(学修内容)発達障害について基本事項をおさえ、援助の留意点について検討する。
	発達障害の理解と援助	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第10回	7521711 77211 77211	事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめてくる。事後:介護
		場面での留意点という視点からまとめなおしてみる。
	障害の理解とその援助	(学修内容)精神障害について基本事項をおさえ、援助の留意点について検討する。
	精神障害の理解と援助	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第11回		事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめてくる。事後:介護
		場面での留意点という視点からまとめなおしてみる。
	障害の理解とその援助	(学修内容)難病について基本事項をおさえ、援助の留意点について検討する。
	難病の理解と援助	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第12回		事前:教科書の該当箇所を読み、質問事項をまとめてくる。事後:介護
		場面での留意点という視点からまとめなおしてみる。
	to relate the	
	事例研究	(学修内容) これまで学んできた知識を総括的に活用し、障害者の事例について介護
M	障害者の事例について介護福祉の視点から分析、	福祉の視点から分析、検討しディスカッションを行う。
第13回	検討	(事前事後学修課題の内容) (90分)
		事前:これまでの学修内容を振り返り、不明な点は解決しておく。事後
	事例研究	: ディスカッションの内容をまとめる。 (学修内容)これまで学んできた知識を総括的に活用し、障害者の事例について介護
	季物が丸  障害者の事例について介護福祉の視点から分析、	(学修内各) これまで学んできた知識を総括的に活用し、障害者の事例にづけて介護 福祉の視点から分析、検討しディスカッションを行う。
第14回	障害有の事例について介護価値の視点から方例、   検討	個位の税点から方列、検討しディスカッションを行う。   (事前事後学修課題の内容) (90分)
자 I 박ഥ	1741	(事刑事後字形誅越の内谷) (90万)   事前:これまでの学修内容を振り返り、不明な点は解決しておく。事後
		事前・これよどの子修内谷を振り返り、不明な点は解決してのく。事後 :ディスカッションの内容をまとめる。
	授業の総括と質疑応答	・フィスカッションの内谷をよこのる。 (学修内容)全ての授業内容を総括的に振り返りながらまとめ、学生の質問に質疑応
		答形式で答えながら内容をさらに深めていく。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
N 10E		事前:これまでの授業を振り返り、質問事項をまとめておく。
		Similar Company Compan

授 業 名	生活支援技術	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード		
	Livelihood Support Skills I	開講時期	春学期		必修選択	必修		
担当者	吉島紀江	好了 対象 東方科介維東市						
授業の概要	学生 学生 学 で で で で で で で で で で で で で で で で							
学修成果到達目標	1)介護福祉士が行う生活支援の基本的な考え方を説明することができる。 2)生活の意欲を引き出す介護予防活動を企画できる。 3)生活を行うための家事支援が実践できる。							
	知識・理解	泂	用的技能					
学位授与の	態度・志向性	松	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業		レーリグループワ I C T活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー:	ション		
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		・ レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の知識・理解コミュニケーション能力プレー観点授業態度・参加意欲(	ゼンテーシ	'ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)		
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、介護福祉士養成講座7「生活支援 最新 介護福祉士養成講座6 『生活支援技術 』中央法規のテキ 春学期 「介護技術 」-木村あい先生担当、 秋学期 「生活	ストについ	1ては、下記の授業		します。			
参考書	楽しさを通した心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法 公益財団法人 日本レクリエーション協会 2017							
課題に対する フィードバック の方法								
留意事項	授業では、実際に体を動かすことで体の動きやそのときの感じ方を確認をする内容を含みます。さらに、家庭での家事支援の実践をしますので常日頃から家事を行ってください。 頃							
オフィスアワー	担当授業の終業後に実施する。							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:保育士、社会福祉士、介護福祉福祉士							

## 授業名 生活支援技術

	工/口又3友3又判3	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)授業概要の説明、生活とは何かを概説する
	生活と介護福祉士が行う生活支援の理解	
第1回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		事前 シラバスを読んでくる
	ひろの本化に伴う生活の本化についての田紹(	事後 親世代が20代の頃あったものなかったもの
	社会の変化に伴う生活の変化についての理解 1   ライフサイクルと心の豊かさについて	(学修内容)事前課題の口頭発表とディスカッション
第2回	フィフッイグルと心の意からについて	  (事前事後学修課題の内容)(40分)
** 스티		事前 親世代が20代の頃あったもの、なかったものについてインタビュ
		- meron 201000000 570 0000 0000 5010 0000 5010 0000
	社会の変化に伴う生活の変化についての理解2	(学修内容)事前課題の口頭発表とディスカッションを通して、生活習慣を理解し介
	生活習慣と生活支援	護福祉士が行う生活支援について考える。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(40分)
		事前 1日に行われる家事、食文化についてのワークシートを埋める
	自立生活を支える家事 1	(学修内容)介護保険の介護サービスを踏まえて、生活が自立するための生活支援と
	生活の自立と家事支援	サービスについて理解する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 介護保険、介護サービス「生活援助」の内容を調べてくる
	  自立生活を支える家事 2	事後 テキスト P 216~228を読み、わからない語句を調べてくる (学修内容) I C F に基づき、調理に関する一連の流れを理解し、在宅で行う調理の
	日立王乃を文人の家事 2   調理の介助方法	(学修内台)   1   1   1   1   1   1   1   1   1
第5回		
20日		事前 テキストP216~228を読み、わからない語句を調べてくる
		事後 テキスト P 228 ~ 232を読み、わからない語句を調べてくる
	自立生活を支える家事3	(学修内容)ICFに基づき、家計管理を行うときの視点や介助手順を理解し、家計
	家計管理の介助方法	管理の方法を知る
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 テキスト P 228 ~ 232を読み、わからない語句を調べてくる
		事後 テキスト P 235 ~ 236を読み、わからない語句を調べてくる
	自立生活を支える家事 4	(学修内容)ICFに基づき、洗濯の方法やシミの取り方を理解し、実践する。
	洗濯の介助方法裁縫の介助方法	(事前事後学修課題の内容) (60分)
第7回		事前 テキスト P 235 ~ 236を読み、わからない語句を調べてくる
		事後 テキストP233~234を読み、わからない語句を調べてくる
	<u> </u>	
	自立生活を支える家事 5	(学修内容)ICFに基づき、衣類の補修の方法、縫い方を理解し、実際に雑巾を縫
第8回	裁縫の介助方法掃除の介助方法	う。
- 50円		(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 テキスト P 233~234を読み、わからない語句を調べてくる
		事後 介護保険の変遷について調べてくる
	  自立生活を支える家事 6	(学修内容) ICFに基づき、掃除やごみ捨ての基本を理解し、セルフネグレクトの
	掃除の介助方法	問題について考える。
第9回	3.00.00	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前の介護保険の変遷について調べてくる
		事後 フレイルとサルコペニア、ロコモの語句を調べてくる
	介護予防 1	(学修内容)実際の介護予防機器や介護の現状を知る バリアフリー展の見学を通し
	介護予防運動の実際	て、体得する。
第10回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前 介護予防について、実践事例を検索し調べる
		事後 総合演習見学実習でのプログラムをまとめておく
	介護予防 2	(学修内容)介護総合演習の見学実習を通して、通所施設における活動についてディ
\$\$ 4.4 T	入所・通所施設における活動 	スカッションしながらプログラムやプログラムの素材を理解する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 総合演習見学実習でのプログラムをまとめておく 事後 認知症カフェや注文を間違えるレストランについて調べておく
	  介護予防 3	(学修内容)地域における様々な介護予防及び災害時に向けて準備の実践にふれる
	加速がある	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第12回	で次にのける様々な月度1例及び矢目前の千冊	事前 認知症カフェや注文を間違えるレストランについて調べておく
73.51		事後 見学実習をレポートにまとめ授業時に提出
	自立に向けた介護 1	(学修内容)見学実習を通した学びについてグループディスカッションを行い、個々
	生活意欲にむけた介護の重要性	の生活意欲について理解を深める。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		事前 見学実習をレポートにまとめ授業時に提出
		事後 生活意欲を引き出すプログラムの素材について考えてくる
	自立に向けた介護 2	(学修内容)介護実習で使える「生活意欲を引き出すプログラムの素材」を考え計画
	生活意欲を引き出す取り組み	する。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 生活意欲を引き出すプログラムの素材について考えてくる
		事後、計画書を作成し発表できるようにまとめる
	自立に向けた介護 3	(学修内容)計画してきたことを実施し、生活意欲を引き出せるものになっているの
₩4.E.E.	ICFと生活意欲	かICFに沿って振り返りを行う。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第15回		(事則事後子修謀趙の内谷)(60分)   事前 計画書を作成し発表できるようにまとめる
		事削 計画書を作成し発表できるようによどめる 事後 発表後の振り返りを行いレポート提出
	1	

授 業 名	コミュニケーション技術	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	
英 文 名	Communication Skills I	開講時期	春学期		必 修選 択	必修	
担当者	名賀 亨	対象学生	専攻科介護専	攻			
授業の概要	介護に焦点をあてソーシャルワークの視点から、介護を必要とするな「コミュニケーション」について、ロールプレイやグループワーキルを修得することを目指す。						
学修成果到達目標	1)人間関係におけるコミュニケーションの意味と大切さを理解で2)具体的に相手との適切なコミュニケーションを実践することが3)相手の意識を高め自主性を高めるようなファシリテーションを	できる 理解し実践		5			
	知識・理解		l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	K/A	総合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業			フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 70 %)     口述     実習     実技	平常記(30		・ レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 摂業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テキスト	基礎から学ぶ介護シリーズ 利用者とうまくかかわる コミュニケーションの基本 諏訪茂樹 編著 大谷佳子 著 中央法規出版						
参考書							
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	ロールプレイなども含めて参加型の内容を中心に授業を進めるので、自発的かつ主体的な授業参加を求める。 事項						
オフィスアワー	水曜日 昼休み						
実践的教育							

### 授業 名 コミュニケーション技術

	772-7 7 17 1XIII	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	第1回 オリエンテーション	(学修内容)授業の意義、進め方について説明する
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		シラバスを確認しておく
	コミュニケーションの基本	(学修内容)コミュニケーションの意味、利用者満足とコミュニケーションなど基本
	喜ばれる言葉、嫌われる言葉	を理解する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP8~16を読み、メッセージを共有することの意味について整理
		しまとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。
	コミュニケーションマインド 1	(学修内容)心を開いて相手に接することや熱意をもって接することについて学ぶ。
	自己と他者の肯定、熱心に耳を傾ける	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第3回		テキストP34~41を読み、余裕のある態度で接することや熱意を高める
		接し方について、整理しまとめる。その日の授業を振り返りまとめる。
	コミュニケーションマインド 2	(学修内容)傾聴、受容、共感のコミュニケーションを学ぶ。
	メッセージをありのままに受け取る	V - W - W - V - T
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP42~53を読み、傾聴や気持ちに寄り添うことについて整理し
	⇒笠がかこ <i>り</i> ー・・クゥラナリ 4	まとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。
	言語的なテクニック&スキル 1	(学修内容)挨拶や敬語など相手への気遣いや心配りを学ぶ。
~~ - C	挨拶から始まる人間関係、敬意表現を使いこなす	(市关市体学体理服の中央) (00/)
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP54~62を読み、挨拶から始まる友好的関係について整理しま
	□	とめておく。その日の授業を振り返りまとめる。 (学修内容)自信や意欲を引き出す言葉がけや質問の方法を学ぶ。
	言語的なテクニック&スキル 2  褒められ上手、褒め上手	(子杉内谷)日信や息欲を引き山り古泉がりや真向の方法を子が。 
第6回	褒められエナ、褒めエナ  閉ざされた質問、開かれた質問	(事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>寿</b> 0凹	別でで11/に負向、用が11/に負向	(争削争後子修練題の内存) (ものカ)   テキストP63~70を読み、肯定的な言葉や開かれた質問、熱意を伝える
		相槌について整理しまとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。
	言語的なテクニック&スキル 3	(学修内容)言葉の繰り返しや沈黙あるいは明確化について学ぶ。
	熱意を伝える効果、メッセージを共有する効果	(子修的者) 白来の練り返りでル窓のもいは明確しについて子が。
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
75.1		テキストP71~78を読み、言葉の一部を繰り返すことや沈黙することの
		意味を整理しまとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。
	言語的なテクニック&スキル 4	(学修内容)要点を整理して返すことや気持ちに理解を示すことについて学ぶ。
	会話の要約、共感のスキル	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第8回		テキストP79~84を読み、要約・共感について整理しまとめておく。そ
		の日の授業を振り返りまとめる。
	言語的なテクニック&スキル 5	(学修内容)受け入れてもらえるような指示のあり方や助言の方法を学ぶ。
	伝え方のスキル	
第9回	主体性を尊重したティーチング	(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP85~93を読み、ティーチングについて整理しまとめておく。
		その日の授業を振り返りまとめる。
	言語的なテクニック&スキル 6	(学修内容)考えを引き出し支持することや声のトーンについて学ぶ。
	コーチングの可能性と限界	
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP94~101を読み、コーチングについて整理しまとめておく。そ
	NE-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	の日の授業を振り返りまとめる。
	準言語的なテクニック&スキル	(学修内容)適度な声の大きさや話す速度について学ぶ。
~~	大声と小声の影響、話す速度の影響	/ <b>= + = // + // + // + // + // + // + /</b>
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP102~105を読み、声の大小による影響や話す速度の影響について教理しまとめておく。その日の授業を振り近りまとめる。
	北京毎的なテクニックりフナリー4	いて整理しまとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。 (学校内容)コミュニケーションで重要な事情や日頃など北京語コミュニケーション
	非言語的なテクニック&スキル 1  自然な笑顔	(学修内容)コミュニケーションで重要な表情や目線など非言語コミュニケーション について学ぶ。
第12回	口がな大阪	(事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>歩12</b> 凹		(事刑事後子修綵越の内谷)(60カ)   テキストP106~111を読み、自然な笑顔や目の高さの大切さについて整
		ディストF100~111を読み、自然な実績や自め高さの人切さにプロで整理しまとめておく。
	  非言語的なテクニック&スキル 2	(学修内容)コミュニケーションで大切なアイコンタクトや姿勢などについて学ぶ。
	目線、視線、姿勢の効果	(手修内谷)コミュニケーションで入りなどがコンダンドで安勢などについて学ぶ。   (事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回	- 170 may > 23 42 A/J A/N	テキストP112~118を読み、アイコンタクトの効果や姿勢の及ぼす影響
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		について整理しまとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。
	非言語的なテクニック&スキル 3	(学修内容)コミュニケーションにおける動作や装いさらに適切な距離について学ぶ
	重要な意味を持つ身だしなみ	•
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		テキストP119~124を読み、身のこなし方や身だしなみについて整理し
		まとめておく。その日の授業を振り返りまとめる。
	まとめ	(学修内容)これまでの授業を振り返りながらコミュニケーションの重要性や適切な
	コミュニケーションを俯瞰する	あり方について学ぶ。
第15回		(事前事後学修課題の内容) (60分)
		これまでの授業を振り返っておく。

授 業 名	コミュニケーション技術	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	
	Communication Skills	開講 時期	秋学期		必修選択	必修	
担当者		対 象	事攻科介護専	——— 攻	,		
授業の概要	様々な障がいのある人と円滑な援助関係の構築のために、障害に応じた基本的知識と具体的なコミュニケーション方法について学ぶ。また、介護を必要とする人の家族や他の職種に対するコミュニケーション方法、さらには介護福祉士として自分の意見や感情を述べる力を身につける。 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を身につける。						
学修成果到達目標	障害に応じたコミュニケーション方法を身につけることができる 自分の考えを整理して他者に伝えることができる。 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な		<b>₽できる</b> 。				
	知識・理解	洌	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	統	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ツョン	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 ( 50		・ レポ 実習		割作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレ	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)	
テキスト	コミュニケーション技術(中央法規出版)						
参考書	適宜紹介する						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項							
オフィス アワー	初回の授業で説明する。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:障害者の入所施設で生活指導員として勤務 シリアダマスカス脳性麻痺教育センターに青	年海外協力	1隊員として派遣				

## 授業 名 コミュニケーション技術

受業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業の進め方 介護実習の振り返り
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスの内容を確認しておくこと 介護実習について説明できるように準備をしておこと
第2回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 実習からの気づき	(学修内容)実習で困った場面をピックアップして、それをロールプレイで再現する。 ビデオ撮影をする。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 実習の振り返りを行う。
第3回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 実習からの気づき	(学修内容)ビデオを視聴し、自身のコミュニケーションの特徴を知り、よりよい方法を考える(ディスカッション)。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 実習での自らの課題について振り返りを行うこと。
第4回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 視覚障がいのある人とのコミュニケーション	(学修内容)視覚障がいのある人とのコミュニケーションの留意点や工夫について考え、実践する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 傾聴、共感についてを復習しておく
第5回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 聴覚障がいのある人とのコミュニケーション	(学修内容)聴覚障がいのある人とのコミュニケーションの留意点や工夫について考え、実践する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 非言語コミュニケーションについてを復習しておく。
第6回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 言語障がいのある人とのコミュニケーション	(学修内容)言語障がいのある人とのコミュニケーションの留意点や工夫を考え、身践する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 非言語コミュニケーションを復習しておく。
第7回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 コミュニケーション障がいのある人とのコミュニ ケーション	(学修内容)コミュニケーション障がいのある人の事例でロールプレイを行う。 (事前事後学修課題の内容)(30分) コミュニケーションについてを復習しておく。
第8回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 精神障がい、発達障がいのある人とのコミュニケ ーション	(学修内容)発達障がいのある人とのコミュニケーションの留意点や工夫を考え、実践する。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 受容について復習しておく。
第9回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 知的障がいのある人とのコミュニケーション	(学修内容)コミュニケーション技術 を復習しておく。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 受容についてを復習しておく。
第10回	障害の特性に応じたコミュニケーション技法 重度障害児とのコミュニケーション	(学修内容)重度障害児とのコミュニケーションの留意点や工夫を考える。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 受容についてを復習しておく。
第11回	介護における家族とのコミュニケーション 配慮・気遣い	(学修内容)家族とのコミュニケーションにおいて、配慮すべき事項や・気遣いについて学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分) コミュニケーションの技法を復習しておく。
第12回	介護における家族とのコミュニケーション 利用者本人と家族の意向の調整を図る技法	(学修内容)利用者本人と家族の意向の調整を図る技法を事例を通し実践する。 (ロールブレイ) (事前事後学修課題の内容)(30分) コミュニケーションの技法を復習しておく。
第13回	介護における家族とのコミュニケーション 相談、助言、指導	(学修内容)家族とのコミュニケーションにおける、相談、助言、指導について学ぶ (グループワーク)。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 相談援助についてを復習しておく。
第14回	介護におけるチームのコミュニケーション 報告、連絡、相談 チーム運営の基本(チームの機能と構成、リーダ ーの機能と役割、リーダーシップとフォロワーシ ップ、課題発見と解決の過程PDCA)	(学修内容)その人を支えるチーム内のコミュニケーションにおいて、報告、連絡、相談の重要性について事例を通して考える。(ロールプレイ) (事前事後学修課題の内容)(30分) 相談援助を復習しておく。
第15回	介護におけるチームのコミュニケーション アサーティブコミュニケーション	(学修内容)アサーティブコミュニケーションついて グループワーク (事前事後学修課題の内容)(60分) コミュニケーションのまとめ

授	業	1 名	生剂	5支援技術	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目コード	
英	文	名	Live	lihood Support Skills	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担	当	4 者	鈴木	みどり	対象学生	<b>車</b>				
授美	<b>美</b> の	多様な住まいにおいて、安全・安心・快適な生活環境確保のための居住環境の整備について理解する。また福祉用具の機能を理解し、対象者の能力に応じた福祉用具を選択・活用する技術を学び、これまでの暮らしを継続させるための視点や工夫を学ぶ。実際に福祉用具を使用しながら体験的に学ぶ。また、多様な福祉用具の機能と活用方法を理解するために見学実習を行う。(見学ができない状況の場合は、動画などを活用する。) グループワークやディスカッションを行いながら授業を進める。								
		成 果目 標								
				知識・理解	沪	用的技能				
学位	授	与の		態度・志向性	絲	合的な学習経験と	創造的思	考力		
	テ・ ニ:		実	望・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		](自主学習支援)	) 	ゼンテー		
評(	価 :	方 法		明試験 筆記試験 レポート 制作物 0 %) 口述 実習 実技	平常記 ( 40		策 レポ 実習		制作物 実技	
評(	価	基 準		る評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレヤ 現点 授業態度・参加意欲 (	ヹンテーシ	/ョン能力 課題	題発見・解	決能力	)	
テ・	‡.	スト	1	↑護福祉士養成講座 『生活支援技術 』 ∳学期 「介護技術 」 木村先生担当、 春学期 「生活支払 ストを使用します。	爰技術 」	髙岡先生担当で	で使用した	テキスト	と同じ	
参	考	書		こて指示する。 ノトも使用する。						
	- K	対する ・バック	提出:	されたレポートについては、コメントを付けて返却します。口道	述について	[は、その都度コノ	くントを返	します。		
留;	意	事 項	自分が車椅子で生活しているならば、どんなことがバリアになるか・・生活している環境の中で想像してみてください。 バリアフリーやユニバーサルデザインも気にしてみてください。							
		ィス	担当	受業終了後に実施する。						
実践	能的	]教育	実践的教育 教員の実務経験など:福祉用具販売・レンタル、リフォームの会社の代表取締役。福祉用具専門相談員・2級建築士の実 務経験をもとに多様な住まいや住環境整備、福祉用具についてお話します。							

## 授業名 生活支援技術

	工/日文3及3文附3	
授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション	(学修内容)授業の概要説明
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスの内容を確認しておくこと
第2回	自立に向けた居住環境の整備:居住環境の整備の 意義と目的	(学修内容)住まいの役割や居住環境整備の身体的・心理的・文化的意義と目的、生活空間について理解できる (事前事後学修課題の内容)(60分) 予習として、自分が高齢者で動作がしにくい状態であるという想定で、 自宅内でバリアになることを書き出しておく
第3回	自立に向けた居住環境の整備:高齢者の多様な住まい(高齢者の施設) 障がい者の多様な住まい(障がい者の施設)について	(学修内容)様々な高齢者・障がい者の施設について理解する(介護保険施設・サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム等) (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、高齢者施設についてレポートにまとめて提出する
第4回	自立に向けた居住環境の整備:住まいの変遷と住居の維持管理や災害に対する備えについて制度を利用した住宅改修について	(学修内容)快適な室内環境の整備、住居の維持管理や災害に対する備えについて理解する。介護保険など制度を利用した住宅改修について理解する。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、介護保険で利用できる住宅改修についてレポートにまとめて提出する
第5回	自立に向けた居住環境の整備:ショールームなど で住宅設備等の見学	(学修内容)実際の住宅設備等を見学体験しながら理解を深める (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、体験して気づいたことを発表できるようにノートにまとめておく
第6回	自立に向けた居住環境の整備:ショールームなど で住宅設備等の見学	(学修内容)実際の住宅設備等を見学体験しながら理解を深める (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、体験して気づいたことを発表できるようにノートにまとめ
第7回	自立に向けた居住環境の整備:居住環境のアセスメント	ておく (学修内容)利用者の状況・状態に応じた居住環境のアセスメントを事例を通じて理解する (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、利用者の状況・状態に応じた居住環境についてノートにま
第8回	自立に向けた居住環境の整備:居住環境のアセス メントと計画	とめておく (学修内容)利用者の状況・状態に応じた居住環境のアセスメントと改善計画をグループワークをして理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、アセスメントと改善計画をしてみての気づきをノートにまとめておく
第9回	福祉機器の意義と活用:福祉用具の概念と目的	(学修内容)福祉用具活用の意義と目的、福祉用具の分類や介護ロボットについて理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、身近にある福祉用具を書き出しておく
第10回	福祉機器の意義と活用:利用者の能力に応じた福祉用具の機能と活用方法(ベッド関連・排泄関連・入浴関連他)	(学修内容)福祉用具の機能やそれぞれのメリット・デメリットについて理解する (ベッド関連・排泄関連・入浴関連他) (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、福祉用具(ベッド関連・排泄関連・入浴関連他)のそれぞれの機能と活用についてレポートにまとめて提出する
第11回	福祉機器の意義と活用:利用者の能力に応じた福祉用具の機能と活用方法(移動移乗関連・コミュニケーション関連・自助具他)制度を利用した福祉用具について	(学修内容)福祉用具の機能やそれぞれのメリット・デメリットについて理解する (移動移乗関連・コミュニケーション関連・自助具他) (事前事後学修課題の内容)(60分) 復習として、福祉用具(移動移乗関連・コミュニケーション関連・自助 具他)のそれぞれの機能と活用についてレポートにまとめて提出する
第12回	福祉機器の意義と活用:福祉用具見学	(学修内容)福祉用具の体験をしながら理解を深める (事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、福祉用具体験を通じて学んだことや感じたことを発表できるようにノートにまとめておく
第13回	福祉機器の意義と活用:福祉用具見学	(学修内容)福祉用具の体験をしながら理解を深める (事前事後学修課題の内容)(30分) 復習として、福祉用具体験を通じて学んだことや感じたことを発表できるようにノートにまとめておく
第14回	福祉機器の意義と活用:リスクマネジメント	(学修内容)福祉用具のリスクとリスクマネジメントについてグループディスカッションを通じて理解する (事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、福祉用具を利用している時に起こり得る事故について想像し、ノートに書きだしておく
第15回	福祉機器の意義と活用と自立に向けた居住環境の整備のまとめ	(学修内容)実例を通して福祉用具導入や住環境改善にあたり、多職種連携や状態の変化に気づくことの大切さを学ぶ (事前事後学修課題の内容)(30分) 予習として、福祉用具導入や住環境改善にあたり連携する職種を書き出しておく

授	業	名	生活支援技術	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
英	文	名	Livelihood Support Skills	開講時期	秋学期		必 修選 択	必修	
担	当	者	福井 百合子・平 正人	対 象 学 生	専攻科介護専	攻			
授	業の	生活に関わる知識は、健康な生活を営むうえでも、福祉の現場で働くうえでも必要である。介護の対象となる人(利用者)の個々の状態に応じた自立に向けた支援について学習する。介護予防、生活機能の維持、安全管理についての内容、家事を自立的に行うことを支援するために必要な基本的事象について以下の内容で講義する。理解を深めるために、適宜グループワークを実施する。 1.利用者にとっての自立の意味を考え、本人主体の生活の豊かさの観点から、自立へ向けて具体的な支援行動が示せる。 2.衣食住の基礎 3.獲得した知識を、福祉の現場で役立てることができる。							
		1 . 生活に関わる基本的な知識を身につけ、実践することができる。 2 . 介護の対象となる人が個々の状態に応じた家事を自立的に行えるよう支援できる。 3 . 獲得した知識を、福祉の現場で役立てることができる。 成果目標							
			知識・理解		用的技能	AD# 44 ED	+		
		与の D関連	態度・志向性	Z/2	合的な学習経験と	:創造的思	考刀		
刀业		カスト							
アク ラー 対象	-=>			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評	価フ	方 法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (60%)     口述     実習     実技	平常記 ( 40		・ レポ 実習		制作物 実技	
評	価基	基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレセ 観点 授業態度・参加意欲 (	ジンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力		)
テ	+ 2	スト	「最新 介護福祉士養成講座」介護福祉士養成講座編集委員会 編集(	中央法規	乳) 使用する巻は	は授業内で	紹介する		
参	考	書	随時指示する。						
	ード	対する バック							
留	意	受け身ではなく、積極的な態度で授業に臨んでほしい。							
	フ <i>-</i> 7 ワ	ィス -	初回の授業で連絡する。						
実記	戋的	教育							

# 授業名 生活支援技術

1X * I	土冶又拨汉彻		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
	科目ガイダンス、授業前半のガイダンス	(学修内容)自立	z支援の考え方、ICFについて学び、利用者の自己決定を尊重した支
	自立支援について		こついて考える。
第1回			<b>課題の内容)(30分)</b>
			科書熟読。日常生活の中で自己決定している事を考えてみる。介護の 5、第4章1節
	要介護者の自立支援について		ゝ 毎4草1即 隻におけるICFと、利用者の自立支援について学ぶ。各自調べ学習し
	女// 限日の日立文派に ラバーで	1 '	たたことを伝授し合う。
第2回			課題の内容)(30分)
		教科	書熟読。ICFとICIDHについて調べ発表できるようにまとめておく。
			隻の基本 第4章2節
	自立支援とリハビリテーション		目調べ学習してきたことを伝授し合う。自立支援とリハビリテーショ
第3回	自立支援と介護予防		こついて学ぶ。介護の基本 第4章第3節 果題の内容)(30分)
年3四			ĸ歴の内谷)(30カ) 抖書熟読。バリアフリーとユニバーサルデザインについて発表できる
			そとめておく。
	自立支援と介護予防	(学修内容)自立	ヹ支援と介護予防、地域包括ケアシステムとサービスについて学ぶ。
			護予防を学び、具体的支援の内容を各自調べてきたことを実践する。
第4回			課題の内容)(30分)
			抖書熟読。老化や機能低下予防の運動や習慣を各自2つ以上調べる。 嘘の基本 第4章第4節
	安全管理とリスクマネジメント		^{髪の蚕仏} 第4章第4即 スクとハザード、危険予知と危険回避、薬の服用、感染予防、事故防
	ZIEZC JAJ (III)		こついて学ぶ。
第5回		(事前事後学修課	<b>課題の内容)(30分)</b>
			4書熟読。健康時と体調不良時の様子の違いについて考えてみる。介
	A 4# ch p)	HP4 1	)基本 第3章
	介護実践の場での他職種連携	(字修内容)介護	隻実践の場での多職種協働について学ぶ。
第6回		(事前事後学修寶	<b>課題の内容)(30分)</b>
多の四		1 -	料書熟読。高齢者福祉に関わる業種と役割をまとめておく。介護の基
			第4章
	介護従事者にとっての健康管理	(学修内容)介護	護従事者にとっての心と体の健康管理について学び、自己の健康管理
	前半のまとめ		長り返る。前半の振り返り。
第7回			<b>課題の内容)(30分)</b>
			抖書熟読。働く中で自分の身を守るための工夫を考えてみる。介護の - 第5章第4 4章
	食生活と栄養		5 第5章第1~4節 三活とその意義を考える。
	民工/10		E/ACCの急報を与れる。 B生活の現状と課題についてグループワーク。
第8回			<b>課題の内容)(60分)</b>
		・教	<b>対科書の関連部分をよく読んでおく。</b>
	W +	( ) (	**************************************
	栄養素の種類と消化・吸収・代謝		√栄養素について、その特徴と主な働きを見るとともに、それらがど √うに消化・吸収され、代謝されるかを学ぶ。
第9回			、フに用して吸収され、10割されるかを子が。 果題の内容)(30分)
WO TH		'	放料書の関連部分をよく読んでおく。
	食事摂取基準		E どれだけ食べればよいのか。 (日本人の食事摂取基準)
77.40 T	食材の特徴と使い方		目分の食事のバランスは適正か否か。食材の旬や加工食品を考える。
第10回		1 -	果題の内容)(30分) 対科書の関連部分をよく読んでおく。
			x付置の角建品がでよく読んである。 食材の旬や加工食品における食品表示部分の情報を収集しておく。
	献立作成		Z作成に必要な基本的知識と生活習慣病における留意点
第11回			<b>課題の内容)(30分)</b>
			対科書の関連部分をよく読んでおく。
	   栄養補給方法		R庭料理のレシピなどの情報を収集しておく。
	木食物粒刀/女		§補給方法について学ぶ。 蚤口栄養法、(強制栄養法)経腸栄養法・静脈栄養法の分類と特徴。
第12回			は日本食は、(強助不食な)経動不食な、肝脈不食なの力類と行民。 課題の内容)(30分)
		'	E活場面で入手可能な経腸栄養剤(食品)などの情報を収集しておく
		0	
	食の安全と食中毒	1 '	安全をめぐる諸問題を学ぶ。
₩			食中毒の種類や予防、食品衛生、環境衛生、人の衛生管理について。 関節の内容 × (2011)
第13回			果題の内容)(30分) 対科書の関連部分をよく読んでおく。
			X付責の関連部方をよく読んである。 Rの安全をめぐる最近のニュース、情報を収集しておく。
	健康と食生活		音習慣病予防やサルコペニア予防の食生活を学ぶ。
	生活支援における食生活の振り返りとまとめ		要介護因子となる生活習慣病、サルコペニアについて。振返りまとめ
第14回		'	<b>課題の内容)(30分)</b>
			対科書や新聞、ネット情報より関連部分の情報を収集しておく。
			表り返りとまとめ。 美全体の学修内容の確認
	授業全体の振り返り  定期試験についてのお知らせ		筆学体の子修内容の確認 『問題と解説、筆記試験問題にチャレンジ、
第15回			8问題と解説、筆記試験问題にテヤレノシ、 果題の内容)(30分)
,,, . <del>, , , , , , , , , , , , , , , , ,</del>		'	料書を再度読み返して復習し、わからないところを明確にしておく

授	業	名	介護過程	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード		
英	文	名	Nursing Care Process I	開講時期	春学期		必修選択	必修		
担	当	者	<b></b>							
授業	利用者の望む生活の実現のためには、利用者ひとりひとりの生活上の課題を明確にし、根拠に基づいた介護実践が求められる。この授業では、グループワークやディスカッションを取り入れながら、利用者の課題解決の思考過程としての介護過程について理解する。									
学和到			1.介護過程の意義を理解し、介護過程の全体像を説明できる。 2.諸科目で学んだ知識・技術を統合し、利用者の状態像に合わせる。場面ごとの介護実践に根拠があり、それを説明できるようになる4.把握すべき情報を統合、課題を明確化でき、介護実践に結びつる	ることがえ	求められていること		-			
			知識・理解	ij	凡用的技能					
学位方針。		_	態度・志向性	*	総合的な学習経験と	創造的思	考力			
刀山	رں ے	判理								
アク: ラー: 対象:	ニン	グ		ブループ! I C T活月	フーク 用(自主学習支援)	プレ	ゼンテーシ	ション		
評値	五方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 60 %) 口述 実習 実技	平常i ( 40		i レポ 実習		制作物 実技		
評値	五基	準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ1 授業態度・参加意欲 (	ヹンテーシ	ション能力 課題) (	発見・解	決能力		)	
テ =	トス	. ト	介護福祉士養成講座編集委員会編 「最新 介護福祉士養成講座9	介護過程	」中央法規					
参	考	書	適宜紹介する。							
	-ド/	授業の中で、補足・講評を行う に対する ドバック								
留意	授業で使用したプリントや作成したシートは、毎回持参してください。 留 意 事 項									
オ : ア	フィワ	^	担当授業終了後に実施する。また、随時、メールでの質問を受け付ける。							
			実践的教育 教員の実務経験など:大学卒業後、特別養護老人ホームの介護職員として従事。その後、介護支援専門員、老人短期入所 施設施設長、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所管理者等を経験。現在 は地域密着型高齢者施設の複数の拠点の統括施設長。							

## 授業 名 介護過程

受業計画	型 学修項目	学修内容・課題
第1回	オリエンテーション 生活とは何か	(学修内容)科目オリエンテーション・生活とは何かを振り返る 生活はどんな要素から成り立っているのかを理解する (事前事後学修課題の内容)(60分)
カ I 凹		・事前に自分自身がどのような生活を送っているか振り返り授業に出席 する。 ・テキストの第1章を読んで出席する。
第2回	介護過程の意義と目的   介護過程のプロセス  	(学修内容)生活上の課題を、実体験に即して考える 日常生活の問題解決の思考過程から介護過程の展開の重要性を理解する (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第3回	アセスメント 情報収集「事実のとらえ方」	(学修内容)事実をどのようにとらえるか 人のものの見方の特徴・記録の仕方(動画による演習) (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第4回	アセスメント 情報収集「情報の収集の方法」	(学修内容)利用者とのコミュニケーション場面、かかわりの中で得た情報を収集するということ (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第5回	アセスメント ICFの視点	(学修内容)事実のとらえ方をICFの視点で整理する (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第6回	アセスメント情報収集「情報の解釈・関連付け・統合化」	(学修内容)情報のとらえ方、理解の仕方について考える 利用者の生きてきた時代と私の生きてきた時代の比較 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第7回	アセスメント情報収集「情報の解釈・関連付け・統合化」	(学修内容)情報のとらえ方、理解の仕方について考える 在宅で暮らす高齢者、施設で暮らす高齢者、幅広い対象者増の比較 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第8回	アセスメント情報収集「課題の明確化」	(学修内容)生活課題とは何か。課題の優先度について考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第9回	介護計画の立案	(学修内容)「目標」とは何か。「目標設定の仕方」について学ぶ。期間、実現可能性など (事前事後学修課題の内容)(30分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第10回	介護計画の立案	(学修内容)援助内容、方法について 社会資源についての理解 家族の理解 (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第11回	実施・評価	(学修内容)計画を実施するうえでの多職種連携の必要性について知る 評価の方法と重要性について理解する (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第12回	事例検討施設の利用の事例	(学修内容)施設における自立支援、自己決定について考える。これまでの生活を動 ぐ視点を学ぶ (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第13回	事例検討在宅の利用者の事例	(学修内容)在宅生活継続のために求められる支援のポイントについて考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第14回	事例検討 地域密着型サービスの事例検討	(学修内容)地域での生活継続に必要な社会資源を知り介護過程の展開を考える (事前事後学修課題の内容)(60分) 前回授業で示したテキストの該当箇所を読んで授業に出席すること
第15回	介護過程の実際 まとめ	(学修内容)これまでの授業の振り返り 生活の主体者への視点を構築する。チームアプローチについて考える。 (事前事後学修課題の内容)(60分) 授業で使用した配布資料、テキストの該当箇所を振り返り授業に出席する。

					,			
授 業 名	介護過程	開講学年	1回生	単位数	1単位	科 目 コ ー ド		
英 文 名	Nursing Care Process	開講時期	春学期		必 修選 択	必修		
担当者	高岡 理恵	対 象 学 生	専攻科介護専2	攻				
授業の概要	利用者の望む生活の実現のためには、利用者ひとりひとりの生活上の課題を明確にし、根拠に基づいた介護実践が求められる。この授業では、その課題を解決していく介護過程について、基礎的知識を踏まえ事例を通して学んでいく。最後に、介護過程の展開実例をゲストスピーカーから聞き、専門職として介護を行う上での思考過程、実践過程に介護過程の展開が必須であることを学ぶものである。							
学修成果到達目標	1)介護過程の全体像を説明できる。 2)介護過程の各プロセスの思考方法を理解できる。 3)事例において、介護過程の展開を実施できる。							
	知識・理解	· //	 机用的技能					
学位授与の	態度・志向性	44	総合的な学習経験と	創造的思	 考力			
方針との関連								
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 用(自主学習支援)		ゼンテー	ション		
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常i ( 50		き レポ 実習		制作物 実技		
評価基準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレー	ゼンテーシ	ノョン能力 課題 ) (	発見・解	決能力	)		
テキスト	最新 介護福祉士養成講座 『介護過程』中央法規を使用します。 必要に応じてプリント配付。							
参考書	大川弥生 「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用 中	中央法規						
課題に対する フィードバック の方法	提出された課題は、コメントをつけて返却する。							
留意事項	授業で使用したプリントや作成したシートなどは、毎回持参してください。							
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。							
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:島本町社会福祉協議会 訪問介護、介護支援 ⁵	専門員とし	<b>ノて勤務</b> 。					

## 授業 名 介護過程

1X <del>**</del> 1	川張旭性		
授業計画	学修項目		学修内容・課題
第1回	オリエンテーション 介護過程の意義と目的	介護 (事前事後学修課	概要についてシラバスをもとに説明。 を行う上で介護過程を学ぶ意味について理解する。 題の内容)(20分)
	アセスメント1	事後(学修内容)観察	シラバスを確認しておいてください。 配布資料を読み、わかりにくいところに下線を引いてください。 の一つであるパイタルサインを読み、身体の正常・異常を知る。
第2回	アセスメント理解とバイタルサインの理解	事前	題の内容)(30分) 配付資料を読み、わかりにくいところに下線を引いてください。 宿題1 情報収集(できるところから)。
第3回	アセスメント2 パイタルチェックの留意と観察	まと (事前事後学修課 事前	タルチェックの復習後、DVD(事例)を視聴し観察できた事柄を める。 題の内容)(30分) 宿題1 情報収集(できるところから)。 観察した事柄を表にまとめる。
第4回	アセスメント3 事例を通した観察	(学修内容)主観 ープ (事前事後学修課 事前	的・客観的について理解し、DVDを再度視聴し観察を行い、グルワークから得た情報を追加して表を整理する。 題の内容)(60分) DVDを視聴し観察を行い表にまとめる。 ICFの考え方を調べてくる。
第5回	ICFの考え方について理解する	方の (事前事後学修課 事前	スメントにおける専門的諸知識の統合についてICFの概念、考え 理解を事例を通して理解する 題の内容)(60分) ICFの考え方を調べてくる。 ICFの考え方を自分の言葉で説明できるようにしておく。
第6回	アセスメント4 情報整理	(学修内容)IC (事前事後学修課 事前	Fの考え方に沿って情報を整理し、対象の全体像を把握する。 題の内容)(60分) ICFの考え方を自分の言葉で説明できるようにしておく。 事例の情報を整理してくる。
第7回	アセスメント5 情報の解釈、関連付け、統合	活用 (事前事後学修課 事前	の意味や方法を理解し整理した情報に、他の科目で学習した知識を し、解釈、関連付け統合をする。 題の内容)(60分) 事例に情報を整理してくる。 情報の解釈に必要な知識を調べ解釈を行う。
第8回	アセスメント6 情報の解釈、関連付け、統合を深め全体像を把握 する	(学修内容)宿題 。 (事前事後学修課 事前	してきたものをグループワークを通して、事例の全体像を把握する 題の内容)(60分) 情報の解釈に必要な知識を調べ解釈を行う。 宿題1を整理し提出できるようにしておく。
第9回	アセスメント7 総括(情報収集、統合、関連付け、解釈)	(学修内容)宿題 める。 (事前事後学修課 事前	をもとにアセスメントを行う。グループワークを通して全体像を深
第10回	アセスメント8 解釈に必要な知識の整理とニーズの捉え方	(学修内容)グル い、 (事前事後学修課 事前	- プリークを通して、解釈に必要な知識を調べ、ニーズの理解を行優先を決定する 題の内容)(60分) 宿題1のアセスメント表を提出できるようにしておく。 事例のアセスメント表を完成させてくる。
第11回	介護目標の理解と計画作成の留意点	(学修内容)介護 事例 (事前事後学修課 事前	事例のアピスパント後を光成させてくる。 目標を立てるときの留意を理解し目標をたて、計画作成を行う。 の介護目標の設定、計画を作成する。 題の内容)(60分) 事例のアセスメント表を完成させてくる。 介護目標の優先度を決定する。
第12回	介護目標の優先と計画作成の実際	(学修内容)事例 (事前事後学修課 事前	が成日はのはただとう。 を通して計画を策定する。 題の内容)(60分) 介護目標の優先度を決定する。 介護計画表を完成させる。
第13回	介護目標の評価と評価観点、モニタリング	(学修内容)行っ 学ぶ (事前事後学修課 事前 事後	た目標の評価の方法を理解し次の新たな目標・終結の方法について 題の内容)(15分) 介護計画表を完成させる。 実習に必要な書類の整理。
第14回	在宅で生活する利用者の介護過程の実際	を理 (事前事後学修課 事前 事後	トスピーカーにより、実習先でどのように介護過程の展開を行のか解する。 題の内容)(60分) 実習に必要な書類の整理。 感想文を書く。(800字以上)
第15回	施設で生活する利用者の介護過程の実際	(事前事後学修課 事前	で行う介護過程の展開について時期や方法について学ぶ。 題の内容)(60分) 感想文を書く。(800字以上) 実習に必要な準備(必要書類の整理)を行う。

授業	名	介護過程	開講	1回生	単位数	2単位	科目		
英文		Nursing Care Process	学年開講	秋学期		必修	コード 必修		
			時 期 対 象		r <i>h</i>	選択	1.0.12		
担当	者	吉島紀江	学 生	専攻科介護専					
授業の相		介護サービス計画や協働する他の専門職のケア計画と個別介護計画との関係性、チームとして介護過程を展開することの意義や方法が理解できることを目的とします。夏季実習で行った介護過程の展開を見直し、目的と照らし、自身に必要な学びを深める授業となります。個別の事例を通じて、対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開ができるように、この授業においては、事例を使用し、介護過程の展開を行います。介護過程の展開を通し、個別の事例から発展的に検討できるように進めていきます。介護過程の展開を行うためには、科学的根拠が必要となるため、様々な知識を必要とするので、授業以外にも専門書を読んでおくことが必要となります。							
学 修 成到 達 目		1 . チームとして介護過程を展開することの意義を理解できる 2 . 対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開ができる 3 . 介護過程の展開について、人に説明することができる。							
		知識・理解	沪	l用的技能					
学位授与	_	態度・志向性	終	合的な学習経験と	:創造的思	考力			
方針との	関連								
アクティ	ブ・	 PBL ディスカッション・ディベート	│ グループワ	1 <b>–</b> <i>h</i>	<b>→</b> 1	ガンニー	. = `/		
ラーニン 対象授業	グ			ノーク 目(自主学習支援)		ゼンテーシ	<i>,</i>		
評価方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記 ( 50		・ レポ 実習		削作物 実技		
評価基	準	主たる評価の 観点       知識・理解 授業態度・参加意欲       コミュニケーション能力 (       プレ	ゼンテーシ	/ョン能力 課題	発見・解	決能力	)		
テキス		授業内容に沿ったワークシートと資料を必要に応じて配布する							
参考		適宜、紹介します							
課題に対 フィードバ の方法	する								
留意事	項	テキストで紹介されている考え方や他の人の考えに左右されず、自分の考えや視点を明らかにし、その考えをわかりやすく人に説明できるようにして下さい。特に、介護過程では人間科学の視点が大きくその人に影響しますので、テキスト以外の本も参考にし、様々な考えを知っていくようにしてください。							
オフィアワ・	^	授業内で提示します 必要な時にはGメールを活用して連絡をしてください							
実践的教	教育	実践的教育 教員の実務経験など:高齢者施設及び障害児施設で勤務							

# 授業 名 介護過程

授業計画	・ <b>ノーロラルジ1主</b> 学修項目	学修内容・課題
1文 未 引 匹	型 子形境日 ガイダンス	(学修内容)夏季実習で行った介護過程の展開を再確認する。
	/ 介護過程とチームアプローチ 1	(1991日)女子人日で11万亿月最近任の成別で日曜間ブラ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 再確認に必要な資料を集めておく
	介護過程とチームアプローチ 2	事後 まとめたものを発表きるように資料を作成する (学修内容)介護過程を行う上でのチームとチームアプローチについて学ぶ。
	他の専門職のケアとの関係性	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第2回		事前 まとめたものを発表きるように資料を作成する
		事後の発表する準備を行う
	介護過程とチームアプローチ 3	(学修内容)チームの目標設定とチームケアの必要性について学ぶ。
	チームとしての介護過程の展開	
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 発表する準備を行う 事後 カンファレンスの行い方について予習しておく
	介護過程とチームアプローチ4	(学修内容)夏季実習で行った介護過程の展開を再確認したものを資料を基にカンフ
	カンファレンスの持ち方についての理解	ァレンスを体験する。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 カンファレンスの行い方について予習しておく 事後 発表後の教員からのコメント等を踏まえレポートにする
	介護過程の展開の理解 1	(学修内容)事例を基に個の理解を深め、情報収集の理解をする。グループワークを
	事例理解	行い成果物をプレゼンテーションする。
第5回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		事前 事例を読んでおく 事後 情報の読み込みに必要な資料を集める
	介護過程の展開の理解 2	(学修内容)事例からICFへの分類を行い、ICFの理解を深める。
	事例を用い、ICFの観点を考える	
第6回		(事前事後学修課題の内容)(45分)   事前 情報の読み込みに必要な資料を集める
		事後 ICFについて復習しておく
	介護過程の展開の理解 3	(学修内容)事例を基に情報を統合し分析を行い、分析に必要な知識を再確認する。
~~	事例をに用い、統合・分析を行う	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第7回		事前 ICFについて復習しておく 事後 分析に必要な資料を集める
		THE MARKET CAND
	介護過程の展開の理解4	(学修内容)事例からニーズを抽出しニーズの考え方、利用者主体について学ぶ。
第8回	事例を用い、ニーズの抽出と優先を考える	(事前事後学修課題の内容) (30分)   事前 分析に必要な資料を集める
짜이띄		事後 マズローの欲求段階を復習しておく
	介護過程の展開の理解 5 事例を用い、目標設定する	(学修内容)事例からその人の望む目標設定の考え方について学ぶ。短期目標、長期
第9回	争例を用い、日信改定する	目標を考えかたを確認する。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
Урод		事前 マズローの欲求段階を復習しておく
	A 4800 50 - 5000 - 5000	事後マズローの欲求段階を復習しておく
	介護過程の展開の理解 6 事例を用い、計画策定する	(学修内容)優先順位の高い目標設定を行い、実現可能となるための計画を策定する
第10回	事内を用いて 計画水だりも	。  (事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 マズローの欲求段階を復習しておく
	人类为印象地位计划	事後 計画に必要な内容をまとめ模造紙に仕上げる
	介護過程の教授法 1 介護過程について説明する	(学修内容)介護過程の振り返りを行い、介護過程について理解し他者に発信する。   反転授業を実施する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 今までに配布した資料、参考になる図書をまとめ持参する
	介護過程の教授法 2	事後 教授するために必要なレジメを作成する (学修内容)介護過程を教えるため(言語化)にディスカッションを行いながら必要
	教授するための方法を理解する	(子鳥的谷) が最過程を教えるため (日間化) にディスカックョンを刊れるから必要なレジュメの作成する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 教授するために必要なレジメを作成する
	介護過程の教授法3	事後 レジュメに必要な図書を集める (学修内容)介護過程を教えるため(言語化)に必要なレジュメを作成する。
	教授するためのレジュメの作り方を学ぶ	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第13回		事前 レジュメに必要な図書を集める
		事後 レジュメを最後まで完成させる
	□ 介護過程の教授法 4	(学修内容)レジュメを使って発表の準備を行う。
	レジュメを使った指導の実践を行う	
第14回		(事前事後学修課題の内容)(20分)
		事前 レジュメを最後まで完成させる 事後
	介護過程の教授法 5	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	介護過程の展開についての実践を振り返る	
第15回		(事前事後学修課題の内容) (90分)   事前 発表に必要な物品等の準備を行う
		事前

	A ##W A #= 100	開講			.,,,,,,	科目	
授業名	介護総合演習	学 年	1回生	単位数		コード	
英 文 名	Nursing Care Practce I	開 講時 期	春学期		必修選択	必修	
担当者	高岡 理恵・野田 隆生	対 象学 生	専攻科介護専	攻			
授業の概要	介護実践に必要な知識や技術の統合を行うとともに、介護観を形成の教育効果を高めるため、介護実習に向けての心がまえ、動機付け備を行うとともに、その他介護実習に必要な知識・技術・態度等に講義を中心とするが、ディスカッションを通し、理解を深められる	、事前に実 ついて習得	≅習する施設や事業 骨することをねら≀	<b>鮮所につい</b>			
学修成果到達目標	介護実習の目的や目標を理解し、それらに必要な事前の準備及び 介護福祉士が仕事とする対象の理解をすることができる。 実習のイメージを膨らませ、自身の実習目標や学習課題を整える						
	知識・理解	in:					
学位授与の	態度・志向性		://in/ix記 :合的な学習経験と	:創造的思	 考力		
方針との関連		,,,,,					
アクティブ・ ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用	リーク 目(自主学習支援)		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       ( 50 % )     口述     実習     実技	平常記( 50		集 レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 観点 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 授業態度・参加意欲 (	ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	見発見・解	—— 決能力		)
テキスト	新・介護福祉士養成講座『介護総合演習』、中央法規						
参考書	社会福祉小六法						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	実習先では、知識や技術と同様、利用者や職員とのコミュニケーションや誠実な態度が求められます。授業においても積極的に教員とコミュニケーションをとるようにしてください。						
オフィスアワー	授業時に提示します。必要なときにはGメールを活用して連絡してください。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:社会福祉協議会で訪問介護及び介護支援専門	員として勤	的務。				

# 授業 名 介護総合演習

授業計画		学修内容・課題
第1回	ガイダンス 介護実習の概要 介護総合演習の位置づけを理解する	(学修内容)シラバスを見ながら授業の内容を確認する。 介護実習の全体概要を理解する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 シラバスを読んでおく
第2回	介護実習の基本的理解 介護実習の意義と目標を理解する	(学修内容)介護実習の意義と目的についてディスカッションしながら学ぶ。 介護実習の場について理解する。   (事前事後学修課題の内容)(60分)
<b>第2</b> 四		事前 テキストの指定した場所を読みわらかない語句に下線を引いてま く。
第3回	介護実践の研究	(学修内容)介護実践の意義と目的、研究方法を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
<b>第</b> 3四		事前 配付した資料を読みわらかない語句に下線を引いておく。 事後 特別養護老人ホームの法的根拠を調べてくる。
	介護実習の場の理解 1 入所施設の理解(高齢者施設)	(学修内容)映像を利用し、特別養護老人ホーム、老人保健施設の基本的な理解と利用者像について理解する。実習での学ぶべきポイントを学ぶ。
第4回	八川地政の注所(同路7日地政)	(事前事後学修課題の内容)(45分) 事前 特別養護老人ホームの法的根拠を調べる。
	<b>人雄中羽の担の頭ּ突っ</b>	事後 重症心身障害児施設の法的根拠を調べる。 (学修内容)重症心身障害児施設の基本的な理解と利用者像について理解する。実習
第5回	介護実習の場の理解 2 入所施設の理解 (障がい児施設)	(学修内谷)里征心身障害児施設の基本的な理解と利用者像にプロC理解する。美育での学ぶべきポイントを理解する。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
350년		事前 重症心身障害児施設の法的根拠を調べる。 事後 在宅3本柱について調べる。
	介護実習の場の理解3	(学修内容)ホームヘルプ事業、ショートステイの基本的な理解と利用者像について
第6回	利用サービス事業所の理解(在宅3本柱)	理解する。実習での学ぶべきポイントを学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 在宅3本柱について調べる。
	介護実習の場の理解 4	事後 デイサービスの役割について調べてくる。 (学修内容)小規模多機能型居宅介護、デイサービス事業の基本的な理解と利用者修
第7回	利用サービス事業所の理解(小規模多機能)	について理解する。実習での学ぶべきポイントを学ぶ。(見学実習) (事前事後学修課題の内容)(45分)
<b>第7四</b>		事前 デイサービスの役割について調べてくる。
	事前学習の内容と方法 1	事後 見学実習を終えてレポート提出。(800字) (学修内容)介護実習事前準備と事務手続きを行う。実習にあたっての心構え、注意
	実習にあたっての心構えと注意点を理解する	点の再確認を行う。
第8回		(事前事後学修課題の内容) (45分) 事前 見学実習を終えてレポート提出。(800字)
	事前学習の内容と方法 2	事後 事務手続きを行う。 (学修内容)介護実習記録の意義と目的、書き方について学ぶ。
<b>₩</b> 0□	実習記録の理解と方法、書きかたについて理解	(事益事後
第9回	する 	(事前事後学修課題の内容)(30分)   事前 事務手続きを行う。
	<b>東台灣羽の中窓上大け</b> 4	事後、実習記録の宿題。(授業中に広報)
	事前学習の内容と方法4 プロセスレコードの理解と方法、書きかたにつ	(学修内容)プロセスレコードを書く意味について理解し、書き方と活用法について   学ぶ
第10回	いて理解する	(事前事後学修課題の内容)(60分) 事前 実習記録の宿題の提出。
		事則 美省記録の伯越の提出。 事後 プロセスレコードの宿題。(授業中に広報)
	事前学習の内容と方法 5 事前オリエンテーションの持ち方と留意	(学修内容)自身の実習する施設での事前オリエンテーションへの連絡や留意点にこいて学ぶ
第11回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		事前 プロセスレコードの宿題の提出。 事後 実習へ行く施設について調べてくる。
	事前学習の内容と方法 6	(学修内容)夏季実習施設の基本的理解を行い、実習目標を作成する。
第12回	実習目標の意義と考え方について理解する	自己の目標を明確化する。  (事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 実習へ行く施設について調べてくる。 事後 実習目標の下書きを行う。
	事前学習の内容と方法 7	(学修内容)個別指導 自己の目標を明確化したものを言語化しディスカッションを
第13回	実習目標指導	通し、実習目標を完成させる。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 実習目標の下書きを行う。
	事前学習の内容と方法 8	事後 実習目標を完成させる。 (学修内容)卒業生に実習内容等を聞く機会をもち、実習に対する質問を行い不安を
第14回	介護実習の実践をイメージする	取り除く。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
N2 1 - 1일		事前 実習目標を完成させる。
	総合演習のまとめ	事後 授業を受けて感想。(800字) (学修内容)実習前に必要な記録物の確認及び作成を行う。総合演習のまとめを行う
	MODINE OF CO	0
第15回		(事前事後学修課題の内容)(45分) 事前 記録物の整理を行う。
		事後の介護実習記録への書き込める事項を書きこむ。

122 NV -	人类从人;宁羽	開講	454	114 (1 W)	12477	科目	
授 業 名	介護総合演習	学 年	1回生	単位数		コード	
英 文 名	Nursing Care Practce	開 講 時 期	秋学期		必修選択	必修	
担当者	野田隆生	対 象 学 生	専攻科介護専	攻			
授業の概要	介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習行うとともに、介護実習を振り返り、介護の知識や実践と結び付け、専門職としての態度を養う。また、質の高い介護実践やエビデンて理解できることをねらいとする。	て統合、沒	深化させるとともに	こ、自己の	課題を明確	確にし	
学修成果到達目標	介護の知識や技術を実践と結び付けることができる。 自己の課題を明確にし、言語化することができる。 エピデンスの構築につながる実践研究を行うことができる。						
	知識・理解	》	 l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	絲	** 合的な学習経験と	創造的思	 考力		
方針との関連							
アクティブ・		L3: ^		- • -	1*5 -		
ラーニング 対象授業		グループワ ICT活用 	フーク 月(自主学習支援) 		ゼンテー	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 ( 50 % ) 口述 実習 実技	平常記( 50		策 レポ 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (	ゼンテ <i>ー</i> シ 	/ョン能力 課題 ) (	題発見・解	決能力		)
テキスト	新・介護福祉士養成講座『介護総合演習』、中央法規						
参考書	適宜、紹介します。						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	介護福祉士養成の締めくくりとして、他の教科で学んだ内容と実習からの学びを統合し、実践研究を行います。 エビデンスの構築につながるように、文献を収集し自主的に研究を行ってください。						
オフィスアワー	授業時に提示します。 必要なときにはGメールを活用して連絡してください。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:社会福祉協議会で訪問介護及び介護支援専門	員として堇	力務。				

# 授業 名 介護総合演習

	ゲー <b>ハ 吱刷 ロ / 央 日</b> 学修項目	学
授業計画	プログラス 子形項目 ディック ガイダンス	学修内容・課題 (学修内容)秋学期授業の進め方とルーブリックを使用して夏季実習の自己評価を行
	介護実習事後指導 1	う。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前・実習の自己評価を行う。
	介護実習事後指導 2	事後 夏期実習の報告をまとめておく。 (学修内容)夏季実習の振り返りをまとめ、カンファレンスの準備を行う。資料の作
	カンファレンス準備	成を行う。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 夏期実習の報告をまとめておく。
	介護実習事後指導 3	事後 実習報告資料作成。 (学修内容)カンファレンスを行い、それぞれの学びを理解し自己の学びを深める。
	カンファレンスの実際	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回		事前 実習報告資料作成。
		事後 実習施設の概要について調べてくる。資料持参すること。
	事前学習の内容と方法1	 (学修内容)居宅介護実習の理解を行い目標を設定の準備を行う。
	実習施設の理解	
第4回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 実習施設の概要について調べてくる。資料持参すること。 事後 事務手続きに必要なものを準備する。
	事前学習の内容と方法2	(学修内容)実習に必要な書類や課題について整理しマナーやルールについて確認を
	在宅実習事務手続き	行う。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 事務手続きに必要なものを準備する。 事後 実習に必要な書類を完成させておく。
	事前学習の内容と方法3	(学修内容)実習目標を整え清書を行う。
	実習目標の作成	
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 実習に必要な書類を完成させておく。 事後 実習記録に実習目標を清書しておく。
	在宅実習事前オリエンテーション	(学修内容)実習へ行く前の準備と守秘義務等についての再確認を行う。
		. *** \ \ *** \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
第7回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   事前 実習記録に実習目標を清書しておく。
		事的 美国記録に美国日標を消費してのへ。 事後 自己の評価を主観的に評価する。
	実習の振り返り1	(学修内容)実習で学んだことを目標に沿って振り返り記録にとどめる。
**	実習での学びを振り返る	
第8回		(事前事後学修課題の内容)(45分)   事後 介護実習記録に施設の概要等を記録する。
		事後 介護実習の振り返りを発表できるよう資料を作成する。
	実習の振り返り 2	(学修内容)目標に沿った振り返りを発表しディスカッションを行う。
	実習での学びを共有する	( <del>+ 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + </del>
第9回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前 介護実習の振り返りを発表できるよう資料を作成する。
		事後 自己の評価を主観的に評価する。
	実習評価の確認と自己覚知	(学修内容)客観的・主観的に居宅実習評価を行い、自己覚知を行う。(個別指導)
₩.40□		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第10回		事前 自己の評価を主観的に評価する。 事後 学校での学びから探究したい事柄についてテーマを考える。
		ず及「子及での子びからががらだい」子間についてう
	介護実践探求 1	(学修内容)介護実践研究の方法を学ぶとともに、実習から気になる事例を選択した
第44日	研究を行う意義と方法	イスカッションしながら探究したい事柄を選択する。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前 学校での学びから探究したい事柄についてテーマを考える。
		事後 テーマに即した必要な文献等を収集する。
	介護実践探求 2	(学修内容)介護実践研究の方法を学ぶ。
₩10□	研究デザインの選択	文献の取り扱い方について理解する。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)   事前 テーマに即した必要な文献等を収集する。
		事後 配布した資料(研究方法)を読み研究を進める。
	介護実践探求 3	(学修内容)介護実践研究の方法を学ぶ。
₩40□	執筆作業	章立てに基づいて研究を行う。
第13回		(事前事後学修課題の内容) (60分)   事前 配布した資料(研究方法)を読み研究を進める。
		事後 研究デザインを提出できるようにする。
	介護実践探求 4	(学修内容)介護実践研究の方法を学ぶ。
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	発表資料を作成する。
第14回	執筆作業	(東前東後学修理題の内容)(120分)
第14回	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(事前事後学修課題の内容)(120分) 事前 研究デザインを提出できるようにする。
第14回	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
第14回	執筆作業 介護実践探求 5	事前 研究デザインを提出できるようにする。 事後 事例研究をまとめる。 (学修内容)自身の介護実践研究を発表する。
	執筆作業	事前 研究デザインを提出できるようにする。 事後 事例研究をまとめる。 (学修内容)自身の介護実践研究を発表する。 他の発表者の研究を聞く。
第14回 第15回	執筆作業 介護実践探求 5	事前 研究デザインを提出できるようにする。 事後 事例研究をまとめる。 (学修内容)自身の介護実践研究を発表する。

授 業 名	介護の基本	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
英 文 名	Fundamental Nursing Care I	開講時期	春学期		必修選択	必修	
担当者	高岡 理恵	対象学生	専攻科介護専2	攻			
授業の概要	介護福祉士の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉士の専門職としての能力と態度を養う学習とする。 そのために、介護福祉士の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、介護を必要とする人の理解や介護実践における安全とリスクマネジメントについての介護実践の知識を理論的に学ぶ。この授業は、講義を主とするが、ディスカッションを行い進めていく。						
学修成果到達目標	多様化・高度化する介護ニーズ、介護福祉を取り巻く状況につい介護福祉士の専門性について理解できる。 介護福祉士に求められる専門職としての態度が形成される。	1て理解する	うことができる。 -				
	知識・理解	沪	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	:創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験     筆記試験     レポート     制作物       (50%)     口述     実習     実技	平常記 (50		東習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の	・ゼンテーシ	/ョン能力 課題 ) (	題発見・解	決能力	)	
テキスト	新・介護福祉士養成講座『介護の基本』、中央法規						
参考書	適宜、紹介します。	適宜、紹介します。					
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項	介護福祉を取り巻く状況等について、歴史的背景をおさえつつ、現在進行形である様々な課題について思考できるよう 新聞やニュース等に目をむけてください。						
オフィスアワー	授業内でお知らせします。 必要な時にはGメールを活用して連絡をしてください。						
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:社会福祉協議会で訪問介護及び介護支援専門	引員として堇	<b>力務。</b>				

# 授業名 介護の基本

)X	川暖り坐牛	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)シラバスに沿って授業の進め方を知る。介護とは何か、ディスカッショ
~~	介護の目的、基本的な考え方	ンを行いながら介護福祉士のイメージを膨らませる。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 介護とは何か、介護福祉士の職務は何かを考え言語化しておく。 事後 ノーマライゼーションについて調べ発言できるようにしておく。
	   障がいを持つ人の介護の歴史 1	事後
	ノーマライゼーションの理念	コンについて学ぶ。
第2回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		事前 ノーマライゼーションについて調べ発言できるようにしておく。
		事後 基本的人権について調べ発言できるようにしておく。
	障がいを持つ人の介護の歴史 2	(学修内容)戦争時における障がいを持つ人の基本的人権や尊厳について学ぶ。
~~~	基本的人権と尊厳の保持	(事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回		事前 基本的人権について調べ発言できるようにしておく。 事後 リッチモンドについて調べてくる。
		争校のググアとグイについて調べてくる。
	ケースワークと介護福祉	- (学修内容)リッチモンドの問題提起をもとに介護福祉士という専門職は福祉である
		ことを学ぶ。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 リッチモンドについて調べてくる。
		事後 テキストp15~30を読みわからない語句に下線を引く。
	日本の社会福祉史における介護福祉の位置づけ	(学修内容)日本社会、家族機能の変化と高齢者に対する介護の変遷について学ぶ。
第5回		(施設介護、在宅介護) (事前事後学修課題の内容)(60分)
第 5回		事前 テキストp15~30を読みわからない語句に下線を引く。
		事後 テキスト p 30~35 わかるように他の資料を調べる。
	社会福祉政策と老人福祉法	(学修内容)老人福祉法の前後の社会を理解しどのような考えのもとに老人福祉法が
		成立したかについて学ぶ。
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 テキスト p 30 ~ 35 わかるように他の資料を調べる。
	人嫌短い即座のわりたとし登屋	事後 ゴールドプラン、新ゴールドプランの内容を調べてくる。
	介護福祉制度のなりたちと発展	(学修内容)時代に伴う介護ニーズの変化と措置制度から契約制度への変換を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
第7回		事前 ゴールドプラン、新ゴールドプランの内容を調べてくる。
уз. Ц		事後 介護福祉士法第1条を調べ人に説明できるようにしておく。
	介護保険制度の基本的な考え方	(学修内容)社会保障制度の一つである介護保険制度を学び、契約のメリット、デメ
		リットについて考える。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 介護福祉士法第1条を調べ人に説明できるようにしておく。 事後 介護福祉士法変遷について調べてくる。
	 介護福祉士の役割と機能1	事後
	法的根拠と介護福祉士法	学成。
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前 介護福祉士法変遷について調べてくる。
		事後の介護福祉職の職業倫理について調べる。
	介護福祉士の役割と機能 2 専門職の倫理	(学修内容)ディスカッションをしながら介護福祉職の職業倫理や法遵守について理解を深める。
第10回	守口戦の冊達	解を深める。 (事前事後学修課題の内容)(45分)
2910년		事前の介護福祉職の職業倫理について調べる。
		事後 自身の考える「自立支援」とは何かを明確にしてくる。
	介護福祉士の役割と機能 3	(学修内容)介護福祉士の基本理念である「尊厳」「自立支援」を支える介護につい
	介護福祉の基本理念	て学ぶ。
第11回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 自身の考える「自立支援」とは何かを明確にしてくる。
	介護福祉士の役割と機能 4	事後 もとめられる介護福祉士像10項目を調べておく。 (学修内容)求められる介護福祉士像について理解を深める。
	水められる介護福祉士像	(ナルr)ロノかいシ1vシ川 阪岡江上隊にフいて任所で休める。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 もとめられる介護福祉士像10項目を調べておく。
		事後 テキスト「人間の理解」p40~48を読み説明できるようにする。
	利用者の権利侵害がおこる状況	(学修内容)高齢者虐待や身体拘束等、利用者の権利侵害がおこる状況を考える。
₩40□		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第13回		事前 テキスト「人間の理解」p40~48を読み説明できるようにする。 事後 介護福祉を取り巻く社会での課題について考えてくる。
		学校 川崎田江で駅リざく社太しの詠起にしいてもんしくる。
	介護福祉を取り巻く課題 1	- (学修内容) d 授業や時事から得た知識をもとに、ディスカッションを行いながら、
	課題発見	介護福祉を取り巻く課題について考える。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 介護福祉を取り巻く社会での課題について考えてくる。
	へ 鎌垣かた町11 券 / 毎 晒 2	事後、課題を明らかにするために必要な資料をそろえる。
	介護福祉を取り巻く課題 2 資料、文献収集	(学修内容)授業や時事から得た知識をもとに、介護福祉を取り巻く課題を研究につ なげる。
第15回	スパコ、 ヘ 間ハコ ム 木	(事前事後学修課題の内容)(60分)
),, (OL)		事前 課題を明らかにするために必要な資料をそろえる。
		事後 図書館で、課題を明らかにするために必要な資料をそろえる。

授	業	名	介護の基本	開講学年	1回生	単 位 数	2単位	科目コード	
英	文	名	Fundamental Nursing Care	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担	当	者	吉島に紀江	対象 学生	専攻科介護専]	攵			
授業	€の村	既要	本講義は、主に介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生この科目は、介護福祉士の専門職としての根幹科目となっています。るとともに、介護従事者自身のこころとからだの健康管理、労働環がマネジメント力を養えるよう学習していきます。	さらにか	↑護の現場における	利用者の	尊厳や安全	全を守	
	修成達目		1.介護が必要とする人の生活の理解ができる 2.生活を支えるフォーマル・インフォーマルサービスが理解でき 3.介護における安全の確保とリスクマネジメントの重要性が理解 4.協働する多職種の機能と役割が理解できる 5.介護従事者の安全の意義、管理方法、環境整備について理解で	できる					
			知識・理解		1用的技能 1000年数据2000年	۸۱.4.4. E	+		
学位方針			態度・志向性	, see	総合的な学習経験と	創造的忠	考刀		
ノリエー	_ 0,	IXIX.							
アク ラー 対象	ニン	グ		ゲループワ エCT活月	フーク 用(自主学習支援)	プレ	ゼンテーシ	ション	
評(価方	法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常i (50		き レポ 実習		制作物 実技	
評(価基	準	主たる評価の 観点知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 (プレー	ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テ	キス	. F	介護福祉士養成講座編集委員会編『介護の基本 』中央法規 2019年						
参	考	書	講義時に随時、文献・資料を紹介する。						
課題 フィ・ の方	ードノ	するバック							
留:	意 事	項	身近な人との関わりを大切にし、様々なことに興味関心を広げていってください。						
	フィ	^	授業終了時及び研究室に在室時、対応します。						
実践	影的	教育	実践的教育 教員の実務経験など:保育士、社会福祉士、介護福祉士 高齢者施設、障害者施設で勤務						

授業名 介護の基本

授業計画		学修内容・課題
	オリエンテーション・生活とは	(学修内容)本講の進め方や成績評価について理解し受講できるようにする。
~~ ₄ □		生活の要素について、グループワークを通して学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事後:テキストを読んでおくこと
		子及・ノ・ハーと助ルしのへこと
	介護福祉士を必要とする人と暮らし	(学修内容)介護が必要な人の理解と暮らしの理解をする。
₩ 0□		(東前東後労修理師の内容) (20八)
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	その人らしさと生活ニーズの理解	(学修内容)その人らしさと生活のニーズの関連について
₩ 2回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第3回		「争刑争後子修綵題の内谷」(30カ) 事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	不便さと工夫	(学修内容)環境調整と支援の関係について
₩ 4回		生活をマップで捉える ワークシート
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	地域包括支援システム フォーマルサービス	(学修内容)フォーマルサービスの概要
** - C		(事益事後尚攸細語の中容)(20八)
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	地域包括支援システム インフォーマルサービス	(学修内容)インフォーマルサービスの概要とサービスの開発について学ぶ。
₩ .c.⊟		(事前事後学修課題の内容)(30分) 事前:テキストを読んでおく
第6回		事前・ケイストを読んとおく
		J. D. C. L. D. D. C.
	介護が必要な人と地域生活	(学修内容)地域の社会資源調査をフィールドワークにて実践的に学習する。
答え同		(事前事後学修課題の内容)(30分)
第7回		事前:テキストを読んでおく 事後:用語の整理
		手以・小間の走江
	介護が必要な人と地域生活	(学修内容)生活者としての視点から社会資源を検討する。グループワークを行い成
第8回		果をプレゼンテーションする。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
자이리		事前手後子修綵題の内谷)(30カ) 事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	介護における安全の確保	(学修内容)セーフティーマネジメントについて、チェック項目を通して具体的に知る。
第9回		る。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
사이다		事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	リスクマネジメント	(学修内容)安全確保におけるリスクマネジメントについて、実際の取り組みを通し
第10回		て学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
713 TOF		事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	感染症対策	(学修内容)感染に関する知識と実際について知る。また、手洗いチェッカーにて、
第11回		自己の手洗いの状況を確認する。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
,, <u>,</u>		プレゼンテーションに必要な資料を収集し、まとめておくこと。
	67 TOM (T) + 1	
	多職種連携と協働の機能と役割	(学修内容)法的根拠と連携と協働をするために必要なことは何かについて、グループワークを通して検討する。
第12回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
		事前:テキストを読んでおく
	A#### * 0 CO A	事後:用語の整理
	介護従事者の安全 	(学修内容)健康管理の意義と目的について学び、具体的な取り組みについて知る。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
第13回		「争刑争後子修録超の内谷」(30カ) 事前:テキストを読んでおく
		事後:用語の整理
	以為理性の数件	(当成中央) 出版女件 し当時 連 中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	労働環境の整備	(学修内容)労働条件と労働環境について、グループワークを通して調べ、調べたことについて、プレゼンテーションする。
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分)
		事前:テキストを読んでおく
	口比土人雄特加工格	事後:用語の整理
	目指す介護福祉士像	(学修内容)保育士が介護を学ぶ意義と社会から期待されることについて、自己の考えをまとめる。
第15回		(事前事後学修課題の内容) (30分)
,,		事後;学びの整理をしておくこと

授 業 名	リハビリテーション論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目 コ <i>ード</i>	
英 文 名	Rehabilitation Theory	開 講時 期	春学期		必 修選 択	必修	
担当者	中平 剛志	対象学生	専攻科介護専2	攻			
授業の概要	リハビリテーションの理念を理解し、「障害」に対するリハビリテ対象者の自立支援に向けた「リハビリテーション」の専門性に触れ、授業全体の共通したテーマになります。個人の考えを他者に伝え、デグループワークやプレゼンテーションなども実施します。	│ ーションの 、介護との)接点を考えること		して、		
学修成果到達目標	1)リハビリテーションに関連する職種を理解し、その専門性を説2)基本的な介護技術についてリハビリテーションの理論や技術を3)障害の構造について「ICF」モデルを用いて説明することが4)事例を通じて「ICF」モデルを活用してアセスメントができ5)介護とリハビリテーションの連携について説明することができ	活用できる できる る					
	知識・理解	泂	用的技能				
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・		<u> </u>		 .	135 5		
ラーニング対象授業		グループワ ICT活用	ノーク 引(自主学習支援)		ゼンテーシ	ション	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (70 %) 口述 実習 実技	平常記(30	%) 口述	ション 実習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト参考書	ICFの理解と活用 ~人が「生きること・生きることの困難(障害)」をどうとらえるか~ 著者:上田 敏						
課題に対する フィードバック の方法							
留意事項							
オフィス アワー	質問などは、メールで受け付けます。 takeshi.nakahira®ocr.ac.jp						
	実践的教育 教員の実務経験など:現在、理学療法士(非常勤)として介護老人福祉施設に勤務しています。 ・						

授業 名 リハビリテーション論

	りんしりょ フョン 開	
授業計画		学修内容・課題
	リハビリテーションの理念・歴史・役割について	(学修内容)リハビリテーションの語源、リハビリテーションの歴史と定義、理学療
95 A E		法の定義について
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
		1文末時に前中するフラフィア3日を仮目してのくこと
	ADL(日常生活活動)の基本的概念とリハビリ	(学修内容) A D L の定義、 A D L の範囲、self care とIADL・APDLについて
	テーションについて	(事前事後学修課題の内容) (60分)
第2回		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	佐佐も陸中について	(当ぬ中の) 佐佐(佐里) 1 陸中の間がについて
	疾病と障害について	(学修内容)疾病(疾患)と障害の関係について 一次障害と二次障害について
第3回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
Узоп		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	リハビリテーション・ゴールについて	(学修内容)ニーズの構造について
		リハビリテーションのゴール設定について
第4回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	介護とリハビリテーションの連携	(学修内容)事例を提示して介護とリハビリテーションの連携について検討する
		「長期臥床者へのリハビリテーションアプローチと介護の視点」
第5回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
		/ 学校中央 > 生活物の会数を見せてフリリジリュー > _ > 、の中心を向から生活を土壌
	生活期のリハビリテーションの実際(1)	(学修内容)生活期の高齢者に対するリハビリテーションの実践事例から生活を支援 する方法について検討する
第6回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
み0回		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	障害の構造について(1)ICIDHモデルとICFモデ	(学修内容) ICIDHからICFへの歴史的変遷について
~~	ルの歴史的変遷	(** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
第7回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	障害の構造について(2)IDHモデルとICFモデル	(学修内容) ICF諸相の理解について
	の概念	
第8回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	障害の構造について(3)ICFモデルの実践	(学修内容)事例検討としてVTRを視聴して情報収集を実施する
	事例検討(情報収集)	(子形内谷) 事例快割としてVIRを悦職して情報収集を実施する
第9回	事//// ((事前事後学修課題の内容)(60分)
2,100,11		第9回~第10回の学習内容を、第11回でプレゼンテーションします。
		その後、個人でレポートを作成し提出してもらいます
	障害の構造について(4)ICFモデルの実践	(学修内容)得た情報をICFモデルに整理する過程を経験する
₩.40E	事例検討(情報の整理)	(市公市从兴岭知晓《中京》(00八)
第10回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 第9回~第10回の学習内容を、第11回でプレゼンテーションします。
		ま9回~第10回の子首内谷を、第11回 C フレビファーション しよす。 その後、個人でレポートを作成し提出してもらいます。
	障害の構造について(5)	(学修内容) ICF図を作成して、プレゼンテーションする
	ICFモデルの作図・まとめ	クラスで共有し、ディスカッションする
第11回		(事前事後学修課題の内容)(120分)
		ICF図をレポートとして作成して提出してもらいます
	生活期のリハビリテーションの実際(2)	「一〇・「「「一〇・「「一〇・」」 (一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・」 「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・「一〇・
	エロ州のソハしソナーションの美除(2)	(学修内容)生活期の高齢者に対するリハビリテーションの実践事例から生活を支援 する方法について検討する
第12回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
75.20		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	介護予防とリハビリテーション	(学修内容)病期とリハビリテーションの役割
第12回		介護予防の位置づけ、介護予防の意義について
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
		Warming to a service of the service
	フレイル、ロコモティブシンドローム、	(学修内容)フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニアについて
~~ —	サルコペニアについて	/ = * = # * # # # # # # # # # # # # # # #
第14回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと
	総括	(学修内容)1回~14回の授業内容を振り返り、共通したリハビリテーションの視点
		を整理する。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		授業時に配布するプリント内容を復習しておくこと

授業名	チームマネジメント論	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード
	Theory of Team Management	子 年 開 講 時 期	秋学期		必修選択	必修
担当者	高岡 理恵	tid 条				
授業の概要	学生 写以科介護导以 学生 写以科介護导以 学生 可以科介護内域 学生 可以科介護内域 学生 可以科介護内域 学生 可以科介護内域 学生 可以科介護内域 では、介護実践をマネジメントを行うために必要な組織の運営と管理、人材育成の活用、それらに必要なリーダーシップとフォロワーシップなど、チームで働く力を養うためのストレスマネジメントやチームマネジメントの基礎的な知識を身につけることを目指します。本授業では、講義の他、、様々なチームのあり方、多様なメンバーでの会議、事業所組織の経営についてゲストを呼び学 が機会をもちます。					
学修成果到達目標	福祉サービスにおける組織の機能や構造を説明できる。 チームでケアを展開するために必要なチームの構成や役割につい リーダーとフォロワーの役割について説明できる。 チームで働くためのストレスマネジメントについて自分自身のマ			ことができ	ప .	
	知識・理解	洌	用的技能			
学位授与の	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思	考力	
方針との関連						
アクティブ・ ラーニング 対象授業		└──┴ グループワ ICT活用	リーク 引(自主学習支援)		ゼンテー	ション
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		・ レポ 実習		削作物 実技
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	プョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	 新介護福祉士養成講座編集委員会『人間の理解』『介護の基本 」中央法規 					
参考書	古川久敬『グループマネジメント入門』日本介護協会出版会					
課題に対する フィードバック の方法						
留意事項	マネジメントの知識や、介護実践にかかわる問題理解と解決にむけた考え方を得るために役立ちます。様々な現場へ出向く機会もあるので、積極的に学んでください。					
オフィスアワー	授業時に提示します。 必要な時にはGメールを活用して連絡をしてください。					
実践的教育						

授業 名 チームマネジメント論

授業計画		学修内容・課題
	ガイダンス	(学修内容)介護実習で見てきた施設や介護サービスで求められるチームマネジメン
	実習から学ぶチームマネジメント	トについてディスカッションを行う。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前・シラバスを読んでくる。
	人雄中叶にもはえて 1 の中郷	事後 実習で学んだチームを構成するメンバーを整理しておく。 (学修内容)チームの目的とリーダーとフォロワーの役割について実習で学んだこと
	介護実践におけるチームの実際	- (学修内谷)デームの目的とリーダーとフォロワーの役割にプロで美質で学んだこと をディスカッションしながら確認する。
第2回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
第2 四		(争削争後子修牀起の内台)(45カ) 事前・事後 実習で学んだチームとチームを構成するメンバーを整理し
		新り、争後、美質で学がたデームとデームを構成するメンバーを登場で ておく。
	施設や居宅で働く他職種の理解	
	地段に占むと国へ他権権の延押	(子)の音) なく動く寺 日本に りいて なこの くさんここ を光校 ひの り。
第3回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
MOL		事前 他の専門職種の役割について発表できるようにする。
		事後 連携に必要な要素について考えてくる。
	連携の目的と他職種との連携方法	(学修内容)ディスカッションを行い、連携の意味を捉え、専門職との具体的な連携
		方法について考える。
第4回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前・事後 連携に必要な要素について考えてくる。
	介護従事者の心身の管理 1	(学修内容)感情労働の意味と感情労働である介護福祉職での働き方を理解し、働き
	介護労働と感情労働	方への影響について学ぶ。
第5回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前・事後 感情労働をしている他の職種について調べ発言できるよう
		にする。
	介護従事者の心身の管理 2	(学修内容)介護労働におけるストレス要因とマネジメント方法について自身のスト
	ストレスとストレスマネジメント	レス軽減をもとにディスカッションを行いながら学ぶ。
第6回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		事前・事後 自身のストレスについて具体的な例を挙げ説明できるよう
		にする。
	介護従事者の心身の管理 3	(学修内容)スーパービジョンの機能について事例を通して理解を深める。
	スーパービジョンの機能と役割	
第7回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		事前、スーパービジョンの機能について調べ発言できるようにする。
	A Att (V To A) A A A A A A A A A A A A A A A A A A	事後人間関係を構築するための基本的姿勢について調べる。
	介護従事者の心身の管理4	(学修内容)社会人基礎力をもとに、求められる社会人像を明確にし、人間関係を作る。
** o 🗔	チーム内の関係性をつくるマネジメント	るための傾聴力、情動のマネジメントについて学習する。
第8回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前・事後 人間関係を構築するための基本的姿勢について調べる。
	チーム運営の基本1	 【(学修内容)施設の組織図を活用し、介護サービス事業所における設備、備品、人材
	組織と運営管理	(子) 「
第9回	温減と連合自注	(事前事後学修課題の内容) (45分)
ઋ키의		事前・事後 実習の施設・事業所の設備や備品等の取り扱いについてま
		とめる。
	チーム運営の基本 2	- (学修内容)介護実践をされているリーダー職から、リーダーシップ及びフォロワー
	組織と運営管理の実際	シップの実際を学ぶ。
第10回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
21		事前 リーダーやフォロワーの果たす役割について調べてくる。
		事後 事前に配布した資料を読み、説明できるようにしておく。
	チーム運営の基本3	(学修内容)チームを作り、計画をたてチーム運営を試みる。
	実践力を高めるためのチームマネジメント	
第11回		(事前事後学修課題の内容)(45分)
		事前 事前に配布した資料を読み、説明できるようにしておく。
		事後 OJTとOFF JTについて説明できるようにしておく。
	人材の育成と管理 1	(学修内容)コーチングの基本を理解し、事例をもとにロールプレイングを行いなか
	コーチングの基本的な考え方	ら傾聴、話し方の工夫を行う。
第12回		(事前事後学修課題の内容) (45分)
		事前 OJTとOFF JTについて説明できるようにしておく。
		事後 聞きたいこと、質問内容を考えてくる。
	人材の育成と管理 2	(学修内容)協力施設に出向き実習、委員会や0」Tが、どのように策定されている
	キャリア開発の仕組み	のかを学習する。
第13回		(事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 聞きたいこと、質問内容を考えてくる。
	上社の方式上笠座?	事後、学んだ内容をまとめレポートにして提出する。
	人材の育成と管理3	(学修内容)協力施設に出向き、プリセプター制度の意義と目的、方法について具体
		的に学ぶ。
~~··	プリセプター制度の意義、目的、方法	
第14回	プリセプター制度の意義、目的、方法	(事前事後学修課題の内容)(60分)
第14回	プリセプター制度の意義、目的、方法	事前 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。
第14回		事前 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 事後 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。
第14回	プリセプター制度の意義、目的、方法	事前 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 事後 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 (学修内容)プリセプター制度の意義を理解し、実習終了後のアンケートをもとにあ
		事前 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 事後 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 (学修内容)プリセプター制度の意義を理解し、実習終了後のアンケートをもとにあ りたいリーダー像を明確にする。
第14回		事前 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 事後 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 (学修内容)プリセプター制度の意義を理解し、実習終了後のアンケートをもとにありたいリーダー像を明確にする。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		事前 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 事後 学んだ内容をまとめレポートにして提出する。 (学修内容)プリセプター制度の意義を理解し、実習終了後のアンケートをもとにあ りたいリーダー像を明確にする。

授 業 名	発達と老化	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード
英 文 名	Development and Aging	開講時期	春学期		必 修選 択	必修
担当者	福井 百合子	対象 学生	専攻科介護専攻			
授業の概要	人間の成長と発達過程と、ライフサイクル中の老年期の特徴を理解し、老化(加齢)に伴う身体的・心理的・社会的変化と、それらが高齢者の生活や日常生活動作に及ぼす影響について学ぶ。老年期の特徴に応じた生活支援を考え実践するための基礎的な知識を習得する。理解を深めるために、適宜、動画視聴、ワーク、ディスカッションやグループワークを実施する。また学習内容や理解度の確認のため、適宜、課題発表やプレゼンテーションの機会を設ける。					
学修成果到達目標						
	知識・理解	沪	l用的技能			
学位授与の	態度・志向性	絲	合的な学習経験と	:創造的思	考力	
方針との関連						
アクティブ・ ラーニング 対象授業		│──│ グループワ ICT活用	リーク 月(自主学習支援)		ゼンテーシ	ソョン
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (60 %) 口述 実習 実技	平常記 (40		後 レポ 実習		削作物 実技
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会 編「最新 介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解」中央法規					
参考書	長谷川和夫・長嶋紀一・遠藤英俊 編「こころとからだのしくみ 発達と老化の理解 介護の視点からみる高齢者の心理と健康」建帛社					
課題に対する フィードバック の方法	授業後の小テストや課題に対して提出後、受講者間での発表やディスカッション、教員コメントバックなどにより学びや 気付きを深める。 ク					
留意事項	人間の成長と発達の過程と各段階での発達課題の特徴をおさえた基礎知識をもとに、老年期について理解を深め、支援を考えられるようになることが求められる。					
オフィスアワー	初回の授業で連絡する。					
実践的教育	実践的教育 教員の実務経験など:病院での看護師・助産師の実務経験、大学で すいよう工夫しなから授業を進めていく。	の指導経験	食から、高齢者の 榜	手や状況	がイメーミ	ジしや

授業名 発達と老化

	元圧してい	
授業計画		学修内容・課題
	授業ガイダンス。 人間の成長と発達の基礎知識	(学修内容)授業についての説明。 人間の成長・発達の原則、成長発達に影響を及ぼす要因について学ぶ。
第1回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書熟読 第1章。成長発達の原則、身体・生理・精神機能の発達過程
	A JV + COUNTY - N - N - N - N - N - N - N - N - N -	を復習しておく。
77 o E	各発達段階における発達課題 	(学修内容)各発達段階における発達課題と、発達理論について学ぶ(ピアジェ、エリクソン、ハヴィーガースト)
第2回		(事前事後学修課題の内容)(60分) 教科書熟読 第2章。エリクソンとハヴィーガーストの発達段階と各段階
	身体的・心理的・社会的機能の発達	の特徴をまとめておく。 (学修内容)身体的機能の成長と発達、運動機能の発達、心理的機能の発達、言語発
第3回		達、社会的機能の発達について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(60分)
		教科書熟読 第2章。発達過程と障害や疾患についてと、ピアジェの認知 発達の過程を理解しておく。
	老化と老年期の発達課題 老年期の社会的変化と適応	(学修内容)老年期の定義、老化の特徴、老年期の発達課題、老年期の社会的変化と 適応 尊厳と価値、喪失体験後の悲嘆への支援について学ぶ。
第4回		(事前事後学修課題の内容) (30分) 教科書熟読 第3章。様々な老化学説や発達理論について学習しておく。
	 老化に伴う身体的変化とその影響 (恒常性、骨格筋、脳・神経、感覚器、心肺機能	(学修内容)老化に伴う身体的変化とその影響について学ぶ(恒常性、骨格筋、脳・神経、感覚器、心肺機能、消化)。
第5回	、消化)	(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書熟読 第4章。嚥下のしくみについて学習しておく。
	老化に伴う心理的変化とその影響	(学修内容) 老化に伴う心理的変化とその影響について学ぶ(認知、パーソナリティ
第6回	(認知、パーソナリティ、意欲の変化、適応力)	、意欲の変化、適応力)。各自担当課題の学習内容を伝授し合う。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
NOE!		教科書熟読 第4章。フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニアについて発表できる様に調べる。
	老化に伴う社会的変化とその影響 (高齢者を取り巻く環境の変化、現状と課題、健	(学修内容) 老化に伴う社会的変化とその影響について学ぶ(高齢者を取り巻く環境の変化、現状と課題、健康寿命を延ばす取組み)。
第7回	康寿命を延ばす取組み)	(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書熟読 第4章第3節、第5章第1節。各老化理論については各自よく
	高齢者にみられる症状や疾患とその特徴	読んで知っておく。 (学修内容)高齢者の骨格・筋、脳・神経の疾患と生活上の留意点について学ぶ。
第8回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 (骨格・筋 、脳・神経)	(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書熟読 第5章第2~3節。高齢者の身体的特徴のポイントと廃用症候 群をまとめる。
	 高齢者にみられる症状や疾患とその特徴 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 (感覚器、	(学修内容)高齢者の感覚器、循環器、呼吸器の疾患と生活上の留意点について学ぶ
第9回	循環器、呼吸器)	。 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書熟読 第5章第2~3節。血圧と酸素飽和度の正常値を調べておく。 心不全の項をよく読む。
	高齢者にみられる症状や疾患とその特徴 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 (歯科・口	(学修内容)高齢者の歯科・口腔、消化器、腎・泌尿器の疾患と生活上の留意点について学ぶ。
第10回	同歌有に多い疾患と主点上の自息点 (圏科・口腔、消化器、腎・泌尿器)	(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書熟読 第5章。腎臓の働きを調べる。尿路感染症の症状をまとめて
	高齢者にみられる症状や疾患とその特徴	おく。 (学修内容)高齢者の内分泌・代謝の疾患、感染症、精神の疾患、熱中症・脱水、貧
第11回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 (内分泌・ 代謝、感染、その他)	血と生活上の注意点について学ぶ。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
2,7	The second secon	教科書熟読 第5章。糖尿病はどんな病気なのかと、低血糖時の症状をまとめておく。
	他職種(保健医療職)との連携について	(学修内容)他職種(保健医療職)との連携について学ぶ。
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書熟読 第5章。連携のために大切なことを考えておく。
	高齢者の実情の理解 老化・疾患による変化に	(学修内容)ドキュメンタリー映画を視聴し、高齢者の実情を知る。
第13回	רווכ	 (事前事後学修課題の内容)(30分) 認知症、包括支援について復習し知識を整理しておく。
	高齢者の実情の理解 老化・疾患に対する理解	総対症、色拍叉接にづいて複合の対応を発達してのへ。 (学修内容)映画の視聴後、気付きや考えを互いにディスカッションし高齢者の実情
第14回		(学修内各)映画の税職後、気刊さら考えを望いにディスカッショブも同歌者の美術の理解を深める。家族と介護者の両方の目線での思考を深める。 (事前事後学修課題の内容)(30分)
HIH KK		(事刑事後子修課題の内容)(30ガ) 自らの考えや、感じたこと、気付いたことなどをまとめておく。
	全体の振り返り 定期試験のお知らせ	(学修内容)授業全体の学修内容の確認、確認問題と解説 定期試験についての方法などの説明。
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書を再度読み返して復習し、わからないところを明確にしておく。
		WILL CINCOL CIRCLE C. IND D. O. C.

授 業 名	認知症の理解	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード
英 文 名	Study of Dementia	開講時期	春学期		必修選択	必修
担当者		対象学生	専攻科介護専	——— 攻	~ 3/(
授業の概要	認知症の人の身体的な機能、心理的・社会的側面に関する基礎的な 治療、予防のための知識を学ぶ。		 する。認知症の区	医学的側面	の理解、「	诊断、
学修成果到達目標	脳の仕組みが理解できる。 認知症の症状、治療、予防が理解できる。 認知症の方の生活を理解し、支援ができる。					
	知識・理解		 l用的技能			
学位授与の	態度・志向性	絲	総合的な学習経験と	:創造的思	考力	
方針との関連						
アクティブ・ ラーニング 対象授業	PBL ディスカッション・ディベート 実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)		フーク 月(自主学習支援)		ゼンテー:	ション
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記	式験 筆記試駅 %) 口述	東習		制作物 実技
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ノョン能力 課題	八郎 発見・解れ	決能力)
テキスト	最新介護福祉士養成講座13 認知症の理解 第2版 中央法規出版	依株式会社				
	井藤英喜 認知症の人の「想い」からつくるケア - 在宅ケア・介 長谷川和夫・加藤伸司 改定長谷川式簡易知能評価 中央法規 川畑 智 認知症の人が見ている世界 文響社 丹野智文 笑顔で生きる 文芸春秋 長谷川和夫 認知症でも心は豊かに生きている 中央法規	護施設・療	§養型病院編一 杉	未式会社 イ	ンターメ	ディカ
課題に対する フィードバック の方法	小テストを実施し、解説します。					
留意事項	ニュースや新聞等の情報に目を通しておいてください。					
オフィスアワー	事前に掲示します。					
実践的教育						

授業名 認知症の理解

受業計画		学修内容・課題
第1回	オリエンテーション 認知症の基本的理解	(学修内容)授業の目的・計画・内容・評価について 認知症とは何か (事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスをよく読んでおくこと
第2回	認知症の基本的理解	(学修内容)脳のしくみ (事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料を確認しておくこと
第3回	認知症の基本的理解	(学修内容)認知症の人の心理 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第4回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容)中核症状の理解 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第5回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容)生活障害の理解 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第6回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容) B P S D の理解 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第7回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容)認知症の診断と重症度 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第8回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容)認知症の原因疾患と症状・生活障害 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第9回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容)認知症の治療薬 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第10回	認知症の症状・診断・治療・予防	(学修内容)認知症の予防 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第11回	障害をかかえて生きることへの支援	(学修内容)認知症を取り巻く状況 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第12回	障害をかかえて生きることへの支援	(学修内容)認知症ケアの理念と視点 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第13回	障害をかかえて生きることへの支援	(学修内容)認知症当事者の視点からみえるもの (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書及び配布した資料を確認しておくこと
第14回	まとめ	(学修内容)全体的なまとめ (事前事後学修課題の内容)(30分) 今までに配布された資料をすべて確認、持参すること
第15回	まとめ	(学修内容)全体的なまとめ (事前事後学修課題の内容)(30分) 今までに配布された資料をすべて確認、持参すること

授 業 名	認知症の理解	開講学年	1回生	単位数	1単位	科目 コード	
英 文 名	Study of Dementia	開講時期	秋学期		必修選択	必修	
担当者	早川 京子 対象 専攻科介護専攻						
	認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を生かした認知症。	ケアについ	l Vて理解するための)基礎的な	知識を習行	得する	
授業の概要							
	認知症に伴う生活への影響と認知症ケアが理解できる。						
	地域での連携と協働が理解できる。 家族への支援ができる。						
学修成果							
到達目標							
	知識・理解	, i	l用的技能				
学位授与の	態度・志向性		::::::::::::::::::::::::::::::::::::	創造的思	 考力		
方針との関連							
アクティブ・		l l グループワ	リ ーク	プレ	ゼンテーシ	ション	
ラーニング	実習・フィールドワーク ICT活用(双方向型授業)	ICT活用](自主学習支援)				
対象授業		1					
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		き レポ 実習		制作物 実技	
	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	(50	%) 口述		3)
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー	(50 ゼンテーシ	%) 口述 ・ョン能力 課題	実習	3)
評 価 方 法	定期試験 (50%) 筆記試験 口述 実習 レポート 実習 実技 制作物 実技 主たる評価の 観点 知識・理解 授業態度・参加意欲 (コミュニケーション能力 で プレー	(50 ゼンテーシ	%) 口述 ・ョン能力 課題	実習	3)
評価基準テキスト	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式:認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年)	(50 ゼンテーシ 会社	%) 口述 /ョン能力 課題) (実習	決能力	実技)
評価基準テキスト	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式:認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年)本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年)一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマネシ る認知症ク	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センター「アの視点」中央法	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価基準テキスト	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式:認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年)本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年)	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマネシ る認知症ク	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センター「アの視点」中央法	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価基準テキスト参考書	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式・認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年)本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年)一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか一般社団法人日本ユニットケア推進センター秋葉郁子「24Hシート・	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマネシ る認知症ク	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センター「アの視点」中央法	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価方法 評価基準 テキスト 参 書 ににドバック	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式・認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年)本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年)一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか一般社団法人日本ユニットケア推進センター秋葉郁子「24Hシート・	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマ 知の るの作り方・	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センター「アの視点」中央法	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価方法 評価基準 テキスト 参 書 ににドバック	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式・認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年) 本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年) 一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか一般社団法人日本ユニットケア推進センター秋葉郁子「24日シート・小テストを実施し解説します。	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマ 知の るの作り方・	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センター「アの視点」中央法	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価 基準 テキスト 参 書 は まま ま	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 ブレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式・認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年) 本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年) 一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか一般社団法人日本ユニットケア推進センター秋葉郁子「24日シート・小テストを実施し解説します。	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマ 知の るの作り方・	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センターアの視点」中央	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価 基 ス 考 対バッの 留 オ ス a g a g a g a g a g a g a g a g a g a	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 実技 実技 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式: 認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年) 本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年) 一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか一般社団法人日本ユニットケア推進センター秋葉郁子「24Hシート・小テストを実施し解説します。 講義時使用するので、前期「認知症の理解1」の資料を持参してく	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマ 知の るの作り方・	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センターアの視点」中央	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)
評価 基 ス 考 対バッの 留 オ ス a g a g a g a g a g a g a g a g a g a	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技 実技 実技 実技 またる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレー 授業態度・参加意欲 (最新 介護福祉士養成講座13 認知症の理解 中央法規出版株式: 認知症介護研究・研修東京センター編 三訂『認知症の人のための』中央法規 (2012年) 本田美和子他編「ユマニチュード入門」医学書院 (2014年) 一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク「実践事例でわか一般社団法人日本ユニットケア推進センター秋葉郁子「24Hシート・小テストを実施し解説します。 講義時使用するので、前期「認知症の理解1」の資料を持参してく	(50 ゼンテーシ 会社 ケアマ 知の るの作り方・	%) 口述/ョン能力 課題) (ジメント「センターアの視点」中央	実習・解・のでは、	決能力 い方・活力 2017年)	実技)

授業名 認知症の理解

授業計画	学修項目	
7 × 11 E	オリエンテーション認知症ケアの実際	(学修内容)授業の目的、計画、内容、評価について パーソン・センタード・ケアとは
第1回		(事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおくこと
	認知症ケアの実際	前学期の学びを復習しておくこと (学修内容)認知症の人の理解と特性 - センター方式ー
第2回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人の理解と特性 - ひもときシートー
第3回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人とのコミュニケーション及びケア
第4回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人とのコミュニケーション及びケア
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人へのアプローチ ーユマニチュードー
第6回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人へのアプローチ ーバリデーション等ー
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人へのアプローチ 一回想法等一
第8回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)認知症の人の終末期医療と介護
第9回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症ケアの実際	(学修内容)環境づくり
第10回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	介護者支援	(学修内容)家族への支援
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	介護者支援	(学修内容)認知症の人と家族の会とは
第12回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症の人の地域生活支援	(学修内容)制度、サービス、機関、地域づくり
第13回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	認知症の人の地域生活支援	(学修内容)多職種連携と協働
第14回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料を読んでおくこと
	まとめ	(学修内容)第1回~14回までをまとめる
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 今までの資料すべてに目を通しておくこと

授 業 名	こころとからだのしくみ	開講学年	1回生	単位数	2単位	科目コード	
英 文 名	Structure of Mind and Body	開講時期	春学期		必 修選 択	必修	
担当者	早川京子	対 象学 生	専攻科介護専	攻			
	介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する。						
授業の概要							
	こころのしくみが理解できる。 からだのしくみが理解できる。						
	介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる知識を理解する事	ができる。					
学修成果							
到達目標							
	知識・理解	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	用的技能				
学位授与の	態度・志向性		合的な学習経験と	創造的思	考力		
方針との関連							
アクティブ・ ラーニング	PBL ディスカッション・ディベート 中部 コ・ルドロ カ エ・スエギ田(翌十九田博業)				ゼンテー	ション	
対象授業](自主学習支援) 			±111/1—14/m	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50 %) 口述 実習 実技	平常記 (50		ま習		制作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	/ョン能力 課題) (発見・解	決能力)
- + - 1	最新 介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ 第2版 堺 章 「新訂 目でみるからだのメカニズム」						
テキスト							
	江連和久の村田栄子「看護学生のための解剖生理」						
参考書							
課題に対する	小テストの実施及び前回の授業内容の要約プリント配布						
フィードバック の方法							
	介護をする上で、基本的なこころやからだのしくみの理解は非常に しょう。	大切です。	十分理解するため	に予習復	習をしてる	おきま	
留意事項							
	7 事前に申し出てください。						
オフィス	事前に申し出てください。						
オフィスアワー	事前に申し出てください。						
	事前に申し出てください。						

授 業 名 こころとからだのしくみ

	型 学修項目	学修内容・課題
第1回	オリエンテーション 「健康」とは	(学修内容)授業の進め方・主な内容・評価方法についての説明 「健康」とは何か 健康を阻害する要因 (事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスを読んでおくこと
第2回	人間の欲求の基本的理解 自己概念と尊厳	(学修内容)基本的欲求、社会的欲求など 自己概念に影響する要因 自律の意欲と自己概念 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書をよく読んでおくこと
第3回	こころのしくみの理解	(学修内容)脳とこころのしくみの関係 学習、記憶、思考のしくみ (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書をよく読んでおくこと
第4回	からだのしくみの理解	(学修内容)からだのつくりの理解 身体各部の名称 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書をよく読んでおくこと
第5回	からだのしくみの理解	(学修内容)脳と神経 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書をよく読んでおくこと
第6回	からだのしくみの理解	(学修内容)骨格系、筋系 (事前事後学修課題の内容)(30分)
	からだのしくみの理解	教科書をよく読んでおくこと (学修内容)皮膚、感覚器系
第7回		(事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書をよく読んでおくこと
第8回	からだのしくみの理解	(学修内容)呼吸器系 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書を読んでまとめておくこと
第9回	からだのしくみの理解	(学修内容)血液、循環器系 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書を確認しておくこと
第10回	からだのしくみの理解	(学修内容)血液、循環器系 (事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料・教科書を読んでおくこと
第11回	からだのしくみの理解	(学修内容)消化器系 (事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料・教科書を確認しておくこと
第12回	からだのしくみの理解	(学修内容)腎・泌尿器系 (事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料・教科書を確認しておくこと
第13回	からだのしくみの理解	(学修内容)生殖器系、内分泌系 (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書を読んでおくこと
第14回	生命維持をするしくみ	(学修内容)生命を維持するしくみ ホメオスタシス (事前事後学修課題の内容)(30分) 教科書を読んでおくこと
第15回	全体のまとめ	(学修内容)配布資料のまとめ (事前事後学修課題の内容)(30分) 配布した資料をすべて確認しておくこと

授 業 名	こころとからだのしくみ	開講学年	1回生	単 位 数	2単位	科目コード	
英 文 名	Structure of Mind and Body	開講時期	春学期		必 修選 択	必修	
担当者	早川 京子						
	 生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、生活支援の場 活に及ぼす影響について理解する。	<u> </u> 面に応じた	こころとからだの	しくみ及び	び機能低ヿ	下が生	
授業の概要							
	基礎で学んだからだ及びやこころのしくみを応用することができ						
	それぞれの生活上の場面に応じたからだ及びこころのしくみを理 人生の最終段階のケアに応じたからだ及びこころのしくみを理解						
学修成果到達目標							
	知識・理解	-	l用的技能				
学位授与の方針との関連	態度・志向性	総	合的な学習経験と	創造的思想	等力		
アクティブ・ラーニング		グループワ ICT活用	フーク 月(自主学習支援)	プレヤ	ゼンテーシ	ション	
対象授業				1 40	. #	=11 <i>U</i> = #/m	
評価方法	定期試験 筆記試験 レポート 制作物 (50%) 口述 実習 実技	平常記 (50		レポ・ 実習		刮作物 実技	
評価基準	主たる評価の 知識・理解 コミュニケーション能力 プレ 観点 授業態度・参加意欲 (ゼンテーシ	ノョン能力 課題) (発見・解決	夬能力)
	最新 介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ 第2版 中	中央法規出	版				
テキスト							
	新訂 目でみるからだのメカニズム 医学書院 東京都健康長寿医療センター研究所皇田千穂 伊藤羊緒「惣知症・)看取门ケア宝路。	日松研(2	2016年)		
参考書	新訂 目でみるからだのメカニズム 医学書院 東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・ 「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル 「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社)看取りケア実践」	日総研(2	2016年)		
参考書	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル)看取りケア実践」	日総研(2	2016年)		
課題に対するフィードバック	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社)看取りケア実践」	日総研(2	2016年)		
課題に対する	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社 小テスト及びワークシートで学びを深めます。				2016年)		
課題に対するフィードバックの方法	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社				2016年)		
課題に対するフィードバック	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社 小テスト及びワークシートで学びを深めます。				2016年)		
課題に対するフィードバックの方法 留意事項	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社 小テスト及びワークシートで学びを深めます。				2016年)		
課題に対するフィードバックの方法	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社 小テスト及びワークシートで学びを深めます。 基礎的なことに加えて、専門用語を多く用います。事前事後学習を				2016年)		
課題に対するフィードバックの方法 留意事項	東京都健康長寿医療センター研究所島田千穂 伊藤美緒「認知症・「死」が教えてくれた 幸せの本質 瀬戸崇史 株式会社ユサブル「死ぬ瞬間」E・キューブラー・ロス 読売新聞社 小テスト及びワークシートで学びを深めます。 基礎的なことに加えて、専門用語を多く用います。事前事後学習を				2016年)		

授 業 名 こころとからだのしくみ

- NV -1 -	W 15 - T =	W (5)
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	オリエンテーション 移動に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)授業の進め方・主な内容・評価方法についての説明 移動に関連したからだのメカニズム (事前事後学修課題の内容)(30分) シラバスをよく読んでおくこと
第2回	移動に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)心身の機能低下が移動に及ぼす影響、変化の気づきと対応 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
	白いたくに関連したニーストからだのしてな	(労権中央) 自じたくのしくコ
第3回	身じたくに関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)身じたくのしくみ (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
	 身じたくに関連したこころとからだのしくみ	│ │(学修内容)心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響、変化の気づきと対応
第4回	オリル 、に関連したことうとがらたのし、の	(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
	食事に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)食事のしくみ
第5回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
第6回	食事に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)心身の機能低下が食事に及ぼす影響 変化の気づきと対応 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
第7回	入浴・清潔保持い関連したこころとからだのしく み	(学修内容)入浴・清潔保持のしくみ (事前事後学修課題の内容)(30分)
		テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
第8回	入浴・清潔保持い関連したこころとからだのしく み	(学修内容)心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 変化の気づきと対応 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
		(当放力会) 批判のしても
第9回	排泄に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)排泄のしくみ (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
第10回	排泄に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 変化の気づきと対応 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
	 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)休息・睡眠のしくみ
第11回		(事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
	休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ	(学修内容)心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響
第12回		変化の気づきと対応 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
		ノイクロ及び配当は資金である。
** ** • • • • • • • • • • • • • • • • •	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだ のしくみ	(学修内容)「死」のとらえ方
第13回		(事前事後学修課題の内容) (30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだ	(学修内容)「死」に対する心の理解
第14回	のしくみ	DVD視聴 (事前事後学修課題の内容)(30分) テキスト及び配布資料をよく読んでおくこと
第15回	死にゆく人に関連したしくみ まとめ	(学修内容)医療関係者との連携 まとめ (事前事後学修課題の内容)(30分) 今までの資料すべてに目を通しておくこと
第15回		(事前事後学修課題の内容)(30分)